令和6年度

水道水質基準の見直し等に関わる調査・検討支援業務

報　告　書

令和7年3月

株式会社　日水コン

令和６年度
水道水質基準の見直し等に関わる調査・検討支援業務

本報告書の概要

本業務は、水道水質に係る最近の状況を把握するとともに、最新の科学的知見に基づく水道水質基準見直し等に関わる事項について検討し、もって、水道水質の安全・安心の確保に資することを目的として、必要な調査及び検討会等の運営に係る事務作業を実施した。

具体的には、次の（１）～（２）の内容を実施した。

(1)水道水質関連調査業務

① データの確定、解析

② 水質基準等の水質検査結果の整理(過去5年間の水質検査に基づく水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類見直し、水道事業体における要検討項目等の検出状況の整理)

③ 水道水質関連調査(要検討項目等の検出状況に関する調査以外)及び簡易専用水道の管理に関する調査結果の集計

④ クリプトスポリジウム及びジアルジアの検出状況等の整理

⑤ 内閣府食品安全委員会における評価結果の整理

⑥ 水質基準等に関する情報の更新

⑦ 海外諸国・機関における基準値等の整理

(2)水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催支援

① 水質基準逐次改正検討会(2 回)

② 水道水質検査法検討会(2 回)

③ 水道水質検査精度管理検討会(2 回)

④ 水道における微生物問題検討会(1 回)

⑤ 水道水質検査精度管理に関する研修会(1 回)

(1)は、水道統計水質編(令和 4 年度版)及び地方公共団体(47 都道府県)から報告される調査票を整理して、①～④の内容を整理した。また、内閣府食品安全委員会や海外基準等の情報について、⑤～⑦の内容を整理・更新した。(2)は水道水質基準の見直し等に関わる検討会等(8 回)について、事務作業、会議開催支援、議事録作成等を実施した。

Fiscal 2024

Support for Studies, Discussions in Review of Water Quality Standards in Water Supply

Summary of Main Report

This activity was undertaken in order to grasp the current situation in regard to water quality in water supply systems. Along with this, as quality standards were reviewed in detail to ensure that the water supply was safe and secure, a study was conducted to apply the latest scientific knowledge pertaining to water quality standards.

Details of the work are outlined in (1) – (2) below.

(1) Studies conducted to ensure water quality in water supply

1) Data confirmed, analyzed
2) Results of inspections according to standards and other points were compiled, (and on basis of past five years of water quality inspections, water quality standards were reviewed in detail; categories of water quality control targets were reviewed, and information on areas identified as requiring further study in water supply operations was compiled, organized.)
3) Studies related to water quality in water supply (other than items to be studied based on findings, detected problems), and results of study of control of private water supply facilities were reviewed, compiled.
4) Information on detection, handling of *Cryptosporidium* and *Giardia* compiled, organized
5) Evaluation results from the Food Safety Commission of Japan compiled, organized
6) Information related to water quality standards updated
7) Compiled, organized information on standards used in other countries and agencies

(2) Support for meetings to study, review water quality standards used for water supply

1) Meetings to discuss interactive [sequential] changes, improvements (two)
2) Meetings to discuss methods used to inspect water quality in water supply (two)
3) Meetings to discuss accuracy control in water quality inspections (two)
4) Meeting to discuss problem of microorganisms in water supply (one)
5) Meeting to discuss control of accuracy in water quality inspections (one)

In reference to (1) above, a water supply report with statistics (fiscal 2022 edition) was compiled; and survey results reported by regional public associations (in 47 prefectures of Japan) were compiled, and organized according to results of activities 1) – 4) above. In addition, in reference to information received from the Food Safety Commission of Japan and other countries and agencies, the information was organized and updated according to results of activities 5) – 7) above.

In reference to (2) above, clerical, organizational tasks were handled to support conduct of meetings and creation of records of meetings held to review water quality standards in water supply systems (eight meetings).

目　　次

Ⅰ.水道水質関連調査業務
1.　業務概要 ---------- 1
1.1.　業務目的 ---------- 1
1.2.　業務内容 ---------- 1
1.2.1.　水質基準等の水質検査結果の整理（仕様書 2（1）（2）） ---------- 1
1.2.2.　クリプトスポリジウム等の検出状況の整理（仕様書 2 の(3)） ---------- 1
1.2.3.　内閣府食品安全委員会における評価結果の整理（仕様書 2 の(4)） ---------- 2
1.2.4.　水質基準等に関する情報の更新（仕様書 2 の(5)） ---------- 2
1.2.5.　報告書作成（仕様書 2 の(6)） ---------- 2
1.2.6.　水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催概要 ---------- 2
2.　水質基準等の水質検査結果の整理 ---------- 3
2.1.　過去 5 年間の水質検査結果に基づく水質基準項目及び
水質管理目標設定項目の分類の見直し ---------- 3
2.2.　基準項目等の分類に関する考え方 ---------- 3
2.2.1.　定期見直しの進め方 ---------- 3
2.2.2.　過去 5 年間の水質基準等の超過状況 ---------- 7
2.3.　水道事業体における要検討項目等の検出状況の整理 ---------- 35
2.3.1.　調査概要 ---------- 35
2.3.2.　測定地点数、検出地点数及び検出率の一覧表 ---------- 39
2.3.3.　調査結果 ---------- 49
2.4.　最近の水質基準等項目の状況について情報整理表の更新 ---------- 76
3.　水道水質関連調査及び簡易専用水道の管理に関する調査の集計 ---------- 104
3.1.　水道水質の被害状況等調査 ---------- 104
3.1.1.　水質汚染事故による水道の被害状況 ---------- 104
3.2.　異臭味等による水道の被害状況 ---------- 107
3.3.　クリプトスポリジウム等対策実施状況調査 ---------- 109
3.4.　貯水槽水道及び飲用井戸に係る衛生管理状況調査 ---------- 114
3.5.　水道水質検査の実施状況等に関する調査 ---------- 131
3.6.　水安全計画の策定状況等に関する調査 ---------- 143
3.6.1.　水安全計画の策定状況 ---------- 143
3.6.2.　水安全計画の策定方法 ---------- 144
4.　クリプトスポリジウム等の検出状況の整理 ---------- 157
4.1.　調査概要 ---------- 157
4.2.　集計結果 ---------- 158
5.　内閣府食品安全委員会における評価結果の整理 ---------- 171
6.　水質基準等に関する情報の更新 ---------- 192
6.1.　水質基準等の見直しの動向 ---------- 192

6.2. データベースの整理・情報更新 ---------- 220
7. 海外諸国・機関における基準値等の整理---------- 222
7.1. 海外諸国・期間における基準値等 ---------- 222
7.2. 国内の基準値等との比較及び情報の整理 ---------- 222
7.2.1. PFOS、PFOA ---------- 222
7.2.2. 1,3-ジクロロプロペン ---------- 223
7.2.3. ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート ---------- 224
7.2.4. シフルトリン ---------- 225
7.3. 国内の水質基準項目以外で海外諸国で基準値及び
目標値が設定されている項目（法的拘束力あり） ---------- 226
8. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催支援---------- 244
8.1. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催概要 ---------- 244
8.2. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の資料 ---------- 244
8.3. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の議事録 ---------- 245

1. 業務概要

1.1. 業務目的

本調査は、水道水及び水道原水における水質検査結果や、国内外の水道法の水質基準に係る情報等を収集・整理し、水質基準等の逐次改正等に資することを目的とする。

1.2. 業務内容

Ⅰ.水道水質関連調査業務

1.2.1. 水質基準等の水質検査結果の整理（仕様書 2（1）（2））

1）水道統計水質編（令和 4 年度版）の水質検査結果データ整理

水質基準及び水質管理目標設定項目について、水道統計水質編（令和 4 年度版）の水質検査結果データ（給水栓水）を整理し、データテーブルを作成した。

2）直近の過去 5 年分の水質検査結果の整理

上記にて作成したデータテーブルについて、直近の過去 5 年分（平成 30 年度から令和 4 年度）の水質検査結果（給水栓水、最高値）を、平成 22 年 2 月 2 日の第 8 回厚生科学審議会生活環境水道部会で確認された分類要件（同部会資料 4 水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の見直しについて）に基づき、令和 5 年 4 月時点の基準値又は目標値の 10%値超、50%値超、100%値超の経年的な超過状況を表に整理してリスクレベルの評価を行い、水質基準及び水質管理目標設定項目間での分類変更についての原案資料を作成した。対象農薬リスト掲載農薬類については、目標値の 1%値超、10%値超、50%値超、100%値超の経年的な超過状況を表に整理し、同様に資料を作成した。

3）水道水質基準項目等に係る状況の情報整理表の更新

水道統計水質編及び水道事業者等における要検討項目等の水質検査結果を基に、令和 4 年度調査において作成された水道水質基準等項目に係る状況の情報整理表を更新した。

4）水道水質関連調査（要検討項目の検出状況に関する調査以外）及び簡易専用水道の管理に関する調査結果の集計

水道水質関連調査の結果の集計は、令和 5 年 5 月に厚生労働省より都道府県に依頼し、回収された水道水質関連調査について、回答内容を確認、整理して行った。

1.2.2. クリプトスポリジウム等の検出状況の整理（仕様書 2 の(3)）

平成 29 年度から令和 5 年 12 月までに厚生労働省に対し全国の都道府県及び水道事業者等から報告された、耐塩素性病原生物の検出状況等の情報について整理及び集計し、見やすく図表にとりまとめた。

1.2.3. 内閣府食品安全委員会における評価結果の整理（仕様書 2 の(4)）

我が国の現行の水質基準等に係る内閣府食品安全委員会における評価結果（令和 5 年 3 月～12 月に公表されたもの）を収集・整理し、これまでの評価結果の一覧（令和 4 年度調査：表 5-1～表 5-3）を更新した。

1.2.4. 水質基準等に関する情報の更新（仕様書 2 の(5)）

1）関連情報の更新

我が国の現行の水質基準等について、基準値・目標値に関連した検討状況、課題及び留意事項等の関連情報（令和 4 年度調査：表 6-3～表 6-9）を更新した。

2）データベース更新

我が国の現行の水質基準等について、令和 4 年度調査において作成したデータベースを更新した。

1.2.5. 報告書作成（仕様書 2 の(6)）

以上の調査結果をとりまとめ、報告書を作成した。

Ⅱ．水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催支援

1.2.6. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催概要

水道水質基準の見直し等に関わる検討会等について、下記のとおり開催を支援した。

- 旅費及び謝金の支払い
- 対面及びオンラインによるハイブリッド開催に係る事務
- 公開検討会等における傍聴者対応に係る事務
- 公開検討会等におけるライブ配信に係る事務
- 議事録の作成
- 資料の印刷

2. 水質基準等の水質検査結果の整理

2.1. 過去5年間の水質検査結果に基づく水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の見直し

現在の水質基準項目及び水質管理目標設定項目は、平成15年4月の厚生科学審議会答申「水質基準の見直し等について（答申）」に基づいて設定されたものであり、浄水中の検出状況から物質毎のリスクレベルの評価結果等を踏まえ、水質基準項目と水質管理目標設定項目に分類されている。

ここでは、第8回厚生科学審議会生活環境水道部会（平成22年2月2日）の「資料4　水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の見直しについて」に従って、水質基準項目及び水質管理目標設定項目間での分類変更について検討した。

2.2. 基準項目等の分類に関する考え方

第8回厚生科学審議会生活環境水道部会（平成22年2月2日）の「資料4　水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の見直しについて」にて承認された、水質基準項目と水質管理目標設定項目の分類に関する考え方を以下に示す。

2.2.1. 定期見直しの進め方

化学物質はその使用状況等に応じて水道水から検出する濃度・頻度が変化していくものであり、水質検査結果に基づき、その時点で比較的高濃度かつ高頻度で検出される物質を水質基準項目とするように、計画的に見直しを行うべきである。定期見直しの具体的な方法については、以下のとおりとする。

1）定期見直しの対象物質

全ての水質基準項目及び水質管理目標設定項目を、水質検査結果に基づく定期見直しの対象とするのではなく、以下の考え方に基づいて基準項目等に据え置くべき項目以外の項目を選定する。

・水質基準項目等へ据え置くべき項目を整理（表 2-1～表 2-2）

・基準項目に据え置くべきか専門家の議論も踏まえて確認すべき物質（表 2-3～表 2-4）

この結果、基準項目及び管理目標設定項目の分類の見直しの検討対象とする項目は表2-4のとおりとなる。

2）定期見直しの検討に使用する水質検査結果

検査年度による水質検査結果のばらつき等を考慮すると、直近の単年度のみではなく、中長期的な検査結果に基づいて分類見直しの検討を行うべきと考えられる。具体的には水質検査結果の保存義務年限である過去5年分の検査結果に基づいて計画的に見直すこととする。

表 2-1　基準項目等に据え置くべき対象物質の考え方（水質基準項目）

据え置くべきとする理由	項目名
水道法第 4 条に例示されている項目	水銀、フェノール、味、臭気等 11 項目
環境中に広く存在し、少なくない数の水道事業者において、当該項目の濃度の低い水源を求めたり、浄水処理工程（設備）を設けて分解･除去等を行ったりする必要があると考えられる項目（基準項目から外すことにより、濃度の低減化が行われなくなるおそれがあるため）	ヒ素及びその化合物、亜硝酸態窒素※、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、マンガン及びその化合物、ジェオスミン、2-MIB
飲料水の水質としての基本的指標と考えられる項目	ナトリウム及びその化合物、塩化物イオン、カルシウム、マグネシウム等（硬度）、蒸発残留物、有機物（全有機炭素（TOC）の量）
検出状況よりは指標性の観点から議論すべき項目	一般細菌、大腸菌
浄水処理に広く利用される次亜塩素酸の管理指標	塩素酸
浄水処理に広く利用される PAC の管理指標	アルミニウム及びその化合物

※ 平成 26 年 2 月 28 日厚生労働省令第 15 号により、亜硝酸態窒素を水質基準項目に追加。

表 2-2　基準項目等に据え置くべき対象物質の考え方（水質管理目標設定項目）

据え置くべきとする理由	項目名
評価値が暫定の項目	ウラン等 3 項目
水道水質基準を補完する項目	pH 値、アルミニウム、 残留塩素等 9 項目
より望ましい水の目標値である項目（水質基準とはしない）	遊離炭酸、腐食性（ランゲリア指数）
検出状況よりは指標性の観点から議論すべき項目	従属栄養細菌

表 2-3　基準項目に据え置くべきか確認すべき物質の考え方（水質基準項目）

基準項目として据え置くことも 考えられる理由	項目名
水質に係る代表的な汚染物質として社会的関心が高い	カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物
原水においてトリハロメタン生成能は広く存在し、水質基準項目から除外した場合、生成量の低減管理が行われなくなるおそれがある	クロロホルム、ジブロモクロロメタン、総トリハロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルム
オゾン処理の副生成物、浄水処理に広く利用される次亜塩素酸ナトリウムにも含まれる	臭素酸

表 2-4　基準項目及び管理目標設定項目の分類の見直しの検討対象とする項目

基準項目等の見直し対象とする項目（案）	項目名
水質基準項目	セレン及びその化合物、ホウ素及びその化合物、四塩化炭素、1,4-ジオキサン、シス及びトランス-ジクロロエチレンジクロロメタン、ベンゼン、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸、 ホルムアルデヒド、亜鉛及びその化合物、陰イオン界面活性剤、非イオン界面活性剤
水質管理目標設定項目※	アンチモン及びその化合物、ニッケル及びその化合物、1,2-ジクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トルエン、フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）、亜塩素酸、二酸化塩素、農薬類、1,1,1-トリクロロエタン、メチル-t-ブチルエーテル、1,1-ジクロロエチレン

※平成 22 年 2 月 17 日健水発 0217 第 1 号により、1,1,2-トリクロロエタンを水質管理目標設定項目から削除。

※平成 26 年 3 月 31 日健水発 0331 第 6 号により、亜硝酸態窒素を水質管理目標設定項目から削除。

3）定期見直しにおける水質基準等の分類方法

水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類の考え方は、基本的には平成 15 年答申のもの（表 2-5）を踏襲するべきであるが、複数年度における検出状況の判断や、検出率の取扱いについて運用の明確化を行う必要がある。

表 2-5　過去の審議会答申における水質基準等の分類の考え方（参考）

	水質基準項目	水質管理目標設定項目・監視項目
平成 15 年答申	・浄水において、評価値の 1/10 を超えて検出され、又は検出されるおそれの高い項目（特異値によるものを除く。評価値が暫定であるものを除く） ・水道法第 4 条の例示項目	・場合によっては、浄水において評価値の 1/10 を超えて検出される可能性のある項目 ・水質基準項目の分類要件に該当するもののうち、評価値が暫定であるもの
平成 4 年答申	・最大値が評価値の 50%を超えていること（特異値と考えられる場合は除く） ・かつ、評価値の 10%を超えるものの検出率が数%	・最大値が評価値の数%以上（特異値と考えられる場合は除く） ・かつ、評価値の 1%を超えるものの検出率が数%以上

※農薬については、平成 15 年答申において、①水質基準項目の分類要件に該当する農薬については個別に水質基準を設定し、②それら以外については総農薬方式により水質管理目標設定項目に位置づけることとされているところ。

表 2-5 に示した過去の答申の内容を参考にすると、例えば表 2-6 示す分類要件に従って水質基準項目等の分類を行うことが考えられる。

分類要件 1：最近 3 ヶ年継続で評価値の 10%超過地点が 1 地点以上存在

分類要件 2：最近 3 ヶ年継続で評価値の 50%超過地点が 1 地点以上存在
又は最近 5 ヶ年の間に評価値超過地点が 1 地点以上存在

表 2-6　水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類要件

	分類要件 1　YES		分類要件 1　NO
	分類要件 2　YES	分類要件 2　NO	
見直し時点で水質基準項目	水質基準項目	水質基準項目	水質管理目標設定項目
見直し時点で水質管理目標設定項目	水質基準項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目

ただし、個々の項目の水質基準項目及び水質管理目標設定項目への分類については、当該項目の浄水における検出状況に加え、環境汚染状況の推移や生成メカニズム、浄水処理における除去性等を総合的に評価して判断すべきであり、分類要件のみによって当てはめるべきものではない。

2.2.2. 過去 5 年間の水質基準等の超過状況

1）データ整理

水質基準項目及び水質管理目標設定項目について、水道統計水質編の過去 5 年分（平成 30 年度版～令和 4 年度版）の水質検査結果（浄水）より、評価値の 10%、50%、100%値の経年的な超過状況を表及びグラフに整理した。

水道水質基準項目の水道水質データの整理結果を表 2-7 に、水質管理目標設定項目の水道水質データの整理結果を表 2-8 に、農薬類の整理結果を表 2-9 に示す。

過去 5 年間に基準値及び目標値が変更になった項目については、現行の基準値又は目標値により集計を行った。

表 2-7　水道水質基準項目の水道水質データの整理結果（1/4）

番号	項目名	基準値※1（mg/L）	区分	評価	H30 ※2			R01 ※3			R02 ※4			R03 ※5			R04 ※6		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
基-1	一般細菌	100個/mL	健康項目	対基準値	8,669	2	0.0%	8,813	4	0.0%	9,339	8	0.1%	9,359	4	0.0%	9,347	8	0.1%
				対50%値	8,669	31	0.4%	8,813	31	0.4%	9,339	21	0.2%	9,359	33	0.4%	9,347	32	0.3%
				対10%値	8,669	182	2.1%	8,813	176	2.0%	9,339	197	2.1%	9,359	193	2.1%	9,347	161	1.7%
基-2	大腸菌	不検出	健康項目	陽性	8,668	1	0.0%	8,813	0	0.0%	9,339	1	0.0%	9,359	1	0.0%	9,347	2	0.0%
基-3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L	健康項目	対基準値	7,898	0	0.0%	8,158	0	0.0%	8,401	0	0.0%	8,482	0	0.0%	8,682	0	0.0%
				対50%値	7,898	5	0.1%	8,158	3	0.0%	8,401	1	0.0%	8,482	0	0.0%	8,682	0	0.0%
				対10%値	7,898	11	0.1%	8,158	13	0.2%	8,401	7	0.1%	8,482	4	0.0%	8,682	4	0.0%
基-4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L	健康項目	対基準値	7,784	0	0.0%	8,044	0	0.0%	8,295	0	0.0%	8,359	0	0.0%	8,548	0	0.0%
				対50%値	7,784	10	0.1%	8,044	17	0.2%	8,295	16	0.2%	8,359	0	0.0%	8,548	0	0.0%
				対10%値	7,784	15	0.2%	8,044	19	0.2%	8,295	18	0.2%	8,359	1	0.0%	8,548	1	0.0%
基-5	セレン及びその化合物	0.01mg/L	健康項目	対基準値	7,873	0	0.0%	8,133	0	0.0%	8,382	0	0.0%	8,434	0	0.0%	8,633	0	0.0%
				対50%値	7,873	0	0.0%	8,133	1	0.0%	8,382	0	0.0%	8,434	0	0.0%	8,633	0	0.0%
				対10%値	7,873	4	0.1%	8,133	9	0.1%	8,382	8	0.1%	8,434	7	0.1%	8,633	10	0.1%
基-6	鉛及びその化合物	0.01mg/L	健康項目	対基準値	8,047	2	0.0%	8,329	0	0.0%	8,568	1	0.0%	8,601	0	0.0%	8,810	0	0.0%
				対50%値	8,047	32	0.4%	8,329	27	0.3%	8,568	33	0.4%	8,601	27	0.3%	8,810	24	0.3%
				対10%値	8,047	337	4.2%	8,329	321	3.9%	8,568	318	3.7%	8,601	350	4.1%	8,810	334	3.8%
基-7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L	健康項目	対基準値	7,968	0	0.0%	8,209	0	0.0%	8,497	0	0.0%	8,543	1	0.0%	8,722	1	0.0%
				対50%値	7,968	92	1.2%	8,209	89	1.1%	8,497	94	1.1%	8,543	92	1.1%	8,722	97	1.1%
				対10%値	7,968	809	10.2%	8,209	823	10.0%	8,497	882	10.4%	8,543	872	10.2%	8,722	861	9.9%
基-8	六価クロム化合物	0.02mg/L	健康項目	対基準値	7,970	0	0.0%	8,237	0	0.0%	8,965	0	0.0%	9,055	0	0.0%	9,153	0	0.0%
				対50%値	7,970	0	0.0%	8,237	0	0.0%	8,965	3	0.0%	9,055	1	0.0%	9,153	1	0.0%
				対10%値	7,970	5	0.1%	8,237	6	0.1%	8,965	133	1.5%	9,055	71	0.8%	9,153	51	0.6%
基-9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L	健康項目	対基準値	8,120	0	0.0%	8,352	0	0.0%	8,615	0	0.0%	8,668	0	0.0%	8,861	0	0.0%
				対50%値	8,120	4	0.0%	8,352	4	0.0%	8,615	7	0.1%	8,668	0	0.0%	8,861	2	0.0%
				対10%値	8,120	76	0.9%	8,352	94	1.1%	8,615	81	0.9%	8,668	76	0.9%	8,861	66	0.7%
基-10	シアン化物及び塩化シアン	0.01mg/L	健康項目	対基準値	8,647	0	0.0%	8,797	0	0.0%	9,316	0	0.0%	9,343	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対50%値	8,647	0	0.0%	8,797	2	0.0%	9,316	1	0.0%	9,343	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対10%値	8,647	8	0.1%	8,797	20	0.2%	9,316	25	0.3%	9,343	18	0.2%	9,338	14	0.1%
基-11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L	健康項目	対基準値	8,206	0	0.0%	8,429	0	0.0%	8,779	0	0.0%	8,829	0	0.0%	9,005	0	0.0%
				対50%値	8,206	160	1.9%	8,429	160	1.9%	8,779	186	2.1%	8,829	165	1.9%	9,005	155	1.7%
				対10%値	8,206	2,381	29.0%	8,429	2,501	29.7%	8,779	2,562	29.2%	8,829	2,496	28.3%	9,005	2,457	27.3%
基-12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L	健康項目	対基準値	8,087	1	0.0%	8,371	1	0.0%	8,637	2	0.0%	8,708	0	0.0%	8,875	0	0.0%
				対50%値	8,087	98	1.2%	8,371	93	1.1%	8,637	91	1.1%	8,708	87	1.0%	8,875	90	1.0%
				対10%値	8,087	2,367	29.3%	8,371	2,394	28.6%	8,637	2,323	26.9%	8,708	2,284	26.2%	8,875	2,418	27.2%
基-13	ホウ素及びその化合物	1mg/L	健康項目	対基準値	7,916	0	0.0%	8,173	0	0.0%	8,435	0	0.0%	8,525	0	0.0%	8,696	0	0.0%
				対50%値	7,916	19	0.2%	8,173	22	0.3%	8,435	20	0.2%	8,525	19	0.2%	8,696	22	0.3%
				対10%値	7,916	184	2.3%	8,173	186	2.3%	8,435	190	2.3%	8,525	189	2.2%	8,696	191	2.2%
基-14	四塩化炭素	0.002mg/L	健康項目	対基準値	7,859	0	0.0%	8,124	0	0.0%	8,376	0	0.0%	8,431	0	0.0%	8,627	0	0.0%
				対50%値	7,859	5	0.1%	8,124	8	0.1%	8,376	8	0.1%	8,431	1	0.0%	8,627	0	0.0%
				対10%値	7,859	9	0.1%	8,124	10	0.1%	8,376	11	0.1%	8,431	6	0.1%	8,627	4	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-7　水道水質基準項目の水道水質データの整理結果（2/4）

番号	項目名	基準値※1 (mg/L)	区分	評価	H30 ※2			R01 ※3			R02 ※4			R03 ※5			R04 ※6		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
基-15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L	健康項目	対基準値	7,835	0	0.0%	8,101	0	0.0%	8,346	0	0.0%	8,443	0	0.0%	8,638	0	0.0%
				対50%値	7,835	1	0.0%	8,101	1	0.0%	8,346	0	0.0%	8,443	2	0.0%	8,638	1	0.0%
				対10%値	7,835	2	0.0%	8,101	5	0.1%	8,346	2	0.0%	8,443	4	0.0%	8,638	3	0.0%
基-16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス－1,2－ジクロロエチレン	0.04mg/L	健康項目	対基準値	7,863	0	0.0%	8,127	0	0.0%	8,381	0	0.0%	8,466	0	0.0%	8,658	0	0.0%
				対50%値	7,863	0	0.0%	8,127	0	0.0%	8,381	1	0.0%	8,466	0	0.0%	8,658	0	0.0%
				対10%値	7,863	2	0.0%	8,127	5	0.1%	8,381	7	0.1%	8,466	4	0.0%	8,658	2	0.0%
基-17	ジクロロメタン	0.02mg/L	健康項目	対基準値	7,862	0	0.0%	8,124	0	0.0%	8,374	0	0.0%	8,432	0	0.0%	8,627	0	0.0%
				対50%値	7,862	0	0.0%	8,124	0	0.0%	8,374	0	0.0%	8,432	2	0.0%	8,627	1	0.0%
				対10%値	7,862	4	0.1%	8,124	1	0.0%	8,374	3	0.0%	8,432	3	0.0%	8,627	5	0.1%
基-18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L	健康項目	対基準値	7,866	0	0.0%	8,126	0	0.0%	8,378	0	0.0%	8,434	0	0.0%	8,623	0	0.0%
				対50%値	7,866	0	0.0%	8,126	0	0.0%	8,378	0	0.0%	8,434	0	0.0%	8,623	0	0.0%
				対10%値	7,866	8	0.1%	8,126	4	0.0%	8,378	10	0.1%	8,434	13	0.2%	8,623	12	0.1%
基-19	トリクロロエチレン	0.01mg/L	健康項目	対基準値	7,874	0	0.0%	8,129	0	0.0%	8,384	0	0.0%	8,439	0	0.0%	8,627	0	0.0%
				対50%値	7,874	0	0.0%	8,129	2	0.0%	8,384	5	0.1%	8,439	1	0.0%	8,627	4	0.0%
				対10%値	7,874	21	0.3%	8,129	23	0.3%	8,384	29	0.3%	8,439	23	0.3%	8,627	13	0.2%
基-20	ベンゼン	0.01mg/L	健康項目	対基準値	7,863	0	0.0%	8,124	0	0.0%	8,373	0	0.0%	8,432	0	0.0%	8,624	0	0.0%
				対50%値	7,863	0	0.0%	8,124	0	0.0%	8,373	0	0.0%	8,432	1	0.0%	8,624	0	0.0%
				対10%値	7,863	1	0.0%	8,124	1	0.0%	8,373	1	0.0%	8,432	3	0.0%	8,624	4	0.0%
基-21	塩素酸	0.6mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	6	0.1%	8,801	8	0.1%	9,326	12	0.1%	9,346	11	0.1%	9,337	14	0.1%
				対50%値	8,653	319	3.7%	8,801	312	3.5%	9,326	384	4.1%	9,346	321	3.4%	9,337	385	4.1%
				対10%値	8,653	4,630	53.5%	8,801	4,606	52.3%	9,326	5,023	53.9%	9,346	5,049	54.0%	9,337	5,149	55.1%
基-22	クロロ酢酸	0.02mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,652	0	0.0%	8,800	0	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,337	0	0.0%
				対50%値	8,652	7	0.1%	8,800	8	0.1%	9,326	7	0.1%	9,346	0	0.0%	9,337	2	0.0%
				対10%値	8,652	30	0.3%	8,800	39	0.4%	9,326	35	0.4%	9,346	39	0.4%	9,337	32	0.3%
基-23	クロロホルム	0.06mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	1	0.0%	8,800	4	0.0%	9,326	6	0.1%	9,346	5	0.1%	9,337	2	0.0%
				対50%値	8,653	244	2.8%	8,800	279	3.2%	9,326	244	2.6%	9,346	292	3.1%	9,337	329	3.5%
				対10%値	8,653	3,041	35.1%	8,800	3,126	35.5%	9,326	3,274	35.1%	9,346	3,262	34.9%	9,337	3,350	35.9%
基-24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	1	0.0%	8,800	3	0.0%	9,326	2	0.0%	9,346	1	0.0%	9,337	0	0.0%
				対50%値	8,653	98	1.1%	8,800	118	1.3%	9,326	121	1.3%	9,346	123	1.3%	9,337	135	1.4%
				対10%値	8,653	2,299	26.6%	8,800	2,159	24.5%	9,326	2,304	24.7%	9,346	2,200	23.5%	9,337	2,346	25.1%
基-25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	0	0.0%	8,800	0	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対50%値	8,653	12	0.1%	8,800	10	0.1%	9,326	7	0.1%	9,346	8	0.1%	9,338	10	0.1%
				対10%値	8,653	245	2.8%	8,800	262	3.0%	9,326	275	2.9%	9,346	263	2.8%	9,338	237	2.5%
基-26	臭素酸	0.01mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	1	0.0%	8,800	1	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対50%値	8,653	10	0.1%	8,800	13	0.1%	9,326	9	0.1%	9,346	9	0.1%	9,338	12	0.1%
				対10%値	8,653	246	2.8%	8,800	245	2.8%	9,326	226	2.4%	9,346	235	2.5%	9,338	250	2.7%
基-27	総トリハロメタン	0.1mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	0	0.0%	8,800	1	0.0%	9,326	6	0.1%	9,346	2	0.0%	9,338	2	0.0%
				対50%値	8,653	220	2.5%	8,800	254	2.9%	9,326	221	2.4%	9,346	248	2.7%	9,338	273	2.9%
				対10%値	8,653	3,735	43.2%	8,800	3,794	43.1%	9,326	3,966	42.5%	9,346	3,963	42.4%	9,338	4,016	43.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-7　水道水質基準項目の水道水質データの整理結果（3/4）

番号	項目名	基準値※1 (mg/L)	区分	評価	H30 ※2			R01 ※3			R02 ※4			R03 ※5			R04 ※6		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
基-28	トリクロロ酢酸	0.03mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,649	4	0.0%	8,800	9	0.1%	9,325	8	0.1%	9,346	10	0.1%	9,338	7	0.1%
				対50%値	8,649	385	4.5%	8,800	417	4.7%	9,325	372	4.0%	9,346	413	4.4%	9,338	468	5.0%
				対10%値	8,649	2,799	32.4%	8,800	2,824	32.1%	9,325	2,952	31.7%	9,346	2,948	31.5%	9,338	3,013	32.3%
基-29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	2	0.0%	8,800	0	0.0%	9,326	3	0.0%	9,346	1	0.0%	9,338	3	0.0%
				対50%値	8,653	170	2.0%	8,800	206	2.3%	9,326	211	2.3%	9,346	183	2.0%	9,338	187	2.0%
				対10%値	8,653	3,234	37.4%	8,800	3,291	37.4%	9,326	3,479	37.3%	9,346	3,420	36.6%	9,338	3,501	37.5%
基-30	ブロモホルム	0.09mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,653	0	0.0%	8,800	0	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対50%値	8,653	1	0.0%	8,800	4	0.0%	9,326	1	0.0%	9,346	2	0.0%	9,338	3	0.0%
				対10%値	8,653	182	2.1%	8,800	150	1.7%	9,326	168	1.8%	9,346	142	1.5%	9,338	176	1.9%
基-31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L	健康項目（消）	対基準値	8,651	0	0.0%	8,801	0	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,338	0	0.0%
				対50%値	8,651	1	0.0%	8,801	3	0.0%	9,326	0	0.0%	9,346	0	0.0%	9,338	1	0.0%
				対10%値	8,651	47	0.5%	8,801	48	0.5%	9,326	83	0.9%	9,346	109	1.2%	9,338	52	0.6%
基-32	亜鉛及びその化合物	1mg/L	性状項目	対基準値	7,973	0	0.0%	8,248	0	0.0%	8,489	0	0.0%	8,569	0	0.0%	8,779	0	0.0%
				対50%値	7,973	1	0.0%	8,248	2	0.0%	8,489	1	0.0%	8,569	2	0.0%	8,779	2	0.0%
				対10%値	7,973	31	0.4%	8,248	29	0.4%	8,489	29	0.3%	8,569	30	0.4%	8,779	22	0.3%
基-33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L	性状項目	対基準値	8,104	13	0.2%	8,408	10	0.1%	8,663	14	0.2%	8,716	11	0.1%	8,927	10	0.1%
				対50%値	8,104	146	1.8%	8,408	144	1.7%	8,663	146	1.7%	8,716	133	1.5%	8,927	129	1.4%
				対10%値	8,104	1,828	22.6%	8,408	1,892	22.5%	8,663	1,966	22.7%	8,716	1,887	21.6%	8,927	1,984	22.2%
基-34	鉄及びその化合物	0.3mg/L	性状項目	対基準値	8,062	2	0.0%	8,361	1	0.0%	8,598	1	0.0%	8,658	0	0.0%	8,886	3	0.0%
				対50%値	8,062	24	0.3%	8,361	40	0.5%	8,598	31	0.4%	8,658	32	0.4%	8,886	32	0.4%
				対10%値	8,062	439	5.4%	8,361	451	5.4%	8,598	447	5.2%	8,658	439	5.1%	8,886	447	5.0%
基-35	銅及びその化合物	1mg/L	性状項目	対基準値	7,972	0	0.0%	8,245	0	0.0%	8,488	0	0.0%	8,542	0	0.0%	8,746	0	0.0%
				対50%値	7,972	2	0.0%	8,245	1	0.0%	8,488	4	0.0%	8,542	3	0.0%	8,746	3	0.0%
				対10%値	7,972	30	0.4%	8,245	28	0.3%	8,488	31	0.4%	8,542	24	0.3%	8,746	26	0.3%
基-36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L	性状項目	対基準値	7,949	0	0.0%	8,220	0	0.0%	8,474	0	0.0%	8,535	1	0.0%	8,727	0	0.0%
				対50%値	7,949	3	0.0%	8,220	6	0.1%	8,474	5	0.1%	8,535	6	0.1%	8,727	6	0.1%
				対10%値	7,949	730	9.2%	8,220	728	8.9%	8,474	735	8.7%	8,535	740	8.7%	8,727	760	8.7%
基-37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L	性状項目	対基準値	7,995	0	0.0%	8,275	1	0.0%	8,522	0	0.0%	8,604	0	0.0%	8,816	2	0.0%
				対50%値	7,995	13	0.2%	8,275	11	0.1%	8,522	10	0.1%	8,604	14	0.2%	8,816	14	0.2%
				対10%値	7,995	130	1.6%	8,275	151	1.8%	8,522	147	1.7%	8,604	136	1.6%	8,816	130	1.5%
基-38	塩化物イオン	200mg/L	性状項目	対基準値	8,666	0	0.0%	8,812	0	0.0%	9,336	0	0.0%	9,359	1	0.0%	9,344	0	0.0%
				対50%値	8,666	18	0.2%	8,812	16	0.2%	9,336	18	0.2%	9,359	19	0.2%	9,344	29	0.3%
				対10%値	8,666	1,268	14.6%	8,812	1,280	14.5%	9,336	1,403	15.0%	9,359	1,388	14.8%	9,344	1,429	15.3%
基-39	カルシウム、マグネシウム(硬度)	300mg/L	性状項目	対基準値	8,225	0	0.0%	8,427	0	0.0%	8,798	0	0.0%	8,884	2	0.0%	9,002	0	0.0%
				対50%値	8,225	67	0.8%	8,427	72	0.9%	8,798	77	0.9%	8,884	87	1.0%	9,002	74	0.8%
				対10%値	8,225	5,541	67.4%	8,427	5,702	67.7%	8,798	5,900	67.1%	8,884	5,907	66.5%	9,002	5,953	66.1%
基-40	蒸発残留物	500mg/L	性状項目	対基準値	8,343	0	0.0%	8,511	0	0.0%	8,946	0	0.0%	9,058	2	0.0%	9,065	1	0.0%
				対50%値	8,343	211	2.5%	8,511	248	2.9%	8,946	249	2.8%	9,058	230	2.5%	9,065	262	2.9%
				対10%値	8,343	7,479	89.6%	8,511	7,662	90.0%	8,946	8,030	89.8%	9,058	8,100	89.4%	9,065	8,114	89.5%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-7　水道水質基準項目の水道水質データの整理結果（4/4）

番号	項目名	基準値※1 (mg/L)	区分	評価	H30 ※2			R01 ※3			R02 ※4			R03 ※5			R04 ※6		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
基-41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L	性状項目	対基準値	7,756	0	0.0%	8,009	0	0.0%	8,263	0	0.0%	8,332	0	0.0%	8,527	0	0.0%
				対50%値	7,756	0	0.0%	8,009	0	0.0%	8,263	0	0.0%	8,332	0	0.0%	8,527	0	0.0%
				対10%値	7,756	0	0.0%	8,009	0	0.0%	8,263	0	0.0%	8,332	0	0.0%	8,527	0	0.0%
基-42	ジェオスミン	0.00001mg/L	性状項目	対基準値	7,954	4	0.1%	8,251	0	0.0%	8,545	2	0.0%	8,544	1	0.0%	8,711	8	0.1%
				対50%値	7,954	41	0.5%	8,251	53	0.6%	8,545	58	0.7%	8,544	44	0.5%	8,711	78	0.9%
				対10%値	7,954	689	8.7%	8,251	691	8.4%	8,545	720	8.4%	8,544	684	8.0%	8,711	733	8.4%
基-43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L	性状項目	対基準値	7,952	2	0.0%	8,248	2	0.0%	8,544	5	0.1%	8,545	2	0.0%	8,708	5	0.1%
				対50%値	7,952	19	0.2%	8,248	28	0.3%	8,544	31	0.4%	8,545	16	0.2%	8,708	27	0.3%
				対10%値	7,952	365	4.6%	8,248	370	4.5%	8,544	382	4.5%	8,545	349	4.1%	8,708	354	4.1%
基-44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L	性状項目	対基準値	7,848	0	0.0%	8,091	0	0.0%	8,370	0	0.0%	8,463	0	0.0%	8,625	0	0.0%
				対50%値	7,848	3	0.0%	8,091	6	0.1%	8,370	0	0.0%	8,463	1	0.0%	8,625	2	0.0%
				対10%値	7,848	364	4.6%	8,091	500	6.2%	8,370	598	7.1%	8,463	626	7.4%	8,625	639	7.4%
基-45	フェノール類	0.005mg/L	性状項目	対基準値	7,742	0	0.0%	8,008	0	0.0%	8,261	0	0.0%	8,330	0	0.0%	8,507	0	0.0%
				対50%値	7,742	6	0.1%	8,008	8	0.1%	8,261	11	0.1%	8,330	0	0.0%	8,507	0	0.0%
				対10%値	7,742	7	0.1%	8,008	10	0.1%	8,261	12	0.1%	8,330	1	0.0%	8,507	5	0.1%
基-46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L	性状項目	対基準値	8,666	0	0.0%	8,813	1	0.0%	9,338	0	0.0%	9,359	0	0.0%	9,347	0	0.0%
				対50%値	8,666	109	1.3%	8,813	136	1.5%	9,338	150	1.6%	9,359	160	1.7%	9,347	148	1.6%
				対10%値	8,666	4,600	53.1%	8,813	4,717	53.5%	9,338	5,132	55.0%	9,359	5,186	55.4%	9,347	5,043	54.0%
基-47	pH値	5.8-8.6	性状項目	酸側超	8,666	2	0.0%	8,813	2	0.0%	9,339	3	0.0%	9,359	4	0.0%	9,347	2	0.0%
				アルカリ側超	8,666	4	0.0%	8,813	0	0.0%	9,339	5	0.1%	9,359	2	0.0%	9,347	1	0.0%
基-48	味	異常でない	性状項目	異常でない	8,668	1	0.0%	8,813	0	0.0%	9,338	0	0.0%	9,358	2	0.0%	9,347	0	0.0%
基-49	臭気	異常でない	性状項目	異常でない	8,668	6	0.1%	8,813	5	0.1%	9,339	6	0.1%	9,359	7	0.1%	9,347	8	0.1%
基-50	色度	5度	性状項目	対基準値	8,668	10	0.1%	8,813	7	0.1%	9,339	9	0.1%	9,359	8	0.1%	9,347	8	0.1%
				対50%値	8,668	192	2.2%	8,813	191	2.2%	9,339	211	2.3%	9,359	186	2.0%	9,347	195	2.1%
				対10%値	8,668	2,310	26.6%	8,813	2,249	25.5%	9,339	2,522	27.0%	9,359	2,425	25.9%	9,347	2,374	25.4%
基-51	濁度	2度	性状項目	対基準値	8,668	3	0.0%	8,813	1	0.0%	9,339	4	0.0%	9,359	4	0.0%	9,347	5	0.1%
				対50%値	8,668	58	0.7%	8,813	68	0.8%	9,339	68	0.7%	9,359	61	0.7%	9,347	62	0.7%
				対10%値	8,668	531	6.1%	8,813	526	6.0%	9,339	634	6.8%	9,359	569	6.1%	9,347	592	6.3%

※1　令和6年4月1日時点の基準値で評価。「六価クロム化合物」は基準値変更後（令和2年度）の値で評価。
※2　平成30年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過1地点が誤報告であることを確認）。
トリクロロエチレン（対50%値超過1地点）
※3　令和元年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過多数が誤報告であることを確認）。
六価クロム化合物（対10%値超過多数）、トリクロロエチレン（対50%値超過2地点）、陰イオン界面活性剤（対50%値超過3地点）
※4　令和2年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過7地点が誤報告であることを確認）。
トリクロロエチレン（対50%値超過3地点）、ベンゼン（対50%値超過2地点）、陰イオン界面活性剤（対50%値超過2地点）
※5　令和3年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過多数が誤報告であることを確認）。
カドミウム及びその化合物（対50%値超過4地点）、水銀及びその化合物（対50%値超過10地点）、セレン及びその化合物（対50%値超過2地点）等
※6　令和4年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過多数が誤報告であることを確認）。
カドミウム及びその化合物（対基準値超過1地点、対50%値超過5地点）、水銀及びその化合物（対50%値超過9地点）、セレン及びその化合物（対50%値超過1地点）等

（令和６年４月１日時点）

表 2-8　水質管理目標設定項目の水道水質データの整理結果（1/3）

番号	項目名	目標値※1（mg/L）	区分	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
目-1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/L	健康項目	対目標値	2,440	0	0.0%	2,456	0	0.0%	2,473	0	0.0%	2,484	0	0.0%	2,458	0	0.0%
				対50%値	2,440	0	0.0%	2,456	0	0.0%	2,473	0	0.0%	2,484	0	0.0%	2,458	0	0.0%
				対10%値	2,440	8	0.3%	2,456	2	0.1%	2,473	2	0.1%	2,484	3	0.1%	2,458	3	0.1%
目-2	ウラン及びその化合物	0.002mg/L	健康項目	対目標値	2,414	0	0.0%	2,432	0	0.0%	2,461	0	0.0%	2,471	0	0.0%	2,447	0	0.0%
				対50%値	2,414	3	0.1%	2,432	7	0.3%	2,461	3	0.1%	2,471	3	0.1%	2,447	5	0.2%
				対10%値	2,414	38	1.6%	2,432	45	1.9%	2,461	50	2.0%	2,471	54	2.2%	2,447	64	2.6%
目-3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/L	健康項目	対目標値	2,717	0	0.0%	2,728	0	0.0%	2,739	0	0.0%	2,756	0	0.0%	2,717	0	0.0%
				対50%値	2,717	1	0.0%	2,728	0	0.0%	2,739	0	0.0%	2,756	0	0.0%	2,717	0	0.0%
				対10%値	2,717	26	1.0%	2,728	25	0.9%	2,739	22	0.8%	2,756	26	0.9%	2,717	21	0.8%
目-5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L	健康項目	対目標値	2,355	0	0.0%	2,362	0	0.0%	2,371	0	0.0%	2,377	0	0.0%	2,327	0	0.0%
				対50%値	2,355	2	0.1%	2,362	0	0.0%	2,371	0	0.0%	2,377	0	0.0%	2,327	0	0.0%
				対10%値	2,355	2	0.1%	2,362	0	0.0%	2,371	0	0.0%	2,377	0	0.0%	2,327	2	0.1%
目-8	トルエン	0.4mg/L	健康項目	対目標値	2,406	0	0.0%	2,410	0	0.0%	2,418	0	0.0%	2,424	0	0.0%	2,392	0	0.0%
				対50%値	2,406	0	0.0%	2,410	0	0.0%	2,418	0	0.0%	2,424	0	0.0%	2,392	0	0.0%
				対10%値	2,406	0	0.0%	2,410	0	0.0%	2,418	0	0.0%	2,424	0	0.0%	2,392	0	0.0%
目-9	フタル酸ジ（2－エチルヘキシル）	0.08mg/L	健康項目	対目標値	2,129	0	0.0%	2,151	0	0.0%	2,174	0	0.0%	2,179	0	0.0%	2,183	0	0.0%
				対50%値	2,129	1	0.0%	2,151	0	0.0%	2,174	0	0.0%	2,179	0	0.0%	2,183	0	0.0%
				対10%値	2,129	2	0.1%	2,151	14	0.7%	2,174	6	0.3%	2,179	15	0.7%	2,183	1	0.0%
目-10	亜塩素酸	0.6mg/L	健康項目（消）	対目標値	1,253	0	0.0%	1,263	0	0.0%	1,258	0	0.0%	1,251	0	0.0%	1,304	0	0.0%
				対50%値	1,253	1	0.1%	1,263	0	0.0%	1,258	0	0.0%	1,251	0	0.0%	1,304	0	0.0%
				対10%値	1,253	1	0.1%	1,263	4	0.3%	1,258	1	0.1%	1,251	1	0.1%	1,304	1	0.1%
目-12	二酸化塩素	0.6mg/L	健康項目（消）	対目標値	644	0	0.0%	648	0	0.0%	637	0	0.0%	634	0	0.0%	620	0	0.0%
				対50%値	644	0	0.0%	648	0	0.0%	637	0	0.0%	634	0	0.0%	620	0	0.0%
				対10%値	644	0	0.0%	648	0	0.0%	637	0	0.0%	634	0	0.0%	620	0	0.0%
目-13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L	健康項目（消）	対目標値	3,068	0	0.0%	3,092	0	0.0%	3,106	0	0.0%	3,102	0	0.0%	3,042	0	0.0%
				対50%値	3,068	3	0.1%	3,092	5	0.2%	3,106	4	0.1%	3,102	7	0.2%	3,042	8	0.3%
				対10%値	3,068	335	10.9%	3,092	388	12.5%	3,106	303	9.8%	3,102	339	10.9%	3,042	343	11.3%
目-14	抱水クロラール	0.02mg/L	健康項目（消）	対目標値	3,066	0	0.0%	3,096	0	0.0%	3,108	1	0.0%	3,104	1	0.0%	3,045	0	0.0%
				対50%値	3,066	19	0.6%	3,096	30	1.0%	3,108	21	0.7%	3,104	22	0.7%	3,045	34	1.1%
				対10%値	3,066	815	26.6%	3,096	832	26.9%	3,108	770	24.8%	3,104	746	24.0%	3,045	788	25.9%
目-15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	健康項目	対目標値	828	0	0.0%	873	0	0.0%	877	0	0.0%	877	0	0.0%	835	0	0.0%
				対50%値	828	4	0.5%	873	4	0.5%	877	3	0.3%	877	0	0.0%	835	0	0.0%
				対10%値	828	8	1.0%	873	5	0.6%	877	4	0.5%	877	1	0.1%	835	0	0.0%
目-16	残留塩素	1mg/L	性状項目	対目標値	8,498	61	0.7%	8,668	77	0.9%	9,092	68	0.7%	9,133	64	0.7%	9,152	78	0.9%
				対50%値	8,498	2,271	26.7%	8,668	2,301	26.5%	9,092	2,446	26.9%	9,133	2,444	26.8%	9,152	2,492	27.2%
				対10%値	8,498	8,360	98.4%	8,668	8,556	98.7%	9,092	8,975	98.7%	9,133	9,035	98.9%	9,152	9,034	98.7%
目-17	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	10-100mg/L	性状項目	<10	8,225	226	2.7%	8,427	242	2.9%	8,798	473	5.4%	8,884	341	3.8%	9,002	288	3.2%
				> 100	8,225	503	6.1%	8,427	492	5.8%	8,798	96	1.1%	8,884	515	5.8%	9,002	529	5.9%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-8　水質管理目標設定項目の水道水質データの整理結果（2/3）

番号	項目名	目標値※1（mg/L）	区分	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
目-18	マンガン	0.01mg/L	性状項目	対目標値	7,995	61	0.8%	8,275	58	0.7%	8,522	64	0.8%	8,604	48	0.6%	8,816	54	0.6%
				対50%値	7,995	130	1.6%	8,275	151	1.8%	8,522	147	1.7%	8,604	136	1.6%	8,816	133	1.5%
				対10%値	7,995	628	7.9%	8,275	757	9.1%	8,522	801	9.4%	8,604	779	9.1%	8,816	875	9.9%
目-19	遊離炭酸	20mg/L	性状項目	対目標値	2,657	96	3.6%	2,677	103	52.5%	2,701	100	51.6%	2,715	100	3.7%	2,803	125	4.5%
				対50%値	2,657	385	14.5%	2,677	388	80.5%	2,701	376	77.9%	2,715	384	14.1%	2,803	398	14.2%
				対10%値	2,657	1,983	74.6%	2,677	2,032	64.8%	2,701	2,016	63.6%	2,715	2,025	74.6%	2,803	2,062	73.6%
目-20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L	性状項目	対目標値	2,469	0	0.0%	2,484	0	0.0%	2,494	0	0.0%	2,503	0	0.0%	2,454	0	0.0%
				対50%値	2,469	0	0.0%	2,484	0	0.0%	2,494	0	0.0%	2,503	0	0.0%	2,454	0	0.0%
				対10%値	2,469	0	0.0%	2,484	0	0.0%	2,494	0	0.0%	2,503	0	0.0%	2,454	0	0.0%
目-21	メチル－t－ブチルエーテル（MTBE）	0.02mg/L	性状項目	対目標値	2,348	0	0.0%	2,358	0	0.0%	2,375	0	0.0%	2,388	0	0.0%	2,332	0	0.0%
				対50%値	2,348	1	0.0%	2,358	1	0.0%	2,375	0	0.0%	2,388	0	0.0%	2,332	0	0.0%
				対10%値	2,348	1	0.0%	2,358	1	0.0%	2,375	0	0.0%	2,388	3	0.1%	2,332	3	0.1%
目-22	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3mg/L	性状項目	対目標値	1,834	29	1.6%	1,824	40	2.2%	1,832	28	1.5%	1,867	21	1.1%	1,877	37	2.0%
				対50%値	1,834	402	21.9%	1,824	426	23.4%	1,832	395	21.6%	1,867	389	20.8%	1,877	370	19.7%
				対10%値	1,834	1,473	80.3%	1,824	1,465	80.3%	1,832	1,490	81.3%	1,867	1,500	80.3%	1,877	1,502	80.0%
目-23	臭気強度（TON）	3 TON	性状項目	対目標値	2,358	34	1.4%	2,356	11	0.5%	2,351	6	0.3%	2,385	8	0.3%	2,425	9	0.4%
				対50%値	2,358	138	5.9%	2,356	98	4.2%	2,351	92	3.9%	2,385	61	2.6%	2,425	65	2.7%
				対10%値	2,358	472	20.0%	2,356	491	20.8%	2,351	405	17.2%	2,385	389	16.3%	2,425	394	16.2%
目-24	蒸発残留物	30-200mg/L	性状項目	<30	8,343	76	0.9%	8,511	66	0.8%	8,946	94	1.1%	9,058	61	0.7%	9,065	102	1.1%
				> 200	8,343	681	8.2%	8,511	729	8.6%	8,946	737	8.2%	9,058	687	7.6%	9,065	736	8.1%
目-25	濁度	1度	性状項目	対目標値	8,668	58	0.7%	8,813	68	0.8%	9,339	68	0.7%	9,359	61	0.7%	9,347	62	0.7%
				対50%値	8,668	208	2.4%	8,813	191	2.2%	9,339	217	2.3%	9,359	201	2.1%	9,347	209	2.2%
				対10%値	8,668	1,089	12.6%	8,813	1,119	12.7%	9,339	1,290	13.8%	9,359	1,256	13.4%	9,347	1,268	13.6%
目-26	pH値	7.5程度	性状項目	7.3以下	8,667	3,094	35.7%	8,813	3,091	35.1%	9,339	6,605	70.7%	9,359	6,670	71.3%	9,347	6,579	70.4%
				7.7以上	8,667	2,838	32.7%	8,813	2,998	34.0%	9,339	3,172	34.0%	9,359	3,102	33.1%	9,347	3,066	32.8%
目-27	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上とし、極力0に近づける	性状項目	<-1	2,644	1,777	67.2%	2,668	1,943	72.8%	2,662	1,799	67.6%	2,674	1,835	68.6%	2,741	1,827	66.7%
				>0	2,644	72	2.7%	2,668	79	3.0%	2,662	93	3.5%	2,674	101	3.8%	2,741	102	3.7%
目-28	従属栄養細菌	1mLの検水で形成される集落数が2,000以下	健康項目	対目標値	2,932	4	0.1%	2,960	2	0.1%	2,990	1	0.0%	3,028	0	0.0%	3,059	0	0.0%
				対50%値	2,932	8	0.3%	2,960	5	0.2%	2,990	5	0.2%	3,028	2	0.1%	3,059	1	0.0%
				対10%値	2,932	42	1.4%	2,960	55	1.9%	2,990	55	1.8%	3,028	45	1.5%	3,059	37	1.2%
目-29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L	健康項目	対目標値	2,472	0	0.0%	2,474	0	0.0%	2,476	0	0.0%	2,485	0	0.0%	2,464	0	0.0%
				対50%値	2,472	0	0.0%	2,474	0	0.0%	2,476	0	0.0%	2,485	0	0.0%	2,464	0	0.0%
				対10%値	2,472	0	0.0%	2,474	0	0.0%	2,476	1	0.0%	2,485	1	0.0%	2,464	1	0.0%
目-30	アルミニウム	0.1mg/L	性状項目	対目標値	8,104	146	1.8%	8,408	144	1.7%	8,663	14	0.2%	8,716	133	1.5%	8,927	129	1.4%
				対50%値	8,104	608	7.5%	8,408	634	7.5%	8,663	146	1.7%	8,716	589	6.8%	8,927	647	7.2%
				対10%値	8,104	2,819	34.8%	8,408	2,966	35.3%	8,663	1,966	22.7%	8,716	2,977	34.2%	8,927	3,087	34.6%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-8　水質管理目標設定項目の水道水質データの整理結果（3/3）

番号	項目名	目標値※1（mg/L）	区分	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
目-31	ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）	0.00005mg/L	健康項目	対目標値							589	5	0.8%	1,247	2	0.2%	1,503	1	0.1%
				対50%値							589	13	2.2%	1,247	19	1.5%	1,503	21	1.4%
				対10%値							589	162	27.5%	1,247	157	12.6%	1,503	204	13.6%

※1　令和6年4月1日時点の目標値で評価。
※2　令和元年度の1,2-ジクロロエタンについては、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過8地点、対10%値超過1地点が誤報告であることを確認）。
※3　令和2年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している（対50%値超過4地点が誤報告であることを確認）。
　　アンチモン及びその化合物（対50%値超過1地点）、1,2-ジクロロエタン（対50%値超過1地点）、1,1,1-トリクロロエタン（対50%値超過1地点）、メチル－t－ブチルエーテル（MTBE）（対50%値超過1地点）
※4　令和3年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　農薬類（対50%値超過2地点）、ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)（対50%値超過50地点）
※5　令和4年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　ウラン及びその化合物（対50%値超過1地点）、農薬類（対50%値超過1地点）

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（1/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	0.05	対目標値超	572	0	0.0%	653	0	0.0%	651	0	0.0%	699	0	0.0%	654	0	0.0%
				対50%値超	572	0	0.0%	653	0	0.0%	651	0	0.0%	699	0	0.0%	654	0	0.0%
				対10%値超	572	0	0.0%	653	0	0.0%	651	0	0.0%	699	0	0.0%	654	0	0.0%
				対 1%値超	572	0	0.0%	653	0	0.0%	651	0	0.0%	699	0	0.0%	654	1	0.2%
対	2	ダラポン	0.08	対目標値超	411	0	0.0%	480	0	0.0%	458	0	0.0%	444	0	0.0%	433	0	0.0%
				対50%値超	411	0	0.0%	480	0	0.0%	458	0	0.0%	444	0	0.0%	433	0	0.0%
				対10%値超	411	0	0.0%	480	0	0.0%	458	0	0.0%	444	0	0.0%	433	0	0.0%
				対 1%値超	411	0	0.0%	480	2	0.4%	458	3	0.7%	444	0	0.0%	433	11	2.5%
対	3	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)	0.02	対目標値超	535	0	0.0%	620	0	0.0%	599	0	0.0%	602	0	0.0%	585	0	0.0%
				対50%値超	535	0	0.0%	620	0	0.0%	599	0	0.0%	602	0	0.0%	585	0	0.0%
				対10%値超	535	0	0.0%	620	0	0.0%	599	0	0.0%	602	0	0.0%	585	0	0.0%
				対 1%値超	535	0	0.0%	620	0	0.0%	599	1	0.2%	602	0	0.0%	585	0	0.0%
対	4	EPN	0.004	対目標値超	565	0	0.0%	672	0	0.0%	691	0	0.0%	710	0	0.0%	652	0	0.0%
				対50%値超	565	0	0.0%	672	0	0.0%	691	0	0.0%	710	0	0.0%	652	0	0.0%
				対10%値超	565	0	0.0%	672	0	0.0%	691	0	0.0%	710	0	0.0%	652	0	0.0%
				対 1%値超	565	0	0.0%	672	2	0.3%	691	2	0.3%	710	0	0.0%	652	0	0.0%
対	5	MCPA	0.005	対目標値超	423	0	0.0%	524	0	0.0%	507	0	0.0%	536	0	0.0%	539	0	0.0%
				対50%値超	423	0	0.0%	524	0	0.0%	507	0	0.0%	536	0	0.0%	539	0	0.0%
				対10%値超	423	0	0.0%	524	0	0.0%	507	0	0.0%	536	0	0.0%	539	0	0.0%
				対 1%値超	423	0	0.0%	524	12	2.3%	507	2	0.4%	536	0	0.0%	539	12	2.2%
対	6	アシュラム	0.9	対目標値超	494	0	0.0%	597	0	0.0%	614	0	0.0%	548	0	0.0%	561	0	0.0%
				対50%値超	494	0	0.0%	597	0	0.0%	614	0	0.0%	548	0	0.0%	561	0	0.0%
				対10%値超	494	0	0.0%	597	0	0.0%	614	0	0.0%	548	0	0.0%	561	0	0.0%
				対 1%値超	494	0	0.0%	597	3	0.5%	614	0	0.0%	548	0	0.0%	561	0	0.0%
対	7	アセフェート	0.006	対目標値超	547	0	0.0%	638	0	0.0%	637	0	0.0%	639	0	0.0%	626	0	0.0%
				対50%値超	547	0	0.0%	638	0	0.0%	637	0	0.0%	639	0	0.0%	626	0	0.0%
				対10%値超	547	1	0.2%	638	2	0.3%	637	4	0.6%	639	9	1.4%	626	12	1.9%
				対 1%値超	547	1	0.2%	638	3	0.5%	637	9	1.4%	639	9	1.4%	626	13	2.1%
対	8	アトラジン	0.01	対目標値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	654	0	0.0%	710	0	0.0%	664	0	0.0%
				対50%値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	654	0	0.0%	710	0	0.0%	664	0	0.0%
				対10%値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	654	0	0.0%	710	0	0.0%	664	0	0.0%
				対 1%値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	654	0	0.0%	710	0	0.0%	664	1	0.2%
対	9	アニロホス	0.003	対目標値超	477	0	0.0%	567	0	0.0%	589	0	0.0%	618	0	0.0%	563	0	0.0%
				対50%値超	477	0	0.0%	567	0	0.0%	589	0	0.0%	618	0	0.0%	563	0	0.0%
				対10%値超	477	0	0.0%	567	0	0.0%	589	0	0.0%	618	0	0.0%	563	0	0.0%
				対 1%値超	477	3	0.6%	567	4	0.7%	589	3	0.5%	618	0	0.0%	563	0	0.0%
対	10	アミトラズ	0.006	対目標値超	358	0	0.0%	452	0	0.0%	441	0	0.0%	446	0	0.0%	490	0	0.0%
				対50%値超	358	0	0.0%	452	0	0.0%	441	0	0.0%	446	0	0.0%	490	0	0.0%
				対10%値超	358	0	0.0%	452	0	0.0%	441	0	0.0%	446	0	0.0%	490	0	0.0%
				対 1%値超	358	0	0.0%	452	1	0.2%	441	5	1.1%	446	0	0.0%	490	12	2.4%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（2/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	11	アラクロール	0.03	対目標値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	656	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対50%値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	656	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対10%値超	541	0	0.0%	638	0	0.0%	656	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対 1%値超	541	0	0.0%	638	1	0.2%	656	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
対	12	イソキサチオン	0.005	対目標値超	582	0	0.0%	694	0	0.0%	730	0	0.0%	752	0	0.0%	716	0	0.0%
				対50%値超	582	0	0.0%	694	0	0.0%	730	0	0.0%	752	0	0.0%	716	0	0.0%
				対10%値超	582	0	0.0%	694	0	0.0%	730	0	0.0%	752	0	0.0%	716	0	0.0%
				対 1%値超	582	0	0.0%	694	0	0.0%	730	1	0.1%	752	0	0.0%	716	0	0.0%
対	13	イソフェンホス	0.001	対目標値超	508	0	0.0%	628	0	0.0%	652	0	0.0%	614	0	0.0%	558	0	0.0%
				対50%値超	508	0	0.0%	628	0	0.0%	652	0	0.0%	614	0	0.0%	558	0	0.0%
				対10%値超	508	0	0.0%	628	0	0.0%	652	0	0.0%	614	0	0.0%	558	0	0.0%
				対 1%値超	508	3	0.6%	628	5	0.8%	652	4	0.6%	614	0	0.0%	558	10	1.8%
対	14	イソプロカルブ(MIPC)	0.01	対目標値超	532	0	0.0%	606	0	0.0%	612	0	0.0%	641	0	0.0%	587	0	0.0%
				対50%値超	532	0	0.0%	606	0	0.0%	612	0	0.0%	641	0	0.0%	587	0	0.0%
				対10%値超	532	0	0.0%	606	0	0.0%	612	0	0.0%	641	0	0.0%	587	0	0.0%
				対 1%値超	532	0	0.0%	606	0	0.0%	612	0	0.0%	641	0	0.0%	587	0	0.0%
対	15	イソプロチオラン(IPT)	0.3	対目標値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	727	0	0.0%	675	0	0.0%
				対50%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	727	0	0.0%	675	0	0.0%
				対10%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	727	0	0.0%	675	0	0.0%
				対 1%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	727	0	0.0%	675	0	0.0%
対	17	イプフェンカルバゾン	0.002	対目標値超				36	0	0.0%	30	0	0.0%	36	0	0.0%	449	0	0.0%
				対50%値超				36	0	0.0%	30	0	0.0%	36	0	0.0%	449	0	0.0%
				対10%値超				36	0	0.0%	30	0	0.0%	36	0	0.0%	449	4	0.9%
				対 1%値超				36	5	13.9%	30	5	16.7%	36	3	8.3%	449	11	2.4%
対	18	イプロベンホス(IBP)	0.09	対目標値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	690	0	0.0%	639	0	0.0%
				対50%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	690	0	0.0%	639	0	0.0%
				対10%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	690	0	0.0%	639	0	0.0%
				対 1%値超	584	0	0.0%	687	0	0.0%	713	0	0.0%	690	0	0.0%	639	0	0.0%
対	19	イミノクタジン酢酸塩	0.006	対目標値超	381	0	0.0%	430	0	0.0%	423	0	0.0%	472	0	0.0%	483	0	0.0%
				対50%値超	381	3	0.8%	430	4	0.9%	423	1	0.2%	472	0	0.0%	483	0	0.0%
				対10%値超	381	3	0.8%	430	4	0.9%	423	1	0.2%	472	0	0.0%	483	0	0.0%
				対 1%値超	381	3	0.8%	430	4	0.9%	423	1	0.2%	472	0	0.0%	483	1	0.2%
対	20	インダノファン	0.009	対目標値超	487	0	0.0%	585	0	0.0%	576	0	0.0%	567	0	0.0%	570	0	0.0%
				対50%値超	487	0	0.0%	585	0	0.0%	576	0	0.0%	567	0	0.0%	570	0	0.0%
				対10%値超	487	0	0.0%	585	0	0.0%	576	0	0.0%	567	0	0.0%	570	0	0.0%
				対 1%値超	487	0	0.0%	585	0	0.0%	576	3	0.5%	567	0	0.0%	570	3	0.5%
対	21	エスプロカルブ	0.03	対目標値超	539	0	0.0%	639	0	0.0%	665	0	0.0%	704	0	0.0%	655	0	0.0%
				対50%値超	539	0	0.0%	639	0	0.0%	665	0	0.0%	704	0	0.0%	655	0	0.0%
				対10%値超	539	0	0.0%	639	0	0.0%	665	0	0.0%	704	0	0.0%	655	0	0.0%
				対 1%値超	539	0	0.0%	639	0	0.0%	665	0	0.0%	704	0	0.0%	655	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（3/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	21	エトフェンプロックス	0.08	対目標値超	626	0	0.0%	732	0	0.0%	739	0	0.0%	810	0	0.0%	751	0	0.0%
				対50%値超	626	0	0.0%	732	0	0.0%	739	0	0.0%	810	0	0.0%	751	0	0.0%
				対10%値超	626	0	0.0%	732	0	0.0%	739	0	0.0%	810	0	0.0%	751	0	0.0%
				対 1%値超	626	0	0.0%	732	3	0.4%	739	0	0.0%	810	0	0.0%	751	0	0.0%
対	22	ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ(ﾍﾟﾝｿﾞｴﾋﾟﾝ, ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｪｰﾄ)	0.01	対目標値超	442	0	0.0%	532	0	0.0%	556	0	0.0%	525	0	0.0%	483	0	0.0%
				対50%値超	442	0	0.0%	532	0	0.0%	556	0	0.0%	525	0	0.0%	483	0	0.0%
				対10%値超	442	0	0.0%	532	0	0.0%	556	0	0.0%	525	0	0.0%	483	0	0.0%
				対 1%値超	442	0	0.0%	532	0	0.0%	556	0	0.0%	525	0	0.0%	483	1	0.2%
対	23	オキサジクロメホン	0.02	対目標値超	463	0	0.0%	550	0	0.0%	557	0	0.0%	540	0	0.0%	605	0	0.0%
				対50%値超	463	0	0.0%	550	0	0.0%	557	0	0.0%	540	0	0.0%	605	0	0.0%
				対10%値超	463	0	0.0%	550	0	0.0%	557	0	0.0%	540	0	0.0%	605	0	0.0%
				対 1%値超	463	0	0.0%	550	0	0.0%	557	0	0.0%	540	0	0.0%	605	0	0.0%
対	24	オキシン銅	0.03	対目標値超	484	0	0.0%	556	0	0.0%	548	0	0.0%	544	0	0.0%	553	0	0.0%
				対50%値超	484	0	0.0%	556	0	0.0%	548	0	0.0%	544	0	0.0%	553	0	0.0%
				対10%値超	484	0	0.0%	556	0	0.0%	548	0	0.0%	544	0	0.0%	553	0	0.0%
				対 1%値超	484	3	0.6%	556	3	0.5%	548	3	0.5%	544	0	0.0%	553	0	0.0%
対	25	オリサストロビン	0.1	対目標値超	395	0	0.0%	493	0	0.0%	510	0	0.0%	464	0	0.0%	457	0	0.0%
				対50%値超	395	0	0.0%	493	0	0.0%	510	0	0.0%	464	0	0.0%	457	0	0.0%
				対10%値超	395	0	0.0%	493	0	0.0%	510	0	0.0%	464	0	0.0%	457	0	0.0%
				対 1%値超	395	0	0.0%	493	0	0.0%	510	0	0.0%	464	0	0.0%	457	0	0.0%
対	26	カズサホス	0.0006	対目標値超	420	0	0.0%	518	0	0.0%	503	0	0.0%	505	0	0.0%	514	0	0.0%
				対50%値超	420	0	0.0%	518	0	0.0%	503	0	0.0%	505	0	0.0%	514	0	0.0%
				対10%値超	420	0	0.0%	518	0	0.0%	503	0	0.0%	505	0	0.0%	514	0	0.0%
				対 1%値超	420	1	0.2%	518	1	0.2%	503	1	0.2%	505	0	0.0%	514	0	0.0%
対	27	カフェンストロール	0.008	対目標値超	607	0	0.0%	721	0	0.0%	736	0	0.0%	749	0	0.0%	711	0	0.0%
				対50%値超	607	0	0.0%	721	0	0.0%	736	0	0.0%	749	0	0.0%	711	0	0.0%
				対10%値超	607	0	0.0%	721	0	0.0%	736	0	0.0%	749	0	0.0%	711	0	0.0%
				対 1%値超	607	1	0.2%	721	0	0.0%	736	0	0.0%	749	0	0.0%	711	0	0.0%
対	28	カルタップ	0.08	対目標値超	347	0	0.0%	424	0	0.0%	438	0	0.0%	510	0	0.0%	528	0	0.0%
				対50%値超	347	0	0.0%	424	0	0.0%	438	0	0.0%	510	0	0.0%	528	0	0.0%
				対10%値超	347	0	0.0%	424	0	0.0%	438	0	0.0%	510	0	0.0%	528	0	0.0%
				対 1%値超	347	0	0.0%	424	0	0.0%	438	12	2.7%	510	0	0.0%	528	5	0.9%
対	29	カルバリル(NAC)	0.02	対目標値超	479	0	0.0%	540	0	0.0%	542	0	0.0%	590	0	0.0%	547	0	0.0%
				対50%値超	479	0	0.0%	540	0	0.0%	542	0	0.0%	590	0	0.0%	547	0	0.0%
				対10%値超	479	0	0.0%	540	0	0.0%	542	0	0.0%	590	0	0.0%	547	0	0.0%
				対 1%値超	479	0	0.0%	540	7	1.3%	542	0	0.0%	590	0	0.0%	547	0	0.0%
対	30	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	0.0003	対目標値超	462	0	0.0%	546	0	0.0%	532	0	0.0%	530	0	0.0%	518	0	0.0%
				対50%値超	462	0	0.0%	546	0	0.0%	532	0	0.0%	530	0	0.0%	518	0	0.0%
				対10%値超	462	0	0.0%	546	0	0.0%	532	0	0.0%	530	5	0.9%	518	1	0.2%
				対 1%値超	462	0	0.0%	546	0	0.0%	532	0	0.0%	530	5	0.9%	518	5	1.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（4/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	31	キノクラミン（ACN）	0.005	対目標値超	408	0	0.0%	500	0	0.0%	497	0	0.0%	479	0	0.0%	491	0	0.0%
				対50%値超	408	0	0.0%	500	0	0.0%	497	0	0.0%	479	0	0.0%	491	0	0.0%
				対10%値超	408	0	0.0%	500	0	0.0%	497	0	0.0%	479	0	0.0%	491	0	0.0%
				対 1%値超	408	0	0.0%	500	0	0.0%	497	2	0.4%	479	0	0.0%	491	0	0.0%
対	32	キャプタン	0.3	対目標値超	524	0	0.0%	625	0	0.0%	655	0	0.0%	681	0	0.0%	639	0	0.0%
				対50%値超	524	0	0.0%	625	0	0.0%	655	0	0.0%	681	0	0.0%	639	0	0.0%
				対10%値超	524	0	0.0%	625	0	0.0%	655	0	0.0%	681	0	0.0%	639	0	0.0%
				対 1%値超	524	0	0.0%	625	0	0.0%	655	0	0.0%	681	0	0.0%	639	0	0.0%
対	33	クミルロン	0.03	対目標値超	475	0	0.0%	578	0	0.0%	567	0	0.0%	564	0	0.0%	569	0	0.0%
				対50%値超	475	0	0.0%	578	0	0.0%	567	0	0.0%	564	0	0.0%	569	0	0.0%
				対10%値超	475	0	0.0%	578	0	0.0%	567	0	0.0%	564	0	0.0%	569	0	0.0%
				対 1%値超	475	0	0.0%	578	0	0.0%	567	0	0.0%	564	0	0.0%	569	0	0.0%
対	34	グリホサート	2	対目標値超	458	0	0.0%	519	0	0.0%	525	0	0.0%	620	0	0.0%	603	0	0.0%
				対50%値超	458	0	0.0%	519	0	0.0%	525	0	0.0%	620	0	0.0%	603	0	0.0%
				対10%値超	458	0	0.0%	519	0	0.0%	525	0	0.0%	620	0	0.0%	603	0	0.0%
				対 1%値超	458	0	0.0%	519	0	0.0%	525	0	0.0%	620	0	0.0%	603	0	0.0%
対	35	グルホシネート	0.02	対目標値超	281	0	0.0%	341	0	0.0%	400	0	0.0%	497	0	0.0%	487	0	0.0%
				対50%値超	281	0	0.0%	341	0	0.0%	400	0	0.0%	497	0	0.0%	487	0	0.0%
				対10%値超	281	0	0.0%	341	0	0.0%	400	0	0.0%	497	0	0.0%	487	0	0.0%
				対 1%値超	281	0	0.0%	341	0	0.0%	400	0	0.0%	497	0	0.0%	487	0	0.0%
対	36	クロメプロップ	0.02	対目標値超	442	0	0.0%	533	0	0.0%	521	0	0.0%	496	0	0.0%	530	0	0.0%
				対50%値超	442	0	0.0%	533	0	0.0%	521	0	0.0%	496	0	0.0%	530	0	0.0%
				対10%値超	442	0	0.0%	533	0	0.0%	521	0	0.0%	496	0	0.0%	530	0	0.0%
				対 1%値超	442	0	0.0%	533	0	0.0%	521	0	0.0%	496	0	0.0%	530	0	0.0%
対	37	クロルニトロフェン（CNP）	0.0001	対目標値超	454	0	0.0%	525	0	0.0%	549	0	0.0%	525	0	0.0%	504	0	0.0%
				対50%値超	454	3	0.7%	525	5	1.0%	549	6	1.1%	525	0	0.0%	504	0	0.0%
				対10%値超	454	3	0.7%	525	5	1.0%	549	6	1.1%	525	0	0.0%	504	0	0.0%
				対 1%値超	454	7	1.5%	525	5	1.0%	549	6	1.1%	525	0	0.0%	504	4	0.8%
対	38	クロルピリホス	0.003	対目標値超	566	0	0.0%	685	0	0.0%	721	0	0.0%	745	0	0.0%	681	0	0.0%
				対50%値超	566	0	0.0%	685	0	0.0%	721	0	0.0%	745	0	0.0%	681	0	0.0%
				対10%値超	566	0	0.0%	685	0	0.0%	721	0	0.0%	745	0	0.0%	681	0	0.0%
				対 1%値超	566	0	0.0%	685	3	0.4%	721	4	0.6%	745	0	0.0%	681	9	1.3%
対	39	クロロタロニル(TPN)	0.05	対目標値超	615	0	0.0%	706	0	0.0%	741	0	0.0%	760	0	0.0%	716	0	0.0%
				対50%値超	615	0	0.0%	706	0	0.0%	741	0	0.0%	760	0	0.0%	716	0	0.0%
				対10%値超	615	0	0.0%	706	0	0.0%	741	0	0.0%	760	0	0.0%	716	0	0.0%
				対 1%値超	615	0	0.0%	706	0	0.0%	741	0	0.0%	760	0	0.0%	716	4	0.6%
対	40	シアナジン	0.001	対目標値超	484	0	0.0%	598	0	0.0%	583	0	0.0%	576	0	0.0%	580	0	0.0%
				対50%値超	484	0	0.0%	598	0	0.0%	583	0	0.0%	576	0	0.0%	580	0	0.0%
				対10%値超	484	0	0.0%	598	0	0.0%	583	0	0.0%	576	0	0.0%	580	0	0.0%
				対 1%値超	484	0	0.0%	598	0	0.0%	583	2	0.3%	576	0	0.0%	580	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（5/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	41	シアノホス（CYAP）	0.003	対目標値超	421	0	0.0%	527	0	0.0%	528	0	0.0%	524	0	0.0%	533	0	0.0%
				対50%値超	421	0	0.0%	527	0	0.0%	528	0	0.0%	524	0	0.0%	533	0	0.0%
				対10%値超	421	0	0.0%	527	0	0.0%	528	0	0.0%	524	0	0.0%	533	0	0.0%
				対 1%値超	421	0	0.0%	527	0	0.0%	528	0	0.0%	524	0	0.0%	533	3	0.6%
対	42	ジウロン(DCMU)	0.02	対目標値超	511	0	0.0%	598	0	0.0%	576	0	0.0%	582	0	0.0%	579	0	0.0%
				対50%値超	511	0	0.0%	598	0	0.0%	576	0	0.0%	582	0	0.0%	579	0	0.0%
				対10%値超	511	0	0.0%	598	0	0.0%	576	0	0.0%	582	0	0.0%	579	0	0.0%
				対 1%値超	511	0	0.0%	598	0	0.0%	576	0	0.0%	582	0	0.0%	579	0	0.0%
対	43	ジクロベニル(DBN)	0.03	対目標値超	540	0	0.0%	650	0	0.0%	670	0	0.0%	766	0	0.0%	700	0	0.0%
				対50%値超	540	0	0.0%	650	0	0.0%	670	0	0.0%	766	0	0.0%	700	0	0.0%
				対10%値超	540	0	0.0%	650	0	0.0%	670	0	0.0%	766	0	0.0%	700	0	0.0%
				対 1%値超	540	0	0.0%	650	1	0.2%	670	0	0.0%	766	0	0.0%	700	0	0.0%
対	44	ジクロルボス(DDVP)	0.008	対目標値超	511	0	0.0%	611	0	0.0%	639	0	0.0%	651	0	0.0%	618	0	0.0%
				対50%値超	511	0	0.0%	611	0	0.0%	639	0	0.0%	651	0	0.0%	618	0	0.0%
				対10%値超	511	0	0.0%	611	0	0.0%	639	0	0.0%	651	0	0.0%	618	0	0.0%
				対 1%値超	511	0	0.0%	611	1	0.2%	639	0	0.0%	651	0	0.0%	618	3	0.5%
対	45	ジクワット	0.01	対目標値超	432	0	0.0%	489	0	0.0%	495	0	0.0%	552	0	0.0%	544	0	0.0%
				対50%値超	432	0	0.0%	489	0	0.0%	495	0	0.0%	552	0	0.0%	544	0	0.0%
				対10%値超	432	3	0.7%	489	7	1.4%	495	0	0.0%	552	0	0.0%	544	0	0.0%
				対 1%値超	432	3	0.7%	489	7	1.4%	495	1	0.2%	552	0	0.0%	544	4	0.7%
対	46	エチルチオメトン	0.004	対目標値超	533	0	0.0%	637	0	0.0%	618	0	0.0%	666	0	0.0%	614	0	0.0%
				対50%値超	533	0	0.0%	637	0	0.0%	618	0	0.0%	666	0	0.0%	614	0	0.0%
				対10%値超	533	0	0.0%	637	0	0.0%	618	0	0.0%	666	0	0.0%	614	0	0.0%
				対 1%値超	533	0	0.0%	637	3	0.5%	618	0	0.0%	666	0	0.0%	614	3	0.5%
対	47	ジチオカルバメート系農薬	0.005	対目標値超	243	0	0.0%	316	0	0.0%	316	0	0.0%	427	0	0.0%	419	0	0.0%
				対50%値超	243	0	0.0%	316	3	0.9%	316	0	0.0%	427	0	0.0%	419	0	0.0%
				対10%値超	243	0	0.0%	316	3	0.9%	316	0	0.0%	427	0	0.0%	419	1	0.2%
				対 1%値超	243	3	1.2%	316	7	2.2%	316	1	0.3%	427	0	0.0%	419	2	0.5%
対	48	ジチオピル	0.009	対目標値超	507	0	0.0%	600	0	0.0%	629	0	0.0%	617	0	0.0%	578	0	0.0%
				対50%値超	507	0	0.0%	600	0	0.0%	629	0	0.0%	617	0	0.0%	578	0	0.0%
				対10%値超	507	0	0.0%	600	0	0.0%	629	0	0.0%	617	0	0.0%	578	0	0.0%
				対 1%値超	507	0	0.0%	600	0	0.0%	629	0	0.0%	617	0	0.0%	578	0	0.0%
対	49	シハロホップブチル	0.006	対目標値超	451	0	0.0%	545	0	0.0%	540	0	0.0%	573	0	0.0%	570	0	0.0%
				対50%値超	451	0	0.0%	545	0	0.0%	540	0	0.0%	573	0	0.0%	570	0	0.0%
				対10%値超	451	0	0.0%	545	0	0.0%	540	0	0.0%	573	0	0.0%	570	0	0.0%
				対 1%値超	451	0	0.0%	545	0	0.0%	540	0	0.0%	573	0	0.0%	570	0	0.0%
対	50	シマジン(CAT)	0.003	対目標値超	604	0	0.0%	695	0	0.0%	723	0	0.0%	775	0	0.0%	711	0	0.0%
				対50%値超	604	0	0.0%	695	0	0.0%	723	0	0.0%	775	0	0.0%	711	0	0.0%
				対10%値超	604	0	0.0%	695	0	0.0%	723	0	0.0%	775	0	0.0%	711	0	0.0%
				対 1%値超	604	0	0.0%	695	1	0.1%	723	0	0.0%	775	0	0.0%	711	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（6/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	51	ジメタメトリン	0.02	対目標値超	549	0	0.0%	642	0	0.0%	673	0	0.0%	720	0	0.0%	687	0	0.0%
				対50%値超	549	0	0.0%	642	0	0.0%	673	0	0.0%	720	0	0.0%	687	0	0.0%
				対10%値超	549	0	0.0%	642	0	0.0%	673	0	0.0%	720	0	0.0%	687	0	0.0%
				対 1%値超	549	0	0.0%	642	0	0.0%	673	0	0.0%	720	0	0.0%	687	0	0.0%
対	52	ジメトエート	0.05	対目標値超	544	0	0.0%	640	0	0.0%	641	0	0.0%	639	0	0.0%	585	0	0.0%
				対50%値超	544	0	0.0%	640	0	0.0%	641	0	0.0%	639	0	0.0%	585	0	0.0%
				対10%値超	544	0	0.0%	640	0	0.0%	641	0	0.0%	639	0	0.0%	585	0	0.0%
				対 1%値超	544	0	0.0%	640	0	0.0%	641	0	0.0%	639	0	0.0%	585	0	0.0%
対	53	シメトリン	0.03	対目標値超	581	0	0.0%	680	0	0.0%	702	0	0.0%	800	0	0.0%	746	0	0.0%
				対50%値超	581	0	0.0%	680	0	0.0%	702	0	0.0%	800	0	0.0%	746	0	0.0%
				対10%値超	581	0	0.0%	680	0	0.0%	702	0	0.0%	800	0	0.0%	746	0	0.0%
				対 1%値超	581	0	0.0%	680	0	0.0%	702	0	0.0%	800	0	0.0%	746	0	0.0%
対	54	ダイアジノン	0.003	対目標値超	665	0	0.0%	765	0	0.0%	796	0	0.0%	856	0	0.0%	783	0	0.0%
				対50%値超	665	0	0.0%	765	0	0.0%	796	1	0.1%	856	0	0.0%	783	0	0.0%
				対10%値超	665	0	0.0%	765	0	0.0%	796	1	0.1%	856	0	0.0%	783	1	0.1%
				対 1%値超	665	7	1.1%	765	5	0.7%	796	7	0.9%	856	0	0.0%	783	1	0.1%
対	55	ダイムロン	0.8	対目標値超	504	0	0.0%	563	0	0.0%	571	0	0.0%	620	0	0.0%	606	0	0.0%
				対50%値超	504	0	0.0%	563	0	0.0%	571	0	0.0%	620	0	0.0%	606	0	0.0%
				対10%値超	504	0	0.0%	563	0	0.0%	571	0	0.0%	620	0	0.0%	606	0	0.0%
				対 1%値超	504	0	0.0%	563	0	0.0%	571	0	0.0%	620	0	0.0%	606	2	0.3%
対	56	ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート	0.01（メチルイソチオシアネートとして）	対目標値超	272	0	0.0%	352	0	0.0%	392	0	0.0%	440	0	0.0%	471	0	0.0%
				対50%値超	272	0	0.0%	352	0	0.0%	392	0	0.0%	440	0	0.0%	471	0	0.0%
				対10%値超	272	0	0.0%	352	0	0.0%	392	0	0.0%	440	0	0.0%	471	0	0.0%
				対 1%値超	272	0	0.0%	352	0	0.0%	392	0	0.0%	440	0	0.0%	471	0	0.0%
対	57	チアジニル	0.1	対目標値超	453	0	0.0%	544	0	0.0%	531	0	0.0%	511	0	0.0%	544	0	0.0%
				対50%値超	453	0	0.0%	544	0	0.0%	531	0	0.0%	511	0	0.0%	544	0	0.0%
				対10%値超	453	0	0.0%	544	0	0.0%	531	0	0.0%	511	0	0.0%	544	0	0.0%
				対 1%値超	453	0	0.0%	544	0	0.0%	531	0	0.0%	511	0	0.0%	544	0	0.0%
対	58	チウラム	0.02	対目標値超	576	0	0.0%	659	0	0.0%	654	0	0.0%	674	0	0.0%	649	0	0.0%
				対50%値超	576	0	0.0%	659	0	0.0%	654	0	0.0%	674	0	0.0%	649	0	0.0%
				対10%値超	576	0	0.0%	659	0	0.0%	654	0	0.0%	674	0	0.0%	649	0	0.0%
				対 1%値超	576	0	0.0%	659	0	0.0%	654	0	0.0%	674	0	0.0%	649	0	0.0%
対	59	チオジカルブ	0.08	対目標値超	482	0	0.0%	555	0	0.0%	536	0	0.0%	544	0	0.0%	529	0	0.0%
				対50%値超	482	0	0.0%	555	0	0.0%	536	0	0.0%	544	0	0.0%	529	0	0.0%
				対10%値超	482	0	0.0%	555	0	0.0%	536	0	0.0%	544	0	0.0%	529	0	0.0%
				対 1%値超	482	0	0.0%	555	0	0.0%	536	0	0.0%	544	0	0.0%	529	0	0.0%
対	60	チオファネートメチル	0.3	対目標値超	523	0	0.0%	598	0	0.0%	593	0	0.0%	604	0	0.0%	576	0	0.0%
				対50%値超	523	0	0.0%	598	0	0.0%	593	0	0.0%	604	0	0.0%	576	0	0.0%
				対10%値超	523	0	0.0%	598	0	0.0%	593	0	0.0%	604	0	0.0%	576	0	0.0%
				対 1%値超	523	0	0.0%	598	3	0.5%	593	0	0.0%	604	0	0.0%	576	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（7/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	61	チオベンカルブ	0.02	対目標値超	578	0	0.0%	665	0	0.0%	695	0	0.0%	715	0	0.0%	659	0	0.0%
				対50%値超	578	0	0.0%	665	0	0.0%	695	0	0.0%	715	0	0.0%	659	0	0.0%
				対10%値超	578	0	0.0%	665	0	0.0%	695	0	0.0%	715	0	0.0%	659	0	0.0%
				対 1%値超	578	0	0.0%	665	0	0.0%	695	0	0.0%	715	0	0.0%	659	0	0.0%
対	62	テフリルトリオン	0.002	対目標値超				298	0	0.0%	298	0	0.0%	298	0	0.0%	524	0	0.0%
				対50%値超				298	0	0.0%	298	0	0.0%	298	0	0.0%	524	0	0.0%
				対10%値超				298	0	0.0%	298	0	0.0%	298	0	0.0%	524	0	0.0%
				対 1%値超				298	0	0.0%	298	0	0.0%	298	0	0.0%	524	1	0.2%
対	63	テルブカルブ(MBPMC)	0.02	対目標値超	479	0	0.0%	567	0	0.0%	591	0	0.0%	624	0	0.0%	563	0	0.0%
				対50%値超	479	0	0.0%	567	0	0.0%	591	0	0.0%	624	0	0.0%	563	0	0.0%
				対10%値超	479	0	0.0%	567	0	0.0%	591	0	0.0%	624	0	0.0%	563	0	0.0%
				対 1%値超	479	0	0.0%	567	0	0.0%	591	0	0.0%	624	0	0.0%	563	0	0.0%
対	64	トリクロピル	0.006	対目標値超	529	0	0.0%	607	0	0.0%	590	0	0.0%	563	0	0.0%	563	0	0.0%
				対50%値超	529	0	0.0%	607	0	0.0%	590	0	0.0%	563	0	0.0%	563	0	0.0%
				対10%値超	529	0	0.0%	607	0	0.0%	590	0	0.0%	563	0	0.0%	563	0	0.0%
				対 1%値超	529	0	0.0%	607	0	0.0%	590	0	0.0%	563	0	0.0%	563	3	0.5%
対	65	トリクロルホン(DEP)	0.005	対目標値超	497	0	0.0%	594	0	0.0%	572	0	0.0%	577	0	0.0%	584	0	0.0%
				対50%値超	497	0	0.0%	594	0	0.0%	572	0	0.0%	577	0	0.0%	584	0	0.0%
				対10%値超	497	1	0.2%	594	0	0.0%	572	0	0.0%	577	0	0.0%	584	0	0.0%
				対 1%値超	497	6	1.2%	594	6	1.0%	572	4	0.7%	577	0	0.0%	584	4	0.7%
対	66	トリシクラゾール	0.1	対目標値超	513	0	0.0%	574	0	0.0%	568	0	0.0%	596	0	0.0%	578	0	0.0%
				対50%値超	513	0	0.0%	574	0	0.0%	568	0	0.0%	596	0	0.0%	578	0	0.0%
				対10%値超	513	0	0.0%	574	0	0.0%	568	0	0.0%	596	0	0.0%	578	0	0.0%
				対 1%値超	513	0	0.0%	574	0	0.0%	568	0	0.0%	596	0	0.0%	578	0	0.0%
対	67	トリフルラリン	0.06	対目標値超	602	0	0.0%	683	0	0.0%	690	0	0.0%	741	0	0.0%	695	0	0.0%
				対50%値超	602	0	0.0%	683	0	0.0%	690	0	0.0%	741	0	0.0%	695	0	0.0%
				対10%値超	602	0	0.0%	683	0	0.0%	690	0	0.0%	741	0	0.0%	695	0	0.0%
				対 1%値超	602	0	0.0%	683	0	0.0%	690	0	0.0%	741	0	0.0%	695	3	0.4%
対	68	ナプロパミド	0.03	対目標値超	501	0	0.0%	572	0	0.0%	615	0	0.0%	629	0	0.0%	577	0	0.0%
				対50%値超	501	0	0.0%	572	0	0.0%	615	0	0.0%	629	0	0.0%	577	0	0.0%
				対10%値超	501	0	0.0%	572	0	0.0%	615	0	0.0%	629	0	0.0%	577	0	0.0%
				対 1%値超	501	0	0.0%	572	0	0.0%	615	0	0.0%	629	0	0.0%	577	0	0.0%
対	69	パラコート	0.01	対目標値超	328	0	0.0%	432	0	0.0%	456	0	0.0%	529	0	0.0%	526	0	0.0%
				対50%値超	328	0	0.0%	432	0	0.0%	456	0	0.0%	529	0	0.0%	526	0	0.0%
				対10%値超	328	0	0.0%	432	0	0.0%	456	0	0.0%	529	0	0.0%	526	0	0.0%
				対 1%値超	328	0	0.0%	432	0	0.0%	456	0	0.0%	529	0	0.0%	526	1	0.2%
対	70	ピペロホス	0.0009	対目標値超	481	0	0.0%	566	0	0.0%	586	0	0.0%	597	0	0.0%	539	0	0.0%
				対50%値超	481	0	0.0%	566	0	0.0%	586	0	0.0%	597	0	0.0%	539	0	0.0%
				対10%値超	481	0	0.0%	566	0	0.0%	586	0	0.0%	597	0	0.0%	539	0	0.0%
				対 1%値超	481	7	1.5%	566	6	1.1%	586	6	1.0%	597	0	0.0%	539	8	1.5%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（8/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	71	ピラクロニル	0.01	対目標値超	317	0	0.0%	427	0	0.0%	448	0	0.0%	493	0	0.0%	525	0	0.0%
				対50%値超	317	0	0.0%	427	0	0.0%	448	0	0.0%	493	0	0.0%	525	2	0.4%
				対10%値超	317	0	0.0%	427	0	0.0%	448	0	0.0%	493	0	0.0%	525	2	0.4%
				対 1%値超	317	1	0.3%	427	1	0.2%	448	4	0.9%	493	0	0.0%	525	4	0.8%
対	72	ピラゾキシフェン	0.004	対目標値超	393	0	0.0%	495	0	0.0%	485	0	0.0%	488	0	0.0%	497	0	0.0%
				対50%値超	393	0	0.0%	495	0	0.0%	485	0	0.0%	488	0	0.0%	497	0	0.0%
				対10%値超	393	0	0.0%	495	0	0.0%	485	0	0.0%	488	0	0.0%	497	0	0.0%
				対 1%値超	393	4	1.0%	495	0	0.0%	485	0	0.0%	488	0	0.0%	497	1	0.2%
対	73	ピラゾリネート（ピラゾレート）	0.02	対目標値超	423	0	0.0%	525	0	0.0%	530	0	0.0%	529	0	0.0%	582	0	0.0%
				対50%値超	423	0	0.0%	525	0	0.0%	530	0	0.0%	529	0	0.0%	582	0	0.0%
				対10%値超	423	0	0.0%	525	0	0.0%	530	0	0.0%	529	0	0.0%	582	0	0.0%
				対 1%値超	423	0	0.0%	525	0	0.0%	530	0	0.0%	529	0	0.0%	582	0	0.0%
対	74	ピリダフェンチオン	0.002	対目標値超	495	0	0.0%	583	0	0.0%	612	0	0.0%	637	0	0.0%	577	0	0.0%
				対50%値超	495	0	0.0%	583	0	0.0%	612	0	0.0%	637	0	0.0%	577	0	0.0%
				対10%値超	495	0	0.0%	583	0	0.0%	612	0	0.0%	637	0	0.0%	577	0	0.0%
				対 1%値超	495	7	1.4%	583	4	0.7%	612	4	0.7%	637	0	0.0%	577	8	1.4%
対	75	ピリブチカルブ	0.02	対目標値超	561	0	0.0%	653	0	0.0%	689	0	0.0%	699	0	0.0%	652	0	0.0%
				対50%値超	561	0	0.0%	653	0	0.0%	689	0	0.0%	699	0	0.0%	652	0	0.0%
				対10%値超	561	0	0.0%	653	0	0.0%	689	0	0.0%	699	0	0.0%	652	0	0.0%
				対 1%値超	561	0	0.0%	653	0	0.0%	689	0	0.0%	699	0	0.0%	652	0	0.0%
対	76	ピロキロン	0.05	対目標値超	554	0	0.0%	641	0	0.0%	666	0	0.0%	697	0	0.0%	658	0	0.0%
				対50%値超	554	0	0.0%	641	0	0.0%	666	0	0.0%	697	0	0.0%	658	0	0.0%
				対10%値超	554	0	0.0%	641	0	0.0%	666	0	0.0%	697	0	0.0%	658	0	0.0%
				対 1%値超	554	0	0.0%	641	1	0.2%	666	1	0.2%	697	0	0.0%	658	0	0.0%
対	77	フィプロニル	0.0005	対目標値超	580	0	0.0%	673	0	0.0%	666	0	0.0%	651	0	0.0%	676	0	0.0%
				対50%値超	580	0	0.0%	673	0	0.0%	666	0	0.0%	651	0	0.0%	676	0	0.0%
				対10%値超	580	0	0.0%	673	0	0.0%	666	0	0.0%	651	0	0.0%	676	0	0.0%
				対 1%値超	580	0	0.0%	673	1	0.1%	666	2	0.3%	651	0	0.0%	676	0	0.0%
対	78	フェニトロチオン(MEP)	0.01	対目標値超	675	0	0.0%	772	0	0.0%	799	0	0.0%	810	0	0.0%	787	0	0.0%
				対50%値超	675	0	0.0%	772	0	0.0%	799	0	0.0%	810	0	0.0%	787	0	0.0%
				対10%値超	675	0	0.0%	772	0	0.0%	799	0	0.0%	810	0	0.0%	787	0	0.0%
				対 1%値超	675	0	0.0%	772	0	0.0%	799	0	0.0%	810	0	0.0%	787	3	0.4%
対	79	フェノブカルブ(BPMC)	0.03	対目標値超	586	0	0.0%	687	0	0.0%	705	0	0.0%	759	0	0.0%	699	0	0.0%
				対50%値超	586	0	0.0%	687	0	0.0%	705	0	0.0%	759	0	0.0%	699	0	0.0%
				対10%値超	586	0	0.0%	687	0	0.0%	705	0	0.0%	759	0	0.0%	699	0	0.0%
				対 1%値超	586	0	0.0%	687	0	0.0%	705	0	0.0%	759	0	0.0%	699	0	0.0%
対	80	フェリムゾン	0.05	対目標値超	355	0	0.0%	479	0	0.0%	495	0	0.0%	566	0	0.0%	588	0	0.0%
				対50%値超	355	0	0.0%	479	0	0.0%	495	0	0.0%	566	0	0.0%	588	0	0.0%
				対10%値超	355	0	0.0%	479	0	0.0%	495	0	0.0%	566	0	0.0%	588	0	0.0%
				対 1%値超	355	0	0.0%	479	0	0.0%	495	0	0.0%	566	0	0.0%	588	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（9/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	81	フェンチオン(MPP)	0.006	対目標値超	550	0	0.0%	650	0	0.0%	663	0	0.0%	690	0	0.0%	668	0	0.0%
				対50%値超	550	0	0.0%	650	0	0.0%	663	0	0.0%	690	0	0.0%	668	0	0.0%
				対10%値超	550	0	0.0%	650	0	0.0%	663	0	0.0%	690	0	0.0%	668	0	0.0%
				対 1%値超	550	0	0.0%	650	0	0.0%	663	0	0.0%	690	0	0.0%	668	2	0.3%
対	82	フェントエート(PAP)	0.007	対目標値超	573	0	0.0%	667	0	0.0%	681	0	0.0%	716	0	0.0%	680	0	0.0%
				対50%値超	573	0	0.0%	667	0	0.0%	681	0	0.0%	716	0	0.0%	680	0	0.0%
				対10%値超	573	0	0.0%	667	0	0.0%	681	0	0.0%	716	0	0.0%	680	0	0.0%
				対 1%値超	573	0	0.0%	667	0	0.0%	681	0	0.0%	716	0	0.0%	680	0	0.0%
対	83	フェントラザミド	0.01	対目標値超	432	0	0.0%	561	0	0.0%	535	0	0.0%	527	0	0.0%	590	0	0.0%
				対50%値超	432	0	0.0%	561	0	0.0%	535	0	0.0%	527	0	0.0%	590	0	0.0%
				対10%値超	432	0	0.0%	561	0	0.0%	535	0	0.0%	527	0	0.0%	590	0	0.0%
				対 1%値超	432	0	0.0%	561	0	0.0%	535	0	0.0%	527	0	0.0%	590	4	0.7%
対	84	フサライド	0.1	対目標値超	598	0	0.0%	702	0	0.0%	727	0	0.0%	812	0	0.0%	754	0	0.0%
				対50%値超	598	0	0.0%	702	0	0.0%	727	0	0.0%	812	0	0.0%	754	0	0.0%
				対10%値超	598	0	0.0%	702	0	0.0%	727	0	0.0%	812	0	0.0%	754	0	0.0%
				対 1%値超	598	0	0.0%	702	0	0.0%	727	0	0.0%	812	0	0.0%	754	0	0.0%
対	85	ブタクロール	0.03	対目標値超	438	0	0.0%	528	0	0.0%	548	0	0.0%	565	0	0.0%	533	0	0.0%
				対50%値超	438	0	0.0%	528	0	0.0%	548	0	0.0%	565	0	0.0%	533	0	0.0%
				対10%値超	438	0	0.0%	528	0	0.0%	548	0	0.0%	565	0	0.0%	533	0	0.0%
				対 1%値超	438	1	0.2%	528	0	0.0%	548	1	0.2%	565	0	0.0%	533	0	0.0%
対	86	ブタミホス	0.02	対目標値超	546	0	0.0%	638	0	0.0%	668	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対50%値超	546	0	0.0%	638	0	0.0%	668	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対10%値超	546	0	0.0%	638	0	0.0%	668	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
				対 1%値超	546	0	0.0%	638	0	0.0%	668	0	0.0%	709	0	0.0%	668	0	0.0%
対	87	ブプロフェジン	0.02	対目標値超	550	0	0.0%	651	0	0.0%	672	0	0.0%	740	0	0.0%	684	0	0.0%
				対50%値超	550	0	0.0%	651	0	0.0%	672	0	0.0%	740	0	0.0%	684	0	0.0%
				対10%値超	550	0	0.0%	651	0	0.0%	672	0	0.0%	740	0	0.0%	684	0	0.0%
				対 1%値超	550	0	0.0%	651	0	0.0%	672	0	0.0%	740	0	0.0%	684	0	0.0%
対	88	フルアジナム	0.03	対目標値超	446	0	0.0%	539	0	0.0%	543	0	0.0%	587	0	0.0%	610	0	0.0%
				対50%値超	446	0	0.0%	539	0	0.0%	543	0	0.0%	587	0	0.0%	610	0	0.0%
				対10%値超	446	0	0.0%	539	0	0.0%	543	0	0.0%	587	0	0.0%	610	0	0.0%
				対 1%値超	446	0	0.0%	539	0	0.0%	543	0	0.0%	587	0	0.0%	610	0	0.0%
対	89	プレチラクロール	0.05	対目標値超	615	0	0.0%	709	0	0.0%	741	0	0.0%	813	0	0.0%	747	0	0.0%
				対50%値超	615	0	0.0%	709	0	0.0%	741	0	0.0%	813	0	0.0%	747	0	0.0%
				対10%値超	615	0	0.0%	709	0	0.0%	741	0	0.0%	813	0	0.0%	747	0	0.0%
				対 1%値超	615	1	0.2%	709	0	0.0%	741	0	0.0%	813	0	0.0%	747	0	0.0%
対	90	プロシミドン	0.09	対目標値超	511	0	0.0%	593	0	0.0%	582	0	0.0%	613	0	0.0%	579	0	0.0%
				対50%値超	511	0	0.0%	593	0	0.0%	582	0	0.0%	613	0	0.0%	579	0	0.0%
				対10%値超	511	0	0.0%	593	0	0.0%	582	0	0.0%	613	0	0.0%	579	0	0.0%
				対 1%値超	511	0	0.0%	593	0	0.0%	582	0	0.0%	613	0	0.0%	579	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（10/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	91	プロチオホス	0.007	対目標値超	285	0	0.0%	350	0	0.0%	348	0	0.0%	431	0	0.0%	477	0	0.0%
				対50%値超	285	0	0.0%	350	0	0.0%	348	0	0.0%	431	0	0.0%	477	0	0.0%
				対10%値超	285	0	0.0%	350	0	0.0%	348	0	0.0%	431	0	0.0%	477	0	0.0%
				対 1%値超	285	0	0.0%	350	1	0.3%	348	0	0.0%	431	0	0.0%	477	2	0.4%
対	92	プロピコナゾール	0.05	対目標値超	514	0	0.0%	608	0	0.0%	605	0	0.0%	641	0	0.0%	601	0	0.0%
				対50%値超	514	0	0.0%	608	0	0.0%	605	0	0.0%	641	0	0.0%	601	0	0.0%
				対10%値超	514	0	0.0%	608	0	0.0%	605	0	0.0%	641	0	0.0%	601	0	0.0%
				対 1%値超	514	0	0.0%	608	0	0.0%	605	0	0.0%	641	0	0.0%	601	0	0.0%
対	93	プロピザミド	0.05	対目標値超	554	0	0.0%	651	0	0.0%	678	0	0.0%	693	0	0.0%	644	0	0.0%
				対50%値超	554	0	0.0%	651	0	0.0%	678	0	0.0%	693	0	0.0%	644	0	0.0%
				対10%値超	554	0	0.0%	651	0	0.0%	678	0	0.0%	693	0	0.0%	644	0	0.0%
				対 1%値超	554	0	0.0%	651	0	0.0%	678	0	0.0%	693	0	0.0%	644	0	0.0%
対	94	プロベナゾール	0.03	対目標値超	532	0	0.0%	621	0	0.0%	594	0	0.0%	691	0	0.0%	688	0	0.0%
				対50%値超	532	0	0.0%	621	0	0.0%	594	0	0.0%	691	0	0.0%	688	0	0.0%
				対10%値超	532	0	0.0%	621	0	0.0%	594	0	0.0%	691	0	0.0%	688	0	0.0%
				対 1%値超	532	0	0.0%	621	7	1.1%	594	0	0.0%	691	0	0.0%	688	0	0.0%
対	95	ブロモブチド	0.1	対目標値超	592	0	0.0%	693	0	0.0%	722	0	0.0%	760	0	0.0%	708	0	0.0%
				対50%値超	592	0	0.0%	693	0	0.0%	722	0	0.0%	760	0	0.0%	708	0	0.0%
				対10%値超	592	0	0.0%	693	0	0.0%	722	0	0.0%	760	0	0.0%	708	0	0.0%
				対 1%値超	592	1	0.2%	693	3	0.4%	722	0	0.0%	760	0	0.0%	708	3	0.4%
対	96	ベノミル	0.02	対目標値超	533	0	0.0%	584	0	0.0%	568	0	0.0%	623	0	0.0%	582	0	0.0%
				対50%値超	533	0	0.0%	584	0	0.0%	568	0	0.0%	623	0	0.0%	582	0	0.0%
				対10%値超	533	0	0.0%	584	0	0.0%	568	1	0.2%	623	0	0.0%	582	0	0.0%
				対 1%値超	533	0	0.0%	584	0	0.0%	568	1	0.2%	623	0	0.0%	582	0	0.0%
対	97	ペンシクロン	0.1	対目標値超	557	0	0.0%	669	0	0.0%	701	0	0.0%	678	0	0.0%	630	0	0.0%
				対50%値超	557	0	0.0%	669	0	0.0%	701	0	0.0%	678	0	0.0%	630	0	0.0%
				対10%値超	557	0	0.0%	669	0	0.0%	701	0	0.0%	678	0	0.0%	630	0	0.0%
				対 1%値超	557	0	0.0%	669	0	0.0%	701	0	0.0%	678	0	0.0%	630	0	0.0%
対	98	ベンゾビシクロン	0.09	対目標値超	449	0	0.0%	534	0	0.0%	530	0	0.0%	526	0	0.0%	566	0	0.0%
				対50%値超	449	0	0.0%	534	0	0.0%	530	0	0.0%	526	0	0.0%	566	0	0.0%
				対10%値超	449	0	0.0%	534	0	0.0%	530	0	0.0%	526	0	0.0%	566	0	0.0%
				対 1%値超	449	0	0.0%	534	0	0.0%	530	0	0.0%	526	0	0.0%	566	0	0.0%
対	99	ベンゾフェナップ	0.005	対目標値超	420	0	0.0%	520	0	0.0%	502	0	0.0%	547	0	0.0%	557	0	0.0%
				対50%値超	420	0	0.0%	520	0	0.0%	502	0	0.0%	547	0	0.0%	557	0	0.0%
				対10%値超	420	0	0.0%	520	0	0.0%	502	0	0.0%	547	0	0.0%	557	0	0.0%
				対 1%値超	420	0	0.0%	520	0	0.0%	502	0	0.0%	547	0	0.0%	557	0	0.0%
対	100	ベンタゾン	0.2	対目標値超	536	0	0.0%	642	0	0.0%	652	0	0.0%	717	0	0.0%	697	0	0.0%
				対50%値超	536	0	0.0%	642	0	0.0%	652	0	0.0%	717	0	0.0%	697	0	0.0%
				対10%値超	536	0	0.0%	642	0	0.0%	652	0	0.0%	717	0	0.0%	697	0	0.0%
				対 1%値超	536	0	0.0%	642	0	0.0%	652	1	0.2%	717	0	0.0%	697	1	0.1%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（11/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	101	ペンディメタリン	0.3	対目標値超	617	0	0.0%	716	0	0.0%	713	0	0.0%	714	0	0.0%	679	0	0.0%
				対50%値超	617	0	0.0%	716	0	0.0%	713	0	0.0%	714	0	0.0%	679	0	0.0%
				対10%値超	617	0	0.0%	716	0	0.0%	713	0	0.0%	714	0	0.0%	679	0	0.0%
				対 1%値超	617	0	0.0%	716	0	0.0%	713	0	0.0%	714	0	0.0%	679	0	0.0%
対	102	ベンフラカルブ	0.02	対目標値超	503	0	0.0%	582	0	0.0%	583	0	0.0%	549	0	0.0%	557	0	0.0%
				対50%値超	503	0	0.0%	582	0	0.0%	583	0	0.0%	549	0	0.0%	557	0	0.0%
				対10%値超	503	0	0.0%	582	0	0.0%	583	0	0.0%	549	0	0.0%	557	0	0.0%
				対 1%値超	503	0	0.0%	582	0	0.0%	583	0	0.0%	549	0	0.0%	557	2	0.4%
対	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	0.01	対目標値超	521	0	0.0%	605	0	0.0%	630	0	0.0%	625	0	0.0%	569	0	0.0%
				対50%値超	521	0	0.0%	605	0	0.0%	630	0	0.0%	625	0	0.0%	569	0	0.0%
				対10%値超	521	0	0.0%	605	0	0.0%	630	0	0.0%	625	0	0.0%	569	0	0.0%
				対 1%値超	521	0	0.0%	605	0	0.0%	630	0	0.0%	625	0	0.0%	569	3	0.5%
対	104	ベンフレセート	0.07	対目標値超	378	0	0.0%	477	0	0.0%	473	0	0.0%	477	0	0.0%	458	0	0.0%
				対50%値超	378	0	0.0%	477	0	0.0%	473	0	0.0%	477	0	0.0%	458	0	0.0%
				対10%値超	378	0	0.0%	477	0	0.0%	473	0	0.0%	477	0	0.0%	458	0	0.0%
				対 1%値超	378	0	0.0%	477	0	0.0%	473	0	0.0%	477	0	0.0%	458	0	0.0%
対	105	ホスチアゼート	0.005	対目標値超	436	0	0.0%	534	0	0.0%	523	0	0.0%	553	0	0.0%	547	0	0.0%
				対50%値超	436	0	0.0%	534	0	0.0%	523	0	0.0%	553	0	0.0%	547	0	0.0%
				対10%値超	436	0	0.0%	534	0	0.0%	523	0	0.0%	553	0	0.0%	547	0	0.0%
				対 1%値超	436	4	0.9%	534	0	0.0%	523	2	0.4%	553	0	0.0%	547	0	0.0%
対	106	マラソン（マラチオン）	0.7	対目標値超	582	0	0.0%	680	0	0.0%	684	0	0.0%	753	0	0.0%	686	0	0.0%
				対50%値超	582	0	0.0%	680	0	0.0%	684	0	0.0%	753	0	0.0%	686	0	0.0%
				対10%値超	582	0	0.0%	680	0	0.0%	684	0	0.0%	753	0	0.0%	686	0	0.0%
				対 1%値超	582	0	0.0%	680	0	0.0%	684	0	0.0%	753	0	0.0%	686	0	0.0%
対	107	メコプロップ(MCPP)	0.05	対目標値超	544	0	0.0%	646	0	0.0%	639	0	0.0%	605	0	0.0%	616	0	0.0%
				対50%値超	544	0	0.0%	646	0	0.0%	639	0	0.0%	605	0	0.0%	616	0	0.0%
				対10%値超	544	0	0.0%	646	0	0.0%	639	0	0.0%	605	0	0.0%	616	0	0.0%
				対 1%値超	544	0	0.0%	646	0	0.0%	639	0	0.0%	605	0	0.0%	616	0	0.0%
対	108	メソミル	0.03	対目標値超	546	0	0.0%	619	0	0.0%	613	0	0.0%	628	0	0.0%	610	0	0.0%
				対50%値超	546	0	0.0%	619	0	0.0%	613	0	0.0%	628	0	0.0%	610	0	0.0%
				対10%値超	546	0	0.0%	619	0	0.0%	613	0	0.0%	628	0	0.0%	610	0	0.0%
				対 1%値超	546	0	0.0%	619	3	0.5%	613	0	0.0%	628	0	0.0%	610	0	0.0%
対	109	メタラキシル	0.2	対目標値超	586	0	0.0%	676	0	0.0%	705	0	0.0%	757	0	0.0%	709	0	0.0%
				対50%値超	586	0	0.0%	676	0	0.0%	705	0	0.0%	757	0	0.0%	709	0	0.0%
				対10%値超	586	0	0.0%	676	0	0.0%	705	0	0.0%	757	0	0.0%	709	0	0.0%
				対 1%値超	586	0	0.0%	676	0	0.0%	705	0	0.0%	757	0	0.0%	709	0	0.0%
対	110	メチダチオン(DMTP)	0.004	対目標値超	619	0	0.0%	700	0	0.0%	730	0	0.0%	790	0	0.0%	713	0	0.0%
				対50%値超	619	0	0.0%	700	0	0.0%	730	0	0.0%	790	0	0.0%	713	0	0.0%
				対10%値超	619	0	0.0%	700	0	0.0%	730	0	0.0%	790	0	0.0%	713	0	0.0%
				対 1%値超	619	0	0.0%	700	3	0.4%	730	0	0.0%	790	0	0.0%	713	0	0.0%

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

表 2-9　農薬類（対象農薬リスト掲載農薬類）の水道水質データの整理結果（12/12）

群	番号	項目名	目標値※1（mg/L）	評価	H30			R01 ※2			R02 ※3			R03 ※4			R04 ※5		
					調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合	調査地点数	超過地点数	超過割合
対	111	メトミノストロビン	0.04	対目標値超	473	0	0.0%	569	0	0.0%	568	0	0.0%	554	0	0.0%	584	0	0.0%
				対50%値超	473	0	0.0%	569	0	0.0%	568	0	0.0%	554	0	0.0%	584	0	0.0%
				対10%値超	473	0	0.0%	569	0	0.0%	568	0	0.0%	554	0	0.0%	584	0	0.0%
				対 1%値超	473	0	0.0%	569	0	0.0%	568	0	0.0%	554	0	0.0%	584	0	0.0%
対	112	メトリブジン	0.03	対目標値超	484	0	0.0%	584	0	0.0%	590	0	0.0%	584	0	0.0%	581	0	0.0%
				対50%値超	484	0	0.0%	584	0	0.0%	590	0	0.0%	584	0	0.0%	581	0	0.0%
				対10%値超	484	0	0.0%	584	0	0.0%	590	0	0.0%	584	0	0.0%	581	0	0.0%
				対 1%値超	484	0	0.0%	584	0	0.0%	590	0	0.0%	584	0	0.0%	581	0	0.0%
対	113	メフェナセット	0.02	対目標値超	601	0	0.0%	700	0	0.0%	717	0	0.0%	814	0	0.0%	757	0	0.0%
				対50%値超	601	0	0.0%	700	0	0.0%	717	0	0.0%	814	0	0.0%	757	0	0.0%
				対10%値超	601	0	0.0%	700	0	0.0%	717	0	0.0%	814	0	0.0%	757	0	0.0%
				対 1%値超	601	1	0.2%	700	0	0.0%	717	0	0.0%	814	0	0.0%	757	0	0.0%
対	114	メプロニル	0.1	対目標値超	560	0	0.0%	648	0	0.0%	675	0	0.0%	692	0	0.0%	650	0	0.0%
				対50%値超	560	0	0.0%	648	0	0.0%	675	0	0.0%	692	0	0.0%	650	0	0.0%
				対10%値超	560	0	0.0%	648	0	0.0%	675	0	0.0%	692	0	0.0%	650	0	0.0%
				対 1%値超	560	0	0.0%	648	0	0.0%	675	0	0.0%	692	0	0.0%	650	0	0.0%
対	115	モリネート	0.005	対目標値超	617	0	0.0%	710	0	0.0%	714	0	0.0%	798	0	0.0%	730	0	0.0%
				対50%値超	617	0	0.0%	710	0	0.0%	714	0	0.0%	798	0	0.0%	730	0	0.0%
				対10%値超	617	0	0.0%	710	4	0.6%	714	0	0.0%	798	0	0.0%	730	0	0.0%
				対 1%値超	617	0	0.0%	710	4	0.6%	714	0	0.0%	798	0	0.0%	730	3	0.4%

※1　令和6年4月1日時点の目標値で評価。

※2　令和元年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　クロルニトロフェン（CNP）（対50%値超過3地点、ジチオカルバメート系農薬（対目標値超過1地点）

※3　令和2年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　クロルニトロフェン（CNP）（対50%値超過10地点）

※4　令和3年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　イミノクタジン（対50%値超過2地点）、クロルニトロフェン（CNP）（対50%値超過11地点）

※5　令和4年度の以下の項目については、水道事業者等へヒアリングを行い水道統計結果を一部修正している。
　　クロルニトロフェン（CNP）（対50%値超過10地点）、テフリルトリオン（対目標値超過2地点）

（令和 6 年 4 月 1 日時点）

2）水質基準等の超過状況

前項で整理した過去 5 年間（平成 30～令和 4 年度）の水道水質データを対象として、以下に掲げる二つの観点から 100%値（基準値又は目標値）、50%値、10%値それぞれの超過傾向を整理した結果を表 2-10 及び表 2-11 に示す。

(1) 5 ヶ年経年での超過状況

○：直近 3 ヶ年以上継続で超過地点数が 1 地点以上

△：直近 3 ヶ年で、継続ではないが 3 ヶ年のいずれかで超過地点数が 1 地点以上

※：直近 3 ヶ年では超過地点数はないが、4～5 年前に超過地点数が 1 地点以上

－：5 ヶ年継続で超過地点数が 0 地点

(2) 直近 1 年の超過割合

0%　　：0%（超過地点数が 1 地点もない）

0-0.1%　：0%超、0.1%以下

0.1-1%　：0.1%超、1%以下

1-10%　：1%超、10%以下

10-100%：10%超、100%以下

表 2-10　水道水質基準項目・水質管理目標設定項目の超過状況（農薬類を除く）（1/3）

分類要件2	分類要件1	リスク順位	5ヶ年経年の超過状況※4			対10%値の直近の超過割合	水道水質基準項目			水質管理目標設定項目	
			対基準値対目標値	対50%値	対10%値		基準項目の見直し対象とする項目	基準項目に据え置くべきか確認すべき項目	基準項目に据え置くべき対象項目※1	水質管理目標設定項目の見直し対象とする項目※2	水質管理目標設定項目に据え置くべき対象項目※3
Yes		1	○	○	○	10-100%	トリクロロ酢酸	クロロホルム 総トリハロメタン ブロモジクロロメタン	塩素酸 アルミニウム及びその化合物 色度	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOA)	残留塩素 遊離炭酸 有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) 臭気強度(TON) 濁度 アルミニウム及びその化合物
		2				1-10%			一般細菌 ジェオスミン 2-メチルイソボルネオール 濁度		マンガン
		3				0.1-1%					
		4	△	○	○	10-100%	ジクロロ酢酸		フッ素及びその化合物 塩化物イオン カルシウム、マグネシウム(硬度) 蒸発残留物		抱水クロラール
		5				1-10%			鉛及びその化合物 ヒ素及びその化合物 鉄及びその化合物 ナトリウム及びその化合物 マンガン及びその化合物		従属栄養細菌
		6				0.1-1%					
		7	※	○	○	10-100%			有機物(全有機炭素(TOC)の量)		
		8				1-10%		臭素酸			
		9				0.1-1%					
		10	―	○	○	10-100%			硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		ジクロロアセトニトリル
		11				1-10%	ホウ素及びその化合物	ジブロモクロロメタン ブロモホルム			ウラン及びその化合物
		12				0.1-1%	亜鉛及びその化合物	六価クロム化合物	トリクロロエチレン 銅及びその化合物		
		13				0-0.1%					
		14	※	△	○	1-10%					
		15				0.1-1%					
		16	※	※	○	0.1-1%					

表 2-10　水道水質基準項目・水質管理目標設定項目の超過状況（農薬類を除く）（2/3）

分類要件2	分類要件1	リスク順位	5ヶ年経年の超過状況※4			対10%値の直近の超過割合	水道水質基準項目			水質管理目標設定項目	
			対基準値対目標値	対50%値	対10%値		基準項目の見直し対象とする項目	基準項目に据え置くべきか確認すべき項目	基準項目に据え置くべき対象項目※1	水質管理目標設定項目の見直し対象とする項目※2	水質管理目標設定項目に据え置くべき対象項目※3
No		17	ー	△	○	1-10%	非イオン界面活性剤				
		18				0.1-1%	クロロ酢酸 ホルムアルデヒド		亜硝酸態窒素 シアン化物及び塩化シアン		
		19				0-0.1%	四塩化炭素 1,4-ジオキサン シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス－1,2－ジクロロエチレン ジクロロメタン ベンゼン	カドミウム及びその化合物	水銀及びその化合物 フェノール類		
		20	ー	※	○	0.1-1%	セレン及びその化合物			ニッケル及びその化合物	
		21				0-0.1%				フタル酸ジ（2－エチルヘキシル） 亜塩素酸	
		22	ー	ー	○	1-10%					
		23				0.1-1%			テトラクロロエチレン	アンチモン及びその化合物	
		24				0-0.1%					

表 2-10　水道水質基準項目・水質管理目標設定項目の超過状況（農薬類を除く）（3/3）

分類要件2	分類要件1	リスク順位	5ヶ年経年の超過状況※4			対10%値の直近の超過割合	水道水質基準項目			水質管理目標設定項目	
			対基準値対目標値	対50%値	対10%値		基準項目の見直し対象とする項目	基準項目に据え置くべきか確認すべき項目	基準項目に据え置くべき対象項目※1	水質管理目標設定項目の見直し対象とする項目※2	水質管理目標設定項目に据え置くべき対象項目※3
	No	25	△	△	△	10-100%					
		26	ー	△	△	0-0.1%					
		27				0%				農薬類	
		28	ー	※	△	0.1-1%				メチルーtーブチルエーテル（MTBE）	
		29				0-0.1%				1,2-ジクロロエタン	
		30	ー	ー	○	0-0.1%				1,1-ジクロロエチレン	
		31	ー	※	※	0%					
		32	ー	ー	△	0-0.1%					
		33				0%					
		34	ー	ー	※	0%					
		35	ー	ー	ー	0%	陰イオン界面活性剤			トルエン 二酸化塩素 1,1,1-トリクロロエタン	

凡例 ○：直近3ヶ年以上継続で超過地点数が1地点以上　　△：直近3ヶ年で、継続ではないが、3ヵ年のいずれかで超過地点数が1地点以上

※：直近3ヶ年では超過地点数はないが、4～5年前に超過地点数が1地点以上　　ー：5ヶ年継続で超過地点数が0地点

※1：大腸菌（基準値：不検出）、pH値（基準値：5.8～8.6）、味（基準値：異常でないこと）、臭気（基準値：異常でないこと）を除く。

※2：農薬類を除く。

※3：カルシウム、マグネシウム等（硬度）（目標値：10～100）、蒸発残留物（目標値：30～200）、pH値（目標値：7.5程度）、腐食性（ランゲリア指数）（目標値：-1～0）を除く。

※4：令和6年4月1日時点の基準値及び目標値で評価している。

表 2-11　農薬類の超過状況（1/2）

リスク順位	5ヶ年経年の超過状況※1			対10%値の直近の超過割合	水質管理目標設定項目
	対基準値対目標値	対50%値	対10%値		水質管理目標設定項目の見直し対象とする項目
1	○	○	○	10−100%	
2				1−10%	
3				0.1−1%	
4	△	○	○	10−100%	
5				1−10%	
6				0.1−1%	
7	※	○	○	1−10%	
8	−	○	○	10−100%	
9				1−10%	
10				0.1−1%	
11	△	△	○	1−10%	
12				0.1−1%	
13	※	△	○	1−10%	
14	−	△	○	0.1−1%	
15				0−0.1%	
16	−	※	○	1−10%	
17	−	−	○	1−10%	アセフェート
18				0.1−1%	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)
19				0%	
20	△	△	△	0.1−1%	
				0%	
21	−	△	△	1−10%	
22				0.1−1%	
23				0%	クロルニトロフェン(CNP)
24	−	※	※	0%	イミノクタジン酢酸塩　　ダイアジノン
25	−	−	△	1−10%	
26				0.1−1%	
27				0−0.1%	
28				0%	シアナジン　　ジチオカルバメート系農薬　　トリクロピル　　パラコート
29	−	−	※	0%	ジクワット　　トリクロルホン(DEP)　　ベノミル

表 2-11　農薬類の超過状況（2/2）

リスク順位	5ヶ年経年の超過状況※1			対10%値の直近の超過割合	水質管理目標設定項目				
	対基準値 対目標値	対50%値	対10%値		水質管理目標設定項目の見直し対象とする項目				
30	－	－	－	0%	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	カフェンストロール	チアジニル	フサライド	メタラキシル
					ダラポン	カルタップ	チウラム	ブタクロール	メチダチオン(DMTP)
					2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)	カルバリル(NAC)	チオジカルブ	ブタミホス	メトミノストロビン
					EPN	キノクラミン（ACN）	チオファネートメチル	ブプロフェジン	メトリブジン
					MCPA	キャプタン	チオベンカルブ	フルアジナム	メフェナセット
					アシュラム	クミルロン	テフリルトリオン	プレチラクロール	メプロニル
					アトラジン	グリホサート	テルブカルブ(MBPMC)	プロシミドン	モリネート
					アニロホス	グルホシネート	トリシクラゾール	プロチオホス	
					アミトラズ	クロメプロップ	トリフルラリン	プロピコナゾール	
					アラクロール	クロルピリホス	ナプロパミド	プロピザミド	
					イソキサチオン	クロロタロニル(TPN)	ピペロホス	プロベナゾール	
					イソフェンホス	シアノホス（CYAP）	ピラクロニル	ブロモブチド	
					イソプロカルブ(MIPC)	ジウロン(DCMU)	ピラゾキシフェン	ペンシクロン	
					イソプロチオラン(IPT)	ジクロベニル(DBN)	ピラゾリネート（ピラゾレート）	ベンゾビシクロン	
					イプフェンカルバゾン	ジクロルボス(DDVP)	ピリダフェンチオン	ベンゾフェナップ	
					イプロベンホス(IBP)	エチルチオメトン	ピリブチカルブ	ベンタゾン	
					インダノファン	ジチオピル	ピロキロン	ペンディメタリン	
					エスプロカルブ	シハロホップブチル	フィプロニル	ベンフラカルブ	
					エトフェンプロックス	シマジン(CAT)	フェニトロチオン(MEP)	ベンフルラリン(ベスロジン)	
					ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ(ﾍﾞﾝｿﾞｴﾋﾟﾝ,ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｪｰﾄ)	ジメタメトリン	フェノブカルブ(BPMC)	ベンフレセート	
					オキサジクロメホン	ジメトエート	フェリムゾン	ホスチアゼート	
					オキシン銅	シメトリン	フェンチオン(MPP)	マラソン（マラチオン）	
					オリサストロビン	ダイムロン	フェントエート(PAP)	メコプロップ(MCPP)	
					カズサホス	ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート	フェントラザミド	メソミル	

凡例　○：直近3ヶ年以上継続で超過地点数が1地点以上　　△：直近3ヶ年で、継続ではないが、3ヵ年のいずれかで超過地点数が1地点以上

※：直近3ヶ年では超過地点数はないが、4～5年前に超過地点数が1地点以上　　－：5ヶ年継続で超過地点数が0地点

※1：令和5 年4月1日時点の目標値で評価している。

3）定期見直しにおける水質基準等の分類結果

整理した超過状況に対し、表 2-12 に示した分類要件を適用して分類した。過去 5 年間に基準値又は目標値が変更になった項目については、現行の基準値又は目標値により集計を行った（表 2-13～表 2-14）。

表 2-12　水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類要件

	分類要件 1　YES		分類要件 1 NO
	分類要件 2 YES	分類要件 2 NO	
見直し時点で水質基準項目	水質基準項目	水質基準項目	水質管理目標設定項目
見直し時点で水質管理目標設定項目	水質基準項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目

分類要件１：最近 3 ヶ年継続で評価値の 10%超過地点が 1 地点以上存在
分類要件２：最近 3 ヶ年継続で評価値の 50%超過地点が 1 地点以上存在
　　又は最近 5 ヶ年の間に評価値超過地点が 1 地点以上存在

表 2-13　分類要件に基づく水質基準項目及び水質管理目標設定項目の分類結果

	分類要件1 最近3ヶ年継続で評価値の10%超過地点が1地点以上存在		
	YES		NO
	分類要件2 最近3ヶ年継続で評価値の50%超過地点が1地点以上存在 又は最近5ヶ年の間に評価値超過地点が1地点以上存在		
	YES	NO	
見直し時点で水質基準項目	水質基準項目 六価クロム化合物 亜鉛及びその化合物 ホウ素及びその化合物 クロロホルム ジクロロ酢酸 ジブロモクロロメタン 臭素酸 総トリハロメタン トリクロロ酢酸 ブロモジクロロメタン ブロモホルム	水質基準項目 カドミウム及びその化合物 セレン及びその化合物 四塩化炭素 1,4-ジオキサン シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン ジクロロメタン ベンゼン クロロ酢酸 ホルムアルデヒド 非イオン界面活性剤	水質管理目標設定項目 陰イオン界面活性剤
見直し時点で水質管理目標設定項目	水質基準項目 ペルフルオロオクタンスルホン酸（ＰＦＯＳ）及びペルフルオロオクタンスルホン酸（ＰＦＯＡ）	水質管理目標設定項目 アンチモン及びその化合物 ニッケル及びその化合物 フタル酸ジ（2－エチルヘキシル） 亜塩素酸 1,1-ジクロロエチレン	水質管理目標設定項目 1,2-ジクロロエタン トルエン 二酸化塩素 農薬類 1,1,1-トリクロロエタン メチル－ｔ－ブチルエーテル（MTBE）

表 2-14　対象農薬リスト掲載農薬類の分類結果

	分類要件1 最近3ヶ年継続で評価値の10%超過地点が1地点以上存在				
	YES		NO		
	分類要件2 最近3ヶ年継続で評価値の50%超過地点が1地点以上存在 又は最近5ヶ年の間に評価値超過地点が1地点以上存在				
	YES	NO			
	水質基準項目	水質管理目標設定項目	水質管理目標設定項目		
見直し時点で水質管理目標設定項目		アセフェート	1,3-ジクロロプロペン(D-D) ダラポン 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D) EPN ＭＣＰＡ アシュラム アトラジン アニロホス アミトラズ アラクロール イソキサチオン イソフェンホス イソプロカルブ(MIPC) イソプロチオラン(IPT) イプフェンカルバゾン イプロベンホス(IBP) イミノクタジン酢酸塩 インダノファン エスプロカルブ エトフェンプロックス ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ(ﾍﾟﾝｿﾞｴﾋﾟﾝ,ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｪｰﾄ) オキサジクロメホン オキシン銅 オリサストロビン カズサホス カフェンストロール カルタップ カルバリル(NAC) カルボフラン(カルボスルファン代謝物) キノクラミン（ＡＣＮ） キャプタン クミルロン グリホサート グルホシネート クロメプロップ クロルニトロフェン(CNP) クロルピリホス クロロタロニル(TPN) シアナジン シアノホス（ＣＹＡＰ）	ジウロン(DCMU) ジクロベニル(DBN) ジクロルボス(DDVP) ジクワット エチルチオメトン ジチオカルバメート系農薬 ジチオピル シハロホップブチル シマジン(CAT) ジメタメトリン ジメトエート シメトリン ダイアジノン ダイムロン ﾀﾞｿﾒｯﾄ、ﾒﾀﾑ（ｶｰﾊﾞﾑ）及びﾒﾁﾙｲｿﾁｵｼｱﾈｰﾄ チアジニル チウラム チオジカルブ チオファネートメチル チオベンカルブ テフリルトリオン テルブカルブ(MBPMC) トリクロピル トリクロルホン(DEP) トリシクラゾール トリフルラリン ナプロパミド パラコート ピペロホス ピラクロニル ピラゾキシフェン ピラゾリネート(ピラゾレート) ピリダフェンチオン ピリブチカルブ ピロキロン フィプロニル フェニトロチオン(MEP) フェノブカルブ(BPMC) フェリムゾン フェンチオン(MPP)	フェントエート(PAP) フェントラザミド フサライド ブタクロール ブタミホス ブプロフェジン フルアジナム プレチラクロール プロシミドン プロチオホス プロピコナゾール プロピザミド プロベナゾール ブロモブチド ベノミル ペンシクロン ベンゾビシクロン ベンゾフェナップ ベンタゾン ペンディメタリン ベンフラカルブ ベンフルラリン(ベスロジン) ベンフレセート ホスチアゼート マラソン（マラチオン） メコプロップ(MCPP) メソミル メタラキシル メチダチオン(DMTP) メトミノストロビン メトリブジン メフェナセット メプロニル モリネート

2.3.　水道事業体における要検討項目等の検出状況の整理

2.3.1.　調査概要

全国の水道事業者等が平成 30 年度～令和 5 年度に実施した水質測定の結果（要検討項目及び農薬類）について、データチェック及び集計を行った。

1）調査の対象とした水質測定結果

全国の厚生労働大臣認可及び都道府県知事認可の水道事業者及び水道用水供給事業者が平成 30 年度～令和 5 年度に実施した要検討項目及び農薬類の測定の結果を対象とした。

2）調査の対象とした水質項目

調査対象項目は、以下に示す合計 145 項目とした。項目の一覧を表 2-15 に示す。

・要検討項目 49 項目（うち 3 項目削除）

・農薬類 96 項目（要検討：14 項目、その他：84 項目）

（2 項目（テフリルトリオン、ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート）は H29 格上げのため削除）

表 2-15　検討対象項目（要検討項目）（1/4）

分類	番号	物質名称	目標値 (mg/L) P:暫定値
要検討項目	検-01	銀及びその化合物	－
要検討項目	検-02	バリウム及びその化合物	0.7
要検討項目	検-03	ビスマス及びその化合物	－
要検討項目	検-04	モリブデン及びその化合物	0.07
要検討項目	検-05	アクリルアミド	0.0005
要検討項目	検-06	アクリル酸	－
要検討項目	検-07	17－β－エストラジオール（E2）	0.00008P
要検討項目	検-08	エチニルーエストラジオール（EE2）	0.00002P
要検討項目	検-09	エチレンジアミン四酢酸（EDTA）	0.5
要検討項目	検-10	エピクロロヒドリン	0.0004P
要検討項目	検-11	塩化ビニル	0.002
要検討項目	検-12	酢酸ビニル	－
要検討項目	検-13	2,4－トルエンジアミン	－
要検討項目	検-14	2,6－トルエンジアミン	－
要検討項目	検-15	N,N－ジメチルアニリン	－
要検討項目	検-16	スチレン	0.02
要検討項目	検-17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L (P)
要検討項目	検-18	トリエチレンテトラミン	－
要検討項目	検-19	ノニルフェノール	0.3P
要検討項目	検-20	ビスフェノールA	0.1P
要検討項目	検-21	ヒドラジン	－
要検討項目	検-22	1,2－ブタジエン	－
要検討項目	検-23	1,3－ブタジエン	－
要検討項目	検-24	フタル酸ジ（n－ブチル）	0.01
要検討項目	検-25	フタル酸ブチルベンジル	0.5
要検討項目	検-26	ミクロキスチン－LR	0.0008P
要検討項目	検-27	有機すず化合物	0.0006P (TBTO)
要検討項目	検-28	ブロモクロロ酢酸	－
要検討項目	検-29	ブロモジクロロ酢酸	－
要検討項目	検-30	ジブロモクロロ酢酸	－

表 2-15　検討対象項目（要検討項目）（2/4）

分類	番号	物質名称	目標値 （mg/L）
要検討項目	検-31	ブロモ酢酸	－
要検討項目	検-32	ジブロモ酢酸	－
要検討項目	検-33	トリブロモ酢酸	－
要検討項目	検-34	トリクロロアセトニトリル	－
要検討項目	検-35	ブロモクロロアセトニトリル	－
要検討項目	検-36	ジブロモアセトニトリル	0.06
要検討項目	検-37	アセトアルデヒド	－
要検討項目	検-38	MX	0.001
要検討項目	検-39	削除	
要検討項目	検-40	キシレン	0.4
要検討項目	検-41	過塩素酸	0.025
要検討項目	検-42	削除	－
要検討項目	検-43	削除	－
要検討項目	検-44	N－ニトロソジメチルアミン（NDMA）	0.0001
要検討項目	検-45	アニリン	0.02
要検討項目	検-46	キノリン	0.0001
要検討項目	検-47	1,2,3－トリクロロベンゼン	0.02
要検討項目	検-48	ニトリロ三酢酸（NTA）	0.2
要検討項目	検-49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）	－
要検討農薬類	要-001	アセタミプリド	0.2
要検討農薬類	要-002	イミダクロプリド	0.1
要検討農薬類	要-003	イプロジオン	0.05
要検討農薬類	要-004	エチプロール	0.01
要検討農薬類	要-005	クロロピクリン	0.003
要検討農薬類	要-006	テフリルトリオン	0.002
要検討農薬類	要-006	テブコナゾール	0.07
要検討農薬類	要-007	パラチオンメチル	0.04
要検討農薬類	要-008	ヒメキサゾール （ヒドロキシイソキサゾール）	0.1
要検討農薬類	要-009	ピラクロホス	－
要検討農薬類	要-010	フルスルファミド	－
要検討農薬類	要-011	ブロマシル	0.05
要検討農薬類	要-012	ペントキサゾン	0.6
要検討農薬類	要-013	ホサロン	0.005
要検討農薬類	要-014	メタアルデヒド	0.06
要検討農薬類	要-015 (~H27)	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート：メチルイソチオシアネート	－
要検討農薬類	要-015	メトラクロール	0.2
その他農薬類	他-001	2―クロロプロピオン酸メチル（MCPM）	－
その他農薬類	他-002	2,4―DB	－
その他農薬類	他-003	DBEDC	－
その他農薬類	他-004	MCPB	0.03
その他農薬類	他-005	アシベンゾラルSメチル	0.2
その他農薬類	他-006	アジムスルフロン	0.2
その他農薬類	他-007	アミトロール	0.003
その他農薬類	他-008	アメトリン	0.2
その他農薬類	他-009	イナベンフィド	0.3
その他農薬類	他-010	イマゾスルフロン	0.2
その他農薬類	他-011	ウニコナゾールP	0.05
その他農薬類	他-012	エトキシスルフロン	0.1

表 2-15　検討対象項目（要検討項目）（3/4）

分類	番号	物質名称	目標値 （mg/L）
その他農薬類	他-013	エトベンザニド	0.1
その他農薬類	他-014	エンドタール	－
その他農薬類	他-015	オキサジアルギル	0.02
その他農薬類	他-016	オキサミル	0.05
その他農薬類	他-017	オキソリニック酸	0.05
その他農薬類	他-018	キザロホップエチル	0.02
その他農薬類	他-019	クロチアニジン	0.2
その他農薬類	他-020	クロマフェノジド	0.7
その他農薬類	他-021	クロルタールジメチル（TCTP）	－
その他農薬類	他-022	クロルピリホスメチル	0.03
その他農薬類	他-023	シクロスルファムロン	0.08
その他農薬類	他-024	ジクロフェンチオン（ECP）	0.006
その他農薬類	他-025	シクロプロトリン	0.008
その他農薬類	他-026	ジクロメジン	0.05
その他農薬類	他-027	ジクロルプロップ	0.09
その他農薬類	他-028	ジコホル（ケルセン）	0.06
その他農薬類	他-029	ジチアノン	0.03
その他農薬類	他-030	シノスルフロン	0.2
その他農薬類	他-031	ジノテフラン	0.6
その他農薬類	他-032	ジフェノコナゾール	0.02
その他農薬類	他-033	シフルトリン	0.06
その他農薬類	他-034	ジフルベンズロン	0.05
その他農薬類	他-035	シプロコナゾール	0.02
その他農薬類	他-036	シプロジニル	0.07
その他農薬類	他-037	シペルメトリン	0.06
その他農薬類	他-038	シメコナゾール	0.02
その他農薬類	他-039	ジメチルビンホス	0.01
その他農薬類	他-040	ジメピペレート	0.003
その他農薬類	他-041	シラフルオフェン	0.3
その他農薬類	他-042	シンメチリン	0.1
その他農薬類	他-043	スピノサド	0.06
その他農薬類	他-044	セトキシジム	0.2
その他農薬類	他-045	チアクロプリド	0.03
その他農薬類	他-046	チアメトキサム	0.05
その他農薬類	他-047	チオシクラム	0.05
その他農薬類	他-048	チフルザミド	0.04
その他農薬類	他-049	テクロフタラム	0.1
その他農薬類	他-050	テトラクロルビンホス（CVMP）	0.01
その他農薬類	他-051	テトラコナゾール	0.01
その他農薬類	他-052	テブフェノジド	0.04
その他農薬類	他-053	トリネキサパックエチル	0.01
その他農薬類	他-054	トリフルミゾール	0.04
その他農薬類	他-055	トルフェンピラド	0.01
その他農薬類	他-056	ナプロアニリド	0.02
その他農薬類	他-057	ニテンピラム	1.3
その他農薬類	他-058	パクロブトラゾール	0.05
その他農薬類	他-059	バリダマイシン	0.9
その他農薬類	他-060	ビスピリバック	0.03

表 2-15　検討対象項目（要検討項目）（4/4）

分類	番号	物質名称	目標値 （mg/L）
その他農薬類	他-061	ピメトロジン	0.03
その他農薬類	他-062	ピラゾスルフロンエチル	0.03
その他農薬類	他-063	ピリミノバックメチル	0.05
その他農薬類	他-064	ピリミホスメチル	0.06
その他農薬類	他-065	ピレトリン	0.1
その他農薬類	他-066	フェノキサニル	0.02
その他農薬類	他-067	フェンバレレート	0.04
その他農薬類	他-068	フラチオカルブ	0.008
その他農薬類	他-069	フラメトピル	0.02
その他農薬類	他-070	フルアジホップ	0.01
その他農薬類	他-071	プロパニル（DCPA）	0.04
その他農薬類	他-072	プロパホス	0.001
その他農薬類	他-073	プロパルギット（BPPS）	0.02
その他農薬類	他-074	プロヘキサジオン	0.5
その他農薬類	他-075	プロポキスル（PHC）	0.2
その他農薬類	他-076	プロメトリン	0.08
その他農薬類	他-077	ペルメトリン	0.1
その他農薬類	他-078	ベンスルタップ	0.06
その他農薬類	他-079	ベンダイオカルブ	0.009
その他農薬類	他-080	ホキシム	0.003
その他農薬類	他-081	ボスカリド	0.1
その他農薬類	他-082	ミルネブ（チアジアジン）	－
その他農薬類	他-083	メタミドホス	0.001
その他農薬類	他-084	メチルイソシアネート	0.006
その他農薬類	他-085	モノクロトホス	0.002
その他農薬類	他-086	リニュロン	0.02

2.3.2. 測定地点数、検出地点数及び検出率の一覧表

各調査対象項目について、各年度の原水／浄水別の測定地点数と検出地点数及び検出率を表2-16に示す。ここでは次の2ケースについて検出地点数と検出率を整理した。

ａ　最大値が目標値の10%値（農薬においては1%値、目標値が定められていない項目については定量下限値）を超過して検出された地点

ｂ　最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬においては1%値以下）で検出された地点（目標値が定められていない項目については、最大値が定量下限値と等しい地点）

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（1/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
検-01	銀及びその化合物	－	R04	133	169	0	0	0.0%	0.0%	1	1	0.0%	0.6%	0.0002	目標値ナシ	0.0001	目標値ナシ
			R05	127	166	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-02	バリウム及びその化合物	0.7	R04	141	184	2	0	1.4%	0.0%	60	107	42.6%	58.2%	0.1	14.3%	0.05	7.1%
			R05	150	198	3	1	2.0%	0.5%	72	103	48.0%	52.0%	0.1	14.3%	0.08	11.4%
検-03	ビスマス及びその化合物	－	R04	103	142	0	1	0.0%	0.7%	0	2	0.0%	0.7%	ND	目標値ナシ	0.0011	目標値ナシ
			R05	103	144	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-04	モリブデン及びその化合物	0.07	R04	285	424	1	0	0.4%	0.0%	10	27	3.5%	6.4%	0.002	2.9%	0.0013	1.9%
			R05	298	459	0	0	0.0%	0.0%	21	24	7.0%	5.2%	0.003	4.3%	0.002	2.9%
検-05	アクリルアミド	0.0005	R04	54	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	47	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-06	アクリル酸	－	R04	42	45	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	31	34	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-07	１７－β－エストラジオール	0.00008	R04	40	40	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	41	42	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-08	エチニルーエストラジオール	0.00002	R04	36	39	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	36	41	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-09	エチレンジアミン四酢酸（ＥＤＴＡ）	0.5	R04	45	26	0	0	0.0%	0.0%	9	10	20.0%	38.5%	0.013	2.6%	0.0082	1.6%
			R05	54	38	0	0	0.0%	0.0%	13	10	24.1%	26.3%	0.015	3.0%	0.009	1.8%
検-10	エピクロロヒドリン	0.0004	R04	51	43	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	46	40	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-11	塩化ビニル	0.002	R04	54	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	57	54	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-12	酢酸ビニル	－	R04	43	25	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	41	25	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-13	２，４－トルエンジアミン	－	R04	21	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	21	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-14	２，６－トルエンジアミン	－	R04	21	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	21	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-15	Ｎ，Ｎ－ジメチルアニリン	－	R04	55	36	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	53	35	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-16	スチレン	0.02	R04	67	51	0	0	0.0%	0.0%	1	2	1.5%	3.9%	0.0001	0.5%	0.0001	0.5%
			R05	72	57	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L	R04	242	211	28	0	11.6%	0.5%	105	107	43.4%	50.7%	0.68	68.0%	0.064	6.4%
			R05	248	233	36	0	14.5%	0.0%	195	205	78.6%	88.0%	0.76	76.0%	0.061	6.1%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（2/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
検-18	トリエチレンテトラミン	－	R04	23	24	1	0	8.7%	0.0%	1	0	4.3%	0.0%	0.013	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	22	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-19	ノニルフェノール	0.3	R04	93	75	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	94	77	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-20	ビスフェノールＡ	0.1	R04	92	78	0	0	0.0%	0.0%	4	0	4.3%	0.0%	0.00003	0.0%	ND	0%
			R05	91	80	0	0	0.0%	0.0%	2	0	2.2%	0.0%	0.00003	0.0%	ND	0%
検-21	ヒドラジン	－	R04	63	58	6	4	9.5%	6.9%	2	2	1.6%	3.4%	0.015	目標値ナシ	0.007	目標値ナシ
			R05	52	47	5	0	9.6%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.011	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-22	１，２－ブタジエン	－	R04	12	14	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	12	14	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-23	１，３－ブタジエン	－	R04	12	14	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	13	15	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-24	フタル酸ジ（ｎ－ブチル）	0.01	R04	116	158	0	0	0.0%	0.0%	1	0	0.9%	0.0%	0.001	10.0%	ND	0%
			R05	119	158	0	0	0.0%	0.0%	3	0	2.5%	0.0%	0.001	10.0%	ND	0%
検-25	フタル酸ブチルベンジル	0.5	R04	115	158	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	117	157	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-26	ミクロキスチンーＬＲ	0.0008	R04	77	72	12	1	15.6%	1.4%	0	0	0.0%	0.0%	0.00053	66.3%	0.0001	12.5%
			R05	74	61	6	0	8.1%	0.0%	6	0	8.1%	0.0%	0.0023	287.5%	ND	0%
検-27	有機すず化合物	0.0006	R04	17	26	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	17	22	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-28	ブロモクロロ酢酸	－	R04	6	121	0	27	0.0%	22.3%	0	7	0.0%	6.6%	ND	目標値ナシ	0.02	目標値ナシ
			R05	12	126	0	16	0.0%	12.7%	0	8	0.0%	6.3%	ND	目標値ナシ	0.004	目標値ナシ
検-29	ブロモジクロロ酢酸	－	R04	3	95	0	14	1.0%	14.7%	0	2	0.0%	4.2%	ND	目標値ナシ	0.015	目標値ナシ
			R05	12	114	0	19	0.0%	16.7%	0	3	0.0%	2.6%	ND	目標値ナシ	0.005	目標値ナシ
検-30	ジブロモクロロ酢酸	－	R04	3	95	0	1	0.0%	1.1%	0	1	0.0%	1.1%	ND	目標値ナシ	0.006	目標値ナシ
			R05	12	99	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-31	ブロモ酢酸	－	R04	9	141	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	15	159	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-32	ジブロモ酢酸	－	R04	6	120	0	9	0.0%	7.5%	0	3	0.0%	2.5%	ND	目標値ナシ	0.004	目標値ナシ
			R05	12	133	0	7	0.0%	5.3%	0	2	0.0%	1.5%	ND	目標値ナシ	0.05	目標値ナシ
検-33	トリブロモ酢酸	－	R04	3	95	0	0	0.0%	0.0%	0	2	0.0%	1.1%	ND	目標値ナシ	0.002	目標値ナシ
			R05	12	99	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-34	トリクロロアセトニトリル	－	R04	9	157	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	14	162	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（3/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
検-35	ブロモクロロアセトニトリル	-	R04	7	135	0	1	0.0%	0.7%	3	4	42.9%	3.0%	0.001	目標値ナシ	0.002	目標値ナシ
			R05	12	140	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
検-36	ジブロモアセトニトリル	0.06	R04	20	175	0	0	0.0%	0.0%	0	1	0.0%	0.6%	ND	0%	0.001	1.7%
			R05	25	187	0	0	0.0%	0.0%	0	6	0.0%	3.2%	ND	0%	0.002	3.3%
検-37	アセトアルデヒド	-	R04	30	150	0	8	0.0%	5.3%	0	4	0.0%	2.7%	ND	目標値ナシ	0.008	目標値ナシ
			R05	34	153	0	2	0.0%	1.3%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	0.003	目標値ナシ
検-38	ＭＸ	0.001	R04	6	10	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	3	8	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-40	キシレン	0.4	R04	294	398	0	0	0.0%	0.0%	0	3	0.0%	0.8%	ND	0%	0.04	10.0%
			R05	299	408	0	0	0.0%	0.0%	1	1	0.3%	0.2%	0.0002	0.1%	0.03	7.5%
検-41	過塩素酸	0.025	R04	46	54	1	0	2.2%	0.0%	13	15	28.3%	27.8%	0.0026	10.4%	0.0023	9.2%
			R05	53	57	3	2	5.7%	3.5%	13	16	24.5%	28.1%	0.0034	13.6%	0.0039	15.6%
検-44	Ｎ－ニトロソジメチルアミン（ＮＤＭＡ）	0.0001	R04	25	31	0	0	0.0%	0.0%	1	1	4.0%	3.2%	0.000001	1.0%	0.000001	1.0%
			R05	29	34	0	0	0.0%	0.0%	3	0	10.3%	0.0%	0.000004	4.0%	ND	0%
検-45	アニリン	0.02	R04	35	45	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	35	40	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-46	キノリン	0.0001	R04	40	46	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	47	55	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-47	１，２，３－トリクロロベンゼン	0.02	R04	41	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	39	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-48	ニトリロ三酢酸（ＮＴＡ）	0.2	R04	25	30	0	0	0.0%	0.0%	5	0	20.0%	0.0%	0.0007	0.4%	ND	0%
			R05	26	32	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
検-49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（ＰＦＨｘＳ）	-	R04	199	179	25	16	13.1%	10.6%	1	3	1.0%	1.7%	0.00011	目標値ナシ	0.000016	目標値ナシ
			R05	214	199	33	21	15.4%	10.6%	8	0	3.7%	0.0%	0.0001	目標値ナシ	0.000016	目標値ナシ

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（4/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
要-001	アセタミプリド	0.2	R04	71	86	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	76	86	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-002	イミダクロプリド	0.1	R04	83	93	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	99	101	0	0	0.0%	0.0%	1	0	1.0%	0.0%	0.00002	0.0%	ND	0%
要-003	イプロジオン	0.05	R04	46	64	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	56	68	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-004	エチプロール	0.01	R04	53	63	3	0	5.7%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0013	13.0%	ND	0%
			R05	70	74	0	0	0.0%	0.0%	1	0	1.4%	0.0%	0.0001	1.0%	ND	0%
要-005	クロロピクリン	0.003	R04	2	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
			R05	8	3	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-006	テブコナゾール	0.07	R04	55	70	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	59	71	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-007	パラチオンメチル	0.04	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
要-008	ヒメキサゾール（ヒドロキシイソキサゾール）	0.1	R04	14	11	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	12	9	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-009	ピラクロホス	－	R04	27	29	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	29	27	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
要-010	フルスルファミド	－	R04	37	54	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	38	52	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
要-011	ブロマシル	0.05	R04	61	82	0	0	0.0%	0.0%	11	0	18.0%	0.0%	0.00029	0.6%	ND	0%
			R05	66	82	0	0	0.0%	0.0%	13	0	19.7%	0.0%	0.0002	0.4%	ND	0%
要-012	ペントキサゾン	0.6	R04	61	73	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	66	76	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-013	ホサロン	0.005	R04	30	32	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	34	32	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
要-014	メタアルデヒド	0.06	R04	10	0	3	0	30.0%	－	0	0	0.0%	－	0.003	5.0%	ND	0%
			R05	16	1	5	0	31.3%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.005	8.3%	ND	0%
要-015	メトラクロール	0.2	R04	36	42	0	0	0.0%	0.0%	0	1	0.0%	2.4%	ND	0%	0.0001	0.1%
			R05	40	42	0	0	0.0%	0.0%	2	0	5.0%	0.0%	0.00007	0.0%	ND	0%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（5/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《ａ》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《ｂ》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《ｃ》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
他-001	２―クロロプロピオン酸メチル（ＭＣＰＭ）	_	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-002	２，４―ＤＢ	_	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-003	ＤＢＥＤＣ	_	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-004	ＭＣＰＢ	0.03	R04	9	4	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	23	12	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-005	アシベンゾラルＳメチル	0.2	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-006	アジムスルフロン	0.2	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-007	アミトロール	0.003	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-008	アメトリン	0.2	R04	30	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	33	45	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-009	イナベンフィド	0.3	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-010	イマゾスルフロン	0.2	R04	22	20	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	37	28	0	0	0.0%	0.0%	3	0	8.1%	0.0%	0.00004	0.0%	ND	0%
他-011	ウニコナゾールＰ	0.05	R04	21	23	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	33	45	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-012	エトキシスルフロン	0.1	R04	35	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	36	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-013	エトベンザニド	0.1	R04	33	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	38	50	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-014	エンドタール	_	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-015	オキサジアルギル	0.02	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	33	46	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-016	オキサミル	0.05	R04	33	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	33	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-017	オキソリニック酸	0.05	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（6/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		原水		浄水	
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
他-018	キザロホップエチル	0.02	R04	31	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	35	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-019	クロチアニジン	0.2	R04	85	114	0	0	0.0%	0.0%	5	0	5.9%	0.0%	0.00007	0%	ND	0%
			R05	102	125	0	0	0.0%	0.0%	7	2	6.9%	1.6%	0.000078	0%	0.000073	0%
他-020	クロマフェノジド	0.7	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-021	クロルタールジメチル（ＴＣＴＰ）	_	R04	7	7	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	9	7	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-022	クロルピリホスメチル	0.03	R04	24	25	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	29	26	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-023	シクロスルファムロン	0.08	R04	1	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
			R05	1	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
他-024	ジクロフェンチオン（ＥＣＰ）	0.006	R04	19	21	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	26	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-025	シクロプロトリン	0.008	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-026	ジクロメジン	0.05	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	28	42	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-027	ジクロルプロップ	0.09	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-028	ジコホル（ケルセン）	0.06	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-029	ジチアノン	0.03	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-030	シノスルフロン	0.2	R04	25	42	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	28	42	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-031	ジノテフラン	0.6	R04	103	153	0	0	0.0%	0.0%	5	2	4.9%	1.3%	0.00023	0.0%	0.00007	0.0%
			R05	115	168	0	0	0.0%	0.0%	18	6	15.7%	3.6%	0.006	1.0%	0.0001	0.0%
他-032	ジフェノコナゾール	0.02	R04	36	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	41	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-033	シフルトリン	0.06	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-034	ジフルベンズロン	0.05	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（7/9）

物質No.	物質名称	目標値（mg/L）	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度（mg/L）	目標値に対する割合	濃度（mg/L）	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
他-035	シプロコナゾール	0.02	R04	36	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	42	50	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-036	シプロジニル	0.07	R04	35	51	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	40	51	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-037	シペルメトリン	0.06	R04	3	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	4	2	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-038	シメコナゾール	0.02	R04	59	89	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	80	99	1	0	1.3%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	0.0003	1.5%	ND	0%
他-039	ジメチルビンホス	0.01	R04	21	23	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	24	22	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-040	ジメピペレート	0.003	R04	32	34	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	37	40	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-041	シラフルオフェン	0.3	R04	39	43	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	42	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-042	シンメチリン	0.1	R04	21	23	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	26	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-043	スピノサド	0.06	R04	8	4	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	8	4	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-044	セトキシジム	0.2	R04	1	1	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	−	−	0	0	−	−	ND	0%	ND	0%
他-045	チアクロプリド	0.03	R04	41	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	46	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-046	チアメトキサム	0.05	R04	50	70	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	57	72	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-047	チオシクラム	0.05	R04	0	0	0	0	−	−	0	0	−	−	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	−	−	0	0	−	−	ND	0%	ND	0%
他-048	チフルザミド	0.04	R04	53	82	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	55	80	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-049	テクロフタラム	0.1	R04	0	0	0	0	−	−	0	0	−	−	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	−	−	0	0	−	−	ND	0%	ND	0%
他-050	テトラクロルビンホス（ＣＶＭＰ）	0.01	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	32	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-051	テトラコナゾール	0.01	R04	32	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	37	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（8/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		検出地点数		検出率 測定地点数に対する割合		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
他-052	テブフェノジド	0.04	R04	40	52	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	58	61	0	0	0.0%	0.0%	3	0	5.2%	0.0%	0.00019	0.5%	ND	0%
他-053	トリネキサパックエチル	0.01	R04	34	46	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	47	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-054	トリフルミゾール	0.04	R04	33	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	38	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-055	トルフェンピラド	0.01	R04	2	2	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	4	4	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-056	ナプロアニリド	0.02	R04	30	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	33	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-057	ニテンピラム	1.3	R04	36	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	39	56	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-058	パクロブトラゾール	0.05	R04	22	23	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	42	36	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-059	バリダマイシン	0.9	R04	6	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
			R05	9	0	0	0	0.0%	－	3	0	33.3%	－	0.0005	0.1%	ND	0%
他-060	ビスピリバック	0.03	R04	1	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
			R05	1	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
他-061	ピメトロジン	0.03	R04	42	52	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	43	53	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-062	ピラゾスルフロンエチル	0.03	R04	53	68	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	57	68	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-063	ピリミノバックメチル	0.05	R04	42	79	0	0	0.0%	0.0%	0	ND	0.0%	0.0%	ND	0.0%	ND	0%
			R05	61	89	0	0	0.0%	0.0%	0	1	0.0%	1.1%	ND	0%	0.00001	0.0%
他-064	ピリミホスメチル	0.06	R04	30	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	ND	0.0%	ND	0.0%	ND	0%
			R05	35	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-065	ピレトリン	0.1	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-066	フェノキサニル	0.02	R04	11	13	0	0	0.0%	0.0%	0	0	ND	0.0%	ND	0.0%	ND	0%
			R05	14	14	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-067	フェンバレレート	0.04	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-068	フラチオカルブ	0.008	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%

表 2-16　測定地点数、検出地点数及び検出率（9/9）

物質No.	物質名称	目標値 (mg/L)	年度	測定地点数		《a》最大値が目標値の10%値（農薬は1%値、目標値がない項目は定量下限値）を超過して検出された地点				《b》最大値が定量下限値以上かつ目標値の10%値以下（農薬は1%値以下）で検出された地点（目標値がない項目は年最大値が定量下限値と等しい地点）				《c》最大値及び最大値の目標値に対する割合			
						検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		検出地点数		検出率（測定地点数に対する割合）		原水		浄水	
														濃度 (mg/L)	目標値に対する割合	濃度 (mg/L)	目標値に対する割合
				原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水	原水	浄水				
他-069	フラメトピル	0.02	R04	67	92	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	85	101	0	0	0.0%	0.0%	1	0	1.2%	0.0%	0.00001	0.1%	ND	0%
他-070	フルアジホップ	0.01	R04	33	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	36	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-071	プロパニル（ＤＣＰＡ）	0.04	R04	30	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	35	47	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-072	プロパホス	0.001	R04	12	12	0	0	0.0%	0.0%	0	0	ND	0.0%	ND	0.0%	ND	0%
			R05	26	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-073	プロパルギット（ＢＰＰＳ）	0.02	R04	10	9	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	12	11	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-074	プロヘキサジオン	0.5	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	10	10	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-075	プロポキスル（ＰＨＣ）	0.2	R04	21	23	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	26	24	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-076	プロメトリン	0.08	R04	31	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	37	49	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-077	ペルメトリン	0.1	R04	1	0	0	0	0.0%	－	0	0	0.0%	－	ND	0%	ND	0%
			R05	6	3	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-078	ベンスルタップ	0.06	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-079	ベンダイオカルブ	0.009	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-080	ホキシム	0.003	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-081	ボスカリド	0.1	R04	35	50	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	38	48	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-082	ミルネブ（チアジアジン）	－	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	目標値ナシ	ND	目標値ナシ
他-083	メタミドホス	0.001	R04	18	20	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	22	22	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-084	メチルイソシアネート	0.006	R04	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
			R05	0	0	0	0	－	－	0	0	－	－	ND	0%	ND	0%
他-085	モノクロトホス	0.002	R04	27	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	30	44	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
他-086	リニュロン	0.02	R04	43	63	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%
			R05	46	63	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%	ND	0%	ND	0%

2.3.3. 調査結果

1）最大値が目標値の 10%値（農薬は 1%値）を超過した項目及び超過割合

調査の対象とした水質測定結果のうち、原水あるいは浄水の最大値が目標値の 10%値（農薬においては 1%値）を超過した項目の一覧を表 2-17 に示す。

表 2-17　最大値が目標値の 10%値（農薬は 1%値）を超過した項目（R04・R05 の 2 年分）

物質№	物質名称	目標値(mg/L)	最大値の目標値に対する割合	
			原水	浄水
検-02	バリウム及びその化合物	0.7	14.3%	11.4%
検-17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L	76.0%	6.4%
検-26	ミクロキスチン－LR	0.0008	287.5%	12.5%
検-41	過塩素酸	0.025	13.6%	15.6%
要-004	エチプロール	0.01	13.0%	0.0%

2）目標値のない項目の最大値

調査の対象とした水質測定結果のうち、目標値が設定されていない項目について、原水あるいは浄水の最大値の一覧を表 2-18 に示す（全ての測定結果が定量下限値未満であった項目と測定されていなかった項目を除く）。

表 2-18　目標値のない項目の最大値（R04・R05 の 2 年分）

物質No.	物質名称	採水年度	種別最大値(mg/L)	
			原水	浄水
検-01	銀及びその化合物	R04	0.0002	0.0001
		R05	ND	ND
検-03	ビスマス及びその化合物	R04	ND	0.0011
		R05	ND	ND
検-18	トリエチレンテトラミン	R04	0.013	ND
		R05	ND	ND
検-21	ヒドラジン	R04	0.015	0.007
		R05	0.011	ND
検-28	ブロモクロロ酢酸	R04	ND	0.02
		R05	ND	0.004
検-29	ブロモジクロロ酢酸	R04	ND	0.015
		R05	ND	0.005
検-30	ジブロモクロロ酢酸	R04	ND	0.006
		R05	ND	ND
検-32	ジブロモ酢酸	R04	ND	0.004
		R05	ND	0.05
検-33	トリブロモ酢酸	R04	ND	0.002
		R05	ND	ND
検-35	ブロモクロロアセトニトリル	R04	0.001	0.002
		R05	ND	ND
検-37	アセトアルデヒド	R04	ND	0.008
		R05	ND	0.003
検-49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（ＰＦＨｘＳ）	R04	0.00011	0.000016
		R05	0.0001	0.000016

3）最大値が定量下限値以上かつ目標値の 10%値（農薬は 1%値）以下であった項目

調査の対象とした水質測定結果のうち、原水あるいは浄水のそれぞれにおいて、全地点の最大値が定量下限値以上かつ目標値の 10%値（農薬は 1%値）以下であった項目の一覧を表 2-19 に示す。

表 2-19　最大値が定量下限値以上かつ目標値の 10%値（農薬は 1%値）以下であった項目

物質№	物質名称	目標値(mg/L)	最大値の目標値に対する割合	
			原水	浄水
検-09	エチレンジアミン四酢酸（ＥＤＴＡ）	0.5	3.0%	1.8%
検-16	スチレン	0.02	0.5%	0.5%
検-20	ビスフェノールＡ	0.1	0.0%	ND
検-24	フタル酸ジ（ｎ－ブチル）	0.01	10.0%	ND
検-36	ジブロモアセトニトリル	0.06	ND	3.3%
検-40	キシレン	0.4	0.1%	10.0%
検-44	Ｎ－ニトロソジメチルアミン（ＮＤＭＡ）	0.0001	4.0%	1.0%
検-48	ニトリロ三酢酸（ＮＴＡ）	0.2	0.4%	ND
要-002	イミダクロプリド	0.1	0.0%	ND
要-011	ブロマシル	0.05	0.6%	ND
要-015	メトラクロール	0.2	0.0%	0.1%
他-010	イマゾスルフロン	0.2	0.0%	ND
他-019	クロチアニジン	0.2	0.0%	0.0%
他-031	ジノテフラン	0.6	1.0%	0.0%
他-052	テブフェノジド	0.04	0.5%	ND
他-059	バリダマイシン	0.9	0.1%	ND
他-063	ピリミノバックメチル	0.05	ND	0.0%
他-069	フラメトピル	0.02	0.1%	ND

4）全ての測定結果が定量下限値未満であった項目

調査の対象とした水質測定結果のうち、原水あるいは浄水のそれぞれにおいて、全ての測定結果が定量下限値未満であった項目の一覧を表 2-20 に示す。

表 2-20　全ての測定結果が定量下限値未満であった項目（R04・R05 の 2 年分）（1/2）

物質No.	物質名称	目標値(mg/L)
検-05	アクリルアミド	0.0005
検-06	アクリル酸	－
検-07	１７－β－エストラジオール	0.00008
検-08	エチニルーエストラジオール	0.00002
検-10	エピクロロヒドリン	0.0004
検-11	塩化ビニル	0.002
検-12	酢酸ビニル	－
検-13	２，４－トルエンジアミン	－
検-14	２，６－トルエンジアミン	－
検-15	Ｎ，Ｎ－ジメチルアニリン	－
検-19	ノニルフェノール	0.3
検-22	１，２－ブタジエン	－
検-23	１，３－ブタジエン	－
検-25	フタル酸ブチルベンジル	0.5
検-27	有機すず化合物	0.0006
検-31	ブロモ酢酸	－
検-34	トリクロロアセトニトリル	－
検-38	ＭＸ	0.001
検-45	アニリン	0.02
検-46	キノリン	0.0001
検-47	１，２，３－トリクロロベンゼン	0.02
要-001	アセタミプリド	0.2
要-003	イプロジオン	0.05
要-005	クロロピクリン	0.003
要-006	テブコナゾール	0.07
要-007	パラチオンメチル	0.04
要-008	ヒメキサゾール（ヒドロキシイソキサゾール）	0.1
要-009	ピラクロホス	－
要-010	フルスルファミド	－
要-012	ペントキサゾン	0.6
要-013	ホサロン	0.005
他-002	２，４―ＤＢ	－
他-003	ＤＢＥＤＣ	－
他-004	ＭＣＰＢ	0.03
他-005	アシベンゾラルＳメチル	0.2
他-006	アジムスルフロン	0.2
他-008	アメトリン	0.2
他-009	イナベンフィド	0.3
他-011	ウニコナゾールＰ	0.05
他-012	エトキシスルフロン	0.1
他-013	エトベンザニド	0.1
他-015	オキサジアルギル	0.02
他-016	オキサミル	0.05
他-018	キザロホップエチル	0.02
他-020	クロマフェノジド	0.7
他-021	クロルタールジメチル（ＴＣＴＰ）	－
他-022	クロルピリホスメチル	0.03
他-023	シクロスルファムロン	0.08
他-024	ジクロフェンチオン（ＥＣＰ）	0.006
他-025	シクロプロトリン	0.008
他-026	ジクロメジン	0.05
他-027	ジクロルプロップ	0.09

表 2-20　全ての測定結果が定量下限値未満であった項目（R04・R05 の 2 年分）（2/2）

物質No.	物質名称	目標値(mg/L)
他-030	シノスルフロン	0.2
他-032	ジフェノコナゾール	0.02
他-034	ジフルベンズロン	0.05
他-035	シプロコナゾール	0.02
他-036	シプロジニル	0.07
他-037	シペルメトリン	0.06
他-039	ジメチルビンホス	0.01
他-040	ジメピペレート	0.003
他-041	シラフルオフェン	0.3
他-042	シンメチリン	0.1
他-043	スピノサド	0.06
他-044	セトキシジム	0.2
他-045	チアクロプリド	0.03
他-046	チアメトキサム	0.05
他-048	チフルザミド	0.04
他-050	テトラクロルビンホス（ＣＶＭＰ）	0.01
他-051	テトラコナゾール	0.01
他-053	トリネキサパックエチル	0.01
他-054	トリフルミゾール	0.04
他-055	トルフェンピラド	0.01
他-056	ナプロアニリド	0.02
他-057	ニテンピラム	1.3
他-058	パクロブトラゾール	0.05
他-060	ビスピリバック	0.03
他-061	ピメトロジン	0.03
他-062	ピラゾスルフロンエチル	0.03
他-064	ピリミホスメチル	0.06
他-066	フェノキサニル	0.02
他-070	フルアジホップ	0.01
他-071	プロパニル（ＤＣＰＡ）	0.04
他-072	プロパホス	0.001
他-073	プロパルギット（ＢＰＰＳ）	0.02
他-074	プロヘキサジオン	0.5
他-075	プロポキスル（ＰＨＣ）	0.2
他-076	プロメトリン	0.08
他-077	ペルメトリン	0.1
他-079	ベンダイオカルブ	0.009
他-080	ホキシム	0.003
他-081	ボスカリド	0.1
他-083	メタミドホス	0.001
他-085	モノクロトホス	0.002
他-086	リニュロン	0.02

5）測定されていなかった項目

本調査において回答のあった全ての水道事業者において測定されていなかった項目の一覧を表 2-21 に示す。

表 2-21　測定されていなかった項目

物質No.	物質名称	目標値（mg/L）
他-001	２―クロロプロピオン酸メチル（ＭＣＰＭ）	－
他-007	アミトロール	0.003
他-014	エンドタール	－
他-017	オキソリニック酸	0.05
他-028	ジコホル（ケルセン）	0.06
他-029	ジチアノン	0.03
他-033	シフルトリン	0.06
他-047	チオシクラム	0.05
他-049	テクロフタラム	0.1
他-065	ピレトリン	0.1
他-067	フェンバレレート	0.04
他-068	フラチオカルブ	0.008
他-078	ベンスルタップ	0.06
他-082	ミルネブ（チアジアジン）	－
他-084	メチルイソシアネート	0.006

調査の対象とした水質測定結果のうち、最大値について作成した度数分布表を表 2-22（要検討項目）、表 2-23（要検討農薬類）、表 2-24（その他農薬類）に示す。

なお、水質階級の設定について、要検討項目は目標値の 10%から 100%まで 10%刻み、農薬類については目標値の 1、2、3、5、7、10、30、50、70、100%刻みで集計を行った。また、目標値が設定されていない項目については、濃度の分布状況のみを示した。

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（1/7）

検-01 銀及びその化合物

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	133	132	1										
	浄水	169	168	1										
R5	原水	127	127											
	浄水	166	166											

ND：定量下限値未満

検-02 バリウム及びその化合物

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.7mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.07	0.07	≦0.14	≦0.21	≦0.28	≦0.35	≦0.42	≦0.49	≦0.56	≦0.63	≦0.7	＞0.7
R4	原水	141	139		2									
	浄水	184	184											
R5	原水	150	147		3									
	浄水	198	197		1									

検-03 ビスマス及びその化合物

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	103	103											
	浄水	142	139	2	1									
R5	原水	103	103											
	浄水	144	144											

ND：定量下限値未満

検-04 モリブデン及びその化合物

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.07mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.007	0.007	≦0.014	≦0.021	≦0.028	≦0.035	≦0.042	≦0.049	≦0.056	≦0.063	≦0.07	＞0.07
R4	原水	285	284		1									
	浄水	424	424											
R5	原水	298	298											
	浄水	459	459											

検-05 アクリルアミド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0005mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00005	0.00005	≦0.0001	≦0.00015	≦0.0002	≦0.00025	≦0.0003	≦0.00035	≦0.0004	≦0.00045	≦0.0005	＞0.0005
R4	原水	54	54											
	浄水	49	49											
R5	原水	47	47											
	浄水	48	48											

検-06 アクリル酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.0008	≦0.001	≦0.0012	≦0.0014	≦0.0016	≦0.0018	≦0.002	＞0.002
R4	原水	42	42											
	浄水	45	45											
R5	原水	31	31											
	浄水	34	34											

ND：定量下限値未満

検-07 17－β－エストラジオール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.00008mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.000008	0.000008	≦0.000016	≦0.000024	≦0.000032	≦0.00004	≦0.000048	≦0.000056	≦0.000064	≦0.000072	≦0.00008	＞0.00008
R4	原水	40	40											
	浄水	40	40											
R5	原水	41	41											
	浄水	42	42											

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（2/7）

検-08 エチニルーエストラジオール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.00002mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.000002	0.000002	≦0.000004	≦0.000006	≦0.000008	≦0.00001	≦0.000012	≦0.000014	≦0.000016	≦0.000018	≦0.00002	＞0.00002
R4	原水	36	36											
	浄水	39	39											
R5	原水	36	36											
	浄水	41	41											

検-09 エチレンジアミン四酢酸（EDTA）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.5mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.05	0.05	≦0.1	≦0.15	≦0.2	≦0.25	≦0.3	≦0.35	≦0.4	≦0.45	≦0.5	＞0.5
R4	原水	45	45											
	浄水	26	26											
R5	原水	54	54											
	浄水	38	38											

検-10 エピクロロヒドリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0004mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00004	0.00004	≦0.00008	≦0.00012	≦0.00016	≦0.0002	≦0.00024	≦0.00028	≦0.00032	≦0.00036	≦0.0004	＞0.0004
R4	原水	51	51											
	浄水	43	43											
R5	原水	46	46											
	浄水	40	40											

検-11 塩化ビニル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.002mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.0008	≦0.001	≦0.0012	≦0.0014	≦0.0016	≦0.0018	≦0.002	＞0.002
R4	原水	54	54											
	浄水	48	48											
R5	原水	57	57											
	浄水	54	54											

検-12 酢酸ビニル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00004	≦0.00005	≦0.00006	≦0.00007	≦0.00008	≦0.00009	≦0.0001	＞0.0001
R4	原水	43	43											
	浄水	25	25											
R5	原水	41	41											
	浄水	25	25											

ND：定量下限値未満

検-13 2，4ートルエンジアミン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.00005	≦0.0001	≦0.00015	≦0.0002	≦0.00025	≦0.0003	≦0.00035	≦0.0004	≦0.00045	≦0.0005	＞0.0005
R4	原水	21	21											
	浄水	24	24											
R5	原水	21	21											
	浄水	24	24											

ND：定量下限値未満

検-14 2，6ートルエンジアミン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.00005	≦0.0001	≦0.00015	≦0.0002	≦0.00025	≦0.0003	≦0.00035	≦0.0004	≦0.00045	≦0.0005	＞0.0005
R4	原水	21	21											
	浄水	24	24											
R5	原水	21	21											
	浄水	24	24											

ND：定量下限値未満

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（3/7）

検-15 N, N－ジメチルアニリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00004	≦0.00005	≦0.00006	≦0.00007	≦0.00008	≦0.00009	≦0.0001	＞0.0001
R4	原水	55	55											
	浄水	36	36											
R5	原水	53	53											
	浄水	35	35											

ND：定量下限値未満

検-16 スチレン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.008	≦0.01	≦0.012	≦0.014	≦0.016	≦0.018	≦0.02	＞0.02
R4	原水	67	67											
	浄水	51	51											
R5	原水	72	72											
	浄水	57	57											

検-17 ダイオキシン類

年度	浄水/原水の別	測定地点数	1pg－TEQ／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：pg－TEQ／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.1	0.1	≦0.2	≦0.3	≦0.4	≦0.5	≦0.6	≦0.7	≦0.8	≦0.9	≦1	＞1
R4	原水	242	211	3	15	5	1	3		3		1		
	浄水	211	210								1			
R5	原水	248	207	5	19	7	1	3	3		3			
	浄水	233	233											

検-18 トリエチレンテトラミン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	23	21										1	1
	浄水	24	24											
R5	原水	22	22											
	浄水	24	24											

ND：定量下限値未満

検-19 ノニルフェノール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.3mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.03	0.03	≦0.06	≦0.09	≦0.12	≦0.15	≦0.18	≦0.21	≦0.24	≦0.27	≦0.3	＞0.3
R4	原水	93	93											
	浄水	75	75											
R5	原水	94	94											
	浄水	77	77											

検-20 ビスフェノールA

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.01	0.01	≦0.02	≦0.03	≦0.04	≦0.05	≦0.06	≦0.07	≦0.08	≦0.09	≦0.1	＞0.1
R4	原水	92	92											
	浄水	78	78											
R5	原水	91	91											
	浄水	80	80											

検-21 ヒドラジン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.002	≦0.0025	≦0.003	≦0.0035	≦0.004	≦0.0045	≦0.005	＞0.005
R4	原水	64	57										2	5
	浄水	58	54										2	2
R5	原水	52	47										1	4
	浄水	47	47											

ND：定量下限値未満

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（4/7）

検-22　1，2－ブタジエン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.000001	≦0.000002	≦0.000003	≦0.000004	≦0.000005	≦0.000006	≦0.000007	≦0.000008	≦0.000009	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	12	12											
	浄水	14	14											
R5	原水	12	12											
	浄水	14	14											

ND：定量下限値未満

検-23　1，3－ブタジエン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.000001	≦0.000002	≦0.000003	≦0.000004	≦0.000005	≦0.000006	≦0.000007	≦0.000008	≦0.000009	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	12	12											
	浄水	14	14											
R5	原水	13	13											
	浄水	15	15											

ND：定量下限値未満

検-24　フタル酸ジ（n－ブチル）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	116	115	1										
	浄水	158	158											
R5	原水	119	116	3										
	浄水	158	158											

検-25　フタル酸ブチルベンジル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.5mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.05	0.05	≦0.1	≦0.15	≦0.2	≦0.25	≦0.3	≦0.35	≦0.4	≦0.45	≦0.5	＞0.5
R4	原水	115	115											
	浄水	158	158											
R5	原水	117	117											
	浄水	157	157											

検-26　ミクロキスチンーLR

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0008mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00008	0.00008	≦0.00016	≦0.00024	≦0.00032	≦0.0004	≦0.00048	≦0.00056	≦0.00064	≦0.00072	≦0.0008	＞0.0008
R4	原水	77	65		8	1	1			2				
	浄水	72	71		1									
R5	原水	74	68		2	1	1		1					1
	浄水	61	61											

検-27　有機すず化合物

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0006mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00006	0.00006	≦0.00012	≦0.00018	≦0.00024	≦0.0003	≦0.00036	≦0.00042	≦0.00048	≦0.00054	≦0.0006	＞0.0006
R4	原水	17	17											
	浄水	26	26											
R5	原水	17	17											
	浄水	22	22											

検-28　ブロモクロロ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	6	6											
	浄水	121	87	7	17	4	3	1						2
R5	原水	12	12											
	浄水	126	102	8	7	8	1							

ND：定量下限値未満

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（5/7）

検-29 ブロモジクロロ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	3	3											
	浄水	95	79	2	5	7								2
R5	原水	12	12											
	浄水	114	92	3	6	10	1	2						

ND：定量下限値未満

検-30 ジブロモクロロ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.003	≦0.006	≦0.009	≦0.012	≦0.015	≦0.018	≦0.021	≦0.024	≦0.027	≦0.03	＞0.03
R4	原水	3	3											
	浄水	95	93	1	1									
R5	原水	12	12											
	浄水	99	99											

ND：定量下限値未満

検-31 ブロモ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.002	≦0.0025	≦0.003	≦0.0035	≦0.004	≦0.0045	≦0.005	＞0.005
R4	原水	9	9											
	浄水	141	141											
R5	原水	15	15											
	浄水	159	159											

ND：定量下限値未満

検-32 ジブロモ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	6	6											
	浄水	120	108	3	4	2	3							
R5	原水	12	12											
	浄水	133	124	2	3	1	1							2

ND：定量下限値未満

検-33 トリブロモ酢酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.005	≦0.01	≦0.015	≦0.02	≦0.025	≦0.03	≦0.035	≦0.04	≦0.045	≦0.05	＞0.05
R4	原水	3	3											
	浄水	95	93	2										
R5	原水	12	12											
	浄水	99	99											

ND：定量下限値未満

検-34 トリクロロアセトニトリル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	9	9											
	浄水	157	157											
R5	原水	14	14											
	浄水	162	162											

ND：定量下限値未満

検-35 ブロモクロロアセトニトリル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	7	4	3										
	浄水	135	130	4	1									
R5	原水	12	12											
	浄水	140	140											

ND：定量下限値未満

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（6/7）

検-36 ジブロモアセトニトリル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.006	0.006	≦0.012	≦0.018	≦0.024	≦0.03	≦0.036	≦0.042	≦0.048	≦0.054	≦0.06	＞0.06
R4	原水	20	20											
	浄水	175	175											
R5	原水	25	25											
	浄水	187	187											

検-37 アセトアルデヒド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.004	≦0.005	≦0.006	≦0.007	≦0.008	≦0.009	≦0.01	＞0.01
R4	原水	30	30											
	浄水	150	139	3	6	1					1			
R5	原水	34	34											
	浄水	153	151		1	1								

ND：定量下限値未満

検-38 MX

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.001mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0004	≦0.0005	≦0.0006	≦0.0007	≦0.0008	≦0.0009	≦0.001	＞0.001
R4	原水	6	6											
	浄水	10	10											
R5	原水	3	3											
	浄水	8	8											

検-40 キシレン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.4mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.04	0.04	≦0.08	≦0.12	≦0.16	≦0.2	≦0.24	≦0.28	≦0.32	≦0.36	≦0.4	＞0.4
R4	原水	294	294											
	浄水	398	397	1										
R5	原水	299	299											
	浄水	408	408											

検-41 過塩素酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.025mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.0025	0.0025	≦0.005	≦0.0075	≦0.01	≦0.0125	≦0.015	≦0.0175	≦0.02	≦0.0225	≦0.025	＞0.025
R4	原水	46	45		1									
	浄水	54	54											
R5	原水	53	50		3									
	浄水	57	55		2									

検-44 Ｎ－ニトロソジメチルアミン（NDMA）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0001mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00001	0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00004	≦0.00005	≦0.00006	≦0.00007	≦0.00008	≦0.00009	≦0.0001	＞0.0001
R4	原水	25	25											
	浄水	31	31											
R5	原水	29	29											
	浄水	34	34											

検-45 アニリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.008	≦0.01	≦0.012	≦0.014	≦0.016	≦0.018	≦0.02	＞0.02
R4	原水	35	35											
	浄水	45	45											
R5	原水	35	35											
	浄水	40	40											

表 2-22　測定値（最大値）の度数分布表（要検討項目）（7/7）

検-46 キノリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.0001mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.00001	0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00004	≦0.00005	≦0.00006	≦0.00007	≦0.00008	≦0.00009	≦0.0001	＞0.0001
R4	原水	40	40											
	浄水	46	46											
R5	原水	47	47											
	浄水	55	55											

検-47 1，2，3ートリクロロベンゼン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.008	≦0.01	≦0.012	≦0.014	≦0.016	≦0.018	≦0.02	＞0.02
R4	原水	41	41											
	浄水	56	56											
R5	原水	39	39											
	浄水	49	49											

検-48 ニトリロ三酢酸（NTA）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			10%未満	10%	10%超過20%以下	20%超過30%以下	30%超過40%以下	40%超過50%以下	50%超過60%以下	60%超過70%以下	70%超過80%以下	80%超過90%以下	90%超過100%以下	100%超過
			＜0.02	0.02	≦0.04	≦0.06	≦0.08	≦0.1	≦0.12	≦0.14	≦0.16	≦0.18	≦0.2	＞0.2
R4	原水	25	25											
	浄水	30	30											
R5	原水	26	26											
	浄水	32	32											

検-49 ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.000005	≦0.00001	≦0.000015	≦0.00002	≦0.000025	≦0.00003	≦0.000035	≦0.00004	≦0.000045	≦0.00005	＞0.00005
R4	原水	199	173	1	19	2	1			1				2
	浄水	179	160	3	13	2	1							
R5	原水	214	173	8	26	2		1				1		3
	浄水	199	178		17	3	1							

ND：定量下限値未満

表 2-23　測定値（最大値）の度数分布表（要検討農薬類）（1/2）

要-001 アセタミプリド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	71	71											
	浄水	88	88											
R5	原水	76	76											
	浄水	86	86											

要-002 イミダクロプリド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	83	83											
	浄水	93	93											
R5	原水	99	99											
	浄水	101	101											

要-003 イプロジオン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	46	46											
	浄水	64	64											
R5	原水	56	56											
	浄水	68	68											

要-004 エチプロール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	53	50		1		1			1				
	浄水	63	63											
R5	原水	70	69	1										
	浄水	74	74											

要-005 クロロピクリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.003mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.00003	0.00003	≦0.00006	≦0.00009	≦0.00015	≦0.00021	≦0.0003	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	＞0.003
R4	原水	2	2											
	浄水	0												
R5	原水	8	8											
	浄水	3	3											

要-006 テブコナゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.07mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0007	0.0007	≦0.0014	≦0.0021	≦0.0035	≦0.0049	≦0.007	≦0.021	≦0.035	≦0.049	≦0.07	＞0.07
R4	原水	55	55											
	浄水	70	70											
R5	原水	59	59											
	浄水	71	71											

要-007 パラチオンメチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

表 2-23　測定値（最大値）の度数分布表（要検討農薬類）（2/2）

要-008 ヒメキサゾール(ヒドロキシイソキサゾール)

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	14	14											
	浄水	11	11											
R5	原水	12	12											
	浄水	9	9											

要-009 ピラクロホス

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	27	27											
	浄水	29	29											
R5	原水	29	29											
	浄水	27	27											

ND：定量下限値未満

要-010 フルスルファミド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	37	37											
	浄水	54	54											
R5	原水	38	38											
	浄水	52	52											

ND：定量下限値未満

要-011 ブロマシル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	61	61											
	浄水	82	82											
R5	原水	66	66											
	浄水	82	82											

要-012 ペントキサゾン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.6mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.006	0.006	≦0.012	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	≦0.18	≦0.3	≦0.42	≦0.6	＞0.6
R4	原水	61	61											
	浄水	73	73											
R5	原水	66	66											
	浄水	76	76											

要-013 ホサロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.005mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00005	0.00005	≦0.0001	≦0.00015	≦0.00025	≦0.00035	≦0.0005	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	＞0.005
R4	原水	30	30											
	浄水	32	32											
R5	原水	34	34											
	浄水	32	32											

要-014 メタアルデヒド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	10	7				3							
	浄水	0												
R5	原水	16	11		3			1	1					
	浄水	1	1											

要-015 メトラクロール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	36	36											
	浄水	42	42											
R5	原水	40	40											
	浄水	42	42											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（1/12）

他-001　2―クロロプロピオン酸メチル（MCPM）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

ND：定量下限値未満

他-002　2，4―DB

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

ND：定量下限値未満

他-003　DBEDC

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

ND：定量下限値未満

他-004　MCPB

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	9	9											
	浄水	4	4											
R5	原水	23	23											
	浄水	12	12											

他-005　アシベンゾラルSメチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-006　アジムスルフロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-007　アミトロール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.003mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00003	0.00003	≦0.00006	≦0.00009	≦0.00015	≦0.00021	≦0.0003	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	＞0.003
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（2/12）

他-008 アメトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	30	30											
	浄水	47	47											
R5	原水	33	33											
	浄水	45	45											

他-009 イナベンフィド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.3mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.003	0.003	≦0.006	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	≦0.09	≦0.15	≦0.21	≦0.3	＞0.3
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-010 イマゾスルフロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	22	22											
	浄水	20	20											
R5	原水	37	37											
	浄水	28	28											

他-011 ウニコナゾールP

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	21	21											
	浄水	23	23											
R5	原水	33	33											
	浄水	45	45											

他-012 エトキシスルフロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	35	35											
	浄水	47	47											
R5	原水	36	36											
	浄水	49	49											

他-013 エトベンザニド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	33	33											
	浄水	49	49											
R5	原水	38	38											
	浄水	50	50											

他-014 エンドタール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）										
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

ND：定量下限値未満

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（3/12）

他-015 オキサジアルギル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	33	33											
	浄水	46	46											

他-016 オキサミル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	33	33											
	浄水	49	49											
R5	原水	33	33											
	浄水	47	47											

他-017 オキソリニック酸

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-018 キザロホップエチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	31	31											
	浄水	48	48											
R5	原水	35	35											
	浄水	49	49											

他-019 クロチアニジン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	85	85											
	浄水	114	114											
R5	原水	102	102											
	浄水	125	125											

他-020 クロマフェノジド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.7mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.007	0.007	≦0.014	≦0.021	≦0.035	≦0.049	≦0.07	≦0.21	≦0.35	≦0.49	≦0.7	＞0.7
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-021 クロルタールジメチル（TCTP）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	7	7											
	浄水	7	7											
R5	原水	9	9											
	浄水	7	7											

ND：定量下限値未満

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（4/12）

他-022 クロルピリホスメチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	24	24											
	浄水	25	25											
R5	原水	29	29											
	浄水	26	26											

他-023 シクロスルファムロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.08mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0008	0.0008	≦0.0016	≦0.0024	≦0.004	≦0.0056	≦0.008	≦0.024	≦0.04	≦0.056	≦0.08	＞0.08
R4	原水	1	1											
	浄水	0												
R5	原水	1	1											
	浄水	0												

他-024 ジクロフェンチオン（ECP）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.006mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.00006	0.00006	≦0.00012	≦0.00018	≦0.0003	≦0.00042	≦0.0006	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	＞0.006
R4	原水	19	19											
	浄水	21	21											
R5	原水	26	26											
	浄水	24	24											

他-025 シクロプロトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.008mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.00008	0.00008	≦0.00016	≦0.00024	≦0.0004	≦0.00056	≦0.0008	≦0.0024	≦0.004	≦0.0056	≦0.008	＞0.008
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-026 ジクロメジン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	28	28											
	浄水	42	42											

他-027 ジクロルプロップ

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.09mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0009	0.0009	≦0.0018	≦0.0027	≦0.0045	≦0.0063	≦0.009	≦0.027	≦0.045	≦0.063	≦0.09	＞0.09
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-028 ジコホル（ケルセン）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過2%以下	2%超過3%以下	3%超過5%以下	5%超過7%以下	7%超過10%以下	10%超過30%以下	30%超過50%以下	50%超過70%以下	70%超過100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（5/12）

他-029 ジチアノン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	4	4											
	浄水	3	3											
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-030 シノスルフロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	25	25											
	浄水	42	42											
R5	原水	28	28											
	浄水	42	42											

他-031 ジノテフラン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.6mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.006	0.006	≦0.012	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	≦0.18	≦0.3	≦0.42	≦0.6	＞0.6
R4	原水	103	103											
	浄水	153	153											
R5	原水	115	112	3										
	浄水	168	168											

他-032 ジフェノコナゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	36	36											
	浄水	49	49											
R5	原水	41	41											
	浄水	49	49											

他-033 シフルトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-034 ジフルベンズロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-035 シプロコナゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	36	36											
	浄水	49	49											
R5	原水	42	42											
	浄水	50	50											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（6/12）

他-036 シプロジニル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.07mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0007	0.0007	≦0.0014	≦0.0021	≦0.0035	≦0.0049	≦0.007	≦0.021	≦0.035	≦0.049	≦0.07	＞0.07
R4	原水	35	35											
	浄水	51	51											
R5	原水	40	40											
	浄水	51	51											

他-037 シペルメトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	3	3											
	浄水	1	1											
R5	原水	4	4											
	浄水	2	2											

他-038 シメコナゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	59	59											
	浄水	89	89											
R5	原水	80	79		1									
	浄水	99	99											

他-039 ジメチルビンホス

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	21	21											
	浄水	23	23											
R5	原水	24	24											
	浄水	22	22											

他-040 ジメピペレート

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.003mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00003	0.00003	≦0.00006	≦0.00009	≦0.00015	≦0.00021	≦0.0003	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	＞0.003
R4	原水	32	32											
	浄水	34	34											
R5	原水	37	37											
	浄水	40	40											

他-041 シラフルオフェン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.3mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.003	0.003	≦0.006	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	≦0.09	≦0.15	≦0.21	≦0.3	＞0.3
R4	原水	39	39											
	浄水	43	43											
R5	原水	42	42											
	浄水	48	48											

他-042 シンメチリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	21	21											
	浄水	23	23											
R5	原水	26	26											
	浄水	24	24											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（7/12）

他-043 スピノサド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	8	8											
	浄水	4	4											
R5	原水	8	8											
	浄水	4	4											

他-044 セトキシジム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	1	1											
	浄水	1	1											
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-045 チアクロプリド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	41	41											
	浄水	56	56											
R5	原水	46	46											
	浄水	56	56											

他-046 チアメトキサム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	50	50											
	浄水	70	70											
R5	原水	57	57											
	浄水	72	72											

他-047 チオシクラム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-048 チフルザミド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	53	53											
	浄水	82	82											
R5	原水	55	55											
	浄水	80	80											

他-049 テクロフタラム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（8/12）

他-050　テトラクロルビンホス（CVMP）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	32	32											
	浄水	44	44											

他-051　テトラコナゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	32	32											
	浄水	47	47											
R5	原水	37	37											
	浄水	47	47											

他-052　テブフェノジド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	40	40											
	浄水	52	52											
R5	原水	58	58											
	浄水	61	61											

他-053　トリネキサパックエチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	34	34											
	浄水	46	46											
R5	原水	47	47											
	浄水	56	56											

他-054　トリフルミゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	33	33											
	浄水	49	49											
R5	原水	38	38											
	浄水	49	49											

他-055　トルフェンピラド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	2	2											
	浄水	2	2											
R5	原水	4	4											
	浄水	4	4											

他-056　ナプロアニリド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	30	30											
	浄水	47	47											
R5	原水	33	33											
	浄水	47	47											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（9/12）

他-057 ニテンピラム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	1.3mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.013	0.013	≦0.026	≦0.039	≦0.065	≦0.091	≦0.13	≦0.39	≦0.65	≦0.91	≦1.3	＞1.3
R4	原水	36	36											
	浄水	56	56											
R5	原水	39	39											
	浄水	56	56											

他-058 パクロブトラゾール

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	22	22											
	浄水	23	23											
R5	原水	42	42											
	浄水	36	36											

他-059 バリダマイシン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.9mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.009	0.009	≦0.018	≦0.027	≦0.045	≦0.063	≦0.09	≦0.27	≦0.45	≦0.63	≦0.9	＞0.9
R4	原水	6	6											
	浄水	0												
R5	原水	9	9											
	浄水	0												

他-060 ビスピリバック

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	1	1											
	浄水	0												
R5	原水	1	1											
	浄水	0												

他-061 ピメトロジン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	42	42											
	浄水	52	52											
R5	原水	43	43											
	浄水	53	53											

他-062 ピラゾスルフロンエチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.03mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0003	0.0003	≦0.0006	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	≦0.009	≦0.015	≦0.021	≦0.03	＞0.03
R4	原水	53	53											
	浄水	68	68											
R5	原水	57	57											
	浄水	68	68											

他-063 ピリミノバックメチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.05mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0005	0.0005	≦0.001	≦0.0015	≦0.0025	≦0.0035	≦0.005	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	＞0.05
R4	原水	42	42											
	浄水	79	79											
R5	原水	61	61											
	浄水	89	89											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（10/12）

他-064 ピリミホスメチル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	30	30											
	浄水	47	47											
R5	原水	35	35											
	浄水	47	47											

他-065 ピレトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-066 フェノキサニル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	11	11											
	浄水	13	13											
R5	原水	14	14											
	浄水	14	14											

他-067 フェンバレレート

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-068 フラチオカルブ

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.008mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00008	0.00008	≦0.00016	≦0.00024	≦0.0004	≦0.00056	≦0.0008	≦0.0024	≦0.004	≦0.0056	≦0.008	＞0.008
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-069 フラメトピル

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	67	67											
	浄水	92	92											
R5	原水	85	85											
	浄水	101	101											

他-070 フルアジホップ

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.01mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0001	0.0001	≦0.0002	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	＞0.01
R4	原水	33	33											
	浄水	49	49											
R5	原水	36	36											
	浄水	49	49											

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（11/12）

他-071 プロパニル（DCPA）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.04mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0004	0.0004	≦0.0008	≦0.0012	≦0.002	≦0.0028	≦0.004	≦0.012	≦0.02	≦0.028	≦0.04	＞0.04
R4	原水	30	30											
	浄水	47	47											
R5	原水	35	35											
	浄水	47	47											

他-072 プロパホス

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.001mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00001	0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00005	≦0.00007	≦0.0001	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	＞0.001
R4	原水	12	12											
	浄水	12	12											
R5	原水	26	26											
	浄水	24	24											

他-073 プロパルギット（BPPS）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	10	10											
	浄水	9	9											
R5	原水	12	12											
	浄水	11	11											

他-074 プロヘキサジオン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.5mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.005	0.005	≦0.01	≦0.015	≦0.025	≦0.035	≦0.05	≦0.15	≦0.25	≦0.35	≦0.5	＞0.5
R4	原水	0												
	浄水	0												
R5	原水	10	10											
	浄水	10	10											

他-075 プロポキスル（PHC）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.2mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.002	0.002	≦0.004	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	≦0.06	≦0.1	≦0.14	≦0.2	＞0.2
R4	原水	21	21											
	浄水	23	23											
R5	原水	26	26											
	浄水	24	24											

他-076 プロメトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.08mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0008	0.0008	≦0.0016	≦0.0024	≦0.004	≦0.0056	≦0.008	≦0.024	≦0.04	≦0.056	≦0.08	＞0.08
R4	原水	31	31											
	浄水	48	48											
R5	原水	37	37											
	浄水	49	49											

他-077 ペルメトリン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	1	1											
	浄水	0												
R5	原水	6	6											
	浄水	3	3											

他-078 ベンスルタップ

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.06mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0006	0.0006	≦0.0012	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	≦0.018	≦0.03	≦0.042	≦0.06	＞0.06
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

表 2-24　測定値（最大値）の度数分布表（その他農薬類）（12/12）

他-079 ベンダイオカルブ

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.009mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00009	0.00009	≦0.00018	≦0.00027	≦0.00045	≦0.00063	≦0.0009	≦0.0027	≦0.0045	≦0.0063	≦0.009	＞0.009
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-080 ホキシム

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.003mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00003	0.00003	≦0.00006	≦0.00009	≦0.00015	≦0.00021	≦0.0003	≦0.0009	≦0.0015	≦0.0021	≦0.003	＞0.003
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-081 ボスカリド

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.1mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.001	0.001	≦0.002	≦0.003	≦0.005	≦0.007	≦0.01	≦0.03	≦0.05	≦0.07	≦0.1	＞0.1
R4	原水	35	35											
	浄水	50	50											
R5	原水	38	38											
	浄水	48	48											

他-082 ミルネブ（チアジアジン）

年度	浄水/原水の別	測定地点数	度数分布表（mg／L）											
			ND	≦0.0000001	≦0.0000002	≦0.0000003	≦0.0000005	≦0.0000007	≦0.000001	≦0.000003	≦0.000005	≦0.000007	≦0.00001	＞0.00001
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

ND：定量下限値未満

他-083 メタミドホス

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.001mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00001	0.00001	≦0.00002	≦0.00003	≦0.00005	≦0.00007	≦0.0001	≦0.0003	≦0.0005	≦0.0007	≦0.001	＞0.001
R4	原水	18	18											
	浄水	20	20											
R5	原水	22	22											
	浄水	22	22											

他-084 メチルイソシアネート

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.006mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00006	0.00006	≦0.00012	≦0.00018	≦0.0003	≦0.00042	≦0.0006	≦0.0018	≦0.003	≦0.0042	≦0.006	＞0.006
R4	原水	0	水質測定結果なし											
	浄水	0												
R5	原水	0												
	浄水	0												

他-085 モノクロトホス

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.002mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.00002	0.00002	≦0.00004	≦0.00006	≦0.0001	≦0.00014	≦0.0002	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	＞0.002
R4	原水	27	27											
	浄水	44	44											
R5	原水	30	30											
	浄水	44	44											

他-086 リニュロン

年度	浄水/原水の別	測定地点数	0.02mg／Lに対する度数分布表（上段：%　下段：mg／L）											
			1%未満	1%	1%超過 2%以下	2%超過 3%以下	3%超過 5%以下	5%超過 7%以下	7%超過 10%以下	10%超過 30%以下	30%超過 50%以下	50%超過 70%以下	70%超過 100%以下	100%超過
			＜0.0002	0.0002	≦0.0004	≦0.0006	≦0.001	≦0.0014	≦0.002	≦0.006	≦0.01	≦0.014	≦0.02	＞0.02
R4	原水	43	43											
	浄水	63	63											
R5	原水	46	46											
	浄水	63	63											

2.4.　最近の水質基準等項目の状況について情報整理表の更新

直近の水道統計水質編（令和 4 年度版）及び本章で収集した情報に基づき、水質基準項目、水質管理目標設定項目、要検討項目の全てについて情報を整理した。最近の水道水質基準項目等の状況を表 2-25～表 2-29 に示す。

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（1/6）

番号	旧番号	項　目　名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 （R03水道統計）	浄水超過状況※4 （R04水道統計）	課題、留意事項
基-1	1	一般細菌	100個/ml	直＊						・感度は劣るが従属栄養細菌との量的相関、培養時間が短い等から当面は水質基準項目として据え置く		対基準値　4 / 9,359 対50%値　33 / 9,359 対10%値　193 / 9,359	対基準値　8 / 9,347 対50%値　32 / 9,347 対10%値　161 / 9,347	・H15パブコメ回答で「従属栄養細菌に変更する方向で考えており」と回答 ・浄水場管理には迅速性の観点から従属栄養細菌より適する(H17厚生科学研究)
基-2	2	大腸菌	不検出	直＊						・糞便汚染の指標として適当		陽性　1 / 9,359	陽性　2 / 9,347	
基-3	3	カドミウム及びその化合物	0.003	H22.4.1 施行		0.003	H20.12.16 基準値強化 0.003←0.01	H20.9.25 答申済み		・JECFAでの評価結果を待つ必要があるが現時点では微量重金属調査研究会（1970）ベースの0.01mg/Lを当面維持	・2003年6月のJECFAは当時の暫定耐用摂取量7μg/kg/週を維持（寄与率10%で2.5μg/L） ・食安委答申（食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保、H20.7.3） →耐容週間摂取量　7μg/kg/週（JECFAの評価とは異なる方法をとったが、結果は同じ値。）	対基準値　0 / 8,482 対50%値　0 / 8,482 対10%値　4 / 8,482	対基準値　0 / 8,682 対50%値　0 / 8,682 対10%値　4 / 8,682	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.003mg/Lとなる方向。
基-4	4	水銀及びその化合物	0.0005	直＊	0.7	0.006（2005）	H20.12.16 H15からの変更無し （ﾒﾁﾙ水銀） H25.3.19 現行評価値を維持	H24.5.10 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	・水質基準として維持 ・疫学上の結果をもとに0.001mg/Lが算出されるが基準の継続性を考慮	・食安委答申（魚介類に含まれるメチル水銀、H17.8.4） →ハイリスクグループ（胎児）を対象とした耐容週間摂取量　2.0μg/kg/週（メチル水銀） ・食安委化学物質・汚染物質専門調査会 幹事会（H24.1.27） →TDI＝0.7（水銀として） ・食安委答申（H24.5.10） →TDI＝0.7（水銀として）	対基準値　0 / 8,359 対50%値　0 / 8,359 対10%値　1 / 8,359	対基準値　0 / 8,548 対50%値　0 / 8,548 対10%値　1 / 8,548	
基-5	5	セレン及びその化合物	0.01		4	0.04	H25.3.19 現行評価値を維持	H24.10.29 答申済み	WHO第4版 暫定基準に変更	・評価値の10%を超えるものは1%未満だが1地点で90%を超えており継続性の観点から当面水質基準として維持	・食安委答申（H.24.10.29） →TDI＝4 ・推奨摂取量＝25～35mg/日前後（成人、上限量400mg/日前後）の必須元素 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切）	対基準値　0 / 8,434 対50%値　0 / 8,434 対10%値　7 / 8,434	対基準値　0 / 8,633 対50%値　0 / 8,633 対10%値　10 / 8,633	
基-6	6	鉛及びその化合物	0.01		3.5	0.01 A,T		R3.6.29 答申済み 自ら評価	WHO第4版 変更 0.04P←0.01	・4年答申では長期目標値を0.01mg/Lとし概ね10年間に鉛管の布設替えを行い、濃度の段階的低減を図るとした	・食安委答申（R3.6.29） 現時点では、疫学研究データを用いて、有害影響を及ぼさない血中鉛濃度を導き出すことは困難であると判断した。現在の我が国における平均的な血中鉛濃度は、1μg/dL 程度あるいはそれ以下であると考えられ、疫学研究の結果からなんらかの影響が示唆される血中鉛濃度1～2μg/dL と近いと考えられた。そのため、今後も、鉛ばく露低減のための取組が必要であると考えられる。	対基準値　0 / 8,601 対50%値　27 / 8,601 対10%値　350 / 8,601	対基準値　0 / 8,810 対50%値　24 / 8,810 対10%値　334 / 8,810	
基-7	7	ヒ素及びその化合物	0.01			0.01 A,T		H.25.12.16 答申済み	WHO第4版 暫定とした理由変更 A,T←P	・発がん性リスクアセスメントの不確実さと除去困難性から従来からの基準値10μg/Lを維持	・WH.O第3版第2次追補版ガイドライン値0.01mg/L ・食安委答申（H.25.12.16） ヒ素の直接的なDNAへの影響の有無について判断することはできない。	対基準値　1 / 8,543 対50%値　92 / 8,543 対10%値　872 / 8,543	対基準値　1 / 8,722 対50%値　97 / 8,722 対10%値　861 / 8,722	
基-8	8	六価クロム化合物	0.02	R02.4.1 施行		0.02 P（全Cr）		R元.8.6 答申済み	WHO第4版 追加予定 →追加されず	・クロムの毒性については従来どおり六価のものに着目することが妥当	・Crは必要な元素だと考えられており、安全で十分な食事摂取量が設定されていた。しかし、最近の知見に基づくとクロムが必須元素か疑わしい。 ・食安委答申（化学物質・汚染物質、H30.9.18、R1.8.6）　→TDI＝1.1	対基準値　0 / 9,055 対50%値　1 / 9,055 対10%値　71 / 9,055	対基準値　0 / 9,153 対50%値　1 / 9,153 対10%値　51 / 9,153	・分析法上は全Crを測定
基-9		亜硝酸態窒素	0.04		15	0.9 （Nitriteとして3）	H26.1.14 水質基準として追加	H25.7.22 答申済み	WHO第4版 変更 Nitrite 長期暴露ガイドライン値 設定せず←0.2P	・WHOのガイドライン値は毒性評価の観点から暫定値とされていることから、水質管理目標設定項目とする	・食安委答申（H24.10.29） →硝酸態窒素：TDI＝1500 →亜硝酸態窒素：TDI＝15 ・食安委意見募集終了（H24.6.22締切）	対基準値　0 / 8,668 対50%値　0 / 8,668 対10%値　76 / 8,668	対基準値　0 / 8,861 対50%値　2 / 8,861 対10%値　66 / 8,861	・超過事例は一時的で未対策なものが多い。継続的超過地点では用水受水に変更の見込み ・ﾒﾄﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ血症LOAELは0.4mg-NO_2/kg/日で乳児で0.8mg-N/L相当
基-10	9	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01	直＊	4.5	設定せず（第4版） ←0.7（AF=20%） 0.6（短期暴露、2007）	H24.3.5 H15からの変更なし	H22.10.14 答申済み	WHO第4版 ガイドライン値設定せず ガイダンス値：短期暴露 シアン化物イオン 0.5、長期暴露　0.6（塩化シアンとして）、0.3（シアンとして）	・水質基準として維持	・食安委答申（H22.10.14） →TDI＝4.5（非発がん）	対基準値　0 / 9,343 対50%値　0 / 9,343 対10%値　18 / 9,343	対基準値　0 / 9,338 対50%値　0 / 9,338 対10%値　14 / 9,338	・消毒副生成物であるCICNを含む

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（2/6）

番号	旧番号	項　目　名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 （R03水道統計）	浄水超過状況※4 （R04水道統計）	課題、留意事項
基-11	10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10			50（NO3として） 3（NO2として）	H25.3.19 現行評価値を維持	H24.10.29 答申済み	WHO第4版 変更 Nitrite 長期暴露ガイドライン値 設定せず←0.2P	・亜硝酸性窒素についてはWHO/GDWQが毒性評価の観点から暫定値とされていることから水質管理目標設定項目	・食安委答申（H24.10.29） →硝酸態窒素：TDI＝1500 →亜硝酸態窒素：TDI＝15	対基準値　0 / 8,829 対50%値　165 / 8,829 対10%値　2,496 / 8,829	対基準値　0 / 9,005 対50%値　155 / 9,005 対10%値　2,457 / 9,005	・急性発症濃度(36mg/L～)との差が小 ・基準超過件数は減少傾向
基-12	11	フッ素及びその化合物	0.8			1.5	H25.3.19 現行評価値を維持	H25.1.21 答申済み	WHO第3版 第2次追補版 追加	・水質基準として維持 ・斑状歯発生予防の観点から現行値：0.8mg/Lを継続	・食安委答申（H25.1.21） →TDI＝0.05 ・WHO/GDWQ第2次追補版ガイドライン値 1.5mg/L	対基準値　0 / 8,708 対50%値　87 / 8,708 対10%値　2,284 / 8,708	対基準値　0 / 8,875 対50%値　90 / 8,875 対10%値　2,418 / 8,875	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-13	12	ホウ素及びその化合物	1.0		92 （AF=40%）	2.4	H25.3.19 現行評価値を維持	H24.8.6 答申済み	WHO第4版 変更 2.4←0.5T	・ホウ素摂取量の調査のためマーケットバスケット調査を実施。 ・問題となるのは、基本的に海水淡水化、地質等の影響	・食安委答申（H24.8.6清涼飲料水） →TDI＝96 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切） ・WHO/GDWQ：2008会合にてGV値2.4mg/Lで合意。ただし各国アロケーション考慮して変更可能。	対基準値　0 / 8,525 対50%値　19 / 8,525 対10%値　189 / 8,525	対基準値　0 / 8,696 対50%値　22 / 8,696 対10%値　191 / 8,696	
基-14	13	四塩化炭素	0.002		0.71	0.004	H19.10.26 H15からの変更なし	H19.3.15 答申済み			・食安委答申（H19.3.15清涼飲料水） →TDI＝0.71	対基準値　0 / 8,431 対50%値　1 / 8,431 対10%値　6 / 8,431	対基準値　0 / 8,627 対50%値　0 / 8,627 対10%値　4 / 8,627	
基-15	14	1,4－ジオキサン	0.05		10^{-5}Risk	0.05（2005）	H19.10.26 H15からの変更なし	H19.3.15 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H19.3.15清涼飲料水） →TDI＝18	対基準値　0 / 8,443 対50%値　2 / 8,443 対10%値　4 / 8,443	対基準値　0 / 8,638 対50%値　1 / 8,638 対10%値　3 / 8,638	
基-16	16	シス－1,2－ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	H21.4.1 追加（旧基-15・旧目-6）	17	0.05	H19.10.26 シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレンを合算して評価、シス-1,2-ジクロロエチレンの基準を廃止	H19.3.15（シス体） H20.5.29（トランス体） 答申済み	WHO第4版 追加	・評価値の10%を超えるものは1%未満だが6年以来基準値超の例もあり、継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申（H19.3.15清涼飲料水） →TDI＝17（トランス体合算） ・食安委答申（H20.5.29水質基準設定） →TDI＝17（シス体及びトランス体）	対基準値　0 / 8,466 対50%値　0 / 8,466 対10%値　4 / 8,466	対基準値　0 / 8,658 対50%値　0 / 8,658 対10%値　2 / 8,658	・シス体の超過状況（トランス体については対10%値超過地点はない）
基-17	17	ジクロロメタン	0.02		6	0.02	H22.2.2 H15からの変更なし	H20.11.6 答申済み		・評価値の10%を超えるものは1%未満だが1地点で60%を超えており継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝6	対基準値　0 / 8,432 対50%値　2 / 8,432 対10%値　3 / 8,432	対基準値　0 / 8,627 対50%値　1 / 8,627 対10%値　5 / 8,627	H16は基準超過件数が多かった（7件）
基-18	18	テトラクロロエチレン	0.01		10^{-5}Risk	0.04	H22.2.2 H15からの変更なし	H20.11.6 答申済み		・WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行基準を維持	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝14	対基準値　0 / 8,434 対50%値　0 / 8,434 対10%値　13 / 8,434	対基準値　0 / 8,623 対50%値　0 / 8,623 対10%値　12 / 8,623	
基-19	19	トリクロロエチレン	0.01	H23.4.1 施行 （0.03→0.01）	10^{-5}Risk	0.02 P （2005）	H22.2.2 評価値強化 0.01←0.03	H22.9.2 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	・WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行基準を維持	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） ・食安委答申（化学物質・汚染物質、H22.9.2） →TDI＝1.46（非発がん） 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝1.2 μg/kg体重/日	対基準値　0 / 8,439 対50%値　1 / 8,439 対10%値　23 / 8,439	対基準値　0 / 8,627 対50%値　4 / 8,627 対10%値　13 / 8,627	

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（3/6）

番号	旧番号	項 目 名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 （R03水道統計）	浄水超過状況※4 （R04水道統計）	課題、留意事項
基-20	20	ベンゼン	0.01		10^{-5}Risk	0.01	H22.2.2 H15からの 変更なし	H20.11.6 答申済み		・概ね評価値の10%以下であるが過去に基準値を超えていた例もあり、継続性の観点から当面、水質基準として維持	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝18（非発がん） 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.40μg/kg体重/日	対基準値　0 / 8,432 対50%値　1 / 8,432 対10%値　3 / 8,432	対基準値　0 / 8,624 対50%値　0 / 8,624 対10%値　4 / 8,624	
基-21	21	塩素酸	0.6	H20.4.1施行（水質管理目標設定項目（旧目-11）から変更）	30 （AF=80%）	0.7 D （AF=80%） （2005）	H18.8.4 追加	H19.3.15 答申済み		ヒト暴露が想定されるのは基本的にClO2が水道水の浄水処理に使用される場合であり、水質管理目標設定項目としClO2が浄水処理に使用される場合の指針として活用されるべき。 水質基準の設定等はClO2の浄水過程での使用が進んだ段階において検討すべき。	・食安委答申（H19.3.15水道水及び清涼飲料水） →TDI=30	対基準値　11 / 9,346 対50%値　321 / 9,346 対10%値　5,049 / 9,346	対基準値　14 / 9,337 対50%値　385 / 9,337 対10%値　5,149 / 9,337	・超過事例は全て一時的なもので次亜塩素酸Naの注入等で対応。未対策3地点は島嶼部の簡水 ・次亜塩素酸Naの適正保管につきH18.3事務連絡 ・施設基準省令に基づく薬品基準は0.6mg/L
基-22	22	クロロ酢酸	0.02	（新規）	3.5 （AF=20%）	0.02 （AF=20%）	H26.1.14 現行評価値 を維持	H26.10.7 答申済み		LOAEL＝3.5 TDI＝3.5 ・評価値＝0.02	食安委答申（H26.10.7）はTDI＝3.5μg/kg/日であり、過去の評価結果と同じ	対基準値　0 / 9,346 対50%値　0 / 9,346 対10%値　39 / 9,346	対基準値　0 / 9,337 対50%値　2 / 9,337 対10%値　32 / 9,337	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-23	23	クロロホルム	0.06		12.9 （AF=20%）	0.3 （AF=75%） （2005）	H22.12.21 H15からの変 更なし	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI=12.9（非発がん）（TDI不変）	対基準値　5 / 9,346 対50%値　292 / 9,346 対10%値　3,262 / 9,346	対基準値　2 / 9,337 対50%値　329 / 9,337 対10%値　3,350 / 9,337	・基準超過件数は減少傾向 ・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-24	24	ジクロロ酢酸	0.03	（変更）	1.3 （10^{-5}Risk）	0.05 D	H27.2.5	H26.10.7 答申済み	WHO第4版 暫定とした理由変更 D←T,D	VSD＝1.43 評価値＝0.04	・食安委答申（H26.10.7） →非発がん影響 TDI＝12.5 発がん影響　TDI＝12.9 SF＝7.8E-3	対基準値　1 / 9,346 対50%値　123 / 9,346 対10%値　2,200 / 9,346	対基準値　0 / 9,337 対50%値　135 / 9,337 対10%値　2,346 / 9,337	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-25	25	ジブロモクロロメタン	0.1		21 （AF=20%）	0.1 （2005）	H22.12.21 H15からの変 更なし	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI＝21.4（非発がん）（TDI不変）	対基準値　0 / 9,346 対50%値　8 / 9,346 対10%値　263 / 9,346	対基準値　0 / 9,338 対50%値　10 / 9,338 対10%値　237 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-26	26	臭素酸	0.01	（新規）	10^{-5}Risk ↓ BAT	0.01 AT （2005） ←0.002	H22.2.2 H15からの 変更なし	H20.11.6 答申済み		・10^{-5}リスク相当VSDからは0.009mg/L ・除去方法はO3濃度の調節やH2O2-UV法に限定	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝11（非発がん） 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.36μg/kg体重/日	対基準値　0 / 9,346 対50%値　9 / 9,346 対10%値　235 / 9,346	対基準値　0 / 9,338 対50%値　12 / 9,338 対10%値　250 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は0.005mg/L ・超過事例の殆どは一時的なもので次亜塩素酸Naの選定、貯蔵管理等で対応。本件注意事項を事務連絡(H16.6) ・状況は改善傾向 ・O3処理時の溶存濃度と注入率の制御も重要
基-27	27	総トリハロメタン	0.1	クロロホルム+ジブロモクロロメタン+ブロモジクロロメタン+ブロモホルム		設定せず（2005） 総評価は推奨	H22.12.21 H15からの変 更なし	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →総トリハロメタンとしてのTDIは設定できない	対基準値　2 / 9,346 対50%値　248 / 9,346 対10%値　3,963 / 9,346	対基準値　2 / 9,338 対50%値　273 / 9,338 対10%値　4,016 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-28	28	トリクロロ酢酸	0.03	（変更）	6 （AF=20%）	0.2 （AF=20%）	H27.2.5	H26.10.7 答申済み		NOAEL＝32.5 TDI＝32.5 評価値＝0.2	・食安委答申（H26.10.7） →TDI＝6	対基準値　10 / 9,346 対50%値　413 / 9,346 対10%値　2,948 / 9,346	対基準値　7 / 9,338 対50%値　468 / 9,338 対10%値　3,013 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-29	29	ブロモジクロロメタン	0.03		6.1 （AF=20%）	0.06	H22.12.21 H15からの変 更なし	H21.8.20 答申済み	WHO第4版 変更		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI＝6.1（非発がん）（TDI不変）	対基準値　1 / 9,346 対50%値　183 / 9,346 対10%値　3,420 / 9,346	対基準値　3 / 9,338 対50%値　187 / 9,338 対10%値　3,501 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（4/6）

番号	旧番号	項　目　名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 (R03水道統計)	浄水超過状況※4 (R04水道統計)	課題、留意事項
基-30	30	ブロモホルム	0.09		17.9 (AF=20%)	0.1 (2005)	H22.12.21 H15からの変更なし	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI＝17.9（非発がん）（TDI不変）	対基準値 0 / 9,346 対50%値 2 / 9,346 対10%値 142 / 9,346	対基準値 0 / 9,338 対50%値 3 / 9,338 対10%値 176 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-31	31	ホルムアルデヒド	0.08		15 (AF=20%)	設定せず（2005） ←2.6	H20.12.16 H15からの変更なし	H20.4.17 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	・入浴時等の水道水からの気化による吸入暴露による影響も考慮	・食安委答申（H20.4.17清涼飲料水） →TDI＝15	対基準値 0 / 9,346 対50%値 0 / 9,346 対10%値 109 / 9,346	対基準値 0 / 9,338 対50%値 1 / 9,338 対10%値 52 / 9,338	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-32	32	亜鉛及びその化合物	1.0	味覚及び色				H29.4.25 答申済み			・推奨摂取量＝7～10mg/日（成人、上限量30mg/日）の必須元素	対基準値 0 / 8,569 対50%値 2 / 8,569 対10%値 30 / 8,569	対基準値 0 / 8,779 対50%値 2 / 8,779 対10%値 22 / 8,779	
基-33	33	アルミニウム及びその化合物	0.2	色（鉄共存時） H21.4.1 管理目標設定項目追加			H19.10.26 水質管理目標値を0.1に設定			・多量の凝集剤を投入せざるを得ない場合にも技術的に0.1mg/Lを達成可能であるかについてはなお疑問の余地有	H19に水質管理目標値を0.1に設定	対基準値 11 / 8,716 対50%値 133 / 8,716 対10%値 1,887 / 8,716	対基準値 10 / 8,927 対50%値 129 / 8,927 対10%値 1,984 / 8,927	・超過事例は全て一時的なもので凝集剤の注入方法等で対応
基-34	34	鉄及びその化合物	0.3	味覚及び洗濯物の着色		設定せず		H29.4.25 答申済み		・水質基準として維持	・推奨摂取量＝10mg/日前後（成人、上限量40～50mg/日前後）の必須元素	対基準値 0 / 8,658 対50%値 32 / 8,658 対10%値 439 / 8,658	対基準値 3 / 8,886 対50%値 32 / 8,886 対10%値 447 / 8,886	
基-35	35	銅及びその化合物	1.0	洗濯物への着色		2 （洗濯染みは生じる可能性有）	H20.12.16 基準改正の必要性について検討を行う	H20.4.17 答申済み		・水質基準として維持	・食安委答申（H20.4.17清涼飲料水） →許容上限摂取量=9mg/ヒト（成人）/日 ・推奨摂取量＝0.7～0.9mg/日（成人、上限量10mg/日）の必須元素 ・H20年基準値改正の必要性の検討が課題とされた。	対基準値 0 / 8,542 対50%値 3 / 8,542 対10%値 24 / 8,542	対基準値 0 / 8,746 対50%値 3 / 8,746 対10%値 26 / 8,746	・見直し検討中(厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議)
基-36	36	ナトリウム及びその化合物	200	味覚								対基準値 1 / 8,535 対50%値 6 / 8,535 対10%値 740 / 8,535	対基準値 0 / 8,727 対50%値 6 / 8,727 対10%値 760 / 8,727	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-37	37	マンガン及びその化合物	0.05	黒水障害		設定せず	H25.3.19 現行評価値を維持	H24.8.6 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず←0.4C		・食安委答申（H.24.8.6清涼飲料水） →TDI＝180 ・目安摂取量＝3.5～4mg/日前後（成人、上限量10mg/日前後）の必須元素 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切）	対基準値 0 / 8,604 対50%値 14 / 8,604 対10%値 136 / 8,604	対基準値 2 / 8,816 対50%値 14 / 8,816 対10%値 130 / 8,816	・より高レベルの水道を目指すため管理目標設定(0.01mg/L)
基-38	38	塩化物イオン	200	味覚								対基準値 1 / 9,359 対50%値 19 / 9,359 対10%値 1,388 / 9,359	対基準値 0 / 9,344 対50%値 29 / 9,344 対10%値 1,429 / 9,344	・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-39	39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	石鹸の泡立等				H29.4.25 答申済み	WHO第4版 追加予定 →追加されず		・WHO第4版追加予定→追加されず ・Caは推奨摂取量＝1g/日前後（成人、上限量2.3g/日）の必須元素 ・Mgは推奨摂取量＝300～400mg/日前後（成人）の必須元素	対基準値 2 / 8,884 対50%値 87 / 8,884 対10%値 5,907 / 8,884	対基準値 0 / 9,002 対50%値 74 / 9,002 対10%値 5,953 / 9,002	・おいしい水の観点から管理目標設定(10-100mg/L) ・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（5/6）

番号	旧番号	項　目　名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 （R03水道統計）	浄水超過状況※4 （R04水道統計）	課題、留意事項
基-40	40	蒸発残留物	500									対基準値　2 / 9,058 対50%値　230 / 9,058 対10%値　8,100 / 9,058	対基準値　1 / 9,065 対50%値　262 / 9,065 対10%値　8,114 / 9,065	・おいしい水の観点から管理目標設定(30-200mg/L) ・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない
基-41	41	陰イオン界面活性剤	0.2	発泡						・混合すると起泡力や安定度に相乗効果が見られる場合があり知見の充実を図る必要がある		対基準値　0 / 8,332 対50%値　0 / 8,332 対10%値　0 / 8,332	対基準値　0 / 8,527 対50%値　0 / 8,527 対10%値　0 / 8,527	
基-42	42	ジェオスミン	0.00001	臭気						・粉末活性炭処理による場合：20ng/L ・粒状活性炭等恒久施設による場合：10ng/L		対基準値　1 / 8,544 対50%値　44 / 8,544 対10%値　684 / 8,544	対基準値　8 / 8,711 対50%値　78 / 8,711 対10%値　733 / 8,711	
基-43	43	2－メチルイソボルネオール	0.00001	臭気						・粉末活性炭処理による場合：20ng/L ・粒状活性炭等恒久施設による場合：10ng/L		対基準値　2 / 8,545 対50%値　16 / 8,545 対10%値　349 / 8,545	対基準値　5 / 8,708 対50%値　27 / 8,708 対10%値　354 / 8,708	
基-44	44	非イオン界面活性剤	0.02	発泡						・混合すると起泡力や安定度に相乗効果が見られる場合があり知見の充実を図る必要がある		対基準値　0 / 8,463 対50%値　1 / 8,463 対10%値　626 / 8,463	対基準値　0 / 8,625 対50%値　2 / 8,625 対10%値　639 / 8,625	・施設基準省令に基づく薬品基準は0.005mg/L
基-45	45	フェノール類	0.005	臭気						・水質基準として維持		対基準値　0 / 8,330 対50%値　0 / 8,330 対10%値　1 / 8,330	対基準値　0 / 8,507 対50%値　0 / 8,507 対10%値　5 / 8,507	
基-46	46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3	H21.4.1施行 有機物			H19.10.26 基準値を3に強化			・旧基準であるKMnO4消費量10mg/Lに相当するTOCは相関性から1～4mg/Lで上限値に危険率25%を見込む		対基準値　0 / 9,359 対50%値　160 / 9,359 対10%値　5,186 / 9,359	対基準値　0 / 9,347 対50%値　148 / 9,347 対10%値　5,043 / 9,347	
基-47	47	pH値	5.8-8.6	腐食防止						・水質基準として維持 ・より高いレベルの水道を目指すための目標として、7.5程度を管理目標に設定		酸側超　4 / 9,359 アルカリ側超　2 / 9,359	酸側超　2 / 9,347 アルカリ側超　1 / 9,347	・より高レベルの水道を目指すため管理目標設定(7.5)
基-48	48	味	異常でない	基本指標								陽性　2 / 9,358	陽性　0 / 9,347	
基-49	49	臭気	異常でない	基本指標						・水質基準として維持		陽性　7 / 9,359	陽性　8 / 9,347	

表 2-25　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質基準項目）（6/6）

番号	旧番号	項　目　名	基準値※1 値(mg/L)※3		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※2 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※3 （R03水道統計）	浄水超過状況※4 （R04水道統計）	課題、留意事項
基-50	50	色度	5度	基本指標						・水質基準として維持		対基準値　8 / 9,359 対50%値　186 / 9,359 対10%値　2,425 / 9,359	対基準値　8 / 9,347 対50%値　195 / 9,347 対10%値　2,374 / 9,347	
基-51	51	濁度	2度	基本指標						・より高いレベルの水道を目指すための目標として1度以下を管理目標に設定		対基準値　4 / 9,359 対50%値　61 / 9,359 対10%値　569 / 9,359	対基準値　5 / 9,347 対50%値　62 / 9,347 対10%値　592 / 9,347	・おいしい水の観点から管理目標設定(1度) ・施設基準省令に基づく薬品基準は設定されていない

※1　ガイダンス値（シアン化物イオン 短期暴露　0.5塩化シアン0.6）（塩化シアンとして）、0.3（シアンとして）

直＊　基準超過時には水質異常時と見て直ちに、取水及び給水の緊急停止措置等を講じるべき項目（平成15年健水発第1010001号）

※2　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値

（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※3　超過状況凡例：　10地点以上で基準超過　基準超過有　10地点以上で10%超過

表 2-26　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質管理目標設定項目）（1/4）

番号	旧番号	項 目 名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			15年答申	評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）
			値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等				
目-1	1	アンチモン及びその化合物	0.02	（変更）	6	0.02	H26.1.14	H24.8.6 答申済み		・三酸化アンチモンを用いた研究より導いたかなり安全側にたった評価	・食安委答申（H24.8.6） →TDI＝6	対目標値　0 / 2,484 対50%値　0 / 2,484 対10%値　3 / 2,484	対目標値　0 / 2,458 対50%値　0 / 2,458 対10%値　3 / 2,458
目-2	2	ウラン及びその化合物	0.002	暫定値	0.2←0.6	0.03 P	H24.3.5 H15からの変更なし	H24.1.12 答申済み	WHO第4版 変更 0.030P← 0.015P,T	・LOAEL：0.06 mg/kg日, UF：100 ・寄与率：10% ・評価値：0.002 mg/L	・食安委答申（H24.1.12） →TDI＝0.2 （LOAEL：0.06 mg/kg/日, UF：300）	対目標値　0 / 2,471 対50%値　3 / 2,471 対10%値　54 / 2,471	対目標値　0 / 2,447 対50%値　5 / 2,447 対10%値　64 / 2,447
目-3	3	ニッケル及びその化合物	0.02	暫定値扱いを取りやめ	4	0.07 （AF=20%） （2007提案）	H25.3.19 暫定値扱いを取りやめ、評価値を0.02とする	H24.7.23 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H.24.7.23） →TDI＝4	対目標値　0 / 2,756 対50%値　0 / 2,756 対10%値　26 / 2,756	対目標値　0 / 2,717 対50%値　0 / 2,717 対10%値　21 / 2,717
目-5	5	1,2-ジクロロエタン	0.004		10^{-5}Risk	0.03	H22.2.2 H15からの変更なし	H20.11.6 答申済み		・WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行目標値を維持	・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝37.5（非発がん） 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.18μg/kg体重/日	対目標値　0 / 2,377 対50%値　0 / 2,377 対10%値　0 / 2,377	対目標値　0 / 2,327 対50%値　0 / 2,327 対10%値　2 / 2,327
目-8	8	トルエン	0.4	H23.4.1 （施行）	149 （AF=10%）	0.7（ C）	H22.2.2 評価値緩和 0.4←0.2	H20.11.6 答申済み			・食安委答申（H20.11.6清涼飲料水） →TDI＝149	対目標値　0 / 2,424 対50%値　0 / 2,424 対10%値　0 / 2,424	対目標値　0 / 2,392 対50%値　0 / 2,392 対10%値　0 / 2,392
目-9	9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08	（変更）	30 （AF=10%）	0.008 （AF=1%）	H27.2.5	H25.4.15 答申済み		NOAEL＝3.7 TDI＝40 評価値＝0.1	・食安委答申（H25.4.15） →TDI=30μg/kg/日	対目標値　0 / 2,179 対50%値　0 / 2,179 対10%値　15 / 2,179	対目標値　0 / 2,183 対50%値　0 / 2,183 対10%値　1 / 2,183
目-10	10	亜塩素酸	0.6		29 （AF=80%）	0.7 D （AF=80%） （2005）	H20.12.16 H15からの変更なし	H20.6.19 答申済み		・ヒト暴露が想定されるのは基本的にClO2が水道水の浄水処理に使用される場合であり、水質管理目標設定項目としClO2が浄水処理に使用される場合の指針として活用されるべき。 ・水質基準の設定等はClO2の浄水過程での使用が進んだ段階において検討すべき。	・食安委答申（H20.6.19清涼飲料水） →TDI＝29 ・添加物としてはTDI29を答申（H18.11）	対目標値　0 / 1,251 対50%値　0 / 1,251 対10%値　1 / 1,251	対目標値　0 / 1,304 対50%値　0 / 1,304 対10%値　1 / 1,304
目-12	11	二酸化塩素	0.6		29 （AF=80%）	設定せず （2005） 亜塩素酸対応	H20.12.16 H15からの変更なし	H20.6.19 答申済み			・食安委答申（H20.6.19清涼飲料水） →TDI＝29 ・WHOは異臭味閾値を0.4mg/Lと設定	対目標値　0 / 634 対50%値　0 / 634 対10%値　0 / 634	対目標値　0 / 620 対50%値　0 / 620 対10%値　0 / 620
目-13	12	ジクロロアセトニトリル	0.01	暫定値 H21.4.1変更	8 （AF=20%）	0.02 P （AF=20%）	H19.10.26 評価値変更 0.01（暫定）← 0.04（暫定）	H19.3.15 答申済み			・食安委答申（H19.3.15清涼飲料水） →TDI=2.7	対目標値　0 / 3,102 対50%値　7 / 3,102 対10%値　339 / 3,102	対目標値　0 / 3,042 対50%値　8 / 3,042 対10%値　343 / 3,042

表 2-26　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質管理目標設定項目）（2/4）

番号	旧番号	項　目　名	目標値 値(mg/L)		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※1 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）
目-14	13	抱水クロラール	0.02	暫定値	5.3 (AF=20%)	設定せず (2005)	H19.10.26 評価値変更 0.02(暫定)← 0.03(暫定)	H19.3.15 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝4.5	対目標値 1 / 3,104 対50%値 22 / 3,104 対10%値 746 / 3,104	対目標値 0 / 3,045 対50%値 34 / 3,045 対10%値 788 / 3,045
目-15	14	農薬類	検出値/目標値の総和が1以下							・浄水から目標値10%値を超えて検出される事例有り(特異値を除く)は水質基準を設定。 農薬 ・農薬類(第1群)…現に水道原水から検出又は国内推定出荷量50t以上。 ・第2群…国内推定出荷量50t以上であるが水道水に適した測定方法が未確立。早急に確立しその時点で第1群に組入。27物質。 ・第3群…国内推定出荷量が50t未満で測定しても検出されるおそれがない。79物質。	・フィプロニル(殺虫剤)を追加(H20.4.1)	対目標値 0 / 877 対50%値 0 / 877 対10%値 1 / 877	対目標値 0 / 835 対50%値 0 / 835 対10%値 0 / 835
目-16	15	残留塩素	1	（衛生上措置）遊離塩素0.1mg/L以上	150	0.5～5 C (上限値はAF=100%)	H19.10.26 H15からの変更なし	H19.3.15 答申済み		・おいしさの観点に着目したもので今後とも水質管理目標設定項目とする	・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝136	対目標値 64 / 9,133 対50%値 2,444 / 9,133 対10%値 9,035 / 9,133	対目標値 78 / 9,152 対50%値 2,492 / 9,152 対10%値 9,034 / 9,152
目-17	16	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10-100	石鹸の泡立等				H29.4.25 答申済み	WHO第4版 追加予定 →追加されず		・WHO第4版追加予定→追加されず ・Caは推奨摂取量＝1g/日前後(成人、上限量2.3g/日)の必須元素 ・Mgは推奨摂取量＝300～400mg/日前後(成人)の必須元素	10未満 341 / 8,884 100超過 515 / 8,884	10未満 288 / 9,002 100超過 529 / 9,002
目-18	17	マンガン及びその化合物	0.01	黒水障害		設定せず	H25.3.19 現行評価値を維持	H24.8.6 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず← 0.4C		・食安委答申(H.24.8.6清涼飲料水) →TDI＝180 ・目安摂取量＝3.5～4mg/日前後(成人、上限量10mg/日前後)の必須元素 ・食安委意見募集終了(H24.7.20締切)	対目標値 48 / 8,604 対50%値 136 / 8,604 対10%値 779 / 8,604	対目標値 54 / 8,816 対50%値 133 / 8,816 対10%値 875 / 8,816
目-19	18	遊離炭酸	20							・おいしさの観点に着目したもので今後とも水質管理目標設定項目とする		対目標値 100 / 2,715 対50%値 384 / 2,715 対10%値 2,025 / 2,715	対目標値 125 / 2,803 対50%値 398 / 2,803 対10%値 2,062 / 2,803
目-20	19	1,1,1-トリクロロエタン	0.3		600		H20.12.16 H15からの変更なし	H20.4.17 答申済み		・健康影響に関する評価値は1.5mg/Lだが臭味発生防止の観点から設定。	・食安委答申(H20.4.17清涼飲料水) →TDI＝800	対目標値 0 / 2,503 対50%値 0 / 2,503 対10%値 0 / 2,503	対目標値 0 / 2,454 対50%値 0 / 2,454 対10%値 0 / 2,454
目-21	20	メチル－t－ブチルエーテル(MTBE)	0.02	（新規）	143	設定せず (2005) ←0.015	H20.12.16 H15からの変更なし	H20.4.17 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	・地下水で一過的に高濃度で検出されるとの情報もある	・食安委答申(H20.4.17清涼飲料水) →TDI＝143 ・WHOは異臭閾値を0.015mg/Lと設定	対目標値 0 / 2,388 対50%値 0 / 2,388 対10%値 3 / 2,388	対目標値 0 / 2,332 対50%値 0 / 2,332 対10%値 3 / 2,332

表 2-26　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質管理目標設定項目）（3/4）

番号	旧番号	項 目 名	目標値 値(mg/L)		根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※1 (mg/L)	最終審議・予定 厚科審	最終審議・予定 食安委	最終審議・予定 WHO等	15年答申	評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）
目-22	21	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	3							・指標性や測定方法に関し種々問題点 ・TOCとの相関を見るため、当面水質管理目標設定項目として維持		対目標値 21 / 1,867 対50%値 389 / 1,867 対10%値 1,500 / 1,867	対目標値 37 / 1,877 対50%値 370 / 1,877 対10%値 1,502 / 1,877
目-23	22	臭気強度（TON）	3TON							・おいしい水の観点から維持		対目標値 8 / 2,385 対50%値 61 / 2,385 対10%値 389 / 2,385	対目標値 9 / 2,425 対50%値 65 / 2,425 対10%値 394 / 2,425
目-24	23	蒸発残留物	30-200									30未満 61 / 9,058 200超過 687 / 9,058	30未満 102 / 9,065 200超過 736 / 9,065
目-25	24	濁度	1度	基本指標						・より高いレベルの水道を目指すための目標として1度以下を管理目標に設定		対目標値 61 / 9,359 対50%値 201 / 9,359 対10%値 1,256 / 9,359	対目標値 62 / 9,347 対50%値 209 / 9,347 対10%値 1,268 / 9,347
目-26	25	pH値	7.5程度	腐食防止						・水質基準として維持 ・より高いレベルの水道を目指すための目標として、7.5程度を管理目標に設定		7.3以下 6,670 / 9,359 7.7以上 3,102 / 9,359	7.3以下 6,579 / 9,347 7.7以上 3,066 / 9,347
目-27	26	腐食性（ランゲリア指数）	-1程度以上とし、極力0に近づける							・水道施設の維持管理やCaCO3析出防止の観点から水質管理目標設定項目とする		-1未満 1,835 / 2,674 0超過 101 / 2,674	-1未満 1,827 / 2,741 0超過 102 / 2,741
目-28	27	従属栄養細菌	2000	H21.4.1追加		USEPA処理基準 500cfu/ml以下	H18.8.4 追加			・本来的細菌数を表現、培養方法が確立、施設清浄度の劣化を表現、レジオネラ増殖環境か否かの判定が可能 ・細菌現存量の指標として有効だが、我が国の水道における情報等が不足	・水道施設の健全性を判断	対目標値 0 / 3,028 対50%値 2 / 3,028 対10%値 45 / 3,028	対目標値 0 / 3,059 対50%値 1 / 3,059 対10%値 37 / 3,059
目-29		1,1－ジクロロエチレン	0.1	H21.4.1水質管理目標設定項目に変更（旧基-15（0.02mg/L））	9	設定せず（2005） ←0.14	H19.10.26 水質基準から水質管理項目に変更 評価値変更 0.1←0.02	H19.3.15 答申済み		評価値の10%を超えるものは1%未満だが6年以来基準値超の例もあり、継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申（H20.5.29） →TDI＝46	対目標値 0 / 2,485 対50%値 0 / 2,485 対10%値 1 / 2,485	対目標値 0 / 2,464 対50%値 0 / 2,464 対10%値 1 / 2,464
目-30		アルミニウム及びその化合物	0.1	色（鉄共存時） H21.4.1管理目標設定項目追加			H19.10.26 水質管理目標値を0.1に設定			・多量の凝集剤を投入せざるを得ない場合にも技術的に0.1mg/Lを達成可能であるかについてはなお疑問の余地有		対目標値 133 / 8,716 対50%値 589 / 8,716 対10%値 2,977 / 8,716	対目標値 129 / 8,927 対50%値 647 / 8,927 対10%値 3,087 / 8,927

表 2-26　最近の水道水質基準等項目の状況について（水質管理目標設定項目）（4/4）

番号	旧番号	項　目　名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況※2 （R03水道統計）	浄水超過状況※2 （R04水道統計）
			値(mg/L)		（μg/kg/日）	（mg/L）	厚科審	食安委	WHO等				
目-31		ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）	0.00005	暫定値		USEPA R6.4.10 MCL（法的拘束力あり）→ PFOA4ng/L、 PFOA→4ng/L		R6.6.25 答申済み	R4.9. 29背景文書「飲料水中のPFOS 及びPFOA」のパブリックレビュー版が公表、予定ではR4.11. 11日まで意見募集。R4第4四半期からR5第1四半期に、ガイドライン第4版の第3追補が作成されるとなっていたが、現時点で公表されていない。		・R2.3.23厚科審にて以下を承認 ・暫定評価値設定: 海外機関の設定評価値を参照し、妥当と考えられるものの中から、安全側の観点より最も低いものを採用（TDI 20ng/kg/日） ・水質管理目標設定項目に追加（旧検-42 PFOS及び旧検-43 PFOAを統合し移行） ・R2.4.1から適用 ・食安委答申（R6.6.25）→TDI　PFOS20、PFOA20、PFHxSは指標値算出は困難。ただし、将来的に科学的知見が集積してくれば、TDIを見直す根拠となる可能性あり ・R6.12.24水質基準逐次改正検討会：基準値化の方針、基準値は合計50ng/L、2026年4月から施行の方針	対目標値　2 / 1,247 対50%値　19 / 1,247 対10%値　157 / 1,247	対目標値　1 / 1,247 対50%値　21 / 1,247 対10%値　204 / 1,247

【答申言及】

対策指針		耐塩素性病原生物	－			USEPA処理基準 ・ｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ99%除去 ・ｼﾞｱﾙｼﾞｱ99.9%除去又は不活化				・検出方法等に種々の課題が残っている	・原水から指標菌が検出されたことがある施設においては、水質検査計画等に基づき、適切な頻度で原水のクリプトスポリジウム等及び指標菌を検査 ・H20から水質検査計画に基づき原水を測定		
101		ウイルスその他の病原微生物	－			USEPA処理基準 ・消化器系感染ｳｨﾙｽ99.99%除去又は不活化				・将来的に起こり得るCyclospora等新たな病原微生物への対策にも注意 ・万全を期すためウイルス汚染対策、特に検出方法等に関する研究を推進			
102		不快生物(線虫等)	－							・混入や繁殖の防止対策、漏出時の原因、汚染場所、病原性の有無等に関する解析・検討体制の整備などについて検討	・2006年WHO/GDWQ専門家会合では、病原性バクテリアを媒介する可能性も議論されたがGDWQを示せない、とした		

※1　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　超過状況凡例：　10地点以上で基準超過　目標値超過有　10地点以上で10%超過

表 2-27　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討項目）（1/2）

番号	項 目 名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	評価値	備考	最終審議・予定			15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況 (R04年水質測定結果)	浄水超過状況 (R05年水質測定結果)	課題、留意事項
		値（mg/L）		（μg/kg/日）	(mg/L)	μg/kg/日	80%）	厚科審	食安委	WHO等					
検01	銀及びその化合物	－									浄水器等で消毒のために利用する事例があること等から知見収集に努める		対0.01mg/L　0/169	対0.01mg/L　0/166	・施設基準省令に基づく薬品基準は0.01mg/L
検02	バリウム及びその化合物	0.7			1.3	0.73	ヒトNOAEL7.3、UF 10		H24.10.29 答申済み	WHO第4版 第1次追補 版変更		・食安委答申（H24.10.29） →TDI=20（ヒトNOAEL 0.21（mg/kg体重/日）、UF 10）	対目標値　0/184 対10%値　0/184	対目標値　0/198 対10%値　1/198	・施設基準省令に基づく薬品基準が設定されている
検03	ビスマス及びその化合物	－									鉛代替品としての利用が考えられており材質管理の観点で留意		対1ug/L　1/142	対1ug/L　0/144	
検04	モリブデン及びその化合物	0.07			設定せず	NOAEL 0.2	NOAELにUF 3（個体差）を適用し基準値を導出			WHO/GDWQ第4版変更 設定せず←0.07			対目標値　0/424 対10%値　0/424	対目標値　0/459 対10%値　0/459	
検05	アクリルアミド	0.0005			0.0005 10−5		線形多段階モデルを適用				高分子凝集剤の製品管理において残留モノマーの確実なコントロールが必要		対目標値　0/49 対10%値　0/49	対目標値　0/48 対10%値　0/48	・施設基準省令に基づく薬品基準が設定されている
検06	アクリル酸	－									日本水道協会規格の塗料の品質として0.002mg/L以下を設定		対0.2ug/L　0/45	対0.2ug/L　0/34	
検07	17−β−エストラジオール	0.00008	暫定値	0.03							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり		対目標値　0/40 対10%値　0/40	対目標値　0/42 対10%値　0/42	
検08	エチニルーエストラジオール	0.00002	暫定値	0.006							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり		対目標値　0/39 対10%値　0/39	対目標値　0/41 対10%値　0/41	
検09	エチレンジアミン四酢酸（EDTA）	0.5		190 （AF=1%）	0.6 （AF=1%）	1900							対目標値　0/26 対10%値　0/26	対目標値　0/38 対10%値　0/38	
検10	エピクロロヒドリン	0.0004	暫定値	10−5Risk	0.0004 P	0.14							対目標値　0/43 対10%値　0/43	対目標値　0/40 対10%値　0/40	
検11	塩化ビニル	0.002		10−5Risk	0.0003 10−5		線形外挿法を適用				10−5リスク相当VSDから設定		対目標値　0/48 対10%値　0/48	対目標値　0/54 対10%値　0/54	
検12	酢酸ビニル	－									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定		対0.01ug/L　0/25	対0.01ug/L　0/25	
検13	2,4−トルエンジアミン	－									施設基準省令で溶出基準0.002mg/Lを設定		対0.05ug/L　0/24	対0.05ug/L　0/24	
検14	2,6−トルエンジアミン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定		対0.05ug/L　0/24	対0.05ug/L　0/24	
検15	N,N−ジメチルアニリン	－									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定		対0.01ug/L　0/36	対0.01ug/L　0/35	
検16	スチレン	0.02		7.7	0.02 C	7.7					臭気の閾値と一致		対目標値　0/51 対10%値　0/51	対目標値　0/57 対10%値　0/57	
検17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L	暫定値	4pgTEQ/kg/日									対目標値　0/211 対10%値　1/211	対目標値　0/233 対10%値　0/233	
検18	トリエチレンテトラミン	－									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定		対1ug/L　0/24	対1ug/L　0/24	
検19	ノニルフェノール	0.3	暫定値	100							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり		対目標値　0/75 対10%値　0/75	対目標値　0/77 対10%値　0/77	
検20	ビスフェノールA	0.1	暫定値	50							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食品安全部→食安委員会諮問(H20.7.8)	対目標値　0/78 対10%値　0/78	対目標値　0/80 対10%値　0/80	
検21	ヒドラジン	－									日本水道協会規格の塗料の品質として0.005mg/L以下を設定		対0.5ug/L　4/58	対0.5ug/L　0/47	
検22	1,2−ブタジエン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定		対0.001ug/L　0/14	対0.001ug/L　0/14	
検23	1,3−ブタジエン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定		対0.001ug/L　0/14	対0.001ug/L　0/15	
検24	フタル酸ジ(n−ブチル)	0.01	H27.4.1より 0.2→0.01	5		5	LOAEL=2.5mg/kg/d、安全係数500	H27.2.5	H26.6.10 答申済み		社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食安委答申（H26.6.10器具・容器包装専門調査会）→TDI=5μg/kg/日	対目標値　0/158 対10%値　0/158	対目標値　0/158 対10%値　0/158	
検25	フタル酸ブチルベンジル	0.5		200		200		H28.2.17	H27.4.7 答申済み		社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食安委答申（H27.4.7 器具・容器包装専門調査会）→TDI=200 μg/kg/日	対目標値　0/158 対10%値　0/158	対目標値　0/157 対10%値　0/157	
検26	ミクロキスチンーLR	0.0008	暫定値	0.04 （AF=80%）	0.001 P （AF=80%）	0.04							対目標値　0/72 対10%値　1/72	対目標値　0/61 対10%値　0/61	
検27	有機すず化合物	0.0006	TBTO暫定値	0.25									対目標値　0/26 対10%値　0/26	対目標値　0/22 対10%値　0/22	
検28	ブロモクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対1ug/L　27/121	対1ug/L　24/126	
検29	ブロモジクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対1ug/L　14/95	対1ug/L　19/114	
検30	ジブロモクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対3ug/L　1/95	対3ug/L　0/99	
検31	ブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対0.5ug/L　0/141	対0.5ug/L　0/159	

表 2-27　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討項目）（2/2）

番号	項 目 名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	評価値	備考	最終審議・予定			15年答申	評価値に関連したその後の検討 （令和6年3月現在）	浄水超過状況 （R04年水質測定結果）	浄水超過状況 （R05年水質測定結果）	課題、留意事項
		値（mg/L）		（μg/kg/日）	（mg/L）	μg/kg/日	80%）	厚科審	食安委	WHO等					
検32	ジブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対1ug/L　9/120	対1ug/L　7/133	
検33	トリブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい		対5ug/L　0/95	対5ug/L　0/99	
検34	トリクロロアセトニトリル	－											対1ug/L　0/157	対1ug/L　0/162	
検35	ブロモクロロアセトニトリル	－											対1ug/L　1/135	対1ug/L　0/140	
検36	ジブロモアセトニトリル	0.06		11.3 （AF=20%）	0.07 （AF=20%）	11							対目標値　0/175 対10%値　0/175	対目標値　0/187 対10%値　0/187	
検37	アセトアルデヒド	－	H15からの変更なし					H20.12.16	H17.7.21 答申済み			・食安委答申（添加物、H17.7.21） →食品の着香の目的の場合、安全性に懸念が無い。（完全に生体成分に代謝される。）	対1ug/L　8/150	対1ug/L　2/153	
検38	MX	0.001		10-5Risk	検出濃度は評価値に対し極めて低く、基準値は設定しない	0.0018	・線形多段階モデルを適用						対目標値　0/10 対10%値　0/10	対目標値　0/8 対10%値　0/8	
検40	キシレン	0.4		179	0.5（ C）	179							対目標値　0/398 対10%値　0/398	対目標値　0/408 対10%値　0/408	
検41	過塩素酸	0.025								WHO2010 （H22）		・米国EPAが暫定的なhealth advisory levelとして、15μg/lを定めている(RfD：0.7μg/kg/日に基づく)。全国的な規制の是非については検討中。 ・主たる生体影響はヨウ素摂取量の抑制 ・JECFA評価（2010.Feb.） BMDL50＝0.11 mg/kg/d（ヒト） UF＝10 PMTDI＝0.01 mg/kg/d PMTDI：暫定最大一日耐容摂取量	対目標値　0/54 対10%値　0/54	対目標値　0/57 対10%値　2/57	・利根川流域の関係企業で排出削減対策を実施中
検44	N-ニトロソジメチルアミン（NDMA）	0.0001	追加		0.0001 （2008）			H22.2.2		WHO/GDWQ第3版第2次 追補版追加		・WHO/GDWQ第2次追補版追加(0.1μg/l)	対1ug/L※2　0/31	対1ug/L※2　0/34	
検45	アニリン	0.02	追加			0.02	LOAEL=7 mg/kg/日 UF=1000 TDI=7 μg/kg/日	H24.3.5					対目標値　0/45 対10%値　0/45	対目標値　0/40 対10%値　0/40	
検46	キノリン	0.0001	追加			0.0001	IRIS：10-5	H24.3.5					対目標値　0/46 対10%値　0/46	対目標値　0/55 対10%値　0/55	
検47	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02	追加		設定せず （健康に基づく評価値=0.02 TDI=7.7）	0.02	WHO（参考値）	H24.3.5					対目標値　0/56 対10%値　0/56	対目標値　0/49 対10%値　0/49	
検48	ニトリロ三酢酸（NTA）	0.2	追加		0.2 （TDI=10）	0.2	WHO（ガイドライン値）	H24.3.5					対目標値　0/30 対10%値　0/30	対目標値　0/32 対10%値　0/32	
検49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）	－			USEPA R6.4.10 MCL（法的拘束力あり）→ 10ng/L				R6.6.25 答申済み			・R3.4.1から追加適用 ・食安委答申（R6.6.25）→TDI PFHxSは指標値算出は困難。ただし、将来的に科学的知見が集積してくれば、TDIを見直す根拠となる可能性あり	対0.005ug/L　19/179	対0.005ug/L　21/199	

※1　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　英国健康保護庁（HPA）による飲料水中「最大許容」濃度の改定勧告よりPFOAは0.01mg/L、PFOSは0.0003mg/Lで評価している。

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（1/8）

群	番号	項　目　名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	土壌薫蒸	－	－	0.05	H27.4.1より 0.002→0.05	20	0.02	H31.3.13	H25.2.18 H27.10.20 H30.3.27 R1.10.15 R6.3.7 答申済み		・食安委答申（H25.2.18, H27.10.20, H30.3.27, R1.10.15） → ADI = 20 ・食安委答申（R6.3.7） → ADI = 25	10%値超　0 / 699 1%値超　0 / 699	10%値超　0 / 654 1%値超　1 / 654	10%値超　0 / 972 1%値超　2 / 972	・地下水からの検出事例が多い
対	2	ダラポン	除草剤	－	－	0.08		30		H30.2.15	H29.3.28 答申済み		・平成29年3月28日府食第199号	10%値超　0 / 444 1%値超　0 / 444	10%値超　0 / 433 1%値超　11 / 433	10%値超　0 / 995 1%値超　4 / 995	
対	3	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(2,4-D)	除草剤	－	－	0.02	H30.4.1 より 0.03→0.02	10	0.03	H30.2.15	H29.5.16 答申済み		・評価第四部会審議中（H25.7.10） ・食安委答申(H29.5.16) → ADI = 9.9	10%値超　0 / 602 1%値超　0 / 602	10%値超　0 / 585 1%値超　0 / 585	10%値超　0 / 980 1%値超　0 / 980	
対	4	EPN	殺虫剤	－	－	0.004	H21.4.1 より 0.006→0.004	1.4		H30.2.15	H20.10.16 H20.11.27 H29.2.14 答申済み		・食安委答申 (H20.10.16, H20.11.27, H29.2.14) → ADI = 1.4	10%値超　0 / 710 1%値超　0 / 710	10%値超　0 / 652 1%値超　0 / 652	10%値超　1 / 989 1%値超　12 / 989	・【H17】浄水からの検出レベルは最高11%(表流水)
対	5	MCPA	除草剤	－	－	0.005	変更なし	2	設定せず	H27.2.5	H23.6.6 H26.7.29 R3.6.22 答申済み	WHO第4版第1次追補版変更	・食安委答申（H23.6.6, H26.7.29） → ADI ＝1.9	10%値超　0 / 536 1%値超　0 / 536	10%値超　0 / 539 1%値超　12 / 539	10%値超　1 / 1,067 1%値超　9 / 1,067	
対	6	アシュラム	除草剤	－	－	0.9	H28.4.1より 0.2→0.9	72		H27.2.5	H26.10.21 答申済み		・食安委答申(H26.10.21) → ADI = 360	10%値超　0 / 548 1%値超　0 / 548	10%値超　0 / 561 1%値超　0 / 561	10%値超　0 / 1,252 1%値超　3 / 1,252	
対	7	アセフェート	殺虫剤	－	－	0.006	H25.4.1より 変更なし	2.4		H30.2.15	H22.7.22 H25.9.30 H28.12.13 R6.2.14 答申済み		・食安委答申 （H22.7.22, H25.9.30, H28.12.13, R6.2.14） → ADI = 2.4	10%値超　9 / 639 1%値超　9 / 639	10%値超　12 / 626 1%値超　13 / 626	10%値超　2 / 1,355 1%値超　23 / 1,355	
対	8	アトラジン	除草剤	－	－	0.01		4	0.1			WHO第4版変更 0.1←0.002	・評価申請（H23.10.11）	10%値超　0 / 710 1%値超　0 / 710	10%値超　0 / 664 1%値超　1 / 664	10%値超　0 / 1,080 1%値超　2 / 1,080	
対	9	アニロホス	除草剤	－	－	0.003		1			H25.3.18 意見書提出		・食安委答申（H25.3.18） 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	10%値超　0 / 618 1%値超　0 / 618	10%値超　0 / 563 1%値超　0 / 563	10%値超　0 / 1,156 1%値超　0 / 1,156	
対	10	アミトラズ	殺虫剤	－	－	0.006		2.5		H20.12.16	H19.5.17 答申済み		・食安委答申（H19.5.17） → ADI = 2.5	10%値超　0 / 446 1%値超　0 / 446	10%値超　0 / 490 1%値超　12 / 490	10%値超　0 / 916 1%値超　0 / 916	
対	11	アラクロール	除草剤	－	－	0.03	H25.4.1より 変更なし	10	0.02	H24.3.5	H25.3.18 答申済み		・食安委答申（H23.8.25, H25.3.18） → ADI ＝ 10	10%値超　0 / 709 1%値超　0 / 709	10%値超　0 / 668 1%値超　0 / 668	10%値超　0 / 1,150 1%値超　2 / 1,150	
対	12	イソキサチオン	殺虫剤	－	－	0.005	H30.4.1より 0.008→0.005	2		H30.2.15	H28.2.23 答申済み		・食安委答申（H28.2.23） → ADI = 2	10%値超　0 / 752 1%値超　0 / 752	10%値超　0 / 716 1%値超　0 / 716	10%値超　0 / 1,125 1%値超　5 / 1,125	
対	13	イソフェンホス	殺虫剤	－	－	0.001		0.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 614 1%値超　0 / 614	10%値超　0 / 558 1%値超　10 / 558	100%値超　0 / 834	
対	14	イソプロカルブ(MIPC)	殺虫剤	－	－	0.01		4					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 641 1%値超　0 / 641	10%値超　0 / 587 1%値超　0 / 587	100%値超　0 / 698	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（2/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	15	イソプロチオラン(IPT)	殺虫剤 殺菌剤 植物成長調整剤	－	－	0.3	H22.4.1 より 0.04→0.3	100		H31.3.13	H20.2.28 H22.9.16 H24.12.10 H30.8.28 R4.8.9		・食安委答申 (H20.2.28, H24.12.10, H22.9.16, H30.8.28,R4.8.9) → ADI = 100	10%値超　0 / 727 1%値超　0 / 727	10%値超　0 / 675 1%値超　0 / 675	10%値超　0 / 1,014 1%値超　2 / 1,014	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.3mg/Lとなる方向
対	16	イプフェンカルバゾン	除草剤	－	－	0.002	R04.4.1より	0.99					R4.4.1対象農薬変更	10%値超　0 / 36 1%値超　3 / 36	10%値超　4 / 449 1%値超　11 / 449		・左記は、要検討農薬類としての測定値。
対	17	イプロベンホス(IBP)	殺菌剤	－	－	0.09	H23.4.1より 0.008→ 0.09	35		H22.12.21	H21.4.23 答申済み		・食安委答申（H21.4.23） → ADI = 35	10%値超　0 / 690 1%値超　0 / 690	10%値超　0 / 639 1%値超　0 / 639	10%値超　0 / 941 1%値超　11 / 941	
対	18	イミノクタジン酢酸塩	殺菌剤	－	－	0.006		2.3（イミノクタジンとして）			R1.6.4 答申済み		・食安委答申（R1.6.4） → ADI = 2.3	10%値超　0 / 472 1%値超　0 / 472	10%値超　0 / 483 1%値超　1 / 483	10%値超　0 / 1,054 1%値超　4 / 1,054	・定量下限≦0.005mg/L
対	19	インダノファン	除草剤	－	－	0.009	H15年からの変更なし	3.5		H24.3.5	H22.9.9 答申済み		・食安委答申（H20.1.10, H22.9.9） → ADI= 3.5	10%値超　0 / 567 1%値超　0 / 567	10%値超　0 / 570 1%値超　3 / 570	10%値超　0 / 844 1%値超　7 / 844	
対	20	エスプロカルブ	除草剤	－	－	0.03	H22.4.1より 0.01→0.03	10		H22.12.21	R6.6.11 答申済み		・食安委答申 (H20.1.17, H21.5.14, H24.2.23, R6.6.11) → ADI = 10	10%値超　0 / 704 1%値超　0 / 704	10%値超　0 / 655 1%値超　0 / 655	10%値超　0 / 939 1%値超　0 / 939	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.03mg/Lとなる方向
対	21	エトフェンプロックス	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.08	H15年からの変更なし	30		H31.3.13	R6.6.11 答申済み		・食安委答申 (H21.11.19, H25.8.5, H27.6.9, H29.4.25, H30.7.24,R3.10.16, R6.6.11) → ADI = 31	10%値超　0 / 810 1%値超　0 / 810	10%値超　0 / 751 1%値超　0 / 751	10%値超　0 / 1,030 1%値超　0 / 1,030	
対	22	ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｧﾝ(ﾍﾟﾝｿﾞｴﾋﾟﾝ,ｴﾝﾄﾞｽﾙﾌｪｰﾄ)	殺虫剤	－	－	0.01		5.7					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 525 1%値超　0 / 525	10%値超　0 / 483 1%値超　1 / 483	10%値超　0 / 999 1%値超　8 / 999	・定量下限≦0.01mg/L
対	23	オキサジクロメホン	除草剤	－	－	0.02	H26.4.1より 新規設定	9.1		H26.1.14	H15.9.18 H20.8.21 答申済み		・食安委答申（H15.9.18） → ADI = 9.0 ・食安委答申（H20.8.21） → ADI = 9.1	10%値超　0 / 540 1%値超　0 / 540	10%値超　0 / 605 1%値超　0 / 605	10%値超　0 / 998 1%値超　1 / 998	
対	24	オキシン銅	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.03	H27.4.1より 0.04→0.03	17		H27.2.5	H25.4.22 答申済み		・食安委答申（H25.4.22） → ADI = 10	10%値超　0 / 544 1%値超　0 / 544	10%値超　0 / 553 1%値超　0 / 553	10%値超　0 / 897 1%値超　7 / 897	
対	25	オリサストロビン	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.1	H26.4.1より 新規設定	52		H26.1.14	H20.3.27 答申済み		・食安委答申（H17.12.8, H20.3.27） → ADI = 52	10%値超　0 / 464 1%値超　0 / 464	10%値超　0 / 457 1%値超　0 / 457	10%値超　0 / 1,003 1%値超　0 / 1,003	
対	26	カズサホス	殺虫剤	－	－	0.0006	H26.4.1より 新規設定	0.25		H30.2.15	H17.6.30 H19.2.22 H20.7.3 H29.5.23 R3.5.18 答申済み		・食安委答申 (H17.6.30, H19.2.22, H20.7.3, H29.5.23,R3.5.18) → ADI = 0.25	10%値超　0 / 505 1%値超　0 / 505	10%値超　0 / 514 1%値超　0 / 514	10%値超　0 / 866 1%値超　1 / 866	
対	27	カフェンストロール	殺虫剤 除草剤	－	－	0.008	H15年からの変更なし	3		H20.12.16	H20.2.21 答申済み		・食安委答申（H20.2.21） → ADI = 3	10%値超　0 / 749 1%値超　0 / 749	10%値超　0 / 711 1%値超　0 / 711	10%値超　0 / 894 1%値超　0 / 894	
対	28	カルタップ	殺虫剤	－	－	0.08	H15年答申	100			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申（R1.6.4,R6.1.17,R6.10.9） → ADI = 30（グループ評価:16）	10%値超　0 / 510 1%値超　0 / 510	10%値超　0 / 528 1%値超　5 / 528	10%値超　0 / 1,005 1%値超　0 / 1,005	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（3/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	29	カルバリル(NAC)	殺虫剤	−	−	0.02		20		H31.3.13	H30.9.4 答申済み		・食安委答申（H30.9.4） → ADI = 7.3	10%値超　0 / 590 1%値超　0 / 590	10%値超　0 / 547 1%値超　0 / 547	10%値超　0 / 851 1%値超　0 / 851	
対	30	カルボフラン(カルボスルファン代謝物)	殺虫剤	−	−	0.0003	R03.4.1より 0.005→ 0.0003	2	0.007		R2.2.4 答申済み		・食安委答申（R2.2.4） → ADI = 0.15	10%値超　5 / 530 1%値超　5 / 530	10%値超　1 / 518 1%値超　5 / 518	10%値超　0 / 1,006 1%値超　0 / 1,006	
対	31	キノクラミン（ACN）	除草剤	−	−	0.005	H15年からの変更なし	2.1		H26.1.14	H25.10.7 答申済み		・食安委答申（H25.10.7） → ADI = 2.1	10%値超　0 / 479 1%値超　0 / 479	10%値超　0 / 491 1%値超　0 / 491	10%値超　0 / 990 1%値超　0 / 990	
対	32	キャプタン	殺菌剤	−	−	0.3		125		H31.3.13	H29.3.7 H30.7.24 R3.2.16 答申済み		・食安委答申（H29.3.7, H30.7.24, R3.2.16） → ADI =100	10%値超　0 / 681 1%値超　0 / 681	10%値超　0 / 639 1%値超　0 / 639	10%値超　0 / 1,046 1%値超　0 / 1,046	
対	33	クミルロン	除草剤	−	−	0.03	H15年からの変更なし	10		H20.12.16	H19.8.9 答申済み		・食安委答申（H19.8.9） → ADI = 10	10%値超　0 / 564 1%値超　0 / 564	10%値超　0 / 569 1%値超　0 / 569	10%値超　0 / 970 1%値超　0 / 970	
対	34	グリホサート	除草剤	−	−	2		1		H29.1.31 H30 .2.15	H28.7.12 答申済み		・食安委答申（H28.7.12） → ADI = 1000	10%値超　0 / 620 1%値超　0 / 620	10%値超　0 / 603 1%値超　0 / 603	10%値超　0 / 924 1%値超　0 / 924	
対	35	グルホシネート	除草剤 植物成長調整剤	−	−	0.02	H26.4.1より新規設定	9.1		H26.1.14	R7.2.6 答申済み		・食安委答申 (H22.2.25, H24.3.8, H25.7.29,R4.3.9, R5.2.1, R7.2.6) → ADI = 9.1	10%値超　0 / 497 1%値超　0 / 497	10%値超　0 / 487 1%値超　0 / 487	10%値超　0 / 855 1%値超　1 / 855	
対	36	クロメプロップ	除草剤	−	−	0.02	H15年からの変更なし	6.2		H22.12.21	H21.7.23 答申済み		・食安委答申（H21.7.23） → ADI = 6.2	10%値超　0 / 496 1%値超　0 / 496	10%値超　0 / 530 1%値超　0 / 530	10%値超　0 / 827 1%値超　0 / 827	
対	37	クロルニトロフェン(CNP)	除草剤	1996失効	−	0.0001		設定せず						10%値超　0 / 525 1%値超　0 / 525	10%値超　0 / 504 1%値超　4 / 504	10%値超　0 / 833 1%値超　0 / 833	・定量下限≦0.0001mg/L
対	38	クロルピリホス	殺虫剤	−	−	0.003	H21.4.1 より 0.03→ 0.003	1	0.03 (2008)	H31.3.13	H23.6.2 H30.7.24 答申済み		・食安委答申 （H19.3.22, H22.11.4, H23.6.2, H30.7.24） → ADI = 1 ・WHO/GDWQ第2次追補版追加（30μg/L）	10%値超　0 / 745 1%値超　0 / 745	10%値超　0 / 681 1%値超　9 / 681	10%値超　0 / 999 1%値超　0 / 999	
対	39	クロロタロニル(TPN)	殺菌剤	−	−	0.05		18		H31.3.13	H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.3.27） → ADI =クロロタロニル：18, 代謝物：8.3	10%値超　0 / 760 1%値超　0 / 760	10%値超　0 / 716 1%値超　4 / 716	10%値超　1 / 932 1%値超　1 / 932	
対	40	シアナジン	除草剤	−	−	0.001	H30.4.1 より 0.004→ 0.001	1.5	0.0006	H30.2.15	H29.2.28 答申済み	WHO第4版追加	・食安委答申（H29.2.28） → ADI = 0.53	10%値超　0 / 576 1%値超　0 / 576	10%値超　0 / 580 1%値超　0 / 580	10%値超　0 / 759 1%値超　0 / 759	
対	41	シアノホス（CYAP）	殺虫剤	−	−	0.003	H15年答申	1		H31.3.13	H29.10.17 答申済み		・食安委答申（H29.10.17） → ADI = 1	10%値超　0 / 524 1%値超　0 / 524	10%値超　0 / 533 1%値超　3 / 533	10%値超　0 / 828 1%値超　0 / 828	
対	42	ジウロン(DCMU)	除草剤	−	−	0.02		6.25					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 582 1%値超　0 / 582	10%値超　0 / 579 1%値超　0 / 579	10%値超　0 / 1,000 1%値超　0 / 1,000	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（4/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	43	ジクロベニル(DBN)	除草剤	－	－	0.03	H28.4.1より0.01→0.03	10		H27.2.5	H26.7.1 答申済み		・食安委答申（H26.7.1） → ADI= 10	10%値超　0 / 766 1%値超　0 / 766	10%値超　0 / 700 1%値超　0 / 700	10%値超　0 / 953 1%値超　4 / 953	
対	44	ジクロルボス(DDVP)	殺虫剤	－	－	0.008		3.3	0.02 (2007)				・食安委検討中（清涼飲料水、H15～） ・評価要請（H21.3.24）	10%値超　0 / 651 1%値超　0 / 651	10%値超　0 / 618 1%値超　3 / 618	10%値超　0 / 840 1%値超　0 / 840	
対	45	ジクワット	除草剤	－	－	0.01		1.9			R元.10.8 答申済み		・食安委答申（R1.10.8） → ADI = 5.8	10%値超　0 / 552 1%値超　0 / 552	10%値超　0 / 544 1%値超　4 / 544	10%値超　0 / 894 1%値超　0 / 894	・定量下限≦0.001mg/L
対	46	エチルチオメトン	殺虫剤	－	－	0.004		1.4						10%値超　0 / 666 1%値超　0 / 666	10%値超　0 / 614 1%値超　3 / 614	10%値超　0 / 905 1%値超　0 / 905	
対	47	ジチオカルバメート系農薬	－	－	－	0.005	H26.4.1より新規設定			H26.1.14			二硫化炭素として	10%値超　0 / 427 1%値超　0 / 427	10%値超　1 / 419 1%値超　2 / 419	10%値超　3 / 1,017 1%値超　31 / 1,017	
対	48	ジチオピル	除草剤	－	－	0.009	H22.4.1より0.008→0.009	3.6		H20.12.16	H20.1.10 答申済み		・食安委答申（H20.1.10） → ADI = 3.6	10%値超　0 / 617 1%値超　0 / 617	10%値超　0 / 578 1%値超　0 / 578	10%値超　0 / 1,108 1%値超　0 / 1,108	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.009mg/Lとなる方向
対	49	シハロホップブチル	除草剤	－	－	0.006	H15年答申	2.4						10%値超　0 / 573 1%値超　0 / 573	10%値超　0 / 570 1%値超　0 / 570	10%値超　2 / 1,120 1%値超　17 / 1,120	
対	50	シマジン(CAT)	除草剤	－	－	0.003		1.3	0.002				・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 775 1%値超　0 / 775	10%値超　0 / 711 1%値超　0 / 711	10%値超　0 / 1,154 1%値超　19 / 1,154	
対	51	ジメタメトリン	除草剤	－	－	0.02	H15年からの変更なし	9.4		H24.3.5	H23.12.22 答申済み		・食安委答申（H23.12.22） → ADI ＝ 9.4	10%値超　0 / 720 1%値超　0 / 720	10%値超　0 / 687 1%値超　0 / 687	10%値超　0 / 827 1%値超　0 / 827	
対	52	ジメトエート	殺虫剤	－	－	0.05		20	0.006				・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 639 1%値超　0 / 639	10%値超　0 / 585 1%値超　0 / 585	10%値超　0 / 976 1%値超　0 / 976	
対	53	シメトリン	除草剤	－	－	0.03		11					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 800 1%値超　0 / 800	10%値超　0 / 746 1%値超　0 / 746	10%値超　0 / 861 1%値超　0 / 861	
対	54	ダイアジノン	殺虫剤	－	－	0.003	H28.4.1より0.005→0.003	2		H31.3.13	H26.8.19 H29.12.12 答申済み		・食安委答申（H26.8.19, H29.12.12） → ADI = 1 ・評価要請（H29.5.24）	10%値超　0 / 856 1%値超　0 / 856	10%値超　1 / 783 1%値超　1 / 783	10%値超　0 / 843 1%値超　0 / 843	
対	55	ダイムロン	除草剤	－	－	0.8	H15年からの変更なし	300		H20.12.16	H19.11.8 答申済み		・食安委答申（H19.11.8） → ADI = 300	10%値超　0 / 620 1%値超　0 / 620	10%値超　0 / 606 1%値超　2 / 606	10%値超　1 / 1,082 1%値超　61 / 1,082	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（5/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	56	ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート	殺菌剤	−	−	0.01	H29.4.1より新規設定	2.5		H29.1.31	H27.3.24 R1.8.27 R6.1.31 答申済み		・食安委答申（H27.3.24, R1.8.27, R6.1.31） → ADI = 4	10%値超　0 / 440 1%値超　0 / 440	10%値超　0 / 471 1%値超　0 / 471	20%値超　7 / 1,002	
対	57	チアジニル	殺菌剤、殺虫殺菌剤、除草剤	−	−	0.1	H26.4.1より新規設定	40		H26.1.14	H19.10.25 R2.9.15 答申済み		・食安委答申（H19.10.25, R2.9.15） →ADI = 40	10%値超　0 / 511 1%値超　0 / 511	10%値超　0 / 544 1%値超　0 / 544	10%値超　0 / 891 1%値超　0 / 891	
対	58	チウラム	殺菌剤	−	−	0.02		8.4					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 674 1%値超　0 / 674	10%値超　0 / 649 1%値超　0 / 649	10%値超　0 / 801 1%値超　10 / 801	
対	59	チオジカルブ	殺虫剤	−	−	0.08		30					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 544 1%値超　0 / 544	10%値超　0 / 529 1%値超　0 / 529	10%値超　0 / 873 1%値超　1 / 873	
対	60	チオファネートメチル	殺菌剤	−	−	0.3		120					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 604 1%値超　0 / 604	10%値超　0 / 576 1%値超　0 / 576	10%値超　0 / 743 1%値超　0 / 743	
対	61	チオベンカルブ	除草剤	−	−	0.02	H15年からの変更なし	9		H24.3.5	H19.12.13 H22.8.5 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H19.12.13, H22.8.5, R5.11.1） → AD I= 9	10%値超　0 / 715 1%値超　0 / 715	10%値超　0 / 659 1%値超　0 / 659	10%値超　0 / 965 1%値超　0 / 965	
対	62	テフリルトリオン	除草剤	−	−	0.002	H29.4.1より対象農薬に格上げ	0.8		H29.1.31	H21.2.19 答申済み		・食安委答申（H21.2.19） → ADI = 0.8	10%値超　0　554 1%値超　0　554	10%値超　0　524 1%値超　1　524		
対	63	テルブカルブ(MBPMC)	除草剤	1998.7失効	−	0.02		6.4		H18.8.4			・H18.8.4の厚科審で項目削除は見送り（浄水、原水からの検出が確認されたため）	10%値超　0 / 624 1%値超　0 / 624	10%値超　0 / 563 1%値超　0 / 563	10%値超　0 / 921 1%値超　0 / 921	
対	64	トリクロピル	除草剤	−	−	0.006		2.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 563 1%値超　0 / 563	10%値超　0 / 563 1%値超　3 / 563	20%値超　0 / 903	
対	65	トリクロルホン(DEP)	殺虫剤	−	−	0.005	H26.4.1より0.03→0.005	10	不要	H26.1.14			・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)	10%値超　0 / 577 1%値超　0 / 577	10%値超　0 / 584 1%値超　4 / 584	10%値超　0 / 842 1%値超　0 / 842	
対	66	トリシクラゾール	殺虫剤 殺菌剤 植物成長調整剤	−	−	0.1	H28.4.1より0.08→0.1	30		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI ＝ 50	10%値超　0 / 596 1%値超　0 / 596	10%値超　0 / 578 1%値超　0 / 578	100%値超　0 / 858	
対	67	トリフルラリン	除草剤	−	−	0.06		24	0.02	H25.3.19	H24.1.26 答申済み		・食安委答申（H24.1.26） → ADI ＝ 24	10%値超　0 / 741 1%値超　0 / 741	10%値超　0 / 695 1%値超　3 / 695	10%値超　0 / 1,118 1%値超　0 / 1,118	
対	68	ナプロパミド	除草剤	−	−	0.03		12.5						10%値超　0 / 629 1%値超　0 / 629	10%値超　0 / 577 1%値超　0 / 577	10%値超　4 / 1,015 1%値超　27 / 1,015	
対	69	パラコート	除草剤	−	−	0.01	R6.4.1より0.005→0.01	2			R4.6.28 答申済み		・食安委答申（R4.6.28） → ADI ＝ 4.5	10%値超　0 / 529 1%値超　0 / 529	10%値超　0 / 526 1%値超　1 / 526	10%値超　0 / 951 1%値超　1 / 951	
対	70	ピペロホス	除草剤	−	−	0.0009		0.36					・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	10%値超　0 / 597 1%値超　0 / 597	10%値超　0 / 539 1%値超　8 / 539	10%値超　0 / 996 1%値超　2 / 996	・定量下限≦0.0001mg/L
対	71	ピラクロニル	除草剤	−	−	0.01	H26.4.1より新規設定	4.4		H26.1.14	H23.6.2 答申済み		・食安委答申（H19.8.2, H23.6.2） → ADI = 4.4	10%値超　0 / 493 1%値超　0 / 493	10%値超　2 / 525 1%値超　4 / 525	10%値超　0 / 908 1%値超　0 / 908	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（6/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	72	ピラゾキシフェン	除草剤	－	－	0.004	H15年答申	1.5			H20.4.24 答申済み		・食安委答申（H20.4.24） → ADI = 26	10%値超　0 /　488 1%値超　0 /　488	10%値超　0 /　497 1%値超　1 /　497	10%値超　0 /　946 1%値超　6 /　946	
対	73	ピラゾリネート（ピラゾレート）	除草剤	－	－	0.02	H15年答申	6						10%値超　0 /　529 1%値超　0 /　529	10%値超　0 /　582 1%値超　0 /　582	10%値超　0 /　856 1%値超　2 /　856	
対	74	ピリダフェンチオン	殺虫剤	2007.2失効	－	0.002		0.85			H25.3.18 意見書提出		・食安委答申（H25.3.18） 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	10%値超　0 /　637 1%値超　0 /　637	10%値超　0 /　577 1%値超　8 /　577	10%値超　0 /　1,031 1%値超　10 /　1,031	
対	75	ピリブチカルブ	除草剤	－	－	0.02	H15年からの変更なし	7.5		H22.2.2	H20.9.11 答申済み		・食安委答申(H20.9.11） → ADI = 8.8	10%値超　0 /　699 1%値超　0 /　699	10%値超　0 /　652 1%値超　0 /　652	10%値超　0 /　820 1%値超　0 /　820	
対	76	ピロキロン	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.05	H29.4.1より 0.04→0.05	15		H28.2.17	H27.6.9 答申済み		・食安委答申（H27.6.9） → ADI = 19	10%値超　0 /　697 1%値超　0 /　697	10%値超　0 /　658 1%値超　0 /　658	10%値超　0 /　999 1%値超　0 /　999	
対	77	フィプロニル	殺虫剤	－	－	0.0005	変更なし	0.2		H29.1.31	H28.4.5 答申済み		・食安委答申（H26.1.20, H28.4.5） →ADI＝0.19	10%値超　0 /　651 1%値超　0 /　651	10%値超　0 /　676 1%値超　0 /　676	10%値超　0 /　978 1%値超　2 /　978	・左記は管理目標調査に基づくもの。 ・【H17】原水の検出レベルは90～100%。
対	78	フェニトロチオン(MEP)	殺虫剤	－	－	0.01	H28.4.1より 0.003→ 0.01	5		H30.2.15	H26.6.3 H29.8.22 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H26.6.3, H29.8.22, R5.11.1） → ADI = 4.9	10%値超　0 /　810 1%値超　0 /　810	10%値超　0 /　787 1%値超　3 /　787	10%値超　0 /　1,052 1%値超　1 /　1,052	・【H17】浄水からの検出レベルは最高20%(表流水)、原水で100%超が1例存在(表流水) ・【H18】浄水・原水ともに最高濃度
対	79	フェノブカルブ(BPMC)	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.03	H15年からの変更なし	13		H26.1.14	H25.9.9 答申済み		・食安委答申（H25.9.9） → ADI = 13	10%値超　0 /　759 1%値超　0 /　759	10%値超　0 /　699 1%値超　0 /　699	10%値超　0 /　984 1%値超　0 /　984	
対	80	フェリムゾン	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.05	0.02→0.06	19		H22.2.2	R6.10.30 答申済み		・食安委答申（H20.11.13, H24.2.2, R6.10.30） → ADI = 19	10%値超　0 /　566 1%値超　0 /　566	10%値超　0 /　588 1%値超　0 /　588	10%値超　0 /　994 1%値超　1 /　994	
対	81	フェンチオン(MPP)	殺虫剤	－	－	0.006	H25.4.1より 0.001→ 0.006	2.3		H24.3.5	H25.9.30 答申済み		・食安委答申（H22.4.8, H25.9.30） → ADI = 2.3	10%値超　0 /　690 1%値超　0 /　690	10%値超　0 /　668 1%値超　2 /　668	10%値超　0 /　1,042 1%値超　0 /　1,042	
対	82	フェントエート(PAP)	殺虫剤	－	－	0.007	H25.4.1より 0.004→ 0.007	2.9		H24.3.5	H25.1.21 答申済み		・食安委答申（H23.10.6, H25.1.21） → ADI ＝ 2.9	10%値超　0 /　716 1%値超　0 /　716	10%値超　0 /　680 1%値超　0 /　680	10%値超　0 /　831 1%値超　0 /　831	
対	83	フェントラザミド	除草剤	－	－	0.01	H26.4.1より 新規設定	5.2		H26.1.14	H20.12.4 答申済み		・食安委答申（H20.12.4） → ADI = 5.2	10%値超　0 /　527 1%値超　0 /　527	10%値超　0 /　590 1%値超　4 /　590	10%値超　0 /　1,027 1%値超　0 /　1,027	
対	84	フサライド	殺菌剤	－	－	0.1		40						10%値超　0 /　812 1%値超　0 /　812	10%値超　0 /　754 1%値超　0 /　754	10%値超　0 /　939 1%値超　7 /　939	
対	85	ブタクロール	除草剤	－	－	0.03	H15年からの変更なし	10		H24.3.5	H23.8.25 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H23.8.25, R5.11.1） → ADI ＝ 10	10%値超　0 /　565 1%値超　0 /　565	10%値超　0 /　533 1%値超　0 /　533	0.1ug/L超　0 /　795	
対	86	ブタミホス	除草剤	－	－	0.02	H23.4.1より 0.01→0.02	8		H22.2.2	H21.2.12 答申済み		・食安委答申(H21.2.12） → ADI = 8	10%値超　0 /　709 1%値超　0 /　709	10%値超　0 /　668 1%値超　0 /　668	10%値超　0 /　962 1%値超　1 /　962	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（7/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	87	ブプロフェジン	殺虫剤	－	－	0.02	H15年からの変更なし	9		H30.2.15	H20.5.15 H24.12.10 H28.12.13 R1.6.18 R5.10.11 答申済み		・食安委答申 （H20.5.15, H24.12.10, H28.12.13, R1.6.18, R5.10.11） → ADI = 9	10%値超　0 / 740 1%値超　0 / 740	10%値超　0 / 684 1%値超　0 / 684	10%値超　0 / 938 1%値超　0 / 938	
対	88	フルアジナム	殺菌剤	－	－	0.03	0.01→0.03	10		H26.1.14	R7.2.6 答申済み		・食安委答申（H25.11.11, H31.2.5,R3.8.31, R7.2.6） → ADI = 10	10%値超　0 / 587 1%値超　0 / 587	10%値超　0 / 610 1%値超　0 / 610	5ug/L超　0 / 787	
対	89	プレチラクロール	除草剤	－	－	0.05	H23.4.1より0.04→0.05	18		H22.2.2	R6.12.18 答申済み		・食安委答申(H20.10.9, R6.12.18） → ADI = 18	10%値超　0 / 813 1%値超　0 / 813	10%値超　0 / 747 1%値超　0 / 747	10%値超　0 / 839 1%値超　0 / 839	
対	90	プロシミドン	殺菌剤	－	－	0.09	変更なし	35		H30.2.15	H26.1.20 H29.5.30 R3.2.16 R5.8.1 答申済み		・食安委答申（H26.1.20, H29.5.30, R3.2.16, R5.8.1） → ADI = 35	10%値超　0 / 613 1%値超　0 / 613	10%値超　0 / 579 1%値超　0 / 579	10%値超　0 / 710 1%値超　7 / 710	
対	91	プロチオホス	殺虫剤	－	－	0.007	H15年答申	1.5		H30.2.15	H30.10.23 R5.7.12 答申済み		・代謝物であるプロチオホスオキソンも測定し、原体の濃度と、オキソン体の濃度を原体に換算した濃度を合計(H30.4.1から適用) ・食安委答申（H30.10.23, R5.7.12）→ ADI = 2.7	10%値超　0 / 431 1%値超　0 / 431	10%値超　0 / 477 1%値超　2 / 477	10%値超　0 / 818 1%値超　0 / 818	
対	92	プロピコナゾール	殺菌剤	－	－	0.05	変更なし	18		H30.2.15	H29.7.4 H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H26.4.8, H29.7.4, H30.3.27） → ADI = 19	10%値超　0 / 641 1%値超　0 / 641	10%値超　0 / 601 1%値超　0 / 601	10%値超　0 / 769 1%値超　0 / 769	
対	93	プロピザミド	除草剤	－	－	0.05	変更なし	19		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI = 19	10%値超　0 / 693 1%値超　0 / 693	10%値超　0 / 644 1%値超　0 / 644	10%値超　0 / 863 1%値超　0 / 863	
対	94	プロベナゾール	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.03		20		H31.3.13	H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.3.27） → ADI = 10	10%値超　0 / 691 1%値超　0 / 691	10%値超　0 / 688 1%値超　0 / 688	10%値超　0 / 894 1%値超　0 / 894	
対	95	プロモブチド	除草剤	－	－	0.1	H22.4.1より0.04→0.1	40		H20.12.16	H20.1.10 答申済み		・食安委答申（H20.1.10） → ADI = 40	10%値超　0 / 760 1%値超　0 / 760	10%値超　0 / 708 1%値超　3 / 708	10%値超　0 / 801 1%値超　0 / 801	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.1mg/Lとなる方向
対	96	ベノミル	殺菌剤	－	－	0.02		9					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～）	10%値超　0 / 623 1%値超　0 / 623	10%値超　0 / 582 1%値超　0 / 582	10%値超　0 / 809 1%値超　0 / 809	
対	97	ペンシクロン	殺菌剤	－	－	0.1	H23.4.1より0.04→0.1	53		H22.2.2	H20.10.16 R3.10.6 答申済み		・食安委答申(H20.10.16,R3.10.6） → ADI = 53	10%値超　0 / 678 1%値超　0 / 678	10%値超　0 / 630 1%値超　0 / 630	10%値超　0 / 974 1%値超　2 / 974	
対	98	ペンゾピシクロン	除草剤	－	－	0.09	H26.4.1より新規設定	34		H26.1.14	H20.3.13 答申済み		・食安委答申（H20.3.13） → ADI =34	10%値超　0 / 526 1%値超　0 / 526	10%値超　0 / 566 1%値超　0 / 566	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	99	ペンゾフェナップ	除草剤	－	－	0.005	H29.4.1より0.004→0.005	1.5		H28.2.17	H27.8.18 答申済み		・食安委答申（H27.8.18） → ADI = 2	10%値超　0 / 547 1%値超　0 / 547	10%値超　0 / 557 1%値超　0 / 557	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	

表 2-28　最近の水道水質基準等項目の状況について（対象農薬リスト掲載農薬類）（8/8）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	浄水超過状況※2（R03水道統計）	浄水超過状況※2（R04水道統計）	原水	課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等					
対	100	ベンタゾン	除草剤	－	－	0.2		90			R3.6.22 答申済み'		・食安委答申（R3.6.22） → ADI = 90	10%値超　0 / 717 1%値超　0 / 717	10%値超　0 / 697 1%値超　1 / 697	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	101	ベンディメタリン	除草剤	－	－	0.3	H25.4.1より 0.1→0.3	120	0.02	H24.3.5	H22.10.7 H24.8.6 R3.4.13 答申済み		・食安委答申（H22.10.7, H24.8.6,R3.4.13） → ADI = 120	10%値超　0 / 714 1%値超　0 / 714	10%値超　0 / 679 1%値超　0 / 679	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	102	ベンフラカルブ	殺虫剤	－	－	0.02	R03.4.1より 0.04→0.02	15			R2.2.4 答申済み		・食安委答申（R2.2.4） → ADI = 8.9	10%値超　0 / 549 1%値超　0 / 549	10%値超　0 / 557 1%値超　2 / 557	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	103	ベンフルラリン(ベスロジン)	除草剤	－	－	0.01	H25.4.1より 0.08→0.01	5		H24.3.5	H22.10.14 答申済み		・食安委答申（H22.10.14） → ADI = 5	10%値超　0 / 625 1%値超　0 / 625	10%値超　0 / 569 1%値超　3 / 569	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	104	ベンフレセート	除草剤	－	－	0.07	H15から変更なし	26		H20.12.16	H21.10.22 答申済み		・食安委答申（H21.10.22） → ADI = 23	10%値超　0 / 477 1%値超　0 / 477	10%値超　0 / 458 1%値超　0 / 458	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	105	ホスチアゼート	殺虫剤	－	－	0.005	H15年答申	1			R6.3.21 答申済み		・食安委答申（R2.12.15, R4.5.18, R6.3.21） → ADI = 2	10%値超　0 / 553 1%値超　0 / 553	10%値超　0 / 547 1%値超　0 / 547	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	106	マラソン（マラチオン）	殺虫剤	－	－	0.7	H28.4.1より 0.05→0.7	20		H27.2.5	H26.5.13 答申済み		・食安委答申（H26.5.13） → ADI = 290	10%値超　0 / 753 1%値超　0 / 753	10%値超　0 / 686 1%値超　0 / 686	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	107	メコプロップ(MCPP)	除草剤	－	－	0.05	H26.4.1より 0.005→ 0.05	2	0.01	H26.1.14			・食安委検討中(清涼飲料水、H15～）	10%値超　0 / 605 1%値超　0 / 605	10%値超　0 / 616 1%値超　0 / 616	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	108	メソミル	殺虫剤	－	－	0.03		12.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～）	10%値超　0 / 628 1%値超　0 / 628	10%値超　0 / 610 1%値超　0 / 610	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	109	メタラキシル	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.2	H23.4.1より 0.05→0.06	22		H31.3.13	H29.10.17 答申済み		・食安委答申（H21.3.5, H23.7.7, H26.1.20） → ADI ＝ 22 ・食安委答申（H29.10.17） → ADI = 80	10%値超　0 / 757 1%値超　0 / 757	10%値超　0 / 709 1%値超　0 / 709	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	110	メチダチオン(DMTP)	殺虫剤	－	－	0.004		1.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～） ・オキソン体も検査の対象とし、原体の濃度に、オキソン体を原体の濃度に換算したものを合算してメチダチオンの濃度とする（厚生労働科学研究に基づく; R4.4.1より適用）。	10%値超　0 / 790 1%値超　0 / 790	10%値超　0 / 713 1%値超　0 / 713	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	111	メトミノストロビン	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.04	H15年答申	16		H25.3.19	H22.3.4 R3.8.24 答申済み		・食安委答申（H22.3.4 ,R3.8.24） → ADI = 16	10%値超　0 / 554 1%値超　0 / 554	10%値超　0 / 584 1%値超　0 / 584	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	112	メトリブジン	除草剤	－	－	0.03	H15年答申	12.5						10%値超　0 / 584 1%値超　0 / 584	10%値超　0 / 581 1%値超　0 / 581	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	113	メフェナセット	除草剤	－	－	0.02	H22.4.1より 0.009→ 0.02	7		H20.12.16	H20.3.13 答申済み		・食安委答申（H20.3.13） → ADI = 7	10%値超　0 / 814 1%値超　0 / 814	10%値超　0 / 757 1%値超　0 / 757	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	・厚生科学審議会生活環境水道部会(平成20年12月16日)で審議。基準値は0.02mg/Lとなる方向
対	114	メプロニル	殺虫剤 殺菌剤	－	－	0.1	H15から変更なし	50		H22.12.21	H21.12.17 答申済み		・食安委答申（H21.12.17） → ADI = 50	10%値超　0 / 692 1%値超　0 / 692	10%値超　0 / 650 1%値超　0 / 650	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	
対	115	モリネート	除草剤	－	－	0.005		2.1	0.006	H26.1.14	H25.3.4 答申済み		・食安委答申（H25.3.4） → ADI = 2.1	10%値超　0 / 798 1%値超　0 / 798	10%値超　0 / 730 1%値超　3 / 730	10%値超　4 / 1,090 1%値超　40 / 1,090	・定量下限≦0.001mg/L

※1　（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　超過状況凡例：　浄水の1地点以上で10%超過

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（1/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
要	1	アセタミプリド	殺菌剤 殺虫殺菌剤	－	－	0.2	H24年度末部会	71		H28.2.17	H20.8.29 H23.6.9 H26.12.16 答申済み		・食安委答申 (H20.8.29, H23.6.9, H26.12.16) → ADI = 71	1%値超　0 / 86	1%値超　0 / 71	1%値超　0 / 86	1%値超　0 / 76	
要	2	イミダクロプリド	殺虫剤	－	－	0.1	H20.12.16 変更0.2→0.1	57		H29.1.31	H19.6.14 H22.9.9 H28.7.12 答申済み		・食安委答申 (H19.6.14,H22.9.9,H28.7.12) → ADI=57	1%値超　0 / 93	1%値超　0 / 83	1%値超　0 /101	1%値超　0 / 99	・厚生科学審議会生活環境水道部会（平成20年12月16日）で審議。基準値は0.1 mg/Lとなる方向
要	3	イプロジオン	殺菌剤	－	－	0.05					R3.11.2 答申済み		・食安委答申 (R3.11.2) → ADI =20	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 35	1%値超　0 / 68	1%値超　0 / 56	
要	4	エチプロール	－	－	－	0.01		5		H27.2.5	H16.7.22 H16.7.22 H22.7.22 H26.3.24 答申済み		・食安委答申（H16.7.22, H16.7.22, H22.7.22, H26.3.24） → ADI = 5	1%値超　0 / 63	1%値超　3 / 53	1%値超　0 / 74	1%値超　0 / 70	
要	5	クロロピクリン	－	－	－	0.003							・評価要請（H29.6.15）	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 2	1%値超　0 / 3	1%値超　0 / 8	
要	6	テブコナゾール	殺菌剤	－	－	0.07	H24年度末部会	29		H28.2.17	H19.7.5 H23.9.8 H24.10.29 H27.9.8 答申済み		・食安委答申 (H19.7.5, H23.9.8, H24.10.29, H27.9.8) → ADI = 29	1%値超　0 / 70	1%値超　0 / 55	1%値超　0 / 71	1%値超　0 / 59	
要	7	パラチオンメチル	殺虫剤	1971失効	－	0.04	H15年答申	15					・食安委検討中 ・評価要請（H21.3.24）	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	・販売・使用禁止農薬（使用事故多発）
要	8	ヒメキサゾール（ヒドロキシイソキサゾール）	殺菌剤	－	－	0.1	H15年答申	50					・評価要請（H25.8.20）	1%値超　0 / 11	1%値超　0 / 14	1%値超　0 / 9	1%値超　0 / 12	
要	9	ピラクロホス	－	－	－	ー	－	－						1%値超　0 / 29	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 29	
要	10	フルスルファミド	殺菌剤	－	－	ー	－	－					・評価要請（H24.8.21）	1%値超　0 / 54	1%値超　0 / 37	1%値超　0 / 52	1%値超　0 / 38	
要	11	ブロマシル	除草剤	－	－	0.05	H29.4.1より新規設定	19		H29.1.31	H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H28.5.17） → ADI = 19	1%値超　0 / 58	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 82	1%値超　0 / 66	
要	12	ペントキサゾン	除草剤	－	－	0.6	H22.2.2 変更0.2←0.6	230		H22.12.21 評価値を0.6に緩和	R7.1.22 答申済み		・食安委答申（R7.1.22） → ADI = 230	1%値超　0 / 73	1%値超　0 / 61	1%値超　0 / 76	1%値超　0 / 66	
要	13	ホサロン	殺虫剤	－	－	0.005	H27.4.1より新規	2		H27.2.5	H26.3.10 答申済み		・食安委答申（H26.3.10） → ADI= 2	1%値超　0 / 32	1%値超　0 / 30	1%値超　0 / 32	1%値超　0 / 34	
要	14	メタアルデヒド	－	－	－	0.06		22		H30.2.15	H19.7.19 H21.2.5 H23.6.23 H25.12.2 H29.2.14 R4.10.12 答申済み		・食安委答申 (H19.7.19, H21.2.5, H23.6.23, H25.12.2, H29.2.14, R4.10.12) → ADI = 22	1%値超　0 / 0	1%値超　3 / 10	1%値超　0 / 1	1%値超　5 / 16	
要	15	メトラクロール	除草剤	－	－	0.2	H15年答申	97	0.01	H22.12.21 H15からの変更なし	H21.7.30 答申済み		・食安委答申（H21.7.30） →　ADI = 97	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 40	
他	1	2―クロロプロピオン酸メチル（MCPM）	除草剤	－	－	ー	－	－		H25.3.19	H24.10.29 答申済み		・食安委答申（H24.10.29） → ADI = 9.8	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（2/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	2	2，4―DB	除草剤	未登録	－	―	－	－	0.09		審議中		・食安委検討中	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	3	DBEDC	殺虫剤 殺菌剤	－	－	―	－	－						1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	4	MCPB	除草剤 植物成長調整剤	－	－	0.03	H15年答申	33		H31.3.13	H30.9.4 答申済み		・食安委答申（H30.9.4） → ADI = 12	1%値超　0 / 4	1%値超　0 / 9	1%値超　0 / 12	1%値超　0 / 23	
他	5	アシベンゾラルSメチル	殺菌剤	2006.12失効	－	0.2	H28.4.1より 0.1→0.2	50		H31.3.13	H27.3.24 H30.2.13 答申済み		・食安委答申(H27.3.24,H30.2.13) → ADI = 77	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	6	アジムスルフロン	除草剤	－	－	0.2	H15年答申	95		H22.12.21 H15からの変更なし	H21.4.9 答申済み		・食安委答申（H21.4.9） →　ADI = 95	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	7	アミトロール	除草剤	－	－	0.003	H24.3.5変更0.06→0.003	1.2		H24.3.5 評価値強化 0.003←0.06	H22.10.7 答申済み		・食安委答申(H22.10.7） → ADI=1.2	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	8	アメトリン	除草剤	－	－	0.2	H20.12.16 変更 0.003→0.2	72		H20.12.16 評価値変更 0.2←0.003	H19.9.13 答申済み		・食安委答申（H19.9.13） →　ADI = 72 （ 0.2mg/L ）	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 30	1%値超　0 / 45	1%値超　0 / 33	・厚生科学審議会生活環境水道部会（平成20年12月16白）で審議。基準値は0.2 mg/Lとなる方向
他	9	イナベンフィド	植物成長調整剤	2007.1失効	－	0.3	H15年答申	130						1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	10	イマゾスルフロン	殺虫剤 除草剤	－	－	0.2	H15年答申	89						1%値超　0 / 20	1%値超　0 / 22	1%値超　0 / 28	1%値超　0 / 37	
他	11	ウニコナゾールP	植物成長調整剤	－	－	0.05	H15年答申	16		H20.12.16 H15からの変更なし	H19.5.31 R3.5.25 答申済み		・食安委答申（H19.5.31） → ADI = 16 ・食安委答申（R3.5.25） → ADI = 20	1%値超　0 / 23	1%値超　0 / 21	1%値超　0 / 45	1%値超　0 / 33	
他	12	エトキシスルフロン	除草剤	－	－	0.1	H15年答申	56		H25.3.19 評価値を0.1に強化 H26.1.14 変更なし	H25.10.21 答申済み		・食安委答申（H25.10.21） → ADI = 56	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 35	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 36	
他	13	エトベンザニド	除草剤	－	－	0.1	H15年答申	44		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI ＝ 44	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 33	1%値超　0 / 50	1%値超　0 / 38	
他	14	エンドタール	除草剤	－	－	―	－	－			H29.3.28 答申済み			1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	15	オキサジアルギル	除草剤	－	－	0.02	H24年度末部会	8		H25.3.19 評価値を0.02に設定	H.19.10.11 答申済み		・食安委答申（H.19.10.11） →　ADI = 8	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 46	1%値超　0 / 33	
他	16	オキサミル	殺虫剤	－	－	0.05	H15年答申	20					評価要請　H25.3.12	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 33	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 33	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（3/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	17	オキソリニック酸	殺菌剤	－	－	0.05	H15年答申	21		H25.3.19 評価値を0.05に強化 H26.1.14 変更なし	H20.7.24 H23.6.30 H25.11.11 R1.8.27 答申済み		・食安委答申 (H20.7.24, H23.6.30, H25.11.11, R1.8.27) → ADI = 21	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	18	キザロホップエチル	除草剤	－	－	0.02	H15年答申	9		H27.2.5	H21.10.22 H26.4.8 答申済み		・食安委答申（H21.10.22, H26.4.8） → ADI = 9	1%値超　0 / 48	1%値超　0 / 31	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 35	
他	19	クロチアニジン	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.2	H24年度末部会	97		H27.2.5	H17.1.27 H18.12.7 H20.2.28 H20.2.28 H26.1.20 H26.10.7 答申済み		・食安委答申（H17.1.27, H18.12.7, H20.2.28, H20.2.28, H26.1.20, H26.10.7） → ADI = 97	1%値超　0 /114	1%値超　0 / 85	1%値超　0 /125	1%値超　0 / 102	
他	20	クロマフェノジド	殺虫剤	－	－	0.7	H15年答申	270		H20.12.16 H15からの変更なし H25.3.19 現行評価値を維持	H24.5.24 答申済み		・食安委答申 (H19.10.18) ・食安委答申 (H24.5.24) → ADI = 270	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	21	クロルタールジメチル（TCTP）	除草剤	2005.9失効	－	—	－	－						1%値超　0 / 7	1%値超　0 / 7	1%値超　0 / 7	1%値超　0 / 9	
他	22	クロルピリホスメチル	殺虫剤	－	－	0.03	H15年答申	10						1%値超　0 / 25	1%値超　0 / 24	1%値超　0 / 26	1%値超　0 / 29	
他	23	シクロスルファムロン	除草剤	－	－	0.08	H15年答申	30						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 1	
他	24	ジクロフェンチオン（ECP）	殺虫剤	－	－	0.006	H15年答申	2.5			H25.3.18 意見書提出		H25.3.18 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	1%値超　0 / 21	1%値超　0 / 19	1%値超　0 / 24	1%値超　0 / 26	
他	25	シクロプロトリン	殺虫剤	－	－	0.008	H15年答申	3.3			H27.2.3 答申済み		・食安委答申（H27.2.3） → ADI = 85 ・評価要請（H22.1.25）	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	26	ジクロメジン	殺菌剤	－	－	0.05	H15年答申	20			H19.10.12 審議中		評価第三部会にて審議中（最近の議事：H19.10.12部会）	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 28	
他	27	ジクロルプロップ	植物成長調整剤	－	－	0.09	H15年答申	22	0.1	H30.2.15	H29.7.4 答申済み		・食安委答申（H29.7.4） → ADI = 36	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	28	ジコホル（ケルセン）	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	25	設定せず			WHO第4版 第1次追補版変更 設定せず← 0.006		1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	29	ジチアノン	殺虫剤			0.03				H30.2.15	H22.6.17 H30.12.4 答申済み		・食安委答申（H22.6.17, H30.12.4） → ADI = 10 ・その他農薬に変更	1%値超　0 / 3	1%値超　0 / 4	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	30	シノスルフロン	除草剤	2006.11失効	－	0.2	H15年答申	77			H24.3.1 意見書提出		・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 25	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 28	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（4/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	31	ジノテフラン	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.6	H24年度末部会	220		H30.2.15	H17.6.16 H19.7.26 H22.9.9 H24.10.29 H25.12.2 H29.2.14 答申済み		・食安委答申（H17.6.16, H19.7.26, H22.9.9, H24.10.29, H25.12.2, H29.2.14） → ADI = 220	1%値超　0 /153	1%値超　0 / 103	1%値超　0 /168	1%値超　0 / 115	
他	32	ジフェノコナゾール	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.02	－	－		H31.3.13	H24.10.15 H27.3.3 H29.2.28 H30.5.22 R1.6.18 R4.12.14 答申済み		・食安委答申（H24.10.15, H27.3.3, H29.2.28, H30.5.22, R1.6.18, R4.12.14） → ADI = 9.6	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 41	
他	33	シフルトリン	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	20			R3.6.8 答申済み		・食安委答申（R3.6.8, R5.9.15） → ADI = 23	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	34	ジフルベンズロン	殺虫剤	－	－	0.05	H28.4.1より 0.03→ 0.05	12	設定せず	H28.2.17	H27.7.28 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず← 0.12	・食安委答申（H27.7.28） → ADI = 20	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	35	シプロコナゾール	殺菌剤	－	－	0.02	H15年答申	9.9						1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 50	1%値超　0 / 42	
他	36	シプロジニル	殺菌剤	－	－	0.07	－	－		H25.3.19 評価値を0.07に設定	H.24.9.24 答申済み		・食安委答申（H.24.9.24） → ADI = 27	1%値超　0 / 51	1%値超　0 / 35	1%値超　0 / 51	1%値超　0 / 40	
他	37	シペルメトリン	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	50		H31.3.13	H30.2.13 H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.2.13, H30.3.27） → ADI = 22	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 3	1%値超　0 / 2	1%値超　0 / 4	
他	38	シメコナゾール	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.02	H24年度末部会	8.5		H29.1.31	H19.8.23 H21.3.12 H24.2.9 H24.11.12 H28.2.23 H30.5.22 R4.10.12 答申済み		・食安委答申（H19.8.23, H21.3.12, H24.2.9, H24.11.12, H28.2.23） → ADI = 8.5	1%値超　0 / 89	1%値超　0 / 59	1%値超　0 / 99	1%値超　1 / 80	
他	39	ジメチルビンホス	殺虫剤	2006.11失効	－	0.01	H15年答申	4						1%値超　0 / 23	1%値超　0 / 21	1%値超　0 / 22	1%値超　0 / 24	
他	40	ジメピペレート	除草剤			0.003				H30.2.15			・H18.8.4厚科審で項目削除は見送り（浄水、原水からの検出が確認されたため） ・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準における削除に関する意見書提出 ・その他農薬に変更	1%値超　0 / 37	1%値超　0 / 38	1%値超　0 / 40	1%値超　0 / 37	
他	41	シラフルオフェン	殺虫剤	－	－	0.3	H15年答申	110		H20.12.16 H15からの変更なし H24.3.5 H15からの変更なし H25.3.19 現行評価値を維持	H20.1.17 答申済み H24.2.9 審議終了、答申予定		・食安委答申（H20.1.17） →ADI＝110（0.3mg/L） ・食安委　審議（H24.2.9） →AD＝110	1%値超　0 / 43	1%値超　0 / 39	1%値超　0 / 48	1%値超　0 / 42	
他	42	シンメチリン	除草剤	2006.6失効	－	0.1	H15年答申	42						1%値超　0 / 23	1%値超　0 / 21	1%値超　0 / 24	1%値超　0 / 26	
他	43	スピノサド	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	24		H25.3.19 現行評価値を維持	H22.4.8 H27.2.17 R3.6.15 答申済み		・食安委答申（H22.4.8, H27.2.17,R3.6.15） → ADI = 24	1%値超　0 / 4	1%値超　0 / 8	1%値超　0 / 4	1%値超　0 / 8	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（5/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	44	セトキシジム	除草剤	－	－	0.2	H15年答申	140			H30.12.4 R4.12.14 答申済み		・食安委答申（H30.12.4, R4.12.14） → ADI ＝ 88	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	45	チアクロプリド	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.03	－	－			H30.10.23 答申済み		・食安委答申（H30.12.4） → ADI ＝ 12	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 41	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 46	
他	46	チアメトキサム	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.05	H24年度末部会	18		H28.2.17	H20.4.3 H24.3.1 H27.7.28 答申済み		・食安委答申（H20.4.3, H24.3.1, H27.7.28） → ADI = 18	1%値超　0 / 70	1%値超　0 / 50	1%値超　0 / 72	1%値超　0 / 57	
他	47	チオシクラム	殺虫剤	－	－	0.05	R2.4.1より 0.03→ 0.05	12			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申（R1.6.4、R6.1.17、R6.10.9） → ADI = 21（グループ評価:16）	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	48	チフルザミド	殺菌剤	－	－	0.04	H15年答申	20		H29.1.31	H24.10.1 H28.1.26 R1.6.18 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H24.10.1, H28.1.26, R1.6.18, R5.11.1） → ADI = 14	1%値超　0 / 82	1%値超　0 / 53	1%値超　0 / 80	1%値超　0 / 55	
他	49	テクロフタラム	殺菌剤	－	－	0.1	H15年答申	58						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	50	テトラクロルビンホス（CVMP）	殺虫剤	－	－	0.01	H15年答申	4			H29.3.28 答申済み		平成29年3月28日府食第199号	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 32	
他	51	テトラコナゾール	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.01	H28.4.1より新規設定	4		H31.3.13	H27.8.18 H30.3.6 R3.10.26 答申済み		・食安委答申（H27.8.18, H30.3.6,R3.10.26） → ADI = 4	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 32	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 37	
他	52	テブフェノジド	殺虫剤	－	－	0.04	H20.12.16 変更 0.02→ 0.04	16		H29.1.31	H19.11.8 H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H19.11.8, H28.5.17） → ADI = 16	1%値超　0 / 52	1%値超　0 / 40	1%値超　0 / 61	1%値超　0 / 58	・厚生科学審議会生活環境水道部会（平成20年12月16日）で審議。基準値は0.04 mg/Lとなる方向
他	53	トリネキサパックエチル	植物成長調整剤	－	－	0.01	H15年答申	5.9		H19.10.26 H22.12.21 H15から変更なし	H21.10.22 R4.5.10 答申済み		・食安委答申（H21.10.22, R4.5.10） → ADI = 5.9	1%値超　0 / 46	1%値超　0 / 34	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 47	
他	54	トリフルミゾール	殺菌剤	－	－	0.04	H26.4.1より新規設定	15		H31.3.13	H25.11.11 H28.5.17 H30.3.27 R4.1.19 答申済み		・食安委答申（H25.11.11, H28.5.17, H30.3.27,R.4.1.19） → ADI = 15	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 33	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 38	
他	55	トルフェンピラド	殺虫剤	－	－	0.01	H24年度末部会	5.6		H25.3.19 評価値を0.01に設定	H16.10.7 H19.5.31 H23.2.10 R2.11.24 答申済み		・食安委答申 (H16.10.7, H19.5.31, H23.2.10, R2.11.24） → ADI = 5.6	1%値超　0 / 2	1%値超　0 / 2	1%値超　0 / 4	1%値超　0 / 4	
他	56	ナプロアニリド	除草剤	2003.11失効	－	0.02	H15年答申	7					・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 30	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 33	
他	57	ニテンピラム	殺虫剤	－	－	1.3	H15年答申	530		H29.1.31	H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H28.5.17） → ADI = 530	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 56	1%値超　0 / 39	
他	58	パクロブトラゾール	植物成長調整剤	－	－	0.05	H22.12.21 変更0.1 →0.06	20		H29.1.31	H21.4.2 H28.9.6 答申済み		・食安委答申（H21.4.2, H28.9.6） → ADI = 20	1%値超　0 / 23	1%値超　0 / 22	1%値超　0 / 36	1%値超　0 / 42	
他	59	バリダマイシン	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	0.9	－	－			R2.9.29 R4.8.31 答申済み		・食安委答申（R2.9.29, R4.8.31） → ADI = 360	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 6	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 9	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（6/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	60	ビスピリバック	除草剤	－	－	0.03	H15年答申	11						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 1	
他	61	ピメトロジン	殺虫剤	－	－	0.03	H15年答申	13		H24.3.5 H15からの変更なし	H22.9.9 R2.6.17 答申済み		・食安委答申（H22.9.9, R2.6.17） → AD = 13	1%値超　0 / 52	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 53	1%値超　0 / 43	
他	62	ピラゾスルフロンエチル	除草剤	－	－	0.03	H27.4.1より 0.1→0.03	42		H27.2.5	H26.5.20 答申済み		・食安委答申（H26.5.20） → ADI = 10	1%値超　0 / 68	1%値超　0 / 53	1%値超　0 / 68	1%値超　0 / 57	
他	63	ピリミノバックメチル	除草剤	－	－	0.05	H24年度末部会	20		H25.3.19 評価値を0.05に緩和	H22.4.1 答申済み		・食安委答申（H22.4.1） → ADI=20	1%値超　0 / 79	1%値超　0 / 42	1%値超　0 / 89	1%値超　0 / 61	
他	64	ピリミホスメチル	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	25	設定不適当 ADI0.03mg/kg/日			WHO/GDWQ 第3版第2次追補版追加		1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 30	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 35	
他	65	ピレトリン	殺虫剤	－	－	0.1	H15年答申	40					・評価要請（H29.4.19）	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	66	フェノキサニル	－	－	－	0.02		7		H25.3.19 評価値を0.02に設定	H15.9.18 H20.11.27 答申済み		・食安委答申（H15.9.18） → ADI = 6.9 ・食安委答申（H20.11.27） → ADI = 7	1%値超　0 / 13	1%値超　0 / 11	1%値超　0 / 14	1%値超　0 / 14	
他	67	フェンバレレート	殺虫剤	－	－	0.04	H26.4.1より0.05→0.04	17		H26.1.14 強化	H25.7.29 答申済み		・食安委答申（H25.7.29） → ADI = 17	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	68	フラチオカルブ	殺虫剤	2006.1失効	－	0.008	H15年答申	3			H29.3.28 答申済み		平成29年3月28日府食第199号	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	69	フラメトピル	殺菌剤	－	－	0.02	H15年答申	7		H24.3.5 H15からの変更なし	H23.11.17 H31.2.5 答申済み		・食安委答申（H23.11.17, H31.2.5） → ADI ＝ 7	1%値超　0 / 92	1%値超　0 / 67	1%値超　0 /101	1%値超　0 / 85	
他	70	フルアジホップ	除草剤	－	－	0.01	H28.4.1より 0.03→0.01	10		H31.3.13	H27.7.7 H30.3.6 答申済み		・食安委答申（H27.7.7, H30.3.6） → ADI = 4.4	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 33	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 36	
他	71	プロパニル（DCPA）	除草剤	－	－	0.04	H15年答申	17			H30.12.4 答申済み		・食安委答申（H30.12.4） → ADI ＝ 16	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 30	1%値超　0 / 47	1%値超　0 / 35	
他	72	プロパホス	殺虫剤	2007.2失効	－	0.001	H15年答申	0.4			H24.3.1 意見書提出		・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出	1%値超　0 / 12	1%値超　0 / 12	1%値超　0 / 24	1%値超　0 / 26	
他	73	プロパルギット（BPPS）	殺虫剤	－	－	0.02	H15年答申	8.3		H25.3.19 現行評価値を維持	H25.11.11 R3.6.8 答申済み		・食安委答申（H25.11.11,R3.6.8） → ADI = 21	1%値超　0 / 9	1%値超　0 / 10	1%値超　0 / 11	1%値超　0 / 12	
他	74	プロヘキサジオン	植物成長調整剤	－	－	0.5	H15年答申	180						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 10	1%値超　0 / 10	
他	75	プロポキスル（PHC）	殺虫剤	2006.4失効	－	0.2	H15年答申	63						1%値超　0 / 23	1%値超　0 / 21	1%値超　0 / 24	1%値超　0 / 26	

表 2-29　最近の水道水質基準等項目の状況について（要検討農薬類、その他の農薬類）（7/7）

群	番号	項 目 名	用途	失効情報	販売・使用禁止	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	最終審議・予定			評価値に関連したその後の検討（令和6年3月現在）	検出状況※2（R04年水質測定結果）		検出状況※2（R05年水質測定結果）		課題、留意事項
						値(mg/L)		（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		浄水	原水	浄水	原水	
他	76	プロメトリン	除草剤	－	－	0.08	H15年答申	22		H28.2.17	H27.9.8 答申済み		・食安委答申（H27.9.8） → ADI = 30	1%値超　0 / 48	1%値超　0 / 31	1%値超　0 / 49	1%値超　0 / 37	
他	77	ペルメトリン	殺虫剤	－	－	0.1	H15年答申	48	設定せず		R1.5.21 R3.8.4 答申済み	WHO第4版変更 設定せず←0.3	・食安委答申（R1.5.21,R3.8.4） → ADI = 50	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 1	1%値超　0 / 3	1%値超　0 / 6	
他	78	ベンスルタップ	殺虫剤	－	－	0.06	H15年答申	34			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申 （R1.6.4,R6.1.17R6.10.9） → ADI = 25（グループ評価:16）	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	79	ベンダイオカルブ	殺虫剤	－	－	0.009	H15年答申	4		H22.12.21 H15からの変更なし H25.3.19 評価値を強化（四捨五入の位置の見直し）	H21.8.27 答申済み		・食安委答申（H21.8.27） →　ADI = 3.5	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	80	ホキシム	防蟻剤	－	－	0.003	H15年答申	1.2					・食安委検討中 ・評価要請（H21.2.3）	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	81	ボスカリド	殺菌剤	－	－	0.1	H24年度末部会	44		H29.1.31	H16.5.20 H18.10.26 H21.3.19 H24.8.6 H28.9.27 答申済み		・食安委答申 （H16.5.20, H18.10.26, H21.3.19, H24.8.6, H28.9.27） → ADI = 44	1%値超　0 / 50	1%値超　0 / 35	1%値超　0 / 48	1%値超　0 / 38	
他	82	ミルネブ（チアジアジン）	殺菌剤、殺虫殺菌剤	－	－	―	－	－						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	83	メタミドホス	殺虫剤	未登録	－	0.001	H20.12.16 変更 0.01→0.002	0.6		H30.2.15	H20.5.1 H28.12.13 R6.2.14 答申済み		・食安委答申（H20.5.1） → ADI = 0.6 ・食安委答申（H28.12.13,R6.2.14） → ADI = 0.56	1%値超　0 / 20	1%値超　0 / 18	1%値超　0 / 22	1%値超　0 / 22	・厚生科学審議会生活環境水道部会（平成20年12月16白）で審議。基準値は0.002 mg/Lとなる方向
他	84	メチルイソシアネート	殺虫剤	－	－	0.006	H15年答申	2.5						1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	1%値超　0 / 0	
他	85	モノクロトホス	殺虫剤	－	－	0.002	H15年答申	0.6						1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 27	1%値超　0 / 44	1%値超　0 / 30	
他	86	リニュロン	除草剤	－	－	0.02	H15年答申	7.7						1%値超　0 / 63	1%値超　0 / 43	1%値超　0 / 63	1%値超　0 / 46	・【H17】検出レベルは1～10%(湖沼水)

※1　（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。
※2　薄黄：浄水の1地点以上で1%超過

3. 水道水質関連調査及び簡易専用水道の管理に関する調査の集計

3.1. 水道水質の被害状況等調査

3.1.1. 水質汚染事故による水道の被害状況

水質汚染事故による水道の被害状況を表 3-1～表 3-3、図 3-1～図 3-3 に示す。

表 3-1 水質汚染事故による被害を受けた水道事業者等の経年変化

	令和元		令和02		令和03		令和04		令和05		平 均	
上水道	99	(2)	159	(1)	152	(3)	159	(0)	128	(2)	139	(2)
簡易水道	5	(3)	2	(0)	3	(0)	3	(0)	4	(2)	3	(1)
専用水道	10	(0)	14	(3)	10	(3)	7	(5)	5	(3)	9	(3)
水道用水供給	80	(0)	54	(0)	30	(0)	29	(1)	14	(0)	41	(0)
合 計	194	(5)	229	(4)	195	(6)	198	(6)	151	(7)	193	(6)

※同一の水道事業者において複数案件が発生した場合はダブルカウントしている。 （同一案件は一つとしてカウント）

※括弧内の数字は、給水停止又は給水制限を選択した事業者数

表 3-2 水質汚染事故による被害を受けた水源数（令和 5 年度）

区 分	上水道				簡易水道				専用水道				用水供給				合 計				
	表流水	伏流水	地下水	他	表流水	伏流水	地下水	他	表流水	伏流水	地下水	他	表流水	伏流水	地下水	他	表流水	伏流水	地下水	他	計
北海道																					
東北					1	1					1						1	1	1		3
関東	5						1					1	5				10		1	1	12
中部	14		1										1				15		1		16
近畿	7	1	2	1							1		1				8	1	3	1	13
中国	2	1															2	1			3
四国	2																2				2
九州	7																7				7
沖縄																					
小 計	37	2	3	1	1	1	1				2	1	7				45	3	6	2	56
合 計	43(128)				3(4)				3(5)				7(14)				56(151)				

※合計欄の（ ）内の数字は、被害を受けた水道事業者数を示す。

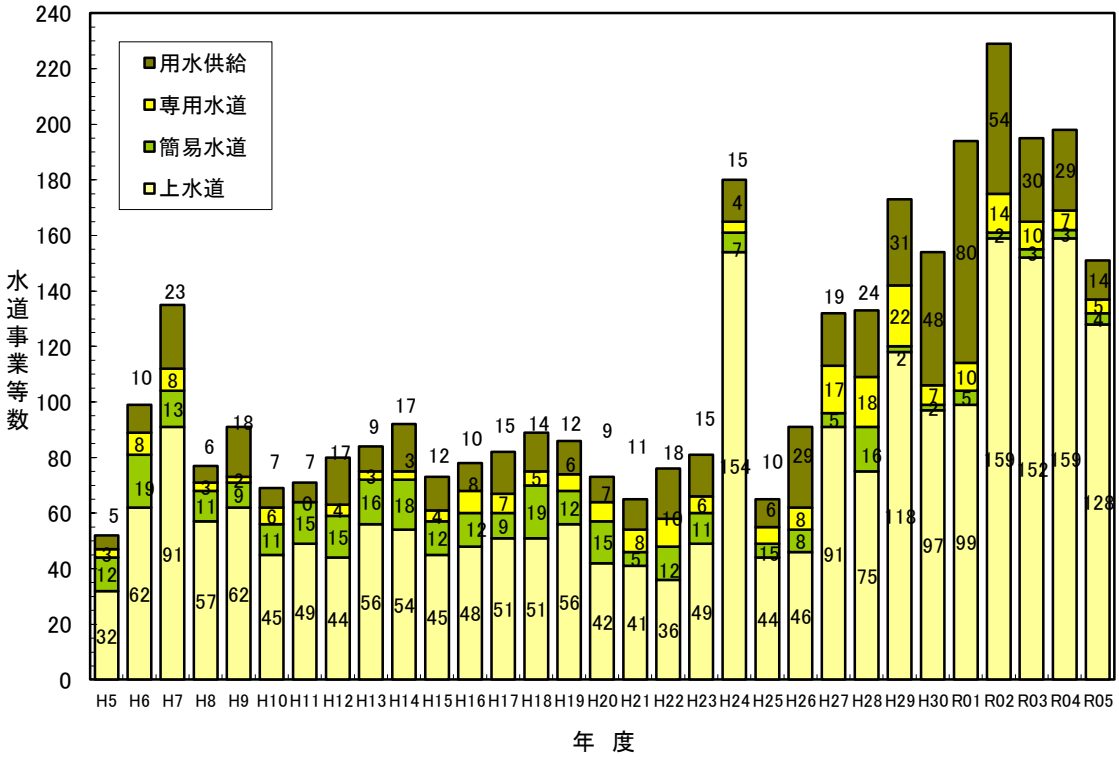


図 3-1　水質汚染事故により被害を受けた水道事業者等の経年変化

表 3-3　水質汚染項目別水質汚染事故件数の経年変化

汚染原因物質	平成30年度		令和元年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
油類	107	69.5%	89	66.9%	136	59.4%	133	68.6%	132	66.7%	95	62.9%
有機物	5	3.2%	16	12.0%	7	3.1%	8	3.6%	18	9.1%	3	2.0%
濁度	9	5.8%	3	2.3%	32	14.0%	11	5.7%	5	2.5%	4	2.6%
臭気	4	2.6%	1	0.8%	3	1.3%	2	1.0%	9	4.5%	11	7.3%
ｐＨ	1	0.6%	1	0.8%	1	0.4%	11	5.7%	0	0.0%	1	0.7%
農薬	1	0.6%	1	0.8%	1	0.4%	1	0.5%	1	0.5%	1	0.7%
無機物	2	1.3%	3	2.3%	2	0.9%	0	0.0%	2	1.0%	0	0.0%
界面活性剤	4	2.6%	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	8	4.0%	3	2.0%
色度	0	0.0%	3	2.3%	2	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%
硝酸態窒素	1	0.6%	1	0.8%	1	0.4%	1	0.5%	1	0.5%	1	0.7%
アンモニア態窒素	5	3.2%	5	3.8%	18	7.9%	12	6.2%	15	7.6%	17	11.3%
塩素イオン	2	1.3%	0	0.0%	1	0.4%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	13	8.4%	10	7.5%	23	10.0%	14	7.2%	7	3.5%	14	9.3%
合　計	154		133		229		195		198		151	

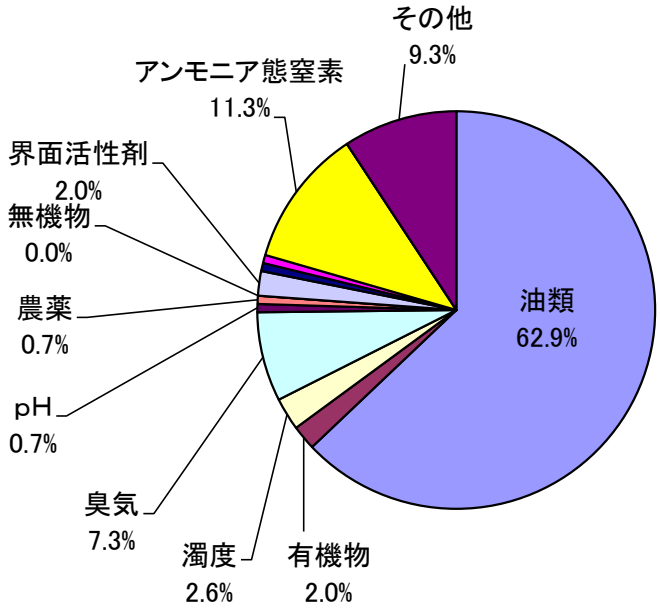


図 3-2　水質汚染事故における水質汚染項目（令和 5 年度、全 151 事故数）

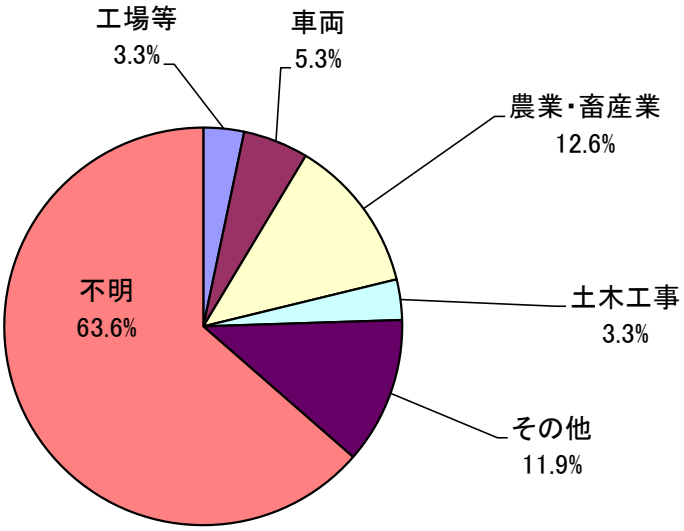


図 3-3　水質汚染事故の汚染原因（令和 5 年度、全 151 事故数）

3.2.　異臭味等による水道の被害状況

異臭味等による水道の被害状況を表 3-4、図 3-4～図 3-5 に示す。

表 3-4　水道における異臭味の障害の発生状況

地域	令和元年度			令和02年度			令和03年度			令和04年度			令和05年度		
	被害浄水場数※1		被害人口(千人)※2	被害浄水場数※1		被害人口(千人)※2	被害浄水場数※1		被害人口(千人)※2	被害浄水場数※1		被害人口(千人)※2	被害浄水場数※1		被害人口(千人)※2
北海道	8	(1)	300	0	(0)	0	5	(0)	21	7	(0)	191	6	(0)	59
東北	8	(2)	12	10	(2)	0	1	(1)	0	4	(2)	6	8	(2)	148
関東	49	(17)	266	40	(13)	108	40	(15)	344	39	(13)	444	41	(11)	257
中部	8	(3)	140	10	(6)	312	12	(6)	62	15	(10)	308	14	(7)	173
近畿	21	(4)	997	24	(7)	803	33	(9)	2,496	30	(6)	436	21	(3)	544
中国	15	(1)	456	11	(1)	478	18	(2)	308	12	(0)	316	14	(0)	551
四国	4		4	9	(4)	363	3	(0)	219	6	(0)	321	6	(1)	244
九州	11	(0)	69	14	(0)	0	10	(0)	76	16	(1)	1,534	13	(0)	161
計	124	(28)	2,244	118	(33)	2,064	122	(33)	3,526	129	(32)	3,556	123	(24)	2,137

注）※1、被害浄水場数には原水の段に異臭味が発生し、浄水では被害が発生していない事業者が含まれ、また、被害浄水場数の（ ）内の数字は、水道用水供給事業の数を内数で表したものである。

※2. 被害人口とは、浄水で1～2以上、異臭味による被害が発生した浄水場の給水人口である。なお、被害人口は、百の位を四捨五入し、千人単位で表示しているため、各ブロックの総計と計の数は必ずしも一致しない。

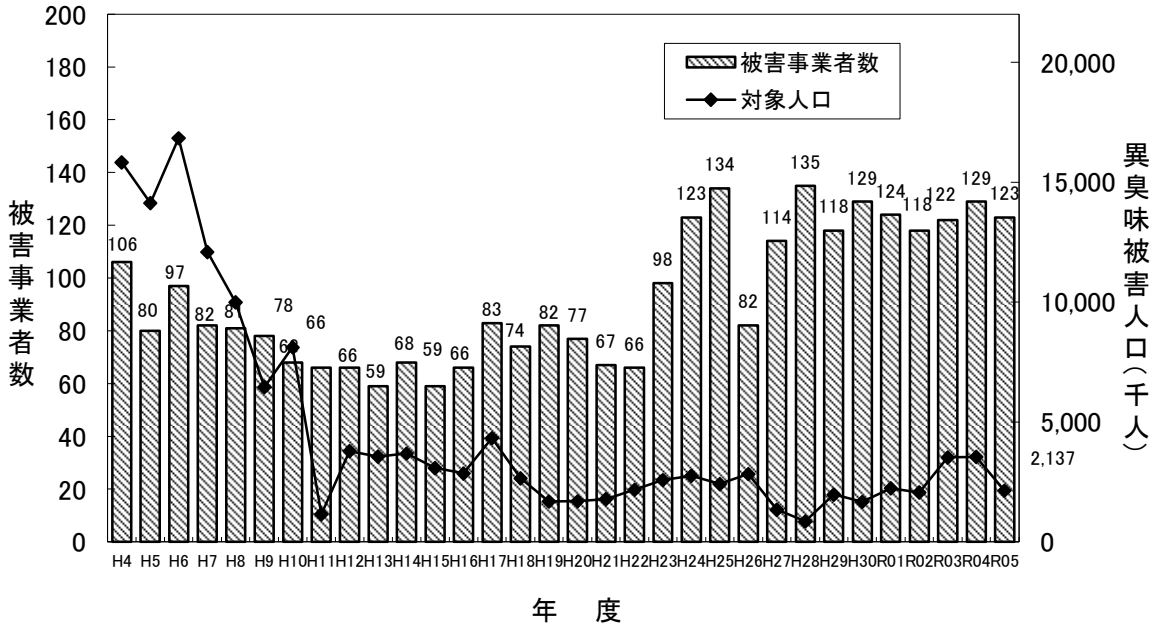


図 3-4　水道における異臭味障害の発生状況経年変化

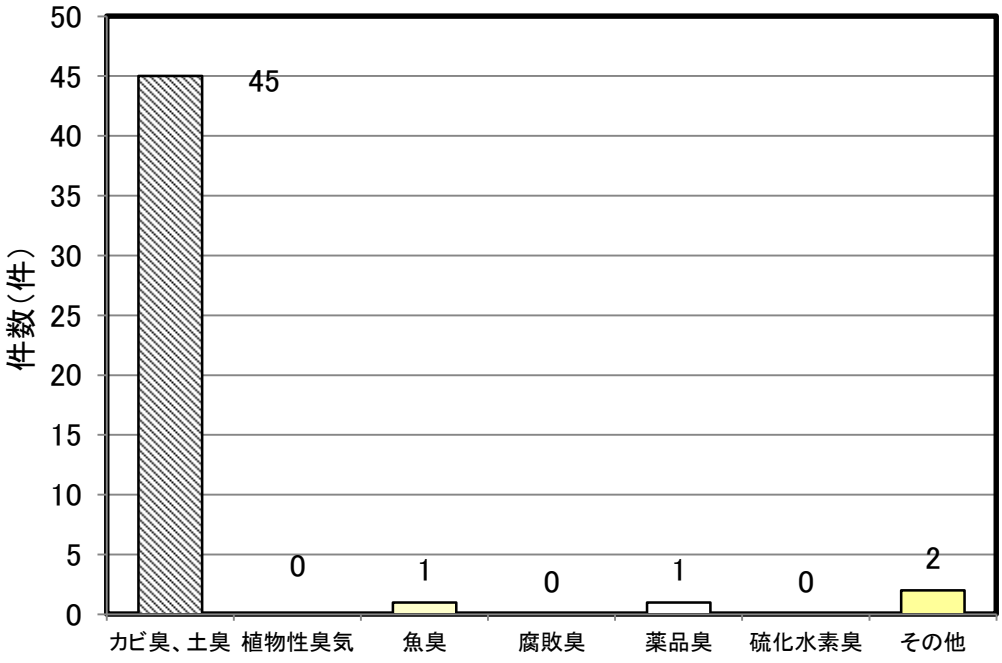


図 3-5　浄水における異臭味被害の種類別内訳（令和 5 年度、全 49 件）

3.3. クリプトスポリジウム等対策実施状況調査

クリプトスポリジウム等対策実施状況調査結果を表 3-5～表 3-8 に示す。

表 3-5 対策指針に基づく予防対策の実施状況（令和 6 年 3 月末現在）

	水道事業		水道用水供給事業	専用水道	合計	（参考）令和5年3月
	上水道	簡易水道				
調査対象浄水施設数	9,043	3,892	151	6,816	19,902	20,170
給水人口（人）	120,508,470	1,623,337	―	396,991	122,528,798	122,903,703
レベル4施設数	2,527 (28%)	1,260 (32%)	134 (89%)	297 (4%)	4,218 (21%)	4,263 (21%)
対応済みの浄水施設数	2,403	1,022	134	256	3,815	3,864
対策施設を検討中の浄水施設数	124 [33]	238 [26]	0 [0]	41 [6]	403 [65]	399 [58]
給水人口（人）	96,005 (0.1%)	52,412 (3.2%)	― (―%)	30,346 (7.6%)	178,763 (0.1%)	190,985 (0.2%)
レベル3施設数	2,496 (28%)	933 (24%)	6 (4%)	423 (6%)	3,858 (19%)	3,742 (19%)
対応済みの浄水施設数（ろ過）	1,059	324	5	197	1,585	1,554
対応済みの浄水施設数（紫外線照射）	314	28	0	30	372	351
対策施設を検討中の浄水施設数	1,123 [107]	581 [27]	1 [0]	196 [17]	1,901 [151]	1,837 [166]
給水人口（人）	2,309,452 (2%)	180,772 (11%)	― (―%)	55,415 (14%)	2,545,639 (2%)	2,646,635 (2%)
レベル3＋レベル4施設数	5,023	2,193	140	720	8,076	8,005
レベル3＋レベル4対応済施設数	3,776	1,374	139	483	5,772	5,769
レベル3＋レベル4対策検討中施設数	1,247	819	1	237	2,304	2,236
レベル2施設数	1,488 (16%)	642 (16%)	9 (6%)	1,479 (22%)	3,618 (18%)	3,836 (19%)
レベル1施設数	2,358 (26%)	669 (17%)	2 (1%)	4,160 (61%)	7,189 (36%)	7,247 (36%)
レベル不明施設数	174 (2%)	388 (10%)	0 (0%)	457 (7%)	1,019 (5%)	1,082 (5%)

※[]内の数値は、具体的な導入予定のある施設数。

表 3-6　都道府県別対応状況（施設数）

都道府県	調査対象浄水施設(A)	対応の必要な浄水施設数(B)	B/A(%)	対応済みの浄水施設数(C)	C/B(%)	対策施設設置等検討中の浄水施設数(D)	D/B(%)
北海道	1,012	428	42.3%	340	79.4%	88	20.6%
青森県	229	75	32.8%	53	70.7%	22	29.3%
岩手県	413	238	57.6%	202	84.9%	36	15.1%
宮城県	222	124	55.9%	101	81.5%	23	18.5%
秋田県	358	191	53.4%	114	59.7%	77	40.3%
山形県	220	111	50.5%	81	73.0%	30	27.0%
福島県	495	181	36.6%	106	58.6%	75	41.4%
茨城県	421	72	17.1%	49	68.1%	23	31.9%
栃木県	520	117	22.5%	72	61.5%	45	38.5%
群馬県	519	189	36.4%	88	46.6%	101	53.4%
埼玉県	495	96	19.4%	89	92.7%	7	7.3%
千葉県	992	91	9.2%	70	76.9%	21	23.1%
東京都	297	66	22.2%	59	89.4%	7	10.6%
神奈川県	477	90	18.9%	58	64.4%	32	35.6%
新潟県	588	279	47.4%	154	55.2%	125	44.8%
富山県	360	90	25.0%	54	60.0%	36	40.0%
石川県	266	61	22.9%	38	62.3%	23	37.7%
福井県	229	114	49.8%	56	49.1%	58	50.9%
山梨県	514	173	33.7%	89	51.4%	84	48.6%
長野県	898	437	48.7%	230	52.6%	207	47.4%
岐阜県	659	335	50.8%	252	75.2%	83	24.8%
静岡県	920	250	27.2%	132	52.8%	118	47.2%
愛知県	436	128	29.4%	125	97.7%	3	2.3%
三重県	350	167	47.7%	106	63.5%	61	36.5%
滋賀県	198	115	58.1%	94	81.7%	21	18.3%
京都府	393	245	62.3%	219	89.4%	26	10.6%
大阪府	236	53	22.5%	51	96.2%	2	3.8%
兵庫県	484	344	71.1%	294	85.5%	50	14.5%
奈良県	213	150	70.4%	97	64.7%	53	35.3%
和歌山県	193	139	72.0%	130	93.5%	9	6.5%
鳥取県	347	97	28.0%	26	26.8%	71	73.2%
島根県	316	210	66.5%	186	88.6%	24	11.4%
岡山県	246	193	78.5%	150	77.7%	43	22.3%
広島県	327	197	60.2%	157	79.7%	40	20.3%
山口県	231	137	59.3%	96	70.1%	41	29.9%
徳島県	228	124	54.4%	86	69.4%	38	30.6%
香川県	108	81	75.0%	62	76.5%	19	23.5%
愛媛県	421	251	59.6%	211	84.1%	40	15.9%
高知県	372	246	66.1%	198	80.5%	48	19.5%
福岡県	526	130	24.7%	123	94.6%	7	5.4%
佐賀県	181	75	41.4%	65	86.7%	10	13.3%
長崎県	591	282	47.7%	218	77.3%	64	22.7%
熊本県	692	152	22.0%	81	53.3%	71	46.7%
大分県	460	198	43.0%	105	53.0%	93	47.0%
宮崎県	279	174	62.4%	127	73.0%	47	27.0%
鹿児島県	888	321	36.1%	225	70.1%	96	29.9%
沖縄県	82	59	72.0%	53	89.8%	6	10.2%
合計	19,902	8,076	40.6%	5,772	71.5%	2,304	28.5%

表 3-7　クリプトスポリジウム等対応状況（給水人口）

都道府県	現在給水人口(A)	対応不要又は対応済みの浄水施設人口(B)	B/A(%)	対策施設設置等検討中の浄水人口(C)	C/A(%)
北海道	5,027,855	4,958,773	98.6%	69,082	1.4%
青森県	1,170,963	1,148,406	98.1%	22,557	1.9%
岩手県	1,114,142	1,082,882	97.2%	31,260	2.8%
宮城県	2,229,561	2,200,161	98.7%	29,400	1.3%
秋田県	845,758	773,227	91.4%	72,531	8.6%
山形県	1,025,628	1,014,443	98.9%	11,185	1.1%
福島県	1,665,961	1,639,825	98.4%	26,136	1.6%
茨城県	2,696,226	2,632,520	97.6%	63,706	2.4%
栃木県	1,850,769	1,686,227	91.1%	164,542	8.9%
群馬県	1,914,755	1,868,191	97.6%	46,564	2.4%
埼玉県	7,311,863	7,257,719	99.3%	54,144	0.7%
千葉県	6,003,551	5,999,428	99.9%	4,123	0.1%
東京都	14,061,502	14,043,852	99.9%	17,650	0.1%
神奈川県	9,215,572	9,104,971	98.8%	110,601	1.2%
新潟県	2,125,414	2,072,288	97.5%	53,126	2.5%
富山県	946,063	929,462	98.2%	16,601	1.8%
石川県	1,099,555	1,095,994	99.7%	3,561	0.3%
福井県	729,775	622,782	85.3%	106,993	14.7%
山梨県	796,736	736,118	92.4%	60,618	7.6%
長野県	1,987,059	1,840,679	92.6%	146,380	7.4%
岐阜県	1,835,896	1,753,071	95.5%	82,825	4.5%
静岡県	3,527,325	3,421,949	97.0%	105,376	3.0%
愛知県	7,470,840	7,470,789	100.0%	51	0.0%
三重県	1,759,969	1,604,669	91.2%	155,300	8.8%
滋賀県	1,407,841	1,331,236	94.6%	76,605	5.4%
京都府	2,541,123	2,534,932	99.8%	6,191	0.2%
大阪府	8,770,210	8,757,330	99.9%	12,880	0.1%
兵庫県	5,371,834	5,312,065	98.9%	59,769	1.1%
奈良県	1,298,826	1,279,223	98.5%	19,603	1.5%
和歌山県	893,624	872,169	97.6%	21,455	2.4%
鳥取県	532,321	501,332	94.2%	30,989	5.8%
島根県	633,400	626,353	98.9%	7,047	1.1%
岡山県	1,837,385	1,755,408	95.5%	81,977	4.5%
広島県	2,628,532	2,599,069	98.9%	29,463	1.1%
山口県	1,227,253	1,131,417	92.2%	95,836	7.8%
徳島県	678,259	614,802	90.6%	63,457	9.4%
香川県	920,639	894,943	97.2%	25,696	2.8%
愛媛県	1,239,468	1,165,243	94.0%	74,225	6.0%
高知県	640,380	539,653	84.3%	100,727	15.7%
福岡県	4,895,385	4,879,674	99.7%	15,711	0.3%
佐賀県	768,856	767,278	99.8%	1,578	0.2%
長崎県	1,257,920	1,221,679	97.1%	36,241	2.9%
熊本県	1,529,969	1,268,492	82.9%	261,477	17.1%
大分県	1,010,669	900,158	89.1%	110,511	10.9%
宮崎県	1,026,322	999,094	97.3%	27,228	2.7%
鹿児島県	1,544,650	1,444,817	93.5%	99,833	6.5%
沖縄県	1,461,194	1,449,603	99.2%	11,591	0.8%
合計	122,528,798	119,804,396	97.8%	2,724,402	2.2%

表 3-8　水道におけるクリプトスポリジウム等検出状況と対応の事例（給水停止等の対応を行ったもの）

年度	件数	都道府県 市町村	種別	浄水処理	長期的対応	備考
H8	1	埼玉県 越生町	上水道	急速ろ過処理	膜ろ過施設設置	浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 住民14,000人のうち8,800人が感染。
H9	2	鳥取県 鳥取市	簡易水道	塩素処理のみ	上水道事業に併合	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		兵庫県 山崎町	簡易水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H10	2	福井県 永平寺町	簡易水道	急速ろ過処理	浄水処理管理強化	原水及び浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		兵庫県 夢前町	簡易水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H11	1	山形県 朝日村	上水道	塩素処理のみ	広域用水供給事業から受水	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ及びｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H12	3	青森県 三戸町	簡易水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置	浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		沖縄県 名護市	小規模 水道	簡易ろ過及び 塩素処理	上水道事業に併合	浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		岩手県 平泉町	簡易水道	塩素処理のみ	水源変更、急速ろ過施設設置	浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H13	5	愛媛県 今治市	上水道	塩素処理のみ	当該水源は使用中止	浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		岩手県 釜石市	簡易水道	緩速ろ過処理	浄水処理管理強化	原水及び浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		兵庫県 山崎町	簡易水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		鹿児島県 財部町	上水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置予定	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		愛媛県 北条市	上水道	急速ろ過、活性炭処理	ろ材入替、浄水処理管理強化を予定	浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H14	1	山形県 新庄市	簡易水道	塩素処理のみ	応急対策として膜処理装置設置、長期的には上水道事業と統合予定	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H15	2	大分県 別府市	上水道	塩素処理のみ	当該水源は使用中止	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		山形県 米沢市	小規模 水道	塩素処理のみ	応急対策として膜ろ過施設設置、長期的には水源変更	浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H16	1	兵庫県 宝塚市	上水道	急速ろ過処理	安全確認迄の間飲用制限、浄水処理管理強化を実施	原水及び浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H17	0	該当なし				
H18	1	大阪府 能勢町	簡易水道	急速ろ過	濁度計を設置し常時濁度管理を徹底	原水及び浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H19	2	富山県 富山市	簡易水道	塩素処理のみ	上水道事業に併合	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		富山県 高岡市	簡易水道	急速ろ過 （濁度管理不可）	紫外線処理施設設置予定	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H20	1	山形県 村山市	簡易水道	塩素処理のみ	膜ろ過施設設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H21	0	該当なし				
H22	2	富山県 南砺市	専用水道	塩素処理のみ	紫外線処理施設の設置あるいは隣接簡易水道への切り替え	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		千葉県 成田市	小規模貯水槽水道	—	貯水槽を更新	給水栓水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ及びｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 小規模貯水槽水道の利用者43人のうち28人が体調不良。4人がジアルジアに感染。
H23	1	長野県 伊那市	簡易水道	急速ろ過		原水及び浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H24	1	群馬県	用水給水	急速ろ過		浄水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H25	3	北海道 島牧村	飲料水供給施設	塩素消毒のみ	膜ろ過施設設置	原水及び浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		東京都 八王子市	専用水道	塩素消毒のみ	紫外線照射設備の設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		岐阜県	専用水道	急速ろ過	濁度管理強化、危機管理マニュアル作成	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。

年度	件数	都道府県 市町村	種別	浄水処理	長期的対応	備考
H26	4	北海道 島牧村	簡易水道	塩素消毒のみ	膜ろ過施設設置	原水及び浄水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		岐阜県	専用水道	急速ろ過	濁度管理強化	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ及びｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		長野県 伊那市	簡易水道	塩素消毒のみ	紫外線照射設備の設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		長野県 辰野町	飲料水供給施設	塩素消毒のみ	飲料水供給施設の統合	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
H27	0	該当なし				
H28	4	長野県 箕輪町	簡易水道	塩素消毒のみ	紫外線照射設備の設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出 感染症患者なし。
		長野県 辰野町	簡易水道	塩素消毒のみ	膜ろ過施設の設置	原水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑを検出。 感染症患者なし。
		千葉県 千葉市	専用水道	沈砂、塩素消毒	紫外線照射設備の設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
		愛媛県 大洲市	簡易水道	緩速ろ過	濁度管理強化、 高感度濁度計を設置	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H29	1	鹿児島県 長島町	簡易水道	塩素消毒のみ	応急対策として別水源から取水、長期的には紫外線照射設備を検討	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
H30	1	鹿児島県 長島町	上水道	塩素消毒のみ	水源の切り替え	原水からｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
R1	0	該当なし				
R2	1	長野県 長野市	上水道	塩素消毒のみ	水源の切り替え	原水及び上水からｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ及びｼﾞｱﾙｼﾞｱを検出。 感染症患者なし。
R3	0	該当なし				
R4	0	該当なし				
R5	0	該当なし				
R6	0	該当なし				
計	40					

※原水からクリプトスポリジウム等が検出された場合で「対策指針」に基づく対策が講じられていない施設の事例を含む。

3.4.　貯水槽水道及び飲用井戸に係る衛生管理状況調査

貯水槽水道及び飲用井戸に係る衛生管理状況調査結果を表 3-9～表 3-19、図 3-6～図 3-11 に示す。

表 3-9　簡易専用水道、小規模貯水槽水道の検査における不適合内容

			令和5
施設数			208,506
検査実施施設数			160,614
施設の外観検査		**水槽の周囲の状態**	**4,527**
	受水槽	受水槽本体の状態	5,207
		受水槽上部の状態	2,441
		受水槽内部の状態	4,214
		マンホールの状態	7,500
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	2,852
		通気管の状態	3,766
		水抜き管の状態	3,327
		計	**29,307**
	高置水槽	高置水槽本体の状態	2,623
		高置水槽上部の状態	583
		高置水槽内部の状態	2,435
		マンホールの状態	4,190
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	1,474
		通気管の状態	4,604
		水抜き管の状態	443
		計	**16,352**
	他	**給水管等の状態**	**275**
水質検査		臭気	15
		味	17
		色	19
		色度	20
		濁度(濁りを含む)	45
		残留塩素	278
		計	**394**
書類の整備保存の状況			**9,862**

			令和5
施設数			761,411
検査実施施設数			27,059
施設の外観検査		**水槽の周囲の状態**	**947**
	受水槽	受水槽本体の状態	662
		受水槽上部の状態	280
		受水槽内部の状態	689
		マンホールの状態	1,216
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	530
		通気管の状態	667
		水抜き管の状態	613
		計	**4,657**
	高置水槽	高置水槽本体の状態	295
		高置水槽上部の状態	69
		高置水槽内部の状態	349
		マンホールの状態	698
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	247
		通気管の状態	594
		水抜き管の状態	51
		計	**2,303**
	他	**給水管等の状態**	**61**
水質検査		臭気	3
		味	2
		色	4
		色度	7
		濁度(濁りを含む)	4
		残留塩素	93
		計	**113**
書類の整備保存の状況			**2,187**

注:上表の検査指摘施設数は、検査機関から上記23項目についての指摘を受けた施設である。

水槽周辺の状態	**4,527**
受水槽	**29,307**
高置水槽	**16,352**
給水管等の状態	**275**
水質検査	**394**
書類の整備・保存の状況	**9,862**
その他	**1,448**
延べ不適合数	**62,165**

水槽周辺の状態	**947**
受水槽	**4,657**
高置水槽	**2,303**
給水管等の状態	**61**
水質検査	**113**
書類の整備・保存の状況	**2,187**
その他	**250**
延べ不適合数	**10,518**

表 3-10　簡易専用水道の設置状況及び検査実施状況

		令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
検査対象施設数		207,020	206,461	207,498	206,856	208,506
検査実施施設数		162,249	161,878	161,348	161,356	160,614
	受検率	78.4%	78.4%	77.8%	78.0%	77.0%

表 3-11　簡易専用水道の検査における不適合内容

			令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
検査指摘施設数※1			37,320	37,130	36,797	36,102	35,614
	検査指摘率※2		23.0%	22.9%	22.8%	22.4%	22.2%
施設の外観検査		水槽の周囲の状態	11.9%	12.2%	12.1%	11.9%	12.7%
	受水槽	受水槽本体の状態	15.1%	14.1%	16.3%	14.5%	14.6%
		受水槽上部の状態	7.1%	6.8%	7.1%	7.0%	6.9%
		受水槽内部の状態	12.1%	11.7%	12.0%	11.8%	11.8%
		マンホールの状態	21.1%	21.1%	21.1%	20.8%	21.1%
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	7.9%	7.9%	7.9%	8.0%	8.0%
		通気管の状態	10.6%	10.7%	10.5%	10.4%	10.6%
		水抜き管の状態	9.9%	9.2%	9.4%	9.6%	9.3%
	高置水槽	高置水槽本体の状態	7.7%	7.9%	8.2%	7.4%	7.4%
		高置水槽上部の状態	1.8%	1.8%	1.8%	1.8%	1.6%
		高置水槽内部の状態	6.7%	6.7%	7.0%	6.6%	6.8%
		マンホールの状態	12.4%	12.2%	12.5%	11.6%	11.8%
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	4.2%	4.1%	4.4%	4.4%	4.1%
		通気管の状態	13.0%	12.8%	13.0%	12.4%	12.9%
		水抜き管の状態	1.6%	1.4%	1.4%	1.4%	1.2%
	他	給水管等の状態	1.2%	1.3%	1.0%	1.0%	0.8%
水質検査		臭気	0.03%	0.07%	0.00%	0.01%	0.04%
		味	0.01%	0.02%	0.01%	0.03%	0.05%
		色	0.01%	0.02%	0.01%	0.02%	0.05%
		色度	0.05%	0.23%	0.10%	0.06%	0.06%
		濁度(濁りを含む)	0.02%	0.13%	0.08%	0.05%	0.13%
		残留塩素	0.4%	0.7%	0.4%	0.6%	0.8%
書類の整備保存の状況			27.9%	28.0%	27.4%	26.6%	27.7%

※1：上表の検査指摘施設数は、検査機関から上記 23 項目についての指摘を受けた施設である。

※2：検査指摘率は、検査実施施設数に対する検査指摘施設数の割合

検索項目別の指摘率は、検査指摘施設数に対する割合（複数回答あり）

表 3-12　簡易専用水道の検査において「特に衛生上問題があった」ために報告された内容

			令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
報告施設数			1,134	1,121	1,271	1,268	1,260
	報告率		0.7%	0.7%	0.8%	0.8%	0.8%
施設の外観検査		水槽の周囲の状態	6.4%	6.4%	6.2%	8.9%	6.0%
	受水槽	受水槽本体の状態	18.0%	18.4%	15.9%	20.4%	17.9%
		受水槽上部の状態	7.0%	4.5%	4.7%	7.8%	5.4%
		受水槽内部の状態	34.6%	33.1%	29.4%	33.1%	28.3%
		マンホールの状態	16.4%	19.5%	15.5%	19.9%	16.3%
		オーバーフロー管の状態	4.3%	4.0%	3.9%	4.3%	4.4%
		通気管の状態	9.0%	6.6%	6.7%	7.3%	5.6%
		水抜き管の状態	4.1%	4.2%	3.2%	5.1%	3.3%
	高置水槽	高置水槽本体の状態	9.8%	8.9%	6.7%	7.8%	9.6%
		高置水槽上部の状態	1.1%	0.6%	1.3%	1.7%	2.1%
		高置水槽内部の状態	17.7%	15.5%	14.8%	16.2%	15.3%
		マンホールの状態	11.1%	11.3%	10.4%	10.1%	10.7%
		オーバーフロー管の状態	4.5%	3.3%	2.4%	3.4%	2.6%
		通気管の状態	9.9%	7.9%	9.4%	9.1%	8.3%
		水抜き管の状態	0.5%	0.4%	0.2%	0.5%	0.9%
	他	給水管等の状態	1.3%	1.8%	1.6%	1.5%	1.3%
水質検査		臭気	0.1%	0.2%	0.2%	0.0%	0.1%
		味	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%
		色	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.0%
		色度	0.7%	1.0%	0.2%	1.1%	1.0%
		濁度(濁りを含む)	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%
		残留塩素	8.7%	14.2%	7.6%	8.9%	15.2%
書類の整備保存の状況			14.1%	16.1%	10.7%	21.3%	9.1%

表 3-13　簡易専用水道の検査において「特に衛生上問題があった」ために報告された内容

		令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
報告施設数		1,134	1,121	1,271	1,268	1,260
内訳	汚水槽その他排水設備から水槽に汚水若しくは排水が流入し、又はそのおそれがある場合	7.1%	10.9%	11.8%	12.4%	12.9%
	水槽内に動物等の死骸がある場合	3.6%	3.6%	3.4%	4.4%	5.9%
	給水栓における水質の検査において、異常が認められる場合	9.0%	15.6%	9.0%	9.5%	14.4%
	水槽の上部が清潔に保たれず、又はマンホール面が槽上面から衛生上有効に立ち上がっていないため、汚水等が水槽に流入するおそれがある場合	3.5%	3.5%	4.3%	3.1%	5.5%
	マンホール、通気管等が著しく破損し、又は汚水若しくは雨水が水槽に流入するおそれがある場合	44.5%	39.1%	44.2%	30.6%	36.6%
	その他検査者が水の供給について特に衛生上問題があると認める場合	32.2%	27.4%	27.3%	25.9%	24.8%

注：上表の報告施設数は、平成 15 年 7 月 23 日付け厚生労働省告示第 262 号の規定に基づき、特に衛生上問題があると認められたため、検査機関の助言を受け設置者より行政庁へ報告の措置が行われた施設の報告件数である。

・内訳別の報告率は報告施設数に対する割合（複数回答あり）

表 3-14　簡易専用水道における行政立入検査・指導数（令和 5 年度）

	立入検査件数	改善指導件数		
		口頭指導	文書指導	改善命令
都道府県(以下を除く)	135	116	35	8
保健所設置市を除く市	244	130	207	8
保健所設置市	3,432	533	747	1
特別区	87	7	10	0
合計	3,898	786	999	17

表 3-15　簡易専用水道の設置状況及び検査（令和 5 年度）

（都道府県（町村のみ））

	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率（%）
北海道	696	318	45.7
青森県	174	169	97.1
岩手県	237	228	96.2
宮城県	533	403	75.6
秋田県	68	63	92.6
山形県	100	100	100.0
福島県	527	307	58.3
茨城県	401	254	63.3
栃木県	320	199	62.2
群馬県	431	274	63.6
埼玉県	648	520	80.2
千葉県	260	209	80.4
東京都	1,642	2,067	125.9
神奈川県	777	574	73.9
新潟県	166	117	70.5
富山県	35	26	74.3
石川県	181	138	76.2
福井県	24	29	120.8
山梨県	183	42	23.0
長野県	492	322	65.4
岐阜県	210	188	89.5
静岡県	482	370	76.8
愛知県	522	362	69.3
三重県	228	98	43.0
滋賀県	99	52	52.5
京都府	236	210	89.0
大阪府	405	334	82.5
兵庫県	299	265	88.6
奈良県	325	220	67.7
和歌山県	215	203	94.4
鳥取県	73	69	94.5
島根県	50	45	90.0
岡山県	104	99	95.2
広島県	233	223	95.7
山口県	30	29	96.7
徳島県	269	104	38.7
香川県	221	206	93.2
愛媛県	127	88	69.3
高知県	97	94	96.9
福岡県	522	491	94.1
佐賀県	153	143	93.5
長崎県	136	105	77.2
熊本県	181	143	79.0
大分県	41	39	95.1
宮崎県	126	95	75.4
鹿児島県	115	112	97.4
沖縄県	713	526	73.8
合計	14,107	11,272	79.9

（保健所設置市）

	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率（%）
札幌市	2,997	2,697	90.0
函館市	453	345	76.2
小樽市	225	214	95.1
旭川市	436	278	63.8
青森市	445	393	88.3
八戸市	239	225	94.1
盛岡市	793	633	79.8
仙台市	3,776	3,325	88.1
秋田市	519	407	78.4
山形市	465	325	69.9
福島市	542	429	79.2
郡山市	730	571	78.2
いわき市	464	371	80.0
水戸市	531	437	82.3
宇都宮市	1,289	881	68.3
前橋市	598	372	62.2
高崎市	632	391	61.9
さいたま市	2,719	1,940	71.3
川越市	921	595	64.6
越谷市	470	287	61.1
川口市	1,245	1,118	89.8
千葉市	1,584	999	63.1
船橋市	1,064	771	72.5
柏市	608	542	89.1
八王子市	681	582	85.5
町田市	434	384	88.5
横浜市	5,928	5,527	93.2
川崎市	2,464	2,221	90.1
相模原市	1,112	708	63.7
横須賀市	464	397	85.6
藤沢市	829	657	79.3
茅ヶ崎市	265	178	67.2
新潟市	1,495	1,400	93.6
富山市	459	421	91.7
金沢市	572	550	96.2
福井市	224	223	99.6
甲府市	494	451	91.3
長野市	645	438	67.9
松本市	347	289	83.3
岐阜市	443	385	86.9
静岡市	1,787	1,336	74.8
浜松市	1,066	936	87.8
名古屋市	5,160	4,371	84.7
豊橋市	573	418	72.9
岡崎市	654	413	63.1
一宮市	357	296	82.9
豊田市	623	384	61.6
四日市市	296	198	66.9
大津市	736	520	70.7
京都市	3,607	3,086	85.6
大阪市	7,387	5,741	77.7
堺市	1,230	1,081	87.9
豊中市	687	589	85.7
吹田市	725	625	86.2
高槻市	260	250	96.2
枚方市	778	614	78.9
八尾市	386	310	80.3
寝屋川市	364	315	86.5
東大阪市	873	747	85.6
神戸市	2,438	1,994	81.8
姫路市	1,207	1,131	93.7
尼崎市	945	568	60.1
明石市	684	511	74.7
西宮市	1,403	1,170	83.4
奈良市	683	534	78.2
和歌山市	619	619	100.0
鳥取市	373	342	91.7
松江市	412	341	82.8
岡山市	1,228	1,096	89.3
倉敷市	528	487	92.2
広島市	2,442	2,223	91.0
呉市	414	377	91.1
福山市	652	453	69.5
下関市	454	382	84.1
高松市	960	884	92.1
松山市	1,176	609	51.8
高知市	838	508	60.6
北九州市	2,242	1,724	76.9
福岡市	4,158	3,907	94.0
久留米市	320	243	75.9
長崎市	856	724	84.6
佐世保市	538	318	59.1
熊本市	1,277	397	31.1
大分市	947	835	88.2
宮崎市	683	439	64.3
鹿児島市	989	882	89.2
那覇市	1,407	980	69.7
合計	99,023	80,265	81.1

（保健所設置市を除く市）

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率（%）
北海道	北斗市	0	0	-
北海道	江別市	118	93	78.8
北海道	石狩市	56	0	0.0
北海道	千歳市	151	130	86.1
北海道	恵庭市	0	0	-
北海道	北広島市	70	40	57.1
北海道	夕張市	8	8	100.0
北海道	美唄市	24	6	25.0
北海道	岩見沢市	71	68	95.8
北海道	三笠市	8	8	100.0
北海道	歌志内市	5	3	60.0
北海道	芦別市	10	10	100.0
北海道	滝川市	44	38	86.4
北海道	赤平市	11	6	54.5
北海道	砂川市	18	2	11.1
北海道	深川市	14	11	78.6
北海道	室蘭市	86	86	100.0
北海道	登別市	57	55	96.5
北海道	伊達市	6	6	100.0
北海道	苫小牧市	231	184	79.7
北海道	名寄市	27	0	0.0
北海道	士別市	16	16	100.0
北海道	富良野市	32	6	18.8
北海道	留萌市	34	34	100.0
北海道	稚内市	53	15	28.3
北海道	北見市	62	62	100.0
北海道	網走市	40	40	100.0
北海道	紋別市	24	18	75.0
北海道	帯広市	104	104	100.0
北海道	釧路市	141	133	94.3
北海道	根室市	25	20	80.0
青森県	弘前市	205	177	86.3
青森県	黒石市	10	10	100.0
青森県	五所川原市	27	27	100.0
青森県	十和田市	52	51	98.1
青森県	三沢市	37	36	97.3
青森県	むつ市	38	38	100.0
青森県	つがる市	11	11	100.0
青森県	平川市	10	10	100.0
岩手県	宮古市	56	33	58.9
岩手県	釜石市	47	47	100.0
岩手県	陸前高田市	34	32	94.1
岩手県	遠野市	29	28	96.6
岩手県	二戸市	34	26	76.5
岩手県	滝沢市	45	32	71.1
岩手県	一関市	150	136	90.7
岩手県	大船渡市	79	79	100.0
岩手県	奥州市	132	124	93.9
岩手県	久慈市	32	32	100.0
岩手県	八幡平市	32	32	100.0
岩手県	北上市	134	112	83.6
岩手県	花巻市	116	99	85.3
宮城県	石巻市	258	136	52.7
宮城県	塩竈市	84	58	69.0
宮城県	気仙沼市	139	95	68.3
宮城県	白石市	31	18	58.1
宮城県	名取市	170	96	56.5
宮城県	角田市	40	27	67.5
宮城県	多賀城市	148	93	62.8
宮城県	岩沼市	83	66	79.5
宮城県	登米市	75	56	74.7
宮城県	栗原市	95	73	76.8
宮城県	東松島市	38	33	86.8
宮城県	大崎市	202	110	54.5
宮城県	富谷市	56	46	82.1
秋田県	能代市	62	58	93.5
秋田県	横手市	80	73	91.3
秋田県	大館市	83	83	100.0
秋田県	男鹿市	49	27	55.1
秋田県	湯沢市	39	36	92.3
秋田県	鹿角市	33	29	87.9
秋田県	由利本荘市	67	67	100.0
秋田県	潟上市	20	15	75.0
秋田県	大仙市	57	52	91.2
秋田県	北秋田市	26	25	96.2
秋田県	にかほ市	22	17	77.3
秋田県	仙北市	30	21	70.0
山形県	上山市	36	34	94.4
山形県	天童市	91	59	64.8
山形県	寒河江市	42	33	78.6
山形県	村山市	12	11	91.7
山形県	東根市	61	13	21.3
山形県	新庄市	71	31	43.7
山形県	米沢市	147	35	23.8
山形県	南陽市	23	23	100.0
山形県	長井市	24	24	100.0
山形県	鶴岡市	116	82	70.7
山形県	酒田市	135	135	100.0
福島県	伊達市	45	36	80.0
福島県	二本松市	74	48	64.9
福島県	本宮市	50	33	66.0
福島県	須賀川市	88	64	72.7
福島県	田村市	18	14	77.8
福島県	白河市	52	52	100.0
福島県	会津若松市	284	189	66.5
福島県	喜多方市	44	25	56.8
福島県	相馬市	49	28	57.1
福島県	南相馬市	122	55	45.1
茨城県	日立市	146	115	78.8
茨城県	土浦市	260	164	63.1
茨城県	石岡市	62	60	96.8
茨城県	結城市	50	36	72.0
茨城県	龍ケ崎市	71	7	9.9
茨城県	下妻市	51	33	64.7
茨城県	常総市	74	48	64.9
茨城県	古河市	150	107	71.3
茨城県	常陸太田市	68	40	58.8
茨城県	高萩市	42	35	83.3
茨城県	北茨城市	57	43	75.4
茨城県	笠間市	98	66	67.3
茨城県	取手市	116	105	90.5
茨城県	牛久市	67	59	88.1
茨城県	つくば市	429	304	70.9
茨城県	ひたちなか市	228	176	77.2
茨城県	鹿嶋市	96	52	54.2
茨城県	守谷市	62	58	93.5
茨城県	常陸大宮市	49	42	85.7
茨城県	那珂市	52	46	88.5
茨城県	筑西市	81	59	72.8
茨城県	坂東市	56	40	71.4
茨城県	稲敷市	42	26	61.9
茨城県	かすみがうら市	50	24	48.0
茨城県	神栖市	147	88	59.9
茨城県	行方市	28	23	82.1
茨城県	つくばみらい市	62	37	59.7
茨城県	鉾田市	29	29	100.0
茨城県	小美玉市	31	31	100.0
茨城県	潮来市	29	26	89.7
茨城県	桜川市	35	28	80.0
栃木県	足利市	210	141	67.1
栃木県	栃木市	210	126	60.0
栃木県	佐野市	189	107	56.6
栃木県	鹿沼市	119	73	61.3
栃木県	日光市	239	112	46.9
栃木県	小山市	243	136	56.0
栃木県	真岡市	92	59	64.1
栃木県	大田原市	90	63	70.0
栃木県	矢板市	66	31	47.0
栃木県	那須塩原市	242	149	61.6
栃木県	さくら市	60	26	43.3

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
栃木県	那須烏山市	30	15	50.0
栃木県	下野市	103	54	52.4
群馬県	渋川市	105	68	64.8
群馬県	伊勢崎市	202	147	72.8
群馬県	安中市	84	64	76.2
群馬県	藤岡市	49	44	89.8
群馬県	富岡市	86	52	60.5
群馬県	沼田市	55	42	76.4
群馬県	太田市	244	120	49.2
群馬県	みどり市	48	41	85.4
群馬県	館林市	75	75	100.0
群馬県	桐生市	79	71	89.9
埼玉県	深谷市	228	126	55.3
埼玉県	飯能市	160	127	79.4
埼玉県	所沢市	559	449	80.3
埼玉県	戸田市	401	333	83.0
埼玉県	入間市	280	216	77.1
埼玉県	羽生市	87	66	75.9
埼玉県	草加市	403	322	79.9
埼玉県	行田市	85	60	70.6
埼玉県	志木市	163	91	55.8
埼玉県	蕨市	247	139	56.3
埼玉県	狭山市	301	190	63.1
埼玉県	春日部市	352	252	71.6
埼玉県	本庄市	144	69	47.9
埼玉県	幸手市	67	57	85.1
埼玉県	久喜市	216	163	75.5
埼玉県	鴻巣市	162	132	81.5
埼玉県	白岡市	63	55	87.3
埼玉県	吉川市	99	60	60.6
埼玉県	和光市	290	190	65.5
埼玉県	上尾市	337	218	64.7
埼玉県	新座市	354	222	62.7
埼玉県	ふじみ野市	258	163	63.2
埼玉県	朝霞市	382	292	76.4
埼玉県	東松山市	160	105	65.6
埼玉県	富士見市	193	153	79.3
埼玉県	熊谷市	363	308	84.8
埼玉県	蓮田市	67	46	68.7
埼玉県	三郷市	184	154	83.7
埼玉県	八潮市	131	88	67.2
埼玉県	日高市	76	51	67.1
埼玉県	加須市	135	100	74.1
埼玉県	秩父市	71	65	91.5
埼玉県	坂戸市	175	142	81.1
埼玉県	鶴ヶ島市	159	114	71.7
埼玉県	桶川市	101	81	80.2
埼玉県	北本市	109	80	73.4
千葉県	習志野市	328	280	85.4
千葉県	八千代市	180	142	78.9
千葉県	鎌ケ谷市	95	68	71.6
千葉県	市川市	684	478	69.9
千葉県	浦安市	291	196	67.4
千葉県	松戸市	754	437	58.0
千葉県	流山市	259	118	45.6
千葉県	我孫子市	175	131	74.9
千葉県	野田市	171	165	96.5
千葉県	佐倉市	306	157	51.3
千葉県	四街道市	84	78	92.9
千葉県	八街市	31	31	100.0
千葉県	印西市	113	105	92.9
千葉県	白井市	54	41	75.9
千葉県	成田市	220	170	77.3
千葉県	富里市	47	36	76.6
千葉県	香取市	69	53	76.8
千葉県	銚子市	50	41	82.0
千葉県	旭市	41	41	100.0
千葉県	匝瑳市	32	29	90.6
千葉県	東金市	55	44	80.0
千葉県	山武市	42	41	97.6

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
千葉県	大網白里市	30	30	100.0
千葉県	茂原市	112	94	83.9
千葉県	勝浦市	31	8	25.8
千葉県	いすみ市	38	35	92.1
千葉県	館山市	84	64	76.2
千葉県	南房総市	54	36	66.7
千葉県	鴨川市	45	41	91.1
千葉県	君津市	100	89	89.0
千葉県	袖ケ浦市	65	58	89.2
千葉県	富津市	59	53	89.8
千葉県	木更津市	146	127	87.0
千葉県	市原市	284	225	79.2
東京都	青梅市	171	163	95.3
東京都	羽村市	91	83	91.2
東京都	あきる野市	52	50	96.2
東京都	福生市	65	60	92.3
東京都	日野市	160	158	98.8
東京都	稲城市	81	81	100.0
東京都	多摩市	157	153	97.5
東京都	立川市	336	307	91.4
東京都	昭島市	157	150	95.5
東京都	国分寺市	131	128	97.7
東京都	国立市	105	93	88.6
東京都	武蔵村山市	34	32	94.1
東京都	東大和市	76	72	94.7
東京都	府中市	356	349	98.0
東京都	調布市	347	304	87.6
東京都	狛江市	60	51	85.0
東京都	武蔵野市	295	270	91.5
東京都	三鷹市	247	233	94.3
東京都	小金井市	134	127	94.8
東京都	小平市	198	185	93.4
東京都	東村山市	184	173	94.0
東京都	清瀬市	90	88	97.8
東京都	東久留米市	132	130	98.5
東京都	西東京市	230	223	97.0
神奈川県	平塚市	493	383	77.7
神奈川県	鎌倉市	252	120	47.6
神奈川県	逗子市	92	76	82.6
神奈川県	小田原市	304	235	77.3
神奈川県	三浦市	70	42	60.0
神奈川県	秦野市	250	171	68.4
神奈川県	伊勢原市	150	107	71.3
神奈川県	厚木市	436	248	56.9
神奈川県	海老名市	269	154	57.2
神奈川県	座間市	250	189	75.6
神奈川県	大和市	430	363	84.4
神奈川県	綾瀬市	117	107	91.5
神奈川県	南足柄市	42	39	92.9
新潟県	村上市	74	55	74.3
新潟県	新発田市	172	127	73.8
新潟県	阿賀野市	44	24	54.5
新潟県	胎内市	50	24	48.0
新潟県	五泉市	42	39	92.9
新潟県	三条市	121	90	74.4
新潟県	燕市	70	61	87.1
新潟県	加茂市	29	28	96.6
新潟県	長岡市	403	314	77.9
新潟県	見附市	29	29	100.0
新潟県	小千谷市	34	28	82.4
新潟県	魚沼市	37	30	81.1
新潟県	南魚沼市	68	39	57.4
新潟県	十日町市	78	54	69.2
新潟県	柏崎市	116	91	78.4
新潟県	上越市	190	155	81.6
新潟県	妙高市	81	59	72.8
新潟県	糸魚川市	41	34	82.9
新潟県	佐渡市	81	60	74.1
富山県	高岡市	130	108	83.1
富山県	魚津市	30	30	100.0

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
富山県	氷見市	40	38	95.0
富山県	滑川市	29	29	100.0
富山県	黒部市	21	21	100.0
富山県	砺波市	47	34	72.3
富山県	小矢部市	17	14	82.4
富山県	南砺市	51	47	92.2
富山県	射水市	119	93	78.2
石川県	七尾市	75	39	52.0
石川県	小松市	127	95	74.8
石川県	輪島市	0	0	－
石川県	珠洲市	10	7	70.0
石川県	加賀市	116	53	45.7
石川県	羽咋市	15	12	80.0
石川県	かほく市	10	9	90.0
石川県	白山市	50	40	80.0
石川県	能美市	44	31	70.5
石川県	野々市市	0	0	－
福井県	敦賀市	95	52	54.7
福井県	小浜市	26	26	100.0
福井県	大野市	9	8	88.9
福井県	勝山市	11	11	100.0
福井県	鯖江市	75	43	57.3
福井県	あわら市	55	37	67.3
福井県	越前市	52	0	0.0
福井県	坂井市	72	49	68.1
山梨県	甲斐市	81	40	49.4
山梨県	中央市	15	5	33.3
山梨県	南アルプス市	74	44	59.5
山梨県	北杜市	122	66	54.1
山梨県	韮崎市	48	48	100.0
山梨県	富士吉田市	85	37	43.5
山梨県	都留市	66	0	0.0
山梨県	大月市	45	27	60.0
山梨県	上野原市	31	19	61.3
山梨県	甲州市	39	39	100.0
山梨県	山梨市	44	21	47.7
山梨県	笛吹市	81	49	60.5
長野県	小諸市	65	0	0.0
長野県	佐久市	96	79	82.3
長野県	上田市	189	139	73.5
長野県	東御市	42	27	64.3
長野県	岡谷市	58	55	94.8
長野県	諏訪市	80	69	86.3
長野県	茅野市	77	47	61.0
長野県	伊那市	50	47	94.0
長野県	駒ヶ根市	15	15	100.0
長野県	飯田市	68	42	61.8
長野県	塩尻市	70	60	85.7
長野県	安曇野市	47	47	100.0
長野県	大町市	19	15	78.9
長野県	須坂市	54	30	55.6
長野県	千曲市	98	40	40.8
長野県	中野市	21	21	100.0
長野県	飯山市	17	17	100.0
岐阜県	大垣市	142	119	83.8
岐阜県	高山市	109	77	70.6
岐阜県	多治見市	160	121	75.6
岐阜県	関市	88	81	92.0
岐阜県	中津川市	82	73	89.0
岐阜県	美濃市	23	18	78.3
岐阜県	瑞浪市	51	31	60.8
岐阜県	羽島市	40	32	80.0
岐阜県	恵那市	66	58	87.9
岐阜県	美濃加茂市	53	48	90.6
岐阜県	土岐市	56	49	87.5
岐阜県	各務原市	124	121	97.6
岐阜県	可児市	96	84	87.5
岐阜県	山県市	8	8	100.0
岐阜県	瑞穂市	29	27	93.1
岐阜県	飛騨市	30	24	80.0

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
岐阜県	本巣市	26	22	84.6
岐阜県	郡上市	31	26	83.9
岐阜県	下呂市	39	35	89.7
岐阜県	海津市	24	20	83.3
静岡県	下田市	63	33	52.4
静岡県	伊東市	150	94	62.7
静岡県	熱海市	264	213	80.7
静岡県	沼津市	500	350	70.0
静岡県	三島市	201	180	89.6
静岡県	裾野市	72	61	84.7
静岡県	伊豆の国市	93	64	68.8
静岡県	伊豆市	67	44	65.7
静岡県	御殿場市	192	123	64.1
静岡県	富士市	284	284	100.0
静岡県	富士宮市	197	96	48.7
静岡県	島田市	110	76	69.1
静岡県	藤枝市	189	148	78.3
静岡県	焼津市	221	155	70.1
静岡県	牧之原市	67	56	83.6
静岡県	磐田市	210	160	76.2
静岡県	掛川市	207	166	80.2
静岡県	袋井市	146	92	63.0
静岡県	湖西市	127	65	51.2
静岡県	御前崎市	49	44	89.8
静岡県	菊川市	95	56	58.9
愛知県	瀬戸市	210	143	68.1
愛知県	半田市	158	157	99.4
愛知県	春日井市	486	334	68.7
愛知県	豊川市	188	166	88.3
愛知県	津島市	84	69	82.1
愛知県	碧南市	85	62	72.9
愛知県	刈谷市	381	248	65.1
愛知県	安城市	508	394	77.6
愛知県	西尾市	143	98	68.5
愛知県	蒲郡市	120	71	59.2
愛知県	犬山市	101	79	78.2
愛知県	常滑市	109	69	63.3
愛知県	江南市	101	101	100.0
愛知県	小牧市	327	233	71.3
愛知県	稲沢市	180	134	74.4
愛知県	新城市	63	49	77.8
愛知県	東海市	185	163	88.1
愛知県	大府市	190	141	74.2
愛知県	知多市	90	58	64.4
愛知県	知立市	109	94	86.2
愛知県	尾張旭市	139	134	96.4
愛知県	高浜市	61	45	73.8
愛知県	岩倉市	73	29	39.7
愛知県	豊明市	107	83	77.6
愛知県	日進市	173	134	77.5
愛知県	田原市	74	60	81.1
愛知県	愛西市	52	36	69.2
愛知県	清須市	64	64	100.0
愛知県	北名古屋市	76	74	97.4
愛知県	弥富市	73	44	60.3
愛知県	みよし市	83	59	71.1
愛知県	あま市	62	55	88.7
愛知県	長久手市	98	63	64.3
三重県	津市	493	255	51.7
三重県	伊勢市	121	102	84.3
三重県	松阪市	169	129	76.3
三重県	桑名市	263	121	46.0
三重県	鈴鹿市	229	199	86.9
三重県	名張市	97	42	43.3
三重県	尾鷲市	13	13	100.0
三重県	亀山市	69	69	100.0
三重県	鳥羽市	109	36	33.0
三重県	熊野市	16	0	0.0
三重県	熊野市	16	0	0.0
三重県	いなべ市	27	22	81.5

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
三重県	志摩市	98	48	49.0
三重県	伊賀市	119	41	34.5
滋賀県	彦根市	207	148	71.5
滋賀県	長浜市	153	91	59.5
滋賀県	近江八幡市	164	26	15.9
滋賀県	草津市	1810	292	16.1
滋賀県	守山市	136	113	83.1
滋賀県	栗東市	204	106	52.0
滋賀県	甲賀市	134	96	71.6
滋賀県	野洲市	106	76	71.7
滋賀県	湖南市	127	58	45.7
滋賀県	高島市	60	40	66.7
滋賀県	東近江市	128	95	74.2
滋賀県	米原市	52	29	55.8
京都府	福知山市	138	81	58.7
京都府	舞鶴市	173	98	56.6
京都府	綾部市	53	38	71.7
京都府	宇治市	419	265	63.2
京都府	宮津市	47	0	0.0
京都府	亀岡市	124	81	65.3
京都府	城陽市	81	71	87.7
京都府	向日市	108	55	50.9
京都府	長岡京市	151	129	85.4
京都府	八幡市	77	55	71.4
京都府	京田辺市	165	137	83.0
京都府	京丹後市	64	32	50.0
京都府	南丹市	60	39	65.0
京都府	木津川市	82	69	84.1
大阪府	岸和田市	307	240	78.2
大阪府	池田市	292	197	67.5
大阪府	泉大津市	164	101	61.6
大阪府	貝塚市	0	0	－
大阪府	守口市	273	191	70.0
大阪府	茨木市	677	381	56.3
大阪府	泉佐野市	480	178	37.1
大阪府	富田林市	180	121	67.2
大阪府	河内長野市	165	126	76.4
大阪府	松原市	151	125	82.8
大阪府	大東市	155	106	68.4
大阪府	和泉市	333	258	77.5
大阪府	箕面市	243	181	74.5
大阪府	柏原市	118	93	78.8
大阪府	羽曳野市	122	94	77.0
大阪府	門真市	300	132	44.0
大阪府	摂津市	139	114	82.0
大阪府	高石市	115	96	83.5
大阪府	藤井寺市	93	87	93.5
大阪府	泉南市	77	66	85.7
大阪府	四條畷市	78	48	61.5
大阪府	交野市	79	73	92.4
大阪府	大阪狭山市	128	80	62.5
大阪府	阪南市	49	45	91.8
兵庫県	芦屋市	462	414	89.6
兵庫県	宝塚市	454	432	95.2
兵庫県	三田市	259	222	85.7
兵庫県	伊丹市	351	255	72.6
兵庫県	川西市	271	246	90.8
兵庫県	加古川市	388	294	75.8
兵庫県	高砂市	87	81	93.1
兵庫県	西脇市	52	47	90.4
兵庫県	三木市	102	102	100.0
兵庫県	小野市	82	81	98.8
兵庫県	加西市	74	52	70.3
兵庫県	加東市	98	65	66.3
兵庫県	たつの市	84	78	92.9
兵庫県	宍粟市	13	13	100.0
兵庫県	相生市	59	55	93.2
兵庫県	赤穂市	77	75	97.4
兵庫県	豊岡市	133	85	63.9
兵庫県	養父市	30	16	53.3

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
兵庫県	朝来市	17	17	100.0
兵庫県	篠山市	50	42	84.0
兵庫県	丹波市	54	49	90.7
兵庫県	洲本市	61	48	78.7
兵庫県	淡路市	76	69	90.8
兵庫県	南あわじ市	41	41	100.0
奈良県	大和高田市	118	79	66.9
奈良県	大和郡山市	162	133	82.1
奈良県	天理市	226	226	100.0
奈良県	橿原市	197	150	76.1
奈良県	桜井市	83	72	86.7
奈良県	五條市	21	21	100.0
奈良県	御所市	28	27	96.4
奈良県	生駒市	180	175	97.2
奈良県	香芝市	92	56	60.9
奈良県	葛城市	26	26	100.0
奈良県	宇陀市	28	23	82.1
和歌山県	海南市	21	21	100.0
和歌山県	橋本市	42	42	100.0
和歌山県	有田市	16	14	87.5
和歌山県	御坊市	32	32	100.0
和歌山県	田辺市	59	0	0.0
和歌山県	新宮市	28	28	100.0
和歌山県	紀の川市	40	25	62.5
和歌山県	岩出市	71	71	100.0
鳥取県	米子市	276	264	95.7
鳥取県	倉吉市	67	67	100.0
島根県	安来市	35	23	65.7
島根県	雲南市	27	26	96.3
島根県	出雲市	214	204	95.3
島根県	大田市	43	32	74.4
島根県	浜田市	93	86	92.5
島根県	江津市	25	21	84.0
島根県	益田市	66	54	81.8
岡山県	津山市	96	88	91.7
岡山県	玉野市	63	57	90.5
岡山県	笠岡市	59	48	81.4
岡山県	井原市	23	23	100.0
岡山県	総社市	51	47	92.2
岡山県	高梁市	29	29	100.0
岡山県	新見市	18	18	100.0
岡山県	備前市	43	38	88.4
岡山県	瀬戸内市	21	21	100.0
岡山県	赤磐市	19	15	78.9
岡山県	真庭市	27	13	48.1
岡山県	美作市	29	25	86.2
岡山県	浅口市	24	21	87.5
広島県	竹原市	39	37	94.9
広島県	三原市	188	143	76.1
広島県	尾道市	211	180	85.3
広島県	府中市	43	29	67.4
広島県	三次市	70	62	88.6
広島県	庄原市	66	42	63.6
広島県	大竹市	36	32	88.9
広島県	東広島市	335	250	74.6
広島県	廿日市市	211	185	87.7
広島県	安芸高田市	28	21	75.0
広島県	江田島市	12	12	100.0
山口県	宇部市	138	106	76.8
山口県	山口市	232	173	74.6
山口県	萩市	37	35	94.6
山口県	防府市	97	75	77.3
山口県	下松市	46	44	95.7
山口県	岩国市	117	90	76.9
山口県	光市	20	20	100.0
山口県	長門市	24	24	100.0
山口県	柳井市	23	23	100.0
山口県	美祢市	36	16	44.4
山口県	周南市	243	175	72.0
山口県	山陽小野田市	46	33	71.7

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
徳島県	徳島市	728	348	47.8
徳島県	鳴門市	104	41	39.4
徳島県	小松島市	45	18	40.0
徳島県	阿波市	25	18	72.0
徳島県	吉野川市	32	19	59.4
徳島県	阿南市	86	26	30.2
徳島県	美馬市	46	20	43.5
徳島県	三好市	44	24	54.5
香川県	丸亀市	184	136	73.9
香川県	坂出市	104	88	84.6
香川県	善通寺市	47	40	85.1
香川県	観音寺市	71	68	95.8
香川県	さぬき市	71	44	62.0
香川県	東かがわ市	46	36	78.3
香川県	三豊市	50	35	70.0
愛媛県	今治市	287	166	57.8
愛媛県	宇和島市	110	80	72.7
愛媛県	八幡浜市	53	40	75.5
愛媛県	新居浜市	230	168	73.0
愛媛県	西条市	71	53	74.6
愛媛県	大洲市	98	40	40.8
愛媛県	伊予市	53	37	69.8
愛媛県	四国中央市	127	51	40.2
愛媛県	西予市	38	21	55.3
愛媛県	東温市	48	27	56.3
高知県	室戸市	10	10	100.0
高知県	安芸市	16	16	100.0
高知県	南国市	38	38	100.0
高知県	土佐市	37	26	70.3
高知県	須崎市	28	26	92.9
高知県	宿毛市	15	15	100.0
高知県	土佐清水市	24	18	75.0
高知県	香南市	23	20	87.0
高知県	香美市	18	18	100.0
福岡県	大牟田市	133	131	98.5
福岡県	直方市	35	15	42.9
福岡県	飯塚市	228	176	77.2
福岡県	田川市	66	40	60.6
福岡県	柳川市	0	0	－
福岡県	八女市	30	18	60.0
福岡県	筑後市	37	34	91.9
福岡県	大川市	64	34	53.1
福岡県	行橋市	142	59	41.5
福岡県	豊前市	22	21	95.5
福岡県	中間市	56	34	60.7
福岡県	小郡市	47	35	74.5
福岡県	筑紫野市	236	155	65.7
福岡県	春日市	310	184	59.4
福岡県	大野城市	299	195	65.2
福岡県	宗像市	94	66	70.2
福岡県	太宰府市	66	56	84.8
福岡県	古賀市	106	69	65.1
福岡県	福津市	89	64	71.9
福岡県	うきは市	0	0	－
福岡県	宮若市	19	2	10.5
福岡県	嘉麻市	60	60	100.0
福岡県	朝倉市	27	26	96.3
福岡県	みやま市	34	34	100.0
福岡県	糸島市	135	81	60.0
福岡県	那珂川市	49	45	91.8
佐賀県	佐賀市	539	371	68.8
佐賀県	唐津市	168	157	93.5
佐賀県	鳥栖市	136	109	80.1
佐賀県	多久市	24	24	100.0
佐賀県	伊万里市	69	66	95.7
佐賀県	武雄市	96	81	84.4
佐賀県	鹿島市	39	31	79.5
佐賀県	小城市	38	32	84.2
佐賀県	嬉野市	37	21	56.8
佐賀県	神埼市	44	35	79.5

都道府県	市名	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率(%)
長崎県	島原市	30	27	90.0
長崎県	諫早市	174	128	73.6
長崎県	大村市	121	119	98.3
長崎県	平戸市	40	28	70.0
長崎県	松浦市	33	33	100.0
長崎県	対馬市	42	42	100.0
長崎県	壱岐市	19	13	68.4
長崎県	五島市	31	31	100.0
長崎県	西海市	21	21	100.0
長崎県	雲仙市	31	31	100.0
長崎県	南島原市	10	10	100.0
熊本県	荒尾市	32	31	96.9
熊本県	玉名市	30	30	100.0
熊本県	山鹿市	16	16	100.0
熊本県	菊池市	29	20	69.0
熊本県	合志市	30	30	100.0
熊本県	阿蘇市	15	15	100.0
熊本県	宇城市	24	3	12.5
熊本県	八代市	38	38	100.0
熊本県	水俣市	23	21	91.3
熊本県	人吉市	73	12	16.4
熊本県	天草市	42	11	26.2
熊本県	上天草市	12	0	0.0
大分県	別府市	375	203	54.1
大分県	中津市	72	64	88.9
大分県	日田市	56	48	85.7
大分県	佐伯市	57	44	77.2
大分県	臼杵市	36	35	97.2
大分県	津久見市	7	7	100.0
大分県	竹田市	16	16	100.0
大分県	豊後高田市	15	15	100.0
大分県	杵築市	8	8	100.0
大分県	宇佐市	35	33	94.3
大分県	豊後大野市	37	20	54.1
大分県	由布市	40	32	80.0
大分県	国東市	25	24	96.0
宮崎県	都城市	94	65	69.1
宮崎県	延岡市	151	76	50.3
宮崎県	日南市	31	29	93.5
宮崎県	小林市	18	17	94.4
宮崎県	日向市	74	48	64.9
宮崎県	串間市	10	10	100.0
宮崎県	西都市	14	10	71.4
宮崎県	えびの市	10	6	60.0
鹿児島県	鹿屋市	70	48	68.6
鹿児島県	枕崎市	11	8	72.7
鹿児島県	阿久根市	22	22	100.0
鹿児島県	出水市	41	41	100.0
鹿児島県	指宿市	38	36	94.7
鹿児島県	西之表市	28	19	67.9
鹿児島県	垂水市	12	11	91.7
鹿児島県	薩摩川内市	119	105	88.2
鹿児島県	日置市	42	35	83.3
鹿児島県	曽於市	12	10	83.3
鹿児島県	霧島市	159	146	91.8
鹿児島県	いちき串木野市	24	24	100.0
鹿児島県	南さつま市	40	38	95.0
鹿児島県	志布志市	23	22	95.7
鹿児島県	奄美市	72	70	97.2
鹿児島県	南九州市	11	11	100.0
鹿児島県	伊佐市	16	14	87.5
鹿児島県	姶良市	44	44	100.0
沖縄県	うるま市	182	148	81.3
沖縄県	浦添市	302	285	94.4
沖縄県	沖縄市	245	198	80.8
沖縄県	宜野湾市	210	165	78.6
沖縄県	宮古島市	143	99	69.2
沖縄県	糸満市	109	97	89.0
沖縄県	石垣市	99	96	97.0
沖縄県	南城市	61	46	75.4
沖縄県	豊見城市	112	109	97.3
沖縄県	名護市	175	127	72.6
合計		77,688	56,181	72.3

（特別区）

	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率（%）
千代田区	683	439	64.3
中央区	989	882	89.2
港区	1,407	980	69.7
新宿区	846	591	69.9
文京区	1,329	836	62.9
台東区	1,165	1,056	90.6
墨田区	1,521	623	41.0
江東区	479	384	80.2
品川区	509	463	91.0
目黒区	535	187	35.0
大田区	1,007	729	72.4
世田谷区	1,049	561	53.5
渋谷区	317	267	84.2
中野区	745	722	96.9
杉並区	740	718	97.0
豊島区	813	704	86.6
北区	352	219	62.2
荒川区	380	338	88.9
板橋区	616	340	55.2
練馬区	412	373	90.5
足立区	279	169	60.6
葛飾区	726	676	93.1
江戸川区	789	639	81.0
合計	17,688	12,896	72.9

	検査対象施設数	検査実施施設数	受検率（%）
都道府県	14,107	11,272	79.9
保健所設置市	99,023	80,265	81.1
保健所設置市を除く	77,688	56,181	72.3
特別区	17,688	12,896	72.9
合計	208,506	160,614	77.0
令和4年度	206,856	161,356	78.0

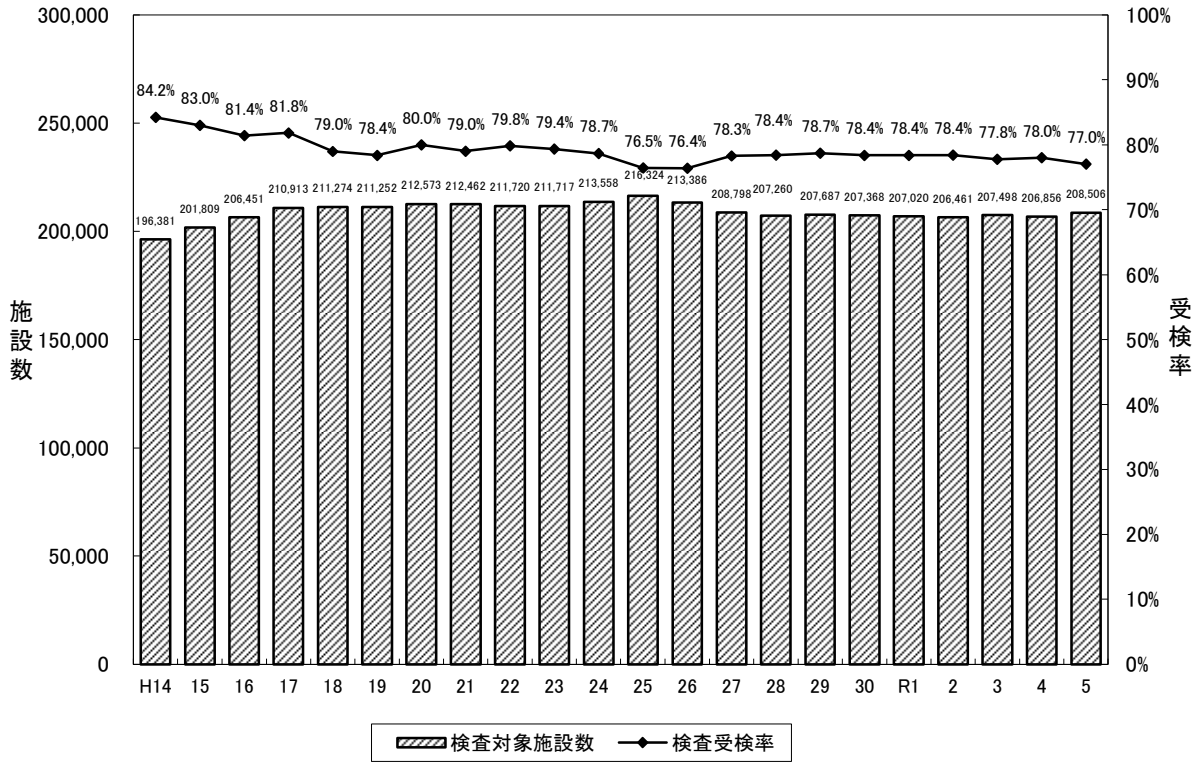


図 3-6　簡易専用水道の検査対象施設数、検査受検率経年変化

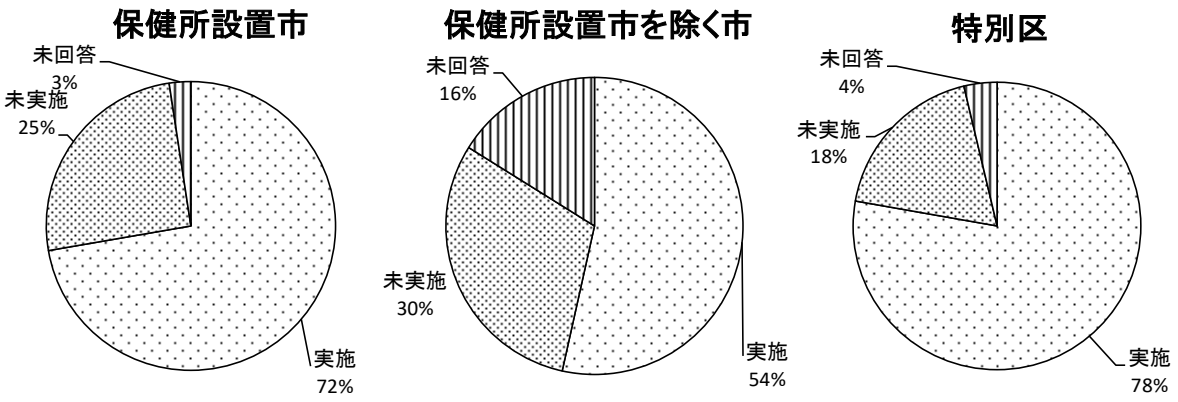
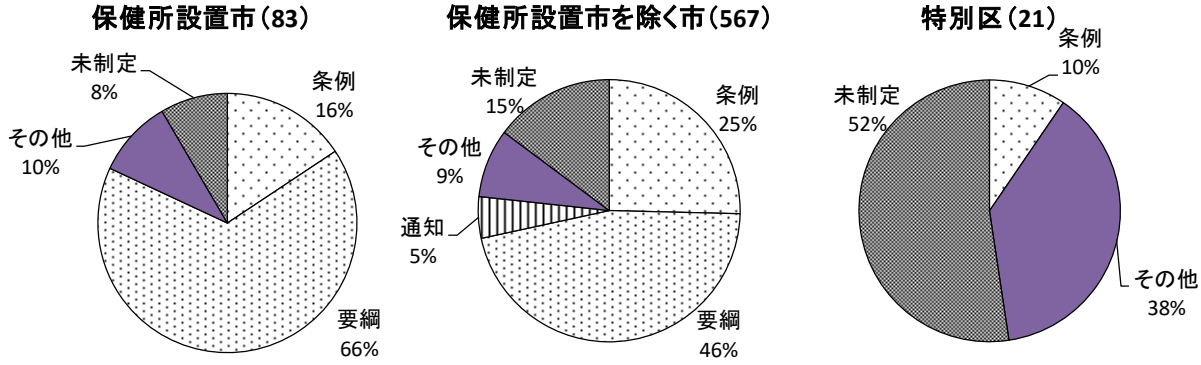
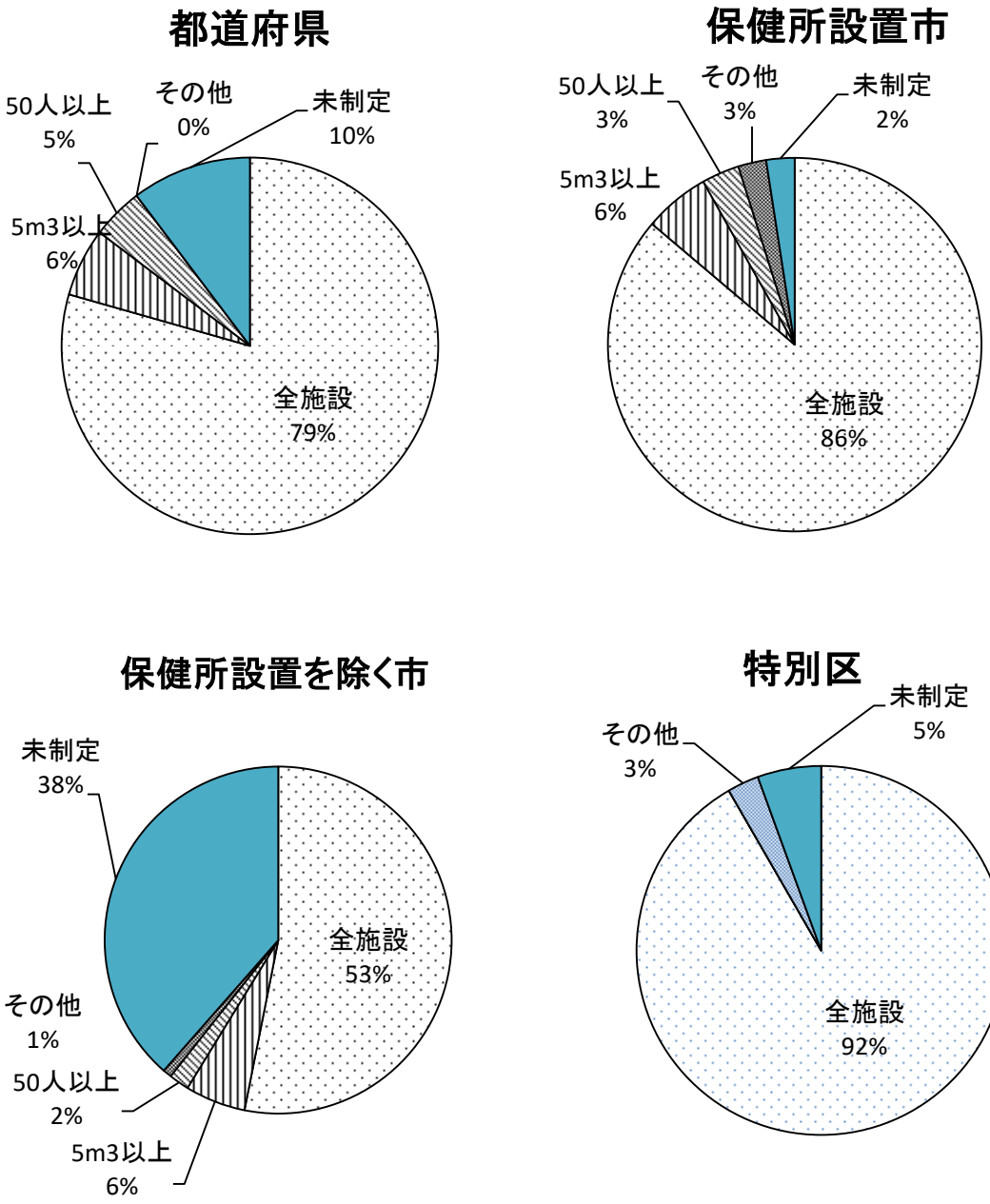


図 3-7　衛生行政担当部局と水道事業者間の簡易専用水道設置情報共有状況



注）未回答分は除く、（）は回答自治体数を示す。

図 3-8　簡易専用水道等の指導監督に関する規定策定状況（令和 5 年度）



注）未制定は、未回答分も含んでいる。

図 3-9　小規模貯水槽に係る条例・要綱等の制定状況

表 3-16　小規模貯水槽水道の設置状況及び検査実施状況

	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
検査対象施設数	807,200	803,115	788,501	788,542	761,411
検査実施施設数	28,081	27,019	28,555	27,555	27,059
受検率	3.5%	3.4%	3.6%	3.5%	3.6%

表 3-17　小規模貯水槽水道の検査における不適合内容

			令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
検査指摘施設数			6,893	6,434	6,113	6,537	5,812
	検査指摘率		24.5%	23.8%	21.4%	23.7%	21.5%
施設の外観検査		水槽の周囲の状態	8.8%	10.0%	10.2%	9.6%	16.3%
	受水槽	受水槽本体の状態	9.3%	10.4%	10.8%	10.4%	11.4%
		受水槽上部の状態	3.8%	4.8%	4.9%	4.3%	4.8%
		受水槽内部の状態	17.6%	11.0%	17.9%	16.1%	11.9%
		マンホールの状態	21.9%	22.5%	24.9%	21.2%	20.9%
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	10.9%	9.8%	10.0%	9.2%	9.1%
		通気管の状態	9.3%	10.6%	11.7%	10.4%	11.5%
		水抜き管の状態	10.1%	9.6%	10.1%	9.6%	10.5%
	高置水槽	高置水槽本体の状態	4.6%	5.2%	5.1%	4.7%	5.1%
		高置水槽上部の状態	1.1%	1.1%	0.9%	1.0%	1.2%
		高置水槽内部の状態	4.9%	5.1%	5.6%	5.5%	6.0%
		マンホールの状態	10.7%	11.9%	11.9%	11.4%	12.0%
		ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管の状態	3.9%	4.1%	4.2%	3.9%	4.2%
		通気管の状態	8.3%	9.9%	10.1%	9.8%	10.2%
		水抜き管の状態	1.0%	1.2%	1.0%	1.1%	0.9%
	他	給水管等の状態	1.1%	1.2%	1.6%	1.2%	1.0%
水質検査		臭気	0.01%	0.14%	0.03%	0.02%	0.05%
		味	0.00%	0.09%	0.07%	0.02%	0.03%
		色	0.07%	0.14%	0.03%	0.06%	0.07%
		色度	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%
		濁度(濁りを含む)	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%
		残留塩素	2.2%	1.4%	2.3%	2.2%	1.6%
書類の整備保存の状況			35.9%	35.5%	36.9%	34.4%	37.6%

注：上表の検査指摘施設数は、検査機関から上記 23 項目についての指摘を受けた施設である。

割合は、検査実施施設に対する回答（複数回答）

表 3-18　小規模貯水槽水道に係る条例・要綱等制定状況

都道府県	種類	施行日	対象施設
北海道	要領	H1.5.1	全施設
青森県	要領	H26.4.1	5m3超
岩手県	要領	H15.3.31	全施設
宮城県	条例	S50.7.1	5＜V≦10
秋田県	要領	S62.4.1	全施設
山形県	要領	H3.12.1	全施設
	条例		全施設
福島県	条例	S54.10.1	5＜V≦10
	要領	H1.10.1	全施設
茨城県	条例	S56.4.1	5m3超
栃木県	要領	H1.6.5	全施設
群馬県	要領	H23.2.25	10m3以下
埼玉県	－	－	－
千葉県	条例	S55.3.29	50人以上
	条例	S37.6.1	50人以上
東京都	条例	H14.12.25	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
	条例	H7.7.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
神奈川県	要綱	H25.4.1	全施設
	要綱	H14.10.18	全施設
	条例	H7.7.1	10m3以下
新潟県	条例	H15.4.1	全施設
	要領	H21.4.1	全施設
富山県	その他	H21.4.1	全施設
石川県	要領	R1.11.1	全施設
	要領	S63.4.1	全施設
福井県	要領	S63.4.1	全施設
山梨県	要綱	S61.8.29	全施設
長野県	－	－	－
岐阜県	要綱		－
静岡県	要領	S55.4.16	全施設
愛知県	要領	S62.4.1	全施設
	要領	H3.4.1	全施設
	条例	S41.7.5	50人以上
三重県	要領	H17.4.1	全施設
滋賀県	要領	H17.4.1	全施設
京都府	要領	H3.6.1	全施設
大阪府	要領	H3.6.1	全施設
兵庫県	－	－	－
奈良県	要領	H19.7.20	全施設
和歌山県	条例		全施設
	要領	H26.4.1	全施設
	その他	H15.3.25	全施設
鳥取県	条例	H17.3.31	全施設
	条例	H10.12.16	全施設
	条例	S45.7.1	全施設
	条例	H9.4.1	全施設
島根県	要領	H3.1.1	全施設
岡山県	要領	H5.4.1	全施設
広島県	要領	H24.4.1	全施設
	要領	H5.12.1	10m3以下
山口県	条例		全施設
	要綱		全施設
	要領	H21.4.1	全施設
徳島県	要領	S63.4.1	全施設
香川県	要領	S63.7.16	全施設
愛媛県	要領	H26.4.1	全施設
	条例		全施設
高知県	要領	R1.10.1	10m3以下
	要領	R1.10.21	全施設
福岡県	要領	S63.4.1	全施設
佐賀県	－	－	－
長崎県	－	－	－
熊本県	－	－	－
大分県	要綱	S60.1.10	全施設
宮崎県	要領	H19.4.1	全施設
鹿児島県	要領	H18.4.1	全施設
沖縄県	要領	S60.7.15	10m3以下
	要領	H29.4.1	10m3以下

※V：貯水槽容量(㎥)

保健所設置市	種類	施行日	対象施設
札幌市	要綱	H7.10.1	全施設
函館市	要領	H1.5.1	10m3以下
小樽市	要領	H1.1.20	全施設
旭川市	要領	H18.4.1	10m3以下
青森市	要領	H19.10.1	5＜V≦10
八戸市	要領	H25.4.1	5m3超
盛岡市	条例	H15.4.1	全施設
	その他	H15.4.1	全施設
仙台市	要綱	H12.4.1	5m3以下
	条例	S50.7.1	5＜V≦10
秋田市	要領	H10.4.1	10m3以下
	要綱	H15.4.1	－
山形市	条例	R6.4.1	全施設
	要綱	H20.4.1	10m3以下
福島市	条例	H24.12.27	5m3未満
	要領	H25.4.1	全施設
郡山市	条例	H9.4.1	5＜V≦10
いわき市	条例	H11.4.1	5m3超
	条例	S44.10.17	5≦V≦10
水戸市	要綱	H15.4.1	5m3未満
	条例	H26.4.1	5≦V≦10
宇都宮市	要領	H1.6.5	全施設
	要綱	H20.5.20	全施設
前橋市	要領	H24.10.29	全施設
高崎市	条例	S36.4.1	全施設
さいたま市	条例	H13.5.1	全施設
	要領	R2.3.30	全施設
川越市	条例	H15.4.1	全施設
	その他	H16.3.31	全施設
越谷市	－	－	－
川口市	条例	H15.4.1	全施設
千葉市	要領	H12.6.1	全施設
	条例	H4.4.1	50人以上
船橋市	条例	H15.4.1	50人以上
	要領	H15.4.1	50人以上
柏市	条例	H20.4.1	50人以上
八王子市	条例	H19.4.1	全施設
	その他	H19.4.1	全施設
	その他	H27.7.16	全施設
町田市	条例	H23.4.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するものを除く)
横浜市	条例	H3.12.25	全施設(専ら一戸の住宅に供給するものを除く)
	要綱	H18.12.22	〃
川崎市	条例	H7.10.1	10m3以下
	要綱	S62.12.8	全施設
相模原市	条例	H12.4.1	10m3以下
	要綱	H19.4.1	全施設
横須賀市	条例	H8.3.27	10m3以下
藤沢市	条例	H18.4.1	全施設
茅ヶ崎市	条例	H25.4.1	全施設
新潟市	要綱	H15.4.1	全施設
富山市	条例	H17.4.1	全施設
金沢市	要領	H16.4.1	全施設
	条例	H15.4.1	10m3以下
甲府市	その他	H17.4.1	全施設
長野市	要綱	H11.4.1	全施設
松本市	要綱	H25.4.1	全施設
岐阜市	要綱	H6.3.9	全施設
静岡市	要綱	H15.4.1	全施設
浜松市	要領	H15.4.1	全施設
名古屋市	要綱	S52.1.1	全施設
豊橋市	その他	H14.12.19	10m3未満
	要領	H24.4.1	全施設
	条例	S43.4.1	全施設
岡崎市	要領	H18.9.4	全施設
一宮市	要領	H25.4.1	全施設
豊田市	条例	H15.4.1	全施設
	その他	H16.2.12	全施設
	条例	S34.4.1	全施設
	要領	S34.4.1	全施設
四日市市	要領	H16.4.1	10m3以下
大津市	条例	H14.12.20	全施設
	要綱	H21.4.1	全施設
京都市	要領	H2.10.29	10m3以下
大阪市	要綱	S60.4.1	全施設
堺市	要綱	H6.4.1	全施設

保健所設置市	種類	施行日	対象施設
豊中市	要領	H24.4.1	全施設
吹田市	要領	H25.4.1	10m3以下
高槻市	要領	H15.4.1	全施設
枚方市	要綱	H24.10.1	全施設
東大阪市	要領	H3.6.1	全施設
	条例	S42.2.1	全施設
	要綱	H25.4.1	全施設
八尾市	要領	H25.11.1	全施設
神戸市	要綱	H19.4.1	全施設
	要綱	H11.4.1	10m3以下
姫路市	要綱	H15.4.1	全施設
尼崎市	要綱	S60.10.15	10m3以下
西宮市	要綱	H14.11.22	全施設
奈良市	条例	H15.4.1	全施設
和歌山市	条例	H30.4.1	10m3以下
	その他	H30.4.1	10m3以下
鳥取市	要綱	H15.4.1	全施設
松江市	条例	R1.7.12	全施設
岡山市	要領	H15.4.1	10m3以下
倉敷市	要領	H13.11.29	10m3未満
広島市	要領	H3.9.1	10m3以下
呉市	要綱	S62.4.1	全施設
福山市	要領	H10.4.1	全施設
下関市	条例	H17.2.13	-
高松市	要綱	H11.12.1	全施設
	条例	H14.12.24	V≦10
	条例	H30.4.1	全施設
	要領	R1.6.6	V≦10
松山市	要領	S62.7.1	全施設
高知市	要綱	H16.7.1	全施設
	要綱	H10.4.1	10m3以下
北九州市	要領	H15.4.1	10m3以下
	要領	H19.4.1	全施設
	条例	S39.1.1	全施設
福岡市	要領	S64.1.1	全施設
久留米市	要綱	H24.6.1	全施設
	条例	S44.4.1	10m3以下
	要綱	H15.4.1	全施設
長崎市	要綱	H15.4.1	全施設
佐世保市	要領	S59.7.1	全施設
熊本市	要綱	H5.7.1	10m3以下
大分市	要綱	H16.4.1	10m3以下
宮崎市	要領	H17.4.1	全施設
	要領	H15.4.1	10m3以下
鹿児島市	条例	S43.11.29	全施設
那覇市	条例	H9.12.26	全施設
	条例	H10.3.31	10m3以下
	要綱	H15.3.31	10m3以下

特別区	種類	施行日	対象施設
千代田区	要綱	S59.6.1	全施設
中央区	要綱	S59.6.29	全施設
	要領	S59.7.13	全施設
港区	要綱	H9.4.1	全施設
新宿区	要綱	S59.4.16	全施設
文京区	要綱	S59.3.31	全施設
	要領	S59.3.31	全施設
台東区	要綱	H16.7.1	全施設
	要領	H16.7.1	全施設
墨田区	要綱	S60.3.23	全施設
江東区	要綱	S60.5.24	全施設
	要領	S60.5.24	全施設
品川区	要綱	H21.4.1	全施設
	要領	H1.4.1	全施設
目黒区	要綱	S59.5.1	全施設
	要綱	H8.7.1	延べ面積500m2以上
	要領	S59.5.1	全施設
大田区	要綱	S52.4.1	全施設
世田谷区	要綱	H10.2.1	全施設
渋谷区	要綱	H5.6.1	全施設
	要領	H5.6.1	-
中野区	要綱	S61.11.1	全施設
杉並区	要綱	S59.6.1	全施設
	要領	S59.6.8	全施設
豊島区	要綱	S59.4.1	全施設
北区	要綱	S59.7.1	全施設
荒川区	要綱	H26.3.1	全施設
	要領	H26.3.1	全施設
板橋区	要綱	S55.9.30	全施設
練馬区	要綱	S59.6.1	全施設
	要綱	S59.6.7	全施設
	その他	S59.6.7	全施設
足立区	要綱	S59.5.1	全施設
	要領	H10.11.4	全施設
葛飾区	要綱	S59.9.1	-
江戸川区	要綱	S52.5.23	全施設

※V：貯水槽容量(m^3)

表 3-19　貯水槽水道衛生管理状況一覧表（令和 5 年度全国計）

		施設数	検査実施施設数	受検率	検査指摘施設数	検査指摘率	未改善施設数	是正未確認施設数
簡易専用水道	全体計	208,506	160,614	77.0%	35,614	22.2%	944	13,401
	登録検査機関の検査	208,506	153,056	73.4%	35,102	22.9%	926	13,046
	地方公共団体の検査		7,558	3.6%	512	6.8%	18	355
小規模貯水槽水道	全体計	761,411	27,059	3.6%	5,812	21.5%	176	1,800

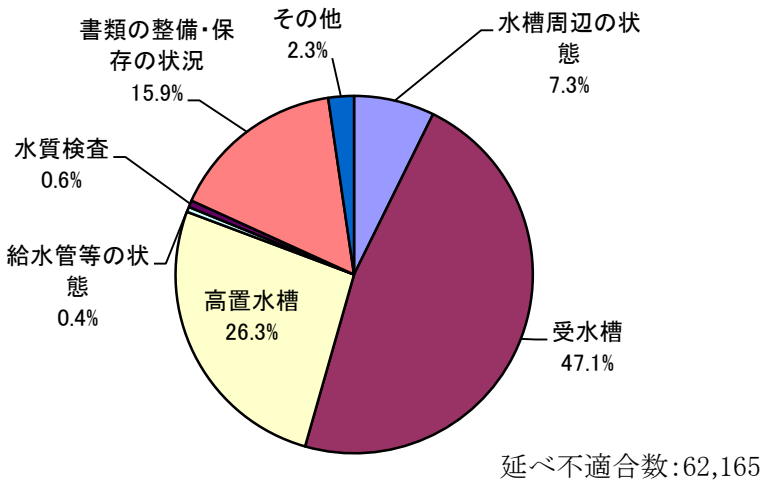


図 3-10　簡易専用水道の不適合項目区分別割合（令和 5 年度）

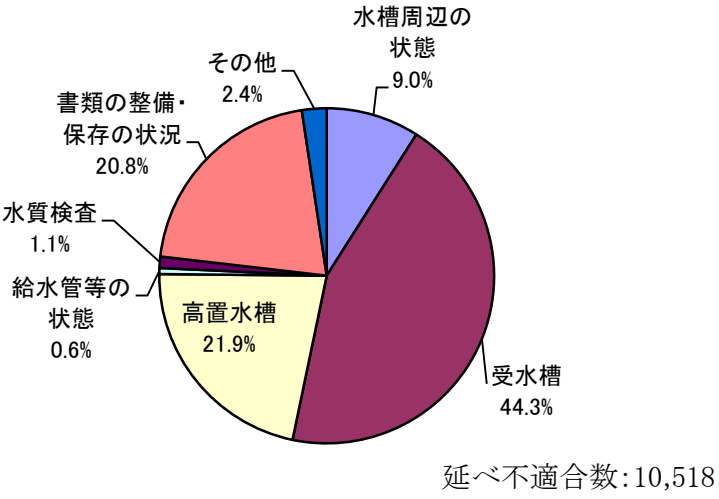


図 3-11　小規模貯水槽水道の不適合項目区分別割合（令和 5 年度）

3.5. 水道水質検査の実施状況等に関する調査

水道水質検査の実施状況等に関する調査結果を表 3-20～表 3-27、図 3-12～図 3-17 に示す。

表 3-20 一般項目※1に係る水質検査状況

	平成31・令和元	令和02	令和03	令和04	令和05※3
検査井戸数※2	30,462	21,714	30,719	28,403	28,381
一般項目の基準超過数	7,317	5,746	6,485	7,108	7,650
一般細菌	3,450 (11.9%)	2,604 (13.0%)	3,005 (11.4%)	3,322 (12.5%)	3,427 / 27,035 (12.7%)
大腸菌(群)	1,127 (3.9%)	881 (4.4%)	864 (3.3%)	1,162 (4.4%)	1,203 / 26,935 (4.5%)
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	808 (2.9%)	513 (2.6%)	649 (2.5%)	545 (2.1%)	525 / 26,274 (2.0%)
その他項目	1,932 (6.9%)	1,748 (8.9%)	1,967 (7.5%)	2,079 (7.9%)	2,495 / 26,563 (9.4%)

表 3-21 一般項目※1の水質基準超過井戸の対応状況

年度	対応状況									
	専用井戸※4					併用井戸※4				
	水道加入	煮沸	消毒	その他	計	飲用中止	煮沸	消毒	その他	計
平成31・令和元	16	184	46	75	321	180	74	9	15	278
令和02	21	166	56	104	347	148	46	10	13	217
令和03	26	96	39	112	273	124	52	9	19	204
令和04	17	82	39	118	256	125	75	7	25	232
令和05	20	124	91	89	324	96	170	13	19	298

※1:一般項目とは、水質基準に関する省令(平成 15 年厚生労働省令第 101 号)に規定する水道水質基準項目のうち、一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、その他項目(塩化物イオン、有機物等、pH 値、味、臭気、色度及び濁度)をいう。

※2:検査井戸数とは、原則として一般項目のうち一項目以上を検査した井戸の総数であるが、自治体によっては一部延べ数として重複計上されている場合がある。また、検査実施項目は個々の井戸によって異なるため、必ずしも全ての項目を検査していない。

※3:令和 5 年度より集計方法を変更し、各項目において「基準超過数/検査実施数（超過率）」を算出している。

※4:専用井戸とは、汚染の判明時点で当該井戸が飲料水を得る唯一の手段であったものをいい、併用井戸とは、その時点で水道がひかれている等、当該井戸の他に飲料水を得る手段を有しているものをいう。各年度の井戸数は当該年度において調査された数であり、同一の井戸についての結果が複数年度の数に計上されている場合もある。

表 3-22　トリクロロエチレン等※1の水質基準超過状況（平成 31 年～令和 5 年度）

	平成31・令和元	令和02	令和03	令和04	令和05※3
検査井戸数※2	3,054	4,062	3,880	3,178	3,519
トリクロロエチレン等の基準超過数	62	113	49	41	47
四塩化炭素	4 (0.3%)	3 (0.2%)	3 (0.2%)	3 (0.2%)	1 / 1,847 (0.1%)
1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 / 1,720 (0.0%)
1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
ｼｽ及びﾄﾗﾝｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	7 (0.4%)	23 (1.5%)	1 (0.1%)	1 (0.1%)	0 / 1,839 (0.0%)
ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	0 (0.0%)	22 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 / 1,755 (0.0%)
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	28 (1.0%)	22 (0.8%)	23 (0.8%)	17 (0.6%)	22 / 3,036 (0.7%)
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	23 (0.8%)	21 (0.8%)	22 (0.7%)	19 (0.6%)	24 / 3,049 (0.8%)
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0 (0.0%)	22 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)	0 / 1,750 (0.0%)
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
その他有機溶剤等	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)

表 3-23　トリクロロエチレン等の水質基準超過井戸の対応状況（平成 31 年～令和 5 年度）

年度	対応状況							
	専用井戸※4				併用井戸※4			
	水道加入	煮沸	その他	計	飲用中止	煮沸	その他	計
平成31・令和元	5	3	12	38	31	3	0	34
令和02	1	3	12	38	31	3	0	34
令和03	1	3	12	38	31	3	0	34
令和04	1	0	0	1	6	5	2	13
令和05	2	1	1	4	5	5	0	10

注　※1：トリクロロエチレン等とは、水質基準に関する省令（平成 15 年厚生労働省令第 101 号）に規定する水道水質基準項目等のうち、四塩化炭素をはじめとする有機溶剤系物質項目である。

※2：検査井戸数とは、原則としてトリクロロエチレン等のうち一項目以上を検査した井戸の総数であるが、自治体によっては一部延べ数として重複計上されている場合がある。また、検査実施項目は個々の井戸によって異なるため、必ずしも全ての項目を検査していない。

※3：令和 5 年度より集計方法を変更し、各項目において「基準超過数/検査実施数（超過率）」を算出している。

※4：専用井戸とは、汚染の判明した時点で当該井戸が飲料水を得る唯一の手段であったものをいい、併用井戸とは、その時点で水道がひかれている等、当該井戸の他に飲料水を得る手段を有しているものをいう。各年度の井戸数は、当該年度において調査された数であり、同一の井戸についての結果が複数年度の数に計上されている場合もある。

表 3-24　その他項目の水質基準超過状況（平成 31 年～令和 5 年度）

	平成31･令和元	令和02	令和03	令和04	令和05※3
検査井戸数※2	16,802	16,447	16,854	15,210	15,480
その他項目の基準超過数	1,339	957	1,278	1,264	1,318
ヒ素	123 (3.8%)	83 (3.0%)	110 (3.0%)	139 (3.4%)	126 / 3,751 (3.4%)
フッ素	246 (6.5%)	59 (2.6%)	240 (6.3%)	282 (6.8%)	242 / 3,744 (6.5%)
水銀	3 (0.1%)	9 (0.5%)	7 (0.3%)	7 (0.3%)	3 / 2,249 (0.1%)
六価クロム	4 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	0 / 2,965 (0.0%)
その他水質基準項目※4	963 (7.0%)	806 (6.7%)	921 (6.6%)	835 (6.2%)	947 / 13,876 (6.8%)

表 3-25　その他項目の水質基準超過井戸の対応状況（平成 31 年～令和 5 年度）

年度	対応状況※5					
	専用井戸※6			併用井戸※6		
	水道加入	その他※7	計	飲用中止	その他※7	計
平成31･令和元	6	30	36	24	7	31
令和02	0	47	47	18	10	28
令和03	0	42	42	10	10	20
令和04	0	27	27	18	13	31
令和05	0	30	30	6	16	22

注）※１：その他項目とは、水質基準に関する省令（平成 5 年厚生労働省令第 101 号）に規定する水道水質基準項目の内、①一般項目、②トリクロロエチレン等で調査した項目以外のヒ素、フッ素等の項目である。

※２：検査井戸数とは、原則としてその他項目のうち一項目以上を検査した井戸の総数であるが、自治体によっては一部延べ数として重複計上されている場合がある。また、検査実施項目は個々の井戸によって異なるため、必ずしも全ての項目を検査していない。

※３： 令和 5 年度より集計方法を変更し、各項目において「基準超過数/検査実施数（超過率）」を算出している。

※４：その他水質基準項目とは、その他項目のうち、ヒ素、フッ素、水銀及び六価クロム以外の項目（鉄、マンガン、硬度等）である。数値については各項目の合計値を計上している。

※５：基準超過井戸に対して都道府県等の対応状況（飲用指導など）が確認された井戸の数を計上している。

※６：専用井戸とは、汚染の判明した時点で当該井戸が飲料水を得る唯一の手段であったものをいい、併用井戸とは、その時点で水道がひかれている等、当該井戸の他に飲料水を得る手段を有しているものをいう。

※７：その他とは、浄水設備設置、水源変更、煮沸、飲用制限等の措置を指す。各年度の井戸数は、当該年度において調査された数であり、同一の井戸についての結果が複数年度の数に計上されている場合もある。

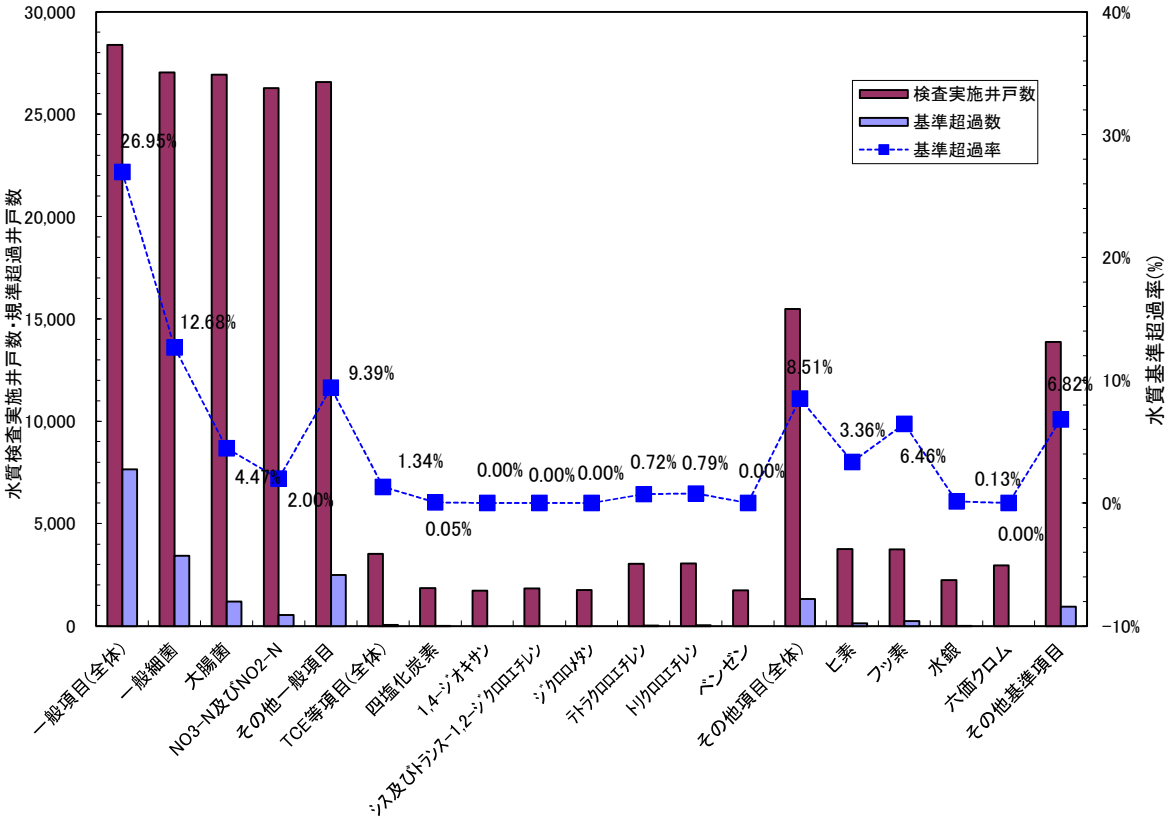


図 3-12　飲用井戸等における項目別水質検査状況（令和 5 年度）

表 3-26　飲用井戸等に係る要綱等制定状況（都道府県、特別区、保健所設置市）

都道府県	種類	施行日	対象施設
北海道	要領	H1.5.1	全施設
青森県	条例	S47.12.23	一般需要で100人以下又は、一般需要以外で30人以上100人以下
	要領	S62.8.21	全施設
岩手県	条例	S33.7.10	100人超過
	要領	H15.3.31	
宮城県	条例	S50.7.1	100人以下30人以上
秋田県	条例	S35.7.1	100人以下30人以上
	要領	S62.4.1	全施設
山形県	条例	S44.4.1	50人以上
	要領	H3.11.20	50人以下
福島県	条例	S54.7.16	50人超
	要領	H1.10.1	
茨城県	条例	S56.4.1	50人以上及び賃貸住宅
栃木県	条例	S38.10.8	50人以上の施設、学校
	要領	H1.6.15	50人未満
群馬県	条例	H23.4.1	
埼玉県	条例	S32.4.1	50人以上又は10世帯以上
千葉県	条例	S37.6.1	50人以上
東京都	条例	H15.4.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
	要綱	S62.10.1	全施設
神奈川県	条例	H7.7.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
	要綱	H19.10.23	全施設
新潟県	条例	S33.3.31	30人以上
富山県	要領	H14.4.22	全施設
石川県	要領	S63.4.1	
福井県	要領	S63.4.1	全施設
山梨県	条例	H16.11.1	全施設
	要領	H14.12.4	全施設
長野県	要領	H4.12.21	全施設(旅館等を除く)
岐阜県	要綱	H13.4.1	全施設
愛知県	要領	S55.4.16	全施設
三重県	条例	S41.7.5	50人以上
滋賀県	要領	H17.4.1	全施設
京都府	条例	S24.3.22	業務用井戸及び10世帯以上
	その他	H25.7.1	全施設
大阪府	条例	S33.10.13	50人以上または1日最大給水量7.5m3以上のもの
	要領	S60.7.1	50人未満かつ1日最大給水量7.5m3未満のもの
兵庫県	条例	S39.4.1	50人以上等
	要領	H25.4.1	
奈良県			
和歌山県			
鳥取県	要領	H3.7.24	
島根県			
岡山県	要領	H1.4.1	
広島県	要領	H5.12.1	全施設
山口県	要領	H21.4.1	全施設
徳島県	要領	S63.4.1	全施設
香川県	要領	S63.7.19	全施設
愛媛県	要領	S62.7.1	50人以上
高知県			
福岡県			
佐賀県	条例	S35.11.1	50人以上
長崎県			
熊本県	要領	H26.9.1	飲用井戸等
大分県	条例	S33.11.1	居住者50人以上100人以下
	要領	H16.4.1	全施設
宮崎県	要領	S62.4.1	全施設
鹿児島県	条例	H17.4.1	全施設
	要領	H27.4.1	全施設
沖縄県			

保健所設置市	種類	施行日	対象施設
札幌市	要綱	H7.3.31	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
函館市	要領	H1.5.1	全施設
小樽市	要領	H1.1.20	全施設
旭川市	要領	H18.4.1	全施設
青森市	要領	H19.10.1	全施設
八戸市	要領	H25.4.1	全施設
盛岡市	条例	S33.7.10	30人以上
	要領	H25.4.1	全施設
仙台市	条例	S50.7.1	30人以上
	要綱	H12.4.1	30人未満
秋田市	条例	S35.3.30	30人以上
	要領	H10.4.1	30人未満
山形市	要領	H31.4.1	全施設
福島市	条例	H24.12.27	50人超
	要領	H25.4.1	全施設
郡山市	条例	H9.4.1	50人超
いわき市	条例	H11.4.1	50人超
	要領	H12.4.1	50人以下
水戸市	条例	H26.4.1	50人以上
宇都宮市	条例	S38.10.8	50人以上
前橋市	条例	H21.4.1	30人以上
高崎市	条例	H23.4.1	30人以上
さいたま市	条例	S32.4.1	50人以上
川越市	条例	S32.4.1	50人以上
越谷市	条例	S32.4.1	50人以上
	要領	S62.4.1	全施設
川口市	条例	S32.4.1	50人以上
千葉市	条例	H4.4.4	50人以上
船橋市	条例	H15.4.1	50人以上
柏市	条例	H20.4.1	50人以上
八王子市	条例	H19.4.1	全施設
	要綱	H19.4.1	全施設
町田市	条例	H23.4.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
	要綱	H23.4.1	全施設
横浜市	条例	H3.12.25	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
川崎市	条例	H7.10.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
相模原市	条例	H12.4.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
横須賀市	条例	H8.3.27	全施設
	要領	H23.4.1	全施設
藤沢市	条例	H18.4.1	全施設(専ら一戸の住宅に供給するもの等を除く)
茅ヶ崎市	条例	H25.4.1	水道水以外の水を利用する食品営業施設
	要綱	H25.4.1	全施設
新潟市	条例	H12.3.28	水道水以外の水を利用する食品営業施設
	要綱	R3.6.1	水道水以外の水を利用する食品営業施設
富山市	要領	H26.8.22	全施設
金沢市	要領	H16.4.1	全施設
福井市	要領	H6.4.1	全施設
甲府市	条例	H25.4.1	全施設
甲府市	要領	H25.4.1	全施設
長野市	要綱	H16.4.1	全施設
松本市	要綱	H25.4.1	全施設
岐阜市	要綱	H6.3.9	全施設
静岡市	要綱	H15.4.1	全施設
浜松市	要領	H15.4.1	全施設
名古屋市	要綱	S52.1.1	全施設
豊橋市	要領	H12.4.1	全施設

特別区	種類	施行日	対象施設
新　宿　区	要綱	S62.11.18	-
目　黒　区	要綱	S63.4.1	飲用水を供給する井戸等
北　　区	要綱	S63.6.1	全施設
足　立　区	要領	H17.4.1	全施設

保健所設置市	種類	施行日	対象施設
岡　崎　市	要領	H18.9.4	全施設
一　宮　市	要領	H25.4.1	全施設
豊　田　市	その他	H16.2.12	全施設
四 日 市 市	条例	S41.10.1	50人以上
大　津　市	要綱	H21.4.1	全施設
京　都　市	要領	H2.10.29	全施設
大　阪　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	S60.7.1	50人以上
堺　　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	S60.7.1	50人以上
豊　中　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	H24.4.1	全施設
吹　田　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	H15.4.1	全施設
高　槻　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	H15.4.1	全施設
枚　方　市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	H26.4.1	全施設
八　尾　市	条例	S33.10.13	50人以上
寝 屋 川 市	条例	S33.10.13	50人以上
東 大 阪 市	条例	S33.10.13	50人以上
	要領	S63.4.1	全施設
神　戸　市	条例	S39.4.1	50人以上
姫　路　市	条例	S39.4.1	50人以上
	その他	H17.4.1	全施設
尼　崎　市	条例	S39.4.1	50人以上
	要綱	H20.2.1	全施設
明　石　市	条例	S39.4.1	50人以上
	要綱	H25.4.1	50人未満
西　宮　市	条例	S39.4.1	50人以上
	要領	H25.4.1	50人未満
奈　良　市			
和 歌 山 市			
鳥　取　市			
松　江　市			
岡　山　市	要領	H6.4.1	全施設
倉　敷　市			
広　島　市	要領	S62.4.1	50人以上
呉　　市	要綱	S62.4.1	-
福　山　市			
下　関　市			
高　松　市	要綱	H11.12.1	全施設
松　山　市	条例	S38.7.10	50人以上
	要領	S62.7.1	全施設
高　知　市	要綱	H10.4.1	全施設
北 九 州 市			
福　岡　市	要領	S64.1.1	全施設
久 留 米 市			
長　崎　市	要綱	H15.4.1	
佐 世 保 市			
熊　本　市	要綱	H5.7.1	全施設
大　分　市	条例	S33.11.1	50人以上
	要領	H16.4.1	全施設
宮　崎　市	要領	H10.4.1	-
鹿 児 島 市			
那　覇　市			

表 3-27　飲用井戸等に係る要綱等制定状況（保健所設置市以外の市）

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
北海道	室蘭市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	釧路市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	帯広市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	北見市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	夕張市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	網走市	要領	H27.4.1	全施設
北海道	苫小牧市	要領	H1.5.1	-
北海道	芦別市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	江別市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	紋別市	要領	H26.6.2	全施設
北海道	根室市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	千歳市	要領	H27.4.1	全施設
北海道	深川市	要領	H25.12.25	V≦10
北海道	富良野市	要領	H25.4.1	-
北海道	登別市	要領	H28.4.1	-
北海道	恵庭市	要領	H26.1.28	全施設
北海道	伊達市	要領	H25.4.1	全施設
北海道	北広島市	要領	H25.4.1	-
北海道	石狩市	要領	H25.4.1	V≦10
青森県	弘前市	要領	H25.4.1	全施設
青森県	黒石市	要領	H25.4.1	全施設
青森県	五所川原市	要領	H25.4.1	-
青森県	十和田市	要領	H25.4.1	全施設
青森県	三沢市	要領	H26.4.4	-
青森県	むつ市	要綱	H25.4.1	全施設
青森県	平川市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	宮古市	条例	S33.7.10	全施設
岩手県	宮古市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	大船渡市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	花巻市	条例	S33.7.10	全施設
岩手県	北上市	条例	S33.7.10	全施設
岩手県	北上市	要領	H30.5.1	全施設
岩手県	久慈市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	久慈市	要綱	H25.4.1	全施設
岩手県	遠野市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	遠野市	要領	H15.3.31	全施設
岩手県	一関市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	一関市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	陸前高田市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	釜石市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	釜石市	要領	H25.4.1	100人超
岩手県	二戸市	条例	H18.1.1	全施設
岩手県	八幡平市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	八幡平市	要領	H25.4.1	100人超
岩手県	奥州市	要領	H25.4.1	全施設
岩手県	滝沢市	条例	S33.7.10	100人超
岩手県	滝沢市	要領	H26.1.1	100人超
宮城県	石巻市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	塩竈市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	気仙沼市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	白石市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	名取市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	角田市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	多賀城市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	岩沼市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	登米市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	栗原市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	東松島市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	大崎市	条例	S50.7.1	30人以上
宮城県	富谷市	条例	S50.7.1	30人以上
秋田県	能代市	要領	H25.4.1	全施設
秋田県	横手市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	大館市	要領	H27.4.1	全施設
秋田県	男鹿市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	湯沢市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	鹿角市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	由利本荘市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	潟上市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	大仙市	条例	S35.7.4	30人以上

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
秋田県	大仙市	その他	-	-
秋田県	北秋田市	条例	S35.7.1	30人以上
秋田県	にかほ市	要領	H27.4.1	全施設
秋田県	仙北市	条例	S35.7.1	30人以上
山形県	米沢市	条例	S44.3.5	50人以上
山形県	鶴岡市	条例	S44.4.1	50人以上
山形県	酒田市	条例	S44.4.1	50人以上
山形県	新庄市	条例	S44.4.1	50人以上
山形県	新庄市	要領	H3.12.1	50人以上
福島県	会津若松市	条例	H25.4.1	-
福島県	白河市	条例	H25.4.1	51人以上
福島県	須賀川市	条例	H25.4.1	50人超
福島県	須賀川市	条例	H25.4.1	50人超
福島県	喜多方市	要領	H26.11.1	全施設
福島県	相馬市	条例	H24.12.21	51人以上
福島県	二本松市	条例	H25.4.1	51人以上
福島県	二本松市	条例	H25.4.1	51人以上
福島県	田村市	条例	H25.4.1	51人以上
福島県	南相馬市	要領	H26.6.1	全施設
福島県	伊達市	条例	H25.4.1	51人以上
福島県	伊達市	要領	H30.4.1	50人以下
福島県	本宮市	条例	H25.4.1	全施設
福島県	本宮市	要領	H25.4.1	全施設
茨城県	日立市	条例	H26.3.31	50人以上
茨城県	土浦市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	古河市	条例	H25.12.19	50人以上
茨城県	古河市	要綱	H26.3.12	全施設
茨城県	石岡市	条例	H26.3.20	全施設
茨城県	結城市	条例	H26.3.28	全施設
茨城県	龍ケ崎市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	下妻市	条例	H25.12.25	全施設
茨城県	常総市	条例	H26.3.18	-
茨城県	常陸太田市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	常陸太田市	その他	H26.4.1	50人未満
茨城県	高萩市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	北茨城市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	取手市	条例	H26.4.1	-
茨城県	牛久市	条例	H26.4.1	-
茨城県	つくば市	条例	H26.3.25	全施設
茨城県	ひたちなか市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	鹿嶋市	条例	H26.3.19	50人以上
茨城県	潮来市	条例	H26.4.1	-
茨城県	守谷市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	那珂市	条例	H26.4.1	-
茨城県	筑西市	条例	H25.12.25	全施設
茨城県	坂東市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	稲敷市	条例	H26.3.28	全施設
茨城県	稲敷市	その他	H26.3.28	全施設
茨城県	かすみがうら市	条例	H26.4.1	-
茨城県	桜川市	条例	H26.3.18	-
茨城県	行方市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	鉾田市	条例	H26.3.20	-
茨城県	つくばみらい市	条例	H26.4.1	-
茨城県	小美玉市	条例	H26.4.1	-
茨城県	小美玉市	その他	H26.3.31	V≦5
茨城県	笠間市	条例	H26.4.1	全施設
茨城県	笠間市	その他	S45.12.25	-
茨城県	常陸大宮市	条例	H26.3.28	50人未満
茨城県	神栖市	条例	H26.4.1	全施設
栃木県	栃木市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	佐野市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	鹿沼市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	足利市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	日光市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	小山市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	真岡市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	大田原市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	矢板市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	那須塩原市	条例	S38.10.8	50人以上

※V：容量(㎥)

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
栃木県	さくら市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	那須烏山市	条例	S38.10.8	50人以上
栃木県	下野市	条例	S38.10.8	50人以上
群馬県	伊勢崎市	条例	H25.4.1	30人以上
群馬県	太田市	条例	H26.4.1	30人以上
群馬県	沼田市	条例	H25.4.1	30人以上
群馬県	館林市	要領	H25.4.1	30人以上
群馬県	渋川市	要綱	H25.4.1	30人以上
群馬県	藤岡市	条例	H25.4.1	30人以上
群馬県	藤岡市	その他	H25.4.1	-
群馬県	安中市	条例	H25.4.1	全施設
群馬県	みどり市	要綱	H28.3.18	30人以上
埼玉県	熊谷市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	熊谷市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	秩父市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	秩父市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	所沢市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	所沢市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	飯能市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	飯能市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	加須市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	本庄市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	東松山市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	春日部市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	狭山市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	狭山市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	羽生市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	鴻巣市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	深谷市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	上尾市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	草加市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	蕨市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	戸田市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	入間市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	入間市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	朝霞市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	志木市	要領	S62.4.1	全施設
埼玉県	和光市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	新座市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	新座市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	桶川市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	久喜市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	北本市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	北本市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	八潮市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	三郷市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	蓮田市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	蓮田市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	坂戸市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	幸手市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	鶴ヶ島市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	日高市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	日高市	要領	S62.4.1	50人以上
埼玉県	吉川市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	ふじみ野市	条例	S32.4.1	50人以上
埼玉県	白岡市	要領	S62.4.1	全施設
千葉県	銚子市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	市川市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	館山市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	木更津市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	松戸市	条例	H24.12.1	100人以下
千葉県	野田市	条例	H26.4.1	50人以上
千葉県	茂原市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	成田市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	佐倉市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	東金市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	旭市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	習志野市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	勝浦市	条例	H24.12.14	50人以上
千葉県	市原市	条例	H25.4.1	全施設

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
千葉県	流山市	その他	H25.4.1	全施設
千葉県	八千代市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	鴨川市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	鎌ケ谷市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	君津市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	富津市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	四街道市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	袖ケ浦市	条例	H25.4.1	100人以下
千葉県	八街市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	印西市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	白井市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	富里市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	南房総市	条例	H25.4.1	全施設
千葉県	匝瑳市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	匝瑳市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	香取市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	山武市	条例	H25.4.1	50人以上
千葉県	いすみ市	条例	H25.4.1	50人以上
東京都	立川市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	立川市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	武蔵野市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	武蔵野市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	三鷹市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	三鷹市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	青梅市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	青梅市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	府中市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	府中市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	昭島市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	昭島市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	調布市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	調布市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	小金井市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	小金井市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	小平市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	小平市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	日野市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	日野市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	東村山市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	東村山市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	国分寺市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	国分寺市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	国立市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	国立市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	福生市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	福生市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	狛江市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	狛江市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	東大和市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	東大和市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	清瀬市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	清瀬市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	東久留米市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	東久留米市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	武蔵村山市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	武蔵村山市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	多摩市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	多摩市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	稲城市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	稲城市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	羽村市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	羽村市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	あきる野市	条例	H15.4.1	全施設
東京都	あきる野市	要綱	S62.10.1	全施設
東京都	西東京市	条例	H15.4.1	全施設
神奈川県	平塚市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	鎌倉市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	小田原市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	逗子市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	三浦市	条例	H25.4.1	全施設

※V：容量(m^3)

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
神奈川県	秦野市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	厚木市	条例	H25.4.1	100人以下
神奈川県	大和市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	伊勢原市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	海老名市	条例	H24.12.25	100人以下
神奈川県	座間市	条例	H25.4.1	全施設
神奈川県	南足柄市	条例	R2.8.1	全施設
神奈川県	綾瀬市	条例	H25.4.1	全施設
新潟県	柏崎市	条例	H19.4.1	100人以下
新潟県	胎内市	要領	H25.4.1	全施設
石川県	加賀市	要領	H27.4.1	全施設
石川県	羽咋市	要領	H25.4.1	-
石川県	白山市	要領	H30.1.1	全施設
石川県	能美市	要領	S63.4.1	-
福井県	大野市	要領	H25.4.1	全施設
山梨県	富士吉田市	要領	H25.4.1	全施設
山梨県	都留市	要領	H25.4.1	全施設
山梨県	大月市	要領	H25.4.1	100人以下
山梨県	韮崎市	要領	R2.4.1	全施設
山梨県	南アルプス市	条例	H25.4.1	全施設
山梨県	北杜市	条例	H16.11.1	全施設
山梨県	甲斐市	要領	H25.4.1	全施設
山梨県	上野原市	要領	H25.4.1	全施設
長野県	上田市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	岡谷市	条例	H25.4.1	全施設
長野県	岡谷市	要綱	H25.4.1	50人以上
長野県	飯田市	要綱	H29.4.1	全施設
長野県	諏訪市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	須坂市	要綱	H26.3.28	50人以上
長野県	小諸市	要領	H25.4.1	全施設
長野県	伊那市	条例	H18.3.31	全施設
長野県	伊那市	要綱	H26.10.20	全施設
長野県	中野市	条例	H17.4.1	全施設
長野県	中野市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	大町市	要領	H25.4.1	全施設
長野県	飯山市	要綱	H29.9.1	全施設
長野県	茅野市	要領	H25.4.1	全施設
長野県	塩尻市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	佐久市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	千曲市	要綱	H25.4.1	全施設
長野県	東御市	その他	H25.4.1	全施設
長野県	安曇野市	要領	R4.4.1	全施設
岐阜県	美濃加茂市	要綱	R6.3.29	-
岐阜県	各務原市	要綱	H25.4.1	全施設
静岡県	富士市	要領	H26.6.19	全施設
静岡県	湖西市	その他	S54.7.20	全施設
静岡県	伊豆市	条例	H16.4.1	全施設
愛知県	半田市	要綱	H25.4.1	100人以下
愛知県	春日井市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	豊川市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	碧南市	その他	H25.4.1	全施設
愛知県	刈谷市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	安城市	要領	H25.4.1	-
愛知県	西尾市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	蒲郡市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	常滑市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	江南市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	小牧市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	稲沢市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	東海市	要領	H26.4.1	全施設
愛知県	大府市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	知多市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	知立市	条例	H25.4.1	全施設
愛知県	尾張旭市	その他	H25.4.1	-
愛知県	岩倉市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	豊明市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	日進市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	田原市	要領	H25.4.1	全施設
愛知県	北名古屋市	要綱	H25.4.1	全施設
愛知県	弥富市	要領	H25.4.1	-

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
愛知県	あま市	要領	H25.4.1	全施設
三重県	津市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	伊勢市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	松阪市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	桑名市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	鈴鹿市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	名張市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	尾鷲市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	亀山市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	鳥羽市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	熊野市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	いなべ市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	志摩市	条例	S41.10.1	50人以上
三重県	伊賀市	条例	S41.10.1	50人以上
滋賀県	彦根市	条例	M33.1.0	-
滋賀県	草津市	条例	S53.7.17	全施設
京都府	舞鶴市	要領	H26.1.1	全施設
京都府	城陽市	要領	H25.4.1	全施設
京都府	八幡市	その他	H25.7.1	全施設
大阪府	岸和田市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	岸和田市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	池田市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	池田市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	泉大津市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	泉大津市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	貝塚市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	貝塚市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	守口市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	守口市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	茨木市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	茨木市	要領	H29.4.1	全施設
大阪府	泉佐野市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	泉佐野市	要領	H26.4.1	全施設
大阪府	富田林市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	河内長野市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	河内長野市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	松原市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	松原市	要領	H25.4.1	-
大阪府	大東市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	大東市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	和泉市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	和泉市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	箕面市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	箕面市	要綱	H25.4.1	全施設
大阪府	柏原市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	柏原市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	羽曳野市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	羽曳野市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	門真市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	門真市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	摂津市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	摂津市	要綱	H29.4.1	全施設
大阪府	高石市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	高石市	要領	H25.4.1	50人以上
大阪府	藤井寺市	要綱	H29.4.1	全施設
大阪府	泉南市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	泉南市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	四條畷市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	四條畷市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	交野市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	交野市	要領	H25.4.1	全施設
大阪府	大阪狭山市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	大阪狭山市	要領	H25.4.1	-
大阪府	阪南市	条例	S33.10.13	50人以上
大阪府	阪南市	要領	H25.1.1	全施設
兵庫県	洲本市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	芦屋市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	伊丹市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	相生市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	豊岡市	条例	S39.4.1	50人以上

※V：容量(m^3)

都道府県	市	種類	施行日	対象施設
兵庫県	加古川市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	加古川市	要領	H25.4.1	全施設
兵庫県	赤穂市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	西脇市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	宝塚市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	三木市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	高砂市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	高砂市	要綱	H25.4.1	全施設
兵庫県	川西市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	小野市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	三田市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	加西市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	篠山市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	篠山市	要領	H25.4.1	全施設
兵庫県	養父市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	丹波市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	南あわじ市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	朝来市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	淡路市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	淡路市	要領	H25.3.29	全施設
兵庫県	宍粟市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	加東市	条例	S39.4.1	50人以上
兵庫県	加東市	要綱	H28.3.31	全施設
兵庫県	たつの市	条例	S39.4.1	50人以上
岡山県	津山市	要領	H25.4.1	全施設
岡山県	笠岡市	要領	H25.4.1	全施設
岡山県	井原市	要領	H25.4.1	全施設
岡山県	総社市	要領	H26.4.1	全施設
岡山県	真庭市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	宇部市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	山口市	要領	H26.4.1	全施設
山口県	萩市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	防府市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	下松市	要綱	H25.4.1	全施設
山口県	岩国市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	光市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	柳井市	要領	H25.4.1	全施設
山口県	美祢市	要領	H25.3.28	全施設
山口県	周南市	要領	H25.4.1	全施設
徳島県	徳島市	要領	H26.4.1	全施設
徳島県	鳴門市	要領	H25.4.1	全施設
徳島県	小松島市	要領	H26.4.2	全施設
徳島県	阿南市	条例	H25.4.1	全施設
徳島県	阿波市	要領	H25.4.1	全施設
徳島県	三好市	条例	H25.4.1	全施設
香川県	丸亀市	要領	H25.4.1	全施設
香川県	坂出市	要綱	H30.4.1	全施設
香川県	観音寺市	要領	H30.4.1	全施設
愛媛県	今治市	条例	S38.7.10	50人以上
愛媛県	東温市	要領	H25.3.29	全施設
高知県	室戸市	要綱	H25.4.1	全施設
高知県	安芸市	要綱	R4.6.1	全施設
高知県	土佐市	要綱	H25.4.1	全施設
高知県	須崎市	要綱	H25.4.1	V≦10
高知県	宿毛市	条例	H25.4.1	全施設
高知県	土佐清水市	要綱	H25.3.29	全施設
高知県	香南市	要綱	H25.4.1	全施設
高知県	香美市	要綱	H25.3.14	全施設
福岡県	大牟田市	要領	H11.4.1	全施設
福岡県	直方市	要領	H25.4.1	全施設
福岡県	豊前市	要領	H26.4.1	全施設
福岡県	春日市	要領	H25.4.1	全施設
福岡県	大野城市	要領	H25.4.1	全施設
福岡県	宗像市	要領	H25.4.1	全施設
福岡県	福津市	要領	H25.4.1	-
福岡県	糸島市	要領	H25.4.1	全施設
佐賀県	佐賀市	条例	H25.4.1	全施設
佐賀県	唐津市	条例	H25.4.1	50人以上
佐賀県	多久市	条例	H25.4.1	50人以上
佐賀県	武雄市	条例	H25.4.1	50人以上
佐賀県	小城市	条例	H25.4.1	全施設
佐賀県	神埼市	条例	H5.4.1	50人以上
長崎県	諫早市	条例	H26.4.1	-
長崎県	平戸市	条例	H17.10.1	全施設
長崎県	南島原市	条例	H27.12.21	全施設
熊本県	人吉市	条例	H26.9.1	-
熊本県	山鹿市	要綱	H17.1.15	全施設
大分県	別府市	要綱	H25.4.1	全施設
大分県	日田市	要綱	H25.3.26	全施設
大分県	佐伯市	要領	H25.4.1	全施設
大分県	杵築市	要領	H16.4.1	全施設
大分県	宇佐市	条例	H17.3.31	全施設
大分県	由布市	要綱	H25.4.1	全施設
大分県	国東市	要領	H25.4.1	全施設
宮崎県	都城市	要領	H25.6.18	全施設
宮崎県	小林市	条例	H23.10.1	全施設
鹿児島県	枕崎市	条例	S54.3.31	全施設
鹿児島県	薩摩川内市	条例	H26.6.1	全施設
鹿児島県	霧島市	要領	H27.4.1	全施設
沖縄県	うるま市	要綱	H25.3.27	全施設
沖縄県	宮古島市	条例	H24.3.30	全施設

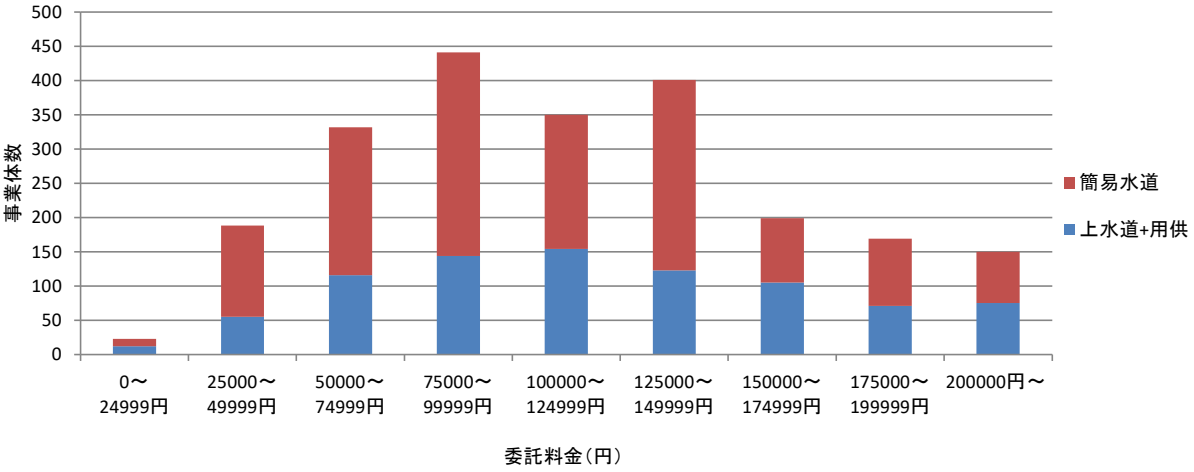


図 3-13　委託料金（1 地点で 51 項目検査を 1 回測定する場合の税抜金額）

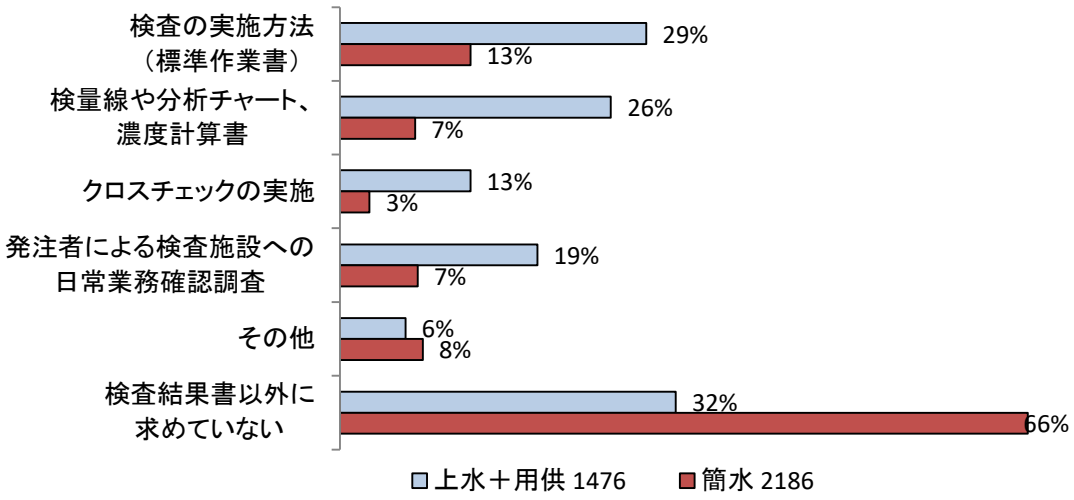


図 3-14　水質検査結果書以外に求めている事項

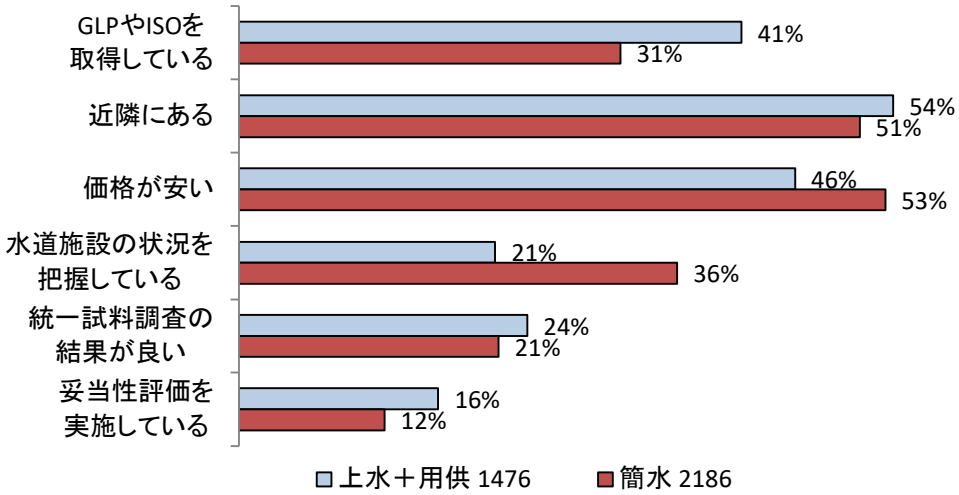


図 3-15　委託先選定の際の留意事項

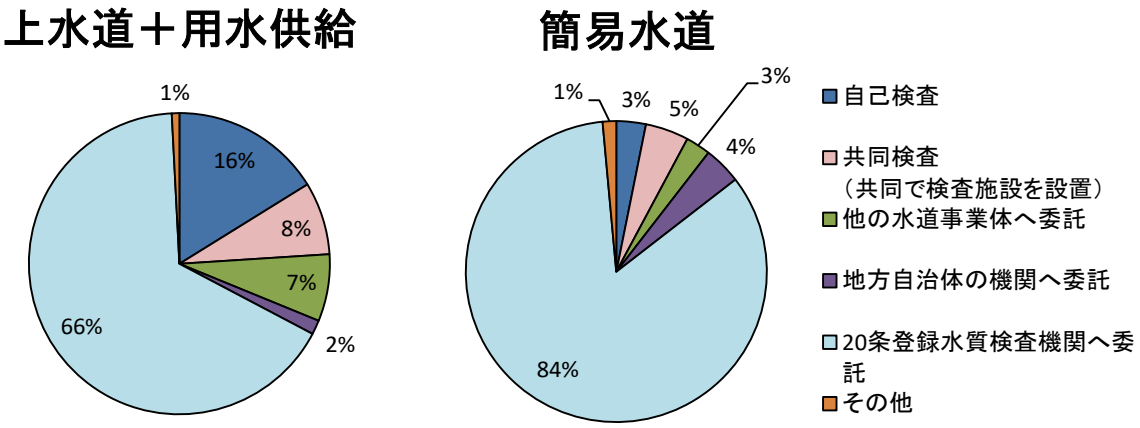


図 3-16　水質検査の実施状況

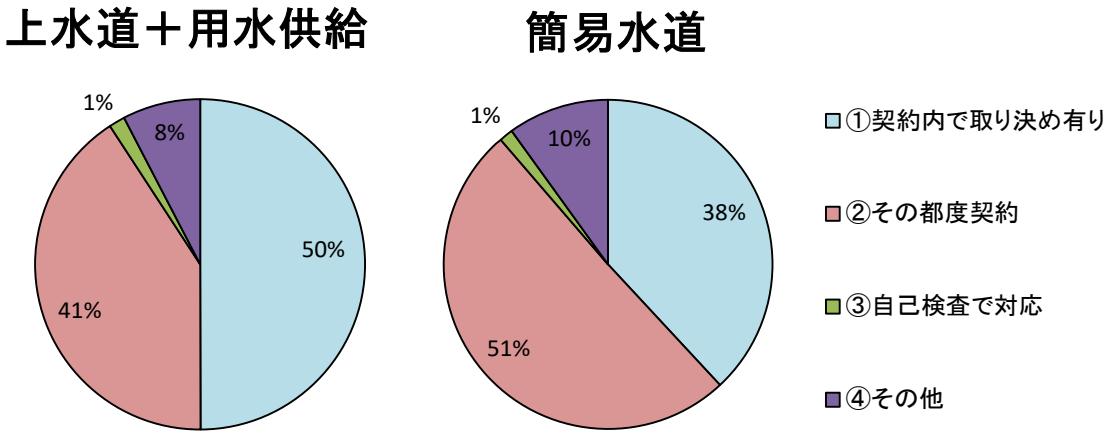


図 3-17　緊急時の水質検査

3.6.　水安全計画の策定状況等に関する調査

3.6.1.　水安全計画の策定状況

水安全計画の策定状況等に関する調査結果（令和 6 年 3 月末）を表 3-28～表 3-29、図 3-18 に示す。

表 3-28　水安全計画策定状況(事業別)

		上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
回収状況	事業数	1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
	回答あり	1,310 (99.7%)	2,287 (95.9%)	82 (100.0%)	3,679 (97.3%)	1,392 (99.7%)
	回答なし	4 (0.3%)	99 (4.1%)	0 (0.0%)	103 (2.7%)	4 (0.3%)
※策定・進捗状況	事業数	1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
	着手状況	1,045 (79.5%)	1,176 (49.3%)	80 (97.6%)	2,301 (60.8%)	1,125 (80.6%)
	策定済	683 (52.0%)	293 (12.3%)	74 (90.2%)	1,050 (27.8%)	757 (54.2%)
	策定中	46 (3.5%)	49 (2.1%)	0 (0.0%)	95 (2.5%)	46 (3.3%)
	3年以内に策定予定	316 (24.0%)	834 (35.0%)	6 (7.3%)	1,156 (30.6%)	322 (23.1%)
	未着手	269 (20.5%)	1,210 (50.7%)	2 (2.4%)	1,481 (39.2%)	271 (19.4%)

※策定・進捗状況の異なる複数回答がある事業については、進捗の進んでいる水安全計画をもとに集計した。

回答あり：3年以内に策定予定なしの理由の回答を含む（昨年度までの集計方法は、**3年以内に策定予定なしの回答を含まない**）

未着手：策定予定なしの理由の回答と回答なしの合計

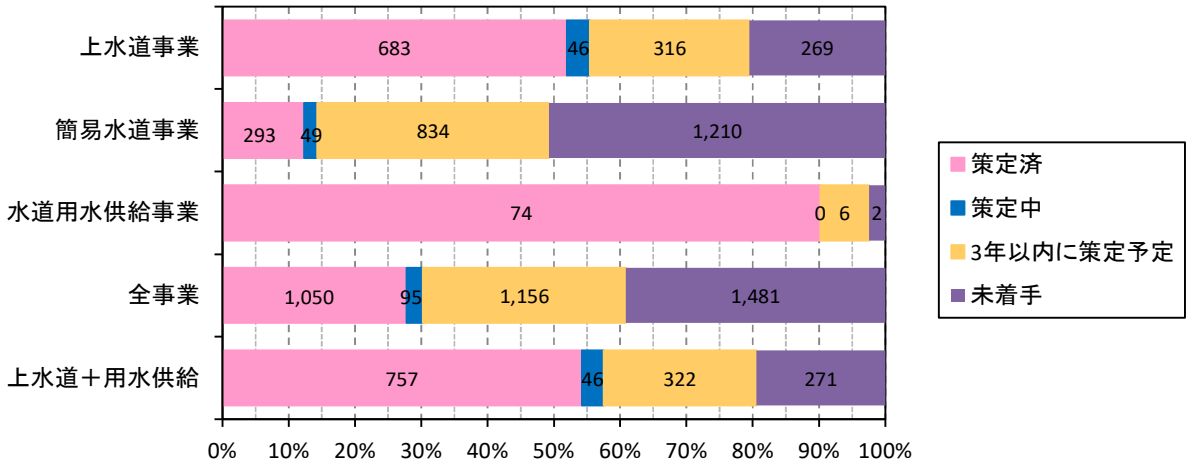


図 3-18　水安全計画策定状況(事業別)

表 3-29　水安全計画策定状況(事業者の形態別)

		上水道事業（一事業）のみ経営	上水道事業（複数事業）のみ経営	上水道事業のみ経営	簡易水道事業（一事業）のみ経営	簡易水道事業（複数事業）のみ経営	水道用水供給事業のみ経営	上水道事業と簡易水道事業を経営	上水道事業と水道用水供給事業を経営	上水道事業と水道用水供給事業と簡易水道事業を経営	簡易水道事業と水道用水供給事業を経営	全事業者	上水道事業又は水道用水供給事業を経営	簡易水道事業のみ経営
回収状況	事業数	1,015 (100.0%)	15 (100.0%)	1,030 (100.0%)	847 (100.0%)	82 (100.0%)	57 (100.0%)	198 (100.0%)	10 (100.0%)	1 (100.0%)	0 －	2,225 (100.0%)	1,296 (100.0%)	929 (100.0%)
	回答あり	1,012 (99.7%)	15 (100.0%)	1,027 (99.7%)	812 (95.9%)	80 (97.6%)	57 (100.0%)	196 (99.0%)	10 (100.0%)	1 (100.0%)	0 －	2,183 (98.1%)	1,291 (99.6%)	892 (96.0%)
	回答なし	3 (0.3%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)	35 (4.1%)	2 (2.4%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 －	42 (1.9%)	5 (0.4%)	37 (4.0%)
※策定・進捗状況	事業数	1,015 (100.0%)	15 (100.0%)	1,030 (100.0%)	847 (100.0%)	82 (100.0%)	57 (100.0%)	198 (100.0%)	10 (100.0%)	1 (100.0%)	0 －	2,225 (100.0%)	1,296 (100.0%)	929 (100.0%)
	着手状況	816 (80.4%)	12 (80.0%)	828 (80.4%)	274 (32.3%)	40 (48.8%)	57 (100.0%)	148 (74.7%)	9 (90.0%)	1 (100.0%)	0 －	1,357 (61.0%)	1,043 (80.5%)	314 (33.8%)
	策定済	541 (53.3%)	8 (53.3%)	549 (53.3%)	41 (4.8%)	9 (11.0%)	52 (91.2%)	81 (40.9%)	8 (80.0%)	1 (100.0%)	0 －	741 (33.3%)	691 (53.3%)	50 (5.4%)
	策定中	38 (3.7%)	0 (0.0%)	38 (3.7%)	13 (1.5%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	6 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 －	58 (2.6%)	44 (3.4%)	14 (1.5%)
	3年以内に策定予定	237 (23.3%)	4 (26.7%)	241 (23.4%)	220 (26.0%)	30 (36.6%)	5 (8.8%)	61 (30.8%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 －	558 (25.1%)	308 (23.8%)	250 (26.9%)
	未着手	199 (19.6%)	3 (20.0%)	202 (19.6%)	573 (67.7%)	42 (51.2%)	0 (0.0%)	50 (25.3%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 －	868 (39.0%)	253 (19.5%)	615 (66.2%)

※策定・進捗状況の異なる複数回答がある事業については、進捗の進んでいる水安全計画をもとに集計した。

回答あり:3年以内に策定予定なしの理由の回答を含む(昨年度までの集計方法は、**3年以内に策定予定なしの回答を含まない**)

未着手:策定予定なしの理由の回答と回答なしの合計

3.6.2.　水安全計画の策定方法

水道事業者が水安全計画を策定するにあたって、水源、取水情報の収集方法、水源流域図の作成有無、水源汚染に関するリスクレベルの設定方法、管理措置の設定方法、水源汚染に関して設定した対応方法を調査した。回答状況を表 3-30 に示す。

表 3-30　水安全計画の策定方法

		上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数		1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
水源、取水情報の収集方法	回答あり	499 (38.0%)	124 (5.2%)	47 (57.3%)	670 (17.7%)	546 (39.1%)
	回答なし	815 (62.0%)	2,262 (94.8%)	35 (42.7%)	3,112 (82.3%)	850 (60.9%)
水源流域図の作成有無	回答あり	517 (39.3%)	162 (6.8%)	48 (58.5%)	727 (19.2%)	565 (40.5%)
	回答なし	797 (60.7%)	2,224 (93.2%)	34 (41.5%)	3,055 (80.8%)	831 (59.5%)
水源汚染に関するリスクレベルの設定方法	回答あり	482 (36.7%)	125 (5.2%)	48 (58.5%)	655 (17.3%)	530 (38.0%)
	回答なし	832 (63.3%)	2,261 (94.8%)	34 (41.5%)	3,127 (82.7%)	866 (62.0%)
水源汚染に関して設定した管理措置(予防)	回答あり	450 (34.2%)	107 (4.5%)	43 (52.4%)	600 (15.9%)	493 (35.3%)
	回答なし	864 (65.8%)	2,279 (95.5%)	39 (47.6%)	3,182 (84.1%)	903 (64.7%)
水源汚染に関して設定した対応方法	回答あり	491 (37.4%)	118 (4.9%)	46 (56.1%)	655 (17.3%)	537 (38.5%)
	回答なし	823 (62.6%)	2,268 (95.1%)	36 (43.9%)	3,127 (82.7%)	859 (61.5%)

1）水源、取水情報の収集方法

水源、取水情報の収集方法について集計した結果を表 3-31 及び図 3-19、主な自由記述を表 3-32 に示す。

表 3-31　水源、取水情報の収集方法

	上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数	1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
回答あった事業数	499 (38.0%)	124 (5.2%)	47 (57.3%)	670 (17.7%)	546 (39.1%)
回答内容	577 (100.0%)	126 (100.0%)	60 (100.0%)	763 (100.0%)	637 (100.0%)
① データベースの活用	165 (28.6%)	16 (12.7%)	22 (36.7%)	203 (26.6%)	187 (29.4%)
② 関係機関との連携	239 (41.4%)	25 (19.8%)	24 (40.0%)	288 (37.7%)	263 (41.3%)
③ 監視･モニタリング	64 (11.1%)	30 (23.8%)	8 (13.3%)	102 (13.4%)	72 (11.3%)
④ 過去の実績に基づく情報	21 (3.6%)	2 (1.6%)	4 (6.7%)	27 (3.5%)	25 (3.9%)
⑤ 収集していない･該当なし	79 (13.7%)	48 (38.1%)	1 (1.7%)	128 (16.8%)	80 (12.6%)
⑥ その他	9 (1.6%)	5 (4.0%)	1 (1.7%)	15 (2.0%)	10 (1.6%)

※回答内容は記述方式の回答を分類したもので、複数該当する場合は該当するすべての回答に加算している

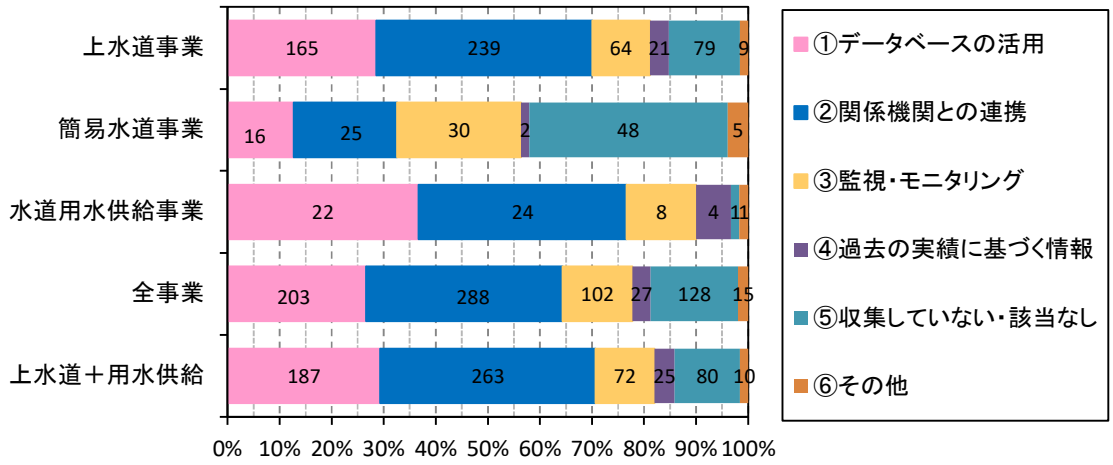


図 3-19　水源、取水情報の収集方法

表 3-32　水源、取水情報の収集方法に関する主な自由記述

分類	水源、取水情報の収集方法
①データベースの活用	・生活系の汚染源情報は、「国勢調査」及び「一般廃棄物処理実態調査」から把握している。 ・工業系の汚染源情報は、「PRTR」から把握している。 ・国土数値情報より、土地利用状況、産業廃棄物処理施設の位置及び一般廃棄物処理施設の位置を把握している。 ・国勢調査より 500m メッシュ人口分布及び生活排水の処理形態別実行割合で生活系の汚濁源を把握している。

分類	水源、取水情報の収集方法
	・農林業センサスより、農業集落における家畜等経営体数を把握している。 ・PRTR のほか、環境部局に特定施設情報等の提供を依頼し、把握している。 ・畜産系の汚染源情報は、「世界農林業センサス」から農・畜産業の立地場所を把握している。 ・農薬に関する情報は、「化学物質データベース EwbKis-Plus」から把握している。 ・アクアネット大阪を活用している。 ・福岡県 HP 及び北九州市オープンデータより水質汚濁防止法に基づく特定事業場の立地場所を把握している。 ・県が HP 上に公開している「一般廃棄物処理事業のまとめ」「特定事業場等名簿」を参照している。また、5 年に 1 度、情報の更新をチェックし、本計画の参考資料として見直している。
②関係機関との連携	・廃棄物部局に情報提供を依頼し、廃棄物処理施設の立地場所を把握している。 ・河川管理者より、水質検査結果の情報を提供していただいている。 ・河川管理者や流域の行政機関の間で連絡網を整備している。 ・取水水源流域保全協議会に参画し、廃棄物処理施設、畜産施設、下水施設、旧鉱山、各種工事の情報を共有、把握している。 ・浄水受水分については、水源から配水場への送水管までの情報については送水先の水安全計画を参照した。 ・保健所に情報提供を依頼し、汚染リスクのある特定施設を把握している。ただし、セキュリティ上の観点から水安全計画には記載せず内部資料としている。 ・千歳川水系水質保全連絡会議を通して石狩振興局および空知総合振興局から水質汚濁防止法の特定施設の情報（所在地、有害物質の種類）を収集した。 ・消防部局に情報提供を依頼し、危険物施設所有事業所を把握している。 ・工事や農薬散布等が確定した時点で事前に協議を行い、汚染源の可能性がある立地場所を把握している。 ・水道施設管理委託業者において管理報告等を収集している。 ・水道水源の集水区域については水資源保全地域の指定を受け、土地売買や土地利用情報を確認している。 ・流域・保護区域内に関連する開発、保全計画等を収集した。 ・水源域に汚染源となる施設がないか、役場内関係部署から聴取している。 ・水源流域の保健所等に依頼し、水濁法に基づく特定事業場を把握している。 ・水道周辺のスキー場、宿泊施設、家畜等の所在地の運営状況を把握している。 ・他部署との連携により市内汚染源調査を水質担当が実施し、下水道法上の特定施設、有害物質使用特定施設、PRTR 情報、畜産場所在地および浄水施設との位置関係を地図にまとめている。 ・廃棄物部局に情報提供依頼し、廃棄物処理施設の立地場所を把握してい

分類	水源、取水情報の収集方法
	る。 ･水源井から半径 1,000m 程度の範囲内にある畜産業や農業を行っている施設、工場、下水処理施設等を洗い出し、水源への影響が懸念される状況であるかをそれぞれの関係行政部局に照会している。 ・廃棄物部局と連携し、水源上流における各汚染源情報の収集に努めている。
③監視・モニタリング	･年 1 回の水源地調査及び水源を同じくする事業体と情報を共有している。 ・ダムと着水井の中間に自動水質監視装置を設置し、リアルタイムで監視している。 ・水源水質調査、水源地巡回点検（定期・臨時）、24 時間水質計器測定を行っている。
④過去の実績に基づく情報	・流域水質事故調書を元に取水流域水質事故一覧にまとめ、影響の範囲を確認している。
⑥その他	・汚染源マップを作成している。

2）水源流域図の有無

水源流域図の有無について集計した結果を表 3-33 及び図 3-20 に示す。

表 3-33　水源流域図の有無

	上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数	1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
回答あった事業数	517 (39.3%)	162 (6.8%)	48 (58.5%)	727 (19.2%)	565 (40.5%)
水源流域図の有無	517 (100.0%)	162 (100.0%)	48 (100.0%)	727 (100.0%)	565 (100.0%)
有	214 (41.4%)	42 (25.9%)	33 (68.8%)	289 (39.8%)	247 (43.7%)
無	303 (58.6%)	120 (74.1%)	15 (31.3%)	438 (60.2%)	318 (56.3%)

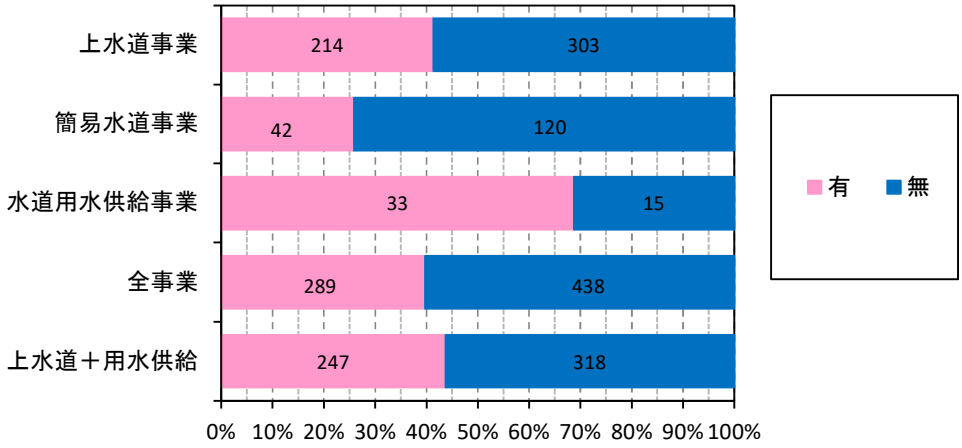


図 3-20　水源流域図の有無

3）水源汚染に関するリスクレベルの設定方法

水源汚染に関するリスクレベルの設定方法を表 3-34 及び図 3-21、主な自由記述を表 3-35 に示す。

表 3-34　水源汚染に関するリスクレベルの設定方法

	上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数	1,314 (100.0%)	2,386 (100.0%)	82 (100.0%)	3,782 (100.0%)	1,396 (100.0%)
回答あった事業数	482 (36.7%)	125 (5.2%)	48 (58.5%)	655 (17.3%)	530 (38.0%)
回答内容	512 (100.0%)	127 (100.0%)	53 (100.0%)	692 (100.0%)	565 (100.0%)
① 水質調査や特定の有害物質を活用	79 (15.4%)	6 (4.7%)	11 (20.8%)	96 (13.9%)	90 (15.9%)
② 過去の災害や事故を活用	52 (10.2%)	17 (13.4%)	6 (11.3%)	75 (10.8%)	58 (10.3%)
③ 運転員の経験を活用	17 (3.3%)	5 (3.9%)	3 (5.7%)	25 (3.6%)	20 (3.5%)
④ 設定方法記載なし･未設定	335 (65.4%)	94 (74.0%)	28 (52.8%)	457 (66.0%)	363 (64.2%)
⑤ その他	29 (5.7%)	5 (3.9%)	5 (9.4%)	39 (5.6%)	34 (6.0%)

※回答内容は記述方式の回答を分類したもので、複数該当する場合は該当するすべての回答に加算している

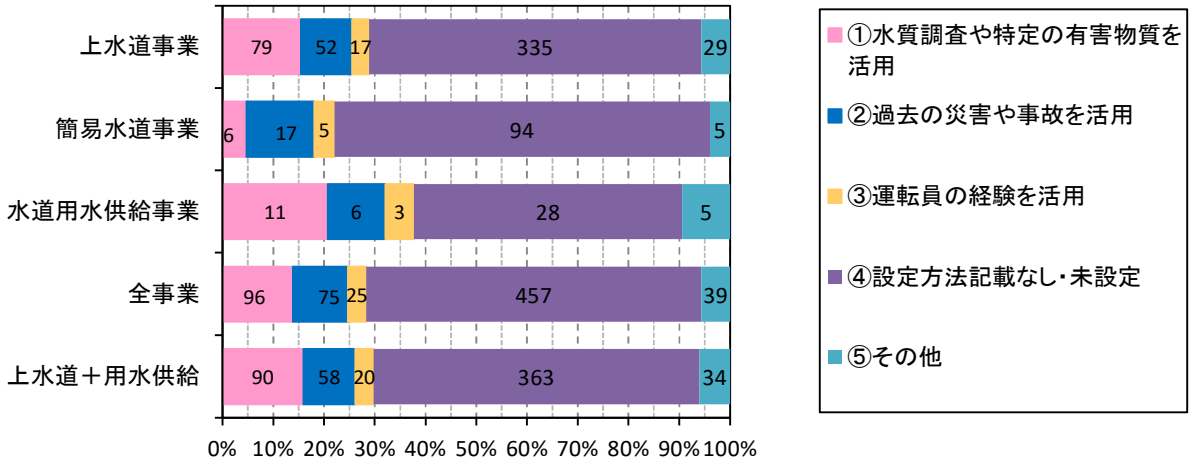


図 3-21　水源汚染に関するリスクレベルの設定方法

表 3-35　水源汚染に関するリスクレベルの設定方法に関する主な自由記述

分類	水源汚染に関するリスクレベルの設定方法
①水質調査や特定の有害物質を活用	・原水中に含まれる有害物質が浄水処理による除去が可能であるか、被害が水道水の性状を損なうものであるか、健康に関する項目が基準を超過するものであるか等によりレベルを設定した。 ・水質測定結果の基準値等に対する割合が高くなる頻度や、職員の経験などを参考とし影響程度が取るに足らないものは、発生頻度が多くても問題ないので、レベル１とした。一方、甚大な影響が出るおそれがある場合は、滅多に起こらないものでも発生すれば問題は大きいのでレベル５とした。 ・過去の水質検査結果や流域背景を考慮し、一般的な危害原因事象を想定した。 ・特定事業所ごとの有害物質を把握し、過去の発生事例を基に設定した。 ・対象物質が PRTR 制度対象か否か、また、PRTR 制度の対象物質の場合は、公共用水域への最大排出事業者の年間排出量が 24 時間で全て排出された場合の濃度が水質基準を超過するか否かでリスクレベルを評価した。 ・水質検査結果から得た発生頻度と、IARC,GHS,水質基準項目の分類から得た影響程度を設定に活用した。 ・水源地周辺の汚濁源調査を行い、リスクレベルを設定した。 ・シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレンとトリクロロエチレンについては、過去に原水で高い値を示しており、大腸菌等とともに注視している。 ・水源が被圧地下水であるため、鉄・マンガンに係る危害原因事象を想定している。 ・取水口直上施設の農薬使用情報を入手し、設定に活用している。 ・入手した汚染源情報から、有害物質の種類や貯蔵量、排出量を把握し、汚染源から取水口へ到達した場合の有害物質の濃度を算出した。 ・ダムの富栄養化や野生動物からの耐塩素性病原生物汚染を考慮した。 ・毒物、廃油等油脂類、異臭味で判定基準を設定した。
②過去の災害や事故を活用	・過去水源汚染事故を発生させた事業所等の情報より、汚染物質の種類を確認し設定に活用している。また各事業所から取水地点までの到達時間を算出し設定に活用した。 ・各水源地及び水道施設周辺の自然環境や住宅、工場を調査し、また過去の災害や事故を参考にした。それらを踏まえリスクレベルを設定した。 ・これまでに蓄積してきた水質検査結果及び水質事故に関連する資料を整理、分析して設定した。 ・特定事業場ごとに扱っている有害物質等、水源事故等発生頻度及び浄水施設への影響程度により設定した。 ・特定事業場の情報収集に際し、特定事業場ごとの違反歴／指導歴／事故歴の情報を入手し、設定に活用。特定事業場の情報収集に際し、特定事業場ごとの有害物資の種類及びその最大貯蔵量を入手し、各事業場からの万一の流出発生から取水口への流達に要する最短時間を算定し、設定

分類	水源汚染に関するリスクレベルの設定方法
	に活用した。 ・流域すべてが産業活動の盛んな地域であり、特定の事象の想定は困難である。過去の水源事故を参考に、すべての事象が起こる可能性があると想定してレベルを設定した。 ・全量受水であるため用水供給事業体側で水質事故が発生した場合には、断水となるケースが想定されるため、用水供給事業体の水質事故においても危害要因として設定している。
③運転員の経験を活用	・危害原因事象の各発生頻度について、施設運転員等の経験により分類し、設定に活用した。 ・水質検査結果、過年度の水質事故事例、関係者の経験に基づいて的確に設定されているか。他の危害事象とのバランスはとれているか。” ・水質測定結果の基準値等に対する割合が高くなる頻度の解析や浄水場運転員、関係者の経験などを参考にした。 ・現地や周辺状況、担当職員からの聞き取り、過去の水質検査データから設定した。 ・収集した資料及び浄水場運転の中で経験している危害から水源で想定される危害を抽出。その発生頻度及び影響の大きさから危害レベル判別表を用いて評価した。 ・抽出した危害原因事象について、発生頻度及び影響程度を検討してリスクレベルを設定した。発生頻度の特定にあたっては、水質検査結果の基準値等に対する割合及び、維持管理担当者、企業局職員の過去の経験等を参考に設定した。
⑤その他	・化学物質流出などによる汚染の可能性が低い水源のため、自然現象によるリスクを主に勘案した。 ・水源流域図に特定事業場の位置を示すことで、汚染源の可能性がある箇所をすぐに把握できるようにした。 ・水源流域に関わらず広く上流域全体の情報を収集した。 ・廃棄物部局に情報提供を依頼し、廃棄物処理施設の立地場所を把握した。 ・基準値の 1/10 を超過した検査項目がある場合、委託業者からの連絡を受け早期に対応できるようにしている。 ・これまでの水質試験結果、水源及び水道システムに関する各種資料、技術職員の経験を参考にした。 ・家畜業事業場の情報収集に関し、庁内関係部署からの情報を活用した。 ・工業、農業、畜産業等の情報から考えられる汚染、浄水処理プロセス（塩素注入）、施設の維持管理のほか、気象や事故等の因子にも配慮して設定した。また、過去の水質検査結果を基に、これに関連する項目も抽出して設定した。 ・下水処理水の排水基準を設定に活用した。

4）管理措置の設定方法（予防）

管理措置の設定方法（予防）を表 3-36 及び図 3-22、主な自由記述を表 3-37 に示す。

表 3-36　管理措置の設定方法（予防）

	上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数	1,314（100.0%）	2,386（100.0%）	82（100.0%）	3,782（100.0%）	1,396（100.0%）
回答あった事業数	450（ 34.2%）	107（ 4.5%）	43（ 52.4%）	600（ 15.9%）	493（ 35.3%）
回答内容	551（100.0%）	156（100.0%）	49（100.0%）	756（100.0%）	600（100.0%）
① 水源について（水源保護区域の設定、水源保全の啓発・要望活動等）	177（ 32.1%）	47（ 30.1%）	20（ 40.8%）	244（ 32.3%）	197（ 32.8%）
② 水源について（水源水質調査、排水の水質試験、汚濁負荷源調査等）	33（ 6.0%）	16（ 10.3%）	9（ 18.4%）	58（ 7.7%）	42（ 7.0%）
③ 浄水場について（監視や定期水質調査等）	151（ 27.4%）	42（ 26.9%）	13（ 26.5%）	206（ 27.2%）	164（ 27.3%）
④ 給配水・貯水槽について（給水栓・貯水槽における情報提供等）	37（ 6.7%）	14（ 9.0%）	1（ 2.0%）	52（ 6.9%）	38（ 6.3%）
⑤ 実施していない	91（ 16.5%）	19（ 12.2%）	5（ 10.2%）	115（ 15.2%）	96（ 16.0%）
⑥ その他	62（ 11.3%）	18（ 11.5%）	1（ 2.0%）	81（ 10.7%）	63（ 10.5%）

※回答内容は記述方式の回答を分類したもので、複数該当する場合は該当するすべての回答に加算している

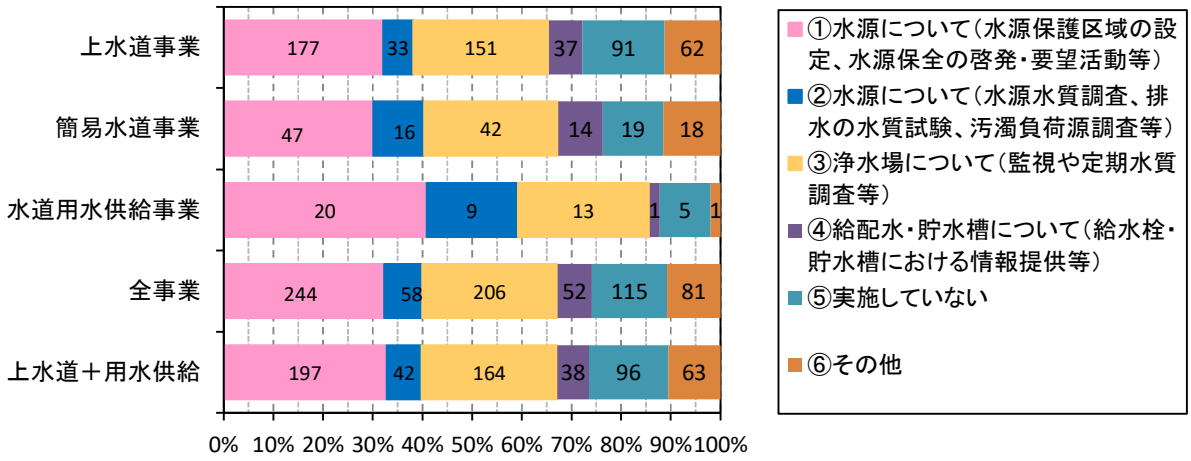


図 3-22　管理措置の設定方法（予防）

表 3-37　管理措置の設定方法（予防）に関する主な自由記述

分類	管理措置の設定方法（予防）
①水源（水源保護区域の設定、水源保全の啓発・要望活動等）	・水源上流の国有林管轄部署と年度初めに情報共有を図るほか、水源上流住民に対し情報提供のビラを配布している。 ・水濁法所管部署に協力を依頼し、汚染源である事業場宛に、事故時に水道事業者に対し通報を行ってほしい旨の要請をしている。 ・水源地周辺で工事等を行う場合、汚水処理水は水源地取水口の下流地点で放流する。水道水源で影響を与える農薬類は使用しない。

分類	管理措置の設定方法（予防）
	・水源であるダム関係者等が出席する各会議において、水質保全について協力を依頼し、汚濁が発生した場合には情報提供も行ってほしい旨、周知している。 ・下水処理部局に、取水口より上流にある下水処理施設放流水の水質検査結果の提出を依頼している。 ・森林伐採等、水源水質に影響する可能性がある作業については事前協議を行うこととしている。 ・JA の協力により、農薬散布時期を事前に把握する体制を構築している。 ・ゴルフ場と協定を結び、使用農薬を事前に確認している。 ・全戸配布の広報誌に油事故防止の記事を掲載し、市民への啓発を実施している。 ・水道水源保護条例による水質汚濁発生源の立地規制を行っている。 ・市環境部局と連携し、汚染源となり得る事業者に対して公害防止協定を結び、立ち入り検査等を実施している。 ・他部署との連携により、水源汚染となり得る可能性のある土壌汚染等についての情報提供を受けている。 ・管理道路入口に監視カメラ設置及び大型車侵入防止の車止めを設置している。 ・各水系の流域事業体と共同で主要事業所に廃液・有害物質等の適正な取扱いを要請している。 ・河川流域の町に対して、水源河川北側地域の下水道接続率を上げるように要請している。 ・汚濁源となり得る事業所に、事故時の情報提供を要請している ・取水口直近上流の国定公園内で河川に影響のある工事予定がある際には、事前連絡を要請している。 ・同じ水源を使用する水道事業体間で、水源汚染を含めた水質事故を共有するシステムとなっている。
②水源（水源水質調査、排水の水質試験、汚濁負荷源調査等）	・各施設における水源の巡回時の投棄物や施錠状況を確認し早期に異常を発見する。 ・浄水場では水源及び取水口に監視カメラを設置、取水口にバイオセンサーを設置しモニタリングによる常時監視を行っている。 ・下水処理部局に、取水口より上流にある下水処理施設放流水の水質検査結果の提出を依頼している。 ・水源保全の啓発の他、水源水質検査、計器による水質連続計測、また河川水についてはカメラでの監視を実施している。 ・連絡協議会からの通報を要請することに加え、河川監視員による巡視、取水施設における水質監視、侵入等からの防護対策を基本としている。 ・産業廃棄物最終処分場について、処分場の建設に際して事前協議を行い、協定を結び観測井等の水質試験結果の提供を受けている。 ・水源に設置した自動計器による水質の連続監視を行っている。 ・近隣に採石場があり、環境保全に関する協定を結んでいる。年 1 回土壌調査の結果を送ってもらっている。

分類	管理措置の設定方法（予防）
	・水源保護区域の設定、水源保全の啓発・要望活動、排水経路の変更、水源水質調査、排水の水質試験、汚濁負荷源調査を行っている。
③浄水場について（監視や定期水質調査等）	・侵入警報装置の設置、監視カメラ、施錠の実施等、水源監視カメラ、魚類監視装置、水質検査の確認を行っている。 ・送配給水管で汚染が発生した場合は、送配水管の臨時の排水や残留塩素・濁度・色度の監視をする等、発生箇所に応じて管理措置を行っている。 ・水源水質検査、計器による水質連続計測、また河川水についてはカメラでの監視を実施している。 ・配水場で機器による監視と給水末端において水質検査を実施している。 ・水質項目を監視する場合と管理措置の機能状況を代替的に評価できる項目を監視する方法として、水質計器測定や手分析などを行う。 ・水質監視モニターの設置、取水堰、沈砂池に監視カメラ設置、沈砂池に油監視装置設置、農薬の水質検査を種類ごとに散布時期に合わせて実施している。
④給配水・貯水槽について（給水栓・貯水槽における情報提供等）	・送配水給水管で汚染が発生した場合は、送配水管の臨時の排水や残留塩素・濁度・色度の監視をする等、発生箇所に応じて管理措置を行っている。 ・水質調査、施設の予防保全（点検・補修等）、設備の予防保全（点検・補修等）、給水栓・貯水槽における情報提供を行っている。 ・上流含む水質調査、施設設備の点検補修、給水栓・貯水槽への情報提供を設定している。 ・残留塩素濃度の把握。大腸菌および嫌気性芽胞菌の検出結果を把握している。また、テロによるシアン等毒性物質の混入の予防として配水場へのフェンス設置、出入り口施錠を行っている。 ・毎日・定期・臨時の水質検査を行い、施設・設備の予防保全、給水栓・貯水槽における情報提供のほか、水質モニターによる 24 時間監視を行っている。
⑥その他	・市民の水質苦情をデータにまとめている。また、検証のためのチェックシートを用いて、基準を満たしているか確認している。 ・管理措置及び監視方法を明確にした危害原因事象、管理措置一覧表を作成している。 ・レベル１：通常の管理、レベル２：上記に加えて効果的な方法について検討する、レベル３：管理を強化する取水量の調整等、レベル４：管理強化加えて施設改良等、レベル５：原則として取水停止→県へ報告する。 ・危害原因事象についてリスクレベルを 5 段階で設定しており、レベル 3 以上のものについては迅速に管理対応措置を実施するため「運転管理マニュアル」を作成している。 ・ハザードリストを作成し、各ハザードに対し未然防止に適切な手段（水源監視、運転監視、巡視点検等）を選択することとしている。 ・食品衛生管理手法である HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point）の重要管理点の考え方に基づき、危害が発生した場合にその影響を未然に防止するための管理対応措置を設定している。

5）水源汚染に関して設定した対応方法

水源汚染に関して設定した対応方法を表 3-38 及び図 3-23、その他に関する主な自由記述を表 3-39 に示す。

表 3-38　水源汚染に関して設定した対応方法

	上水道事業	簡易水道事業	水道用水供給事業	全事業	上水道＋用水供給
事業数	1,314（100.0%）	2,386（100.0%）	82（100.0%）	3,782（100.0%）	1,396（100.0%）
回答あった事業数	491（ 37.4%）	118（ 4.9%）	46（ 56.1%）	655（ 17.3%）	537（ 38.5%）
回答内容	787（100.0%）	219（100.0%）	73（100.0%）	1,079（100.0%）	860（100.0%）
① 施設･設備の確認点検	37（ 4.7%）	18（ 8.2%）	3（ 4.1%）	58（ 5.4%）	40（ 4.7%）
② 浄水処理の強化	92（ 11.7%）	22（ 10.0%）	8（ 11.0%）	122（ 11.3%）	100（ 11.6%）
③ 修復･改善	52（ 6.6%）	17（ 7.8%）	2（ 2.7%）	71（ 6.6%）	54（ 6.3%）
④ 取水停止	166（ 21.1%）	56（ 25.6%）	10（ 13.7%）	232（ 21.5%）	176（ 20.5%）
⑤ 関係機関への連絡･働きかけ	231（ 29.4%）	41（ 18.7%）	24（ 32.9%）	296（ 27.4%）	255（ 29.7%）
⑥ 設定していない	72（ 9.1%）	11（ 5.0%）	3（ 4.1%）	86（ 8.0%）	75（ 8.7%）
⑦ その他	137（ 17.4%）	54（ 24.7%）	23（ 31.5%）	214（ 19.8%）	160（ 18.6%）

※回答内容は記述方式の回答を分類したもので、複数該当する場合は該当するすべての回答に加算している

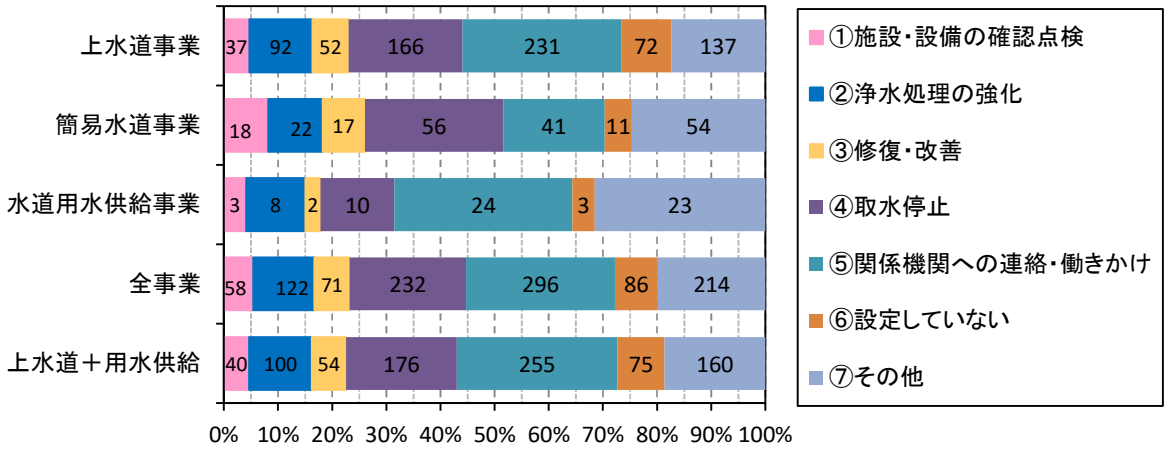


図 3-23　水源汚染に関して設定した対応方法

表 3-39　水源汚染に関して設定した対応方法（その他）に関する主な自由記述

分類	水源汚染に関して設定した対応方法（その他）
⑦その他	・施設・設備の確認点検、浄水処理の強化、修理等、取水停止、関係機関へ連絡すること、の 5 点を基本的な対応とし、さらに原因事象に応じて作成している各種マニュアルに沿って対応することとしている。 ・取水施設付近に原因と見られる堆積物等が確認できる場合にはその除去

分類	水源汚染に関して設定した対応方法（その他）
	を実施し、改善が確認できない場合は取水停止を検討することとしている。 ・水質自動計器の異常発報、巡視等で異常を発見した場合に水質検査を実施する。 ・水質悪化の原因を調査・分析し、滅菌装置等で対応できる場合は薬品注入を強化する。同時に、関係機関への連絡及び水質悪化の影響範囲を確認し、必要に応じた対処・広報を行う。 ・改めて水質検査を実施し、汚染が確認された場合、配水停止を検討する。また、必要に応じて汚染された施設の洗浄を行い、配水停止を行った場合には、応急給水の実施場所等について広報車、ビラ、新聞、テレビ、ラジオ等を活用して、お客様への広報を行う。 ・汚染物質が水道施設又は配水管に到達した場合は、排水を行い、汚染されていない水道水で施設等の洗浄を行う。長期間影響がある場合は、関係部署と協議の上、受水量を増量し対応する。 ・各水源・原水・浄水・給水栓水の監視強化、関係部署・関係機関との情報収集・伝達の継続を行う。各発生原因の検証を行い、工場排水の流入等が異常原因であると断定できた場合は、当該事業者・施設管理者に適正管理を要請する。

※ ①～⑥については回答が『水安全計画策定ガイドライン』（厚生労働省、平成 20 年 5 月）に記載されている内容とほぼ同様であるため省略。

4. クリプトスポリジウム等の検出状況の整理

4.1. 調査概要

報告された耐塩素性病原生物（クリプトスポリジウム及びジアルジア）の検出状況等の情報について集計を行った。

1）集計の対象年度及び各年度における集計件数

報告があったものを集計の対象とした。

各年度における集計件数（原水と浄水の両方で検出されたものは、合わせて 1 件として計数）を以下に示す。

- 平成 29 年度　72 件
- 平成 30 年度　52 件
- 平成 31-令和元年度　42 件
- 令和 2 年度　57 件
- 令和 3 年度　96 件
- 令和 4 年度　87 件
- 平成 5 年度　81 件
- 令和 6 年度（12 月時点）　59 件

2）集計方法

都道府県及び水道事業者等からの報告書において、次の 3)に示す項目が記載されていたものについて、集計を行った。

事業者等からの報告書において、リスクレベル、給水人口、浄水処理方法の記載がないものについては、「水道水質関連調査結果等整理業務」による集計結果（クリプトスポリジウム等対策実施状況調査：FILE02、平成 31-令和元年度以降は FILE03）も活用した（表 4-1 参照）。

表 4-1　リスクレベルの判定等に用いたデータベースファイル

クリプトスポリジウム等の検出報告	実際の検出時期	リスクレベル、給水人口、浄水処理方法の調査に活用した「水道水質関連調査業務」のデータベースファイル	データベースファイルの調査対象期間
平成30年度	平成30年4月から30年12月	●クリプトスポリジウム等検出状況集計（平成20から30年度）_2019.xlsx	（平成30年4月から30年12月）
平成31-令和元年度	平成31年1月から令和元年12月	◆FILE03解析結果_R01（暫定終了20200207）.xlsm	（平成31年4月から令和元年12月）
令和2年度	令和2年1月から令和2年12月	FILE03データ諸ファイル	（令和2年4月から令和2年12月）
令和3年度	令和3年1月から令和3年12月	FILE03データ諸ファイル	（令和3年4月から令和3年12月）
令和4年度	令和4年1月から令和4年12月	FILE03データ諸ファイル	（令和4年4月から令和4年12月）
令和5年度	令和5年1月から令和5年12月	FILE03データ諸ファイル	（令和5年4月から令和5年12月）
令和6年度	令和6年1月から令和6年12月	FILE03データ諸ファイル	（令和6年4月から令和6年12月）

3）集計項目

原水及び浄水中でクリプトスポリジウムあるいはジアルジアが検出された事例における集計項目を表 4-2 に示す。

表 4-2　集計対象項目

原水中での検出事例報告	浄水中での検出事例報告
	発生時期
	都道府県名／事業体名
発生時期	水道種別
都道府県名／事業体名	水源の名称
水道種別	水源種別
水源の名称	浄水施設名
水源種別	リスクレベル
浄水施設名	浄水処理方法
リスクレベル	給水人口
浄水処理方法	病原生物の検出濃度
給水人口	原因
病原生物の検出濃度	検出時の浄水濁度
原因	健康被害発生状況
検出時の浄水濁度	対応経緯
	関係機関との連絡状況
	今後の対応方針

4.2.　集計結果

全国の都道府県及び水道事業者等から報告された、クリプトスポリジウム及びジアルジアの検出状況等の集計結果を表 4-3 に示す。

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(1/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法 凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ	給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出 検出の有無（検出の場合○）	クリプトスポリジウムの検出 濃度（個/10L）	ジアルジアの検出 検出の有無（検出の場合○）	ジアルジアの検出 濃度（個/10L）	原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
H30-001	-01	H30.4	群馬県	群馬県企業局	用水供給	利根川水系（渡良瀬川、利根川）	表流水	群馬県新田山田水道（取水位置：群馬県みどり市大間々町桐原地先） 群馬県東部地域水道（取水位置：群馬県邑楽郡千代田町大字瀬戸井地先）	レベル4		○			新田山田：272275人、東部地域：405355人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-002	-01	H30.4	北海道	旭川市水道局	上水道	石狩川（表流水）	表流水	石狩川浄水場	レベル4	○	○			約217，000人+7，000人	不明	0.1度以下	○	0.5	○	0.75	浄水	健康被害報告なし		北海道，旭川市保健所，鷹栖町に連絡	①ろ過水濁度管理の徹底，追加検査結果の結果から，汚染の継続性の有無の判断を実施予定。継続性があった場合は，関係機関と協議の上，必要な対応を行う予定。 ②一施設の対策：ろ過池の洗浄時間の延長及びろ過水濁度の監視強化(数値に加えトレンドグラフによる監視)，水処理施設内各所の再点検(破損，不具合等) ・検査の強化：クリプトスポリジウム等の検査を5ヶ月に実施(原水に加え，原因特定を兼ね，系統別ろ過水(高次系1系統,低次系2系統)で実施)，原水指標菌検査を毎週実施 ・汚染源対策：水源上流パトロールを実施	「第2報」を採用。
H30-003	-01	H30.4	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-004	-01	H30.4	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約119万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-005	-01	H30.5	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	18	○	2	原水	健康被害報告なし		平成30年5月9日 神奈川県保健福祉局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-005	-02	H30.5	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	5	○	2	原水	健康被害報告なし		平成30年5月11日 神奈川県保健福祉局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-006	-01	H30.5	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		神奈川県保健福祉局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-006	-02	H30.5	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-007	-01	H30.5	千葉県	千葉県水道局	上水道	利根川水系　江戸川（表流水）	表流水	矢切取水場	レベル4	○	○			約70万人（平成28年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	リスクレベルは，「ちば野菊の里浄水場」の値を採用
H30-008	-01	H30.5	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約119万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		厚生労働省、神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-009	-01	H30.5	大阪府	河内長野市	上水道	石川水系　石見川支流菜畑谷 表流水	表流水	石見川浄水場　原水	レベル4			○		321人（平成30年4月末時点）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		大阪府藤井寺保健所、13:15厚生労働省へ電話連絡済み。	引き続き過水濁度管理（高感度濁度計による24時間連続監視）を徹底。	
H30-010	-01	H30.6	熊本県	熊本県	上水道（原水）	一本木2号井（深井戸）	地下水（深井戸）	一本木水源地	レベル3				○	約35,000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		熊本市上下水道局水運用課から熊本市保健所生活衛生課・感染症対策課へ情報提供済み。	現在，一本木2号井を取水停止，排水運転を実施後再調査を行い、取水再開予定。	
H30-011	-01	H30.6	岐阜県	飛騨市	上水道（上村第一）	上村第一水源（表流水）	表流水	上村第一水源	レベル4			○		390人	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		岐阜県飛騨保健所(担当者携帯)へ連絡	ポータブル濁度計により監視を行う。	
H30-012	-01	H30.5	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	朝霞浄水場	レベル4		○			朝霞浄水場：3,078,000人 （平成29年度配水量等による概算）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては，東京都水道局から，利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み，5月以降都内でのジアルジア感染症の発生は1件あったが，国外感染であることを東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-013	-01	H30.7	長野県	長野県	小諸上水、菱野簡水	水石水源（湧水）、舟ヶ沢水源（湧水）	表流水	西小諸配水池	レベル3				○	小諸上水：約870戸（約2,100人） 菱野簡水：約790人	不明	0.1度以下	○	0.5			浄水	健康被害報告なし		小諸市一佐久地域振興局一県水大気環境課	今回取水停止した水源については早急に膜ろ過設備の導入を検討。膜ろ過設備が導入されるまで取水は停止し、代替水源と他の水源の取水量を増量することにより対応。	
H30-014	-01	H30.7	群馬県	群馬県企業局	水道用水供給事業	東部地域：利根川（表流水）	表流水	群馬県東部地域水道（取水位置：群馬県邑楽郡千代田町大字瀬戸井地先）	レベル4		○			東部地域：405355人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-015	-01	H30.7	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水口	レベル4	○	○			67,372人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年7月19日　15:00　保健福祉部生活衛生課，15:10　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-016	-01	H30.7	群馬県	桐生市水道局	上水道	利根川水系渡良瀬川（表流水）	表流水	元宿浄水場 赤岩用水取水口：群馬県桐生市元宿町2108番地先	レベル4	○	○			74,073人（平成29年度元宿浄水場給水人口）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年7月19日14時00分に群馬県健康福祉部食品・生活衛生課に連絡し，「現時点で被害発生の報告はない」との報告を受ける。また、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会に情報を提供。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-017	-01	H30.7	大阪府	泉佐野市	上水道	大池 （表流水）	表流水	日根野浄水場　着水井サンプリング管(取水位置の高さは別紙参照)	レベル4	○	○			約39,000人	クリプトスポリジウム及びジアルジアの寄生を受けた哺乳類の糞便混入が原因と考えられる。	0.1度以下	○	2	○	3	原水	健康被害報告なし		泉佐野保健所と連絡	取水源の監視，ろ過水濁度管理の徹底、ろ過池の洗浄強化、浄水20リットルの14日間保存を行う。	
H30-018	-01	H30.8	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-019	-01	H30.8	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-020	-01	H30.8	埼玉県	深谷市水道事業	上水道	荒川（表流水）	表流水	川本浄水場　六堰取水口水源	レベル4		○	○		7968人（3,127世帯）	不明	0.1度以下			○	6	原水	健康被害報告なし		平成30年8月14日10:00　埼玉県生活衛生課へ連絡済み。 11:10　埼玉県生活衛生課より寄居町、秩父広域市町村圏組合、埼玉県県企業局へ情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法「膜ろ過」
H30-021	-01	H30.8	千葉県	北千葉広域水道企業団	水道用水供給	江戸川（表流水）	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	－	○	○			4,271,696人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年8月15日 13:00 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-022	-01	H30.8	群馬県	群馬県企業局	水道用水供給	群馬用水(利根川水系利根川)（表流水）	表流水	群馬県県央第一水道（取水位置：群馬県沼田市岩本町大字巻地先）	レベル4		○			740,153 人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-023	-01	H30.9	岩手県	盛岡市上下水道局	上水道	中津川（表流水）	表流水	新庄浄水場着水井	レベル4	○	○			62,145人（31,280世帯）［H30.3.31現在］	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年9月5日17時30分　厚生労働省，岩手県，盛岡市保健所へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-024	-01	H30.9	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	三園浄水場	レベル4		○			三園浄水場：766,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。福祉保健局感染症対策課に確認し、8月28日以降，都内において原因不明のジアルジア患者報告が3件あったが，本件との関連性は低いと考えられる。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-024	-02	H30.9	東京都	東京都	簡易水道	表流水	表流水	御蔵島村浄水場	レベル4		○	○		298人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成30年9月13日　島しょ保健所三宅出張所及び御蔵島村役場に情報提供	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法「膜処理」
H30-025	-01	H30.9	宮城県	石巻地方広域水道企業団	－	－	－	－	－					－	－	－			○	3	原水	健康被害報告なし		県庁に報告済み	－	データがメールファイル（.msg）のみで、不明箇所あり。
H30-026	-01	H30.9	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	比謝川・長田川・天願川（表流水）、倉敷ダム（ダム水）、嘉手納井戸群（浅井戸）	－	北谷浄水場　原水	レベル4	○	○			約40万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		なし	11日の検出を受け，北谷浄水管理事務所には，粒状活性炭接触池（最終ろ過工程）での濁度管理の強化を依頼した。その後，12日には不検出であったことから，濁度管理は通常の体制へ戻した。	
H30-027	-01	H30.9	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	平南川（表流水）	表流水	平南川	－	○	○			約4万人	不明	－			○	1	原水	健康被害報告なし		なし	ろ過処理水濁度管理の強化	
H30-028	-01	H30.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-029	-01	H30.10	千葉県	千葉県水道局	上水道	①利根川水系　利根川（表流水）	表流水	①木下取水場	－	○	○			①約100万人（平成29年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年10月16日16:01利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-029	-02	H30.10	千葉県	千葉県	上水道	夷隅川水系夷隅川（表流水）	表流水	佐野浄水場取水口	レベル4	○	○			6,392戸（H29年度末）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年11月8日12時10分　千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-030	-01	H30.10	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約119万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		平成30年10月23日 厚生労働省、神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-031	-01	H30.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明		○	7			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-032	-01	H30.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		平成30年11月6日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-033	-01	H30.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-034	-01	H30.11	千葉県	北千葉広域水道企業団	水道用水供給	江戸川（表流水）	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	－	○	○			4,271,696人（H29年度現在、千葉県営水道分を含む）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年11月14日 11:30 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-035	-01	H30.11	山形県	山形県食品安全衛生課	上水道（旧樽石簡易水道）	湧水	表流水	取水位置：村山市大字岩野	レベル3				○	139世帯　427人	－	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		－	当面、水道用水供給事業者からの受水に切り替え、緊急時連絡管を通して給水する。 既設水源（湧水）を使用するか廃止するかは検討中。 村山市保健課にてジアルジアの症状についてのチラシ配布を検討中。	「第3報」を採用。
H30-036	-01	H30.11	群馬県	桐生市水道局	上水道	利根川水系桐生川（表流水）	表流水	上菱浄水場 跳滝取水口：群馬県桐生市菱町五丁目321	レベル4	○	○			20,207人（平成29年度上菱浄水場給水人口）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成30年11月15日17時00分に群馬県健康福祉部食品・生活衛生課に連絡し，「現時点で被害発生の報告はない」との報告を受ける。同日、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会に情報を提供。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-037	-01	H30.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	鬼怒川（表流水）	表流水	県西水道事務所水海道浄水場 板戸井取水口	レベル4	○	○			231,672人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年11月20日　16:45　保健福祉部生活衛生課，17:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-038	-01	H30.11	千葉県	千葉県水道局	上水道	利根川水系　江戸川（表流水）	表流水	矢切取水場	レベル4	○	○			約70万人（平成29年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年11月19日15:52利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	「第1報」の方を採用。リスクレベルは，「ちば野菊の里浄水場」の値を採用

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(2/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
H30-039	-01	H30.11	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-040	-01	H30.11	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川(表流水)	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約119万人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年11月27日 厚生労働省、神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-041	-01	H30.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座都寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		平成30年12月10日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-042	-01	H30.12	大阪府	能勢町	上水道	表流水	表流水	妙見山浄水場	レベル4			○		給水人口　5人	原水でのクリプトスポリジウム検出　水源が山中に位置することから、野生動物が排出源と推測されるもの。	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		12月13日（木）に11日（火）に採水した原水からクリプトスポリジウムが検出されたとの報告を大阪府立茨木保健所より受ける。その後、大阪府健康医療部環境衛生課に13日（木）17:00に報告。17日（月）に再検査実施予定。	引き続き遠隔情報伝達装置による浄水濁度の監視を徹底	
H30-043	-01	H30.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川(表流水)	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)、富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			21.0万人(下北方浄水場)、14.7万人(富吉浄水場)	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成30年12月17日 16時00分　宮崎県中央保健所へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	原水からクリプトスポリジウム検出 ・柏田取水口：クリプトスポリジウム(1個／10L) ・富吉取水口：クリプトスポリジウム(1個／10L)
H30-044	-01	H30.12	群馬県	群馬県企業局	水道用水供給事業	群馬用水(利根川水系利根川)(表流水)	表流水	群馬県県央第二水道（取水位置：群馬県沼田市岩本町大字巻地先）	レベル3		○			767,468 人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-045	-01	H30.12	広島県	広島県企業局（指定管理者：㈱水みらい広島）	水道用水供給事業	沼田川(表流水)	表流水	本郷取水場取水口 ※ ジアルジアが検出されたのは，下流の宮浦浄水場着水井	レベル4	○	○	○		74万人（計画給水人口）	不明	0.1度超			○	9	原水	健康被害報告なし		平成30年12月19日13:00 水系を同じくする水道事業者（三原市）に連絡済。 平成30年12月19日13:00 広島県食品生活衛生課に連絡済。	ろ過水濁度管理の徹底 水質監視の強化	「第2報」を採用。
H30-046	-01	H30.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	寒川取水口（取水場所：高座都寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		平成30年12月19日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-047	-01	H30.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座都寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成30年12月26日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H30-048	-01	H30.12	岐阜県	高山市	上水道（三ツ谷）	三ツ谷水源（表流水）	表流水	三ツ谷水源取水堰	レベル4			○	○	1O戸	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		なし	濁度計を設置、監視を行う。	
H31-R01-001	-01	H31.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	32			原水	健康被害報告なし		平成31年1月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-002	-01	H31.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年1月11日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-003	-01	H31.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		平成31年1月16日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-004	-01	H31.01	広島県	広島県企業局（指定管理者：㈱水みらい広島）	水道用水供給事業	沼田川(表流水)	表流水	本郷取水場取水口	－	○	○	○		74万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		平成31年1月18日13:25 用水ユーザー（5水道事業者：東広島市、三原市、愛媛県上島町、尾道市、福山市）に連絡済。平成31年1月18日15:00 広島県食品生活衛生課に連絡済。	ろ過水濁度管理の徹底、水質監視の強化	複数日の記録があったため、枝番付きで記載した
H31-R01-004	-02	H31.01	広島県	広島県企業局（指定管理者：㈱水みらい広島）	水道用水供給事業	沼田川(表流水)	表流水	本郷取水場取水口	－	○	○	○		74万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		同上	ろ過水濁度管理の徹底、水質監視の強化	複数日の記録があったため、枝番付きで記載した
H31-R01-005	-01	H31.01	千葉県	野田市水道部	上水道	江戸川(表流水)	表流水	中野台取水場	－	○	○			127,000人	不明	0.1度以下	○	3	○	1	原水	健康被害報告なし		1月17日13時25分に千葉県水道局水質センター監視課と、千葉県水政課、厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-006	-01	H31.01	埼玉県	企業局	水道用水供給事業	表流水、（ダム放流水等）	表流水	行田浄水場　利根川右岸	レベル4	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年1月24日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-007	-01	H31.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		平成31年1月25日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-008	-01	H31.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			60千人	不明	0.1度以下	○	13			原水	健康被害報告なし		平成31年1月29日14時10分 千葉県水政課及び利根川・荒川水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-009	-01	H31.01	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川(表流水)	表流水	寒川浄水場	－	○	○			約119万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		平成31年1月29日 厚生労働省、神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-010	-01	H31.01	京都府	京都府船井郡京丹波町	上水道	京丹波町水道事業　中山浄水場　着水井	表流水	中山浄水場	－			○	○	約80人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年1月31日12:10、原水からクリプトスポリジウムが検出されたことおよび中山浄水場の運転停止を京都府南丹保健所へ連絡。	中山浄水場停止。和知中央浄水場からの給水を継続。	対応終了日は2月1日
H31-R01-011	-01	H31.02	宮城県	石巻地方広域水道企業団	上水道	旧北上川（表流水）	表流水	鹿又取水場	－	○	○			160,070人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年2月7日15時30分　宮城県食と暮らしの安全推進課及び石巻保健所へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-012	-01	H31.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）/相模川水系（表流水）	表流水	西長沢浄水場	レベル4	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		平成31年2月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、厚生労働省"に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-013	-01	H31.01	広島県	広島県企業局（指定管理者：㈱水みらい広島）	水道用水供給事業	沼田川(表流水)	表流水	本郷取水場取水口	－	○	○	○		74万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		平成31年1月18日13:25 用水ユーザー（5水道事業者：東広島市、三原市、愛媛県上島町、尾道市、福山市）に連絡済。平成31年1月18日15:00 広島県食品生活衛生課に連絡済。	ろ過水濁度管理の徹底、水質監視の強化	対応終了日は2月14日
H31-R01-014	-01	H31.02	長野県	長野県企業局	上水道	一級河川　千曲川（表流水）	表流水	上田市小牧地籍　上田農水頭首工	－	○	○			7.4万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		2月14日　15時　長野県環境部へ連絡済	ろ過水濁度管理（0.1度以下）の徹底	
H31-R01-015	-01	H31.02	群馬県	群馬県企業局	水道用水供給事業	東部地域：利根川（表流水）	表流水	群馬県邑楽郡千代田町大字瀬戸井地先	－			○		405355人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-016	-01	H31.02	千葉県	千葉県水道局	上水道	利根川水系　江戸川（表流水）	表流水	矢切取水場	－	○	○			約70万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成31年2月19日 16:51 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-017	-01	H31.02	千葉県	北千葉広域水道企業団	水道用水供給	江戸川(表流水)	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	－	○	○			4,271,696人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		平成31年2月20日 11:20 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-018	-01	H31.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川(表流水)	表流水	茨城県企業局　県南水道事務所　利根川浄水場　利根川取水口	－	○	○			308,341人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年2月20日　17:40　保健福祉部生活衛生課、17:50　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-019	-01	H31.02	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年2月21日10時58分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-020	-01	H31.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川(表流水)	表流水	県南水道事務所利根川浄水場　利根川取水口	－	○	○			308,341人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		平成31年2月20日　17:40　保健福祉部生活衛生課、17:50　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-021	-01	H31.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	43	○	1	原水	健康被害報告なし		2019/3/8 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-022	-01	H31.03	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	三郷取水庭（埼玉県三郷市新和）	レベル4		○			2,778,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。本年3月6日以降、都内でのジアルジア感染症の発生は1件あったが、国外感染と推定されていることを、東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-023	-01	H31.04	栃木県	企業局	上水道、工水	鬼怒川(表流水)	表流水	鬼怒水道事務所（板戸取水場）	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成31年4月4日(木)16時　受水市町、企業団及び受水企業に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-024	-01	H31.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	17			原水	健康被害報告なし		2019/4/5 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-025	-01	H31.04	千葉県	野田市水道部	上水道	江戸川(表流水)	表流水	中野台取水場	－	○	○			127,000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		4月11日8時55分に千葉県水道局水質センター監視課と、千葉県水政課、厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-026	-01	H31.04	埼玉県	入間市	上水道	入間川(伏流水)	伏流水	鍵山浄水場	レベル3	○	○			30000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成31年4月18日 埼玉県へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-027	-01	R01.05	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		平成31年5月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	複数の水系の記録があったため、枝番付きで記載した
H31-R01-027	-02	R01.05	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	13			原水	健康被害報告なし		平成31年5月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	複数の水系の記録があったため、枝番付きで記載した
H31-R01-028	-01	R01.05	高知県	高知県	簡易水道	伏流水	伏流水	椙原町簡易水道　六丁地区	レベル4			○		171人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		記載なし	浄水でのクリプトスポリジウム検査を実施(24日開始、27日に結果報告予定)、緩速ろ過運転管理の徹底。通常運転に切り替え	
H31-R01-029	-01	R01.06	福井県	福井県	用水供給	九頭竜川水系竹田川（表流水）	表流水	福井県坂井市丸岡町山久保6字釜ヶ淵29番1地先	－	○	○			13万5千人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和元年6月6日 福井県医薬食品・衛生課、厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-030	-01	R01.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		相模原市淵野辺小学校において6月7日集団下痢症	令和元年6月11日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-031	-01	R01.06	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和元年6月13日10時30分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-032	-01	R01.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	寒川取水口（取水場所：高座都寒川町宮山4073）	－	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	2	○	1	原水	健康被害報告なし		令和元年6月28日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-033	-01	R01.07	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川（表流水）	表流水	木下取水場	－	○	○			約100万人	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		令和元年7月18日15:28 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-034	-01	R01.08	滋賀県	甲賀市	上水道	表流水	表流水	小川浄水場（原水）	レベル4			○		441人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		滋賀県生活衛生課、厚生労働省水道課に電話連絡	浄水濁度0.1以下を維持するよう徹底する。浄水のリプトスポリジウムの検査結果連報を19:00に滋賀県生活衛生課に連絡予定。	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(3/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
H31-R01-035	-01	R01.09	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○			記載なし	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和元年9月6日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-036	-01	R01.09	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　小山取水口	−	○	○			256,595人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和元年9月26日　16:10　保健福祉部生活衛生課、16:15　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-037	-01	R01.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	小雀浄水場（取水場所：戸塚区小雀町2470）	−	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和元年11月14日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-038	-01	R01.11	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和元年11月21日11時25分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-039	-01	R01.12	埼玉県	企業局	水道用水供給事業	表流水、（ダム放流水等）	表流水	大久保浄水場　荒川左岸	レベル4	○	○			記載なし	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和元年12月6日　埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
H31-R01-040	-01	R01.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	−	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和元年12月18日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-001	-01	R02.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系（表流水）	表流水	飯泉取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-002	-01	R02.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	湯沼川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所湯沼川浄水場　湯沼川取水口	−	○	○	○		67,372人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和2年1月16日　11:56　保健福祉部生活衛生課、12:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-003	-01	R02.01	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	比謝川・長田川・天願川（表流水）、倉敷ダム（ダム水）、喜手納井戸群（浅井戸）	表流水・ダム水・浅井戸	北谷浄水場	レベル4	○	○	○		約40万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		なし	なし	
R02-004	-01	R02.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.0万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		なし	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-004	-02	R02.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.7万人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		なし	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-005	-01	R02.01	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川（表流水）	表流水	木下取水場	−	○	○			約110万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和2年1月21日16:01 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-006	-01	R02.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	鬼怒川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　板戸井取水口	−	○	○	○		256,595人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和2年1月28日　17:00　保健福祉部生活衛生課、17:15　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-007	-01	R02.01	福岡県	大牟田市企業局	上水道	菊池川（表流水）	表流水	ありあけ浄水場　若水	レベル4			○			不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和2年1月23日　15：45　荒尾市へ情報提供済み　令和2年1月24日09：00　厚生労働省へ連絡済　13：30　福岡県水道整備室へ連絡済み	原水の確認の継続（クリプトスポリジウム再検査、膜ろ過水濁度監視の継続）	
R02-008	-01	R02.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	−	−	西長沢浄水場	−	○	○				不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-009	-01	R02.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-010	-01	R02.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4					21.0万人	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		なし	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-010	-02	R02.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4					14.7万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		なし	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-011	-01	R02.02	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　江戸川（表流水）	表流水	矢切取水場	−	○	○			約60万人	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-012	-01	R02.02	広島県	広島県企業局	用水供給	太田川（表流水）	表流水	戸坂取水場取水口	−	○	○			19万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		水道原水として受水するユーザー（呉市、江田島市）及び同じ水源の水道事業体（広島市）に連絡済。令和2月2日26日：広島県食品生活衛生課に連絡済。	ろ過水濁度管理の徹底、水質監視の強化	
R02-013	-01	R02.02	岐阜県	白川村	簡易水道	三谷川（表流水）	表流水	三谷川水源	−			○		53人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		検出の連絡後すぐに岐阜県飛騨保健所へ報告すべきところを失念しており未報告。現在に至る。	クリプトスポリジウム等応急対策マニュアルを整備し対応する。また、濁度計を用いろ過濁度管理を行う。	報告日はR02年3月10日
R02-014	-01	R02.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下	○	8	○	1	原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-015	-01	R02.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-016	-01	R02.06	愛媛県	愛媛県	簡易水道	−	表流水	新宮浄水場	−			○		550人	野生動物	記載なし			○	1	原水	健康被害報告なし		愛媛県四国中央保健所へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底、浄水管理強化	
R02-017	-01	R02.06	東京都	東京都	上水道	−	表流水	秋ヶ瀬取水堰	−		○			3,201,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。令和2年6月3日以降、都内でのジアルジア症の発生がないことを、東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-018	-01	R02.06	東京都	東京都	上水道	−	表流水	三郷取水庭	レベル4		○			2,696,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。令和2年6月11日以降、都内でのジアルジア症の発生がないことを、東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-019	-01	R02.07	北海道	北海道（羽幌町）	簡易水道	白浜無名川（表流水）	表流水	白浜浄水場	−	○	○			173人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和2年7月20日 16時30分頃 北海道立留萌保健所へ水質検査結果（クリプトスポリジウム検出）報告 令和2年7月20日 17時00分頃　北海道環境生活部へ電話連絡	引き続き、ろ過池出口の濁度管理を徹底（連続測定により常時監視）道立焼尻診療所に念のため情報提供	
R02-020	-01	R02.07	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-021	-01	R02.07	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川（表流水）	表流水	木下取水場	−	○	○			約110万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-022	-01	R02.07	岩手県	盛岡市上下水道局	上水道	簗川（表流水）	表流水	沢田浄水場着水井	レベル4	○	○			94,601人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		厚生労働省、岩手県、盛岡市保健所等に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-023	-01	R02.07	沖縄県	大宜味村（国頭郡）	上水道（簡易水道）	平南川支流（表流水）。なお、水源は当該表流水の他に伏流水がある。	表流水	津波取水堰	レベル4			○		3,047人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和2年7月28日8:50 沖縄県企業局久志浄水場管理事務所へ連絡済み 令和2年7月28日9:00 沖縄県衛生薬務課へ連絡済み	表流水からの取水を停止し、検出されていない伏流水での取水を行い、ろ過水管理濁度の徹底を図る。また、表流水の再検査とろ過池出口部の水質検査を行い、水質の安全性を確認する	
R02-024	-01	R02.07	新潟県	小千谷市	上水道	信濃川（表流水）	表流水	小千谷浄水場	レベル4	○	○			29,246人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		特になし	浄水濁度管理の徹底と原水汚染状況の継続調査	
R02-025	-01	R02.08	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（相模湖）	記載なし	西谷浄水場（取水場所：横浜市保土ケ谷区川島町522）	レベル4	○	○			79万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県保健福祉局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-026	-01	R02.08	北海道	北海道（羽幌町）	簡易水道	イカノ川水系イカノ川（表流水）	表流水	増毛町岩老　道有林19班　水源取水口	−			○		47人	雨による河川濁度上昇	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和2年7月30日 11時00分頃 増毛町から北海道立留萌保健所へ連絡（メールのため、留萌保健所による覚知は15時頃）令和2年7月30日16時20分頃 留萌保健所から北海道環境生活部へ電話連絡	ろ過水濁度管理を徹底	
R02-027	-01	R02.08	高知県	大豊町	専用水道	大豊町中村大王字長橋　竹谷川（表流水）	表流水	ゆとりすとパーク専用水道	レベル4			○		50人	不明	記載なし	○	1			原水	健康被害報告なし		高知県中央東福祉保健所に報告済	緩速ろ過管理の徹底	
R02-028	-01	R02.09	熊本県	記載なし	上水道	八景水谷3号（認可浅1号）浅井戸	浅井戸	八景水谷水源地	レベル3				○	約63,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		市保健所の関係課へ情報提供及び水系感染症の発生状況聞き取り	これまで同様、紫外線処理装置の紫外線照射量の適正管理と原水濁度の監視を行う。井戸に関しては、外観上、汚染状況がないか重点的に確認するようにする。 水質面では、毎月クリプト等指標菌の監視検査を継続する。	浄水処理方法：紫外線処理
R02-029	-01	R02.09	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-030	-01	R02.09	東京都	東京都	簡易水道		表流水	向沢浄水場（東京都青ヶ島村）	−			○		148人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		青ヶ島村役場に情報提供	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：緩速ろ過及び塩素処理
R02-031	-01	R02.09	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	−	○	○				不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-032	-01	R02.08	北海道	北海道（雄武町）	簡易水道	音稲府川水系音稲府川（表流水）	表流水	青葉第二浄水場取水施設	−			○		3,988人（01-03合計）	降雨によって採草地が洗い流され河川流入したものと推察、明確な原因は不明	0.1度以下			○	5	原水	健康被害報告なし		令和2年9月17日　北海道立紋別保健所へ水質検査結果（ジアルジア検出）報告　他	引き続き、ろ過池出口の濁度管理を徹底	報告日は令和2年9月30日
R02-032	-02	R02.08	北海道	北海道（雄武町）	簡易水道	元沢木川水系元沢木川	（表流水）	沢木浄水場取水施設	−			○		3,988人（01-03合計）	降雨によって採草地が洗い流され河川流入したものと推察、明確な原因は不明	0.1度以下			○	5	原水	健康被害報告なし		令和2年9月17日　北海道立紋別保健所へ水質検査結果（ジアルジア検出）報告　他	引き続き、ろ過池出口の濁度管理を徹底	報告日は令和2年9月30日
R02-032	-03	R02.08	北海道	北海道（雄武町）	簡易水道	幌内川水系ポン下幌内川	（表流水）	幌内浄水場	−			○		3,988人（01-03合計）	降雨によって採草地が洗い流され河川流入したものと推察、明確な原因は不明	0.1度以下			○	14	原水	健康被害報告なし		令和2年9月17日　北海道立紋別保健所へ水質検査結果（ジアルジア検出）報告　他	引き続き、ろ過池出口の濁度管理を徹底	報告日は令和2年9月30日
R02-033	-01	R02.09	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	久志浄水場沈殿処理水（ダム水沈殿処理水）、漢那ダム（ダム水）、金武ダム（ダム水）	ダム水	石川浄水場	レベル4	○	○			約40万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		県衛生薬務課、県中部保健所へ報告	引き続きろ過水および活性炭処理水の濁度管理を徹底する	
R02-034	-01	R02.10	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川（表流水）	表流水	木下取水場	−	○	○			約110万人	不明	0.1度以下	○	1	○	5	原水	健康被害報告なし		利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-035	-01	R02.10	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(4/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R02-036	-01	R02.10	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模湖		谷ケ原浄水場	レベル4	○	○	○		約45万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-037	-01	R02.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川(表流水)	表流水	県南水道事務所利根川浄水場 利根川取水口	－	○	○			309,691人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-038	-01	R02.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	小雀浄水場	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		神奈川県保健福祉局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-039	-01	R02.11	長野県	長野市	上水道	聖北水源（湧水）	湧水	聖北水源	レベル3				○	15人	水源施設に哺乳動物（ハクビシン）が侵入	記載なし	○	2	○	15	原水	健康被害報告なし		11月20日厚生労働省へ第1報を報告、同日長野県へ報告、24日厚生労働省へ第2報を報告	原水水質監視を強化し恒久的対策を検討する。原水の安全が確保されるまで可搬式膜ろ過設備の搬去は行わない。	浄水処理方法：塩素滅菌　11月18日検査
R02-039	-02	R02.11	長野県	長野市	上水道	聖北水源（湧水）	湧水	聖北水源	レベル3				○	15人	水源施設に哺乳動物（ハクビシン）が侵入	記載なし	○	8			配水池水	健康被害報告なし		11月20日厚生労働省へ第1報を報告、同日長野県へ報告、24日厚生労働省へ第2報を報告	原水水質監視を強化し恒久的対策を検討する。原水の安全が確保されるまで可搬式膜ろ過設備の搬去は行わない。	浄水処理方法：塩素滅菌　11月19日検査
R02-040	-01	R02.11	北海道	遠別町	簡易水道	本別地区水源（表流水）	表流水	取水場	－		○			2,602人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		北海道立留萌保健所へ水質検査結果報告	引き続き浄水処理の徹底（濁度0.1度未満の維持）	
R02-041	-01	R02.11	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	25			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-042	-01	R02.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○				不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-043	-01	R02.12	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	（表流水）	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-044	-01	R02.12	熊本県	熊本市上下水道局	上水道	一本木1号（認可深1号）深井戸	深井戸	一本木水源地	レベル3				○	約35,000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		熊本市上下水道局から熊本市保健所に情報提供済。 他	当該井戸には紫外線処理装置を設置しており、安全性に問題はないため、取水を継続　今後も引き続き濁度の管理を徹底するよう熊本市に対し指導済	浄水処理方法：紫外線処理
R02-045	-01	R02.12	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○				不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-046	-01	R02.12	埼玉県	企業局	用水供給	表流水、（ダム放流水等）	表流水	大久保浄水場　荒川左岸	レベル4	○	○				不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-047	-01	R02.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川(表流水)	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.0万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和2年12月16日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認/令和2年12月22日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告/令和2年12月22日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-047	-02	R02.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川(表流水)	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.7万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和2年12月16日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認/令和2年12月22日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告/令和2年12月22日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-048	-01	R02.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川(表流水)	表流水	県南水道事務所利根川浄水場 利根川取水口	－	○	○	○		310,081人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-049	-01	R02.12	新潟県	新潟市水道局	上水道	西川（表流水）	表流水	巻浄水場	レベル4	○	○			41,523人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		新潟県へ電話にて報告済	巻浄水場におけるろ過水濁度の管理を徹底することを指示済	
R02-050	-01	R02.12	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R02-051	-01	R02.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川(表流水)	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		神奈川県保健福祉局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-001	-01	R03.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年1月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-002	-01	R03.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年1月13日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-003	-01	R03.01	埼玉県	企業局	用水供給	表流水、（ダム放流水等）	表流水	行田浄水場　利根川右岸	レベル4	○	○				不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年1月15日　埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-004	-01	R03.01	埼玉県	企業局	用水供給	表流水、（ダム放流水等）	表流水	大久保浄水場　荒川左岸	レベル4	○	○				不明	0.1度以下	○	7	○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年1月15日　埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-005	-01	R03.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川(表流水)	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)、富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			21.0万人(下北方浄水場)、14.7万人(富吉浄水場)	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和3年1月20日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和3年1月26日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和3年1月26日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-006	-01	R03.01	新潟県	小千谷市	上水道	信濃川（表流水）	表流水	小千谷浄水場	レベル4	○	○			29,246人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		特になし	浄水濁度管理の徹底と原水汚染状況の継続調査	
R03-007	-01	R03.01	埼玉県	企業局	用水供給	表流水、（ダム放流水等）	表流水	庄和浄水場　江戸川右岸	レベル4	○	○				不明	0.1度以下	○	3	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年1月22日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-008	-01	R03.01	埼玉県	企業局	用水供給	表流水、（ダム放流水等）	表流水	新三郷浄水場　江戸川右岸	レベル4	○	○				不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和3年1月22日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-009	-01	R03.01	北海道	増毛町	簡易水道	岩老水系カキクの沢川（表流水）	表流水	増毛町岩老　道有林12班　水源取水口	－				○	19人	河川への動物進入か	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年1月28日10:00 北海道留萌保健所へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-010	-01	R03.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	96			原水	健康被害報告なし		令和3年1月21日15時05分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-011	-01	R03.01	熊本県	（熊本市上下水道局）	上水道	一本木1号（認可深1号）深井戸	深井戸	一本木水源地	レベル3				○	約35,000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		R3/1/22 熊本市上下水道局内部で情報共有 R3/1/26 水道局から熊本市保健所へ情報提供	当該井戸には紫外線処理装置を設置しており、安全性に問題はないため、取水を継続するとのこと。 なお、R3/1/25現在、熊本市の水道水を原因とした水系感染症は発生していない。 R3/3に定期に検査を予定しているとのことで、経過観察をして行く予定。検査結果は報告するよう指示	
R03-012	-01	R03.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	鬼怒川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　板戸井取水場	レベル4	○				256,005人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年1月26日　16:00　保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、　17:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-013	-01	R03.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	60			原水	健康被害報告なし		令和3年2月5日16時45分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-013	-02	R03.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	189			原水	健康被害報告なし		令和3年2月5日16時45分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-014	-01	R03.02	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年2月2日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-015	-01	R03.02	北海道	中空知広域水道企業団	上水道	石狩川水系空知川（表流水）	表流水	中空知水道企業団取水口（砂川市富平3番15地先）	－		○			64,655人	原水の汚染（野生動物や家畜の糞）	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		2月4日 　検査機関から、クリプトスポリジウム検出した旨報告。 　北海道立滝川保健所生活衛生課へ水質検査結果（クリプトスポリジウム検出）報告。 2月5日 　北海道立滝川保健所生活衛生課あて浄水濁度監視結果及び水質検査成績書を報告。	引き続き、濁度管理を徹底する。	
R03-016	-01	R03.02	埼玉県	深谷市水道事業	上水道	荒川（表流水）	表流水	川本浄水場　六堰取水口水源	レベル4			○		7,435人	不明	0.1度以下	○	28	○	10	原水	健康被害報告なし		令和3年2月12日 11:40　埼玉県生活衛生課へ電話連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-017	-01	R03.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年2月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-018	-01	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	137	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年2月16日17時18分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-018	-02	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		令和3年2月16日17時18分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-019	-01	R03.02	岐阜県	七宗町	簡易水道	谷水(表流水)	表流水	大崎取水口付近	－			○		19人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		2/17 岐阜県可茂保健所及び岐阜県薬務水道課へ(保健所より)連絡済み。七宗町クリプトスポリジウム等マニュアルに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持する。	七宗町クリプトスポリジウム等マニュアルに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持する。	
R03-020	-01	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	房総導水路東金分水工（東金市松之郷3668－3）	－	○	○			136千人	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		令和3年2月16日17時18分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-021	-01	R03.02	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　江戸川（表流水）	表流水	矢切取水場	レベル4	○	○			約60万人	不明	0.1度以下			○	5	原水	健康被害報告なし		令和3年2月17日17:45利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-022	-01	R03.02	千葉県	北千葉広域水道企業団	用水供給	江戸川（表流水）	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	レベル4	○	○			4,325,418人	不明	0.1度以下	○	1	○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年2月17日 13:05 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-023	-01	R03.02	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年2月18日11時07分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-024	-01	R03.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　小山取水場	レベル4	○				256,005人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年2月18日　17:15　保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、17:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-024	-02	R03.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	鬼怒川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　板戸井取水場	レベル4	○				256,005人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年2月18日　17:15　保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、17:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-025	-01	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	表流水	房総導水路東金分水工（東金市松之郷3668－3）	－	○	○			136千人	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和3年2月19日15時15分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(5/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法 凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ	給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出 検出の有無（検出の場合○）	クリプトスポリジウムの検出 濃度（個/10L）	ジアルジアの検出 検出の有無（検出の場合○）	ジアルジアの検出 濃度（個/10L）	原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
R03-026	-01	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和3年2月19日15時15分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-027	-01	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	7	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年2月26日14時05分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-027	-02	R03.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和3年2月26日14時05分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-028	-01	R03.02	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	8			原水	健康被害報告なし		令和3年2月25日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-029	-01	R03.03	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)、富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			21.0万人(下北方浄水場)、14.7万人(富吉浄水場)	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和3年3月10日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和3年3月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和3年3月19日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-030	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年3月5日14時42分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-030	-02	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	42	○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年3月5日14時42分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-031	-01	R03.03	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○				66,521人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年3月4日　16:15　保健福祉部生活衛生課、県民生活環境部水政課、16:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-032	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	房総導水路東金分水工（東金市松之郷3668－3）	－	○	○			136千人	不明	0.1度以下	○	28	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年3月5日14時42分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-033	-01	R03.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和3年3月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-034	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年3月12日15時38分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-034	-02	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	5	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年3月12日15時38分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-035	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	房総導水路東金分水工（東金市松之郷3668－3）	－	○	○			136千人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年3月12日15時38分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-036	-01	R03.03	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	8			原水	健康被害報告なし		令和3年3月11日13時10分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-037	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年3月19日13時18分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-037	-02	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年3月19日13時18分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-038	-01	R03.03	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年2月17日 神奈川県保健医療局生活衛生部環境衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-039	-01	R03.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	8	○	3	原水	健康被害報告なし		令和3年3月23日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-040	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年3月26日13時50分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-041	-01	R03.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	表流水	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			58千人	不明	0.1度以下	○	1	○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年3月29日16時00分千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-042	-01	R03.03	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	24			原水	健康被害報告なし		令和3年4月1日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-043	-01	R03.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	9			原水	健康被害報告なし		令和3年4月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-044	-01	R03.04	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		令和3年4月14日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-045	-01	R03.04	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川（表流水）	表流水	木下取水場	レベル4	○	○			約110万人（令和元年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	15	原水	健康被害報告なし		令和3年4月21日16:46 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-046	-01	R03.04	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	天願川（表流水）	表流水	川崎取水ポンプ場	－	○	○			約45万人	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		県の水道行政監督機関である保健医療部薬務衛生課ならびに保健所へは、当該報告と同時の連絡を予定している。	活性炭処理水濁度管理の徹底	
R03-047	-01	R03.04	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		令和3年4月22日14時26分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-048	-01	R03.05	岐阜県	七宗町	簡易水道	谷水（表流水）	表流水	勝取水口	－			○		37人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		5/10　可茂保健所及び岐阜県薬務水道課へ（保健所より）連絡済み。マニュアルに則り、関係機関の指導の下、対応していく。 5/13　可茂保健所及び岐阜県薬務水道課へ（保健所より）再検査結果を連絡済み。	七宗町クリプトスポリジウム等マニュアルに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持する	
R03-049	-01	R03.05	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年5月11日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-050	-01	R03.05	沖縄県	沖縄県企業局	用水供給	天願川（表流水）	表流水	川崎取水ポンプ場	－	○	○			約45万人	不明	0.1度以下	○	8			原水	健康被害報告なし		県の水道行政監督機関である保健医療部薬務衛生課へ5月14日に5月11日採水の河川水からクリプトスポリジウムが検出された情報を連絡。5月20日に保健医療部衛生薬務課並びに給水区域の保健所に対し、5月14日の再検査の結果とともに検出状況を報告。6月2日、3日に保健医療部衛生薬務課並びに給水区域の保健所に対し、再検査結果と対応状況を連絡し、クリプトスポリジウム症が発生していないことを確認した。	活性炭処理水濁度管理の徹底	
R03-051	-01	R03.05	岐阜県	関ケ原町	上水道	関ケ原町藤古川ダム（表流水）	表流水	岐阜県関ケ原町藤古川浄水場	レベル4	○	○			およそ3000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		岐阜県関ケ原町→令和3年5月25日岐阜県西濃保健所へ連絡→岐阜県薬務水道課へ連絡	浄水濁度が常に0.1未満となるよう、浄水濁度管理の徹底及び急速ろ過施設の運用管理を徹底する。	
R03-052	-01	R03.05	高知県	高知県	簡易水道	松谷水源（松谷川　表流水）	表流水	椿原町簡易水道　西区上組地区位置：高知県高岡郡椿原町松谷松谷川（表流水を採水）	－			○		293人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし			浄水でのクリプトスポリジウム検査を実施（31日開始、6月3日に結果報告予定）。緩速ろ過運転管理の徹底。 通常運転に切り替え	
R03-053	-01	R03.05	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年5月27日11時47分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-054	-01	R03.06	北海道	中空知広域水道企業団	上水道	石狩川水系空知川（表流水）	表流水	中空知水道企業団取水口（砂川市富平3番15地先）	－			○		64,655人	原水の汚染（野生動物や家畜の糞）	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		6月9日　検査機関からジアルジア検出報告を受理。 北海道立滝川保健所へ水質検査結果（原水からジアルジア検出）報告。 6月10日　北海道立滝川保健所へ水質検査成績書提出。	・引き続き濁度管理の徹底（濁度0.1度未満の維持）	
R03-055	-01	R03.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年6月9日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-056	-01	R03.06	岩手県	軽米町（かるまいまち）	上水道	小玉川第1水源（ユムギ沢）、表流水	表流水	導水管中間蛇口	－	○	○			110人（34世帯）	不明	0.1度以下	○	21			原水	健康被害報告なし		・R3.6.22 岩手県 県民くらしの安全課（生活衛生担当）へ連絡 ・R3.6.22 厚生労働省水道課へ情報提供 ・R3.6.22 採水日より前14日間の常時濁度計の適正稼働確認、保健所等へのクリプトスポリジウム症発症者の状況確認を実施 ・R3.6.23 岩手県 二戸保健所による水道法に基づく立入検査実施	・クリプトスポリジウムが検出された水源（第1水源）については、引き続き供用停止とする一方、レベル4として適正に管理する。→ 緊急時の予備水源として残す。 ・供用中の第2水源については、レベル2として適正に管理する。	
R03-057	-01	R03.06	千葉県	千葉市	専用水道	地下水	地下水	ファミーINN幕張	レベル3			○		200人（定員）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし			特になし	紫外線照射装置設置予定	
R03-058	-01	R03.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年6月23日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-059	-01	R03.07	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　小山取水場	レベル4	○				256,005人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年7月15日　16:30　県民生活環境部水政課、17:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-060	-01	R03.07	群馬県	群馬県企業局	用水供給	群馬用水(利根川水系利根川)(表流水)	表流水	群馬県県央第二水道（取水位置：群馬県沼田市岩本町大字巻地先）	レベル3			○		772,523 人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-061	-01	R03.07	千葉県	野田市水道部	上水道	江戸川（表流水）	表流水	中野台取水場	－	○	○			127,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		7月21日11時45分に千葉県水道局水質センター監視課と、千葉県水政課、厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-062	-01	R03.08	滋賀県	甲賀市	上水道	表流水	表流水	小川浄水場（原水）	レベル4			○		422人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		上記記載	浄水濁度0.1以下を維持するよう徹底する。 浄水のクリプトスポリジウム・ジアルジアの検査結果速報を8月12日 11:00に滋賀県生活衛生課に連絡予定。	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(6/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R03-063	-01	R03.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年8月11日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-064	-01	R03.09	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和3年9月9日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-065	-01	R03.09	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	洞輪沢ポンプ場（東京都八丈町） 関之戸浄水場（東京都八丈町）	レベル4		○			洞輪沢ポンプ場 715人 関之戸浄水場 214人 （令和2年水道事業施設概要より）	不明	0.1度以下	○	14	○	5	原水	健康被害報告なし		令和3年10月1日　八丈町企業課に情報提供	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-066	-01	R03.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		令和3年10月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-067	-01	R03.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和3年10月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-068	-01	R03.10	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年10月21日11時05分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-069	-01	R03.10	京都府	京丹波町	上水道	表流水	表流水	第二水源浄水場　着水井	－	○	○			給水人口：約1700人	排出源：野生動物(鹿等)※推測	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年11月2日14時34分　京都府南丹保健所へ連絡。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-070	-01	R03.10	京都府	京丹波町	上水道	浅井戸	表流水	下山取水場	－	○	○			給水人口：約6100人	排出源：野生動物(鹿等)※推測	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年11月2日14時34分　京都府南丹保健所へ連絡。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-071	-01	R03.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	湖沼川（表流水）	表流水	茨城県企業局県中央水道事務所 涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○				66,615人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年11月11日　16:30　県民生活環境部水政課、17:00　厚生労働省へ連絡　令和3年11月12日　11:00　県民生活環境部水政課、11:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-072	-01	R03.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	那珂川（表流水）	表流水	茨城県企業局県中央水道事務所 水戸浄水場　水戸取水場	レベル4	○				678,376人（水戸浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年11月12日　11:00　県民生活環境部水政課、11:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-073	-01	R03.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	26			原水	健康被害報告なし		令和3年11月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-074	-01	R03.11	埼玉県	寄居町	上水道	荒川（表流水）	表流水	上郷分水場、象ケ鼻浄水場	－	○	○			3万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和3年11月18日16:51 埼玉県生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-075	-01	R03.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和3年11月16日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-076	-01	R03.11	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	秋ヶ瀬取水堰（埼玉県志木市宗岡）	－		○			朝霞浄水場：3,054,000人 （令和2年度配水量等による概算）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。 令和3年11月3日以降、都内でのクリプトスポリジウム症の発生がないことを、東京都福祉保健局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-077	-01	R03.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	下北方浄水場（柏田取水口）、富吉浄水場（富吉取水口）	レベル4	○	○			19.9万人（下北方浄水場）、15.6万人（富吉浄水場）	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年11月24日　宮崎県保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和3年12月1日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和3年12月1日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-078	-01	R03.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	鬼怒川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所 水海道浄水場　板戸井取水場	レベル4	○				256,005人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年11月18日　15:30　県民生活環境部水政課、16:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-079	-01	R03.11	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和3年11月25日10時50分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-080	-01	R03.11	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和3年11月30日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-081	-01	R03.12	岡山県	岡山県西南水道企業団	上水道	高梁川(表流水)	表流水	新庄浄水場　沈砂池(岡山県笠岡市広浜795-28)	レベル4	○	○			78,742人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		12月7日16:00～岡山県備中保健所　構成市町(笠岡市・浅口市・里庄町)へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-082	-01	R03.12	千葉県	千葉県	上水道	三原川水系三原川（表流水）	表流水	小向ダム取水口	－	○	○			12,847人（令和3年3月末）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年12月8日 15:50　千葉県総合企画部水政課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-083	-01	R03.12	岐阜県	飛騨市	上水道	大谷（表流水）	表流水	大谷第1水源取水場	－			○		364人(128戸)	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和3年12月7日19:20 岐阜県飛騨保健所へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-084	-01	R03.12	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系（表流水）及び酒匂川水系（表流水）	表流水	社家取水管理事務所及び飯泉取水管理事務所	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年12月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市水道局に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-085	-01	R03.12	岩手県	岩泉町（いわいずみちょう）	上水道	泉沢川水源（表流水）	表流水	普通沈殿池（原水採取位置）	－				○	攪綿浄水場　679人（349戸）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		状況確認結果の報告【県くら→県宮古保健所】	引き続き、ろ過水の濁度管理を徹底する	
R03-086	-01	R03.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川（表流水）	表流水	下北方浄水場（柏田取水口）、富吉浄水場（富吉取水口）	レベル4	○	○			19.9万人（下北方浄水場）、15.6万人（富吉浄水場）	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年12月21日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和3年12月23日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和3年12月23日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-087	-01	R03.12	東京都	東京都	上水道	表流水	表流水	三郷取水庭（埼玉県三郷市新和）	レベル4		○			三郷浄水場：2,657,000人 （令和2年度配水量等による概算）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。 令和3年12月1日以降、都内でジアルジア症の発生が無いことを、東京都福祉保健局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-088	-01	R03.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川（表流水）	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所 水海道浄水場　小山取水場	レベル4	○				235,671人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和3年12月16日　13:30　県民生活環境部水政課、14:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R03-089	-01	R03.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川（表流水）	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和3年12月22日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-001	-01	R04.01	新潟県	小千谷市	上水道	信濃川	表流水	小千谷浄水場	レベル4	○	○			28,771人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		特になし	浄水濁度管理の徹底と原水汚染状況の継続調査	
R04-002	-01	R04.01	千葉県	銚子市	上水道	利根川水系黒部川	表流水	千葉県香取郡東庄町新宿1465番地地先	－	○	○			44,094人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和4年1月19日10:40千葉県総合企画部水政課に連絡し、健康福祉部薬務課を通じて関係機関に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-003	-01	R04.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場（柏田取水口）	レベル4	○	○			19.9万人（下北方浄水場）	不明	0.1度以下	○	18			原水	健康被害報告なし		令和4年1月26日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認令和4年1月28日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告令和4年1月28日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底 水源域水質調査の実施	
R04-003	-02	R04.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場（富吉取水口）	レベル4	○	○			15.6万人（富吉浄水場）	不明	0.1度以下	○	18			原水	健康被害報告なし		令和4年1月26日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認令和4年1月28日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告令和4年1月28日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底 水源域水質調査の実施	
R04-004	-01	R04.01	埼玉県	企業局	水道用水供給事業	江戸川	表流水、（ダム放流水等）	庄和浄水場　江戸川右岸	レベル1	○	○			－	不明	0.1度以下	○	5	○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年1月21日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-005	-01	R04.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	－	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	－	○	○			57千人	不明	0.1度以下	○	5	○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年1月20日15時40分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-006	-01	R04.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局　県南水道事務所 利根川浄水場　利根川取水口	レベル4	○	○			270,176人（利根川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年1月25日　15:00　県民生活環境部水政課、16:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-007	-01	R04.01	埼玉県	企業局	水道用水供給事業	江戸川	表流水、（ダム放流水等）	新三郷浄水場　江戸川右岸	レベル4	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年1月27日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-008	-01	R04.01	埼玉県	深谷市水道事業	上水道	荒川	表流水	川本浄水場　六堰取水口水源	レベル4					7,446人	不明	0.1度以下	○	20			原水	健康被害報告なし		令和4年2月4日 17:10　埼玉県生活衛生課へ電話連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-009	-01	R04.02	宮城県	石巻地方広域水道企業団	上水道	旧北上川	表流水	鹿又取水場	－	○	○			155,828人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和4年2月7日15時00分　宮城県食と暮らしの安全推進課、石巻保健所及び厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-010	-01	R04.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	－	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	－	○	○			57千人	不明	0.1度以下	○	11			原水	－		令和4年2月4日13時36分　千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-011	-01	R04.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			－	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和4年2月9日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-012	-01	R04.02	千葉県	北千葉広域水道企業団	水道用水供給	江戸川	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	レベル4	○	○			4,341,222人（令和2年度現在、千葉県営水道分を含む）	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年2月9日 10:00 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(7/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R04-013	-01	R04.02	大阪府	箕面市上下水道局	上水道	箕面川	表流水	箕面取水場（大阪府箕面市温泉町1570番8）	レベル4	○	○			23384人（令和2年度末）	上流山中に生息するほ乳動物（猿・鹿等）の糞便等由来と推測される	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		2月17日、大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-014	-01	R04.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	–	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	–	○	○			57千人	不明	0.1度以下	○	30	○	2	原水	–		令和4年2月16日9時05分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-015	-01	R04.02	東京都	東京都	上水道	相模川	表流水	金町浄水場：金町取水塔（東京都葛飾区金町浄水場）	レベル4		○			金町浄水場：2,823,000人（令和2年度配水量等による概算）	不明	0.0度			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。令和4年2月2日以降、都内でジアルジア症の発生が無いことを、東京都福祉保健局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-015	-02	R04.02	東京都	東京都	上水道	相模川	表流水	朝霞浄水場：秋ヶ瀬取水堰（埼玉県志木市宗岡）	レベル4		○			朝霞浄水場：3,054,000人（令和2年度配水量等による概算）	不明	0.0度			○	1	原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。令和4年2月2日以降、都内でジアルジア症の発生が無いことを、東京都福祉保健局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-016	-01	R04.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)、	レベル4	○	○			19.9万人(下北方浄水場)	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年2月21日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認令和4年2月22日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告令和4年2月22日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-016	-02	R04.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			15.6万人(富吉浄水場)	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和4年2月21日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認令和4年2月22日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告令和4年2月22日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-017	-01	R04.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	–	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	–	○	○			57千人	不明	0.1度以下	○	7			原水	–		令和4年2月25日9時04分　千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-018	-01	R04.02	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和4年2月25日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-019	-01	R04.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	160	○	4	原水	健康被害報告なし		令和4年3月4日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-020	-01	R04.03	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○	○			66,615人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年3月4日　10:50　県民生活環境部水政課、11:15 厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-021	-01	R04.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	100	○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年3月4日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-022	-01	R04.03	神奈川県	川崎市上下水道局	上水道	相模川水系	表流水	長沢浄水場 第3着水井(原水)	レベル4	○	○			約141万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年3月4日(金)神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、川崎 市健康福祉局感染症対策課に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-023	-01	R04.03	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年3月10日11時39分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-024	-01	R04.03	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川及び鬼怒川	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　小山取水場	レベル4	○	○			228,463人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年3月10日　15:10　県民生活環境部水政課、15:50　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-025	-01	R04.03	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和4年3月16日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-026	-01	R04.03	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	–	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	–	○	○			57千人	不明	0.1度以下			○	1	原水	–		令和4年3月22日9時04分　千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-027	-01	R04.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	13	○	3	原水	健康被害報告なし		令和4年3月23日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-028	-01	R04.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	63	○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年3月31日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-029	-01	R04.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	6	○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年4月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-030	-01	R04.04	千葉県	千葉県	上水道	養老川水系　高滝ダム	表流水	高滝取水場（千葉県市原市養老字向842-3）	–	○	○			給水人口43,996人（令和2年3月31日現在）うち新井浄水場系約27,000人	不明	0.1度以下			○	1	原水	なし（千葉県健康福祉部薬務課に確認済み。）		令和4年4月8日　千葉県水政課、千葉県企業局、大多喜町環境水道課へジアルジア検出の報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-031	-01	R04.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	–	○	○			–	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年4月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-032	-01	R04.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年4月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-033	-01	R04.04	香川県	37-046 香川県広域水道企業団	上水道	当浜川	河川表流水	当浜取水地点	レベル4	○	○			74人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年4月21日 香川県環境管理課・水資源対策課、厚生労働省へ連絡 済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-034	-01	R04.05	香川県	37-046香川県広域水道企業団	上水道	唐櫃小出水源	河川表流水	唐櫃小出水源	レベル4	○	○			唐櫃岡91戸、唐櫃浜88戸、合計261人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年5月23日香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年5月24日厚生労働省へ連絡(5月20日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-034	-02	R04.05	香川県	37-046香川県広域水道企業団	上水道	唐櫃下小出水源	河川表流水	唐櫃下小出水源	レベル4	○	○			唐櫃岡91戸、唐櫃浜88戸、合計261人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年5月23日香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年5月24日厚生労働省へ連絡(5月20日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-035	-01	R04.05	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年5月17日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-036	-01	R04.05	宮城県	石巻地方広域水道企業団	上水道	旧北上川	表流水	鹿又取水場	–	○	○			154,764人 （令和4年3月末現在）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年5月30日 14時20分 宮城県食と暮らしの安全推進課、石巻保健所及び厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-037	-01	R04.05	千葉県	北千葉広域水道企業団	水道用水供給	江戸川	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	レベル4	○	○			4,341,222人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年5月18日 13:30 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-038	-01	R04.05	埼玉県	寄居町	上水道	荒川	表流水	上郷分水場	–	○	○			3万人	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		令和4年5月24日17:20 埼玉県生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-039	-01	R04.05	高知県	高知県	簡易水道	松谷水源（松谷川）	表流水	槙原町簡易水道　西区上組地区位置：高知県高岡郡槙原町松谷松谷川（表流水を採水）	–			○		290人	不明	–	○	1			原水	健康被害報告なし		5月30日17:30 須崎福祉保健所衛生環境課へ連絡。6月 6日08:35 須崎福祉保健所衛生環境課へ浄水水質検査結果電話報告。	浄水でのクリプトスポリジウム検査(5/31実施済) 緩速ろ過運転管理の徹底 通常運転に切り替え	
R04-040	-01	R04.05	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年5月31日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-041	-01	R04.06	北海道	美幌町	上水道	女満別川	表流水	日並浄水場着水井	–	○	○			17,502人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和 4年 6月21日 20:24　北海道北見保健所へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-042	-01	R04.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	12			原水	健康被害報告なし		令和4年6月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-043	-01	R04.06	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和4年6月16日11時21分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-044	-01	R04.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			①134万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和4年6月22日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-044	-02	R04.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	道志川	表流水	青山隧道出口（取水場所：相模原市緑区青山3482）	–					②64万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年6月22日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-045	-01	R04.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年6月28日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-046	-01	R04.07	群馬県	群馬東部水道企業団	上水道	利根川水系川口川	表流水	みどり第1水源（川口川）：群馬県桐生市黒保根町宿廻	–	○	○			38,984人（令和3年度末給水人口）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年7月7日13時に群馬県健康福祉部衛生食品課に連絡を入れ、「現時点で被害発生の報告はない」との報告を受ける。同日、利根川・荒川水道事業者連絡協議会に情報を提供。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-047	-01	R04.07	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			–	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年7月6日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-048	-01	R04.07	香川県	37-046香川県広域水道企業団	上水道	上川原水源	河川伏流水	上川原水源	–	○	○			綾南浄水場給水エリア約4，800戸	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年7月28日香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年7月29日厚生労働省へ連絡(7月29日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-049	-01	R04.07	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系　利根川	表流水	木下取水場	–	○	○			約118万人（令和3年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年7月21日15:24 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-050	-01	R04.07	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	–	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	–	○	○			57千人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年7月21日15時25分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-051	-01	R04.08	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	① 西谷浄水場（取水位置：沼本ダム（相模原市緑区三井））	レベル4	○	○			① 79万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年8月2日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-051	-02	R04.08	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	② 小雀浄水場（取水位置：寒川取水口（高座郡寒川町宮山））	レベル4	○	○			② 134万人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年8月2日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-051	-03	R04.08	神奈川県	横浜市水道局	上水道	道志川	表流水	③ 川井浄水場（取水位置：鮎子取水ぜき（相模原市緑区青山））	レベル4					③ 54万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和4年8月2日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(8/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R04-052	-01	R04.08	栃木県	栃木県	上水道、簡易専用水道、飲用井戸等	利根川水系渡良瀬川	河川水	栃木県佐野市高橋大橋付近	−					−	不明	−	○	5			原水	健康被害報告なし		令和4年8月5日、渡良瀬川の影響を受ける恐れのある水源を有する本件の本県の水道事業者（足利市及び野木町）、関係保健所及び下流都県に連絡済み。	引き続き注視していく。	
R04-053	-01	R04.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	−	○	○			−	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年8月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-053	-02	R04.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系及び相模川水系	表流水	西長沢浄水場	レベル4	○	○			−	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年8月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-054	-01	R04.08	千葉県	千葉県	上水道	2級河川養老川	表流水	面白浄水場　面白着水井	レベル4		○			7,690人	不明	0.1度以下			○	1	原水	なし（千葉県健康福祉部薬務課に確認済み。）		養老川水系の福増浄水場、新井浄水場及び県水政課へFAX及び電話にて連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-055	-01	R04.08	千葉県	千葉県	上水道	夷隅川水系夷隅川	表流水	佐野浄水場取水口	レベル4	○	○			6．400戸 （令和3年度末）	不明	0.1度以下	○	4			原水	なし（千葉県健康福祉部薬務課に確認済み。）		令和4年8月10日10：15分　千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-056	-01	R04.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年8月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-057	-01	R04.08	香川県	37-046 香川県広域水道企業団	上水道	堀池水源	浅層地下水	堀池水源	−	○	○			玉条浄水場給水エリア約3,000戸	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和4年9月6日 香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年9月5日 厚生労働省へ連絡(9月5日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-058	-01	R04.08	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年8月30日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-059	-01	R04.09	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年9月9日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-060	-01	R04.09	大阪府	能勢町	上水道	−	表流水	天王浄水場	レベル2			○		給水人口119人	野生動物が排出源と推測される	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		9月22日（木）に、20日（火）に採水した原水からクリプトスポリジウムが検出されたとの報告を大阪府茨木保健所より受ける。	引き続き遠隔情報伝達装置による浄水濁度の監視を徹底	
R04-061	-01	R04.09	宮城県	石巻地方広域水道企業団	上水道	旧北上川	表流水	神取山浄水場	レベル4	○		○		6,578人 （令和4年8月末現在）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年9月27日10時35分　宮城県食と暮らしの安全推進課、石巻保健所及び厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-062	-01	R04.09	香川県	37-046香川県広域水道企業団	上水道	北山水源	河川表流水	北山水源	−	○	○			約4，000戸　約7,100人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年10月12日香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年10月13日厚生労働省へ連絡(10月11日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-063	-01	R04.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年10月7日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-064	-01	R04.10	岐阜県	七宗町	簡易水道	神渕川	表流水	麻生取水口	レベル4					1,512人	不明	−	○	1			原水	健康被害報告なし		10月21日　岐阜県可茂保健所へ連絡済み	七宗町クリプトスポリジウム等マニュアルに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持する。 10月24日に再検査の実施を予定。	
R04-065	-01	R04.10	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川	−	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	−	○	○			57千人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		令和4年10月20日14時50分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-066	-01	R04.10	香川県	37-046香川県広域水道企業団	上水道	上川原水源	河川伏流水	上川原水源	−	○	○			綾南浄水場給水エリア約4，800戸	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年11月8日香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済 令和4年11月9日厚生労働省へ連絡(11月4日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-067	-01	R04.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下	○	17			原水	健康被害報告なし		令和4年11月2日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-067	-02	R04.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	−	○	○			−	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年11月2日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-068	-01	R04.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相浦川	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和4年11月8日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-069	-01	R04.11	長崎県	佐世保市	上水道	相浦川	表流水	四条橋取水場	−					107,358人	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		令和4年11月16日 佐世保市保健所、厚生労働省、長崎県へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-070	-01	R04.11	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（ 栗山川）	−	房総導水路東金分水工（東金市松之郷3668－3）	−	○	○			134千人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年11月10日15時05分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-071	-01	R04.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	−	○	○			−	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和4年11月11日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小 田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-072	-01	R04.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		令和4年11月15日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-073	-01	R04.11	東京都	東京都	上水道	−	表流水	秋ヶ瀬取水堰（埼玉県志木市宗岡）	−		○			朝霞浄水場：2,592,000人（令和3年度配水量等による概算）	不明	0.0度	○	1			−	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡済み。また、令和4年11月2日以降都内ではクリプトスポリジウム症の感染報告がないことを福祉保健局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-074	-01	R04.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場（柏田取水口）	レベル4	○	○			20．5万人（下北方浄水場）	不明	0.1度以下	○	8			原水	健康被害報告なし		令和4年11月21日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無 を確認 令和4年11月22日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和4年11月22日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-074	-02	R04.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場（富吉取水口）	レベル4	○	○			15.3万人（富吉浄水場）	不明	0.1度以下	○	12			原水	健康被害報告なし		令和4年11月21日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無 を確認 令和4年11月22日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和4年11月22日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-075	-01	R04.11	高知県	高知県	簡易水道	−	表流水	椿原町簡易水道　西区上組地区 位置：高知県高岡郡椿原町松谷松谷川（河川水を採水）	−			○		290	不明	−			○	1	原水	健康被害報告なし		11月24日　須崎福祉保健所衛生環境課へ連絡12月02日　再検査結果について須崎福祉保健所衛生環境課へ連絡	浄水でのジアルジア検査を実施（28日実施済） 緩速ろ過運転管理の徹底 通常運転に切り替え	
R04-076	-01	R04.11	高知県	高知県	簡易水道	−	表流水	椿原町簡易水道　六丁地区 位置：高知県高岡郡椿原町坂本川　四万川川（表流水を採水）	−			○		165人	不明	−	○	8			原水	健康被害報告なし		11月24日　須崎福祉保健所衛生環境課へ連絡12月02日　再検査結果について須崎福祉保健所衛生環境課へ連絡	浄水でのクリプトスポリジウム検査を実施（28日実施済） 緩速ろ過運転管理の徹底 通常運転に切り替え	
R04-077	-01	R04.11	埼玉県	企業局	水道用水供給事業	−	表流水、（ダム放流水等）	新三郷浄水場　江戸川右岸	レベル4	○	○			−	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年11月18日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-078	-01	R04.11	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場	レベル4	○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和4年11月25日11時20分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-079	-01	R04.11	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和4年11月29日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-080	-01	R04.12	高知県	高知県	飲料水供給施設	−	表流水	宿毛市沖の島町長浜	−		○			−	−	−	○	1			−	健康被害報告なし		12/13　9：20高知県食品検査センターに浄水での検査を依頼。12/15に採水予定。	12/15に浄水を採水予定。 急速ろ過運転管理の徹底。	
R04-081	-01	R04.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所　涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○	○			66,460人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年12月8日　13:30　政策企画部水政課、14:00　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-082	-01	R04.12	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川	表流水	社家取水管理事務所	レベル2	○	○			−	不明	0.1度以下	○	19			原水	健康被害報告なし		令和4年12月9日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横 浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連 絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-083	-01	R04.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場（柏田取水口）	レベル4	○	○			20.5万人（下北方浄水場）	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		令和4年12月19日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無 を確認 令和4年12月19日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和4年12月19日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-083	-02	R04.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場（富吉取水口）	レベル4	○	○			15.3万人（富吉浄水場）	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		令和4年12月19日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無 を確認 令和4年12月19日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和4年12月19日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-084	-01	R04.12	高知県	高知県	簡易水道	四万十川	伏流水	大野見中央地区簡易水道　吉野浄水場	レベル4			○		157戸	不明	−	○	1			原水	健康被害報告なし		12月22日　須崎福祉保健所及び高知県薬務衛生課に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底及び浄水の検査	
R04-085	-01	R04.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	8	○	3	原水	健康被害報告なし		令和4年12月21日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-086	-01	R04.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	8	○	3	原水	健康被害報告なし		令和4年12月21日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R04-087	-01	R04.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所 水海道浄水場　小山取水場	レベル4	○	○			256,148人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和4年12月22日　13:30　政策企画部水政課、14:15　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-001	-01	R05.01	東京都	東京都	上水道	−	表流水	ひむら浄水所：川乗谷取水所（東京都奥多摩町）				○		1,600人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		なし	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-002	-01	R05.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所			○	○		−	不明	0.1度以下	○	7	○	7	原水	健康被害報告なし		令和5年1月6日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-003	-01	R05.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所			○	○		−	不明	0.1度以下	○	14	○	5	原水	健康被害報告なし		令和5年1月11日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(9/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R05-004	-01	R05.01	千葉県	千葉県	上水道	養老川水系　高滝ダム	表流水	高滝取水場			○			43,652人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和5年1月12日　千葉県水政課、千葉県企業局、大多喜町環境水道課へクリプトスポリジウム検出の報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-005	-01	R05.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場		○	○			66,460人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年1月12日　14:15　政策企画部水政課、14:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-006	-01	R05.01	岐阜県	七宗町	簡易水道	神渕川	表流水	麻生取水口				○		1,512人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		1月13日に岐阜県可茂保健所へ連絡済み	七宗町クリプトスポリジウム等マニュアルに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持するように細心の注意を図る。今後も水質検査により検出があった場合には、遅延なく可茂保健所に連絡する。	
R05-007	-01	R05.01	埼玉県	企業局	用水供給	江戸川	表流水	庄和浄水場		○	○				不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年1月20日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-008	-01	R05.01	群馬県	群馬東部水道企業団	上水道	利根川	表流水	東部浄水場取水口：群馬県邑楽郡千代田町瀬戸井		○	○			399,770人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年1月20日11時に群馬県健康福祉部衛生食品課に連絡を入れ、「現時点で被害発生の報告はない」との報告を受ける。同日、利根川・荒川水道事業者連絡協議会に情報を提供。	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-009	-01	R05.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	8			原水	健康被害報告なし		令和5年1月23日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年1月23日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年1月23日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-009	-02	R05.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		令和5年1月23日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年1月23日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年1月23日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-010	-01	R05.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局　県南水道事務所利根川浄水場　利根川取水口		○	○			310,579人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年1月24日　13:50　政策企画部水政課、14:15　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-011	-02	R05.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局　県西水道事務所水海道浄水場　小山取水場		○	○			256,148人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年1月24日　13:50　政策企画部水政課、14:15　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-012	-01	R05.01	香川県	香川県広域水道企業団	上水道	桂川砂防ダム	表流水	大部水源		○	○			458人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年1月26日　香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済　令和5年1月26日　厚生労働省へ連絡(1月26日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-013	-01	R05.01	香川県	香川県広域水道企業団	上水道	当浜川	表流水	当浜取水地点		○	○			74人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年1月26日　香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済　令和5年1月26日　厚生労働省へ連絡(1月26日架電にて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-014	-01	R05.02	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場		○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	6	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年1月19日11時15分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-015	-01	R05.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	21			原水	健康被害報告なし		令和5年2月3日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-016	-01	R05.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川（ 栗山川 ）	表流水	光取水場		○	○			57,000人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年2月23日16時35分　千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-017	-01	R05.02	新潟県	新潟市水道局	上水道	西川	表流水	巻浄水場		○	○			40,990人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年2月9日 16時30分 新潟県へ電話にて報告済。	巻浄水場におけるろ過水濁度の管理を徹底することを指示済。	
R05-018	-01	R05.02	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場		○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和5年2月9日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-019	-01	R05.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年2月10日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-020	-01	R05.02	千葉県	北千葉広域水道企業団	用水供給	江戸川	表流水	北千葉広域水道企業団取水口		○	○			4,345,970人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年2月15日 13:20 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-021	-01	R05.02	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場		○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和5年2月16日11時22分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-022	-01	R05.02	千葉県	千葉県	上水道	夷隅川水系夷隅川	表流水	佐野浄水場取水口		○	○			6,400戸	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年2月16日10時40分　千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-023	-01	R05.02	埼玉県	企業局	用水供給	江戸川	表流水	新三郷浄水場　江戸川右岸		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年2月17日　埼玉県保健医療部生活衛生課、利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-024	-01	R05.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和5年2月17日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年2月17日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年2月17日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-024	-02	R05.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)		○	○			15.3万人	不明	0.1度以下	○	7			原水	健康被害報告なし		令和5年2月17日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年2月17日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年2月17日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-025	-01	R05.02	高知県	高知県	簡易水道	高知県高岡郡梼原町坂本川	表流水	梼原町簡易水道　六丁地区				○		165人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		17日　須崎福祉保健所衛生環境課　連絡済み　27日　須崎福祉保健所衛生環境課へ再検査結果報告	浄水でのクリプトスポリジウム検査を実施(20日実施済)　緩速ろ過運転管理の徹底　通常運転に切り替え	
R05-026	-01	R05.03	大阪府	箕面市上下水道局	上水道	箕面川	表流水	箕面取水場			○			23,572人	上流山中に生息するほ乳動物（猿・鹿等）の糞便等由来と推測される	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		3月2日、大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-027	-01	R05.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	47			原水	健康被害報告なし		令和5年3月10日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-027	-02	R05.03	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年3月10日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省へ連絡済み、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-028	-01	R05.03	香川県	香川県広域水道企業団	上水道	造田第3水源	浅井戸	造田第3水源						約160戸	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年3月10日　香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済　令和5年3月10日　厚生労働省へ連絡(3月10日メールにて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：浄水装置
R05-029	-01	R05.03	香川県	香川県広域水道企業団	上水道	地蔵前水源(砂防ダム)	表流水	地蔵前水源		○	○			約3,600戸	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年3月10日　香川県環境管理課・水資源対策課に連絡済　令和5年3月10日　厚生労働省へ連絡(3月10日メールにて速報済)	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-030	-01	R05.03	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口		○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	3	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年3月16日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-031	-01	R05.03	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	県南水道事務所利根川浄水場 利根川取水口		○	○			310,579人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年3月16日　16:30　政策企画部水政課、16:30　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-032	-01	R05.03	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和5年3月17日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年3月17日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年3月17日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-032	-02	R05.03	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)		○	○			15.3万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年3月17日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年3月17日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年3月17日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-033	-01	R05.03	熊本県	-	上水道	一本木水源地（深2号井）	深井戸	一本木水源地					○	約25,000人	不明	-	○	1			原水	健康被害報告なし		3/15 局内部で情報共有	当該井戸には紫外線処理装置を設置しており、運用を継続しても安全性に問題はないが、万全を期すために当該井戸の運用を停止した。	浄水処理方法：紫外線処理
R05-034	-01	R05.03	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場		○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年3月23日11時31分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-035	-01	R05.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	12	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年4月7日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-035	-02	R05.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下			○	6	原水	健康被害報告なし		令和5年4月7日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-036	-01	R05.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和5年4月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-037	-01	R05.04	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和5年4月19日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年4月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年4月19日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-037	-02	R05.04	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)		○	○			15.3万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年4月19日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年4月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年4月19日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-038	-01	R05.04	神奈川県	横須賀市上下水道局	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場		○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年4月20日11時54分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-039	-01	R05.04	岐阜県	七宗町	簡易水道	谷水	表流水	大崎取水口				○		23人	不明	0.1度以下			○	6	原水	健康被害報告なし		4月24日（月）岐阜県健康福祉部薬務水道課及び岐阜県可茂保健所へ連絡済み。マニュアルに則り、関係機関の指導の下、対応していく。	七宗町ｸﾘﾌﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等ﾏﾆｭｱﾙに基づき、施設の適切な運転管理を行い浄水処理の安全確認のため、浄水濁度を0.1度以下に維持するように細心の注意を図る。今後も水質検査により検出があった場合には、遅延なく可茂保健所に連絡する。	
R05-040	-01	R05.05	岐阜県	飛騨市	上水道	種蔵水源	表流水	種蔵水源				○		75人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年5月11日　8:30岐阜県飛騨保健所へ連絡 令和5年5月11日 9:00岐阜県飛騨保健所へメールにて第1報 令和5年5月11日 14:00保健所職員と現地確認 令和5年5月12日 16:00検査結果（不検出）を飛騨保健所へ報告	ﾎﾟｰﾀﾞﾙ濁度計により監視を行う。	
R05-041	-01	R05.05	新潟県	小千谷市	上水道	信濃川	表流水	小千谷浄水場		○	○			28,128人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		特になし	浄水濁度管理の徹底と原水汚染状況の継続調査	ファイル名は「R5.6.15別添4（健康に影響を及ぼす水質事故）.xls」となっていたが、発生日時は5月15日。
R05-042	-01	R05.05	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年5月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(10/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R05-043	-01	R05.05	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場		○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1	○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年5月16日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-044	-01	R05.05	宮崎県	上下水道局水道部浄水課水質管理センター	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)		○	○			20.5万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年6月23日 宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年5月24日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年5月24日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-045	-01	R05.05	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川水系 江戸川	表流水	矢切取水場		○	○			約60万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年5月23日15:19 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-046	-01	R05.05	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場		○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年5月30日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-047	-01	R05.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年6月9日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-048	-01	R05.06	大阪府	能勢町	上水道	-	表流水	妙見山浄水場				○		5人	-	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課に15日（木）13:20に報告。	引き続き遠隔情報伝達装置による浄水濁度の監視を徹底	
R05-049	-01	R05.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口		○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和5年6月21日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-050	-01	R05.07	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和5年7月7日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-051	-01	R05.07	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川	表流水	有馬浄水場		○	○			40万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年7月13日13時15分横須賀市健康部保健所生活衛生課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-052	-01	R05.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年8月4日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-053	-01	R05.08	千葉県	千葉県	上水道	養老川	表流水	面白浄水場　面白着水井			○			1,833人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		大多喜町から養老川水系の福増浄水場、新井浄水場及び県水政課へFAX及び電話にて連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-054	-01	R05.08	愛媛県	-	上水道	-	表流水	上須戒水源				○		287人	不明（山にある施設のため動物の糞便や肥料等の可能性有）	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		大洲市・愛媛県総合保健協会・愛媛県衛生環境研究所・愛媛県環境ゼロカーボン推進課が相互連絡。大洲市を管轄する八幡浜保健所へも連絡済み。	取水井戸と沈殿池の清掃を現在年2回実施しているところ、回数を増やしての実施を検討。年4回実施しているクリプトスポリジウム検査を経過観察のため9月～11月の間は月1回検査を行う。	
R05-055	-01	R05.08	東京都	東京都	簡易水道	-	表流水	利島村浄水場			○			307人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年8月28日　利島村環境建設課に情報提供	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-056	-01	R05.08	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場		○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年8月29日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-057	-01	R05.09	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年9月8日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-058	-01	R05.09	東京都	東京都	上水道	-	湧水	洞輪沢浄水場			○			681人	不明	0.1度以下	○	1	○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年9月14日　八丈町企業課に情報提供	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-059	-01	R05.09	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口		○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年9月27日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-060	-01	R05.09	東京都	東京都	上水道	-	表流水	北秋川浄水場				○		約1300人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年9月28日　檜原村産業環境課に情報提供	MF膜処理後の濁度管理の徹底	
R05-061	-01	R05.10	高知県	高知県	上水道	矢の川　支川	表流水	鰆川旧簡易水道　原水取水地				○		205人	-	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		10月2日　15：50　高知県薬務衛生課および幡多福祉保健所に報告	上記上水の検査結果が出るまでは、緩速ろ過運転管理の徹底を行い、また、ろ過処理水の濁度の観測を行う。	
R05-062	-01	R05.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		10月6日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-062	-02	R05.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所		○	○			-	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		10月6日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-063	-01	R05.10	千葉県	野田市水道部	上水道	江戸川	表流水	中野台取水場		○	○			127,000人	不明	0.1度以下	○	2			原水	確認中		10月12日16時30分に千葉県水道局水質センター監視課と、千葉県水政課、厚生労働省へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-064	-01	R05.10	埼玉県	企業局	用水供給	荒川	表流水	吉見浄水場　荒川右岸		○	○			-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年10月13日　埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-065	-01	R05.10	千葉県	千葉県企業局	上水道	利根川	表流水	木下取水場		○	○			約118万人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年10月17日16:11 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-066	-01	R05.10	千葉県	千葉県	上水道	待崎川	表流水	鴨川市水道局横渚浄水場取水口		○	○			7,249人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年10月25日15：00ごろ　千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-067	-01	R05.10	群馬県	富岡市	上水道	鏑川	表流水	南蛇井ポンプ場			○			46,038人	-	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		10/26　群馬県健康福祉部食品・生活衛生課　水道係に電話報告。 鏑川で検出であること、鏑川から分岐した取水地点（当市のみ利用）で検出されたことから、利根川・荒川水道事業者協議会には連絡していません。	浄水における濁度及び水質の監視・管理の徹底	
R05-068	-01	R05.10	群馬県	健康福祉部食品・生活衛生課水道係	上水道	片品川	表流水	沼田浄水場			○			24,086人	表流水のため、クリプトスポリジウムに汚染されていたと考えられる。	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		なし	「水道におけるｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等対応指針（厚労省）及び「水道における群馬県ｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等対策ﾏﾆｭｱﾙ（群馬県）」により、現有設備で適切なろ過が行われていることを確認（ｸﾘﾌﾟﾄのリスクレベル4の場合、ろ過出口濁度0.1以下を維持したが、当面の間、濁度管理体制を強化し、経過観察することとした。	
R05-069	-01	R05.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場			○	○		134万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和5年11月7日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-070	-01	R05.11	茨城県	茨城県企業局	上水道	那珂川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所水戸浄水場　水戸取水場			○	○		675,654人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年11月9日　17:20　政策企画部水政課、17:20　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-071	-01	R05.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所			○	○		-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年11月14日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-072	-01	R05.11	埼玉県	企業局	用水供給	荒川	表流水	大久保浄水場　荒川左岸			○	○		-	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年11月17日　埼玉県保健医療部生活衛生課、 利根川・荒川水系連絡協議会　連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-073	-01	R05.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)			○	○		21.3万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和5年11月21日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認　令和5年11月21日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告　令和5年11月21日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-073	-02	R05.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)			○	○		14.3万人	不明	0.1度以下	○	6			原水	健康被害報告なし		令和5年11月21日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認　令和5年11月21日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告　令和5年11月21日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-074	-01	R05.12	京都府	京丹波町	上水道	-	浅井戸	下山取水場（畑川浄水場）			○	○		約6100人	排出源：野生動物（鹿等） ※推測	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年12月6日　10時40分　京都府南丹保健所へ連絡。	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-075	-01	R05.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	涸沼川浄水場　涸沼川取水場			○	○		65,688人	不明	0.1度以下	○	1	○	14	原水	健康被害報告なし		令和5年12月7日　16:40　政策企画部水政課、16:40　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-076	-01	R05.12	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所			○	○		-	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年12月8日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-077	-01	R05.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)			○	○		21.3万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和5年12月19日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年12月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年12月19日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-077	-02	R05.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)			○	○		14.3万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和5年12月19日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和5年12月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和5年12月19日　厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-078	-01	R05.12	群馬県	群馬県企業局	用水供給	群馬用水(利根川水系利根川)	表流水	群馬県県央第二水道				○		772,523 人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		・群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み。・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-079	-01	R05.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口			○	○		134万人	不明	0.1度以下	○	2	○	5	原水	健康被害報告なし		令和5年12月20日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-080	-01	R05.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	利根川浄水場　利根川取水口			○	○		266,377人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和5年12月20日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R05-081	-01	R05.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場			○	○		134万人	不明	0.1度以下	○	4	○	2	原水	健康被害報告なし		令和5年12月25日　神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-01	-01	R06.01	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年1月5日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-02	-01	R06.01	千葉県	銚子市	上水道	利根川水系黒部川	表流水	千葉県香取郡東庄町新宿1465番地先	-	○	○			40,968人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年1月17日11:45千葉県総合企画部水政課に連絡し、健康福祉部薬務課を通じて関係機関に連絡済み。同日17:05水政課より入電。薬務課が保健所に確認したところ17：00現在で症状のある事案等はないとのこと。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-03	-01	R06.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.3万人	不明	0.1度以下	○	12			原水	健康被害報告なし		令和6年1月23日 宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年1月23日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年1月23日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-03	-02	R06.01	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.3万人	不明	0.1度以下	○	14			原水	健康被害報告なし		令和6年1月23日 宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年1月23日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年1月23日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(11/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R06-04	-01	R06.01	千葉県	千葉県	上水道	養老川水系　高滝ダム	表流水	高滝取水場（千葉県市原市養老字向842-3）	－	○	○			給水人口43,325人（令和5年3月31日現在） うち新井浄水場（直送系）約27,000人 　新井浄水場＋地下水浄水場系 約11,500人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年1月19日　千葉県水政課、千葉県企業局、大多喜町環境水道課へクリプトスポリジウム検出の報告	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：沈澱池→急速ろ過池→オゾン接触池→活性炭ろ過池
R06-05	-01	R06.01	千葉県	水道部浄水課水質管理班	上水道	利根川水系　利根川	表流水	印旛取水場	－	○	○			約41万人（令和4年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年1月23日14:49 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿、急速ろ過、オゾン－粒状活性炭（柏井浄水場東側施設）
R06-06	-01	R06.01	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	－	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			56,000人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年1月25日14時30分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-07	-01	R06.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局 県西水道事務所水海道浄水場 小山取水場	－	○	○			234,485人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和6年1月25日 13:25 政策企画部水政課、13:30 厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：粉末活性炭＋凝集沈殿＋オゾン＋生物活性炭＋急速砂ろ過
R06-08	-01	R06.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局 県南水道事務所利根川浄水場 利根川取水口	レベル4	○	○			266,377人（利根川浄水場）	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		令和6年1月25日 13:25 政策企画部水政課、13:30 厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：粉末活性炭＋凝集沈殿＋オゾン＋生物活性炭＋急速砂ろ過 ＋急速砂ろ過
R06-09	-01	R06.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	6	○	2	原水	健康被害報告なし		45317 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-10	-01	R06.02	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		45324 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-11	-01	R06.02	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模湖	表流水	西谷浄水場（取水位置：沼本ダム（相模原市緑区三井））	レベル4	○	○			83万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年2月6日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-11	-02	R06.02	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場（取水位置：寒川取水口（高座郡寒川町宮山））	レベル4	○	○			140万人	不明	0.1度以下	○	3			原水	健康被害報告なし		令和6年2月6日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、厚生労働省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-12	-01	R06.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	－	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			56,000人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年2月8日15時15分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-13	-01	R06.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局 県西水道事務所水海道浄水場 小山取水場	－	○	○			234,485人（水海道浄水場）	不明	0.1度以下			○	3	原水	健康被害報告なし		令和6年2月8日 13:20 政策企画部水政課、13:30 厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：粉末活性炭＋凝集沈殿＋オゾン＋生物活性炭＋急速砂ろ過
R06-14	-01	R06.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.3万人	不明	0.1度以下	○	13			原水	健康被害報告なし		令和6年2月20日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年2月20日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年2月20日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-14	-02	R06.02	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.3万人	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		令和6年2月20日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年2月20日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年2月20日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-15	-01	R06.02	千葉県	北千葉広域水道企業団	上水道	江戸川	表流水	北千葉広域水道企業団取水口（松戸市七右衛門新田地先）	－	○	○			4,355,585人（令和4年度現在、千葉県営水道分を含む）	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年2月16日 11:00 厚生労働省、千葉県総合企画部水政課、構成団体（千葉県、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市、八千代市）へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿－オゾン－生物活性炭－急速ろ過
R06-16	-01	R06.02	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○	○			65,668人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年2月16日　12:10　政策企画部水政課，12:10　厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿＋急速砂ろ過＋粒状活性炭
R06-17	-01	R06.02	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川）	－	光取水場（山武郡横芝光町宝米1751番地）	レベル4	○	○			56,000人	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年2月22日10時00分 千葉県水政課及び利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-18	-01	R06.03	千葉県	銚子市	上水道	利根川水系黒部川	表流水	千葉県香取郡東庄町新宿1465番地先	－	○	○			40,861人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年3月6日11:50千葉県総合企画部水政課に連絡し、健康福祉部薬務課を通じて関係機関に連絡済み。同日17:01水政課より入電。薬務課が保健所に確認したところ17：00現在で症状のある事案等はないとのこと。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-19	-01	R06.03	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.3万人	不明	0.1度以下	○	12			原水	健康被害報告なし		令和6年3月15日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年3月15日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年3月15日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-19	-02	R06.03	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.3万人	不明	0.1度以下	○	10			原水	健康被害報告なし		令和6年3月15日 宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年3月15日 宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年3月15日 厚生労働省水道課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-20	-01	R06.03	千葉県	千葉県企業局	上水道	養老川水系　高滝ダム	表流水	高滝取水場	－	○	○			約22万人（令和4年度給水量案分）	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和6年3月12日16:20　市原市新井浄水場、大多喜町環境水道課及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿、急速ろ過、オゾン－生物活性炭（福増浄水場）
R06-21	-01	R06.03	東京都	東京都	上水道	－	表流水	三郷浄水場：三郷取水庭（埼玉県三郷市新和）	レベル4		○			2,707,300人	不明	0.0度	○	1	○	1	－	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（全量高度浄水処理）
R06-21	-02	R06.03	東京都	東京都	上水道	－	表流水	三園浄水場：秋ヶ瀬取水堰（埼玉県志木市宗岡）	レベル4		○			799,000人	不明	0.0度			○	1	－	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（全量高度浄水処理）
R06-22	-01	R06.03	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4	○	○			65,668人（涸沼川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年3月14日 12:00 政策企画部水政課，12:10 厚生労働省へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿＋急速砂ろ過＋粒状活性炭
R06-23	-01	R06.03	新潟県	新潟市水道局	上水道	中ノ口川	表流水	戸頭浄水場	レベル4	○	○			56,440人（令和4年度末時点）	－	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年3月22日 17時27分　新潟県へ電話にて報告済。	戸頭浄水場におけるろ過水濁度の管理を徹底することを指示済。	
R06-24	-01	R06.04	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	4			原水	健康被害報告なし		①神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課 ②神奈川県企業庁企業局 ③横浜市水道局 ④川崎市上下水道局 ⑤横須賀市上下水道局 ⑥厚生労働省 に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-25	-01	R06.04	千葉県	九十九里地域水道企業団	上水道	利根川水系利根川（栗山川	－	光取水場(山武郡横芝光町宝米1751番地)	レベル4	○	○			56,000人	不明	0.1度以下	○	3	○	1	原水	健康被害報告なし		■4月8日11時00分 ①千葉県水政課 ②利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会 へ連絡済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-26	-01	R06.04	群馬県	群馬県	上水道	片品川	表流水	下久屋取浄水場	－		○			24,086人	表流水のため、ジアルジアに汚染されていたと考えられる。	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		なし	「水道におけるｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等対応指針(厚労省)及び「水道における群馬県ｸﾘﾌﾟﾄｽﾎﾟﾘｼﾞｳﾑ等対策ﾏﾆｭｱﾙ(群馬県)により、現有設備で適切なろ過が行われていることを確認（ｸﾘﾌﾟﾄ等のﾘｽｸへﾚﾍﾞﾙ4の場合、ろ過出口濁度0.1以下、4/1～4/22全日で0.1以下を維持）したが、当面の間、濁度管理体制を強化し、経過観察することとした。	
R06-27	-01	R06.04	東京都	保健医療局健康安全部環境保健衛生課水道担当	上水道	－	表流水	①東村山浄水場1急系:秋ヶ瀬取水堰(埼玉県志木市宗岡) ②村山下貯水池取水塔(東京都東大和市多摩湖)	レベル4		○			2,750,000人（令和4	不明	0.1度以下	○	2			－	健康被害報告なし		①周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。 ②また、4月3日以降都内でクリプトスポリジウム症の発生がないことを、東京都保健医療局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（高度浄水処理）
R06-28	-01	R06.04	群馬県	群馬東部水道企業団	上水道	利根川水系渡良瀬川	表流水	太田渡良瀬川取水場(群馬県桐生市広沢町4丁目)	レベル4	○	○			110,668人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		■4月18日 利根川・荒川水道事業者連絡協議会に情報を提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-29	-01	R06.04	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場:柏田取水口	レベル4	○	○			21,3000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		■4月23日 ①宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 ②宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 ③国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-29	-02	R06.04	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場:富吉取水口	レベル4	○	○			14,3000人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		■4月23日 ①宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 ②宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 ③国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-30	-01	R06.04	群馬県	群馬県企業局	上水道	群馬用水(利根川水系利根川	表流水	群馬県県央第一水道（取水位置：群馬県沼田市岩本町大字巻地先）	－		○			729,194 人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		①群馬県健康福祉部食品・生活衛生課、国土交通省(関東地方整備局)へ連絡済み。 ②利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会連絡網により情報提供済み。	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-31	-01	R06.04	群馬県	群馬県	上水道	横瀬川(細萱表流水)	表流水	細萱浄水場（下仁田町大字馬山字細萱5633-2，5634-2）	レベル4				○	11戸	不明	－			○	1	原水	健康被害報告なし		・令和6年5月29日に下仁田町から当課へ口頭報告（様式4による書面報告は5月30日） ・令和6年5月31日に様式4にて第2報報告	【下仁田町】 ・適切な頻度で水質検査を実施する（月に1回指標菌、原水の濁度検査を実施、3ヶ月に1回クリプトスポリジウム等検査を実施）。 ・該当浄水場の浄水を毎日20L採水し、14日間保管する。 ・県が策定した「クリプトスポリジウム等対策マニュアル」を踏まえて、水質事故発生時の対応の流れを整理する。 【群馬県食品・生活衛生課】 下仁田町に対し、水質事故等の発生を把握した時は直ちに情報提供するよう指導する。	浄水処理方法：沈殿池、緩速濾過池、電気注入式滅菌器

表 4-3　クリプトポリジウム等の検出状況(12/12)

処理用連番	枝番	発生時期（年/月）	都道府県名	事業体/自治体名	水道種別	水源の名称	水源種別	浄水施設名（記載がない場合、取水口等の記載があれば記す）	リスクレベル	浄水処理方法				給水人口（人）	原因	検出時の浄水濁度	クリプトスポリジウムの検出		ジアルジアの検出		原水/浄水の別	健康被害発生状況	対応経緯	関係機関との連絡	今後の対応方針	備考欄
										凝集沈殿	急速ろ過	緩速ろ過	消毒のみ				検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）	検出の有無（検出の場合○）	濃度（個/10L）						
R06-32	-01	R06.05	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		■5月10日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、厚生労働省、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-33	-01	R06.05	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場（取水位置：寒川取水口（高座郡寒川町宮山））	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	2	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年5月14日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、国土交通省関東地方整備局へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：膜ろ過
R06-33	-02	R06.05	神奈川県	横浜市水道局	上水道	道志川	表流水	川井浄水場（取水位置：鮎子取水ぜき（相模原市緑区青山））	レベル4					54万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年5月14日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、国土交通省関東地方整備局へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-34	-01	R06.05	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.3万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年5月21日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年5月22日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年5月22日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-35	-01	R06.06	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年6月7日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-36	-01	R06.06	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.3万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年6月18日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年6月18日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年6月18日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-36	-02	R06.06	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.3万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年6月18日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年6月18日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年6月18日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-37	-01	R06.06	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年6月26日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、国土交通省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-38	-01	R06.07	新潟県	新潟市水道局	上水道	阿賀野川	表流水	阿賀野川浄水場、満願寺浄水場	レベル4	○	○			272,598人	－	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年7月26日 9時00分 新潟県へ電話にて報告済。	阿賀野川浄水場、満願寺浄水場におけるろ過水濁度の管理を徹底することを指示済。	
R06-39	-01	R06.08	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年8月16日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-40	-01	R06.08	高知県	高知県	上水道	安和第2水源	浅井戸	安和第2水源ポンプ場	レベル3				○	不明	不明	－	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年8月19日16：00に高知県土木部公園上下水道課へ連絡	安和第2水源での取水停止措置を継続し、安和地区の給水は安和第1水源のみで行う。	濁度0.44　16:40時点
R06-41	-01	R06.08	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	寒川浄水場	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年8月27日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-42	-01	R06.09	東京都	東京都	上水道	－	表流水	三郷取水庭（埼玉県三郷市新和）	レベル4		○			2715400人（令和5年度配水量等による概算）	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		周辺事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。 また、令和6年9月1日以降都内でクリプトスポリジウム症の発生がないことを、東京都保健医療局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（高度浄水処理）
R06-43	-01	R06.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年10月4日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-43	-02	R06.10	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	酒匂川水系	表流水	飯泉取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年10月4日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局、小田原市上下水道局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-44	-01	R06.10	千葉県	千葉県企業局	上水道	印旛沼	表流水	印旛取水場	－	○	○			約41万人（令和5年度）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年10月22日15:30 利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会の会員事業体、及び千葉県総合企画部水政課へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：凝集沈殿、急速ろ過、オゾン、粒状活性炭
R06-45	-01	R06.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	1	○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年11月8日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-46	-01	R06.11	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	小雀浄水場（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下	○	5			原水	健康被害報告なし		令和6年11月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、国土交通省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-47	-01	R06.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21,3000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年11月12日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市医療局健康安全部生活衛生課、国土交通省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-47	-02	R06.11	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14,3000人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年11月19日　宮崎市保健所へクリプスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年11月19日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年11月19日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-48	-01	R06.11	高知県	高知県	上水道	－	表流水	宿毛市沖の島町母島	－		○			111人	－	－	○	1			－	健康被害報告なし		11/22　14：40　高知県食品検査センターに浄水での検査を依頼。 11/25　13:30　11/26に採水予定となる。	11/26に浄水を採水予定。急速ろ過運転管理の徹底。	
R06-49	-01	R06.11	新潟県	小千谷市	上水道	信濃川	表流水	小千谷浄水場	レベル4	○	○			28,009人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		なし	浄水濁度管理の徹底と原水汚染状況の継続調査	
R06-50	-01	R06.11	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年11月20日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-51	-01	R06.11	神奈川県	神奈川県企業庁	上水道	相模川	表流水	寒川浄水場	レベル4	○	○			約122万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年11月26日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-52	-01	R06.12	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和6年12月6日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-53	-01	R06.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	下北方浄水場(柏田取水口)	レベル4	○	○			21.3万人	不明	0.1度以下	○	17			原水	健康被害報告なし		令和6年12月18日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年12月18日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年12月18日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-53	-02	R06.12	宮崎県	宮崎市	上水道	大淀川	表流水	富吉浄水場(富吉取水口)	レベル4	○	○			14.0万人	不明	0.1度以下	○	11			原水	健康被害報告なし		令和6年12月18日　宮崎市保健所へクリプトスポリジウム症の感染報告の有無を確認 令和6年12月18日　宮崎県中央保健所衛生環境課へ報告 令和6年12月18日　国土交通省九州地方整備局地域河川課へ報告	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-54	-01	R06.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	相模川	表流水	寒川取水口（取水場所：高座郡寒川町宮山4073）	レベル4	○	○			134万人	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年12月18日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、国土交通省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	
R06-54	-02	R06.12	神奈川県	横浜市水道局	上水道	道志川	表流水	青山隧道出口（取水場所：相模原市緑区青山3482）	－					54万人	不明	0.1度以下	○	1			原水	健康被害報告なし		令和6年12月18日 神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、横浜市健康福祉局健康安全部生活衛生課、国土交通省へ連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：膜ろ過
R06-55	-01	R06.12	茨城県	茨城県企業局	上水道	利根川	表流水	茨城県企業局　県南水道事務所利根川浄水場　利根川取水口	レベル4					264,413人（利根川浄水場）	不明	0.1度以下			○	1	原水	健康被害報告なし		令和6年12月19日　15:50　政策企画部水政課、16:10　関東地方整備局河川部地域河川課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：粉末活性炭＋凝集沈殿＋オゾン＋生物活性炭＋急速砂ろ過＋急速砂ろ過
R06-56	-01	R07.01	東京都	東京都	上水道	－	表流水	金町浄水場：金町取水塔（東京都葛飾区金町浄水場）	レベル4		○			2530600人（令和5年度配水量等による概算）	不明	－	○	1			原水	健康被害報告なし		近隣事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。 また、令和6年12月1日以降都内でクリプトスポリジウム症の発生がないことを、東京都保健医療局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（高度浄水処理）
R06-57	-01	R07.01	東京都	東京都	上水道	－	表流水	金町浄水場：金町取水塔（東京都葛飾区金町浄水場）	レベル4		○			2530600人（令和5年度配水量等による概算）	不明	－	○	1			原水	健康被害報告なし		近隣事業者に対しては、東京都水道局から、利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会を通じて連絡予定。 また、令和6年12月1日以降都内でクリプトスポリジウム症の発生がないことを、東京都保健医療局感染症対策部に確認済み。	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：急速ろ過（高度浄水処理）
R06-58	-01	R07.01	茨城県	茨城県企業局	上水道	涸沼川	表流水	茨城県企業局　県中央水道事務所涸沼川浄水場　涸沼川取水場	レベル4					65,414人	不明	0.1度以下			○	2	原水	健康被害報告なし		令和7年1月9日　15:45　政策企画部水政課、15:50　関東地方整備局河川部地域河川課へ連絡	ろ過水濁度管理の徹底	浄水処理方法：集沈殿＋急速砂ろ過＋粒状活性炭
R06-59	-01	R07.01	神奈川県	神奈川県内広域水道企業団	上水道	相模川水系	表流水	社家取水管理事務所	－	○	○			－	不明	0.1度以下	○	2			原水	健康被害報告なし		令和7年1月10日神奈川県健康医療局生活衛生部生活衛生課、神奈川県企業庁企業局、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局、国土交通省関東地方整備局に連絡済み	ろ過水濁度管理の徹底	

5. 内閣府食品安全委員会における評価結果の整理

令和 6 年 1 月～12 月に内閣府食品安全委員会による食品健康影響評価の結果が公表された水質基準項目等は表 5-1 に掲げた 9 物質である。

これらの物質に関する評価の詳細情報として、TDI や ADI 等の根拠とされた動物実験の概要等を表 5-2 にまとめた（入手 URL: https://www.fsc.go.jp/hyouka/index.html）。

過去の評価結果（H29 年度調査業務の成果物をベース）について、上記の情報を追加して表 5-3 に評価値等を収集・整理した。農薬類は、対象農薬リスト掲載農薬類、要検討農薬類及びその他農薬類を対象とした。

表 5-1　内閣府食品安全委員会における新規評価物質

No.	水質基準項目等	項目名	食品安全委員会における評価						
			評価品目名(評価書版No.)	CAS番号	評価品目分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値 （ADI, ARfD, TDI等）
1	対-001	1,3-ジクロロプロペン	1,3-ジクロロプロペン（農薬5版）	542-75-6	農薬	R4.12.14	R6.3.7	ADI	0.025 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.2 mg/kg 体重
2	対-007	アセフェート	アセフェート(農薬4版)	30560-19-1	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI	0.0024 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.1 mg/kg 体重
3	対-020	エスプロカルブ	エスプロカルブ(農薬4版)	85785-20-2	農薬	R5.3.22	R6.6.11	ADI	0.01 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.05 mg/kg 体重
4	対-021	エトフェンプロックス	エトフェンプロックス(農薬7版)	80844-07-1	農薬	R6.2.21	R6.6.11	ADI	0.031 mg/kg 体重/日
								ARfD	1 mg/kg 体重
5	対-028	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ（第2版）	カルタップ塩酸塩：15263-52-2 チオシクラムシュウ酸水素塩：31895-22-4 ベンスルタップ：17606-31-4	農薬	R5.8.31	R6.1.17	ADI	0.016 mg/kg 体重/日 （カルタップ塩酸塩換算）
								ARfD	0.1 mg/kg 体重 （カルタップ塩酸塩換算）
6	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシア	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート（第3版）	533-74-4	農薬	R5.11.21	R6.1.31	ADI	0.004 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.1 mg/kg 体重
7	対-089	プレチラクロール	プレチラクロール（第２版）	51218-49-6	農薬	R6.2.7	R6.12.18	ADI	0.018 mg/kg 体重/日
8	対-105	ホスチアゼート	ホスチアゼート(農薬3版)	98886-44-3	農薬	R5.7.13	R6.3.21	ADI	0.002 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.007 mg/kg 体重 ※一般の集団
									0.002 mg/kg 体重 ※妊婦又は妊娠している可能性のある女性
9	他-083	メタミドホス	メタミドホス（第３版）	10265-92-6	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI	0.00056 mg/kg 体重/日
								ARfD	0.003 mg/kg 体重

*農薬類：対;水質管理目標設定項目 15 の対象農薬、要;要検討農薬、他;その他農薬類

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（1/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
1	対-001	1,3-ジクロロプロペン	0.05（-）	1,3-ジクロロプロペン（農薬5版）	ADI： 0.025 mg/kg体重/日	慢性毒性/発がん性併合試験	ラット	2 年間	強制経口	雌雄：体重増加抑制、TG 減少及び前胃基底細胞過形成	NOAEL	2.5	100（種差10、個体差10、－）	R6.3.7
					ARfD： 0.2 mg/kg体重	亜急性毒性試験	イヌ	2 週間	強制経口	前胃の角化亢進等	NOAEL	20	100（種差10、個体差10、－）	
					1,3-ジクロロプロペン投与による影響は、主に胃（前胃扁平上皮過形成及び角化亢進）、膀胱（移行上皮過形成）及び血液（貧血）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性、生体において問題となる遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。 発がん性試験において、雌雄のラットで肝細胞腺腫の発生頻度増加が認められ、また、雌雄のマウスで細気管支肺胞腺腫の発生頻度増加が認められた。しかし、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。 各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質を1,3-ジクロロプロペン（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2 年間慢性毒性/発がん性併合試験①の2 mg/kg 体重/日であったが、ラットを用いた2 年間慢性毒性/発がん性併合試験②の無毒性量が2.5 mg/kg 体重/日であり、この差は用量設定の違いによると考えられ、ラットにおける無毒性量は2.5 mg/kg 体重/日が妥当と考えられた。以上のことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.025 mg/kg体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 1,3-ジクロロプロペンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた2 週間亜急性毒性試験の20 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.2mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。									
					農薬抄録 1,3-ジクロロプロペン（殺線虫剤）（2011 年 4 月 6 日改訂）：1,3-D技術協議会、一部公表；. 1,3-ジクロロプロペンの試験成績の概要及び考察（2022 年）：ダウ・ケミカル日本株式会社、一部公表；. 1,3-ジクロロプロペンの試験成績の概要及び考察（2022 年）：アグロカネショウ株式会社、一部公表；ACHRONIC TOXICITY AND ONCOGENICITY STUDY WITH DD-92 IN THE RAT VIA ORAL GAVAGE ADMINISTRATION（GLP 対応）：Huntingdon Life Sciences（米国）、1998 年、未公表；TELONE® II SOIL FUMIGANT: TWO-YEAR CHRONIC TOXICITY /ONCOGENICITY STUDY IN FISCHER 344 RATS（GLP 対応）：The Dow Chemical Company（米国）、1995 年、未公表；13-WEEK DIETARY TOXICITY STUDY IN BEAGLE DOGS：The Dow Chemical Company（米国）、1996 年、未公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（2/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
2	対-007	アセフェート	0.006（−）	アセフェート（農薬4版）	ADI：0.0024 mg/kg体重/日	慢性毒性/発がん性併合試験	ラット	2年間	混餌	雌雄：赤血球及び脳ChE 活性阻害（20%以上）（発がん性は認められない）	NOAEL	0.24	100（種差10、個体差10、−）	R6.2.14
					ARfD：0.1 mg/kg 体重	経口投与試験	ヒト	単回	カプセル経口	影響なし	NOAEL	1.0	10（種差1、個体差10、−）	
					アセフェート投与による影響は、主に赤血球及び脳ChE活性阻害、血液（貧血等）並びに鼻腔（嗅上皮変性/再生）に認められた。催奇形性、発達神経毒性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。 発がん性試験において、ラットの雌雄で鼻腔の腫瘍発生が認められ、マウス雌で肝腫瘍の発生頻度の増加が認められたが、これらの腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。 ラットを用いた2世代及び3世代繁殖試験において、着床数減少が認められた。 各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をアセフェート及び代謝物Ⅱと設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験の0.24 mg/kg体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.0024 mg/kg体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 アセフェートの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響について、無毒性量のうち最小値はラットを用いたChE活性阻害試験⑥の0.5 mg/kg体重であったが、最小毒性量は2.5 mg/kg体重であり、ヒト志願者における単回投与試験の無毒性量は1.0 mg/kg体重であった。各種試験結果から、ChE活性阻害作用に対する感受性に種差はないと考えられることから、ヒト志願者における単回経口投与試験の無毒性量1.0 mg/kg体重を根拠として、安全係数10（種差：1、個体差：10）で除した0.1 mg/kg体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。									
					農薬抄録 アセフェート（殺虫剤）（平成21年9月2日改訂): アリスタライフサイエンス株式会社、一部公表; 農薬抄録 アセフェート（殺虫剤）（平成26年11月28日改訂): アリスタライフサイエンス株式会社、一部公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（3/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
3	対-020	エスプロカルブ	0.03（-）	エスプロカルブ（農薬4版）	ADI：0.01 mg/kg 体重/日	慢性毒性試験	イヌ	1年間	カプセル経口	雄：副腎皮質の過形成及び肥大 雌：肝臓の絶対及び比重量増加等	NOAEL	1	100（種差10、個体差10、－）	R6.6.11
					ARfD：0.05 mg/kg 体重	発生毒性試験	ラット	妊娠6～20日	強制経口	母動物：5 母動物：体重減少及び摂餌量減少	NOAEL	5	100（種差10、個体差10、－）	
					エスプロカルブ投与による影響は主に肝臓（重量増加等）及び腎臓（硝子滴沈着等）に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。 各種試験結果から農産物、畜産物及び魚介類中のばく露評43価対象物質をエスプロカルブ（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1年間慢性毒性試験の1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.01 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 エスプロカルブの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた発生毒性試験の5 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.05 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。									
					イヌを用いたカプセル投与による 52 週間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：ストーファーケミカルカンパニー/昭和大学歯学部、1987 年、未公表；ラットを用いた経口投与による催奇形性試験（GLP 対応）：ストーファーケミカルカンパニー/昭和大学歯学部、1986 年、未公表；安全性評価に係る追加提出資料：アイ・シー・アイ・ジャパン株式会社、1988 年、未公表；エスプロカルブの試験成績の概要及び考察（2022 年）：日産化学工業株式会社、一部公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（4/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
4	対-021	エトフェンプロックス	0.08（-）	エトフェンプロックス（農薬7版）	ADI：0.031 mg/kg 体重/日	発がん性試験	マウス	2年間	混餌	雌雄：腎尿細管好塩基性変化（発がん性は認められない）	NOAEL	3.1	100（種差10、個体差10、－）	R6.6.11
					ARfD：1 mg/kg 体重	発生毒性試験②	ウサギ	妊娠6～28日	強制経口	母動物：100 母動物：体重減少(妊娠6～9 日)及び摂餌量減少(妊娠6～8 日以降)	NOAEL	100	100（種差10、個体差10、－）	
					エトフェンプロックス投与による影響は、主に肝臓（肝細胞肥大等）、腎臓（尿細管好塩基性変化等）、甲状腺（微小ろ胞増加等：ラット）及び血液（貧血等：マウス）に認められた。神経毒性、繁殖能に対する影響、催奇形性、遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。 発がん性試験において、ラットの雌で甲状腺ろ胞細胞腺腫が認められたが、遺伝毒性試験が全て陰性であったこと及びメカニズム試験の結果から、腫瘍の発生機序は遺伝毒性メカニズムとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。 各種試験結果から、農産物、畜産物及び魚介類中のばく露評価対象物質をエトフェンプロックス（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、マウスを用いた2 年間発がん性試験の3.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.031 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 エトフェンプロックスの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ウサギを用いた発生毒性試験②の100 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した1 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。									
					JMPR ①：Etofenprox （Pesticide residues in food ：evaluation Part II Toxicology）（1993）;農薬抄録「エトフェンプロックス」（殺虫剤）（令和5年3 月15 日改訂）：三井化学アグロ株式会社、一部公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（5/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等 (mg/L以下) (備考)	食品安全委員会評価										
				評価品目名 (評価書版No.)	評価結果 (TDI、ADI 等)	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値 (mg/kg 体重/日)		
5	対-028	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ	カルタップ： 0.08（カルタップの濃度は、ネライストキシンとして測定し、カルタップに換算して算出すること）	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ （第2版）	ADI：0.016 mg/kg 体重/日 （カルタップ塩酸塩換算）	2 世代繁殖試験（ベンスルタップ）	ラット	2 世代	混餌	親動物及び児動物： 雌雄：体重増加抑制等 (繁殖能に対する影響は認められない)	NOAEL	1.6 （カルタップ塩酸塩換算）	100（種差10、個体差10、－）	R6.1.17
					ARfD：0.1 mg/kg 体重 （カルタップ塩酸塩換算）	一般薬理試験（カルタップ塩酸塩）	マウス	単回	強制経口	雄：不穏、散瞳及び体温低下	NOAEL	10	100（種差10、個体差10、－）	
						急性神経毒性試験（カルタップ塩酸塩）	ラット	単回	強制経口	雄：自発運動量減少等 雌：後肢開脚幅減少	NOAEL	10	100（種差10、個体差10、－）	
						発生毒性試験（チオシクラムシュウ酸水素塩）	ウサギ	妊娠6～18 日	強制経口	母動物：体重減少	NOAEL	10.1 （カルタップ塩酸塩換算）	100（種差10、個体差10、－）	

カルタップ塩酸塩、チオシクラムシュウ酸水素塩及びベンスルタップは、いずれもネライストキシンを経由して代謝/分解されると考えられている。これらの化合物はそれぞれ独立した毒性試験等が行われており、同一の物質として合わせて評価できないことから、個別に評価した。その上で、動物体内動態試験及び植物代謝試験の結果、いずれの化合物も主にネライストキシンを経由して代謝されると考えられること、動物で認められる主要代謝物が同様であることから、総合評価を検討した。

《カルタップ塩酸塩の評価》
カルタップ塩酸塩投与による影響は、主に体重（増加抑制）及び神経系（振戦等）に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。
各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をカルタップ塩酸塩、カルタップ及び代謝物A（ネライストキシン、アルカリ条件下で加水分解、酸化することによりA に変換される代謝物を含む。）と設定した。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、サルを用いた2 年間慢性毒性試験の3.0 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.03 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。
また、カルタップ塩酸塩の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、マウスを用いた一般薬理試験及びラットを用いた急性神経毒性試験の10 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.1 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

《チオシクラムシュウ酸水素塩の評価》
チオシクラムシュウ酸水素塩投与による影響は主に体重（増加抑制）及び神経系（痙攣等）に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。
各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質をチオシクラムシュウ酸水素塩、チオシクラム及び代謝物A（ネライストキシン）と設定した。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた2 年間慢性毒性試験の2.11 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.021 mg/kg 体重/日をADI と設定した。
また、チオシクラムシュウ酸水素塩の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、ウサギを用いた発生毒性試験の無毒性量10 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.1 mg/kg 体重をARfD と設定した。

《ベンスルタップの評価》
ベンスルタップ投与による影響は、主に体重（増加抑制）、神経系（振戦等）、血液（貧血）及び肝臓（重量増加及び小葉中心性肝細胞肥大）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性及び遺伝毒性は認められなかった。
ラットを用いた慢性毒性/発がん性併合試験において、雄で精巣間細胞腫の発生頻度増加が認められたが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。
各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質をベンスルタップ及び代謝物A（ネライストキシン）と設定した。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた2 世代繁殖試験における2.52 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.025 mg/kg 体重/日をADI と設定した。
また、ベンスルタップの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量及び最小毒性量のうち最小値は、マウスを用いた一般薬理試験の最大無作用量30 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.3 mg/kg 体重をARfD と設定した。

《総合評価》
カルタップ塩酸塩では発生毒性試験の投与期間、チオシクラムシュウ酸水素塩では慢性毒性/発がん性併合試験及び3 世代繁殖試験の用量設定について、ガイドラインを一部充足していなかった。しかし、ベンスルタップも含めた3 剤の結果において、①いずれの剤でも繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められないこと、②発がん性について、カルタップ塩酸塩においては認められず、ベンスルタップにおいては雄で精巣間細胞腫の発生頻度増加が認められたが、腫瘍の発生機序は遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能と考えられたことを総合的に勘案して、
3 剤の繁殖能に対する影響、催奇形性及び発がん性についての評価は可能であると判断した。
各剤の無毒性量のカルタップ塩酸塩換算値のうち最小値は、ベンスルタップでの1.60 mg/kg 体重/日であったことから、食品安全委員会はこれを根拠として、安全係数100 で除した0.016 mg/kg 体重/日をカルタップ塩酸塩、チオシクラムシュウ酸水素塩及びベンスルタップのグループADI と設定した。
各剤の無毒性量のカルタップ塩酸塩換算値のうち最小値は、カルタップ塩酸塩及びチオシクラムシュウ酸水素塩での10 mg/kg 体重/日であったことから、食品安全委員会はこれを根拠として、安全係数100 で除した0.1 mg/kg 体重をカルタップ塩酸塩、チオシクラムシュウ酸水素塩及びベンスルタップのグループARfD と設定した。

農薬抄録 カルタップ（殺虫剤）（平成 30 年 10 月 1 日改訂）：住友化学株式会社、一部公表；農薬抄録 チオシクラム（殺虫剤）（平成 29 年 3 月 3 日改定）：日本化薬株式会社、一部公表；農薬抄録 ベンスルタップ（殺虫剤）（平成 29 年 3 月 1 日改訂）：住友化学株式会社、一部公表

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（6/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
6	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート	0.01（－）	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート（第3版）	ADI：0.004 mg/kg体重/日	亜急性毒性試験	イヌ	90日間	強制経口	雌雄：肝細胞空胞化及び門脈周囲の脂肪変性等	NOAEL	0.4	100（種差10、個体差10、－）	R6.1.31
						慢性毒性試験	イヌ	1年間	強制経口	雌雄：肝絶対及び比重量増加等	NOAEL	0.4	100（種差10、個体差10、－）	
					ARfD：0.1 mg/kg 体重	一般薬理試験	マウス	単回	強制経口	マウス: 雄：反応性・反射の亢進、過敏等	NOAEL	10.0	100（種差10、個体差10、－）	
						一般薬理試験	ウサギ	単回	強制経口	ウサギ: 雄：体温低下、姿勢異常及び呼吸促進	NOAEL	10.0	100（種差10、個体差10、－）	

ダゾメット及びメタムは、メチルイソチオシアネート（MITC）に分解され効果を示すと考えられている。これらの化合物はそれぞれ独立した毒性試験等が行われており、同一の物質として合わせて評価できないことから、個別に評価した。その上で、ダゾメット及びメタムは、水の存在下でMITC に容易に分解され、植物体内では概ねMITC として存在すると考えられることから総合評価を実施した。

《ダゾメットの評価》
ダゾメット投与による影響は、主に体重（増加抑制）、血液（貧血）、肝臓（重量増加等）及び脾臓（ヘモジデリン沈着等）に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響及び生体にとって問題となる遺伝毒性は認められなかった。ウサギを用いた発生毒性試験において、着床後胚損失率の増加及び生存胎児数の減少が認められた。ラットでは催奇形性は認められなかった。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1 年間慢性毒性試験の0.4 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.004 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。
また、ダゾメットの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた90 日間亜急性毒性試験の2.8 mg/kg体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.028mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

《メタムの評価》
① メタムアンモニウム塩: メタムアンモニウム塩投与による影響は、主に体重（増加抑制）及び胃（前胃角化亢進、腺胃粘膜上皮過形成等）に認められた。発がん性、催奇形性及び生体にとって問題となる遺伝毒性は認められなかった。ラットを用いた2 世代繁殖試験において、生存児数減少、死産児数増加等が認められた。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1 年間慢性毒性試験及びラットを用いた2 世代繁殖試験の0.5 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.005 mg/kg 体重/日をADI と設定した。
また、メタムアンモニウム塩の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1 年間慢性毒性試験の3mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.03mg/kg 体重をARfD と設定した。
② メタムナトリウム塩及びメタムカリウム塩
メタムカリウム塩については、メタムナトリウム塩と毒性が同等と考えられることから、ADI 等の設定に当たってはメタムナトリウム塩の各種試験結果を基に評価を行った。
メタムナトリウム塩投与による影響は、主に体重（増加抑制）、血液（貧血）、胃（前胃粘膜上皮過形成）及び膀胱（粘膜上皮過形成）に認められた。発がん性、繁殖能に対する影響及び生体にとって問題となる遺伝毒性は認められなかった。ラット及びウサギを用いた発生毒性試験において、母動物に毒性の認められる用量で髄膜瘤等が認められた。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1 年間慢性毒性試験の0.75 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.0075 mg/kg 体重/日をADI と設定した。
また、メタムナトリウム塩及びカリウム塩の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラット及びウサギを用いた発生毒性試験の2.16 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.021 mg/kg 体重をARfD と設定した。

《メチルイソチオシアネート（MITC）の評価》
MITC 投与による影響は、主に体重（増加抑制）、肝臓（重量増加、肝細胞脂肪変性等）及び前胃（肥厚等）に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体にとって問題となる遺伝毒性は認められなかった。
各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた90 日間亜急性毒性試験及び1 年間慢性毒性試験の0.4 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.004 mg/kg 体重/日をADI と設定した。
また、MITC の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、マウス及びウサギを用いた一般薬理試験の10 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.1 mg/kg 体重をARfD と設定した。

《総合評価》
ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中でMITC に分解され、植物体内では概ねMITC として残留すると考えられることから、ダゾメット、メタム及びMITC における農産物中のばく露評価対象物質をMITC と設定した。また、これら3 物質の総合的な評価には、活性成分であるMITC に基づく評価を適用するのが適当であると判断した。
MITC 投与により行われた各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた90 日間亜急性毒性試験及び1 年間慢性毒性試験の0.4 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.004 mg/kg 体重/日をダゾメット、メタム及びMITC のグループ許容一日摂取量（ADI）と設定した。
MITC の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、マウス及びウサギを用いた一般薬理試験の10 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数100 で除した0.1 mg/kg 体重をダゾメット、メタム及びMITC のグループ急性参照用量（ARfD）と設定した。

農薬抄録 メチルイソチオシアネート（殺センチュウ及び殺菌剤）（平成24 年9 月28 日改訂）：バイエルクロップサイエンス株式会社、一部公表；食品健康影響評価について（平成25年6月11日付け厚生労働省発食安0611第15号）；豪州②: Metham Sodium, Dazomet and Methylisothiocyanate (MITC). Volume Ⅱ. NRA Special Review Series 97.2 (1997)；豪州: Metham Sodium, Dazomet and Methylisothiocyanate (MITC). Volume Ⅲ. NRA Special Review Series 97.2 (1997)；EFSA: Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance metham. European Food Safety Authority (2011)

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（7/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等 (mg/L以下) (備考)	食品安全委員会評価										
				評価品目名 (評価書版 No.)	評価結果 (TDI、ADI 等)	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値 (mg/kg 体重/日)		
7	対-089	プレチラクロール	0.047 (-)	プレチラクロール（第２版）	ADI： 0.018 mg/kg体重/日	慢性毒性/発がん性併合試験	ラット	2 年間	混餌	雄：脾比重量増加、慢性腎症等 雌：Glu 増加 (発がん性は認められない)	NOAEL	1.84	100（種差10、個体差10、－）	R6.12.18
					プレチラクロール投与による影響は主に体重（増加抑制）及び肝臓（重量増加、T.Chol 増加等）に認められた。神経毒性、発がん性、繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。 ヒトにおける知見について、プレチラクロールの食品を通じた摂取に係る健康影響への懸念を示す所見はなかった。 各種試験結果から、農産物及び魚介類中のばく露評価対象物質をプレチラクロール（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 1.84 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.018 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 プレチラクロールの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量又は最小毒性量のうち最小値は、マウスを用いた急性毒性試験における最小毒性量 700 mg/kg 体重であり、無毒性量が得られなかったが、認められた所見のほかの試験における発生状況を総合的に判断し、無毒性量はカットオフ値（500 mg/kg 体重）以上とすることが妥当と考えられた。以上のことから、単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量はカットオフ値（500 mg/kg 体重）以上であったことから、急性参照用量（ARfD）は設定する必要がないと判断した。									
					ラットを用いた2年間慢性毒性/発がん性併合試験：Ind. BIO-TEST Laboratories、Toxicity Research Laboratories、愛媛大学医学部、1982 年、未公表；ラットを用いた 2 年間反復投与毒性および発がん性併合試験：食品農医薬品安全性評価センター、1985 年、未公表；プレチラクロール 補足説明資料、2007 年、未公表；農薬ドシエ プレチラクロール（除草剤）（2022 年）：シンジェンタジャパン株式会社、一部公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（8/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版 No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
8	対-105	ホスチアゼート	0.005（-）	ホスチアゼート（農薬3版）	ADI：0.002 mg/kg 体重/日	AChE 活性阻害検討試験	ラット	104 週間	混餌	雌：赤血球AChE 活性阻害(20%以上)	NOAEL	0.205 mg/kg 体重/日	100（種差10、個体差10、－）	R6.2.14
					ARfD：0.007 mg/kg 体重 ※一般の集団	ChE 活性阻害に対する日齢別感受性検討試験	ラット	単回	強制経口	雌雄(11 及び21 日齢児動物並びに若齢動物)：赤血球ChE 活性阻害(20%以上)	NOAEL	0.7 mg/kg 体重	100（種差10、個体差10、－）	
					ARfD：0.002 mg/kg 体重 ※妊婦又は妊娠している可能性のある女性	AChE 活性阻害検討試験	ラット	104 週間	混餌	雌：赤血球AChE 活性阻害(20%以上)	NOAEL	0.205 mg/kg 体重/日	100（種差10、個体差10、－）	
					ホスチアゼート投与による影響は、主に赤血球及び脳ChE 活性阻害、副腎（皮質束状帯細胞質空胞化等）並びに血液（貧血）に認められた。ChE 活性阻害に対する影響は、ラットにおいて、雄に比べて雌で感受性が高いと考えられた。発がん性、催奇形性、遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。ラットを用いた2 世代繁殖試験において、性周期の乱れ、交尾所要日数延長及び妊娠期間延長が認められた。 各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質をホスチアゼート（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 104 週間混餌投与による AChE 活性阻害検討試験の 0.205 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.002 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する急性参照用量（ARfD）は、ラットを用いた 104 週間混餌投与による AChE 活性阻害検討試験の無毒性量 0.205 mg/kg 体重/日を根拠として、安全係数 100 で除した 0.002 mg/kg 体重と設定した。 一般の集団に対しては、ラットを用いた ChE 活性阻害に対する日齢別感受性検討試験における無毒性量 0.7 mg/kg 体重を根拠として、安全係数 100 で除した 0.007 mg/kg 体重を ARfD と設定した。									
					農薬抄録 ホスチアゼート（殺虫剤）（平成 23 年 12 月 12 日改訂）：石原産業株式会社、未公表；農薬抄録 ホスチアゼート（殺虫剤）（令和元年 11 月 26 日改定）：石原産業株式会社、一部公表；IKI-1145 Technical: Investigative Toxicity Study by Dietary Administration to Female Sprague-Dawley Rats for 104 Weeks(GLP 対応)：Huntingdon Life Sciences Huntingdon Research Centre, 2015 年、未公表；A Range-Finding Acute Neurotoxicity Study in Rats with Technical Fosthiazate(IKI-1145)：Ricerca, Inc., 1996 年、未公表									

表 5-2　内閣府食品安全委員会における新規評価物質の評価内容（9/9）

No	基準項目等番号	項目名	水質基準等（mg/L以下）（備考）	食品安全委員会評価										
				評価品目名（評価書版No.）	評価結果（TDI、ADI 等）	試験/根拠データ							不確実係数	評価結果通知日
						試験種類	動物種	期間	投与方法	エンドポイント	種類	値（mg/kg 体重/日）		
9	他-083	メタミドホス	0.001（－）	メタミドホス（第３版）	ADI：0.00056 mg/kg体重/日	慢性毒性試験	イヌ	1年間	混餌	雌雄：脳及び赤血球ChE活性阻害(20%以上)	NOAEL	0.056	100（種差10、個体差10、－）	R6.2.14
					ARfD：0.003 mg/kg 体重	急性神経毒性試験	ラット	単回	強制経口	雄：赤血球ChE活性阻害(20%以上)(投与2時間後) 雌：脳及び赤血球ChE活性阻害(20%以上)(投与2時間後)	NOAEL	0.3	100（種差10、個体差10、－）	
					メタミドホス投与による影響は、主に脳及び赤血球ChE活性阻害に認められた。発がん性、催奇形性、発達神経毒性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。 ラットを用いた2世代繁殖試験において、出産率の低下が認められた。 各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をメタミドホス（親化合物のみ）と設定した。 各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた1年間慢性毒性試験で得られた0.056 mg/kg体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.00056 mg/kg体重/日を許容一日摂取量（ADI）と設定した。 また、メタミドホスの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットの急性神経毒性試験②で得られた0.3 mg/kg体重であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.003 mg/kg体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。									
					JMPR：“Methamidophos”, Pesticide residues in food -2002. Evaluations . Part II-Toxicological. p223-253. ; US EPA：Revised Toxicology Chapter for RED (2000) ; APVMA：Review of the Mammalian Toxicology and Metabolism /Toxicokinetics of METHAMIDOPHOS （2008） ; An acute oral neurotoxicity screening study with technical grade Methamidophos (Monitor) in rats (Supplemental study)（GLP対応）：Miles Inc.、1994年、未公表 ; One-year EFEDing study of methamidophos (Monitor) in dogs study（GLP対応）：Mobay Chemical Corp.、1984年、未公表									

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（1/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（TDI:mg/kg 体重/日）（TWI:mg/kg 体重/週）
1	基-003	カドミウム(汚染物質)	7440-43-9	化学・汚染	H15.7.3	H20.7.3	TWI	0.007
2	基-003	カドミウム(清涼飲料水)	7440-43-9	化学・汚染	H15.7.3	H20.9.25	TWI	0.007
3	基-003	カドミウム(汚染物質)	7440-43-9	化学・汚染	H21.10.9	H21.10.15	TWI	0.007
4	基-003	カドミウム(汚染物質)	7440-43-9	化学・汚染	H21.2.9	H21.8.20	TWI	0.007
5	基-004	水銀（清涼飲料水）	7439-97-6	化学・汚染	H15.7.3	H24.5.10	TDI	0.0007:水銀として（非発がん影響）
6	基-005	セレン（清涼飲料水）	7782-49-2	化学・汚染	H15.7.3	H24.10.29	TDI	0.004
7	基-006	鉛及びその化合物	7439-92-1	化学・汚染	H15.7.3	R3.6.29	－	－
8	基-007	食品中のヒ素	7440-38-2	化学・汚染	H15.7.3	H25.12.16	－	－
9	基-008	六価クロム化合物(清涼飲料水)	7440-47-3	化学・汚染	H15.7.3	H30.9.18	TDI	0.0011
10	基-008	六価クロム化合物(水道により供給される水)	7440-47-3	化学・汚染	R1.7.29	R1.8.6	TDI	0.0011
11	基-009	亜硝酸態窒素	14797-65-0	化学・汚染	H15.7.3	H24.10.29	TDI	0.015
12	基-010	シアン(清涼飲料水)	－	化学・汚染	H15.7.3	H22.10.19	TDI	0.0045（シアンイオンとして）
13	基-011	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素(清涼飲料水)	14797-55-8	化学・汚染	H15.7.3	H24.10.29	TDI	1.5
14	基-011	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素(清涼飲料水)	14797-65-0	化学・汚染	H15.7.3	H24.10.29	TDI	0.015
15	基-011	亜硝酸態窒素（水道により供給される水の水質基準の設定）	14797-65-0	化学・汚染	H25.6.3	H25.7.22	TDI	0.015
16	基-012	フッ素（清涼飲料水）	7782-41-4	化学・汚染	H15.7.3	H24.12.17	TDI	0.05
17	基-013	ホウ素（清涼飲料水）	7440-42-8	化学・汚染	H15.7.3	H24.8.6	TDI	0.096
18	基-014	四塩化炭素(清涼飲料水)	56-23-5	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.00071
19	基-015	1,4-ジオキサン(清涼飲料水)	123-91-1	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.016
20	基-016	シス-1,2-ジクロロエチレン(清涼飲料水)	156-59-2	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.017（シストランスの和）
21	基-016	トランス-1,2-ジクロロエチレン(清涼飲料水)	156-60-5	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.017（シストランスの和）
22	基-016	1,2-ジクロロエチレン（シス体及びトランス体)(水道水)	540-59-0	化学・汚染	H20.4.11	H20.5.29	TDI	0.017
23	基-017	ジクロロメタン(清涼飲料水)	75-09-2	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.006
24	基-018	テトラクロロエチレン(清涼飲料水)	127-18-4	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.014
25	基-019	トリクロロエチレン(清涼飲料水)	79-01-6	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.00146
26	基-019	トリクロロエチレン(清涼飲料水)	79-01-6	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	発がんユニットリスク	8.3×10^{-3} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$
27	基-019	トリクロロエチレン(清涼飲料水)	79-01-6	化学・汚染	H22.6.11	H22.9.2	TDI	0.00146
28	基-019	トリクロロエチレン(清涼飲料水)	79-01-6	化学・汚染	H22.6.11	H22.9.2	発がんユニットリスク	8.3×10^{-3} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$
29	基-020	ベンゼン(清涼飲料水)	71-43-2	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.018
30	基-020	ベンゼン(清涼飲料水)	71-43-2	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	発がんユニットリスク	2.5×10^{-2} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$
31	基-021	塩素酸(清涼飲料水)	7790-93-4	化学・汚染	H18.8.31	H19.3.15	TDI	0.030
32	基-022	クロロ酢酸（清涼飲料水）	79-11-8	化学・汚染	H15.7.3	H24.5.10	TDI	0.0035
33	基-022	クロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	79-11-8	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	TDI	0.0035
34	基-023	クロロホルム(清涼飲料水)	67-66-3	化学・汚染	H15.7.3	H21.8.20	TDI	0.0129
35	基-024	ジクロロ酢酸（清涼飲料水の規格基準の改正）	79-43-6	化学・汚染	H15.7.3	H25.4.15	TDI	0.0125（非発がん影響）
36	基-024	ジクロロ酢酸（清涼飲料水の規格基準の改正）	79-43-6	化学・汚染	H15.7.3	H25.4.15	TDI	0.0129（発がん影響）
37	基-024	ジクロロ酢酸（清涼飲料水の規格基準の改正）	79-43-6	化学・汚染	H15.7.3	H25.4.15	発がんユニットリスク	7.8×10^{-3} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$
38	基-024	ジクロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	79-43-6	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	TDI	0.0125（非発がん影響）
39	基-024	ジクロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	79-43-6	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	TDI	0.0129（発がん影響）
40	基-024	ジクロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	79-43-6	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	発がんユニットリスク	7.8×10^{-3} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$
41	基-025	ジブロモクロロメタン(清涼飲料水)	124-48-1	化学・汚染	H15.7.3	H21.8.20	TDI	0.0214
42	基-026	臭素酸(清涼飲料水)	7789-31-3	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.011
43	基-026	臭素酸(清涼飲料水)	7789-31-4	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	発がんユニットリスク	2.8×10^{-2} (mg/kg 体重/日)$^{-1}$

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（2/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（TDI:mg/kg 体重/日）
44	基-027	総トリハロメタン(清涼飲料水)	-	化学・汚染	H15.7.3	H21.8.20	TDI	設定できない
45	基-028	トリクロロ酢酸（清涼飲料水）	76-03-9	化学・汚染	H15.7.3	H24.5.10	TDI	0.006 （発がん影響）
46	基-028	トリクロロ酢酸（清涼飲料水）	76-03-9	化学・汚染	H15.7.3	H24.5.10	TDI	0.006 （非発がん影響）
47	基-028	トリクロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	76-03-9	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	TDI	0.006 （発がん影響）
48	基-028	トリクロロ酢酸（水道により供給される水の水質基準の設定）	76-03-9	化学・汚染	H26.8.12	H26.10.7	TDI	0.006 （非発がん影響）
49	基-029	ブロモジクロロメタン(清涼飲料水)	75-27-4	化学・汚染	H15.7.3	H21.8.20	TDI	0.0061
50	基-030	ブロモホルム(清涼飲料水)	75-25-2	化学・汚染	H15.7.3	H21.8.20	TDI	0.0179
51	基-031	ホルムアルデヒド(清涼飲料水)	50-00-0	化学・汚染	H15.7.3	H20.4.17	TDI	0.015
52	基-032	亜鉛（対象外物質）（動物薬）（清涼飲料水の規格基準の改正）（肥料・飼料等）	7440-66-6	動物薬、化学・汚染	H29.6.15	H30.2.13	-	健康を損なうおそれのないことが明らか
53	基-033	アルミニウム	7429-90-5	化学・汚染	H22.3.18	H29.12.19	耐容週間摂取量（アルミニウムとして）	硫酸アルミニウム及び硫酸アルミニウムカリウムについて、 2.1
54	基-034	鉄(清涼飲料水)	7439-89-6	化学・汚染	H25.4.9	H29.4.25	-	影響を与える可能性は無視できる
55	基-035	銅(清涼飲料水)	7440-50-8	化学・汚染	H15.7.3	H20.4.17	許容上限摂取量	9mg/ヒト（成人）/日
56	基-036	塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（酢酸リンゲルV注射液）並びに塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウム(動物用医薬品)	-	動物薬	H20.9.16	H21.1.22	-	影響を与える可能性は無視できる
57	基-037	マンガン（清涼飲料水）	7439-96-5	化学・汚染	H15.7.3	H24.8.6	TDI	0.18
58	基-038	塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（酢酸リンゲルV注射液）並びに塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウム(動物用医薬品)	-	動物薬	H20.9.16	H21.1.22	-	影響を与える可能性は無視できる
59	基-038	塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（酢酸リンゲルV注射液）並びに塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウム(動物用医薬品)	-	動物薬	H20.9.16	H21.1.22	-	影響を与える可能性は無視できる
60	基-039	プロピオン酸カルシウム、塩化カルシウム、リン酸一水素カルシウム及び酸化マグネシウムを有効成分とする牛の強制経口投与剤（カルチャージ）及びプロピオン酸カルシウム、塩化カルシウム、リン酸一水素カルシウム及び酸化マグネシウム(動物用医薬品)	-	動物薬	H20.5.13	H20.7.24	-	影響を与える可能性は無視できる
61	基-039	塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（酢酸リンゲルV注射液）並びに塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化カルシウム及び酢酸ナトリウム(動物用医薬品)	-	動物薬	H20.9.16	H21.1.22	-	影響を与える可能性は無視できる
62	基-039	カルシウム・マグネシウム等（硬度）（清涼飲料水の規格基準の改正）	-	化学・汚染	H25.4.9	H29.4.9	-	影響を与える可能性は無視できる
63	基-046	食品健康影響評価を行うことが明らかに必要でないときについて（水道水中の有機物（全有機炭素（TOC）の量））		化学・汚染	H20.5.22			回答文書
64	目-001	アンチモン（清涼飲料水）	7440-36-0	化学・汚染	H15.7.3	H24.8.6	TDI	0.006
65	目-002	ウラン(清涼飲料水)	7440-61-1	化学・汚染	H15.7.3	H24.1.12	TDI	0.0002
66	目-003	ニッケル（清涼飲料水）	7440-02-0	化学・汚染	H15.7.3	H24.7.23	TDI	0.004
67	目-005	1,2-ジクロロエタン(清涼飲料水)	107-06-2	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.0375
68	目-005	1,2-ジクロロエタン(清涼飲料水)	107-06-3	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	発がんユニットリスク	6.3×10^{-2} $(mg/kg\ 体重/日)^{-1}$
69	目-008	トルエン(清涼飲料水)	108-88-3	化学・汚染	H15.7.3	H20.11.6	TDI	0.149
70	目-009	フタル酸ジ(2－エチルヘキシル)（清涼飲料水の規格基準の改正）	117-81-7	化学・汚染	H15.7.3	H25.4.15	TDI	0.03
71	目-009	フタル酸ビス(2－エチルヘキシル)（DEHP）	117-81-7	器具・容器包装	H21.12.14	H25.2.18	TDI	0.03
72	目-010	亜塩素酸(清涼飲料水)	1318-59-8	化学・汚染	H15.7.3	H20.6.19	TDI	0.029（亜塩素酸イオンとして）
73	目-012	二酸化塩素(清涼飲料水)	10049-4-4	化学・汚染	H15.7.3	H20.6.19	TDI	0.029（亜塩素酸イオンとして）
74	目-013	ジクロロアセトニトリル(清涼飲料水)	3018-12-0	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.0027
75	目-014	抱水クロラール(清涼飲料水)	302-17-0	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.0045
76	目-016	塩素(残留塩素)(清涼飲料水)	7782-50-5	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.136
77	目-020	1,1,1-トリクロロエタン(清涼飲料水)	71-55-6	化学・汚染	H15.7.3	H20.4.17	TDI	0.6
78	目-021	メチル-t-ブチルエーテル(清涼飲料水)	1634-04-4	化学・汚染	H15.7.3	H20.4.17	TDI	0.143
79	目-029	1,1-ジクロロエチレン(清涼飲料水)	75-35-4	化学・汚染	H15.7.3	H19.3.15	TDI	0.046
80	目-029	1,1-ジクロロエチレン(水道水)	75-35-4	化学・汚染	H20.4.11	H20.5.29	TDI	0.046

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（3/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）（TDI:mg/kg 体重/日）
81	検-002	バリウム(清涼飲料水)	7440-39-3	化学・汚染	H15.7.3	H24.10.29	TDI	0.02
82	検-024	フタル酸ジブチル(DBP)	84-74-2	器具・容器包装	H21.12.14	H26.6.10	TDI	0.005
83	検-025	フタル酸ブチルベンジル	85-68-7	器具・容器包装	H21.12.14	H27.4.7	TDI	0.2
84	検-037	アセトアルデヒド	75-07-0	添加物	H15.11.21	H17.7.21		安全性に懸念がない
85	対-001	1，3―ジクロロプロペン　(D―D)(農薬)	542-75-6	農薬	H20.3.3	H25.2.18	ADI	0.02
86	対-001	1，3―ジクロロプロペン（農薬2版）	542-75-6	農薬	H27.2.24	H27.10.20	ADI ARfD	0.02 0.2
87	対-001	1，3―ジクロロプロペン（農薬3版）	542-75-6	農薬	H29.3.15	H30.3.27	ADI ARfD	0.02 0.2
88	対-001	1，3―ジクロロプロペン（農薬3版）	542-75-6	農薬	R1.9.5	R1.10.15	ADI ARfD	0.02 0.2
89	対-001	1，3―ジクロロプロペン（農薬5版）	542-75-6	農薬	R4.12.14	R6.3.7	ADI ARfD	0.025 0.2
90	対-003	2,4-D	94-75-7	農薬	H22.2.23	H29.5.16	ADI ARfD	0.0099 0.15
91	対-003	2,4-D	94-75-7	農薬	H22.6.22	H29.5.16	ADI ARfD	0.0099 0.15
92	対-003	2,4-D	94-75-7	農薬	H25.6.12	H29.5.16	ADI ARfD	0.0099 0.15
93	対-004	EPN(農薬2版)	2104-64-5	農薬	H28.5.11	H29.2.14	ADI ARfD	0.0014 0.0066
94	対-004	EPN	2104-64-5	農薬	H15.7.1	H15.9.18	ADI	0.0014
95	対-004	EPN(農薬)	2104-64-5	農薬	H15.7.1	H20.10.16	ADI	0.0014
96	対-004	EPN(農薬)	2104-64-5	農薬	H20.2.5	H20.11.27	ADI	0.0014
97	対-005	MCPA(農薬)	94-74-6	農薬	H22.2.16	H23.6.16	ADI	0.0019
98	対-005	MCPA（農薬2版）	94-74-6	農薬	H26.3.25	H26.7.29	ADI	0.0019
99	対-006	アシュラム(農薬)	3337-71-1	農薬	H25.8.20	H26.10.21	ADI ARfD	0.36 3
100	対-007	アセフェート(農薬)	30560-19-1	農薬	H20.7.8	H22.7.22	ADI	0.0024
101	対-007	アセフェート(農薬2版)	30560-19-1	農薬	H23.1.17	H25.9.30	ADI	0.0024
102	対-007	アセフェート(農薬3版)	30560-19-1	農薬	H28.2.9	H28.12.13	ADI ARfD	0.0024 0.1
103	対-007	アセフェート（農薬4版）	30560-19-1	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI ARfD	0.0024 0.1
104	対-007	アセフェート(農薬4版)	30560-19-1	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI ARfD	0.0024 0.1
105	対-009	アニロホス	64249-01-0	農薬	H25.3.12	H25.3.18		回答文書
106	対-010	アミトラズ(農薬・動物薬)	33089-61-1	農薬	H18.11.6	H19.5.17	ADI	0.0025
107	対-010	アミトラズ(農薬・動物薬)	33089-61-1	動物用医薬品	H18.11.6	H19.5.17	ADI	0.0025
108	対-010	アミトラズを有効成分とするみつばちの寄生虫駆除剤（アピバール）(動物薬)	33089-61-1	動物用医薬品	H18.11.6	H19.5.17	ADI	0.0025
109	対-011	アラクロール(農薬)	15972-60-8	農薬	H20.4.1	H23.8.25	ADI	0.01
110	対-011	アラクロール(農薬2版)	15972-60-8	農薬	H25.1.30	H25.3.18	ADI	0.01
111	対-011	アラクロール(農薬2版)	15972-60-8	農薬	H24.1.23	H25.3.18	ADI	0.01
112	対-012	イソキサチオン(農薬)	18854-01-8	農薬	H23.6.10	H28.2.23	ADI ARfD	0.002 0.003
113	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬)	50512-35-1	農薬	H19.8.21	H20.2.28	ADI	0.1
114	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬2版)	50512-35-1	農薬	H22.1.5	H22.9.16	ADI	0.1
115	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬3版)	50512-35-1	農薬	H24.5.21	H24.12.10	ADI	0.1
116	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬)	50512-35-1	動物用医薬品	H19.8.21	H20.2.28	ADI	0.1
117	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬2版)	50512-35-1	動物用医薬品	H22.1.5	H22.9.16	ADI	0.1
118	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬3版)	50512-35-1	動物用医薬品	H24.5.21	H24.12.10	ADI	0.1
119	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬4版)	50512-35-1	農薬	H30.3.7	H30.8.28	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・0.5（一般の集団） ・0.12（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
120	対-015	イソプロチオラン(農薬・動物薬5版)	50512-35-1	農薬	R4.5.25	R4.8.9	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・0.5（一般の集団） ・0.12（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
121	対-017	イプロベンホス(農薬)	26087-47-8	農薬	H19.12.18	H21.4.23	ADI	0.035
122	対-018	イミノクタジン(農薬)	169202-06-6	農薬	H22.1.25	R1.6.4	ADI ARfD	0.0023 0.053(イミノクタジン換算値)

※着色：R6 年度追加

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（4/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
123	対-019	インダノファン(農薬)	133220-30-1	農薬	H19.9.13	H20.1.10	ADI	0.0035
124	対-019	インダノファン(農薬2版)	133220-30-1	農薬	H22.1.5	H22.9.9	ADI	0.0035
125	対-020	エスプロカルブ(農薬)	85785-20-2	農薬	H19.9.13	H20.1.17	ADI	0.01
126	対-020	エスプロカルブ(農薬2版)	85785-20-2	農薬	H21.1.20	H21.5.14	ADI	0.01
127	対-020	エスプロカルブ(農薬3版)	85785-20-2	農薬	H23.6.10	H24.2.23	ADI	0.01
128	対-020	エスプロカルブ(農薬4版)	85785-20-2	農薬	R5.3.22	R6.6.11	ADI ARfD	0.01 0.05
129	対-021	エトフェンプロックス(農薬)	80844-07-1	農薬	H21.2.17	H21.11.19	ADI	0.031
130	対-021	エトフェンプロックス(農薬2版)	80844-07-1	農薬	H25.6.12	H25.8.5	ADI	0.031
131	対-021	エトフェンプロックス(農薬3版)	80844-07-1	農薬	H27.1.13	H27.6.9	ADI ARfD	0.031 1
132	対-021	エトフェンプロックス(農薬4版)	80844-07-1	農薬	H29.1.25	H29.4.25	ADI ARfD	0.031 1
133	対-021	エトフェンプロックス(農薬5版)	80844-07-1	農薬	H30.6.21	H30.7.24	ADI ARfD	0.031 1
134	対-021	エトフェンプロックス(農薬6版)	80844-07-1	農薬	R3.8.25	R3.10.16	ADI ARfD	0.031 1
135	対-021	エトフェンプロックス(農薬7版)	80844-07-1	農薬	R5.2.21	R6.6.11	ADI ARfD	0.031 1
136	対-023	オキサジクロメホン(農薬)	153197-14-9	農薬	H15.7.1	H15.9.18	ADI	0.0090
137	対-024	オキサジクロメホン(農薬)	153197-14-9	農薬	H20.6.3	H20.8.21	ADI	0.0091
138	対-024	オキシン銅(農薬)	10380-28-6	農薬	H24.8.21	H25.4.22	ADI	0.01
139	対-025	オリサストロビン(農薬)	248583-16-1	農薬	H16.2.3	H17.12.8	ADI	0.052
140	対-025	オリサストロビン(農薬2版)	248583-16-1	農薬	H20.1.11	H20.3.27	ADI	0.052
141	対-026	カズサホス(農薬)	95465-99-9	農薬	H16.10.5	H17.6.30	ADI	0.00025
142	対-026	カズサホス(農薬2版)	95465-99-9	農薬	H18.7.18	H19.2.22	ADI	0.00025
143	対-026	カズサホス(農薬3版)	95465-99-9	農薬	H20.3.3	H20.7.3	ADI	0.00025
144	対-026	カズサホス(農薬4版)	95465-99-9	農薬	H28.11.14	H29.5.23	ADI ARfD	0.00025 0.005
145	対-026	カズサホス(農薬5版)	95465-99-9	農薬	R3.2.9	R3.5.18	ADI ARfD	0.00025 0.005
146	対-027	カフェンストロール(農薬)	125306-83-4	農薬	H19.8.6	H20.2.21	ADI	0.003
147	対-028	カルタップ(農薬)	15263-53-3	農薬	H30.10.10	R1.6.4	ADI ARfD	0.03 0.1
148	対-028	カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ（第2版）	カルタップ塩酸塩:15263-52-2 チオシクラムシュウ酸水素塩:31895-22-4 ベンスルタップ:17606-31-4	農薬	R5.8.31	R6.1.17	ADI ARfD	カルタップ塩酸塩 ADI:0.03 ARfD:0.1 チオシクラムシュウ酸水素塩 ADI:0.021 ARfD:0.1 ベンスルタップ ADI:0.025 ARfD:0.3
149	対-029	カルバリル（NAC）(農薬・動物用医薬品)	63-25-2	農薬・動物用医薬品	H24.9.18	H30.9.4	ADI ARfD	0.0073 0.01
150	除外農薬	カルプロパミド(農薬)	104030-54-8	農薬	H19.8.28	H19.12.13	ADI	0.014
151	対-030	カルボフラン(農薬)	1563-66-2	農薬	H24.1.23	R2.2.4	ADI ARfD	0.00015 0.00015
152	対-032	キャプタン(農薬)	133-06-2	農薬	H19.6.26	H29.3.7	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・3（一般の集団） ・0.3（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
153	対-032	キャプタン(農薬)	133-06-2	農薬	H21.12.14	H29.3.7	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・3（一般の集団） ・0.3（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
154	対-032	キャプタン(農薬)	133-06-2	農薬	H24.1.23	H29.3.7	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・3（一般の集団） ・0.3（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
155	対-032	キャプタン(農薬第2版)	133-06-2	農薬	H30.6.21	H30.7.24	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・3（一般の集団） ・0.3（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
156	対-032	キャプタン(農薬第3版)	133-06-2	農薬	H30.6.21	H30.7.24	ADI ARfD	ADI:0.1 ARfD: ・3（一般の集団） ・0.3（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
157	対-033	クミルロン(農薬)	99485-76-4	農薬	H19.6.5	H19.8.9	ADI	0.01
158	対-034	グリホサート(農薬)	1071-83-6	農薬	H22.2.16	H28.7.12	ADI	1
159	対-034	グリホサート(農薬)	1071-83-6	農薬	H22.6.22	H28.7.12	ADI	1
160	対-034	除草剤グリホサート及びグルホシネート耐性トウモロコシMZHG0JG系統（飼料用）	1071-83-6	遺伝子組換え食品等	H29.2.24	H29.7.4	－	当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はない、ヒトの健康を損なうおそれはない

※着色：R6 年度追加

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（5/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値 (ADI:mg/kg 体重/日) (ARfD:mg/kg 体重)
161	対-035	グルホシネート(農薬)	77182-82-2	農薬	H19.7.17	H22.2.25	ADI	0.021
162	対-035	グルホシネートP(農薬)	70033-13-5	農薬	H19.7.17	H22.2.25	ADI	0.0091
163	対-035	グルホシネート(農薬2版)	77182-82-2	農薬	H23.11.18	H24.3.8	ADI	0.0091
164	対-035	グルホシネート(農薬3版)	77182-82-2	農薬	H25.6.12	H25.7.29	ADI	0.0091
165	対-035	グルホシネート(農薬4版)	77182-82-2	農薬	R3.8.25	R4.3.9	ADI ARfD	ADI:0.0091 ARfD: ・3 (一般の集団) ・0.3 (妊婦又は妊娠している可能性のある女性)
166	対-035	グルホシネート(農薬5版)	77182-82-2	農薬	R4.11.24	R5.2.1	ADI ARfD	0.0091 0.01
167	対-036	クロメプロップ(農薬)	84496-56-0	農薬	H20.10.7	H21.7.23	ADI	0.0062
168	対-038	クロルピリホス	2921-88-2	農薬	H15.7.3	H15.9.18	ADI	0.01(詳細不明)
169	対-038	クロルピリホス(農薬)	2921-88-2	農薬	H15.7.3	H19.3.22	ADI	0.001
170	対-038	クロルピリホス(農薬)	2921-88-2	農薬	H16.11.2	H19.3.22	ADI	0.001
171	対-038	クロルピリホス(農薬)	2921-88-2	農薬	H18.7.18	H19.3.22	ADI	0.001
172	対-038	クロルピリホス(農薬2版)	2921-88-2	農薬	H21.10.26	H22.11.4	ADI	0.001
173	対-038	クロルピリホス(農薬3版)	2921-88-2	農薬	H22.8.12	H23.6.2	ADI	0.001
174	対-038	クロルピリホス(農薬4版)	2921-88-2	農薬	H29.7.21	H30.7.24	ADI ARfD	0.001 0.1
175	対-039	クロロタロニル(TPN)(農薬)	1897-45-6	農薬	H23.9.22	H30.3.27	ADI ARfD	ADI(①クロロタロニル:0.018 ②代謝物:0.0083) ARfD(①クロロタロニル:0.6 ②代謝物:0.025)
176	対-039	クロロタロニル(TPN)(農薬)	1897-45-6	農薬	H29.7.21	H30.3.27	ADI ARfD	ADI(①クロロタロニル:0.018 ②代謝物:0.0083) ARfD(①クロロタロニル:0.6 ②代謝物:0.025)
177	対-040	シアナジン(農薬)	21725-46-2	農薬	H28.10.18 H24.7.18	H29.2.28	ADI ARfD	0.00053 0.045
178	対-041	シアノホス(CYAP)	2636-26-2	農薬	H29.3.15	H29.10.17	ADI ARfD	0.001 0.01
179	対-043	ジクロベニル(農薬)	1194-65-6	農薬	H22.9.27	H26.7.1	ADI	0.01
180	対-045	ジクワット(農薬)	85-00-7	農薬	H31.1.23	R1.10.8	ADI ARfD	0.0058 0.75(ジクワットイオン換算値)
181	対-048	ジチオピル(農薬)	97886-45-8	農薬	H19.9.13	H20.1.10	ADI	0.0036
182	対-051	ジメタメトリン(農薬)	22936-75-0	農薬	H19.10.30	H23.12.22	ADI	0.0094
183	対-054	ダイアジノン(農薬・動物薬)	333-41-5	農薬	H20.8.18	H26.8.19	ADI	0.001
184	対-054	ダイアジノン(農薬・動物薬)	333-41-5	農薬	H24.1.23	H26.8.19	ADI	0.001
185	対-054	ダイアジノン(農薬・動物薬)	333-41-5	農薬	H25.3.12	H26.8.19	ADI	0.001
186	対-054	ダイアジノン(農薬・動物薬)	333-41-5	動物用医薬品	H25.3.12	H26.8.19	ADI	0.001
187	対-054	ダイアジノン(農薬・動物薬)	333-41-5	農薬	H29.5.24	H29.12.12	ADI ARfD	0.001 0.025
188	対-055	ダイムロン(農薬)	412928-75-7	農薬	H19.8.6	H19.11.8	ADI	0.3
189	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:ダゾメット(農薬)	533-74-4	農薬	H25.6.12	H27.3.24	ADI ARfD	0.004 0.028
190	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:メタム(農薬)	39680-90-5 (メタムアンモニウム塩)	農薬	H25.6.12	H27.3.24	ADI ARfD	0.005 0.03
191	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:メタム(農薬)	137-42-8 (メタムナトリウム塩) 137-41-7 (メタムカリウム塩)	農薬	H25.6.12	H27.3.24	ADI ARfD	0.0075 0.021
192	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:メチルイソチオシアネート(農薬)	556-61-6	農薬	H25.6.12	H27.3.24	ADI ARfD	0.004 0.1
193	対-056	ダゾメット(農薬2版)	533-74-4	農薬	R1.5.23	R1.8.27	ADI ARfD	0.004 0.028
194	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(第3版)	ダゾメット: 533-74-4 メタムアンモニウム塩: 39680-90-5 メタムナトリウム塩: 137-42-8 メタムカリウム塩: 137-41-7 メチルイソチオシアネート: 556-61-6	農薬	R5.11.21	R6.1.31	ADI ARfD	0.004 0.1
195	対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(第3版)	ダゾメット: 533-74-4 メタムアンモニウム塩: 39680-90-5 メタムナトリウム塩: 137-42-8 メタムカリウム塩: 137-41-7 メチルイソチオシアネート: 556-61-6	農薬	R5.11.21	R6.1.31	ADI ARfD	ダゾメット ADI:0.004 ARfD:0.028 メタムアンモニウム塩 ADI:0.005 ARfD:0.03 メタムナトリウム塩、メタムカリウム塩 ADI:0.0075 ARfD:0.021 メチルイソテオシアネート ADI:0.004 ARfD:0.1
196	対-057	チアジニル(農薬)	223580-51-6	農薬	H19.7.17	H19.10.25	ADI	0.04
197	対-057	チアジニル(農薬2版)	223580-51-6	農薬	R2.2.13	R2.9.15	ADI ARfD	0.04 1.5

※着色：R6 年度追加

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（6/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
198	対-061	チオベンカルブ(農薬)	28249-77-6	農薬	H19.8.6	H19.12.13	ADI	0.009
199	対-061	チオベンカルブ(農薬2版)	28249-77-6	農薬	H21.10.27	H22.8.5	ADI	0.009
200	対-061	チオベンカルブ(農薬3版)	28249-77-6	農薬	R4.9.28	R5.11.1	ADI ARfD	0.009 1
201	対-066	トリシクラゾール(農薬)	41814-78-2	農薬	H22.6.22	H26.1.20	ADI	0.05
202	対-066	トリシクラゾール(農薬)	41814-78-2	農薬	H21.10.27	H26.1.20	ADI	0.05
203	対-067	トリフルラリン(農薬)	1582-09-8	農薬	H21.3.24	H24.1.26	ADI	0.024
204	対-069	パラコート(農薬)	4685-14-7	農薬	H25.6.12	R4.6.28	ADI ARfD	0.0045（パラコートイオン換算値） 0.0045（パラコートイオン換算値）
205	対-070	ピペロホス	24151-93-7	農薬	H24.2.24	H24.3.1		回答文書
206	対-071	ピラクロニル(農薬)	158353-15-2	農薬	H18.1.16	H19.8.2	ADI	0.0044
207	対-071	ピラクロニル(農薬2版)	158353-15-2	農薬	H22.6.18	H23.6.2	ADI	0.0044
208	対-074	ピリダフェンチオン	119-12-0	農薬	H25.3.12	H25.3.18		回答文書
209	対-075	ピリブチカルブ(農薬)	88678-67-5	農薬	H19.8.6	H20.9.11	ADI	0.0088
210	対-076	ピロキロン(農薬)	57369-32-1	農薬	H19.11.27	H27.6.9	ADI ARfD	0.019 0.2
211	対-077	フィプロニル(農薬・動物薬)	120068-37-3	農薬	H23.2.14	H26.1.20	ADI	0.00019
212	対-077	フィプロニル(農薬・動物薬)	120068-37-3	農薬	H23.2.10	H26.1.20	ADI	0.00019
213	対-077	フィプロニル(農薬・動物薬)	120068-37-3	動物用医薬品	H23.2.10	H26.1.20	ADI	0.00019
214	対-077	フィプロニル(農薬・動物薬2版)	120068-37-3	農薬	H27.10.13	H28.4.5	ADI ARfD	0.00019 0.02
215	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	農薬	H22.9.27	H26.6.3	ADI	0.0049
216	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	農薬	H24.2.24	H26.6.3	ADI	0.0049
217	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	農薬	H24.3.26	H26.6.3	ADI	0.0049
218	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	農薬	H29.1.25	H29.8.22	ADI ARfD	0.0049 0.036
219	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	動物用医薬品	H22.9.27	H26.6.3	ADI	0.0049
220	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬）	122-14-5	動物用医薬品	H24.2.24	H26.6.3	ADI	0.0049
221	対-078	フェニトロチオン（農薬・動物薬3版）	122-14-5	農薬・動物用医薬品	R5.5.24	R5.11.16	ADI ARfD	0.0049 0.036
222	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	農薬	H24.5.21	H25.9.9	ADI	0.013
223	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	農薬	H24.5.21	H25.9.9	ADI	0.013
224	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	農薬	H22.9.27	H25.9.9	ADI	0.013
225	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	農薬	H22.9.24	H25.9.9	ADI	0.013
226	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	動物用医薬品	H22.9.27	H25.9.9	ADI	0.013
227	対-079	フェノブカルブ （BPMC）(農薬・動物薬)	3766-81-2	動物用医薬品	H24.5.21	H25.9.9	ADI	0.013
228	対-080	フェリムゾン(農薬)	89269-64-7	農薬	H20.2.5	H20.11.13	ADI	0.019
229	対-080	フェリムゾン(農薬2版)	89269-64-7	農薬	H23.6.10	H24.2.2	ADI	0.019
230	対-081	フェンチオン(農薬)	55-38-9	農薬	H21.1.20	H22.4.8	ADI	0.0023
231	対-081	フェンチオン(農薬2版)	55-38-9	農薬	H23.1.17	H25.9.30	ADI	0.0023
232	対-082	フェントエート(農薬)	2597-03-7	農薬	H21.6.9	H23.10.6	ADI	0.0029
233	対-082	フェントエート(農薬2版)	2597-03-7	農薬	H24.7.18	H25.1.21	ADI	0.0029
234	対-083	フェントラザミド(農薬)	158237-07-1	農薬	H15.7.1	H15.9.18	ADI	0.0052
235	対-083	フェントラザミド(農薬)	158237-07-1	農薬	H20.2.5	H20.12.4	ADI	0.0052
236	対-085	ブタクロール(農薬)	23184-66-9	農薬	H19.10.12	H23.8.25	ADI	0.01
237	対-085	ブタクロール(農薬2版)	23184-66-9	農薬	R4.9.28	R5.11.1	ADI ARfD	0.01 0.49
238	対-086	ブタミホス(農薬)	36335-67-8	農薬	H20.4.1	H21.2.12	ADI	0.008
239	対-087	ブプロフェジン(農薬)	69327-76-0	農薬	H19.8.21	H20.5.15	ADI	0.009
240	対-087	ブプロフェジン(農薬2版)	69327-76-0	農薬	H24.5.21	H24.12.10	ADI	0.009
241	対-087	ブプロフェジン(農薬4版)	69327-76-0	農薬	H28.5.11	H28.12.13	ADI ARfD	0.009 0.5
242	対-087	ブプロフェジン(農薬3版)	69327-76-0	農薬	H31.3.19	R1.6.18	ADI ARfD	0.009 0.5
243	対-087	ブプロフェジン	69327-76-0	農薬	R5.8.31	R5.10.11	ADI ARfD	評価値通知のみ 0.009 0.5

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（7/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
244	対-088	フルアジナム(農薬)	79622-59-6	農薬	H15.7.1	H15.9.18	ADI	0.01
245	対-088	フルアジナム(農薬)	79622-59-6	農薬	H18.9.4	H25.11.11	ADI	0.01
246	対-088	フルアジナム(農薬)	79622-59-6	農薬	H19.2.27	H25.11.11	ADI	0.01
247	対-088	フルアジナム(農薬2版)	79622-59-6	農薬	H30.10.10	H31.2.5	ADI ARfD	ADI:0.01 ARfD: ・0.5（一般の集団） ・0.02（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
248	対-088	フルアジナム(農薬3版)	79622-59-6	農薬	R3.6.30	R3.8.31	ADI ARfD	ADI:0.01 ARfD: ・0.5（一般の集団） ・0.02（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
249	対-089	プレチラクロール(農薬)	51218-49-6	農薬	H19.9.25	H20.10.9	ADI	0.018
250	対-089	プレチラクロール(第2版)	51218-49-6	農薬	R6.2.7	R6.12.18	ADI	0.018
251	対-090	プロシミドン(農薬)	32809-16-8	農薬	H23.1.24	H26.1.20	ADI	0.035
252	対-090	プロシミドン(農薬)	32809-16-8	農薬	H28.10.18	H29.5.30	ADI ARfD	ADI:0.035 ARfD: ・0.3（一般の集団） ・0.035（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
253	対-090	プロシミドン(農薬3版)	32809-16-8	農薬	H28.10.18	H29.5.30	ADI ARfD	ADI:0.035 ARfD: ・0.3（一般の集団） ・0.035（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
254	対-090	プロシミドン(農薬4版)	32809-16-8	農薬	R5.5.24	R5.8.1	ADI ARfD	ADI:0.035 ARfD: ・0.3（一般の集団） ・0.035（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
255	対-091	プロチオホス(農薬)	34643-46-4	農薬	H25.6.12	H30.10.23	ADI ARfD	0.0027 0.05
256	対-091	プロチオホス(農薬)	34643-46-4	農薬	H30.5.17	H30.10.23	ADI ARfD	0.0027 0.05
257	対-091	プロチオホス(農薬2版)	34643-46-4	農薬	R4.7.13	R5.7.12	ADI ARfD	0.0027 0.05
258	対-092	プロピコナゾール(農薬)	60207-90-1	農薬	H22.11.12	H26.4.8	ADI	0.019
259	対-092	プロピコナゾール(農薬)	60207-90-1	農薬	H23.6.10	H26.4.8	ADI	0.019
260	対-092	プロピコナゾール(農薬2版)	60207-90-1	農薬、添加物	H28.12.14	H29.7.4	ADI ARfD	0.019 0.3
261	対-093	プロピザミド(農薬)	23950-58-5	農薬	H23.3.25	H26.1.20	ADI	0.019
262	対-093	プロピザミド(農薬)	23950-58-5	農薬	H22.3.23	H26.1.20	ADI	0.019
263	対-094	プロベナゾール(農薬)	27605-76-1	農薬	H22.8.12	H30.3.27	ADI ARfD	0.01 2
264	対-095	ブロモブチド(農薬)	74712-19-9	農薬	H19.9.13	H20.1.10	ADI	0.04
265	対-097	ペンシクロン(農薬)	66063-05-6	農薬	H19.9.13	H20.10.16	ADI	0.053
266	対-097	ペンシクロン(農薬2版)	66063-05-6	農薬	R3.9.19	R3.10.6	ADI	0.053
267	対-098	ペンゾビシクロン(農薬)	156963-66-5	農薬	H19.3.6	H20.3.13	ADI	0.034
268	対-099	ベンゾフェナップ(農薬)	82692-44-2	農薬	H22.9.13	H27.8.18	ADI	0.002
269	対-100	ベンタゾン(農薬)	25057-89-0	農薬	R1.9.5	R3.6.22	ADI ARfD	0.09 0.5
270	対-100	ベンタゾン(農薬)	25057-89-0	農薬	H22.3.23	R3.6.22	ADI ARfD	0.09 0.5
271	対-100	ベンタゾン(農薬)	25057-89-0	農薬	H22.6.22	R3.6.22	ADI ARfD	0.09 0.5
272	対-101	ペンディメタリン(農薬)	40487-42-1	農薬	H20.6.3	H22.10.7	ADI	0.12
273	対-101	ペンディメタリン(農薬2版)	40487-42-1	農薬	H24.1.23	H24.8.6	ADI	0.12
274	対-101	ペンディメタリン(農薬3版)	40487-42-1	農薬	R2.10.19	R3.4.13	ADI ARfD	0.12 1
275	対-101	ペンディメタリン(農薬3版)	40487-42-1	農薬	R2.10.19	R3.4.13	ADI ARfD	0.12 1
276	対-102	ベンフラカルブ(農薬)	82560-54-1	農薬	H23.2.10	R2.2.4	ADI ARfD	0.0089 0.0092
277	対-103	ベンフルラリン(農薬)	1861-40-1	農薬	H20.3.25	H22.10.14	ADI	0.005
278	対-104	ベンフレセート(農薬)	68505-69-1	農薬	H19.10.12	H20.4.24	ADI	0.026
279	対-105	ホスチアゼート(農薬)	98886-44-3	農薬	H24.7.18	R2.12.15	ADI ARfD	ADI:0.002 ARfD: ・0.007(一般の集団) ・0.002（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
280	対-105	ホスチアゼート(農薬2版)	98886-44-3	農薬	R4.3.23	R4.5.18	ADI ARfD	ADI:0.002 ARfD: ・0.007(一般の集団) ・0.002（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
281	対-105	ホスチアゼート(農薬3版)	98886-44-3	農薬	R5.7.13	R6.3.21	ADI ARfD	ADI:0.002 ARfD: ・0.007(一般の集団) ・0.002（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
282	対-106	マラチオン(農薬)	121-75-5	農薬	H23.3.25	H26.5.13	ADI ARfD	0.29 1.5
283	対-106	マラチオン(農薬)	121-75-5	農薬	H23.4.25	H26.5.13	ADI ARfD	0.29 1.5

※着色：R6 年度追加

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（8/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
284	対-109	メタラキシル及びメフェノキサム(農薬)	57837-19-1	農薬	H19.5.22	H21.3.5	ADI	0.022
285	対-109	メタラキシル及びメフェノキサム(農薬2版)	57837-19-1	農薬	H22.9.13	H23.7.7	ADI	0.022
286	対-109	メタラキシル及びメフェノキサム(農薬3版)	57837-19-1	農薬	H25.11.14	H26.1.20	ADI	0.022
287	対-109	メタラキシル及びメフェノキサム(農薬4版)	57837-19-1	農薬	H29.3.15	H29.10.17	ADI ARfD	0.08 0.5
288	対-111	メトミノストロビン(農薬)	133408-50-1	農薬	H20.12.9	H22.3.4	ADI	0.016
289	対-111	メトミノストロビン(農薬2版)	133408-50-1	農薬	R3.2.9	R3.8.24	ADI ARfD	0.016 0.78
290	対-113	メフェナセット(農薬)	73250-68-7	農薬	H19.9.25	H20.3.13	ADI	0.007
291	対-114	メプロニル(農薬)	55814-41-0	農薬	H20.4.1	H21.12.17	ADI	0.05
292	要-001	アセタミプリド(農薬)	135410-20-7	農薬	H20.2.12	H20.8.29	ADI	0.071
293	要-001	アセタミプリド(農薬2版)	135410-20-7	農薬	H22.8.12	H23.6.9	ADI	0.071
294	要-001	アセタミプリド(農薬3版)	135410-20-7	農薬	H26.7.2	H26.12.16	ADI ARfD	0.071 0.1
295	要-002	イミダクロプリド	138261-41-3	農薬	H15.10.31	H16.1.15		製剤関連
296	要-002	イミダクロプリド(農薬)	138261-41-3	農薬	H19.2.27	H19.6.14	ADI	0.057
297	要-002	イミダクロプリド(農薬2版)	138261-41-3	農薬	H21.10.26	H22.9.9	ADI	0.057
298	要-002	イミダクロプリド(農薬3版)	138261-41-3	農薬	H27.11.17	H28.7.12	ADI ARfD	0.057 0.1
299	要-002	イミダクロプリド(農薬3版)	138261-41-3	農薬	H27.11.17	H28.7.12	ADI ARfD	0.057 0.1
300	要-003	イプロジオン(農薬)	36734-19-7	農薬	R3.2.9	R3.11.2	ADI ARfD	0.02 0.9
301	要-003	イプロジオン(農薬)	36734-19-7	農薬	H25.3.12	R3.11.2	ADI ARfD	0.02 0.9
302	要-004	エチプロール（農薬）	181587-01-9	農薬	H15.10.29	H16.7.22	ADI	0.005
303	要-004	エチプロール（農薬2版）	181587-01-9	農薬	H19.12.4	H20.2.28	ADI	0.005
304	要-004	エチプロール（農薬3版）	181587-01-9	農薬	H21.12.4	H22.7.22	ADI	0.005
305	要-004	エチプロール（農薬4版）	181587-01-9	農薬	H25.12.10	H26.3.24	ADI	0.005
306	要-005	クロロピクリン（クロルピクリン）（農薬）		農薬	H29.6.15	未通知		
307	要-006	テブコナゾール(農薬)	107534-96-3	農薬	H19.2.27	H19.7.5	ADI	0.029
308	要-006	テブコナゾール(農薬2版)	107534-96-3	農薬	H23.2.10	H23.9.8	ADI	0.029
309	要-006	テブコナゾール(農薬3版)	107534-96-3	農薬	H24.5.21	H24.10.29	ADI	0.029
310	要-006	テブコナゾール(農薬4版)	107534-96-3	農薬	H27.2.16	H27.9.8	ADI ARfD	0.029 0.3
311	要-006	テブコナゾール(農薬4版)	107534-96-3	農薬	R1.6.19	R1.10.1	ADI ARfD	0.029 0.3
312	要-011	ブロマシル(農薬)	314-40-9	農薬	H25.6.12	H28.5.17	ADI ARfD	0.019 0.2
313	要-012	ペントキサゾン(農薬)	110956-75-7	農薬	H18.5.23	H21.10.22	ADI	0.23
314	要-013	ホサロン(農薬)	2310-17-0	農薬	H23.1.24	H26.3.10	ADI	0.002
315	要-014	メタアルデヒド(農薬6版)	108-62-3	農薬	R4.7.13	R4.10.12	ADI ARfD	0.022 0.3
316	要-014	メタアルデヒド(農薬5版)	108-62-3	農薬	H28.7.13	H29.2.14	ADI ARfD	0.022 0.3
317	要-014	メタアルデヒド(農薬4版)	108-62-3	農薬	H25.6.12	H25.12.2	ADI	0.022
318	要-014	メタアルデヒド(農薬3版)	108-62-3	農薬	H22.9.13	H23.6.23	ADI	0.022
319	要-014	メタアルデヒド(農薬2版)	108-62-3	農薬	H20.12.9	H21.2.5	ADI	0.022
320	要-014	メタアルデヒド(農薬)	108-62-3	農薬	H18.7.18	H19.7.19	ADI	0.022
321	要-014	メタアルデヒド(農薬)	108-62-3	農薬	H15.12.26	H19.7.19	ADI	0.022
322	要-015	メトラクロール(農薬)	51218-45-2	農薬	H20.6.17	H21.7.30	ADI	0.097
323	他-004	MCPBエチル(農薬)	10443-70-6	農薬	H26.3.25	H30.9.4	ADI ARfD	0.012 0.2
324	他-005	アシベンゾラル-S-メチル(農薬)	126448-41-7	農薬	H26.7.2	H27.3.24	ADI ARfD	0.077 0.5
325	他-005	アシベンゾラル-S-メチル(農薬)	126448-41-7	農薬	H23.10.11	H27.3.24	ADI ARfD	0.077 0.5
326	他-005	アシベンゾラル-S-メチル(農薬)	126448-41-7	農薬	H29.10.26	H30.2.13	ADI ARfD	0.077 0.5
327	他-006	アジムスルフロン(農薬)	120162-55-2	農薬	H19.4.10	H21.4.9	ADI	0.095
328	他-007	アミトロール(農薬)	61-82-5	農薬	H19.10.30	H22.10.7	ADI	0.0012
329	他-008	アメトリン(農薬)	834-12-8	農薬	H19.3.6	H19.9.13	ADI	0.072
330	他-011	ウニコナゾールP(農薬)			H19.2.27	H19.5.31	ADI	0.016
331	他-011	ウニコナゾールP(農薬第2版)			R2.11.11	R3.5.25	ADI ARfD	ADI:0.02 ARfD: ・1(一般の集団) ・0.05（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
332	他-012	エトキシスルフロン(農薬)	126801-58-9	農薬	H22.9.27	H25.10.21	ADI	0.056
333	他-013	エトベンザニド(農薬)	79540-50-4	農薬	H19.8.6	H26.1.20	ADI	0.044
334	他-014	エンドタール(農薬)	145-73-3	農薬	H29.3.22	H29.3.28		回答文書
335	他-015	オキサジアルギル(農薬)	39807-15-3	農薬	H15.11.17	H19.10.11	ADI	0.008

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（9/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
336	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬2版)	14698-29-4	農薬	H22.9.13	H23.6.30	ADI	0.021
337	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬3版)	14698-29-4	農薬	H25.8.20	H25.11.11	ADI	0.021
338	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬)	14698-29-4	農薬	H19.12.25	H20.7.24	ADI	0.021
339	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬)	14698-29-4	農薬	H18.9.4	H20.7.24	ADI	0.021
340	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬)	14698-29-4	動物用医薬品	H18.9.4	H20.7.24	ADI	0.021
341	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬2版)	14698-29-4	動物用医薬品	H22.9.13	H23.6.30	ADI	0.021
342	他-017	オキソリニック酸(農薬・動物薬4版)	14698-29-4	農薬	H31.3.19	R1.8.27	ADI ARfD	0.021 0.06
343	他-018	キザロホップエチル(農薬)	76578-14-8	農薬	H19.8.6	H21.10.22	ADI	0.009
344	他-018	キザロホップエチル（農薬2版）	76578-14-8	農薬	H25.11.14	H26.4.8	ADI	0.009
345	他-018	キザロホップエチル及び キザロホップPテフリル（農薬3版）	キザロホップエチル：76578-14-8 キザロホップPテリフル：100646-51-3	農薬	R4.10.19	R5.3.29	ADI ARfD	0.009 0.3
346	他-019	クロチアニジン(農薬)	210880-92-5	農薬	H16.10.5	H17.1.27	ADI	0.097
347	他-019	クロチアニジン(農薬2版)	210880-92-5	農薬	H18.7.18	H18.12.7	ADI	0.097
348	他-019	クロチアニジン(農薬3版)	210880-92-5	農薬	H20.1.11	H20.2.28	ADI	0.097
349	他-019	クロチアニジン(農薬4版)	210880-92-5	農薬	H23.6.10	H24.3.1	ADI	0.097
350	他-019	クロチアニジン(農薬5版)	210880-92-5	農薬	H25.11.14	H26.1.20	ADI	0.097
351	他-019	クロチアニジン（農薬6版）	210880-92-5	農薬	H26.4.7	H26.10.7	ADI ARfD	0.097 0.6
352	他-020	クロマフェノジド(農薬)	143807-66-3	農薬	H19.4.10	H19.10.18	ADI	0.27
353	他-020	クロマフェノジド（農薬2版）	143807-66-3	農薬	H23.11.18	H24.5.24	ADI	0.27
354	他-024	ジクロフェンチオン（ECP）	97-17-6	農薬	H25.3.12	H25.3.18		回答文書
355	他-025	シクロプロトリン(農薬)	63935-38-6	農薬	H22.1.25	H27.2.3	ADI	0.085
356	他-027	ジクロルプロップ	120-36-5	農薬	H25.3.12	H29.7.4	ADI ARfD	0.036 0.3
357	他-029	ジチアノン(農薬)	3347-22-6	農薬	H19.8.6	H22.6.17	ADI	0.01
358	他-029	ジチアノン(農薬)	3347-22-6	農薬	H29.8.31	H30.12.4	ADI ARfD	0.01 0.1
359	他-030	シノスルフロン	94593-91-6	農薬	H24.2.24	H24.3.1		回答文書
360	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬5版)	165252-70-0	農薬	H25.8.20	H25.12.2	ADI	0.22
361	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬6版)	165252-70-0	農薬	H28.7.13	H29.2.14	ADI ARfD	0.22 1.2
362	他-031	ジノテフラン(農薬)	165252-70-0	農薬	H16.4.28	H17.6.16	ADI	0.22
363	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬2版)	165252-70-0	農薬	H18.9.4	H19.7.26	ADI	0.22
364	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬3版)	165252-70-0	農薬	H22.2.16	H22.9.9	ADI	0.22
365	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬4版)	165252-70-0	農薬	H24.5.21	H24.10.29	ADI	0.22
366	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬2版)	165252-70-0	動物用医薬品	H18.11.16	H19.7.26	ADI	0.22
367	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬3版)	165252-70-0	動物用医薬品	H22.2.16	H22.9.9	ADI	0.22
368	他-031	ジノテフラン(農薬・動物薬4版)	165252-70-0	動物用医薬品	H24.5.21	H24.10.29	ADI	0.22
369	他-031	ジノテフランを有効成分とする動物体に直接適用しない動物用殺虫剤（フラッシュベイト、エコスピード）	165252-70-0	動物用医薬品	H18.11.16	H19.7.26	ADI	0.22
370	他-032	ジフェノコナゾール(農薬)	119446-68-3	農薬	H22.9.27	H24.10.15	ADI	0.0096
371	他-032	ジフェノコナゾール(農薬2版)	119446-68-3	農薬	H26.9.9	H27.3.3	ADI ARfD	0.0096 0.25
372	他-032	ジフェノコナゾール(農薬3版)	119446-68-3	農薬	H28.12.14	H29.2.28	ADI ARfD	0.0096 0.25
373	他-032	ジフェノコナゾール(農薬4版)	119446-68-3	農薬	H30.4.18	H30.5.22	ADI ARfD	0.0096 0.25
374	他-032	ジフェノコナゾール(農薬・添加物5版)	119446-68-3	農薬	H31.2.20	R1.6.18	ADI ARfD	0.0096 0.25
375	他-032	ジフェノコナゾール(農薬・添加物65版)	119446-68-3	農薬	R4.8.24	R4.12.14	ADI ARfD	0.0096 0.25
376	他-033	シフルトリン(農薬・動物用医薬品)	68359-37-5	農薬	R1.9.5	R3.6.8	ADI ARfD	0.023 0.023
377	他-033	シフルトリン(農薬・動物用医薬品)	68359-37-5	農薬	H24.8.21	R3.6.8	ADI ARfD	0.023 0.023
378	他-033	シフルトリン(農薬・動物用医薬品)	68359-37-5	農薬	H24.8.21	R3.6.8	ADI ARfD	0.023 0.023
379	他-033	シフルトリン(農薬・動物用医薬品)	68359-37-5	農薬	H24.8.21	R3.6.8	ADI ARfD	0.023 0.023
380	他-033	シフルトリン(農薬・動物用医薬品2版)	68359-37-5	農薬・動物用医薬品	R5.8.31	R5.9.15	ADI ARfD	0.023 0.023
381	他-034	ジフルベンズロン(農薬・動物薬)	35367-38-5	農薬	H22.12.10	H27.7.28	ADI	0.02
382	他-034	ジフルベンズロン(農薬・動物薬)	35367-38-5	動物用医薬品	H22.12.10	H27.7.28	ADI	0.02
383	他-036	シプロジニル(農薬)	121552-61-2	農薬	H22.9.13	H24.9.24	ADI	0.027
384	他-037	シペルメトリン(農薬・動物用医薬品)	52315-07-8	農薬	H25.12.10	H30.2.13	ADI ARfD	0.022 0.04
385	他-037	シペルメトリン(農薬・動物用医薬品)	52315-07-8	動物用医薬品	H25.12.10	H30.2.13	ADI ARfD	0.022 0.04
386	他-037	シペルメトリン(農薬・動物用医薬品)	52315-07-8	農薬	H29.1.25	H30.2.13	ADI ARfD	0.022 0.04
387	他-037	シペルメトリン(農薬・動物用医薬品第2版)	52315-07-8	農薬	H30.3.7	H30.3.27	ADI ARfD	0.022 0.04

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（10/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
388	他-038	シメコナゾール(農薬)	149508-90-7	農薬	H19.6.5	H19.8.23	ADI	0.0085
389	他-038	シメコナゾール(農薬)	149508-90-7	農薬	H20.10.17	H21.3.12	ADI	0.0085
390	他-038	シメコナゾール(農薬)	149508-90-7	農薬	H23.3.25	H24.2.9	ADI	0.0085
391	他-038	シメコナゾール(農薬4版)	149508-90-7	農薬	H24.7.18	H24.11.12	ADI	0.0085
392	他-038	シメコナゾール(農薬5版)	149508-90-7	農薬	H27.10.13	H28.2.23	ADI ARfD	ADI:0.0085 ARfD: ・0.2（一般の集団） ・0.09（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
393	他-038	シメコナゾール(農薬6版)	149508-90-7	農薬	H30.4.18	H30.5.22	ADI ARfD	ADI:0.0085 ARfD: ・0.2（一般の集団） ・0.09（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
394	他-038	シメコナゾール(農薬6版)	149508-90-7	農薬	R4.7.13	R4.10.12	ADI ARfD	ADI:0.0085 ARfD: ・0.2（一般の集団） ・0.09（妊婦又は妊娠している可能性のある女性）
395	他-040	ジメピペレート	61432-55-1	農薬	H24.2.24	H24.3.1		回答文書
396	他-041	シラフルオフェン(農薬)	105024-66-6	農薬	H19.10.12	H20.1.17	ADI	0.11
397	他-043	スピノサド(農薬・動物薬)	168316-95-8	農薬	H16.12.24	H22.4.8	ADI	0.024
398	他-043	スピノサド(農薬・動物薬)	168316-95-8	農薬	H18.7.18	H22.4.8	ADI	0.024
399	他-043	スピノサド(農薬・動物薬)	168316-95-8	農薬	H29.5.24	H30.1.23		
400	他-043	スピノサド(農薬・動物薬)	168316-95-8	動物用医薬品	H18.7.18	H22.4.8	ADI	0.024
401	他-043	スピノサド(農薬・動物薬)	168316-95-8	動物用医薬品	H17.12.19	H22.4.8	ADI	0.024
402	他-043	スピノサド(農薬・動物薬2版)	168316-95-8	動物用医薬品	H26.10.24	H27.2.17	ADI	0.024
403	他-043	スピノサド(農薬・動物薬3版)	168316-95-8	動物用医薬品	H26.10.24	H27.2.17	ADI	0.024
404	他-043	スピノサド(農薬・動物薬4版)	168316-95-8	農薬	R3.3.21	R3.6.15	ADI	0.024
405	他-044	セトキシジム(農薬)	74051-80-2	農薬	H23.10.11	H30.12.4	ADI ARfD	0.088 1.8
406	他-044	セトキシジム(農薬)	74051-80-2	農薬	R4.10.19	R4.12.14	ADI ARfD	0.088 1.8
407	他-045	チアクロプリド(農薬)	111988-49-9	農薬	H22.11.12	H30.10.23	ADI ARfD	0.012 0.031
408	他-045	チアクロプリド(農薬)	111988-49-9	農薬	H23.3.25	H30.10.23	ADI ARfD	0.012 0.031
409	他-045	チアクロプリド(農薬)	111988-49-9	農薬	H23.10.11	H30.10.23	ADI ARfD	0.012 0.031
410	他-046	チアメトキサム(農薬)	153719-23-4	農薬	H18.7.18	H20.4.3	ADI	0.018
411	他-046	チアメトキサム(農薬2版)	153719-23-4	農薬	H23.6.10	H24.3.1	ADI	0.018
412	他-046	チアメトキサム(農薬3版)	153719-23-4	農薬	H27.1.13	H27.7.28	ADI ARfD	0.018 0.5
413	他-047	チオシクラム(農薬)	31895-21-3	農薬	H30.10.10	R1.6.4	ADI ARfD	0.021 0.1
414	他-048	チフルザミド(農薬)	130000-40-7	農薬	H22.8.12	H24.10.1	ADI	0.014
415	他-048	チフルザミド(農薬2版)	130000-40-7	農薬	H27.8.5	H28.1.26	ADI ARfD	0.014 0.25
416	他-048	チフルザミド(農薬3版)	130000-40-7	農薬	H31.3.19	R1.6.18	ADI ARfD	0.014 0.25
417	他-048	チフルザミド(農薬4版)	130000-40-7	農薬	R4.9.28	R5.11.1	ADI ARfD	0.014 0.25
418	他-051	テトラコナゾール(農薬)	112281-77-3	農薬	H24.8.21	H27.8.18	ADI ARfD	0.004 0.05
419	他-051	テトラコナゾール(農薬)	112281-77-3	農薬	H20.7.8	H27.8.18	ADI ARfD	0.004 0.05
420	他-051	テトラコナゾール(農薬)	112281-77-3	農薬	H29.11.22	H30.3.6	ADI ARfD	0.004 0.05
421	他-051	テトラコナゾール(農薬2版)	112281-77-3	農薬	H29.11.22	H30.3.6	ADI ARfD	0.004 0.05
422	他-051	テトラコナゾール(農薬2版)	112281-77-3	農薬	R3.8.25	R3.10.26	ADI ARfD	0.004 0.05
423	他-052	テブフェノジド(農薬)	112410-23-8	農薬	H19.8.6	H19.11.8	ADI	0.016
424	他-052	テブフェノジド(農薬2版)	112410-23-8	農薬	H28.2.9	H28.5.17	ADI	0.016
425	他-053	トリネキサパックエチル	95266-40-3	農薬	H15.7.1	H15.9.18	ADI	0.0059
426	他-053	トリネキサパックエチル(農薬)	95266-40-3	農薬	H19.6.26	H21.10.22	ADI	0.0059
427	他-053	トリネキサパックエチル(農薬2版)	95266-40-3	農薬	R3.12.8	R4.5.10	ADI ARfD	0.0059 0.6
428	他-054	トリフルミゾール(農薬)	68694-11-1	農薬	H22.9.27	H25.11.11	ADI	0.015
429	他-054	トリフルミゾール(農薬2版)	68694-11-1	農薬	H28.2.9	H28.5.17	ADI ARfD	0.015 0.25
430	他-054	トリフルミゾール(農薬3版)	68694-11-1	農薬	H30.1.24	H30.3.27	ADI ARfD	0.015 0.25
431	他-054	トリフルミゾール(農薬4版)	68694-11-1	農薬	R3.12.8	R4.1.19	ADI ARfD	0.015 0.25
432	他-055	トルフェンピラド(農薬)	129558-76-5	農薬	H16.7.12	H16.10.7	ADI	0.0056
433	他-055	トルフェンピラド(農薬)	129558-76-5	農薬	H19.2.27	H19.5.31	ADI	0.0056
434	他-055	トルフェンピラド(農薬)	129558-76-5	農薬	H22.2.23	H23.2.10	ADI	0.0056

表 5-3　内閣府食品安全委員会における全評価物質（11/11）

No.	水質基準項目等	食品安全委員会における評価						
		評価品目名	CAS番号	食品安全委員会における分類	評価要請文書受理日	評価結果通知日	評価値種類	評価値（ADI:mg/kg 体重/日）（ARfD:mg/kg 体重）
435	他-055	トルフェンピラド(農薬4版)	129558-76-5	農薬	R2.7.28	H23.2.10	ADI ARfD	0.0056 0.01
436	他-056	ナプロアニリド	52570-16-8	農薬	H24.2.24	R2.11.24		回答文書
437	他-057	ニテンピラム(農薬)	150824-47-8	農薬	H25.12.20	H28.5.17	ADI ARfD	0.53 0.6
438	他-057	ニテンピラム(農薬)	150824-47-8	農薬	H27.10.13	H28.5.17	ADI ARfD	0.53 0.6
439	他-058	パクロブトラゾール(農薬)	76738-62-0	農薬	H19.12.4	H21.4.2	ADI	0.02
440	他-058	パクロブトラゾール(農薬2版)	76738-62-0	農薬	H28.2.9	H28.9.6	ADI ARfD	0.02 0.3
441	他-059	パリダマイシン(農薬)	37248-47-8	農薬	H28.3.23	R2.9.29	ADI ARfD	0.36 3.2
442	他-059	パリダマイシン(農薬)	37248-47-8	農薬	R4.7.13	R4.8.31	ADI ARfD	0.36 3.2
443	他-061	ピメトロジン(農薬)	123312-89-0	農薬	H20.3.25	H22.9.9	ADI	0.013
444	他-061	ピメトロジン(農薬2版)	123312-89-0	農薬	R1.12.18	R2.6.17	ADI ARfD	0.013 0.1
445	他-062	ピラゾスルフロンエチル(農薬)	93697-74-6	農薬	H22.3.23	H26.5.20	ADI	0.01
446	他-063	ピリミノバックメチル(農薬)	136191-64-5	農薬	H19.11.12	H22.4.1	ADI	0.02
447	他-065	ピレトリン	121-29-9	農薬	H29.4.19	未通知		
448	他-067	フェンバレレート(農薬・動物薬)	51630-58-1	農薬	H24.7.18	H25.7.29	ADI	0.017
449	他-067	フェンバレレート(農薬・動物薬)	51630-58-1	農薬	H24.7.18	H25.7.29	ADI	0.017
450	他-067	フェンバレレート(農薬・動物薬)	51630-58-1	動物用医薬品	H24.7.18	H25.7.29	ADI	0.017
451	他-069	フラメトピル(農薬)	123572-88-3	農薬	H21.1.20	H23.11.17	ADI	0.007
452	他-069	フラメトピル(農薬第2版)	123572-88-3	農薬	H30.8.8	H31.2.5	ADI ARfD	0.007 0.3
453	他-070	フルアジホップ(農薬)	83066-88-0	農薬	H25.8.20	H27.7.7	ADI ARfD	0.0044 0.02
454	他-070	フルアジホップ(農薬2版)	83066-88-0	農薬	H30.1.24	H30.3.6	ADI ARfD	0.0044 0.02
455	他-071	プロパニル(農薬)	709-98-8	農薬	H30.5.17	H30.12.4	ADI ARfD	0.016 0.57
456	他-072	プロパホス	7292-16-2	農薬	H24.2.24	H24.3.1		回答文書
457	他-073	プロパルギット又はBPPS(農薬)	2312-35-8	農薬	H19.3.6	H24.10.29	ADI	0.0098
458	他-073	プロパルギット(BPPS)(農薬2版)	2312-35-8	農薬	R2.12.14	R3.6.8	ADI ARfD	0.0098 1
459	他-076	プロメトリン(農薬)	7287-19-6	農薬	H30.4.18	R1.5.21	ADI ARfD	0.03 1.5
460	他-077	ペルメトリン(農薬・動物薬)	52645-53-1	農薬	H24.5.21	R1.5.21	ADI ARfD	0.05 0.5
461	他-077	ペルメトリン(農薬・動物薬)	52645-53-1	農薬	H24.5.21	R1.5.21	ADI ARfD	0.05 0.5
462	他-077	ペルメトリン(農薬・動物薬)	52645-53-1	農薬	H24.5.21	R1.5.21	ADI ARfD	0.05 0.5
463	他-077	ペルメトリン(農薬・動物薬第2版)	52645-53-1	農薬	H24.5.21	R1.5.21	ADI ARfD	0.05 0.5
464	他-078	ベンスルタップ（農薬）	17606-31-4	農薬	H30.10.10	R1.6.4	ADI ARfD	0.025 0.3
465	他-079	ベンダイオカルブ(農薬)	22781-23-3	農薬	H20.3.11	H21.8.27	ADI	0.0035
466	他-081	ボスカリド(農薬)	188425-85-6	農薬	H15.11.17	H16.5.20	ADI	0.044
467	他-081	ボスカリド(農薬2版)	188425-85-6	農薬	H18.7.18	H18.10.26	ADI	0.044
468	他-081	ボスカリド(農薬3版)	188425-85-6	農薬	H20.12.19	H21.3.19	ADI	0.044
469	他-081	ボスカリド(農薬4版)	188425-85-6	農薬	H24.1.23	H24.8.6	ADI	0.044
470	他-081	ボスカリド(農薬5版)	188425-85-6	農薬	H28.5.11	H28.9.27	ADI ARfD	0.044 3
471	他-083	メタミドホス(農薬)	10265-92-6	農薬	H20.2.12	H20.5.1	ADI	0.0006
472	他-083	メタミドホス(農薬2版)	10265-92-6	農薬	H28.2.9	H28.12.13	ADI ARfD	0.00056 0.3
473	他-083	メタミドホス(農薬3版)	10265-92-6	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI ARfD	0.00056 0.003
474	他-083	メタミドホス(農薬3版)	10265-92-6	農薬	R5.7.13	R6.2.14	ADI ARfD	0.00056 0.003

※着色：R6 年度追加

6. 水質基準等に関する情報の更新

6.1. 水質基準等の見直しの動向

令和 6 年度水質基準逐次改正検討会は、令和 6 年 7 月 17 日、令和 6 年 12 月 24 日に開催された。各 2 回とも「PFOS・PFOA にかかわる水質の目標値等の専門家会議」との合同会議である。検討会概要を表 6-1～表 6-2 に示す（本業務に係る内容に限り抜粋）。内容は中央環境審議会水道水質・衛生管理小委員会で審議された。また、過年度に整理された情報に追加し、諸外国等の基準値等の変更も含めて、令和 7 年 2 月 21 日時点での情報に更新してに取りまとめた。表中、網掛け部分が今回更新した情報である。

表 6-1 令和 6 年度水質基準逐次改正検討会概要（R6.7.17）

1. PFOS 及び PFOA に関する検討について

(1)PFAS に関する国内動向

食品安全委員会（R6.6.25）で評価書が取りまとめられた。現時点での科学的知見に基づいて、食品健康影響評価の指標を示した。

TDI は、PFOS、PFOA それぞれ 20ng/kg 体重/日と設定することが妥当。PFHxS は十分な知見が得られていない。

(2)水道水における PFOS 及び PFOA の検出状況(R3 年度水道統計)

2/1247 地点で暫定目標値（50 ng/L）の超過を確認。 1 地点は取水停止、もう 1 地点は水源切替え等の措置

(3)水道水における PFOS 及び PFOA の目標値等を検討する上での論点(案)

論点を以下に示す。

ア 分類の見直し（現行では水質管理目標設定項目）

イ 目標値（又は基準値）

食品安全委員会の食品健康影響評価書の結果を踏まえた目標値（又は基準値）についてまた、目標値（基準値）を PFOS、PFOA の個別に目標値（又は基準値）を設定するか、PFOS 及び PFOA を合算して目標値（又は基準値）を設定するかについて

ウ 検査回数、検査の省略

（水質基準とする場合、）検査回数並びに検査回数の減及び省略について

エ 検査方法

オ その他

PFHxS について 等

(4)今後の予定

(3)に記載された各論点の整理及び実態調査の結果の取りまとめ等を踏まえて、水道水における PFOS 及び PFOA の目標値等に関する方針案について検討

表 6-2　令和 6 年度水質基準逐次改正検討会概要（R6.12.24）

1. 水道水における PFOS 及び PFOA 等に関する検討について

(1)水道における PFOS 及び PFOA に関する調査の結果について(最終とりまとめ)

ア 水道事業及び水道用水供給事業

PFOS 及び PFOA の暫定目標値(50ng/L)を超過した事業数は、令和２年度は 11 事業あったが、年々減少し、令和５年度は３事業、令和６年度（９月 30 日時点）では０事業であった。なお、令和５年度までのいずれかで暫定目標値を超過した全 14 事業において、最新の検査結果では、全て暫定目標値を下回っている。

イ 専用水道

令和２年度から令和６年度（令和６年度は９月 30 日時点）までに PFOS 及び PFOA の暫定目標値(50ng/L)を超過した専用水道の数は、検査実績があると回答した 1,929 のうち、42（約 2.2%）であった。なお、この他、調査対象期間（令和２年４月～令和６年９月 30 日）後、２件の国設専用水道から暫定目標値の超過の報告があった。

(2)水道水における PFOS 及び PFOA の取扱いの改正方針等について(案)

・分類について

PFOS 及び PFOA は分類見直しの考え方に当てはめると、分類要件１、分類要件２のいずれも満たしているため、水質基準項目へと分類変更を検討すべき項目に該当している。

・目標値の検討

食品安全委員会評価書において、PFOS、PFOA それぞれについて、TDI として 20ng/kg 体重/日が示されていることを踏まえて、我が国の水道水の水質基準値等の設定で通常用いられている体重 50kg、一日当たり摂取量２L、また、水道水の割当率については 10%を用いて、以下の計算式から 50ng/L を基本としてはどうか。

TDI［ng/kg/day］×体重［kg］／一日当たり摂取量［L/day］×水道水の割当率［%］＝20×50/2×10%＝50［ng/L］

また、評価書において示された TDI は PFOS、PFOA それぞれの値であり、計算上は、それぞれで基準値を 50ng/L と設定することも考えられるが、現在の暫定目標値は PFOS 及び PFOA の合算値としており、また、今回の基準値設定にあたり、評価書では PFOS、PFOA ともに生殖発生への影響をエンドポイントとしていること、さらに、環境省において取りまとめている公共用水域水質測定結果及び地下水質測定結果において同時に環境中で検出されている例もあることから、同様に PFOS 及び PFOA を合算して評価することとしてはどうか。また、その値としては、現在の暫定目標値の考え方と同様、安全側を見て合算値として 50ng/L を採用することとしてはどうか。

なお、評価書においては、「今後の課題」として、「PFOS 及び PFOA をはじめとする PFAS については、健康影響に関する情報が不足しており、不明な点が多い。（中略）エンドポイントとして今回の健康影響評価では取り上げなかったその他の健康影響については、評価に使用できる情報が現時点では不十分であり、今後の知見の集積により、新たに検討が必要となる可能性はあり得る。」とされている。

表 6-3　「水質基準項目」の基準等の設定状況等（1/3）

項目番号	項　目　名	基準値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	審議の経緯・予定			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討
		値(mg/L)	備考	（μg/kg/日）	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		
基-001	一般細菌	100個/ml							感度は劣るが従属栄養細菌との量的相関、培養時間が短い等から当面は水質基準項目として据え置く	
基-002	大腸菌	不検出							・糞便汚染の指標として適当	
基-003	カドミウム及びその化合物	0.003	0.01→0.003		0.003	H20.12.16	H20.9.5 答申済み		JECFAでの評価結果を待つ必要があるが現時点では微量重金属調査研究会（1970）ベースの0.01mg/Lを当面維持	・2003年6月のJECFAは当時の暫定耐用摂取量7μg/kg/週を維持（寄与率10%で2.5μg/L） ・食安委答申（食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保、H20.7.3） →耐容週間摂取量　7μg/kg/週（JECFAの評価とは異なる方法をとったが、結果は同じ値。）
基-004	水銀及びその化合物	0.0005	H15からの変更なし(メチル水銀)	0.7	0.006（2005）	H20.12.16	H24.5.10 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	・水質基準として維持 ・疫学上の結果をもとに0.001mg/Lが算出されるが基準の継続性を考慮	・食安委答申（魚介類に含まれるメチル水銀、H17.8.4） →ハイリスクグループ（胎児）を対象とした耐容週間摂取量　2.0μg/kg/週（メチル水銀） ・食安委化学物質・汚染物質専門調査会 幹事会（H24.1.27） →TDI＝0.7（水銀として） ・食安委答申（H24.5.10） →TDI＝0.7（水銀として）
基-005	セレン及びその化合物	0.01		4	0.04		意見募集終了 （H24.7.20締切）	WHO第4版 暫定基準に変更	評価値の10%を超えるものは1%未満だが1地点で90%を超えており継続性の観点から当面水質基準として維持	・食安委答申（H.24.10.29） →TDI＝4 ・推奨摂取量＝25～35mg/日前後（成人、上限量400mg/日前後）の必須元素 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切）
基-006	鉛及びその化合物	0.01		3.5	0.01 A,T		R3.6.29 答申済み	WHO第4版	4年答申では長期目標値を0.01mg/Lとし概ね10年間に鉛管の布設替えを行い、濃度の段階的低減を図るとした。	・食安委答申（R3.6.29） 現時点では、疫学研究データを用いて、有害影響を及ぼさない血中鉛濃度を導き出すことは困難であると判断した。現在の我が国における平均的な血中鉛濃度は、1μg/dL 程度あるいはそれ以下であると考えられ、疫学研究の結果からなんらかの影響が示唆される血中鉛濃度1～2μg/dL と近いと考えられた。そのため、今後も、鉛ばく露低減のための取組が必要であると考えられる。
基-007	ヒ素及びその化合物	0.01			0.01 A,T		H.25.12.16 答申済み	WHO第4版 暫定とした理由変更 A,T←P	発がん性リスクアセスメントの不確実さと除去困難性から従来からの基準値10μg/Lを維持	・WH.O第3版第2次追補版ガイドライン値0.01mg/L ・食安委答申（H.25.12.16） ヒ素の直接的なDNAへの影響の有無について判断することはできない。
基-008	六価クロム化合物	0.02	R2.4.1から基準値強化（0.05 → 0.02）	1.1	0.05 P（全Cr）	H31.3.13 R2.3.23	H30.9.18 R1.8.6 答申済み	WHO第4版 追加予定 →追加されず	クロムの毒性については従来どおり六価のものに着目することが妥当	・Crは必要な元素だと考えられており、安全で十分な食事摂取量が設定されていた。しかし、最近の知見に基づくとクロムが必須元素か疑わしい。 ・食安委答申（化学物質・汚染物質、H30.9.18, R1.8.6）　→TDI＝1.1
基-009	亜硝酸態窒素	0.04	H26.4.1より水質基準に追加	15	0.9 （Nitriteとして）	H26.1.14	H25.7.22 答申済み	WHO第4版 Nitrite 長期暴露ガイドライン値		
基-010	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01		4.5	設定せず	H24.3.5	H22.10.14 答申済み	WHO第4版：ガイドライン値設定せず ガイダンス値：短期暴露 シアン化物イオン 0.5、長期暴露 0.6（塩化シアンとして）、0.3（シアンとして）	水質基準として維持	・食安委答申（H22.10.14） →TDI＝4.5（非発がん）
基-011	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10			50（NO3として） 3（NO2として）		H24.10.29 答申済み	WHO第4版 変更 Nitrite 長期暴露ガイドライン値 設定せず←0.2P	亜硝酸性窒素については WHO/GDWQが毒性評価の観点から暫定値とされていることから水質管理目標設定項目	・食安委答申（H24.10.29） →硝酸態窒素：TDI＝1500 →亜硝酸態窒素：TDI＝15
基-012	フッ素及びその化合物	0.8			1.5		H25.1.21 答申済み	WHO第3版 第2次追補版 追加	・水質基準として維持 ・斑状歯発生予防の観点から現行値：0.8mg/Lを継続	・食安委答申（H25.1.21） →TDI＝0.05 ・WHO/GDWQ第2次追補版ガイドライン値1.5mg/L
基-013	ホウ素及びその化合物	1		92（AF=40%）	2.4		意見募集終了 （H24.7.20締切）	WHO第4版 変更 2.4←0.5T	・ホウ素摂取量の調査のためマーケットバスケット調査を実施。 ・問題となるのは、基本的に海水淡水化、地質等の影響	・食安委答申（H24.8.6清涼飲料水） →TDI＝96 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切） ・WHO/GDWQ：2008会合にてGV値2.4mg/Lで合意。ただし各国アロケーション考慮して変更可能。

※1　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-3　「水質基準項目」の基準等の設定状況等（2/3）

項目番号	項目名	基準値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	審議の経緯・予定			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討
		値(mg/L)	備考	(μg/kg/日)	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		
基-014	四塩化炭素	0.002	H15からの変更なし	0.71	0.004	H19.10.26	H19.3.15 答申済み			・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝0.71
基-015	1,4－ジオキサン	0.05	H15からの変更なし	10^{-5}Risk	0.05(2005)	H19.10.2	H19.3.15 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝18
基-016	シス－1,2－ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	異性体の合算評価に変更	17	0.05	H19.10.26	H19.3.15 (シス体) H20.5.29(トランス体) 答申済み	WHO第4版 追加	評価値の10%を超えるものは1%未満だが6年以来基準値超の例もあり、継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝17(トランス体合算) ・食安委答申(H20.5.29水質基準設定) →TDI＝17(シス体及びトランス体)
基-017	ジクロロメタン	0.02	H15からの変更なし	6	0.02	H22.2.2	H20.11.6 答申済み		評価値の10%を超えるものは1%未満だが1地点で60%を超えており継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝6
基-018	テトラクロロエチレン	0.01	H15からの変更なし	10^{-5}Risk	0.04	H22.2.2	H20.11.6 答申済み		WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行基準を維持	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝14
基-019	トリクロロエチレン	0.01	0.03→0.01	10^{-5}Risk	0.02 P (2005)	H22.2.2	H22.9.2 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行基準を維持	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) ・食安委答申(化学物質・汚染物質、H22.9.2) →TDI＝1.46(非発がん) 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝1.2 μg/kg体重/日
基-020	ベンゼン	0.01	H15からの変更なし	10^{-5}Risk	0.01	H22.2.2	H20.11.6 答申済み		概ね評価値の10%以下であるが過去に基準値を超えていた例もあり、継続性の観点から当面、水質基準として維持	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝18(非発がん) 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.40 μg/kg体重/日
基-021	塩素酸	0.6	H20.4.1 水質管理目標設定項目から移行	30 (AF=80%)	0.7 D (AF=80%) (2005)	H18.8.4	H19.3.15 答申済み		ヒトへの暴露は基本的にClO2が水道水の浄水処理に使用される場合が想定されることから水質管理目標設定項目とし、ClO2が浄水処理に使用される場合の指針として活用されるべき。 水質基準の設定等はClO2の浄水過程での使用が進んだ段階において検討すべき。	・食安委答申(H19.3.15水道水及び清涼飲料水) →TDI=30
基-022	クロロ酢酸	0.02		3.5 (AF=20%)	0.02 (AF=20%)		H26.10.7 答申済み			食安委答申(H26.10.7)はTDI＝3.5 μg/kg/日であり、過去の評価結果と同じ
基-023	クロロホルム	0.06	H15からの変更なし	12.9 (AF=20%)	0.3 (AF=75%) (2005)	H22.12.21	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申(H21.8.20清涼飲料水) →TDI=12.9(非発がん) (TDI不変)
基-024	ジクロロ酢酸	0.03	H27.4.1より 0.04→0.03	1.3 (10^{-5}リスク相当)	0.05 D	H27.2.5	H26.10.7 答申済み	WHO第4版 暫定とした理由変更 D←T,D		・食安委答申(H26.10.7) →非発がん影響 TDI＝12.5 発がん影響 TDI＝12.9 SF＝7.8E-3
基-025	ジブロモクロロメタン	0.1	H15からの変更なし	21 (AF=20%)	0.1 (2005)	H22.12.21	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申(H21.8.20清涼飲料水) →TDI=21.4(非発がん) (TDI不変)
基-026	臭素酸	0.01	H15からの変更なし	10^{-5}Risk ↓ BAT	0.01 AT (2005) ←0.002	H22.2.2	H20.11.6 答申済み		・10^{-5}リスク相当VSDからは0.009mg/L ・除去方法はO3濃度の調節やH2O2-UV法に限定	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝11(非発がん) 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.36 μg/kg体重/日
基-027	総トリハロメタン	0.1	H15からの変更なし		設定せず (2005) 総評価は推奨	H22.12.21	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申(H21.8.20清涼飲料水) →総トリハロメタンとしてのTDIは設定できない
基-028	トリクロロ酢酸	0.03	H27.4.1より 0.2→0.03	6 (AF=20%)	0.2 (AF=20%)	H27.2.5	H26.10.7 答申済み			・食安委答申(H26.10.7) →TDI＝6

※1　P:健康影響評価の観点からの暫定、T:浄水技術の観点からの暫定値、A:測定技術の観点からの暫定値、D:消毒技術の観点からの暫定値
( )内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-3　「水質基準項目」の基準等の設定状況等（3/3）

項目番号	項　目　名	基準値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	審議の経緯・予定			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討
		値(mg/L)	備考	(μg/kg/日)	(mg/L)	厚科審	食安委	WHO等		
基-029	ブロモジクロロメタン	0.03	H15からの変更なし	6.1 (AF=20%)	0.06	H22.12.21	H21.8.20 答申済み	WHO第4版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI＝6.1（非発がん）（TDI不変）
基-030	ブロモホルム	0.09	H15からの変更なし	17.9 (AF=20%)	0.1 (2005)	H22.12.21	H21.8.20 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加		・食安委答申（H21.8.20清涼飲料水） →TDI＝17.9（非発がん）（TDI不変）
基-031	ホルムアルデヒド	0.08	H15からの変更なし	15 (AF=20%)	設定せず (2005) ←2.6	H20.12.16	H20.4.17 答申済み	WHO第3版 第1次追補版 追加	入浴時等の水道水からの気化による吸入暴露による影響も考慮	・食安委答申（H20.4.17清涼飲料水） →TDI＝15
基-032	亜鉛及びその化合物	1	味覚及び色				H29.4.25 答申済み			・推奨摂取量＝7～10mg/日（成人、上限量30mg/日）の必須元素
基-033	アルミニウム及びその化合物	0.2	色（鉄共存時）			H19.10.26			多量の凝集剤を投入せざるを得ない場合にも技術的に0.1mg/Lを達成可能であるかについてはなお疑問の余地有	H19に水質管理目標値を0.1に設定
基-034	鉄及びその化合物	0.3	味覚及び洗濯物の着色		設定せず		H29.4.25 答申済み		水質基準として維持	・推奨摂取量＝10mg/日前後（成人、上限量40～50mg/日前後）の必須元素
基-035	銅及びその化合物	1	洗濯物への着色		2 （洗濯染みは生じる可能性有）	H20.12.16	H20.4.17 答申済み		水質基準として維持	・食安委答申（H20.4.17清涼飲料水） →許容上限摂取量=9mg/ヒト（成人）/日 ・推奨摂取量＝0.7～0.9mg/日（成人、上限量10mg/日）の必須元素 ・H20年基準値改正の必要性の検討が課題とされた。
基-036	ナトリウム及びその化合物	200	味覚		50（ジクロロイソシアヌル酸ナトリウムとして）			WHO第4版 追加		
基-037	マンガン及びその化合物	0.05	黒水障害		設定せず		H24.8.6 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず←0.4C		・食安委答申（H.24.8.6清涼飲料水） →TDI＝180 ・目安摂取量＝3.5～4mg/日前後（成人、上限量10mg/日前後）の必須元素 ・食安委意見募集終了（H24.7.20締切）
基-038	塩化物イオン	200	味覚							
基-039	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	石鹸の泡立等				H29.4.25 答申済み	WHO第4版 追加予定 →追加されず		・WHO第4版追加予定→追加されず ・Caは推奨摂取量＝1g/日前後（成人、上限量2.3g/日）の必須元素 ・Mgは推奨摂取量＝300～400mg/日前後（成人）の必須元素
基-040	蒸発残留物	500								
基-041	陰イオン界面活性剤	0.2	発泡						混合すると起泡力や安定度に相乗効果が見られる場合があり知見の充実を図る必要がある	
基-042	ジェオスミン	0.00001	臭気						・粉末活性炭処理による場合：20ng/L ・粒状活性炭等恒久施設による場合：10ng/L	
基-043	2－メチルイソボルネオール	0.00001	臭気						・粉末活性炭処理による場合：20ng/L ・粒状活性炭等恒久施設による場合：10ng/L	
基-044	非イオン界面活性剤	0.02	発泡						混合すると起泡力や安定度に相乗効果が見られる場合があり知見の充実を図る必要がある	
基-045	フェノール類	0.005	臭気						水質基準として維持	
基-046	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3	H21.4.1 施行 有機物			H19.10.26			旧基準であるKMnO4消費量10mg/Lに相当するTOCは相関性から1～4mg/Lで上限値に危険率25%を見込む	
基-047	pH値	5.8-8.6	腐食防止						水質基準として維持	
基-048	味	異常でない	基本指標							
基-049	臭気	異常でない	基本指標						水質基準として維持	
基-050	色度	5度	基本指標						水質基準として維持	
基-051	濁度	2度	基本指標							

※1　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-4　「水質管理目標設定項目」の設定状況等（1/2）

項目番号	項 目 名	目標値 値(mg/L)	目標値 備考	根拠TDI等 (μg/kg/日)	WHO/GDWQ※1 (mg/L)※2	審議の経緯・予定※2 厚科審	審議の経緯・予定※2 食安委	審議の経緯・予定※2 WHO等	15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討 ※2
目-001	アンチモン及びその化合物	0.02	H26.4.1より 0.015→0.02	6	0.02	H26.1.14	H24.8.6 答申済み		三酸化アンチモンの研究を根拠としたかなり安全側の評価	・食安委答申(H24.8.6) →TDI＝6
目-002	ウラン及びその化合物	0.002 (暫定値)	H15からの変更なし	0.2	0.03 P	H24.3.5	H24.1.12 答申済み	WHO第4版変更 0.030P← 0.015P,T	・LOAEL：0.06 mg/kg日，UF：100 ・寄与率：10% ・評価値：0.002 mg/L	・食安委答申(H24.1.12) →TDI＝0.2 (LOAEL：0.06 mg/kg/日，UF：300)
目-003	ニッケル及びその化合物	0.02	H26.4.1より 0.01(暫定値) →0.02	4	0.07 (AF=20%)	H26.1.14	H24.7.23 答申済み	WHO第3版第1次追補版 追加		・食安委答申(H.24.7.23) →TDI＝4
目-004	1,2-ジクロロエタン	0.004	H15からの変更なし	10^{-5}Risk	0.03	H22.2.2	H20.11.6 答申済み		WHO/GDWQは我が国基準値より高いが安全性の観点から現行目標値を維持	・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝37.5(非発がん) 10^{-5}発がんリスク相当VSD ＝0.18μg/kg体重/日
目-008	トルエン	0.4	0.2→0.4	149 (AF=10%)	0.7(C)	H22.2.2	H20.11.6 答申済み			・食安委答申(H20.11.6清涼飲料水) →TDI＝149
目-009	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08	H27.4.1より 0.1→0.08	30 (AF=10%)	0.008 (AF=1%)	H27.2.5	H25.4.15 答申済み			・食安委答申(H25.4.15) →TDI=30μg/kg/日
目-010	亜塩素酸	0.6	H15からの変更なし	29 (AF=80%)	0.7 D (AF=80%) (2005)	H20.12.16	H20.6.19 答申済み		・ヒトへの暴露は基本的にClO2が水道水の浄水処理に使用される場合が想定されることから水質管理目標設定項目とし、ClO2が浄水処理に使用される場合の指針として活用されるべき。 ・水質基準の設定等はClO2の浄水過程での使用が進んだ段階において検討すべき。	・食安委答申(H20.6.19清涼飲料水) →TDI＝29 ・添加物としてはTDI29を答申(H18.11)
目-012	二酸化塩素	0.6	H15からの変更なし	29 (AF=80%)	設定せず (2005) 亜塩素酸対応	H20.12.16	H20.6.19 答申済み			・食安委答申(H20.6.19清涼飲料水) →TDI＝29 ・WHOは異臭味閾値を0.4mg/Lと設定
目-013	ジクロロアセトニトリル	0.01 (暫定値)	0.04(暫定)→ 0.01(暫定)	8 (AF=20%)	0.02 P (AF=20%)	H19.10.26	H19.3.15 答申済み			・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI=2.7
目-014	抱水クロラール	0.02 (暫定値)	0.03(暫定)→ 0.02(暫定)	5.3 (AF=20%)	設定せず (2005)	H19.10.26	H19.3.15 答申済み	WHO第3版第1次追補版追加		・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝4.5
目-015	農薬類	検出値/目標値の総和が1以下							・浄水から目標値10%値を超えて検出される事例有り(特異値を除く)は水質基準を設定。 農薬 ・農薬類(第1群)…現に水道原水から検出又は国内推定出荷量50t以上。 ・第2群…国内推定出荷量50t以上であるが水道水に適した測定方法が未確立。早急に確立しその時点で第1群に組入。27物質。 ・第3群…国内推定出荷量が50t未満で測定しても検出されるおそれがない。79物質。	・フィブロニル(殺虫剤)を追加(H20.4.1)
目-016	残留塩素	1 (遊離塩素は0.1mg/L以上)	H15からの変更なし	150	0.5～5 C (上限値はAF=100%)	H19.10.26	H19.3.15 答申済み		おいしさの観点に着目したもので今後とも水質管理目標設定項目とする	・食安委答申(H19.3.15清涼飲料水) →TDI＝136

※1　P:健康影響評価の観点からの暫定、T:浄水技術の観点からの暫定値、A:測定技術の観点からの暫定値、D:消毒技術の観点からの暫定値
( )内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-4　「水質管理目標設定項目」の設定状況等（2/2）

項目番号	項目名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	審議の経緯・予定※2			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討 ※2
		値(mg/L)	備考	(μg/kg/日)	(mg/L)※2	厚科審	食安委	WHO等		
目-017	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10-100					H29.4.25 答申済み			
目-018	マンガン及びその化合物	0.01								
目-019	遊離炭酸	20							おいしさの観点に着目したもので今後とも水質管理目標設定項目とする	
目-020	1,1,1-トリクロロエタン	0.3	H15からの変更なし	600		H20.12.16	H20.4.17 答申済み		健康影響に関する評価値は1.5mg/Lだが臭味発生防止の観点から設定。	・食安委答申(H20.4.17清涼飲料水) →TDI＝800
目-021	メチル-t-ブチルエーテル	0.02	H15からの変更なし	143	設定せず (2005) ←0.015	H20.12.16	H20.4.17 答申済み	WHO第3版第1次追補版追加	地下水で一過的に高濃度で検出されるとの情報もある	・食安委答申(H20.4.17清涼飲料水) →TDI＝143 ・WHOは異臭閾値を0.015mg/Lと設定
目-022	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3							・指標性や測定方法に関し種々問題点 ・TOCとの相関を見るため、当面水質管理目標設定項目として維持	
目-023	臭気強度(TON)	3TON							おいしい水の観点から維持	
目-024	蒸発残留物	30-200								
目-025	濁度	1度							より高いレベルの水道を目指すための目標として1度以下を設定	
目-026	pH値	7.5							より高いレベルの水道を目指すための目標として、7.5程度を設定	
目-027	腐食性(ランゲリア指数)	-1以上とし、極力0に近づける							水道施設の維持管理やCaCO3析出防止の観点から水質管理目標設定項目とする	
目-028	従属栄養細菌(HPC)	2000cfu/ml (20℃7日間)	異常増加が生じないことを確認		USEPA処理基準 500cfu/ml以下	H18.8.4			・本来的細菌数を表現、培養方法が確立、施設清浄度の劣化を表現、レジオネラ増殖環境か否かの判定が可能 ・細菌現存量の指標として有効だが、我が国の水道における情報等が不足	・水道施設の健全性を判断
目-029	1,1ージクロロエチレン	0.1	水質基準から移動 0.02→0.1	9	設定せず (2005) ←0.14	H19.10.26	H20.5.29 答申済み		評価値の10%を超えるものは1%未満だが6年以来基準値超の例もあり、継続性の観点から水質基準とする	・食安委答申(H20.5.29) →TDI＝46
目-030	アルミニウム及びその化合物	0.1				H19.10.26				
目-031	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005	ペルフルオロオクタン スルホン酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)の量 の和として、 0.00005mg/L以下(暫定)	0.02	USEPA R6.4.10 MCL(法的拘束力あり)→ PFOA4ng/L、 PFOA→ 4ng/L	R2.3.23	R6.6.25 答申済み	R4.9. 29背景文書「飲料水中の PFOS 及び PFOA」のパブリックレビュー版が公表、予定ではR4.11. 11日まで意見募集。R4第4四半期からR5第1四半期に、 ガイドライン第4版の第3追補が作成されるとなっていたが、現時点で公表されていない。		・R2.3.23厚科審にて以下を承認 ・暫定評価値設定: 海外機関の設定評価値を参照し、妥当と考えられるものの中から、安全側の観点より最も低いものを採用(TDI 20ng/kg/日) ・水質管理目標設定項目に追加(旧検-42 PFOS及び旧検-43 PFOAを統合し移行) ・R2.4.1から適用 ・食安委答申(R6.6.25)→TDI PFOS20 、PFOA20、PFHxSは指標値算出は困難。ただし、将来的に科学的知見が集積してくれば、TDIを見直す根拠となる可能性あり ・R6.12.24水質基準逐次改正検討会:基準値化の方針、基準値は合計50ng/L、2026年4月から施行の方針

※1　P:健康影響評価の観点からの暫定、T:浄水技術の観点からの暫定値、A:測定技術の観点からの暫定値、D:消毒技術の観点からの暫定値
( )内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。

※2　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-5　「要検討項目」の目標値の設定状況等（1/3）

項目番号	項目名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	評価値	備考	審議の経緯・予定※4			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討※4
		値(mg/L)	備考	（μg/kg/日）	(mg/L)※4	（μg/kg/日）		厚科審	食安委	WHO等		
検01	銀及びその化合物	－									浄水器等で消毒のために利用する事例があること等から知見収集に努める	
検02	バリウム及びその化合物	0.7			1.3	0.73	ヒトNOAEL7.3、UF 10		H24.10.29答申済み	WHO第4版第1次追補版変更		・食安委答申（H24.10.29） →TDI＝20（ヒトNOAEL 0.21（mg/kg体重/日）、UF 10）
検03	ビスマス及びその化合物	－									鉛代替品としての利用が考えられており材質管理の観点で留意	
検04	モリブデン及びその化合物	0.07			設定せず	NOAEL 0.2	NOAELにUF 3（個体差）を適用し基準値を導出			WHO/GDWQ第4版変更設定せず←0.07		
検05	アクリルアミド	0.0005			0.0005 10^{-5}		線形多段階モデルを適用				高分子凝集剤の製品管理において残留モノマーの確実なコントロールが必要	
検06	アクリル酸	－									日本水道協会規格の塗料の品質として0.002mg/L以下を設定	
検07	17-β-エストラジオール	0.00008	暫定値	0.03							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	
検08	エチニルーエストラジオール	0.00002	暫定値	0.006							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	
検09	エチレンジアミン四酢酸（EDTA）	0.5		190 （AF=1%）	0.6 （AF=1%）	1900						
検10	エピクロロヒドリン	0.0004	暫定値	10^{-5}Risk	0.0004 P	0.14						
検11	塩化ビニル	0.002		10^{-5}Risk	0.0003 10^{-5}		線形外挿法を適用				10^{-5}リスク相当VSDから設定	
検12	酢酸ビニル	－									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定	
検13	2,4-ジアミノトルエン	－									施設基準省令で溶出基準0.002mg/Lを設定	
検14	2,6-ジアミノトルエン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定	
検15	N,N-ジメチルアニリン	－									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定	
検16	スチレン	0.02		7.7	0.02 C	7.7					臭気の閾値と一致	
検17	ダイオキシン類	1pgTEQ/L	暫定値	4pgTEQ/kg/日								
検18	トリエチレンテトラミン	-									施設基準省令で溶出基準0.01mg/Lを設定	
検19	ノニルフェノール	0.3	暫定値	100							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	
検20	ビスフェノールA	0.1	暫定値	50							社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食品安全部→食安委員会諮問（H20.7.8）
検21	ヒドラジン	－									日本水道協会規格の塗料の品質として0.005mg/L以下を設定	
検22	1,2-ブタジエン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定	
検23	1,3-ブタジエン	－									施設基準省令で溶出基準0.001mg/Lを設定	

※1　P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。
※2　英国健康保護庁（HPA）による飲料水中「最大許容」濃度の改定勧告よりPFOAは0.01mg/L、PFOSは0.0003mg/Lで評価している。
※3　クロロピクリン(検39）はH25.3に削除された
※4　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-5　「要検討項目」の目標値の設定状況等（2/3）

項目番号	項目名	目標値 値(mg/L)	目標値 備考	根拠TDI等（μg/kg/日）	WHO/GDWQ※1 (mg/L)※4	評価値（μg/kg/日）	備考	審議の経緯・予定※4 厚科審	審議の経緯・予定※4 食安委	審議の経緯・予定※4 WHO等	15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討※4
検24	フタル酸ジ(n-ブチル)	0.01	H27.4.1より0.2→0.01	5		5	LOAEL=2.5mg/kg/d、安全係数500	H27.2.5	H26.6.10答申済み		社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食安委答申(H26.6.10器具・容器包装専門調査会)→TDI=5μg/kg/日
検25	フタル酸ブチルベンジル	0.5		200		200		H28.2.17	H27.4.7答申済み		社会的関心の高い物質であり測定データ等知見の充実に努めていく必要あり	・食安委答申(H27.4.7 器具・容器包装専門調査会))→TDI=200 μg/kg/日
検26	ミクロシスチンーLR	0.0008	暫定値	0.04 (AF=80%)	0.001 P (AF=80%)	0.04						
検27	有機すず化合物	0.0006	TBTO暫定値	0.25								
検28	ブロモクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検29	ブロモジクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検30	ジブロモクロロ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検31	ブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検32	ジブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検33	トリブロモ酢酸	－									予防的見地から、ハロ酢酸類の低減化対策を進めることが望ましい	
検34	トリクロロアセトニトリル	－										
検35	ブロモクロロアセトニトリル	－										
検36	ジブロモアセトニトリル	0.06		11.3 (AF=20%)	0.07 (AF=20%)	11						
検37	アセトアルデヒド	－	H15からの変更なし					H20.12.16	H17.7.21答申済み			・食安委答申(添加物、H17.7.21)→食品の着香の目的の場合、安全性に懸念が無い。(完全に生体成分に代謝される。)
検38	MX	0.001		10^{-5}Risk	検出濃度は評価値に対し極めて低く、基準値は設定しない	0.0018	・線形多段階モデルを適用					
検40	キシレン	0.4		179	0.5(C)	179						

※1　P:健康影響評価の観点からの暫定、T:浄水技術の観点からの暫定値、A:測定技術の観点からの暫定値、D:消毒技術の観点からの暫定値
( )内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。
※2　英国健康保護庁(HPA)による飲料水中「最大許容」濃度の改定勧告よりPFOAは0.01mg/L、PFOSは0.0003mg/Lで評価している。
※3　クロロピクリン(検39)はH25.3に削除された
※4　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-5　「要検討項目」の目標値の設定状況等（3/3）

項目番号	項　目　名	目標値		根拠TDI等	WHO/GDWQ※1	評価値	備考	審議の経緯・予定※4			15年答申における見解	評価値に関連したその後の検討※4
		値(mg/L)	備考	（μg/kg/日）	(mg/L)※4	（μg/kg/日）		厚科審	食安委	WHO等		
検41	過塩素酸	0.025								WHO2010 (H22)		・米国EPAが暫定的なhealth advisory levelとして、15μg/lを定めている(RfD:0.7μg/kg/日に基づく)。全国的な規制の是非については検討中。 ・主たる生体影響はヨウ素摂取量の抑制 ・JECFA評価（2010.Feb.） BMDL50＝0.11 mg/kg/d（ヒト） UF＝10 PMTDI＝0.01 mg/kg/d PMTDI:暫定最大一日耐容摂取量
検42	（削除）											・R2.4.1から水質間目標設定項目へ移行（目-31 PFOS及びPFOA）
検43	（削除）											・R2.4.1から水質間目標設定項目へ移行（目-31 PFOS及びPFOA）
検44	N-ニトロソジメチルアミン(NDMA)	0.0001	追加		0.0001 (2008)			H22.2.2		WHO/GDWQ第3版第2次追補版追加		・WHO/GDWQ第2次追補版追加(0.1μg/l)
検45	アニリン	0.02	追加			0.02	LOAEL=7 mg/kg/日 UF=1000 TDI=7 μg/kg/日	H24.3.5				
検46	キノリン	0.0001	追加			0.0001	IRIS:10^{-5}	H24.3.5				
検47	1,2,3-トリクロロベンゼン	0.02	追加		設定せず （健康に基づく評価値=0.02 TDI=7.7）	0.02	WHO（参考値）	H24.3.5				
検48	ニトリロ三酢酸（NTA）	0.2	追加		0.2 （TDI=10）	0.2	WHO（ガイドライン値）	H24.3.5				
検49	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）	-			USEPA R6.4.10 MCL（法的拘束力あり）→10ng/L			R3.3.17	R6.6.25 答申済み			・R3.4.1から追加適用 ・食安委答申（R6.6.25）→TDI　PFHxSは指標値算出は困難。ただし、将来的に科学的知見が集積してくれば、TDIを見直す根拠となる可能性あり

※1　P:健康影響評価の観点からの暫定、T:浄水技術の観点からの暫定値、A:測定技術の観点からの暫定値、D:消毒技術の観点からの暫定値
（ ）内の年は追補版としての改定年、健康上の評価値が検出レベルより著しく大きいため設定不要とされた項目については「設定せず」とし、「←」の後ろに健康上の評価値を記載した。
※2　英国健康保護庁（HPA）による飲料水中「最大許容」濃度の改定勧告よりPFOAは0.01mg/L、PFOSは0.0003mg/Lで評価している。
※3　クロロピクリン(検39)はH25.3に削除された
※4　網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（1/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDW Q(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日）※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-001	1，3―ジクロロプロペン（D―D）	殺虫剤	0.05	H27.4.1より 0.002→0.05	20	0.02	H31.3.13	H25.2.18 H27.10.20 H30.3.27 R1.10.15 R6.3.7 答申済み		・食安委答申（H25.2.18, H27.10.20, H30.3.27, R1.10.15） → ADI = 20 ・食安委答申（R6.3.7） → ADI = 25
対-002	2，2―DPA（ダラポン）	除草剤	0.08		30		H30.2.15	H29.3.28 答申済み		・平成29年3月28日府食第199号
対-003	2，4―D（2，4―PA）	除草剤	0.02	H30.4.1 より 0.03→0.02	10	0.03	H30.2.15	H29.5.16 答申済み		・評価第四部会審議中（H25.7.10） ・食安委答申(H29.5.16) → ADI = 9.9
対-004	EPN	殺虫剤	0.004	H21.4.1 より 0.006→0.004	1.4		H30.2.15	H20.10.16 H20.11.27 H29.2.14 答申済み		・食安委答申（H20.10.16, H20.11.27, H29.2.14） → ADI = 1.4
対-005	MCPA	除草剤	0.005	変更なし	2	設定せず	H27.2.5	H23.6.6 H26.7.29 R3.6.22 答申済み	WHO第4版第1次追補版変更	・食安委答申（H23.6.6, H26.7.29） → ADI ＝1.9
対-006	アシュラム	除草剤	0.9	H28.4.1より 0.2→0.9	360		H27.2.5	H26.10.21 答申済み		・食安委答申(H26.10.21) → ADI = 360
対-007	アセフェート	殺虫剤 殺菌剤	0.006	H25.4.1より 変更なし	2.4		H30.2.15	H22.7.22 H25.9.30 H28.12.13 R6.2.14 答申済み		・食安委答申 （H22.7.22, H25.9.30, H28.12.13, R6.2.14） → ADI = 2.4
対-008	アトラジン	除草剤	0.01		4	0.1			WHO第4版変更 0.1←0.002	・評価申請（H23.10.11）
対-009	アニロホス	除草剤	0.003		1			H25.3.18 意見書提出		・食安委答申（H25.3.18） 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
対-010	アミトラズ	殺虫剤	0.006	0.003→0.006	2.5		H20.12.16	H19.5.17 答申済み		・食安委答申（H19.5.17） → ADI = 2.5
対-011	アラクロール	除草剤	0.03	H25.4.1より 変更なし	10	0.02	H24.3.5	H23.8.25 H25.3.18 答申済み		・食安委答申（H23.8.25, H25.3.18） → ADI ＝ 10
対-012	イソキサチオン	殺虫剤	0.005	H30.4.1 より 0.008→0.005	2		H30.2.15	H28.2.23 答申済み		・食安委答申（H28.2.23） → ADI = 2
対-013	イソフェンホス	殺菌剤	0.001		0.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-014	イソプロカルブ（MIPC）	殺虫剤	0.01		4					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（2/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討(ADI;μg/kg 体重/日)※
			値(mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-015	イソプロチオラン（IPT）	殺虫剤 殺菌剤 植物成長調整剤	0.3	H22.4.1 より 0.04→0.3	100		H31.3.13	H20.2.28 H22.9.16 H24.12.10 H30.8.28 R4.8.9 答申済み		・食安委答申 (H20.2.28, H24.12.10, H22.9.16, H30.8.28,R4.8.9) → AD1 = 100
対-016	イプフェンカルバゾン		0.002	R4.4.1より要検討農薬から変更						R4.4.1対象農薬変更
対-017	イプロベンホス（IBP）	殺菌剤	0.09	H23.4.1より 0.008→0.09	35		H22.12.21	H21.4.23 答申済み		・食安委答申（H21.4.23） → ADI = 35
対-018	イミノクタジン	殺虫剤 殺菌剤	0.006	総合評価	2.3（イミノクタジンとして）			R1.6.4 答申済み		・食安委答申（R1.6.4） → ADI = 2.3
対-019	インダノファン	除草剤	0.009	H15年からの変更なし	3.5		H24.3.5	H20.1.10 H22.9.9 答申済み		・食安委答申（H20.1.10, H22.9.9） → AD I= 3.5
対-020	エスプロカルブ	除草剤	0.03	H22.4.1より 0.01→0.03	10		H22.12.21	H20.1.17 H21.5.14 H24.2.23 R6.6.11 答申済み		・食安委答申 (H20.1.17, H21.5.14, H24.2.23,R6.6.11) → ADI = 10
除外農薬に変更	エディフェンホス（エジフェンホス、EDDP）	殺菌剤	0.006		2.5				WHO第4版変更 削除←0.05	・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-021	エトフェンプロックス	殺虫剤 殺菌剤	0.08	H15年からの変更なし	31		H31.3.13	H21.11.19 H25.8.5 H27.6.9 H29.4.25 H30.7.24 R3.11.16 R6.6.11 答申済み		・食安委答申 (H21.11.19, H25.8.5, H27.6.9, H29.4.25, H30.7.24,R3.10.16,R6.6.11) → ADI = 31
除外農薬に変更	エトリジアゾール（エクロメゾール）	殺菌剤	0.004		1.6					
対-022	エンドスルファン（ベンゾエピン）	殺虫剤	0.01		5.7					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-023	オキサジクロメホン	除草剤	0.02	H26.4.1より新規設定	9.1		H26.1.14	H15.9.18 H20.8.21 答申済み		・食安委答申（H15.9.18） → ADI = 9.0 ・食安委答申（H20.8.21） → ADI = 9.1

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6 「対象農薬」の目標値の設定状況等（3/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討(ADI;μg/kg 体重/日)※
			値(mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-024	オキシン銅（有機銅）	殺虫剤 殺菌剤	0.03	H27.4.1より 0.04→0.03	10		H27.2.5	H25.4.22 答申済み		・食安委答申（H25.4.22） → ADI = 10
対-025	オリサストロビン	殺虫剤 殺菌剤	0.1	H26.4.1より新規設定	52		H26.1.14	H17.12.8 H20.3.27 答申済み		・食安委答申（H17.12.8, H20.3.27） → ADI = 52
対-026	カズサホス	殺虫剤	0.0006	H26.4.1より新規設定	0.25		H30.2.15	H17.6.30 H19.2.22 H20.7.3 H29.5.23 R3.5.18 答申済み		・食安委答申 （H17.6.30, H19.2.22, H20.7.3, H29.5.23,R3.5.18） → ADI = 0.25
対-027	カフェンストロール	殺虫剤 除草剤	0.008	H15年からの変更なし	3		H20.12.16	H20.2.21 答申済み		・食安委答申（H20.2.21） → ADI = 3
対-028	カルタップ	殺虫剤 殺菌剤 除草剤	0.08	R2.4.1より 0.3→0.08	30			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申（R1.6.4,R6.1.17,R6.10.9） → ADI = 30（グループ評価:16）
対-029	カルバリル（NAC）	殺虫剤	0.02	H31.4.1より 0.05→0.02	7.3		H31.3.13	H30.9.4 答申済み		・食安委答申（H30.9.4） → ADI = 7.3
除外農薬に変更	カルプロパミド	殺虫剤 殺菌剤	0.04	H15年からの変更なし	14		H20.12.16	H19.12.13 答申済み		・食安委答申（H19.12.13） → ADI = 14
対-030	カルボフラン	代謝物	0.0003	R3.4.1より 0.005→ 0.0003	0.15	0.007		R2.2.4 答申済み		・食安委答申（R2.2.4） → ADI = 0.15
対-031	キノクラミン（ACN）	除草剤	0.005	H15年からの変更なし	2.1		H26.1.14	H25.10.7 答申済み		・食安委答申（H25.10.7） → ADI = 2.1
対-032	キャプタン	殺菌剤	0.3		125		H31.3.13	H29.3.7 H30.7.24 R3.2.16 答申済み		・食安委答申（H29.3.7, H30.7.24, R3.2.16） → ADI =100
対-033	クミルロン	除草剤	0.03	H15年からの変更なし	10		H20.12.16	H19.8.9 答申済み		・食安委答申（H19.8.9） → ADI = 10
対-034	グリホサート	除草剤	2	H30.2.15 現行値を継続	1		H29.1.31 H30 .2.15	H28.7.12 答申済み		・食安委答申（H28.7.12） → ADI = 1000
対-035	グルホシネート	除草剤 植物成長調整剤	0.02	H26.4.1より新規設定	9.1		H26.1.14	H22.2.25 H24.3.8 H25.7.29 R4.3.9 R5.2.1 R7.2.6 答申済み		・食安委答申 （H22.2.25, H24.3.8, H25.7.29,R4.3.9, R5.2.1,R7.2.6） → ADI = 9.1
対-036	クロメプロップ	除草剤	0.02	H15年からの変更なし	6.2		H22.12.21	H21.7.23 答申済み		・食安委答申（H21.7.23） → ADI = 6.2

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6 「対象農薬」の目標値の設定状況等（4/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日）※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-037	クロルニトロフェン（CNP）	除草剤	0.0001		設定せず					
対-038	クロルピリホス	殺虫剤	0.003	H21.4.1 より 0.03→0.003	1	0.03 (2008)	H31.3.13	H19.3.22 H22.11.4 H23.6.2 H30.7.24 答申済み		・食安委答申 （H19.3.22, H22.11.4, H23.6.2, H30.7.24） → ADI = 1 ・WHO/GDWQ第2次追補版追加（30μg/L）
対-039	クロロタロニル（TPN）	殺虫剤 殺菌剤	0.05		18		H31.3.13	H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.3.27） → ADI =クロロタロニル：18, 代謝物：8.3
対-040	シアナジン	除草剤	0.001	H30.4.1より 0.004→0.001	0.53	0.0006	H30.2.15	H29.2.28 答申済み	WHO第4版追加	・食安委答申（H29.2.28） → ADI = 0.53
対-041	シアノホス（CYAP）	殺虫剤	0.003	H15年答申	1		H31.3.13	H29.10.17 答申済み		・食安委答申（H29.10.17） → ADI = 1
対-042	ジウロン（DCMU）	除草剤	0.02		6.25					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-043	ジクロベニル（DBN）	除草剤	0.03	H28.4.1より 0.01→0.03	10		H27.2.5	H26.7.1 答申済み		・食安委答申（H26.7.1） → AD I= 10
対-044	ジクロルボス（DDVP）	殺虫剤	0.008		3.3	0.02 (2007)				・食安委検討中（清涼飲料水、H15～） ・評価要請（H21.3.24）
対-045	ジクワット	除草剤	0.01	R3.4.1より 0.005→0.01	5.8			R1.10.8 答申済み		・食安委答申（R1.10.8） → ADI = 5.8
対-046	ジスルホトン（エチルチオメトン）	殺虫剤	0.004		1.4					
その他農薬に変更	ジチアノン	殺菌剤	0.03	H15年答申	10		H30.2.15	H22.6.17 答申済み		・食安委答申（H22.6.17） → ADI = 10 ・評価要請（H29.8.31） ・その他農薬に変更
対-047	ジチオカルバメート系農薬	殺虫剤 殺菌剤	0.005	H26.4.1より新規設定			H26.1.14			二硫化炭素として
対-048	ジチオピル	除草剤	0.009	H22.4.1より 0.008→0.009	3.6		H20.12.16	H20.1.10 答申済み		・食安委答申（H20.1.10） → ADI = 3.6
対-049	シハロホップブチル	除草剤	0.006	H15年答申	2.4					
対-050	シマジン（CAT）	除草剤	0.003		1.3	0.002				・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-051	ジメタメトリン	除草剤	0.02	H15年からの変更なし	9.4		H24.3.5	H23.12.22 答申済み		・食安委答申（H23.12.22） → ADI ＝ 9.4
対-052	ジメトエート	殺虫剤	0.05		20	0.006				・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（5/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日）※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-053	シメトリン	除草剤	0.03		11					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
その他農薬に変更	ジメピペレート	除草剤	0.003		1		H30.2.15			・H18.8.4厚科審で項目削除は見送り（浄水、原水からの検出が確認されたため） ・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準における削除に関する意見書提出 ・その他農薬に変更
対-054	ダイアジノン	殺虫剤 殺菌剤	0.003	H28.4.1より0.005→0.003	1		H31.3.13	H26.8.19 H29.12.12 答申済み		・食安委答申（H26.8.19, H29.12.12） → ADI = 1 ・評価要請（H29.5.24）
対-055	ダイムロン	殺虫剤 殺菌剤	0.8	H15年からの変更なし	300		H20.12.16	H19.11.8 答申済み		・食安委答申（H19.11.8） → ADI = 300
対-056	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:ダゾメット	殺菌剤	0.01	H29.4.1より新規設定	4		H29.1.31	H27.3.24 R1.8.27 R6.1.31 答申済み		・食安委答申（H27.3.24, R1.8.27, R6.1.31） → ADI = 4
対-057	チアジニル	殺虫剤 殺菌剤	0.1	H26.4.1より新規設定	40		H26.1.14	H19.10.25 R2.9.15 答申済み		・食安委答申（H19.10.25, R2.9.15） →ADI = 40
対-058	チウラム	殺虫剤 殺菌剤	0.02		8.4					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-059	チオジカルブ	殺虫剤	0.08		30					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-060	チオファネートメチル	殺虫剤 殺菌剤	0.3		120					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-061	チオベンカルブ	除草剤	0.02	H15年からの変更なし	9		H24.3.5	H19.12.13 H22.8.5 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H19.12.13, H22.8.5, R5.11.1） → AD I= 9
対-062	テフリルトリオン	除草剤	0.002	H29.4.1より対象農薬に格上げ	0.8		H29.1.31	H21.2.19答申済み		・食安委答申（H21.2.19） → ADI = 0.8
対-063	テルブカルブ（MBPMC）	除草剤	0.02		6.4		H18.8.4			・H18.8.4の厚科審で項目削除は見送り（浄水、原水からの検出が確認されたため）
対-064	トリクロピル	除草剤	0.006		2.5					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-065	トリクロルホン（DEP）	殺虫剤	0.005	H26.4.1より0.03→0.005	10	不要	H26.1.14			・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-066	トリシクラゾール	殺虫剤 殺菌剤 植物成長調整剤	0.1	H28.4.1より0.08→0.1	50		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI ＝ 50

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（6/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI; μg/kg 体重/日）※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-067	トリフルラリン	除草剤	0.06		24	0.02	H25.3.19	H24.1.26 答申済み		・食安委答申（H24.1.26） → ADI ＝ 24
対-068	ナプロパミド	除草剤	0.03		12.5					
対-069	パラコート	除草剤	0.01	R6.4.1より 0.005→0.01	2			R4.6.28 答申済み		・食安委答申（R4.6.28） → ADI ＝ 4.5
対-070	ピペロホス	除草剤	0.0009		0.36					・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
対-071	ピラクロニル	除草剤	0.01	H26.4.1より新規設定	4.4		H26.1.14	H19.8.2 H23.6.2 答申済み		・食安委答申（H19.8.2, H23.6.2） → ADI = 4.4
対-072	ピラゾキシフェン	除草剤	0.004	H15年答申	1.5			H20.4.24 答申済み		・食安委答申（H20.4.24） → ADI = 26
対-073	ピラゾリネート(ピラゾレート)	除草剤	0.02	H15年答申	6					
対-074	ピリダフェンチオン	殺虫剤	0.002		0.85			H25.3.18 意見書提出		・食安委答申（H25.3.18） 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
対-075	ピリブチカルブ	除草剤	0.02	H15年からの変更なし	7.5		H22.2.2	H20.9.11 答申済み		・食安委答申(H20.9.11) → ADI = 8.8
対-076	ピロキロン	殺虫剤 殺菌剤	0.05	H29.4.1より 0.04→0.05	19		H28.2.17	H27.6.9 答申済み		・食安委答申（H27.6.9） → ADI = 19
対-077	フィプロニル	殺虫剤 殺菌剤	0.0005	変更なし	0.2		H29.1.31	H26.1.20 H28.4.5 答申済み		・食安委答申（H26.1.20, H28.4.5） →ADI＝0.19
対-078	フェニトロチオン（MEP）	殺虫剤 殺菌剤 植物成長調整剤	0.01	H28.4.1より 0.003→0.01	5		H30.2.15	H26.6.3 H29.8.22 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H26.6.3, H29.8.22, R5.11.1） → ADI = 4.9
対-079	フェノブカルブ（BPMC）	殺虫剤 殺菌剤	0.03	H15年からの変更なし	13		H26.1.14	H25.9.9 答申済み		・食安委答申（H25.9.9） → ADI = 13
対-080	フェリムゾン	殺虫剤 殺菌剤	0.05	0.02→0.06	19		H22.2.2	H20.11.13 H24.2.2 R6.10.30 答申済み		・食安委答申（H20.11.13, H24.2.2,R6.10.30） → ADI = 19
対-081	フェンチオン（MPP）	殺虫剤	0.006	H25.4.1 より 0.001→0.006	2.3		H24.3.5	H22.4.8 H25.9.30 答申済み		・食安委答申（H22.4.8, H25.9.30） → ADI = 2.3

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（7/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討(ADI;μg/kg 体重/日)※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-082	フェントエート（PAP）	殺虫剤 殺菌剤	0.007	H25.4.1より 0.004→0.007	2.9		H24.3.5	H23.10.6 H25.1.21 答申済み		・食安委答申（H23.10.6, H25.1.21） → ADI ＝ 2.9
対-083	フェントラザミド	除草剤	0.01	H26.4.1より新規設定	5.2		H26.1.14	H20.12.4 答申済み		・食安委答申（H20.12.4） → ADI = 5.2
対-084	フサライド	殺虫剤 殺菌剤	0.1		40					
対-085	ブタクロール	除草剤	0.03	H15年からの変更なし	10		H24.3.5	H23.8.25 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H23.8.25, R5.11.1） → ADI ＝ 10
対-086	ブタミホス	除草剤	0.02	H23.4.1 より 0.01→0.02	8		H22.2.2	H21.2.12 答申済み		・食安委答申(H21.2.12) → ADI = 8
対-087	ブプロフェジン	殺虫剤 殺菌剤	0.02	H15年からの変更なし	9		H30.2.15	H20.5.15 H24.12.10 H28.12.13 R1.6.18 R5.10.11 答申済み		・食安委答申 （H20.5.15, H24.12.10, H28.12.13, R1.6.18, R5.10.11） → ADI = 9
対-088	フルアジナム	殺菌剤	0.03	0.01→0.03	10		H26.1.14	H25.11.11 H31.2.5 R3.8.31 R7.2.6 答申済み		・食安委答申（H25.11.11, H31.2.5,R3.8.31,R7.2.6） → ADI = 10
対-089	プレチラクロール	除草剤	0.05	H23.4.1 より 0.04→0.05	18		H22.2.2	H20.10.9 R6.12.18 答申済み		・食安委答申(H20.10.9,R6.12.18) → ADI = 18
対-090	プロシミドン	殺菌剤	0.09	変更なし	35		H30.2.15	H26.1.20 H29.5.30 R3.2.16 R5.8.1 答申済み		・食安委答申（H26.1.20, H29.5.30, R3.2.16, R5.8.1） → ADI = 35
対-091	プロチオホス	殺虫剤	0.007	オキソン体の濃度と合計して算出すること(H30.4.1より)	2.7		H30.2.15	H30.10.23 R5.7.12 答申済み		・代謝物であるプロチオホスオキソンも測定し、原体の濃度と、オキソン体の濃度を原体に換算した濃度を合計(H30.4.1から適用) ・食安委答申（H30.10.23, R5.7.12）→ ADI = 2.7
対-092	プロピコナゾール	殺菌剤	0.05	変更なし	19		H30.2.15	H26.4.8 H29.7.4 H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H26.4.8, H29.7.4, H30.3.27） → ADI = 19
対-093	プロピザミド	除草剤	0.05	変更なし	19		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI = 19

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（8/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討(ADI;μg/kg 体重/日)※
			値(mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-094	プロベナゾール	殺虫剤 殺菌剤	0.03	H31.4.1より 0.05→0.03	10		H31.3.13	H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.3.27） → ADI = 10
対-095	ブロモブチド	殺虫剤 除草剤	0.1	H22.4.1 より 0.04→0.1	40		H20.12.16	H20.1.10 答申済み		・食安委答申（H20.1.10） → ADI = 40
対-096	ベノミル	殺菌剤	0.02		9					・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)
対-097	ペンシクロン	殺虫剤 殺菌剤	0.1	H23.4.1 より 0.04→0.1	53		H22.2.2	H20.10.16 R3.10.6 答申済み		・食安委答申(H20.10.16,R3.10.6) → ADI = 53
対-098	ベンゾビシクロン	除草剤	0.09	H26.4.1より新規設定	34		H26.1.14	H20.3.13 答申済み		・食安委答申（H20.3.13） → ADI =34
対-099	ベンゾフェナップ	除草剤	0.005	H29.4.1より 0.004→0.005	1.5		H28.2.17	H27.8.18 答申済み		・食安委答申（H27.8.18） → ADI = 2
対-100	ベンタゾン	除草剤	0.2		90			R3.6.22 答申済み		・食安委答申（R3.6.22） → ADI = 90
対-101	ペンディメタリン	除草剤 植物成長調整剤	0.3	H25.4.1 より 0.1→0.3	120	0.02	H24.3.5	H22.10.7 H24.8.6 R3.4.13 答申済み		・食安委答申（H22.10.7, H24.8.6,R3.4.13） → ADI = 120
対-102	ベンフラカルブ	殺虫剤 殺菌剤	0.02	R3.4.1より 0.04→0.02	8.9			R2.2.4 答申済み		・食安委答申（R2.2.4） → ADI = 8.9
対-103	ベンフルラリン（ベスロジン）	除草剤	0.01	H25.4.1より 0.08→0.01	5		H24.3.5	H22.10.14 答申済み		・食安委答申（H22.10.14） → ADI = 5
対-104	ベンフレセート	除草剤	0.07	H15から変更なし	26		H20.12.16	H21.10.22 答申済み		・食安委答申（H21.10.22） → ADI = 23
対-105	ホスチアゼート	殺虫剤	0.005	R4.4.1より 0.003→0.005	1			R2.12.15 R4.5.18 R6.3.21 答申済み		・食安委答申（R2.12.15, R4.5.18,R6.3.21） → ADI = 2
対-106	マラチオン（マラソン）	殺虫剤	0.7	H28.4.1より 0.05→0.7	290		H27.2.5	H26.5.13 答申済み		・食安委答申（H26.5.13） → ADI = 290
対-107	メコプロップ（MCPP）	除草剤	0.05	H26.4.1より 0.005→0.05	2	0.01	H26.1.14			・食安委検討中(清涼飲料水、H15～)

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-6　「対象農薬」の目標値の設定状況等（9/9）

分類	項目	用途	目標値※		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ(mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日)※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
対-108	メソミル	殺虫剤	0.03		12.5					・食安委検討中(清涼飲料水､H15～)
	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:メタム	殺虫剤	0.01	H29.4.1より新規設定	7.5		H29.1.31	H27.3.24 R1.8.27 R6.1.31 答申済み		・食安委答申（H27.3.24, R1.8.27, R6.1.31） → ADI = 4
対-109	メタラキシル	殺虫剤 殺菌剤	0.2	H23.4.1より 0.05→0.06 H31.4.1より 0.06→0.2	80		H31.3.13	H21.3.5 H23.7.7 H26.1.20 H29.10.17 答申済み		・食安委答申（H21.3.5, H23.7.7, H26.1.20） → ADI ＝ 22 ・食安委答申（H29.10.17） → ADI = 80 （メタラキシル及びメフェノキサムとして）
対-110	メチダチオン（DMTP）	殺虫剤	0.004		1.5					・食安委検討中(清涼飲料水､H15～) ・オキソン体も検査の対象とし、原体の濃度に、オキソン体を原体の濃度に換算したものを合算してメチダチオンの濃度とする（厚生労働科学研究に基づく; R4.4.1より適用）。
その他農薬に変更	メチルダイムロン	除草剤	0.03		12		H18.8.4			・食安委検討中（清涼飲料水、H15～） ・評価要請（H21.12.14） ・H18.8.4厚科審で取扱について検討
対-111	メトミノストロビン	殺虫剤 殺菌剤	0.04	H15年答申	16		H25.3.19	H22.3.4 R3.8.24 答申済み		・食安委答申（H22.3.4 ,R3.8.24） → ADI = 16
対-112	メトリブジン	除草剤	0.03	H15年答申	12.5					
対-113	メフェナセット	除草剤	0.02	H22.4.1 より 0.009→0.02	7		H20.12.16	H20.3.13 答申済み		・食安委答申（H20.3.13） → ADI = 7
対-114	メプロニル	殺虫剤 殺菌剤	0.1	H15から変更なし	50		H22.12.21	H21.12.17 答申済み		・食安委答申（H21.12.17） → ADI = 50
対-115	モリネート	除草剤	0.005		2.1	0.006	H26.1.14	H25.3.4 答申済み		・食安委答申（H25.3.4） → ADI = 2.1

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-7　「要検討農薬」の目標値の設定状況等（1/2）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI; μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
要-001	アセタミプリド	殺虫剤 殺菌剤	0.2		71		H28.2.17	H20.8.29 H23.6.9 H26.12.16 答申済み		・食安委答申 (H20.8.29, H23.6.9, H26.12.16) → ADI = 71
要-002	イミダクロプリド	殺虫剤 殺菌剤	0.1	0.2→0.1	57		H29.1.31	H19.6.14 H22.9.9 H28.7.12 答申済み		・食安委答申 (H19.6.14,H22.9.9,H28.7.12) → ADI=57
要-003	イプロジオン		0.3	除外農薬から				R3.11.2 答申済み		・食安委答申 (R3.11.2) → ADI =20
要-004	エチプロール	殺虫剤 殺菌剤	0.01	変更なし	5		H27.2.5	H16.7.22 H16.7.22 H22.7.22 H26.3.24 答申済み		・食安委答申（H16.7.22, H16.7.22, H22.7.22, H26.3.24) → ADI = 5
要-005	クロロピクリン	殺虫剤	0.003	R4.4.1新規設定	1					・評価要請（H29.6.15）
要-006	テブコナゾール	殺菌剤	0.07		29		H28.2.17	H19.7.5 H23.9.8 H24.10.29 H27.9.8 R1.10.1 答申済み		・食安委答申 (H19.7.5, H23.9.8, H24.10.29, H27.9.8, R1.10.1) → ADI = 29
要-007	パラチオンメチル	殺虫剤	0.04	H15年答申	15					・評価要請（H21.3.24）
要-008	ヒメキサゾール（ヒドロキシイソキサゾール）	殺菌剤	0.1	H15年答申	50					・評価要請（H25.8.20）
要-009	ピラクロホス	殺虫剤	－	－	－					
要-010	フルスルファミド	殺菌剤	－	－	－					・評価要請（H24.8.21）
要-011	ブロマシル	除草剤	0.05	H29.4.1より新規設定	19		H29.1.31	H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H28.5.17） → ADI = 19
要-012	ペントキサゾン	除草剤	0.6	0.2→0.6	230		H22.12.21	R7.1.22 答申済み		・食安委答申（R7.1.22） → ADI = 230

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-7　「要検討農薬」の目標値の設定状況等（2/2）

分類	項目	用途	目標値（mg/L）	目標値に係る備考	根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ（mg/L）	審議の経緯・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日）※
							厚科審	食安委	WHO等	
要-013	ホサロン	殺虫剤	0.005	H27.4.1より新規	2		H27.2.5	H26.3.10 答申済み		・食安委答申（H26.3.10） → AD I= 2
要-014	メタアルデヒド	殺虫剤	0.06	変更なし	22		H30.2.15	H19.7.19 H21.2.5 H23.6.23 H25.12.2 H29.2.14 R4.10.12 答申済み		・食安委答申 (H19.7.19, H21.2.5, H23.6.23, H25.12.2, H29.2.14, R4.10.12) → ADI = 22
要-014（～H27）	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート:メチルイソチオシアネート	殺虫剤	-	H29.4.1より新規設定	-		H28.2.17	H27.3.24 答申済み		・食安委答申（H27.3.24） → ADI = 4
要-015	メトラクロール	除草剤	0.2	H15から変更なし	97	0.01	H22.12.21	H21.7.30 答申済み		・食安委答申（H21.7.30） → ADI = 97

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（1/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI;μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-001	2―クロロプロピオン酸メチル（MCPM）	農薬等原料	-		-		H25.3.19	H24.10.29 答申済み		・食安委答申（H24.10.29） → ADI = 9.8
他-002	2，4―DB	除草剤	-		-	0.09		審議中		・食安委検討中
他-003	DBEDC	殺虫剤 殺菌剤	-		-					
他-004	MCPBエチル	除草剤 植物成長調整剤	0.03	H31.4.1より 0.08→0.03	12		H31.3.13	H30.9.4 答申済み		・食安委答申（H30.9.4） → ADI = 12
他-005	アシベンゾラルSメチル	殺菌剤	0.2	H28.4.1より 0.1→0.2	77		H31.3.13	H27.3.24 H30.2.13 答申済み		・食安委答申（H27.3.24，H30.2.13） → ADI = 77
他-006	アジムスルフロン	除草剤	0.2	H15から変更なし	95		H22.12.21	H21.4.9 答申済み		・食安委答申（H21.4.9） → ADI = 95
他-007	アミトロール	除草剤	0.003	0.06→ 0.003	1.2		H24.3.5	H22.10.7 答申済み		・食安委答申(H22.10.7) → ADI = 1.2
他-008	アメトリン	除草剤	0.2	0.003→0.2	72		H20.12.16	H19.9.13 答申済み		・食安委答申（H19.9.13） → ADI = 72
他-009	イナベンフィド	植物成長調整剤	0.3	H15年答申	130					
他-010	イマゾスルフロン	殺虫剤 除草剤	0.2	H15年答申	89					
他-011	ウニコナゾールP	植物成長調整剤	0.05	R4.4.1より 0.04→0.05	16		H20.12.16	H19.5.31 R3.5.25 答申済み		・食安委答申（H19.5.31） → ADI = 16 ・食安委答申（R3.5.25） → ADI = 20
他-012	エトキシスルフロン	除草剤	0.1	H15年から変更なし	56		H26.1.14	H25.10.21 答申済み		・食安委答申（H25.10.21） → ADI = 56
他-013	エトベンザニド	除草剤	0.1	変更なし	44		H27.2.5	H26.1.20 答申済み		・食安委答申（H26.1.20） → ADI ＝ 44
他-014	エンドタール	除草剤	-					H29.3.28 答申済み		平成29年3月28日府食第199号
他-015	オキサジアルギル	除草剤	0.02		8		H25.3.19	H19.10.11 答申済み		・食安委答申（H19.10.11） → ADI = 8
他-016	オキサミル	殺虫剤	0.05	H15年答申	20					評価要請　H25.3.12

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（2/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ（mg/L）	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討（ADI;μg/kg 体重/日）※
			値（mg/L）	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-017	オキソリニック酸	殺菌剤	0.05	H15年から変更なし	21		H26.1.14	H20.7.24 H23.6.30 H25.11.11 R1.8.27 答申済み		・食安委答申 (H20.7.24, H23.6.30, H25.11.11, R1.8.27) → ADI = 21
他-018	キザロホップエチル	除草剤	0.02	変更なし	9		H27.2.5	H21.10.22 H26.4.8 答申済み		・食安委答申（H21.10.22, H26.4.8, R5.3.29） → ADI = 9
他-019	クロチアニジン	殺虫剤 殺菌剤	0.2	変更なし	97		H27.2.5	H17.1.27 H18.12.7 H20.2.28 H20.2.28 H26.1.20 H26.10.7 答申済み		・食安委答申（H17.1.27, H18.12.7, H20.2.28, H20.2.28, H26.1.20, H26.10.7） → ADI = 97
他-020	クロマフェノジド	殺虫剤	0.7	H15から変更なし	270		H20.12.16	H19.10.18 H24.5.24 答申済み		・食安委答申（H19.10.18, H24.5.24） → ADI = 270
他-021	クロルタールジメチル（TCTP）	除草剤	－		－					
他-022	クロルピリホスメチル	殺虫剤	0.03	H15年答申	10					
他-023	シクロスルファムロン	除草剤	0.08	H15年答申	30					
他-024	ジクロフェンチオン（ECP）	殺虫剤	0.006	H15年答申	2.5			H25.3.18 意見書提出		H25.3.18 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
他-025	シクロプロトリン	殺虫剤	0.008	H15年答申	3.3			H27.2.3 答申済み		・食安委答申（H27.2.3） → ADI = 85
他-026	ジクロメジン	殺菌剤	0.05	H15年答申	20			H19.10.12 審議中		評価第三部会にて審議中（最近の議事：H19.10.12部会）
他-027	ジクロルプロップ	植物成長調整剤	0.09	H30.4.1より0.06→0.09	36	0.1	H30.2.15	H29.7.4 答申済み		・食安委答申（H29.7.4） → ADI = 36
他-028	ジコホル（ケルセン）	殺虫剤	0.06	H15年答申	25	設定せず			WHO第4版第1次追補版変更 設定せず ←0.006	

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（3/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI; μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-029	ジチアノン	殺菌剤	0.03	H15年答申	10		H30.2.15	H22.6.17 H30.12.4 答申済み		・食安委答申（H22.6.17, H30.12.4） → ADI = 10 ・その他農薬に変更
他-030	シノスルフロン	除草剤	0.2	H15年答申	77			H24.3.1 意見書提出		・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
他-031	ジノテフラン	殺虫剤 殺菌剤	0.6	変更なし	220		H30.2.15	H17.6.16 H19.7.26 H22.9.9 H24.10.29 H25.12.2 H29.2.14 答申済み		・食安委答申（H17.6.16, H19.7.26, H22.9.9, H24.10.29, H25.12.2, H29.2.14） → ADI = 220
他-032	ジフェノコナゾール	殺虫剤 殺菌剤	0.02		9.6		H31.3.13	H24.10.15 H27.3.3 H29.2.28 H30.5.22 R1.6.18 R4.12.14 答申済み		・食安委答申（H24.10.15, H27.3.3, H29.2.28, H30.5.22, R1.6.18, R4.12.14） → ADI = 9.6
他-033	シフルトリン	殺虫剤 殺菌剤	0.05	H15年答申	20			R3.6.8 答申済み		・食安委答申（R3.6.8, R5.9.15） → ADI = 23
他-034	ジフルベンズロン	殺虫剤	0.05	H28.4.1より 0.03→0.05	20	設定せず	H28.2.17	H27.7.28 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず ← 0.12	・食安委答申（H27.7.28） → ADI = 20
他-035	シプロコナゾール	殺菌剤	0.02	H15年答申	9.9					

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（4/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI;μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-036	シプロジニル	殺菌剤	0.07				H25.3.19	H24.9.24 答申済み		・食安委答申（H24.9.24） → ADI = 27
他-037	シペルメトリン	殺虫剤	0.06	H31.4.1より 0.01→0.06	22		H31.3.13	H30.2.13 H30.3.27 答申済み		・食安委答申（H30.2.13, H30.3.27） → ADI = 22
他-038	シメコナゾール	殺菌剤	0.02		8.5		H31.3.13	H19.8.23 H21.3.12 H24.2.9 H24.11.12 H28.2.23 H30.5.22 R4.10.12 答申済み		・食安委答申（H19.8.23, H21.3.12, H24.2.9, H24.11.12, H28.2.23, H30.5.22, R4.10.12） → ADI = 8.5
他-039	ジメチルビンホス	殺虫剤	0.01	H15年答申	4					
他-040	ジメピペレート	除草剤	0.003		1		H30.2.15			・H18.8.4厚科審で項目削除は見送り（浄水、原水からの検出が確認されたため） ・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準における削除に関する意見書提出 ・その他農薬に変更
他-041	シラフルオフェン	殺虫剤 殺菌剤	0.3	H15から変更なし	110		H24.3.5	H24.2.9 答申済み		・食安委答申（H24.2.9） → ADI ＝ 110
他-042	シンメチリン	除草剤	0.1	H15年答申	42					
他-043	スピノサド	殺虫剤 殺菌剤	0.06	H15年答申	24		H25.3.19	H22.4.8 H27.2.17 R3.6.15 答申済み		・食安委答申（H22.4.8, H27.2.17,R3.6.15） → ADI = 24
他-044	セトキシジム	除草剤	0.2	R2.4.1より 0.4→0.2	88			H30.12.4 R4.12.14 答申済み		・食安委答申（H30.12.4, R4.12.14） → ADI ＝ 88
他-045	チアクロプリド	殺虫剤 殺菌剤	0.003	R2.4.1新規設定	12			H30.10.23 答申済み		・食安委答申（H30.12.4） → ADI ＝ 12
他-046	チアメトキサム	殺虫剤 殺菌剤	0.05		18		H28.2.17	H20.4.3 H24.3.1 H27.7.28 答申済み		・食安委答申（H20.4.3, H24.3.1, H27.7.28） → ADI = 18
他-047	チオシクラム	殺虫剤	0.05	R2.4.1より 0.03→0.05	21			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申（R1.6.4,R6.1.17R6.10.9） → ADI = 21（グループ評価:16）

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（5/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI;μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-048	チフルザミド	殺虫剤 殺菌剤	0.04		14		H29.1.31	H24.10.1 H28.1.26 R1.6.18 R5.11.1 答申済み		・食安委答申（H24.10.1, H28.1.26, R1.6.18, R5.11.1） → ADI = 14
他-049	テクロフタラム	殺菌剤	0.1	H15年答申	58					
他-050	テトラクロルビンホス（CVMP）	殺虫剤	0.01	H15年答申	4			H29.3.28 答申済み		平成29年3月28日府食第199号
他-051	テトラコナゾール	殺虫剤 殺菌剤	0.01	H28.4.1より新規設定	4		H31.3.13	H27.8.18 H30.3.6 R3.10.26 答申済み		・食安委答申（H27.8.18, H30.3.6,R3.10.26） → ADI = 4
他-052	テブフェノジド	殺虫剤 殺菌剤	0.04	0.02→0.004	16		H29.1.31	H19.11.8 H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H19.11.8, H28.5.17） → ADI = 16
他-053	トリネキサパックエチル	植物成長調整剤	0.01	H15から変更なし	5.9		H22.12.21	H21.10.22 R4.5.10 答申済み		・食安委答申（H21.10.22, R4.5.10） → ADI = 5.9
他-054	トリフルミゾール	殺菌剤	0.04	H26.4.1より新規設定	15		H31.3.13	H25.11.11 H28.5.17 H30.3.27 R.4.1.19 答申済み		・食安委答申（H25.11.11, H28.5.17, H30.3.27,R.4.1.19） → ADI = 15
他-055	トルフェンピラド	殺虫剤	0.01		5.6		H25.3.19	H16.10.7 H19.5.31 H23.2.10 R2.11.24 答申済み		・食安委答申 （H16.10.7, H19.5.31, H23.2.10, R2.11.24） → ADI = 5.6
他-056	ナプロアニリド	除草剤	0.02	H15年答申	7					
他-057	ニテンピラム	殺虫剤 殺菌剤	1.3	H15年答申	530		H29.1.31	H28.5.17 答申済み		・食安委答申（H28.5.17） → ADI = 530
他-058	パクロブトラゾール	殺菌剤 植物成長調整剤	0.05		20		H29.1.31	H21.4.2 H28.9.6 答申済み		・食安委答申（H21.4.2, H28.9.6） → ADI = 20
他-059	バリダマイシン	殺虫剤 殺菌剤	0.9	R3.4.1新規設定	360			R2.9.29 R4.8.31 答申済み		・食安委答申（R2.9.29, R4.8.31） → ADI = 360
他-060	ビスピリバック	除草剤	0.03	H15年答申	11					
他-061	ピメトロジン	殺虫剤 殺菌剤	0.03	H15から変更なし	13		H24.3.5	H22.9.9 R2.6.17 答申済み		・食安委答申（H22.9.9, R2.6.17） → AD = 13

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（6/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI; μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-062	ピラゾスルフロンエチル	除草剤	0.03	H27.4.1より 0.1→0.03	10		H27.2.5	H26.5.20 答申済み		・食安委答申（H26.5.20） → ADI = 10
他-063	ピリミノバックメチル	除草剤	0.05		20		H25.3.19	H22.4.1 答申済み		・食安委答申（H22.4.1） → ADI = 20
他-064	ピリミホスメチル	殺虫剤	0.06	H15年答申	25	設定不適当 ADI0.03mg/kg/日			WHO/GDWQ第3版第2次追補版追加	
他-065	ピレトリン	殺虫剤	0.1	H15年答申	40					・評価要請（H29.4.19）
他-066	フェノキサニル	殺虫剤 殺菌剤	0.02		7		H25.3.19	H15.9.18 H20.11.27 答申済み		・食安委答申（H15.9.18） → ADI = 6.9 ・食安委答申（H20.11.27） → ADI = 7
他-067	フェンバレレート	殺虫剤	0.04	H26.4.1より 0.05→0.04	17		H26.1.14	H25.7.29 答申済み		・食安委答申（H25.7.29） → ADI = 17
他-068	フラチオカルブ	殺虫剤	0.008	H15年答申	3			H29.3.28 答申済み		平成29年3月28日府食第199号
他-069	フラメトピル	殺虫剤 殺菌剤	0.02	H15から変更なし	7			H23.11.17 H31.2.5 答申済み		・食安委答申（H23.11.17, H31.2.5） → ADI ＝ 7
他-070	フルアジホップ	除草剤	0.01	H28.4.1より 0.03→0.01	4.4		H31.3.13	H27.7.7 H30.3.6 答申済み		・食安委答申（H27.7.7, H30.3.6） → ADI = 4.4
他-071	プロパニル（DCPA）	除草剤	0.04	H15年答申	16			H30.12.4 答申済み		・食安委答申（H30.12.4） → ADI ＝ 16
他-072	プロパホス	殺虫剤	0.001	H15年答申	0.4			H24.3.1 意見書提出		・食安委(H24.3.1) 食品中の残留基準を削除することに関する意見書提出
他-073	プロパルギット（BPPS）	殺虫剤	0.02	H15年答申	8.3		H25.3.19	H25.11.11 R3.6.8 答申済み		・食安委答申（H25.11.11,R3.6.8） → ADI = 21
他-074	プロヘキサジオン	殺菌剤 植物成長調整剤	0.5	H15年答申	180					
他-075	プロポキスル（PHC）	殺虫剤	0.2	H15年答申	63					

※網掛けは昨年度からの変更箇所

表 6-8　「その他農薬」の目標値の設定状況等（7/7）

分類	項目	用途	目標値		根拠ADI（μg/kg 体重/日）	WHO/GDWQ (mg/L)	最終審議・予定※			評価値に関連したその後の検討 (ADI; μg/kg 体重/日)※
			値 (mg/L)	備考			厚科審	食安委	WHO等	
他-076	プロメトリン	除草剤	0.08	H28.4.1より 0.06→0.08	30		H28.2.17	H27.9.8 答申済み		・食安委答申 (H27.9.8) → ADI = 30
他-077	ペルメトリン	殺虫剤 殺菌剤	0.1	H15年答申	50	設定せず		R1.5.21 R3.8.4 答申済み	WHO第4版 変更 設定せず ← 0.3	・食安委答申 (R1.5.21,R3.8.4) → ADI = 50
他-078	ベンスルタップ	殺虫剤 殺菌剤 除草剤	0.06	R2.4.1より 0.09→0.06	25			R1.6.4 R6.1.17 R6.10.9 答申済み		・食安委答申 (R1.6.4,R6.1.17R6.10.9) → ADI = 25 (グループ評価:16)
他-079	ベンダイオカルブ	殺虫剤	0.009	H15から変更なし	4		H22.12.21	H21.8.27 答申済み		・食安委答申 (H21.8.27) → ADI = 3.5
他-080	ホキシム	殺虫剤	0.003	H15年答申	1.2			H21.2.3 審議中		・食安委検討中 ・評価要請(H21.2.3)
他-081	ボスカリド	殺菌剤	0.1		44		H29.1.31	H16.5.20 H18.10.26 H21.3.19 H24.8.6 H28.9.27 答申済み		・食安委答申 (H16.5.20, H18.10.26, H21.3.19, H24.8.6, H28.9.27) → ADI = 44
他-082	ミルネブ（チアジアジン）	殺菌剤	-							
他-083	メタミドホス	殺虫剤	0.001	H30.4.1より 0.002→ 0.001	0.6		H30.2.15	H20.5.1 H28.12.13 R6.2.14 答申済み		・食安委答申 (H20.5.1) → ADI = 0.6 ・食安委答申 (H28.12.13, R6.2.14) → ADI = 0.56
他-084	メチルイソシアネート	殺虫剤等中間体	0.006	H15年答申	2.5					
他-085	モノクロトホス	殺虫剤	0.002	H15年答申	0.6					
他-086	リニュロン	除草剤	0.02	H15年答申	7.7					

※網掛けは昨年度からの変更箇所

6.2.　データベースの整理・情報更新

水道水質基準等に係る最新の科学的知見に基づく基準値等又は分類の設定又は見直しの検討に資するよう、平成 25 年度業務までに水道水に関する有害物質の健康影響等のデータベース（以下、「データベース」という）が構築され、平成 26 年度文献調査業務においては、データベースの使用目的を踏まえて、①情報収集の対象とする物質の整理、②収集するデータ項目の整理・拡充、③情報の更新等が実施されている。

1）情報収集の対象とする物質の整理

データベースには、平成 25 年度までに 4,000 を超える項目が収載され、平成 26 年度文献調査業務においては、データベース作成の目的が水道水質基準等に係る基準値や分類の見直しに資することを踏まえて、当面の情報収集の対象とする物質を表 6-9 のものとし、データベースの構成を再整理して、これら物質に関する情報を充実させることを優先し、その後、順次対象とする物質を拡張していくことが望ましいとしている。令和 5 年度文献調査業務においても、この考え方を踏襲して主にデータの更新を実施した。

なお、出力例は、報告書「平成 27 年度水道水及び水道用薬品等に関する調査業務；6.4.2.3 検索要領：出力（物質別）」と基本的に同じであるので省略した。

表 6-9　情報収集の対象とする物質（H26 年度文献調査業務の表 25）

物質グループ		物質数*
1	水道水質基準項目	51
2	水質管理目標設定項目	26
3	要検討項目	47
4	対象農薬	120
5	要検討農薬	16
6	その他農薬	84
7	除外農薬	14
8	基礎情報収集対象物質	170
9	浄水処理対応困難物質	14
10	過去に水質事故の原因となった物質	21
11	PRTR 対象物質（化管法第一種指定化学物質）	462

*各クループに該当する物質数を示すが、他の物質グループと物質が重複する場合がある。

2）収集するデータ項目の整理・更新

令和 6 年度文献調査業務では表 6-9 の対象物質の更新を適宜実施すると共に、データベース出力の適正化を実施した。更新内容は網掛けを付した。

(1) 更新フィールド

以下のサイト並びに官報をあたり、過年度データとの比較を行った。

・製造輸入量：http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/information/volume_index.html

・PRTR 排出（公水）：http://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/index.html

・水質基準項目、水質管理目標設定項目、農薬類（水質管理目標設定項目 15）の対象農薬、要検討項目：官報並びに環境省水道対策水道水質情報ウェブサイト
https://www.env.go.jp/water/water_supply/suishitsu/index.html

・水道統計：http://www.jwwa.or.jp/mizu/

・ゴルフ場排水口等における水質調査（環境省）：
http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/golfchosa.html

・要調査項目存在状況調査：http://www.env.go.jp/water/chosa/index.html

・化学物質環境実態調査（水質；初期環境調査結果、詳細環境調査結果）：
http://www.env.go.jp/chemi/kurohon/index.html

(2) 過年度データの活用

・薬品基準、資機材基準、給水装置基準、水質環境基準（人健康）、水質環境基準（地下水）、要監視項目（人健康）、要監視項目（地下水）、水濁法、毒劇法、化審法、化管法

・WHO ガイドライン値・評価値、EU 基準値、カナダガイドライン値、オーストラリアガイドライン値、韓国基準値、中国基準値、国際機関評価値

・有害性情報

・農薬登録情報、登録失効有効成分一覧、TX01_有効成分名、化審法旧

7. 海外諸国・機関における基準値等の整理

海外諸国・機関（米国、欧州、カナダ、オーストラリア、韓国、中国、WHO）（表 7-1）における水質基準値及び目標値と、我が国の現行の水質基準等の間で基準値及び目標値の比較を行うとともに、我が国の現行の水質基準項目ではないが、海外諸国において基準値及び目標値（法的拘束力を有するものに限る）が設定されている項目について、併せて整理を行った。

表 7-1　基準値・目標値等の調査対象とする国・機関

国・機関		調査対象規則等
1	米国	National Primary Drinking Water Regulations: NPDWRs
		National Secondary Drinking Water Regulations: NSDWRs
		Drinking Water Contaminant Candidate List (CCL) and Regulatory Determination: CCL 4 (Final CCL 4 Chemical Contaminants)
2	欧州	DIRECTIVE (EU) 2020/2184 OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 16 December 2020 on the quality of water intended for human consumption
3	カナダ	Guidelines for Canadian Drinking Water Quality Summary Table (2019)
4	豪州	Australian Drinking Water Guidelines 6　2011: Version 3.8 Updated September 2022 Australian_Drinking_Water_Guidelines_ADWG_V3-8_Sep2022
5	韓国	飲料水の水質基準及び検査等に関する規則（略称：飲料水検査規則）먹는물 수질기준 및 검사 등에 관한 규칙（약칭: 먹는물검사규칙）
6	中国	National Food Safety Standard for Drinking Water Quality (GB5749-2022) 米国USDAの英訳に基づき作成
7	WHO	Guidelines for Drinking-Water Quality: Fourth edition

7.1.　海外諸国・期間における基準値等

国内外の基準値等のまとめを、表 7-2～表 7-7 に示す。網掛け、比較列の黒丸は日本の水道水質基準よりも厳しく設定されている項目である。

7.2.　国内の基準値等との比較及び情報の整理

我が国の現行の水質基準等と比較していずれかの海外諸国・機関で基準値及び目標値に相違点のあった物質のうち、我が国より基準値及び目標値が厳しく設定されているものを抽出し食品安全委員会の評価書の更新情報を整理した（表 7-8）。令和 3 年 3 月 1 日～令和 7 年 3 月 19 日に食品安全委員会で評価値が出されている項目について我が国の水質基準より厳しい基準値等を設定している国と、我が国の現行の水質基準等との間で耐容一日摂取量等の設定根拠・考え方の比較を行った。

7.2.1.　PFOS、PFOA

日本の食品安全委員会は、令和 5 年 1 月 31 日に開催された第 887 回食品安全委員会において、有機フッ素化合物（PFAS）を食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の対象とすることを決定し、令和 5 年 2 月 6 日に開催された第 888 回食品安全委員会において、ワーキンググループの設置が決定された。同ワーキンググループで審議が行われ、パブリックコメントを経て、令和 6 年 6 月 25 日に開催された第 944 回食品安全委員会において評価書がとりまとめられた。

＜評価書の概要※＞

※ 有機フッ素化合物（PFAS）に関する食品健康影響評価書（内閣府食品安全委員会）より抜粋

・ 現時点の科学的知見に基づいて食品健康影響の指標値を検討した。

・ PFOS については、ラット２世代生殖・発生毒性試験（Luebker et al. 2005a）でみられた児動物における体重増加抑制を、PFOA については、マウス生殖・発生毒性試験（Lau et al. 2006）でみられた胎児の前肢及び後肢の近位指節骨の骨化部位数の減少、雄の児動物の性成熟促進をそれぞれ採用した。また、血中濃度から摂取量への換算には、海外評価機関で採用された用量推計モデルでの計算結果をそのまま適用した。

・ 以上のことから、食品健康影響の指標値は、TDI として PFOS は 20ng/kg 体重/日（２×10^{-5}mg/kg 体重/日）、PFOA は 20 ng/kg 体重/日（２×10^{-5}mg/kg 体重/日）と設定することが妥当と判断した。PFHxS については、評価を行う十分な知見は得られていないことから、現時点では指標値の算出は困難であると判断した。

一方、米国においては現時点での分析能力（定量下限４ng/L）を考慮して PFOS ４ng/L、PFOA ４ng/L とする規制値を 2024 年４月 10 日に公表した。３年以内にモニタリングを実施し、基準超過の場合は５年以内に削減措置を講ずることとしている。類似物質についても最大汚染レベルを設定（PFHxS、PFNA、GenX 化合物それぞれ 10ng/L、PFHxS、PFNA、GenX 化合物、PFBS の混合物としての制限値）。

7.2.2. 1,3-ジクロロプロペン

平成 6 年 3 月 7 日の食品安全委員会の評価書概要を以下に示す。

（国内の目標値：0.05mg/L、異性体であるシス-１，３-ジクロロプロペン及びトランス-１，３-ジクロロプロペンの濃度を合計して算出）

殺虫剤「1,3-ジクロロプロペン」（CAS No. 542-75-6）について、各種資料を用いて食品健康影響評価を実施した。第 5 版の改訂に当たっては、農薬取締法に基づく再評価に係る評価要請がなされており、農林水産省から、急性経口毒性試験（ラット）、亜急性吸入毒性試験（ラット及びマウス）、遺伝毒性試験等の成績、公表文献報告書等が新たに提出された。

各種毒性試験結果から、1,3-ジクロロプロペン投与による影響は、主に胃（前胃扁平上皮過形成及び角化亢進）、膀胱（移行上皮過形成）及び血液（貧血）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性、生体において問題となる遺伝毒性及び免疫毒性は認められなかった。

各種試験結果から、農産物中のばく露評価対象物質を 1,3-ジクロロプロペン（親化合物のみ）と設定した。各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験①の 2 mg/kg 体重/日であったが、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験②の無毒性量が 2.5 mg/kg 体重/日であり、この差は用量設定の違いによると考えられ、ラットにおける無毒性量は 2.5 mg/kg 体重/日が妥当と考えられた。以上のことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.025 mg/kg 体重/日を許容一日摂取量

（ADI）と設定した。
また、1,3-ジクロロプロペンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた 2 週間亜急性毒性試験の 20 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.2 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

一方、WHO の飲料水ガイドライン第 4 版では以下のように述べられている。

ガイドライン値 0.02 mg/L（20μg/L） 検出状況 地表水および地下水で、数 μg/L の濃度で検出されている。ガイドライン値導出の根拠 2 年間の強制経口投与で雌のマウスに発生した肺および膀胱の腫瘍に線形多 段モデルを適用して算出。 検出下限値 cis 異性体 0.34 μg/L、trans 異性体 0.20 μg/L－電気伝導度検出器付パージ トラップ充填カラム GC 処理性 水中からの除去に関する情報はない。 評価実施日 1993 主要関連文書 WHO（2003）1,3-Dichloropropene in drinking-water 1,3-ジクロロプロペンは直接作用する変異原物質で、ラットやマウスでの長期強制経口投与試験では、前胃に腫瘍を誘発させることが示されている。腫瘍は、雌のマウスの膀胱と肺および雄の ラットの肝臓にも見られた。ラットによる長期吸入試験では陰性であったが、マウスによる吸入試験 では肺に良性腫瘍が認められた。IARC では、1,3-ジクロロプロペンをグループ 2B（ヒトに対して発 がん性を示す可能性がある物質）に分類している。

ガイドライン値	0.02 mg/L(20μg/L)
検出状況	地表水および地下水で、数μg/Lの濃度で検出されている。
ガイドライン値導出の根拠	2年間の強制経口投与で雌のマウスに発生した肺および膀胱の腫瘍に線形多段モデルを適用して算出。
検出下限値	*cis*異性体0.34 μg/L、*trans*異性体0.20 μg/Lー電気伝導度検出器付パージトラップ充填カラムGC
処理性	水中からの除去に関する情報はない。
評価実施日	1993
主要関連文書	WHO (2003) *1,3-Dichloropropene in drinking-water*

7.2.3. ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート

平成 6 年 1 月 31 日の食品安全委員会の評価書概要を以下に示す。

（国内の目標値：0.01mg/L（メチルイソチオシアネートとして））
食品安全委員会は、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中で MITC に分解され、植物体内では概ね MITC として残留すると考えられることから、ダゾメット、メタム及び MITC における農産物中のばく露評価対象物質を MITC と設定した。また、これら 3 物質の総合的な評価には、活性成分である MITC に基づく評価を適用するのが適当であると判断した。MITC 投与により行われた各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、イヌを用いた 90 日間亜急性毒性試験及び 1 年間慢性毒性試験の 0.4 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.004 mg/kg 体重/日をダゾメット、メタム及び MITC のグループ許容一日摂取量（ADI）と設定した。

MITC の単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、マウス及びウサギを用いた一般薬理試験の 10 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.1 mg/kg 体重をダゾメット、メタム及び MITC のグループ急性参照用量（ARfD）と設定した。

オーストラリア飲料水ガイドライン 6 2011 バージョン 3.9（2024 年 12 月更新）では以下のように述べられている。

＜ガイドライン＞

メタムは、環境中でメチルイソチオシアン酸塩（MITC）に迅速に分解されるため、メタムに関する健康ベースのガイドラインは MITC の毒性に基づいています。人間の健康の懸念に基づくと、飲料水中の MITC は 0.001 mg/L を超えてはなりません。

・関連化学物質

メタム（CAS 144-5-54-7）は、n-メチル-ジチオカルバメート類に属しています。このクラスに属する他の農薬はありません。密接に関連する化学物質のクラスはエチレンビスジチオカルバメート類で、マンコゼブ、メチラミ、ジネブが含まれます。メタムナトリウムの殺虫および殺真菌活性は、環境中でメチルイソチオシアン酸塩（MITC）に分解されることによるものです。MITC はまた、農薬ダゾメットの分解産物でもあります（Tomlin 2006）。

・メタムの健康値の歴史

メタムについての許容一日摂取量（ADI）は、食品中に残留する農薬に対してのみ必要とされるため設定されていません。 減衰物質 MITC の現在の ADI は、犬における 3 か月間の研究からの 0.04 mg/kg bw/日の無影響レベル（NOEL）に基づいて、体重 1kg あたり 0.0004mg（mg/kg bw）です。この研究では、最高用量 2mg/kg bw/日で精巣の重量が減少し、膵臓の重量が増加し、肝臓の組織学に異常が見られました。 ADI には 100 の安全係数が組み込まれ、2004 年に設定されました。 メタムについて急性参照用量（ARfD）は、食品中に残留する農薬に対してのみ必要とされるため、設定されていません。 減衰物質 MITC の現在の ARfD は、犬における急性経口投与研究からの 0.1 mg/kg bw/日の NOEL に基づき、0.0005 mg/kg bw/日です。 次に高い用量である 0.5 mg/kg bw/日以上では、解剖時に肝臓と腎臓に出血性病変が見られました。 ARfD には 200 の安全係数が組み込まれ、2004 年に設定されました。 NHMRC によって以前に健康値は確立されていません。

7.2.4. シフルトリン

平成 5 年 9 月 15 日の食品安全委員会の評価書概要を以下に示す。

（国内の目標値：0.06mg/L、他-033）

各種試験結果から、農産物及び畜産物中のばく露評価対象物質をシフルトリン（親化合物のみ：beta-シフルトリンを含む。）と設定した。

シフルトリン及び beta-シフルトリンの各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、beta-シフルトリンのイヌを用いた 90 日間亜急性毒性試験における無毒性量である 2.38 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.023 mg/kg 体重/日をシフルトリン及び beta-シフルトリンの許容一日摂取量（ADI）と設定した。

また、シフルトリン及びbeta-シフルトリンの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、beta-シフルトリンのイヌを用いた90日間亜急性毒性試験における無毒性量である2.38 mg/kg体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数100で除した0.023 mg/kg体重をシフルトリン及びbeta-シフルトリンの急性参照用量（ARfD）と設定した。

オーストラリア飲料水ガイドライン 6 2011 バージョン 3.9（2024年12月更新）では以下のように述べられている。

＜ガイドライン＞

ヒトの健康への懸念に基づき、飲料水中のシフルトリンまたはβ-シフルトリンは0.05mg/Lを超えてはならない。

・関連化学物質

シフルトリンおよびβ-シフルトリン（CAS 68359-37-5）は、ピレスロイド系の化学物質です。シフルトリンは4つのジアステレオ異性体対からなる8つの異性体の混合物です。β-シフルトリンは2つの活性ジアステレオ異性体を含む。このクラスの他の殺虫剤にはシペルメトリンがある、α-シペルメトリン、デルタメトリン、ペルメトリンなどがある（Tomlin 2006）。

・健康値の歴史

シフルトリンの場合、現在の許容一日摂取量（ADI）は、ラットの 2 年間の食事試験で認められた無影響量（NOEL）2.5 mg/kg bw/日に基づき、体重 1 kg あたり 0.02 mg です。NOEL は、体重増加の減少と骨のフッ素含有量のわずかな増加に基づいています。 ADI は安全係数 100 を組み込んでおり、1985 年に確立されました。 ベータシフルトリンの現在の ADI は 0.01 mg/kg bw で、これは犬での 13 週間の食事研究から得られた NOEL 1.5 mg/kg bw/day に基づいています。NOEL は嘔吐、下痢、および運動機能への影響に基づいています。ADI は安全係数 100 を組み込んでおり、1990 年に確立されました。 シフルトリンまたはベータシフルトリンの保健値はこれまで確立されていません。

7.3. 国内の水質基準項目以外で海外諸国で基準値及び目標値が設定されている項目（法的拘束力あり）

国内の水質基準項目以外で海外諸国で基準値及び目標値が設定されている項目（法的拘束力あり）を表 7-9 に示す。

表 7-2 「水質基準項目」の諸外国・機関の基準値等（1/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU		カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				基準値（mg/L）	Guideline value（mg/L）	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value（mg/L）	比較	MAC（mg/L）	Other value（mg/L）	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響（mg/L）	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
基-001	一般細菌	集落数	-	100個/ml															100CFU/ml			100(MPN/mL or CFU/100 mL)		
基-002	大腸菌		-	不検出					No more than 5.0% samples total coliform-positive (TC-positive) in a month (as Total Coliforms)		0 (number/100 mL)		0 (number/100 mL)			0 (number/100 mL)			不検出 100/ml			不検出 (MPN/100 mL or CFU/100 mL)		
基-003	カドミウム及びその化合物	カドミウム	7440-43-9	0.003	0.003			0.005			0.005		0.007			0.002		•	0.005			0.005		
基-004	水銀及びその化合物	水銀	7439-97-6	0.0005	0.006			0.002			0.001		0.001			0.001			0.001			0.001		
基-005	セレン及びその化合物	セレン	7782-49-2	0.01	0.04	P		0.05	0.05		0.02		0.05			0.01			0.01			0.01		
基-006	鉛及びその化合物	鉛	7439-92-1	0.01	0.01	A, T		TT; Action Level=0.015			0.01		0.005:ALARA			0.01			0.01			0.01		
基-007	ヒ素及びその化合物	ヒ素	7440-38-2	0.01	0.01	P		0.01			0.01		0.01: ALARA			0.01			0.01			0.01		
基-008	六価クロム化合物	六価クロム	7440-47-3	0.02	0.05（総クロムとして）	P		0.1			0.025		0.05			0.05			0.05			0.05		
基-009	亜硝酸態窒素		14797-65-0	0.04	3（亜硝酸イオンとして）			1(nitite measured as nitrogen)	5		0.5		3 as nitrite; 1 as nitrite-nitrogen			3							1	
基-010	シアン化物イオン及び塩化シアン	シアン	-	0.01	not established			0.2			0.05		0.2			0.08			0.01				0.07 (CNとして)	
基-011	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		14797-55-8	10	50（硝酸イオンとして）			10(measured as Nitrogen)			50		45 as nitrate; 10 as nitrate-nitrogen			50			10			10（Nとして）		
基-012	フッ素及びその化合物	フッ素	7782-41-4	0.8	1.5			4	2.0 mg/L		1.5		1.5			1.5			2			1		
基-013	ホウ素及びその化合物	ホウ素	7440-42-8	1.0	2.4						1.5		5			4			1			1		
基-014	四塩化炭素		56-23-5	0.002	0.004			0.005					0.002			0.003			0.002			0.002		
基-015	1,4-ジオキサン		123-91-1	0.05	0.05								0.05						0.05					
基-016	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン		540-59-0	0.04	0.05											0.06						0.05		
	シス-1,2-ジクロロエチレン		156-59-2					0.07																
	トランス-1,2-ジクロロエチレン		156-60-5					0.1																
基-017	ジクロロメタン		75-09-2	0.02	0.02			0.005		•			0.05			0.004		•	0.02			0.02		
	テトラクロロエチレンおよびトリクロロエチレン										0.01	•												
基-018	テトラクロロエチレン		127-18-4	0.01	0.1			0.005		•			0.01			0.05			0.01			0.04		
基-019	トリクロロエチレン		79-01-6	0.01	0.008	P	•	0.005		•			0.005		•	-			0.03			0.02		
基-020	ベンゼン		71-43-2	0.01	0.01			0.005	250	•	0.001	•	0.005		•	0.001		•	0.01			0.01		
基-021	塩素酸		7790-93-4	0.6	0.7	D					0.25	•	1			-						0.7		
基-022	クロロ酢酸		79-11-8	0.02	0.02			0.06(ﾊﾛ酢酸5種合計)								0.15								
基-023	クロロホルム		67-66-3	0.06	0.3			総ﾄﾘﾊﾛﾒﾀﾝに含む,0.08											0.08			0.06		
基-024	ジクロロ酢酸		79-43-6	0.03	0.05	D		0.06(ﾊﾛ酢酸5種合計)								0.1						0.05		
基-025	ジブロモクロロメタン		124-48-1	0.1	0.1			総ﾄﾘﾊﾛﾒﾀﾝに含む,0.08		•									0.1			0.1		
基-026	臭素酸		7789-31-3	0.01	0.01	A, T		0.01			0.01		0.01			0.02			0.01(臭素酸塩として)			0.01		

表 7-2 「水質基準項目」の諸外国・機関の基準値等（2/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU		カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				基準値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)	比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
基-027	総トリハロメタン（クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン及びブロモホルムのそれぞれの濃度の総和）		-	0.1	ガイドライン値に対する個々の濃度の比の和が1を超えない			0.08		●	0.1		0.1			0.25			0.1			各物質の限度値に対する比率の合計が1以下		
基-028	トリクロロ酢酸		76-03-9	0.03	0.2											0.1						0.1		
基-029	ブロモジクロロメタン		75-27-4	0.03	0.06b														0.03			0.06		
基-030	ブロモホルム		75-25-2	0.09	0.1			総ﾄﾘﾊﾛﾒﾀﾝに含む,0.08		●												0.1		
基-031	ホルムアルデヒド		50-00-0	0.08	not established								None required			0.5			0.5				0.9	
基-032	亜鉛及びその化合物	亜鉛	7440-66-6	1.0	not established				5 mg/L					AO：≦5.0		-	3			3		1		●
基-033	アルミニウム及びその化合物	アルミニウム	7429-90-5	0.2	not established				0.05 to 0.2 mg/L	●	0.2		2.9	OG：< 0.1 (conventional treatment);< 0.2 (other treatment types)		-	0.2			0.2		0.2		
基-034	鉄及びその化合物	鉄	7439-89-6	0.3	not established				0.3 mg/L		0.2	●	None	AO：≦0.3		-	0.3			0.3		0.3		
基-035	銅及びその化合物	銅	7440-50-8	1.0	2			TT; Action Level=1.3			2		2	AO：1		2	1			1		1		
基-036	ナトリウム及びその化合物	ナトリウム	7440-23-5	200	not established						200		None	AO：≦200		Not necessary	180	●				200		
基-037	マンガン及びその化合物	マンガン	7439-96-5	0.05	0.08	P			0.05 mg/L		0.05		0.12	AO：≦0.02		0.5	0.1			0.05		0.1		
基-038	塩化物イオン		-	200	not established				250 mg/L		250		None	AO：≦250		-	250			250		250		
基-039	カルシウム、マグネシウム等（硬度）		-	300	not established								None required			Not necessary	200			300		450 (CaCO3として)		
基-040	蒸発残留物		-	500					500 mg/L				None	AO：≦500		Not necessary	600			500		1,000		
基-041	陰イオン界面活性剤		-	0.2																0.5		0.3		
基-042	ジェオスミン		19700-21-1	0.00001																		0.00001		
基-043	2-メチルイソボルネオール		-	0.00001																		0.00001		
基-044	非イオン界面活性剤		-	0.02																				
基-045	フェノール類	フェノール	-	0.005															0.005			0.002		●
基-046	有機物（全有機炭素（TOC）の量）		-	3							No abnormal change												5	
基-047	ｐＨ値		-	5.8-8.6	not established				6.5-8.5	●	≥ 6.5 and ≤ 9.5	●		7.0-10.5	●	-	pH 6.5–8.5	●		5.8~8.5	●	6.5-8.5		●
基-048	味		-	異常でない							Acceptable to consumers and no abnormal change		None	Inoffensive		Not necessary	Not offensive to most people			無臭・無味（消毒によるものを除く）				
基-049	臭気		-	異常でない					3 TON(threshold odor number)		Acceptable to consumers and no abnormal change		None	Inoffensive						無臭・無味（消毒によるものを除く）		異常ないこと		
基-050	色度		-	5度以下					15 (color units)		Acceptable to consumers and no abnormal change			AO：≦15 TCU			15 HU			5		15（カラーユニット）		

表 7-2　「水質基準項目」の諸外国・機関の基準値等（3/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU		カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				基準値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)	比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
基-051	濁度		-	2度以下				TT			Acceptable to consumers and no abnormal change		≤ 0.3 NTU*1 ≤ 1.0 NTU*2 ≤ 0.1 NTU*3		●	-	5 NTU			0.5 NTU	●	1 NTU		●

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも－の記載
過年度抽出するも「評価要請」

※1　諸外国の基準値等はシアンとしての数値

※2　表中の記号は次のとおり。P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値、C：その物質の濃度が健康に基づくガイドライン値以下であっても、水の外観や臭味に影響があり、消費者による苦情にまで至ることがある。

a: 発がん物質と考えられる物質についてのガイドライン値は、10-5 の生涯過剰発がんリスク（その物質をガイドライン値と同じ濃度 で含む飲料水を、70 年間摂取し続けることにより、10 万人に 1 人ががんになることを意味する）の上限に相当する飲料水中の 濃度である。

10-4 および 10-6 の推定生涯過剰発がんリスクの上限に相当する濃度は、それぞれ、ガイドライン値に 10 を掛けるこ と、および、ガイドライン値を 10 で割ることによって求めることができる。

※3　「比較」の欄の●とは、諸外国の基準値等が国内の基準値等よりも厳しい物質の意味である。以降の表も全て同様。

※4　表中の記号は次のとおり。MCLG (Maximum Contaminant Level Goal): The level of a contaminant in drinking water below which there is no known or expected risk to health. MCLGs allow for a margin of safety and are non-enforceable public health goals.

TT (Treatment Technique): A required process intended to reduce the level of a contaminant in drinking water.

※5　表中の記号は次のとおり。AO: based on aesthetic considerations and listed as aesthetic objectives、OG: established based on operational considerations and listed as operational guidance values、ALARA: as low as reasonably achievable

※6　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.

e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts).

Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.

※参考 "WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf 、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf

米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4

カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html

豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-3　「水質管理目標設定項目」の諸外国・機関の目標値等（1/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値(mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
目-001	アンチモン及びその化合物	アンチモン	7440-36-0	0.02	0.02			0.006		●	0.01		●	0.006		●	0.003		●				0.005		●
目-002	ウラン及びその化合物	ウラン	7440-61-1	0.002	0.03	P		30 ug/L			0.03			0.02			0.02							0.03	
目-003	ニッケル及びその化合物	ニッケル	7440-02-0	0.02	0.07						0.02						0.02						0.02		
目-005	1,2-ジクロロエタン		107-06-2	0.004	0.03b			0.005			0.003		●	0.005			0.003		●				0.03		
目-008	トルエン		108-88-3	0.4	0.7	C		1						0.06	AO：≦0.024	●	0.8	0.025		0.7			0.7		
目-009	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）		117-81-7	0.08	0.008		●	0.006		●							0.01		●				0.008		●
目-010	亜塩素酸		1318-59-8	0.6	0.7	D		1.0			0.25		●	1			0.8						0.7		
目-012	二酸化塩素		10049-4-4	0.6	not established			MRDL=0.8						None required			-	0.4	●						
目-013	ジクロロアセトニトリル		3018-12-0	0.01	0.02	P											-			0.09					
目-014	抱水クロラール		302-17-0	0.02	not established												0.1			0.03				0.1	
目-015	農薬類※		-	検出値/目標値の総和が1以下							0.0001		●												
目-016	残留塩素		7782-50-5	1	5	C		MRDL=4.0						None required			5	0.6		4					
目-017	カルシウム、マグネシウム等（硬度）		-	300	not established									None required			Not necessary	200			300		450 (CaCO3として)		
目-018	マンガン及びその化合物	マンガン	7439-96-5	0.01	0.08	P			0.05 mg/L		0.05			0.12	AO：≦0.02		0.5	0.1			0.05	●	0.1		
目-019	遊離炭酸		-	20																					
目-020	1,1,1-トリクロロエタン		71-55-6	0.3	not established			0.2		●							-			0.1		●		2	●
目-021	メチル-t-ブチルエーテル		1634-04-4	0.02	not established										AO：≦0.015										
目-022	有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）		COD	3																	10	●	3 (O2として)		
目-023	臭気強度（TON）		-	3TON					3 TON(threshold odor number)		Acceptable to consumers and no abnormal change			None	Inoffensive										
目-024	蒸発残留物		-	30-200					500 mg/L					None	AO：≦500		Not necessary	600			500		1,000		
目-025	濁度		-	1度				TT			Acceptable to consumers and no abnormal change			≤0.3 NTU*1 ≤1.0 NTU*2 ≤0.1 NTU*3		●	-	5 NTU			0.5 NTU	●	1 NTU		
目-026	pH値		-	7.5程度	not established				6.5-8.5	●	≥6.5 and ≤9.5		●		7.0-10.5	●	-	pH 6.5–8.5	●		5.8~8.5	●	6.5-8.5		●
目-027	腐食性（ランゲリア指数）		-	-1程度以上とし、極力0に近づける					noncorrosive																

表 7-3　「水質管理目標設定項目」の諸外国・機関の目標値等（2/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値(mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
8	従属栄養細菌	集落数	-	2000/ml				TT		●															
9	1,1-ジクロロエチレン		75-35-4	0.1	not established			0.007		●				-			0.03		●	0.03		●	0.03		●
0	アルミニウム及びその化合物	アルミニウム	-	0.1	not established				0.05 to 0.2 mg/L		0.2			2.9	OG：< 0.1 (conventional treatment);< 0.2 (other treatment types)		-	0.2	●		0.2	●	0.2		
1	ペルフルオロオクタンスルホン酸（ＰＦＯＳ）及びペルフルオロオクタン酸（ＰＦＯＡ）		-	ペルフルオロオクタンスルホン酸（ＰＦＯＳ）及びペルフルオロオクタン酸（ＰＦＯＡ）の量の和として、0.00005mg/L	0.0001			0.000004mg/L		●				None	Objective：0.00003 ALARA	●	0.00007 (70 ng/L)			合計値 0.00007					
	PFASs - Total		-	-																					
	ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）とペルフルオロヘキサンスルホン酸（PFHxS）の合計		-	-				PFHxSは 0.00001mg/L									0.00007 (70 ng/L)			PFHxSは 0.00048					
	ペルフルオロオクタンスルホン酸（ＰＦＯＳ）		-	-				0.000004mg/L		●														0.00004	●
	ペルフルオロオクタン酸（ＰＦＯＡ）		-	-				0.000004mg/L		●				None			0.00056 (560 ng/L)							0.00008	

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも－の記載
過年度抽出するも「評価要請」

※1　表中の記号は次のとおり。P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値、C：その物質の濃度が健康に基づくガイドライン値以下であっても、水の外観や臭味に影響があり、消費者による苦情にまで至ることがある。
a: 発がん物質と考えられる物質についてのガイドライン値は、10^{-5} の生涯過剰発がんリスク（その物質をガイドライン値と同じ濃度 で含む飲料水を、70 年間摂取し続けることにより、10 万人に 1 人ががんになることを意味する）の上限に相当する飲料水中の 濃度である。
10-4 および 10-6 の推定生涯過剰発がんリスクの上限に相当する濃度は、それぞれ、ガイドライン値に 10 を掛けること、および、ガイドライン値を 10 で割ることによって求めることができる。
※2　表中の記号は次のとおり。MCLG (Maximum Contaminant Level Goal): The level of a contaminant in drinking water below which there is no known or expected risk to health. MCLGs allow for a margin of safety and are non-enforceable public health goals.
TT (Treatment Technique): A required process intended to reduce the level of a contaminant in drinking water.
※3　表中の記号は次のとおり。AO: based on aesthetic considerations and listed as aesthetic objectives、OG: established based on operational considerations and listed as operational guidance values、ALARA: as low as reasonably achievable
※4　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.
e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts).
Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.
※参考 "WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf
米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4
カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html
豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-4　「要検討項目」の諸外国・機関の目標値等（1/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値(mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響(mg/L)	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
検-001	銀		7440-22-4	-	not established				0.10 mg/L					None required			0.1		●				0.05		●
検-002	バリウム		7440-39-3	0.7	0.7			2						2			2						0.7		
検-003	ビスマス		7440-69-9	-																					
検-004	モリブデン		7439-98-7	0.07	not established												0.05		●				0.07		
検-005	アクリルアミド		79-06-1	0.0005	0.0005b			TT	1		0.0001		●				0.0002		●				0.0005		
検-006	アクリル酸		79-10-7	-																				0.5	
検-007	17-β-エストラジオール		-	0.00008							-														
検-008	エチニルーエストラジオール		-	0.00002																					
検-009	エチレンジアミン四酢酸（EDTA）		-	0.5	0.6												0.25		●						
検-010	エピクロロヒドリン		106-89-8	0.0004	0.0004	P		TT			0.0001		●				0.0005						0.0004		
検-011	塩化ビニル		75-01-4	0.002	0.0003b		●	0.002			0.0005		●	0.002: ALARA			0.0003		●				0.001		●
検-012	酢酸ビニル		108-05-4	-																					
検-013	2,4-ジアミノトルエン		-	-																					
検-014	2,6-ジアミノトルエン		-	-																					
検-015	N,N-ジメチルアニリン		-	-																					
検-016	スチレン		100-42-5	0.02	0.02	C		0.1									0.03	0.004	●				0.02		
検-017	ダイオキシン類		-	1pgTEQ/L	0.08	P	●	30pg/L																30pg/L	
検-018	トリエチレンテトラミン		112-24-3	-																					
検-019	ノニルフェノール		25154-52-3	0.3							-														
検-020	ビスフェノールA		80-05-7	0.1							0.0025		●											0.01	●
検-021	ヒドラジン		302-01-2	-																					
検-022	1,2-ブタジエン		-	-																					
検-023	1,3-ブタジエン		-	-																					
検-024	フタル酸ジ（n-ブチル）		84-74-2	0.01																				0.003	●
検-025	フタル酸ブチルベンジル		85-68-7	0.5																					
検-026	ミクロシスチン-ＬＲ		–	0.0008							0.001			0.0015			0.0013						0.001		
検-027	有機すず化合物	トリブチルスズオキサイド	-	0.0006	not established																				
検-028	ブロモクロロ酢酸		5589-96-8	-	not established																				
検-029	ブロモジクロロ酢酸		71133-14-7	-																					
検-030	ジブロモクロロ酢酸		5278-95-5	-																					
検-031	ブロモ酢酸		79-08-3	-	not established																				
検-032	ジブロモ酢酸		631-64-1	-	not established																				
検-033	トリブロモ酢酸		75-96-7	-																					
検-034	トリクロロアセトニトリル		545-06-2	-	not established												-			0.004		●				
検-035	ブロモクロロアセトニトリル		83463-62-1	-	not established												-								
検-036	ジブロモアセトニトリル		3252-43-5	0.06	0.07												-			0.1					

表 7-4　「要検討農薬」の諸外国・機関の目標値等（2/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値(mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
検-037	アセトアルデヒド		75-07-0	-																					
検-038	ＭＸ		77439-76-0	0.001	not established												-								
検-040	キシレン		1330-20-7	0.4	0.5	C		10						0.09	AO：≦0.02	●	0.6	0.02	●	0.5			0.5		
検-041	過塩素酸		7601-90-3	0.025	0.07																		0.07(過塩素酸塩として)		
検-044	N-ニトロソジメチルアミン（NDMA）		62-75-9	0.0001	0.0001									0.00004		●	0.0001 (100 ng/L)							0.0001	
検-045	アニリン		62-53-3	0.02																					
検-046	キノリン		91-22-5	0.0001																					
検-047	1,2,3-トリクロロベンゼン		87-61-6	0.02	not established																				
検-048	ニトリロ三酢酸（NTA）		139-13-9	0.2	0.2									0.4			0.2								
検-049	ペルフルオロヘキサンスルホン酸（ＰＦＨｘＳ）		-	-																					

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも－の記載
過年度抽出するも「評価要請」
過年度抽出するも「整理不可」

※1　表中の記号は次のとおり。P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値、C：その物質の濃度が健康に基づくガイドライン値以下であっても、水の外観や臭味に影響があり、消費者による苦情にまで至ることがある。

a: 発がん物質と考えられる物質についてのガイドライン値は、10^{-5} の生涯過剰発がんリスク（その物質をガイドライン値と同じ濃度 で含む飲料水を、70 年間摂取し続けることにより、10 万人に 1 人ががんになることを意味する）の上限に相当する飲料水中の 濃度である。

10-4 および 10-6 の推定生涯過剰発がんリスクの上限に相当する濃度は、それぞれ、ガイドライン値に 10 を掛けること、および、ガイドライン値を 10 で割ることによって求めることができる。

※2　表中の記号は次のとおり。MCLG (Maximum Contaminant Level Goal): The level of a contaminant in drinking water below which there is no known or expected risk to health. MCLGs allow for a margin of safety and are non-enforceable public health goals.

TT (Treatment Technique): A required process intended to reduce the level of a contaminant in drinking water.

※3　表中の記号は次のとおり。AO: based on aesthetic considerations and listed as aesthetic objectives、OG: established based on operational considerations and listed as operational guidance values、ALARA: as low as reasonably achievable

※4　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.

e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts).

Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.

※参考 "WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf 、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf

米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4

カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html

豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-5　「対象農薬」の諸外国・機関の目標値等（1/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
対-001	1,3-ジクロロプロペン（D-D）		542-75-6	0.05	0.02b		●										0.1								
対-002	2,2-DPA（ダラポン）		75-99-0	0.08				0.2									0.5								
対-003	2,4-D（2,4-PA）		94-75-7	0.02	0.03			0.07						0.1			0.03						0.03		
対-004	EPN		2104-64-5	0.004																					
対-005	MCPA		94-74-6	0.005	not established	Health-based value: 0.7 mg/L; Acute health-based value: 20 mg/L								0.35			0.04								
対-006	アシュラム		3337-71-1	0.9													0.07		●						
対-007	アセフェート		30560-19-1	0.006													0.008								
対-008	アトラジン		1912-24-9	0.01	0.1(Atrazine and its chloro-s-triazine metabolites)			0.003	0.05	●				0.005		●	0.02						0.002		●
対-009	アニロホス		64249-01-0	0.003																					
対-010	アミトラズ		33089-61-1	0.006	excluded												0.009								
対-011	アラクロール		15972-60-8	0.03	0.02b			0.002		●															
対-012	イソキサチオン		18854-01-8	0.005																					
対-013	イソフェンホス		25311-71-1	0.001																					
対-014	イソプロカルブ（MIPC）		2631-40-5	0.01																					
対-015	イソプロチオラン（IPT）		50512-35-1	0.3																					
対-016	イプフェンカルバゾン		212201-70-2	0.002																					
対-017	イプロベンホス（IBP）		26087-47-8	0.09																					
対-018	イミノクタジン		169202-06-6	0.006																					
対-019	インダノファン		133220-30-1	0.009																					
対-020	エスプロカルブ		85785-20-2	0.03																					
対-021	エトフェンプロックス		80844-07-1	0.08																					
対-022	エンドスルファン（ベンゾエピン）		115-29-7	0.01	not established												0.02								
対-023	オキサジクロメホン		153197-14-9	0.02																					
対-024	オキシン銅（有機銅）		153197-14-9	0.03																					
対-025	オリサストロビン		248583-16-1	0.1																					
対-026	カズサホス		95465-99-9	0.0006																					
対-027	カフェンストロール		125306-83-4	0.008																					
対-028	カルタップ		15263-53-3	0.08																					
対-029	カルバリル（NAC）		63-25-2	0.02	not established									-			0.03			0.07					
対-030	カルボフラン		1563-66-2	0.0003	0.007			0.04						-			0.01						0.007		
対-031	キノクラミン（ACN）		2797-51-5	0.005																					
対-032	キャプタン		133-06-2	0.3													0.4								
対-033	クミルロン		99485-76-4	0.03																					
対-034	グリホサート		1071-83-6	2	not established			0.7		●				0.28		●	1		●				0.7		●
対-035	グルホシネート		77182-82-2	0.02																					
対-036	クロメプロップ		84496-56-0	0.02																					
対-037	クロルニトロフェン（CNP）		1836-77-7	0.0001																					
対-038	クロルピリホス		2921-88-2	0.003	0.03									0.09			0.01						0.03		
対-039	クロロタロニル（TPN）		1897-45-6	0.05																					
対-040	シアナジン		21725-46-2	0.001	0.0006		●							-											
対-041	シアノホス（CYAP）		2636-26-2	0.003																					
対-042	ジウロン（DCMU）		330-54-1	0.02										-			0.02								
対-043	ジクロベニル（DBN）		1194-65-6	0.03													0.01		●						

表 7-5 「対象農薬」の諸外国・機関の目標値等（2/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
対-044	ジクロルボス（DDVP）		62-73-7	0.008													0.005		●				0.001		●
対-045	ジクワット		85-00-7	0.01																					
対-046	ジスルホトン（エチルチオメトン）		298-04-4	0.004													0.004								
対-047	ジチオカルバメート系農薬	二硫化炭素	-	0.005																					
対-048	ジチオピル		97886-45-8	0.009																					
対-049	シハロホップブチル		122008-85-9	0.006																					
対-050	シマジン（CAT）		122-34-9	0.003	0.002		●	0.004						-			0.02								
対-051	ジメタメトリン		22936-75-0	0.02																					
対-052	ジメトエート		60-51-5	0.05	0.006		●							0.02		●	0.007		●				0.006		●
対-053	シメトリン		1014-70-6	0.03																					
対-054	ダイアジノン		333-41-5	0.003	excluded									-			0.004			0.02					
対-055	ダイムロン		412928-75-7	0.8																					
対-056	ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(MITC)	533-74-4	0.01													for MTIC: 0.001		●						
対-057	チアジニル		223580-51-6	0.1																					
対-058	チウラム		137-26-8	0.02													0.007		●						
対-059	チオジカルブ		59669-26-0	0.08																					
対-060	チオファネートメチル		23564-05-8	0.3																					
対-061	チオベンカルブ		28249-77-6	0.02													0.04								
対-062	テフリルトリオン		473278-76-1	0.002																					
対-063	テルブカルブ（MBPMC）		1918-11-2	0.02																					
対-064	トリクロピル		55335-06-3	0.006													0.02								
対-065	トリクロルホン（DEP）		52-68-6	0.005	excluded												0.007								
対-066	トリシクラゾール		41814-78-2	0.1																					
対-067	トリフルラリン		1582-09-8	0.06	0.02		●							-			0.09								
対-068	ナプロパミド		15299-99-7	0.03													0.4								
対-069	パラコート		4685-14-7	0.01																					
対-070	ピペロホス		24151-93-7	0.0009																					
対-071	ピラクロニル		158353-15-2	0.01																					
対-072	ピラゾキシフェン		71561-11-0	0.004																					
対-073	ピラゾリネート（ピラゾレート）		58011-68-0	0.02																					
対-074	ピリダフェンチオン		119-12-0	0.002																					
対-075	ピリブチカルブ		88678-67-5	0.02																					
対-076	ピロキロン		57369-32-1	0.05																					
対-077	フィプロニル		120068-37-3	0.0005													0.0007								
対-078	フェニトロチオン（MEP）		122-14-5	0.01	not established												0.007		●	0.04					
対-079	フェノブカルブ（BPMC）		3766-81-2	0.03																					
対-080	フェリムゾン		89269-64-7	0.05																					
対-081	フェンチオン（MPP）		55-38-9	0.006													0.007								
対-082	フェントエート（PAP）		2597-03-7	0.007																					
対-083	フェントラザミド		158237-07-1	0.01																					
対-084	フサライド		27355-22-2	0.1																					
対-085	ブタクロール		23184-66-9	0.03																					
対-086	ブタミホス		36335-67-8	0.02																					
対-087	ブプロフェジン		69327-76-0	0.02																					
対-088	フルアジナム		79622-59-6	0.03																					
対-089	プレチラクロール		51218-49-6	0.05																					
対-090	プロシミドン		32809-16-8	0.09																					
対-091	プロチオホス		34643-46-4	0.007																					
対-092	プロピコナゾール		60207-90-1	0.05													0.1								

表 7-5　「対象農薬」の諸外国・機関の目標値等（3/3）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL（mg/L）	NSDWR（mg/L）	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標（mg/L）	参考指標（mg/L）	比較
対-093	プロピザミド		23950-58-5	0.05													0.07								
対-094	プロベナゾール		27605-76-1	0.03																					
対-095	プロモブチド		74712-19-9	0.1																					
対-096	ペノミル		17804-35-2	0.02													0.09								
対-097	ペンシクロン		66063-05-6	0.1																					
対-098	ペンゾピシクロン		156963-66-5	0.09																					
対-099	ペンゾフェナップ		82692-44-2	0.005																					
対-100	ペンタゾン		25057-89-0	0.2	not established												0.4						0.3		
対-101	ペンディメタリン		40487-42-1	0.3	0.02		•										0.4								
対-102	ペンフラカルブ		82560-54-1	0.02																					
対-103	ペンフルラリン（ペスロジン）		1861-40-1	0.01																					
対-104	ペンフレセート		68505-69-1	0.07																					
対-105	ホスチアゼート		98886-44-3	0.005																					
対-106	マラチオン（マラソン）		121-75-5	0.7	not established									0.29		•	0.07		•				0.25		•
対-107	メコプロップ（MCPP）		93-65-2/7085-19-0(former)	0.05	0.01		•																		
対-108	メソミル		16752-77-5	0.03	excluded												0.02		•						
(対-055)	メタム（カーバム）	ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート(MITC)	144-54-7	統合													for MTIC: 0.001								
対-109	メタラキシル		57837-19-1	0.2																					
対-110	メチダチオン（DMTP）		950-37-8	0.004													0.006								
対-111	メトミノストロビン		133408-50-1	0.04																					
対-112	メトリブジン		21087-64-9	0.03										0.08			0.07								
対-113	メフェナセット		73250-68-7	0.02																					
対-114	メプロニル		55814-41-0	0.1																					
対-115	モリネート		2212-67-1	0.005	0.006												0.004		•						
対-036-1	ＣＮＰ−アミノ体		-	統合																					
対-046-1	ポリカーバメート		-	0.03																					
対-046-2	マンゼブ（マンコゼブ）		-	0.02																					
対-046-3	マンネブ		-	0.01																					
対-046-4	ジラム		137-30-4	0.01																					
対-046-5	ジネブ		-	0.01																					
対-046-6	プロピネブ		-	統合																					

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも・の記載
過年度抽出するも「評価要請」
過年度抽出するも「整理不可」

※1　表中の記号は次のとおり。P：健康影響評価の観点からの暫定、T：浄水技術の観点からの暫定値、A：測定技術の観点からの暫定値、D：消毒技術の観点からの暫定値、C：その物質の濃度が健康に基づくガイドライン値以下であっても、水の外観や臭味に影響があり、消費者による苦情にまで至ることがある。

a: 発がん物質と考えられる物質についてのガイドライン値は、10-5 の生涯過剰発がんリスク（その物質をガイドライン値と同じ濃度 で含む飲料水を、70 年間摂取し続けることにより、10 万人に 1 人ががんになることを意味する）の上限に相当する飲料水中の 濃度である。

10-4 および 10-6 の推定生涯過剰発がんリスクの上限に相当する濃度は、それぞれ、ガイドライン値に 10 を掛けること、および、ガイドライン値を 10 で割ることによって求めることができる。

※2　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.

e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts).

Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.

※参考　　"WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf 、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf

米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4

カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html

豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-6　「要検討農薬」の諸外国・機関の目標値等

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響(mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
要-001	アセタミプリド		135410-20-7	0.2																					
要-002	イミダクロプリド		138261-41-3	0.1																					
要-003	イプロジオン		36734-19-7	0.05													0.1								
要-004	エチプロール		181587-01-9	0.01																					
要-005	クロロピクリン		76-06-2	0.003	not established												-								
要-006	テブコナゾール		107534-96-3	0.07																					
要-007	パラチオンメチル		298-00-0	0.04	not established												0.0007		●					0.009	●
要-008	ヒメキサゾール（ヒドロキシイソキサゾール）		10004-44-1	0.1																					
要-009	ピラクロホス		77458-01-6	-																					
要-010	フルスルファミド		106917-52-6	-																					
要-011	ブロマシル		314-40-9	0.05													0.4								
要-012	ペントキサゾン		110956-75-7	0.6																					
要-013	ホサロン		2310-17-0	0.005																					
要-014	メタアルデヒド		108-62-3	0.06													0.02		●						
要-015	メトラクロール		51218-45-2	0.2	0.01		●							-			0.3								

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも・の記載
過年度抽出するも「評価要請」
過年度抽出するも「整理不可」

※1　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.
e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts).
Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.
※参考 "WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf 、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf
米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4
カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html
豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-7　「その他農薬」の諸外国・機関の目標値等（1/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響 (mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
他-001	2-クロロプロピオン酸メチル（MCPM）		17639-93-9	-																					
他-002	2,4-DB		94-82-6	-																					
他-003	DBEDC		-	-																					
他-004	MCPB		10443-70-6	0.03	excluded																				
他-005	アシベンゾラルＳメチル		126448-41-7	0.2																					
他-006	アジムスルフロン		120162-55-2	0.2																					
他-007	アミトロール		61-82-5	0.003													0.009								
他-008	アメトリン		834-12-8	0.2													0.07		●						
他-009	イナベンフィド		82211-24-3	0.3																					
他-010	イマゾスルフロン		122548-33-8	0.2																					
他-011	ウニコナゾールP		83657-17-4	0.05																#N/A	#N/A				
他-012	エトキシスルフロン		126801-58-9	0.1																					
他-013	エトベンザニド		79540-50-4	0.1																					
他-014	エンドタール		145-73-3	-				0.1		●							0.1		●						
他-015	オキサジアルギル		39807-15-3	0.02																					
他-016	オキサミル		23135-22-0	0.05	excluded			0.2									0.007		●						
他-017	オキソリニック酸		14698-29-4	0.05																					
他-018	キザロホップエチル		76578-14-8	0.02																					
他-019	クロチアニジン		210880-92-5	0.2																					
他-020	クロマフェノジド		143807-66-3	0.7																					
他-021	クロルタールジメチル（TCTP）		1861-32-1	-																					
他-022	クロルピリホスメチル		5598-13-0	0.03																					
他-023	シクロスルファムロン		136849-15-5	0.08																					
他-024	ジクロフェンチオン（ECP）		97-17-6	0.006																					
他-025	シクロプロトリン		63935-38-6	0.008																					
他-026	ジクロメジン		62865-36-5	0.05																					
他-027	ジクロルプロップ		120-36-5	0.09	0.1												0.1								
他-028	ジコホル（ケルセン）		115-32-2	0.06																					
他-029	ジチアノン		3347-22-6	0.03																					
他-030	シノスルフロン		94593-91-6	0.2																					
他-031	ジノテフラン		165252-70-0	0.6																					
他-032	ジフェノコナゾール		119446-68-3	0.02																					
他-033	シフルトリン		68359-37-5	0.06													0.05		●						
他-034	ジフルベンズロン		35367-38-5	0.05	not established												0.07								
他-035	シプロコナゾール		94361-06-5	0.02																					
他-036	シプロジニル		121552-61-2	0.07													0.09								
他-037	シペルメトリン		52315-07-8	0.06	excluded												0.2								
他-038	シメコナゾール		149508-90-7	0.02																					
他-039	ジメチルビンホス		2274-67-1	0.01																					
他-040	ジメピペレート		61432-55-1	0.003																					
他-041	シラフルオフェン		105024-66-6	0.3																					
他-042	シンメチリン		87818-31-3	0.1																					
他-043	スピノサド		168316-95-8	0.06	not established																				
他-044	セトキシジム		74051-80-2	0.2																					
他-045	チアクロプリド		111988-49-9	0.03																					
他-046	チアメトキサム		153719-23-4	0.05																					
他-047	チオシクラム		31895-21-3	0.05																					
他-048	チフルザミド		130000-40-7	0.04																					

表 7-7　「その他農薬」の諸外国・機関の目標値等（2/2）

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				目標値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響 (mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
他-049	テクロフタラム		76280-91-6	0.1																					
他-050	テトラクロルビンホス（CVMP）		22248-79-9	0.01																					
他-051	テトラコナゾール		112281-77-3	0.01																					
他-052	テブフェノジド		112410-23-8	0.04																					
他-053	トリネキサパックエチル		95266-40-3	0.01																					
他-054	トリフルミゾール		68694-11-1	0.04																					
他-055	トルフェンピラド		129558-76-5	0.01																					
他-056	ナプロアニリド		52570-16-8	0.02																					
他-057	ニテンピラム		150824-47-8	1.3																					
他-058	パクロブトラゾール		76738-62-0	0.05																					
他-059	バリダマイシン		37248-47-8	0.9																					
他-060	ビスピリバック		125401-75-4	0.03																					
他-061	ピメトロジン		123312-89-0	0.03																					
他-062	ピラゾスルフロンエチル		93697-74-6	0.003																					
他-063	ピリミノバックメチル		136191-64-5	0.05																					
他-064	ピリミホスメチル		29232-93-7	0.06	not established												0.09								
他-065	ピレトリン		121-29-9	0.1																					
他-066	フェノキサニル		115852-48-7	0.02																					
他-067	フェンバレレート		51630-58-1	0.04													0.06								
他-068	フラチオカルブ		65907-30-4	0.008																					
他-069	フラメトピル		123572-88-3	0.02																					
他-070	フルアジホップ		83066-88-0	0.01																					
他-071	プロパニル（DCPA）		709-98-8	0.04	not established												0.7								
他-072	プロパホス		7292-16-2	0.001																					
他-073	プロパルギット（BPPS）		2312-35-8	0.02													0.007		•						
他-074	プロヘキサジオン		88805-35-0	0.5																					
他-075	プロポキスル（PHC）		114-26-1	0.2																					
他-076	プロメトリン		7287-19-6	0.08																					
他-077	ペルメトリン		52645-53-1	0.1	not established												0.2								
他-078	ベンスルタップ		17606-31-4	0.06																					
他-079	ベンダイオカルブ		22781-23-3	0.009										-											
他-080	ホキシム		14816-18-3	0.003																					
他-081	ボスカリド		188425-85-6	0.1																					
他-082	ミルネブ（チアジアジン）		3773-49-7	-																					
他-083	メタミドホス		10265-92-6	0.001	excluded																				
他-084	メチルイソシアネート		624-83-9	0.006																					
他-085	モノクロトホス		6923-22-4	0.002	excluded												0.002								
他-086	リニュロン		330-55-2	0.02																					

注）
過年度整理なし
過年度整理済み
過年度抽出するも - の記載
過年度抽出するも「評価要請」
過年度抽出するも「整理不可」

※1　表中の記号は次のとおり。c: Insufficient data to set a guideline value based on health considerations.　f: No corresponding fact sheet for these pesticides. Guideline values for these pesticides appeared in a previous version of the ADWG and have been retained in Table 10.5 for information purposes only.
e: The concentration of all chlorination byproducts can be minimised by removing naturally occurring organic matter from the source water, reducing the amount of chlorine added, or using an alternative disinfectant (which may produce other byproducts). Action to reduce trihalomethanes and other byproducts is encouraged, but must not compromise disinfection.

※参考　"WHO: https://www.niph.go.jp/soshiki/suido/pdf/h24whogdwq/WHOgdwq4thJPweb_all_20130423.pdf 、EU: http://www.epa.ie/pubs/advice/drinkingwater/2015_04_21_ParametersStandaloneDoc.pdf 、http://www.irishstatutebook.ie/eli/2014/si/122/made/en/pdf
米国: https://www.epa.gov/ground-water-and-drinking-water/national-primary-drinking-water-regulations#one 、https://www.epa.gov/dwregdev/drinking-water-regulations-and-contaminants#Secondary 、https://www.epa.gov/ccl/chemical-contaminants-ccl-4
カナダ: https://www.canada.ca/en/health-canada/services/environmental-workplace-health/reports-publications/water-quality/guidelines-canadian-drinking-water-quality-summary-table-health-canada-2012.html
豪州: https://www.nhmrc.gov.au/_files_nhmrc/file/publications/nhmrc_adwg_6_version_3.3_2.pdf 、韓国: http://library.me.go.kr/search/DetailView.ax?sid=1&cid=5636646 、中国: https://baike.baidu.com/item/生活饮用水卫生标准

表 7-8 「諸外国の基準値等が国内の基準値よりも厳しい物質」とその過年度の検討状況

(1/2)

項目番号	項目名	CAS番号	調査実施年度					食安委評価状況 (R7.2) 評価結果通知日等
			~H29	H30	R1	R2	R6	
基-003	カドミウム及びその化合物	7440-43-9	○					H29.9.25
基-017	ジクロロメタン	75-09-2	○					H20.11.6
	テトラクロロエチレンおよびトリクロロエチレン							–
基-018	テトラクロロエチレン	127-18-4	○					H20.11.6
基-019	トリクロロエチレン	79-01-6	○					H20.11.6
基-020	ベンゼン	71-43-2	○					H20.11.6
基-021	塩素酸	7790-93-4			○			H19.3.15
基-025	ジブロモクロロメタン	124-48-1	○					H21.8.20
基-027	総トリハロメタン	-	○					H21.8.20
基-030	ブロモホルム	75-25-2	○					H21.8.20
基-033	アルミニウム及びその化合物	7429-90-5			○			H29.12.19
基-034	鉄及びその化合物	7439-89-6						-
基-036	ナトリウム及びその化合物	7440-23-5	○					H21.1.22
基-047	ｐＨ値	-						–
基-051	濁度	-						–
目-001	アンチモン及びその化合物	7440-36-0	○					H24.8.6
目-008	トルエン	108-88-3	○					H20.11.6
目-009	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	117-81-7	○					H25.4.15
目-012	二酸化塩素	10049-4-4	○					H20.11.6
目-015	農薬類※	-						–
目-025	濁度	-						–
目-028	従属栄養細菌	-						–
目-029	1,1-ジクロロエチレン	75-35-4	○					H20.5.29
目-030	アルミニウム及びその化合物	-			○			H29.12.19
目-031	PFOS 及び PFOA	-					○	R6.6.25
	PFASs - Total	-						-
	PFOS と PFHxS の合計	-						-
	PFOS	-					○	R6.6.25
	PFOA	-					○	R6.6.25
検-001	銀	7440-22-4				○		-
検-004	モリブデン	7439-98-7						-
検-005	アクリルアミド	79-06-1				○		-
検-009	エチレンジアミン四酢酸（EDTA）	-				○		-
検-010	エピクロロヒドリン	106-89-8						-
検-011	塩化ビニル	75-01-4						-
検-016	スチレン	100-42-5						-
検-020	ビスフェノールＡ	80-05-7						評価要請 H20.7.8
検-024	フタル酸ジ（n-ブチル）	84-74-2	整理不可					H26.6.10
検-034	トリクロロアセトニトリル	545-06-2						-
検-040	キシレン	1330-20-7						-
検-044	N-ニトロソジメチルアミン（NDMA）	62-75-9						-

表 7-8 「諸外国の基準値等が国内の基準値よりも厳しい物質」とその過年度の検討状況

(2/2)

項目番号	項目名	CAS番号	調査実施年度					食安委評価状況(R7.2) 評価結果通知日等
			~H29	H30	R1	R2	R6	
対-001	1,3-ジクロロプロペン（D-D）	542-75-6	○				○	H27.10.20 R6.3.7
対-006	アシュラム	3337-71-1	○					H26.3.16
対-008	アトラジン	1912-24-9						評価要請 H23.10.11
対-011	アラクロール	15972-60-8	○					H25.3.18
対-034	グリホサート	1071-83-6	○					H28.7.12
対-040	シアナジン	21725-46-2	○					H29.2.28
対-043	ジクロベニル（DBN）	1194-65-6	整理不可					H26.7.1
対-050	シマジン（CAT）	122-34-9						評価要請 H25.1.30
対-052	ジメトエート	60-51-5						評価要請 H25.6.12
対-056	ダゾメット、メタム（カーバム）及びメチルイソチオシアネート	533-74-4	○				○	H27.3.24 R6.1.31
対-058	チウラム	137-26-8						-
対-067	トリフルラリン	1582-09-8	○					H24.1.26
対-078	フェニトロチオン（MEP）	122-14-5	○					H29.8.22
対-101	ペンディメタリン	40487-42-1	○					H24.8.6
対-106	マラチオン（マラソン）	121-75-5	○					H27.3.17
対-108	メソミル	16752-77-5						-
対-115	モリネート	2212-67-1	○					H25.3.4
要-007	パラチオンメチル	298-00-0						評価要請 H21.3.24
要-014	メタアルデヒド	108-62-3	○					H29.2.14
要-015	メトラクロール	51218-45-2	○					H21.7.30
他-008	アメトリン	834-12-8	○					H19.9.13
他-014	エンドタール	145-73-3						-
他-016	オキサミル	23135-22-0						評価要請 H25.3.12
他-033	シフルトリン	68359-37-5					○	R3.6.8 R5.9.15
他-073	プロパルギット（BPPS）	2312-35-8	○					H24.10.29

注）目-030 アルミニウム及びその化合物については、水質基準項目の項目名と重複しているため本表からは除外した。

表 7-9　日本の水質基準項目以外で海外諸国で設定されている項目（法的拘束力あり）(1/2)

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				基準値 (mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響 (mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
*	アルドリン（ＨＨＤＮ）		309-00-2		0.00003(アルドリンとデルドリンの和)						0.00003						0.0003 (combined)								
*	ディルドリン		60-57-1		0.00003(アルドリンとデルドリンの和)						0.00003						0.0003 (combined)								
*	ベンゾピレン		50-32-8		0.0007b			0.0002			0.00001			0.00004			0.00001 (10 ng/L)						0.00001		
*	クロルデン		57-74-9		0.0002			0.002									0.002								
*	２，４―Ｄ（２，４―ＰＡ、２，４―ジクロロフェノキシ酢酸）		94-75-7		0.03			0.07						0.1			0.03						0.03		
*	ＤＢＣＰ		96-12-8		0.001b			0.0002												0.003					
*	１，２―ジブロムエタン（二臭化エチレン、ＥＤＢ）		106-93-4		0.0004b	P		0.00005									0.001								
*	ｏ―ジクロロベンゼン		95-50-1		1	C		0.6						-			1.5	0.001						1	
*	ｐ―ジクロロベンゼン		106-46-7		0.3	C		0.075						0.005	AO：≦0.001		0.04	0.0003					0.3		
*	１，２―ジクロロプロパン		78-87-5		0.04	P		0.005																	
*	エンドリン		72-20-8		0.0006			0.002																	
*	エチルベンゼン		100-41-4		0.3	C		0.7						0.14	AO：0.0016		0.3	0.003		0.3				0.3	
*	２，４，５―トリクロルフェノキシプロピオン酸トリエタノールアミン		93-72-1		0.009			0.05									0.01								
*	ヘキサクロロブタジエン（ＰＣＢＡ）		87-68-3		0.0006												0.0007						0.0006		
*	γ―ＢＨＣ（リンデン）		58-89-9/608-73-1		0.002			0.0002																	
*	メトキシクロル（メトキシクロール）		72-43-5		0.02			0.04						-			0.3								
*	モノクロラミン		10599-90-3		3			MRDL=4.0									3								
*	ペンタクロロフェノール（ＰＣＰ）		87-86-5		0.009b	P		0.001						0.06	AO：≦0.03		0.01						0.009		
*	２，４，６―トリクロロフェノール		88-06-2		0.2b	C								0.005	AO：≦0.002		0.02	0.002					0.2		
*	ベリリウム		7440-41-7					0.004									0.06						0.002		
*	タリウム		7440-28-0					0.002	0.3														0.0001		
*	クロロベンゼン		108-90-7					0.1						-			0.3	0.01					0.3		
*	アジピン酸ジ―２―エチルヘキシル		103-23-1					0.4									-							0.4	
*	ジノセブ（ＤＮＢＰ）		88-85-7					0.007						-											
*	エンドタール		145-73-3					0.1									0.1								
*	ヘプタクロール		76-44-8					0.0004			0.00003						0.0003						0.0004		
*	ヘプタクロールエポキシド		1024-57-3					0.0002			0.00003														
*	ＨＣＢ（ヘキサクロロベンゼン）		118-74-1					0.001															0.001		
*	ヘキサクロロシクロペンタジエン		77-47-4					0.05																	
*	ポリ塩化ビフェニル（ＰＣＢ）		1336-36-3					0.0005	0.1																

注）黄色の網掛けは法的拘束力あり

表 7-9　日本の水質基準項目以外で海外諸国で設定されている項目（法的拘束力あり）(2/2)

項目番号	項目名	対象物質等	CAS番号	日本	WHO			米国			EU			カナダ			オーストラリア			韓国			中国		
				基準値(mg/L)	Guideline value (mg/L)	暫定値等	比較	NPDWR MCL (mg/L)	NSDWR (mg/L)	比較	Parametric value (mg/L)		比較	MAC (mg/L)	Other value (mg/L)	比較	health(mg/L)	aesthetic(mg/L)	比較	健康有害影響 (mg/L)	感覚影響 (mg/L)	比較	指標 (mg/L)	参考指標 (mg/L)	比較
*	ピクロラム		1918-02-1					0.5						-			0.3								
*	トキサフェン		8001-35-2					0.003																	
*	1，2，4－トリクロロベンゼン		120-82-1					0.07																	
*	1，1，2－トリクロロエタン		79-00-5					0.005																	
*	α粒子							15 picocuries per Liter (pCi/L)																	
*	β粒子及び光子放出体							4 millirems per year																	
*	ラジウム226及びラジウム228(総)							5 pCi/L																	
*	銀		7440-22-4						0.10 mg/L					None required			0.1						0.05		
*	総ペル及びポリフルオロアルキル										0.0005														
*	多環芳香族炭化水素										0.0001														
*	アンモニア		7664-41-7								0.5			None required			-	0.5							
*	酸素消費量										5.0 mg/l O2														
*	硫酸イオン										250														
*	デルタメトリン		52918-63-5														0.04						0.02		
*	パラチオン（エチルパラチオン）		56-38-2														0.02			0.06				0.003	
*	アンモニア性窒素																			0.5					
*	トリクロロアセトニトリル		545-06-2																	0.004					
*	肉眼可視物																						なし		
*	硫酸塩																						250		
*	アンモニア性窒素																						0.5 (Nとして)		
*	総α線量																						0.5 (Bq/L)		
*	総β線量																						1 (Bq/L)		
*	ジアルジア																						<1 (個/10 L)		
*	クリプトスポリジウム																						<1 (個/10 L)		
*	トリクロロベンゼン		12002-48-1																				0.02		
*	アセトクロール																						0.02		

注）黄色の網掛けは法的拘束力あり

8. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催支援

8.1. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催概要

表 8-1 に示す水道水質基準の見直し等に関わる検討会等について、下記のとおり開催を支援した。

- 旅費及び謝金の支払い
- 対面及びオンラインによるハイブリッド開催に係る事務
- 公開検討会等における傍聴者対応に係る事務
- 公開検討会等におけるライブ配信に係る事務
- 議事録の作成
- 資料の印刷

表 8-1 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の開催概要

回数	名称	開催日時	会場
第 1 回	水質基準逐次改正検討会	令和 6 年 7 月 17 日（水） 14:00～16:00	オンライン
第 2 回	水質基準逐次改正検討会	令和 6 年 12 月 24 日（火） 10:00～12:00	オンライン
第 1 回	水道における微生物問題検討会	令和 6 年 12 月 9 日（月） 15:00～17:00	オンライン
第 1 回	水道水質検査法検討会	令和 6 年 8 月 5 日（月） 13:30～17:30	国立医薬品食品衛生研究所・オンライン
第 2 回	水道水質検査法検討会	令和 7 年 2 月 7 日（金） 13:30～16:30	国立医薬品食品衛生研究所・オンライン
第 1 回	水道水質検査精度管理検討会	令和 6 年 8 月 29 日（木） 13:30～17:30	国立医薬品食品衛生研究所・オンライン
第 2 回	水道水質検査精度管理検討会	令和 7 年 2 月 27 日（木） 13:30～17:30	国立医薬品食品衛生研究所・オンライン
－	水道水質検査精度管理に関する研修会	令和 7 年 3 月 13 日（木） 13:30～16:30	国立医薬品食品衛生研究所・オンライン

8.2. 水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の資料

検討会等の資料は環境省等が作成し、受託者が印刷した。各検討会の URL を以下に示す。

- 第 1 回 水質基準逐次改正検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/kijun/0000183130_00006.html
- 第 2 回 水質基準逐次改正検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/kijun/0000183130_00009.html
- 第 1 回 水道における微生物問題検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/microbe/0000212427_00006.html
- 第 1 回 水道水質検査法検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/suidou.html
- 第 2 回 水道水質検査法検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/suidou.html
- 第 1 回 水道水質検査精度管理検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/kanri.html
- 第 2 回 水道水質検査精度管理検討会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/kanri.html
- 水道水質検査精度管理に関する研修会：https://www.env.go.jp/council/water_supply/kentoukai/kanri.html

8.3.　水道水質基準の見直し等に関わる検討会等の議事録

検討会等の議事録を作成した。水質基準逐次改正検討会は PFOS・PFOA に係る水質の目標値等の専門家会議と合同会議である。